

武蔵村山市民意識調査 報告書

平成31年3月

武蔵村山市

目 次

●市民意識調査の実施内容

1. 調査の目的.....	1
2. 調査の概要.....	1
3. 調査結果の留意点.....	2
4. 標本誤差について.....	2
5. 調査結果の概要について.....	3

●市民意識調査の結果

1. あなた（回答者）自身について（問1～問9）.....	13
2. 武蔵村山市に住んで感じたこと（問10、問11）.....	26
3. 市の取組に対する評価と今後への期待について（問12）.....	33
4. 武蔵村山市のまちづくりの施策について.....	95
4-1 市民が自ら考え行動するまちづくり（問13～問18）.....	95
4-2 安心していきいきと暮らせるまちづくり（問19～問35）.....	112
4-3 誰もが自分らしく成長できるまちづくり（問36～問58）.....	153
4-4 快適で暮らしやすいまちづくり（問59～問64）.....	246
4-5 地域の資源を活かした特色あるまちづくり（問65～問67）.....	268
4-6 計画の推進に向けて（問68～問73）.....	277
5. 自由意見（問74）.....	303

●《資料》

武蔵村山市市民意識調査 調査票.....	321
----------------------	-----

市民意識調査の実施内容

1. 調査の目的

武蔵村山市第五次長期総合計画の策定に当たり、市政に関する市民の意向等を把握し、計画づくりに反映させることを目的とする。

2. 調査の概要

調査の概要は以下のとおりである。

調査地域	武蔵村山市全域
調査対象	満 18 歳以上の市民 (平成 30 年 5 月 1 日現在)
調査方法	郵送配布、郵送回収
対象者数(配布数)	2,000 人
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出 (性別、地区、年代で区分し、人口割合で按分して抽出)
有効回答数	450 件
有効回答率	22.5%
実施期間	平成 30 年 8 月 15 日 (水) ~8 月 29 日 (水)

なお、調査票における「居住地区」については、次のとおり分類している（以下の表において同じ）。

居住地区	各地区に包含する町丁目
A 地区	中藤・神明・中央・本町
B 地区	三ツ木・岸・中原
C 地区	三ツ藤・伊奈平・残堀
D 地区	榎・学園・大南
E 地区	緑が丘

また、上記「居住地区」別の抽出件数、有効回答数及び有効回答率は、下表の通りである。

居住地区	抽出件数(件)	有効回答数(件)	有効回答率
A 地区	382	92	24.1%
B 地区	329	74	22.5%
C 地区	449	80	17.8%
D 地区	681	166	24.4%
E 地区	159	33	20.8%
無回答	-	5	-
合計	2,000	450	22.5%

3. 調査結果の留意点

回答の割合は、選択肢ごとに小数点第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100%にならない場合がある。複数回答可の設問の場合、全ての回答割合を合計すると100%を超える場合がある。

4. 標本誤差について

この調査の標本誤差は次の式によって得られる。(ただし、信頼度を95%とする。)

$$\pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N:母集団の大きさ (59,924人 (18歳以上の住民基本台帳人口 (平成30年5月1日現在)))

n:調査対象数 (基数、サンプル数)

p:回答比率

これによると、本調査の標本誤差の早見表は次のとおりとなる。

回答比率(P) 基数(n)	10%又は 90%前後	20%又は 80%前後	30%又は 70%前後	40%又は 60%前後	50%前後
450	±2.82%	±3.76%	±4.30%	±4.60%	±4.70%
300	±3.46%	±4.61%	±5.28%	±5.64%	±5.76%
200	±4.24%	±5.65%	±6.47%	±6.92%	±7.06%
100	±6.00%	±7.99%	±9.16%	±9.79%	±9.99%

* この表の見方

例えば、「ある設問の回答者数が450人であり、その設問中の選択肢の回答比率が60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最大 (信頼度は95%以上) でも±4.60%以内 (55.40%~64.60%) である」とみることができる。

5. 調査結果の概要について

(1) 調査について

○対象者数 2,000 人、有効回収数 450 件、有効回収率 22.5% (前回調査 (平成 25 年度) 32.4%) である。

※以下、平成 25 年 7 月に実施した前回調査については、「前回調査」又は「前回」と表記している。

(2) 武蔵村山市に住んで感じたこと

○武蔵村山市の住みやすさは、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」が 56.7% であり前回調査の 50.7% より 6.0 ポイント増加し、「住みにくい」と「どちらかという」と住みにくい」は 22.7% と前回調査の 27.4% より 4.7 ポイント減少しており、「住みやすい」と感じている方が多く、かつ増加している。

○これからも住み続けたいか否かについては、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」が 62.7% であり、「転居したい」と「どちらかといえば転居したい」の 17.1% より多くなっている。

○住み続ける理由は、「家や土地を持っているから」「緑が多く、自然環境がよいから」「隣近所の人間関係がよいから」等となっている。また、転居したい理由は、「生活の利便性(交通・買物)がよくないから」「市に発展性がなく、将来に期待できないから」「地域に愛着がないから」等となっている。

(3) 市の取組に対する評価と今後への期待について

○市の取組に対する満足度は、「消防・救急体制の充実・強化」、「下水道の整備の推進」、「健康づくり事業の充実」、「ごみの減量化とリサイクルの推進」等で高く、「公共交通の整備」、「魅力ある街並み景観の形成」、「観光まちづくりの推進」、「横田飛行場の軍民共同使用」等で低くなっている。

○市の取組に対する今後の充実希望度は、「公共交通の整備」、「道路の整備」、「医療・救急体制の充実」、「防災対策の充実・強化」等で高く、「地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援」、「都市間交流の促進」等とで低くなっている。

○現状に対する満足度が低く、今後の充実希望度が高いため、特に注力して取り組むことが望まれている施策としては、「公共交通の整備」、「道路の整備」等が挙げられる。満足度が高く充実希望度も高いため、更なる充実が望まれている施策としては、「医療・救急体制の充実」、「防災対策の充実・強化」、「消防・救急体制の充実強化」、「防犯対策の充実・強化」、「交通安全対策の充実・強化」等が挙げられる。

(4) 武蔵村山市のまちづくりの施策について

(4) - 1 市民が自ら考え行動するまちづくり

コミュニティ

- 地域のために役に立ちたいか否かについては、「積極的に関わりたいと思っている」と「できる範囲で関わりたいと思っている」の回答が51.8%となっている。
- 一方で地域の自治会への加入状況を見ると、「加入している」の32.0%に対し、「加入していない」が60.7%と、未加入者の割合が高くなっている。前回調査（平成25年度）では「加入している」が36.7%であり、4.7ポイント減少している。
- 自治会に加入しない理由については、「仕事や子育てなどで忙しく時間がない」「自治会に関心がない」「いずれ役員等を務めることになり面倒である」等の意見が多く見られる。

パートナーシップ

- 市政に関する情報の入手方法については、「市報」が84.9%となっている。
- 市が発信する情報への満足度（「満足している」+「ほぼ満足している」）は、以下のとおり。

・道路・公共交通（モノレール・バス等）に関する情報	22.9%
・防災、防犯対策に関する情報	26.9%
・子育てに関する情報	22.9%
・高齢者向け情報	20.0%
・生涯学習に関する情報	18.9%
・情報全体（市報・ホームページ・SNS等）	28.2%
- 市民参加の形については、「市民参加は難しい」が48.9%となっており、前回調査（平成25年度）の41.5%から7.4ポイント増加している。

(4) - 2 安心していきいきと暮らせるまちづくり

安全安心

- 震災が起こった場合に心配なことは、「地震による建物等の倒壊・損壊」が41.6%（前回44.6%）、「家族の安否確認」が41.1%（前回42.0%）で多くなっている。
- 防災の準備については、「準備をしている」が50.9%（前回43.8%）、「特に準備はしていない」が47.8%（前回51.5%）であり、準備をしている割合が前回調査に比べて7.1ポイント増加している。準備している内容は、「水や食料の備蓄」が83.0%と高く、次に「非常用持ち出し用品の確保」が67.7%、「家具の転倒防止」が52.8%等となっている。
- 災害に備えて地域（自治会等）が行う重要なことは、「避難経路や避難場所の確認及び周知」が64.4%となっている。

健康・医療

- 健康診断の受診については、「職場（学校）の健康診断を受けている」が46.4%、「市が行っている特定健康診査を受けている」が26.0%など、受けている割合は80.8%となっている。
- 市内のスポーツ・レクリエーション施設が整っていると「そう思う」が5.3%、「どちらかといえばそう思う」が19.3%、合わせて24.6%である。施設が整っていると思わ

ない理由は、「施設が遠い、又は交通が不便だから」が58.2%、「施設についての情報提供が少ないから」が31.0%となっている。

- 医療機関が身近に整っていると「そう思う」が20.7%、「どちらかといえばそう思う」が37.1%、合わせて57.8%であり、前回調査（55.4%）と比べて2.4ポイント増加している。
- 社会保障制度については、「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人負担はやむを得ない」が55.1%（前回47.2%）となっている。その負担のあり方については、「全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない」が49.6%（前回43.5%）となっている。

福祉

- 武蔵村山市が、高齢者が安心して住み続けられるまちだと「そう思う」が6.4%、「どちらかといえばそう思う」が28.0%、合わせて34.4%となっている。
- 高齢社会に向けて重要な施策は、「高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が44.4%（前回27.0%）、「高齢者の雇用・就業機会の確保」（前回30.1%）と「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」（前回20.1%）がともに23.1%となっている。
- 障害者の自立支援のために重点的に進めるべき施策は、「誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が49.6%（前回45.1%）、「障害者の雇用・就業機会の確保」が39.3%（前回44.1%）などとなっている。
- 武蔵村山市が、安心して子育てしやすいまちだと「そう思う」が8.4%、「どちらかといえばそう思う」が35.6%、合わせて44.0%となっている。
- 安心して子育てを行うための施策は、「子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援」が30.2%（前回27.8%）、「公園など子どもにとって魅力ある遊び場の確保」が29.3%（前回25.3%）、「保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児の保育サービスの充実」が25.6%（前回29.9%）などとなっている。
- 少子化対策の支援や体制については、「経済的支援措置（保育・教育費への援助、医療費補助、児童手当等）」が45.3%（前回41.0%）、「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」が35.6%（前回38.6%）等となっている。

暮らし

- 消費者支援のために行政として取り組むべきことは、「市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実」が49.1%（前回52.6%）、「商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化」が41.8%（前回38.3%）となっている。
- 被雇用者は、就業環境に「満足している」と「ほぼ満足している」が48.6%、「不満である」と「やや不満である」が21.5%となっている。就業環境で改善してほしいことは、「給料や報奨金など、所得の向上」が49.8%、「就業環境や休暇取得」が27.6%となっている。

(4) - 3 誰もが自分らしく成長できるまちづくり

人権・平和

- 人権の尊重については、「そう思う」が 28.2%（前回 26.7%）、「どちらかといえばそう思う」が 38.9%（前回 31.2%）で、合わせて 67.1%（前回 57.9%）となっている。
- 人権が尊重されているとは思わない理由は、「障害者への差別」、「思想・信条に基づく差別」、「職業に対する差別」、「学歴に対する差別」、「男女（性）差別」、そして、前回調査で最も多かった「プライベートの侵害」が続いている。

男女共同参画

- 男女の地位の平等について「平等」が 50%を超えている項目は、前回と同様に「学校教育の場」（60.0%）のみである（前回 60.5%）。
- 男女共同参画に関わる言葉で見たり聞いたりしたことがあるのは、「ドメスティック・バイオレンス（DV）」(91.1%)、「男女共同参画社会」(60.9%)、「ジェンダー」(51.1%) などであり、「S O G I」(2.2%)、「ポジティブ・アクション」(20.2%)などは低い。
- 家庭内の役割については、「該当なし」を除くと、「主に女性が行っている」傾向にある。
- 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方については、「賛成」と「どちらかといえば賛成」が 30.9%、「どちらかといえば反対」と「反対」が 49.5%となっている。
- 女性が働くことについては、「育児・介護等にかかわらず、働き続けるほうがよい」が 37.3%、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いたほうがよい」が 34.0%となっている。
- 結婚・出産後も働き続けるには、「保育施設や学童クラブの充実」が 67.3%、「短時間勤務制度やフレックスタイム制度、在宅勤務等の柔軟な働き方の浸透」が 58.0%、「職場の上司や同僚の理解や協力」が 56.2%で多くなっている。
- 政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となるのは、「育児・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が 48.4%、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が 40.0%などとなっている。
- 職場における男女平等については、「平等」が 50%を超えている項目は、「採用時の条件」(58.5%)、「賃金」(56.1%)、「能力評価」(57.5%)、「仕事の内容」(56.1%)、「研修の機会や内容」(63.4%)であり、「昇進や昇格」は 46.3%、「育児休業、介護休業の取得」は 43.6%となっている。
- 育児休業・介護休業等を利用したことが「ある」のは、「育児休業」で 12.9%、「子の看護休暇」で 11.5%、「介護休業」で 3.1%、「介護休暇」で 4.9%となっている。
- 仕事や家事等の優先度は、希望するものは「家庭生活」が 62.2%、「地域・個人の活動」が 24.2%などであるが、現状、優先されるものは「家庭生活」と「仕事」がともに 43.6%となっている。
- 男性が家事を行うことについてのイメージは、「男性も家事・育児を行うことは当然である」が 65.1%、「子どもによい影響を与える」が 55.6%となっている。

- ドメスティック・バイオレンスについては、「どんな理由があっても暴力はふるうべきでない」が79.1%（前回68.1%）、「DVは人権を侵害する行為である」が67.8%（前回54.0%）となっている。
- 配偶者からの暴力などについては、「まったくない」が各項目とも80%台となっている（各項目とも前回より10ポイント以上増加）。また、相手から受けた行為についての相談については、「相談した」が34.1%（前回33.1%）であり、その相談相手は、「家族・親戚」（71.0%）、「友人・知人」（51.6%）が多い。一方で、相談しなかった理由は、「相談するほどのことではないと思ったから」（47.3%）、「相談しても無駄だと思ったから」（34.5%）となっている。
- 職場や学校等で受けたことのあるハラスメント（嫌がらせ）は、「パワー・ハラスメント」が23.3%、「モラル・ハラスメント」が16.0%、「セクシュアル・ハラスメント」が7.1%などとなっている。「受けたことはない」は56.7%である。
- 身体の性、心の性、好きになる性で、「悩んだことがある」は8.4%である。
- 性的マイノリティにとって偏見や差別がなく、生活しやすい社会になっていると「そう思う」が2.7%、「どちらかといえばそう思う」が10.0%、合わせて12.7%であり、生活しやすい社会をつくるために市が施策を講じる必要については「そう思う」が20.9%、「どちらかといえばそう思う」が28.7%、合わせて49.6%である。
- 「武蔵村山市第三次男女共同参画計画—男女YOU・Iプラン—」について、「内容を知っている」が3.3%（前回2.5%）、「聞いたことはあるが内容は知らない」が17.6%（前回12.0%）であり、「知らない」は76.4%（前回75.6%）である。
- 男女共同参画の拠点施設である男女共同参画センター『ゆーあい』について、「知っている」が10.7%（前回「内容を知っている」と「聞いたことはあるが、内容は知らない」で21.9%）、「知らない」が85.8%（前回68.7%）となっている。
- 男女共同参画センターを「知っている」人は、センターが行う事業については、各事業とも、「知っている」が「参加したり利用したりすることはない」傾向にある。
- 男女共同参画社会を実現するためには、「男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり」が62.2%（前回45.7%）、「ひとり親家庭や高齢者など、特別な配慮が必要な方への支援の充実を図るまちづくり」が36.4%（前回18.7%）などとなっている。（回答数は「いくつでも」（前回は「3つまで」））

教育

- 子どもたちの教育を充実させるためには、「子どもたちの基礎的な学力の向上」が52.4%（前回49.2%）、「いじめの対策の強化」が29.6%（前回26.1%）、「子どもたちが相談できる体制づくり」が23.8%（前回15.1%）などとなっている。
- 生涯学習を充実させるためには、「学習するための施設の充実」が36.2%（前回30.7%）、「学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通じて提供する」が33.6%（前回30.4%）、「講座や教室の内容の充実」が30.4%（前回26.5%）等となっている。

(4) - 4 快適で暮らしやすいまちづくり

都市基盤

- 土地利用については、「緑豊かな緑地の保全」が 47.1% (前回 54.0%)、「店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業」が 43.8% (前回 39.8%) 等となっている。
- 都市基盤整備については、「モノレールの早期延伸」が 66.4% (前回 60.8%)、「バス路線の増加・充実」が 37.4% (前回 31.0%)、「自転車が走行しやすい空間の整備」が 32.4% 等となっている。
- 現在のモノレールについては、「利用していない」(34.0%)と「無回答」(0.4%)を除いた何らかの形で「利用している」人は 65.6% (前回 49.4%) であり、「遊びやレジャー施設へ行くために利用している」が 31.1% (前回 23.3%) となっている。
- モノレールが市内まで延伸した場合の利用は、「遊びやレジャー施設へ行くために利用する」が 29.8% (前回 27.6%)、「買物等に利用する」が 22.0% (前回 20.4%)、「通勤・通学に利用する」が 20.4% (前回 14.8%) 等であり、何らかの形で「利用する」が 85.8% (前回 76.7%) となっている。
- 移動時間と移動手段では、身近な商店への移動手段でも「自動車」が多くなっているなど、自動車への依存が高くなっている。

環境

- よりよい環境づくりのためには、「公園や緑地などの身近な緑の保全」が 32.2% (前回 29.8%)、「家庭・事業所等から出るごみの減量」が 24.9% (前回 23.8%)、「地球温暖化対策の推進」が 24.7% (前回 22.2%)、「美しい街並みの保全整備」が 24.0% (前回 19.4%) 等となっている。

(4) - 5 地域の資源を生かした特色あるまちづくり

産業

- 産業振興のため重要なことは、「特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興」が 28.4% (前回 22.2%)、「企業の誘致」が 23.3% (前回 20.5%)、「消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興」が 22.7% (前回 21.0%)、「地域ブランド認証制度を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること」が 22.2% (前回 21.3%) 等となっている。
- 武蔵村山市の観光資源としてイメージするのは、「村山温泉かたくりの湯」が 48.4%、「村山デエダラまつり」が 45.8%、「野山北公園・あそびの森・冒険の森」が 43.3% 等となっている。

景観

- 街並みがよく保全されていると、「そう思う」が 4.9% (前回 7.7%)、「どちらかといえばそう思う」が 32.9% (前回 32.9%)、合わせて 37.8% (40.6%) となっている。「どちらともいえない」は 25.3% (前回 28.2%) である。
- 街並みが保全されていると思わない理由は、「緑地に親しめる公園が少ない」が 42.4% (前回 48.2%)、「電線・電柱が多い」が 40.0% (前回 41.6%)、「水辺に親しめる公園

が少ない」が 37.6%（前回 40.9%）等となっている。

(4) - 6 計画の推進に向けて

行政運営

- 過去 1 年間に各種手続きや相談のために市役所を訪問したことがある人の割合は、「はい」が 65.6%、「いいえ」が 24.2%となっている。
- 市職員の対応等については、各項目とも「満足している」と「どちらかといえば満足」を合わせた「満足」が多くなっているが、唯一 50%に満たないのが「案内表示の分かりやすさ」(43.3%) である。
- 民間事業者に窓口業務を委託することについては、「経費が削減されるならサービスは民間事業者等に任せた方がよい」が 28.7%、「経費は同じでもサービスが向上するなら民間事業者等に任せた方がよい」が 28.2%、「今までどおり市職員の対応がよい」が 22.9%となっている。
- 公共施設の今後の方向については、「現状維持」と「拡充すべき」を合わせた存続を希望する施設が多い中、50%に満たない施設は「公民館」(40.5%) と「集会所」(42.7%) である。
- インターネットを活用した行政サービスで充実すべきなのは、「証明書発行の申請」が 54.0%（前回 40.3%）、「公共施設の予約」が 45.1%（前回 32.9%）、「医療・福祉サービスの申請」が 41.6%（前回 33.2%）等となっている。

財政運営

- 歳出と行政サービスの水準については、「次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げていくべき」が 44.2%となっている。
- 福祉に関するサービス水準については、「福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が 32.9%となっている。
- 道路や公共施設などの整備水準については、「道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が 35.8%となっている。
- 公共施設の使用料とサービス水準については、「公共施設の使用料の見直しなど、受益者の負担が増えることはやむを得ない」が 50.0%となっている。

広域行政

- 広域行政については、「コミュニティバスの連携」が 29.8%（前回 21.1%）、「図書館・集会施設の広域利用」が 21.6%（前回 21.8%）、「福祉サービスの相互利用」が 20.2%（前回選択肢無し）となっている。

市民意識調査の結果

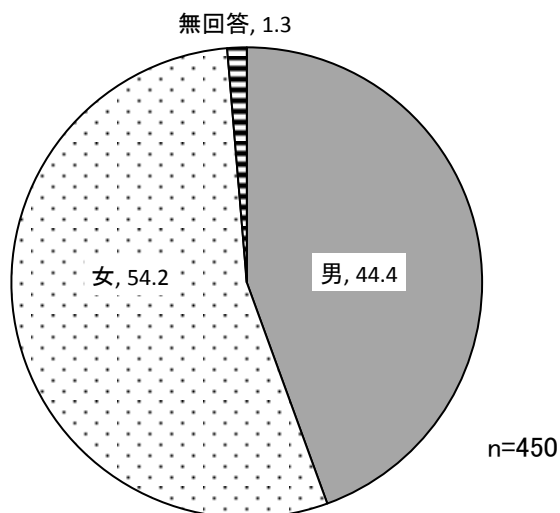
1.あなた（回答者）自身について

問1 あなたの性別について（○は1つ） ※あなたの現在の性自認でお答えください。

回答者のうち、「女性」が54.2%、「男性」が44.4%である。

項目	件数	割合
男	200	44.4%
女	244	54.2%
無回答	6	1.3%

n=450

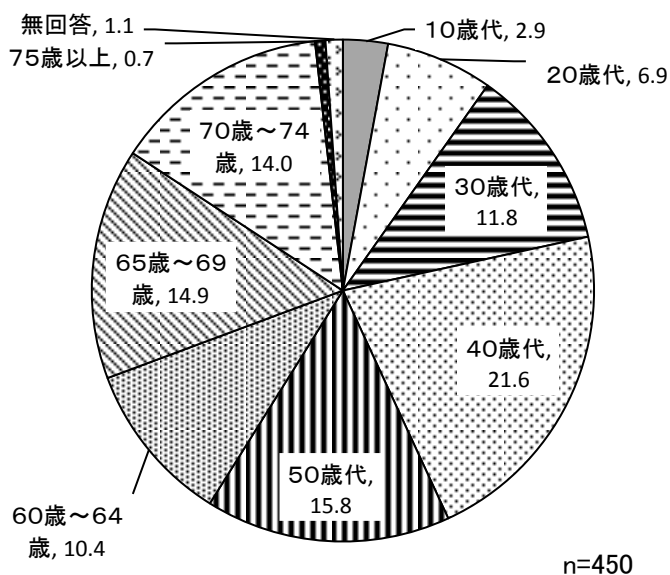


問2 あなたの年齢について（○は1つ）

回答者の年齢層については、「40歳代」が21.6%で最も多く、次いで「50歳代」(15.8%)、「65歳～69歳」(14.9%)、「70歳～74歳」(14.0%)と続く。

項目	件数	割合
10歳代	13	2.9%
20歳代	31	6.9%
30歳代	53	11.8%
40歳代	97	21.6%
50歳代	71	15.8%
60歳～64歳	47	10.4%
65歳～69歳	67	14.9%
70歳～74歳	63	14.0%
75歳以上	3	0.7%
無回答	5	1.1%

n=450

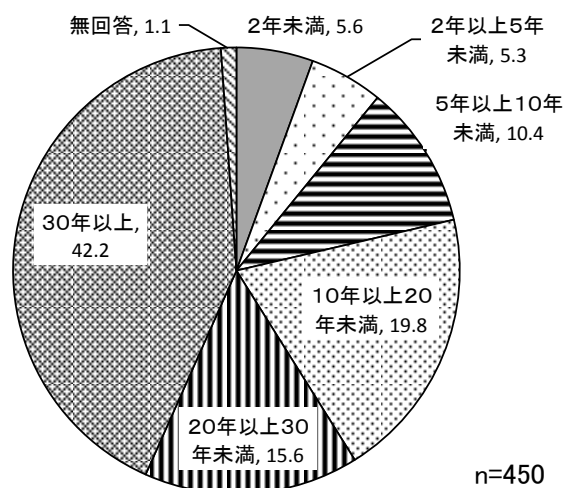


問3 武蔵村山市内での居住年数について (○は1つ)

回答者の市内居住年数については、「30年以上」が42.2%で最も多く、以下「10年以上20年未満」(19.8%)、「20年以上30年未満」(15.6%)、「5年以上10年未満」(10.4%)の順である。

項目	件数	割合
2年未満	25	5.6%
2年以上5年未満	24	5.3%
5年以上10年未満	47	10.4%
10年以上20年未満	89	19.8%
20年以上30年未満	70	15.6%
30年以上	190	42.2%
無回答	5	1.1%

n=450



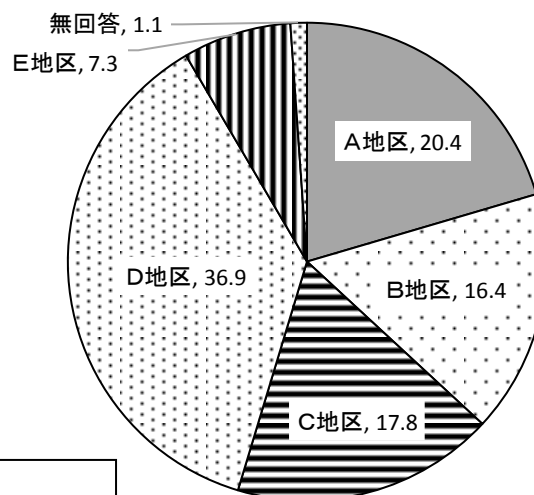
n=450

問4 あなたがお住まいの地区について (○は1つ)

回答者の居住地区については、「D地区」が36.9%で最も多く、次いで「A地区」(20.4%)、「C地区」(17.8%)、「B地区」(16.4%)の順である。

項目	件数	割合
A地区	92	20.4%
B地区	74	16.4%
C地区	80	17.8%
D地区	166	36.9%
E地区	33	7.3%
無回答	5	1.1%

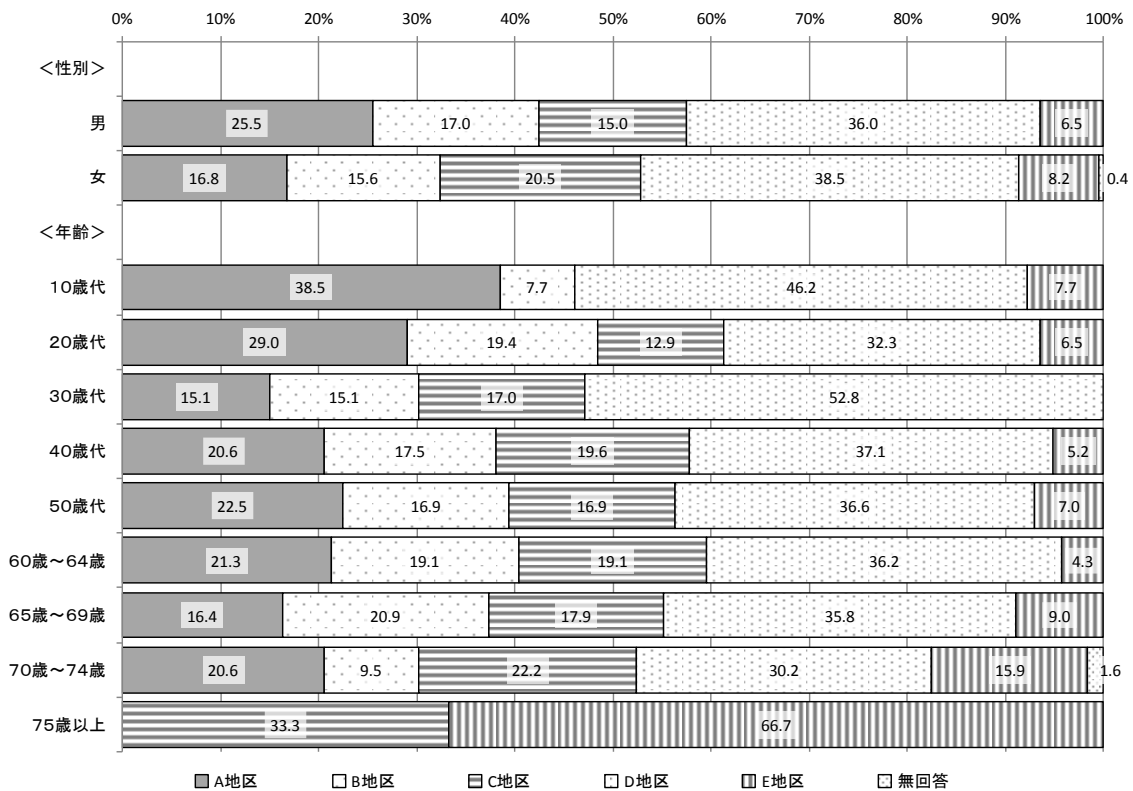
n=450



n=450

【凡例】

- A地区：中藤、神明、中央、本町
- B地区：岸、三ツ木、中原
- C地区：三ツ藤、伊奈平、残堀
- D地区：榎、学園、大南
- E地区：緑が丘



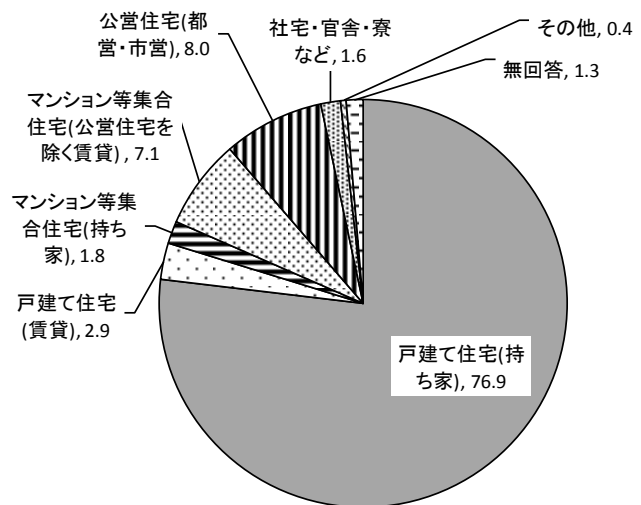
n=450

問5 あなたのお住まいについて (〇は1つ)

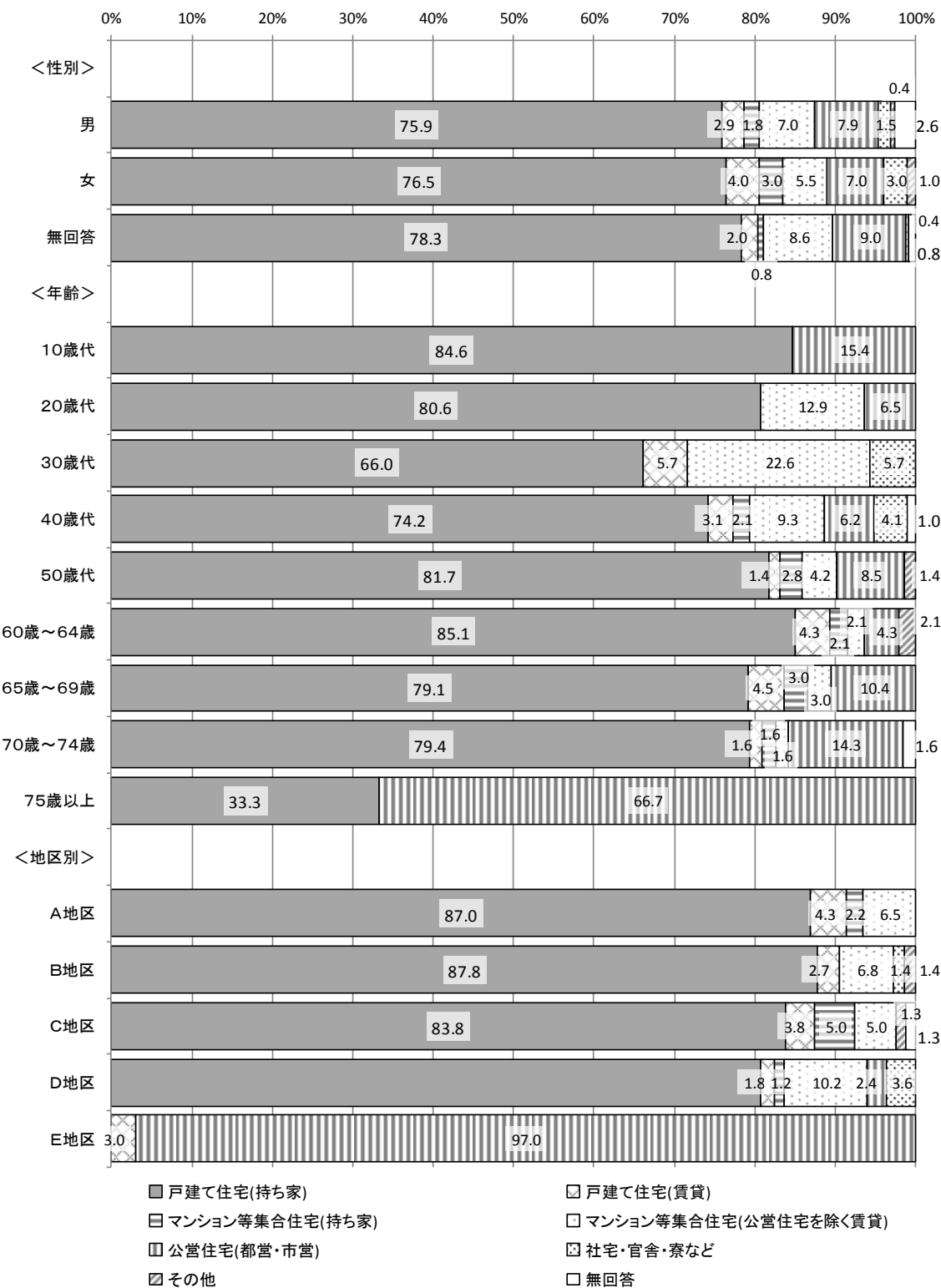
回答者の住居種別については、「戸建て住宅(持ち家)」が76.9%で最も多く、次いで「公営住宅(都営・市営)」(8.0%)、「マンション等集合住宅(公営住宅を除く賃貸)」(7.1%)、「戸建て住宅(賃貸)」(2.9%)と続く。

項目	件数	割合
戸建て住宅(持ち家)	346	76.9%
戸建て住宅(賃貸)	13	2.9%
マンション等集合住宅(持ち家)	8	1.8%
マンション等集合住宅(公営住宅を除く賃貸)	32	7.1%
公営住宅(都営・市営)	36	8.0%
社宅・官舎・寮など	7	1.6%
その他	2	0.4%
無回答	6	1.3%

n=450



n=450



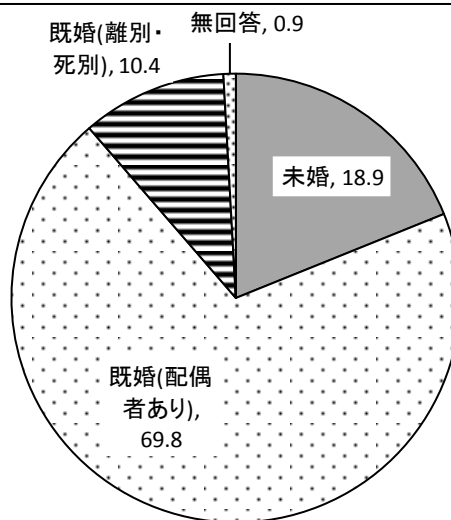
n=450

問6 あなたは結婚していますか。(〇は1つ)

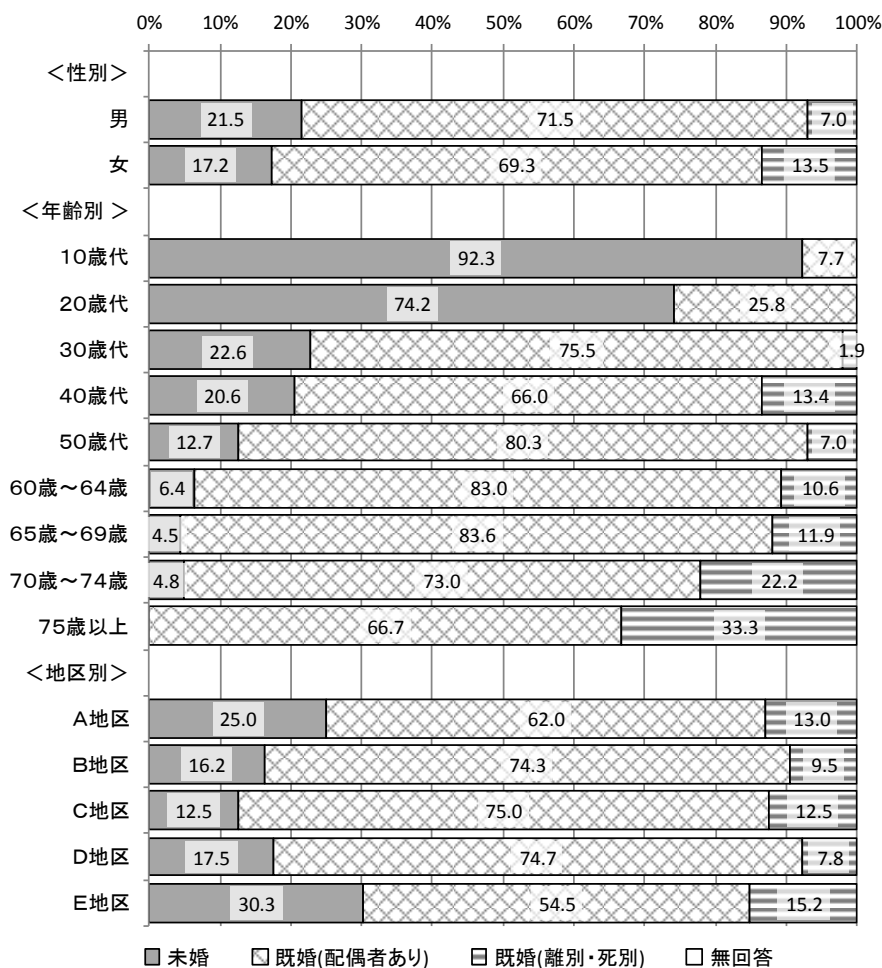
回答者の未婚、既婚の別については、「既婚(配偶者あり)」が69.8%で最も多く、以下「未婚」(18.9%)、「既婚(離別・死別)」(10.4%)の順である。

項目	件数	割合
未婚	85	18.9%
既婚(配偶者あり)	314	69.8%
既婚(離別・死別)	47	10.4%
無回答	4	0.9%

n=450



n=450



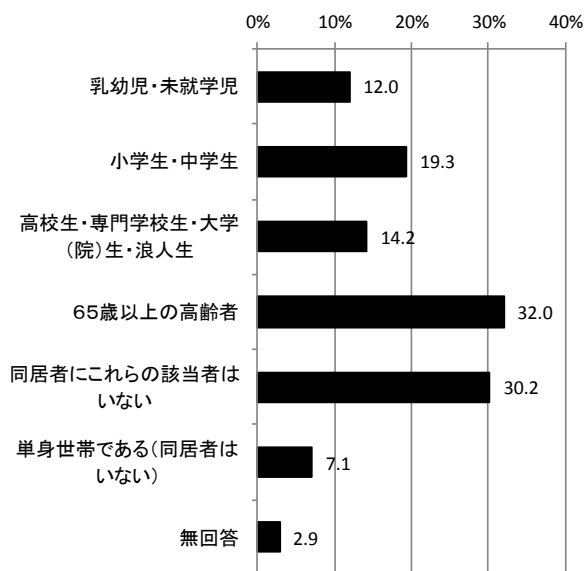
n=450

問7 一緒にお住まいの方で、次に該当する方はいらっしゃいますか。(〇はいくつでも)

回答者と同居する者については、「65歳以上の高齢者」が32.0%で最も多かった。以下、「同居者にこれらの該当者はいない」(30.2%)、「小学生・中学生」(19.3%)、「高校生・専門学校生・大学(院)生・浪人生」(14.2%)、「乳幼児・未就学児」(12.0%)の順である。

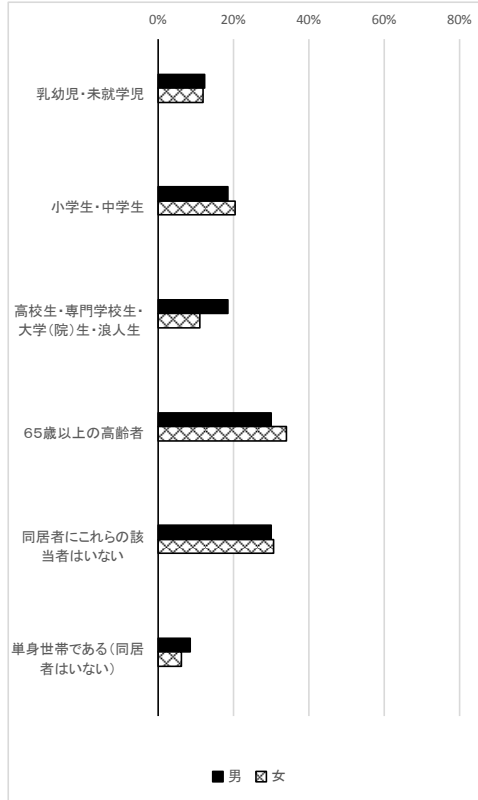
項目	件数	割合
乳幼児・未就学児	54	12.0%
小学生・中学生	87	19.3%
高校生・専門学校生・ 大学(院)生・浪人生	64	14.2%
65歳以上の高齢者	144	32.0%
同居者にこれらの 該当者はいない	136	30.2%
単身世帯である (同居者はいない)	32	7.1%
無回答	13	2.9%

n=450

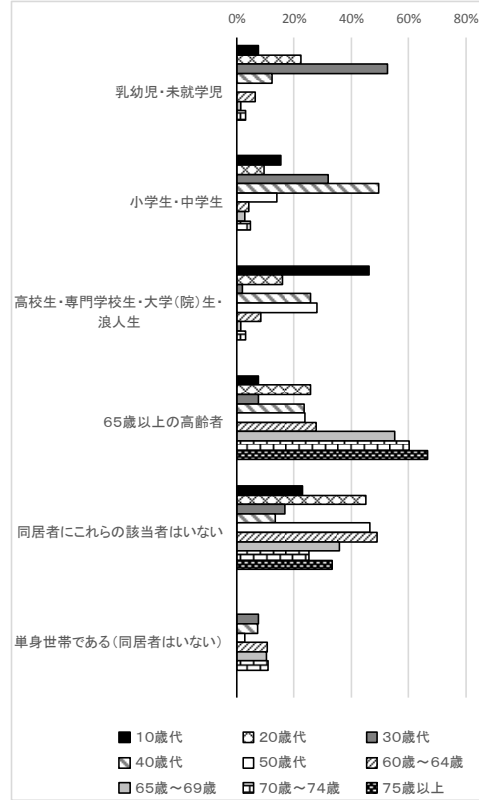


n=450

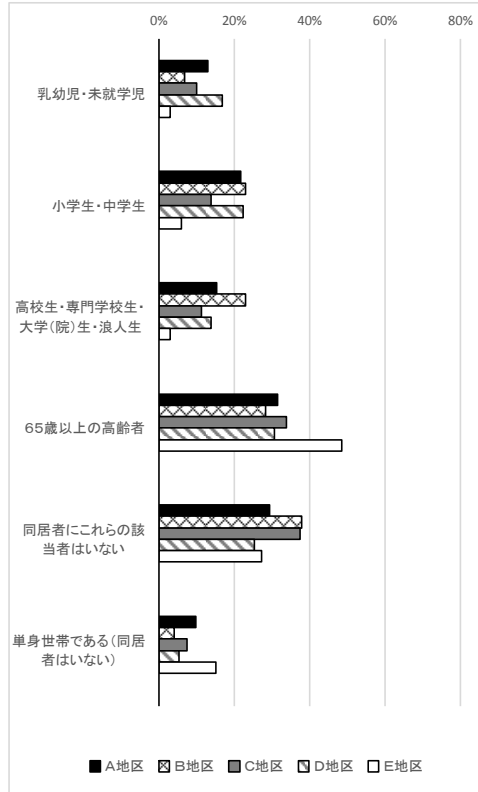
<性別>



<年齢別>



<地区別>



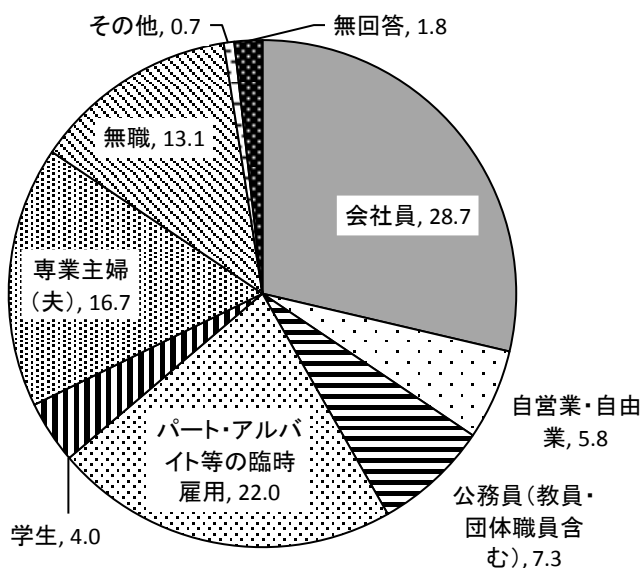
n=450

問8 あなたの職業について (○は1つ)

回答者の職業については、「会社員」(28.7%)、「パート・アルバイト等の臨時雇用」(22.0%)、「専業主婦(夫)」(16.7%)、「無職」(13.1%)の順が多い。

項目	件数	割合
会社員	129	28.7%
自営業・自由業	26	5.8%
公務員(教員・団体職員含む)	33	7.3%
パート・アルバイト等の臨時雇用	99	22.0%
学生	18	4.0%
専業主婦(夫)	75	16.7%
無職	59	13.1%
その他	3	0.7%
無回答	8	1.8%

n=450



n=450

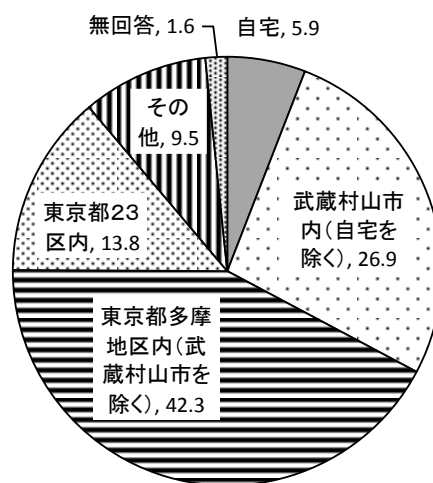
問8-2 【問8で「会社員」、「自営業・自由業」、「公務員(教員・団体職員含む)」、「パート・アルバイト等の臨時雇用」、「学生」と回答した方にお聞きします。】

あなたの職場(通学地)は。(○は1つ)

回答者の職場(通学地)については、「東京都多摩地区内(武蔵村山市を除く)」が42.3%で最も多く、次いで「武蔵村山市内(自宅を除く)」(26.9%)、「東京都23区内」(13.8%)の順である。

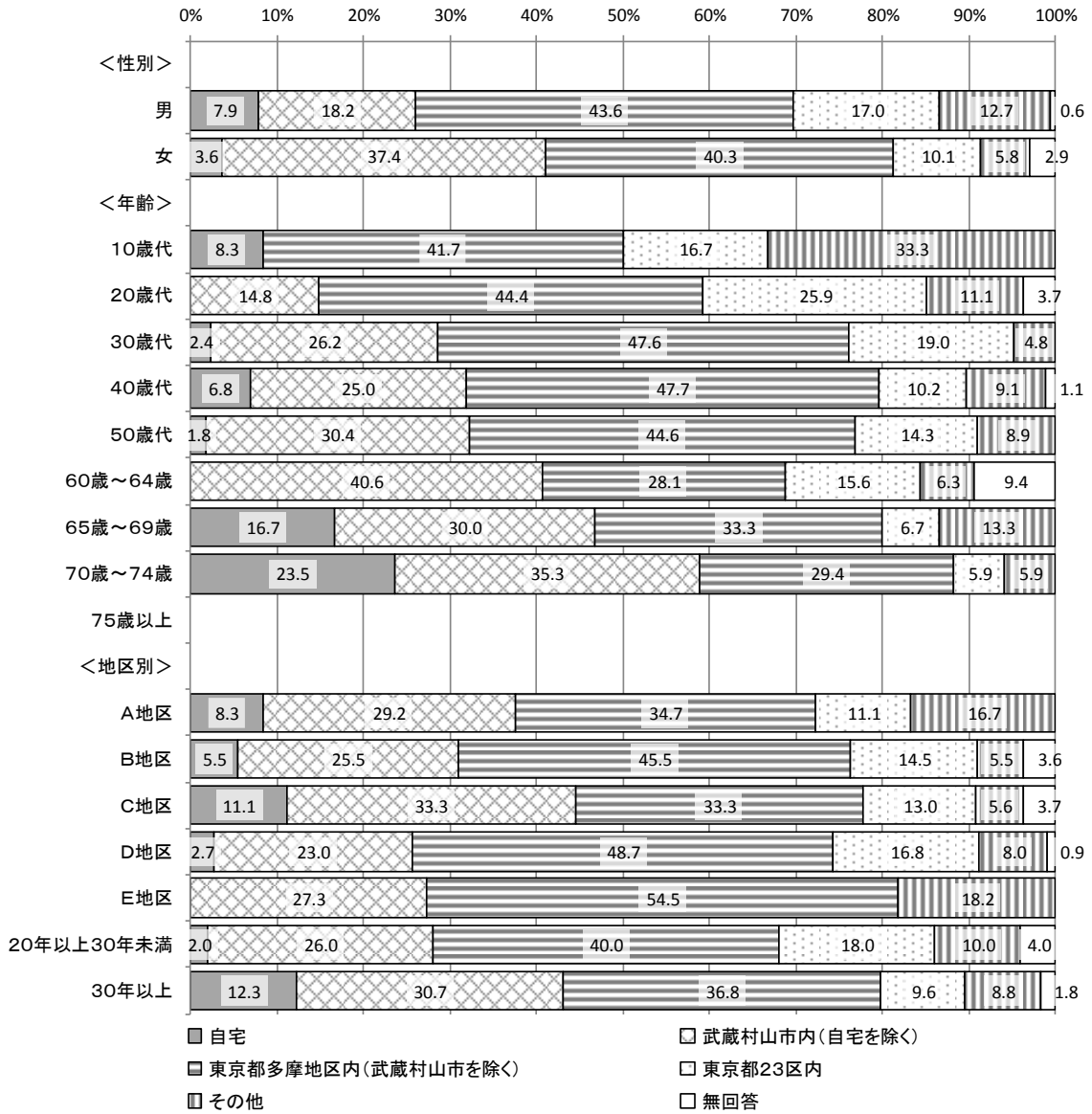
項目	件数	割合
自宅	18	5.9%
武蔵村山市内(自宅を除く)	82	26.9%
東京都多摩地区内(武蔵村山市を除く)	129	42.3%
東京都23区内	42	13.8%
その他	29	9.5%
無回答	5	1.6%

n=305



n=305

(「その他」の詳細) 埼玉県内12、神奈川県内5



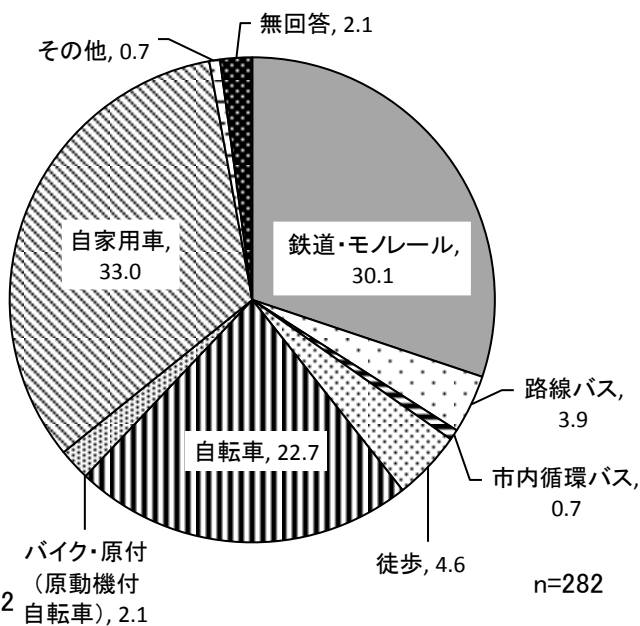
n=305

問 8-3 【問 8-2 で「武蔵村山市内(自宅を除く)」、「東京都多摩地区内(武蔵村山市を除く)」、「東京都 2 3 区内」、「その他」と回答した方にお聞きします。】

職場(通学地)までの主な交通手段は。(○は1つ)

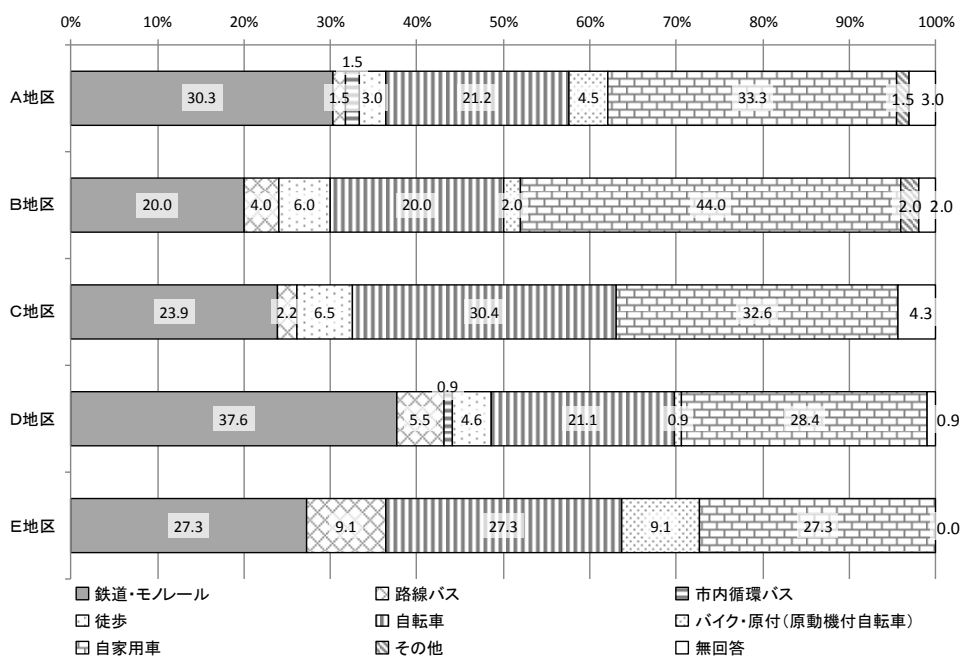
自宅以外の職場(通学地)までの主要交通手段については、「自家用車」とする回答が33.0%で最も多く、次いで「鉄道・モノレール」(30.1%)、「自転車」(22.7%)の順である。

項目	件数	割合
鉄道・モノレール	85	30.1%
路線バス	11	3.9%
市内循環バス	2	0.7%
徒歩	13	4.6%
自転車	64	22.7%
バイク・原付 (原動機付自転車)	6	2.1%
自家用車	93	33.0%
その他	2	0.7%
無回答	6	2.1%



※ただし、「自家用車」には「社用車」を含む。

<地区別>

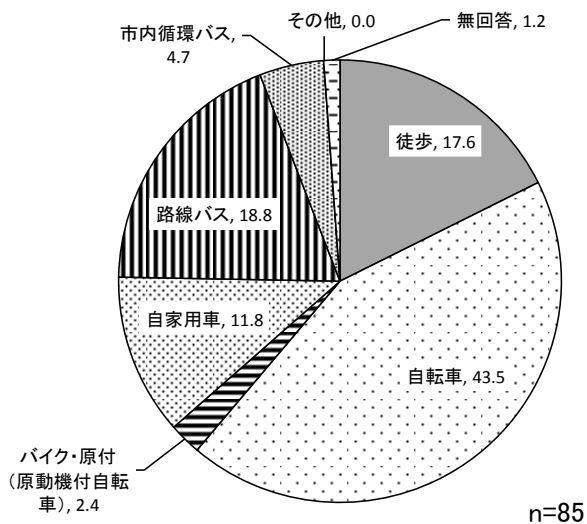


問 8-4 【問 8-3 で「鉄道・モノレール」と回答した方にお聞きします。】

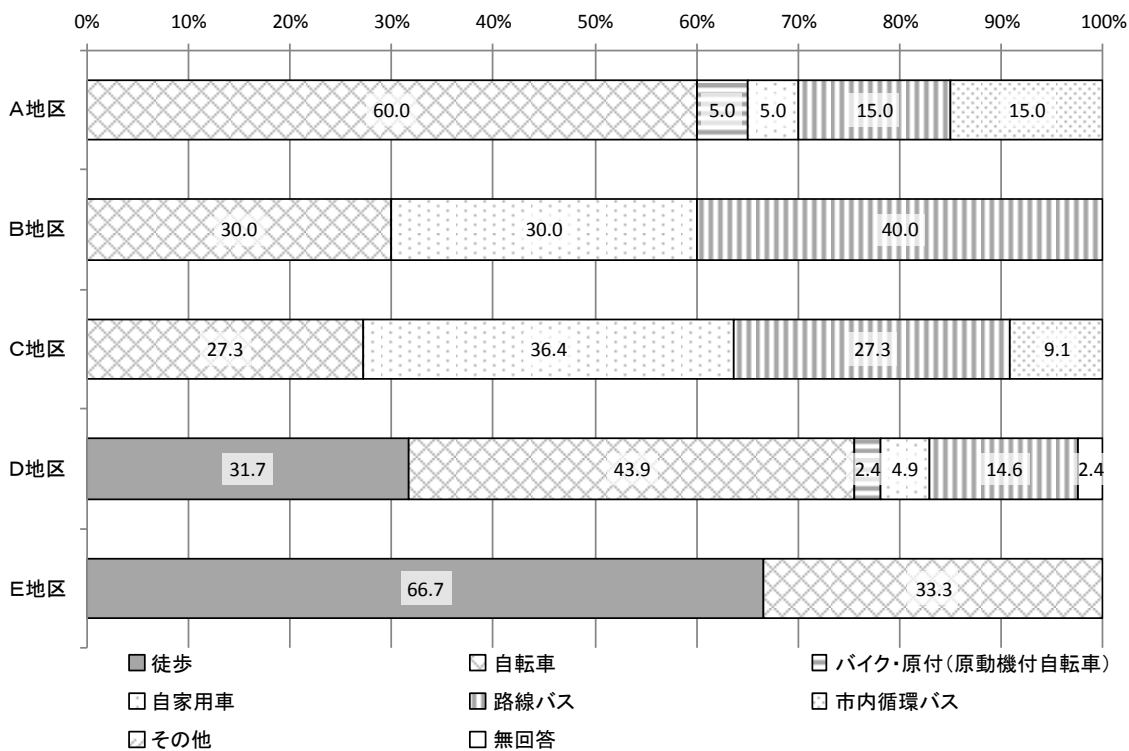
最寄駅までの交通手段は。(○は1つ)

鉄道・モノレールを利用して通勤・通学するとした回答者の、最寄駅までの交通手段としては、「自転車」(43.5%)、「路線バス」(18.8%)、「徒歩」(17.6%)の順である。

項目	件数	割合
徒歩	15	17.6%
自転車	37	43.5%
バイク・原付 (原動機付自転車)	2	2.4%
自家用車	10	11.8%
路線バス	16	18.8%
市内循環バス	4	4.7%
その他	0	0.0%
無回答	1	1.2%



<地区別>



n=85

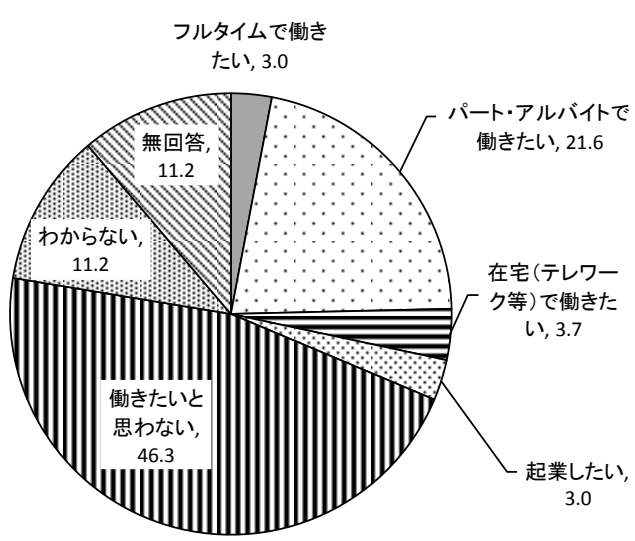
問 8-5 【問 8 で「専業主婦（夫）」又は「無職」と回答した方にお聞きします。】

希望する働き方についてどのように考えていますか。（○は 1 つ）

「専業主婦（夫）」あるいは「無職」とした回答者が希望する働き方については、「働きたいと思わない」とする回答が全体の 46.3% を占める。
 働くことを希望する回答の中では、「パート・アルバイトで働きたい」（21.6%）、「在宅（テレワーク等）で働きたい」（3.7%）の順である。

項目	件数	割合
フルタイムで働きたい	4	3.0%
パート・アルバイトで働きたい	29	21.6%
在宅（テレワーク等）で働きたい	5	3.7%
起業したい	4	3.0%
働きたいと思わない	62	46.3%
わからない	15	11.2%
無回答	15	11.2%

n=134



n=134

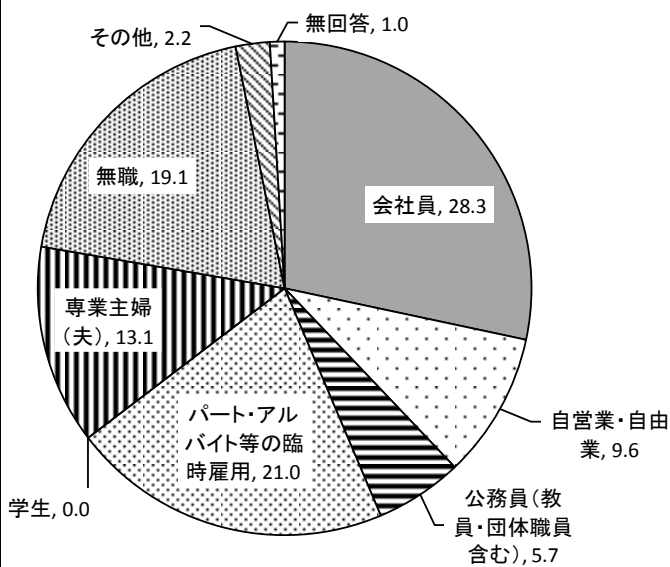
問9 【結婚している方のみお答えください。】

あなたの配偶者の職業は次のどれですか。(○は1つ)

回答者の配偶者の職業については、「会社員」が28.3%で最も多く、以下「パート・アルバイト等の臨時雇用」(21.0%)、「無職」(19.1%)、「専業主婦(夫)」(13.1%)の順である。

項目	件数	割合
会社員	89	28.3%
自営業・自由業	30	9.6%
公務員(教員・団体職員含む)	18	5.7%
パート・アルバイト等の臨時雇用	66	21.0%
学生	0	0.0%
専業主婦(夫)	41	13.1%
無職	60	19.1%
その他	7	2.2%
無回答	3	1.0%

n=314



n=314

2. 武蔵村山市に住んで感じたこと

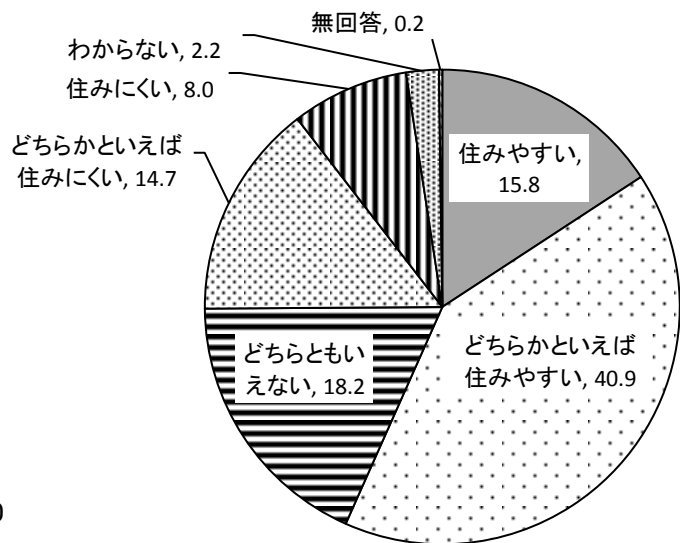
問10 武蔵村山市は住みやすいですか。(○は1つ)

住みやすさに対する回答者の認識としては、「どちらかといえば住みやすい」が40.9%で最も多く、次いで「どちらともいえない」(18.2%)、「住みやすい」(15.8%)、「どちらかといえば住みにくい」(14.7%)の順である。

「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」をあわせた回答割合56.7%は、前回の平成25年調査の50.7%よりも6.0ポイント上昇している。

項目	件数	割合
住みやすい	71	15.8%
どちらかといえば住みやすい	184	40.9%
どちらともいえない	82	18.2%
どちらかといえば住みにくい	66	14.7%
住みにくい	36	8.0%
わからない	10	2.2%
無回答	1	0.2%

n=450

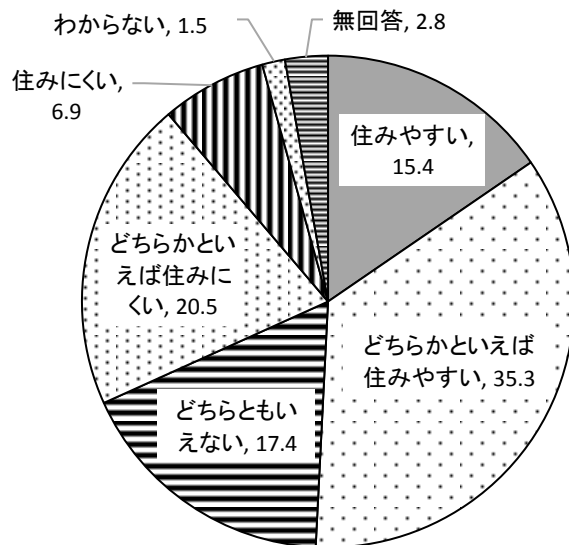


n=450

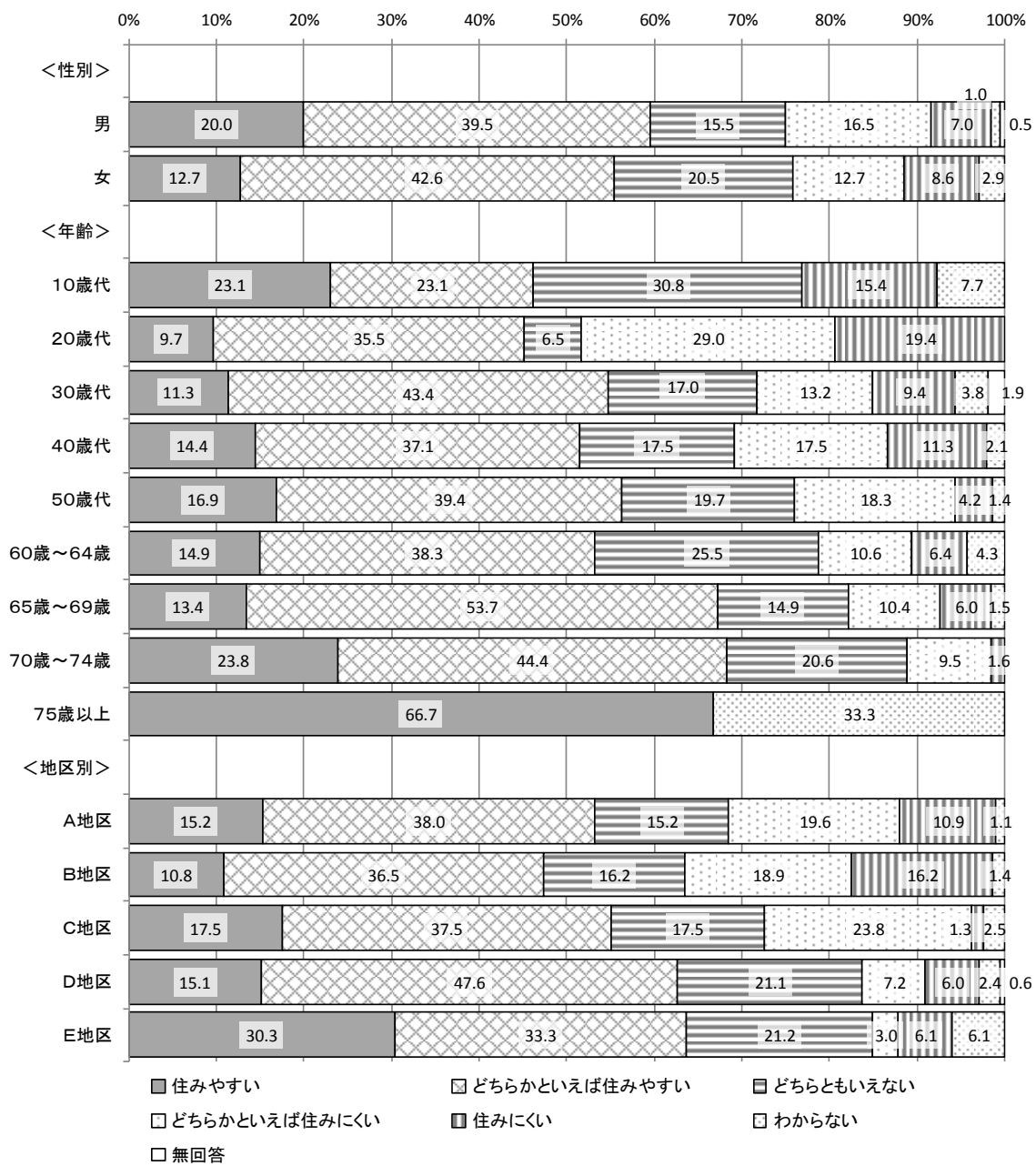
【参考】平成25年調査

項目	割合
住みやすい	15.4%
どちらかといえば住みやすい	35.3%
どちらともいえない	17.4%
どちらかといえば住みにくい	20.5%
住みにくい	6.9%
わからない	1.5%
無回答	2.8%

n=648



n=648

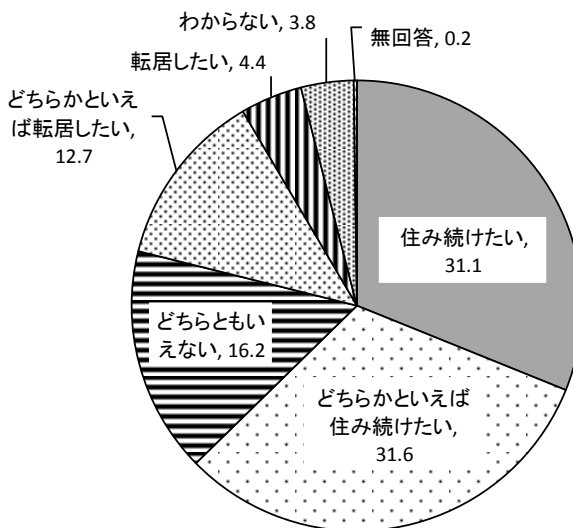


n=450

問11 あなたは、これからも武蔵村山市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

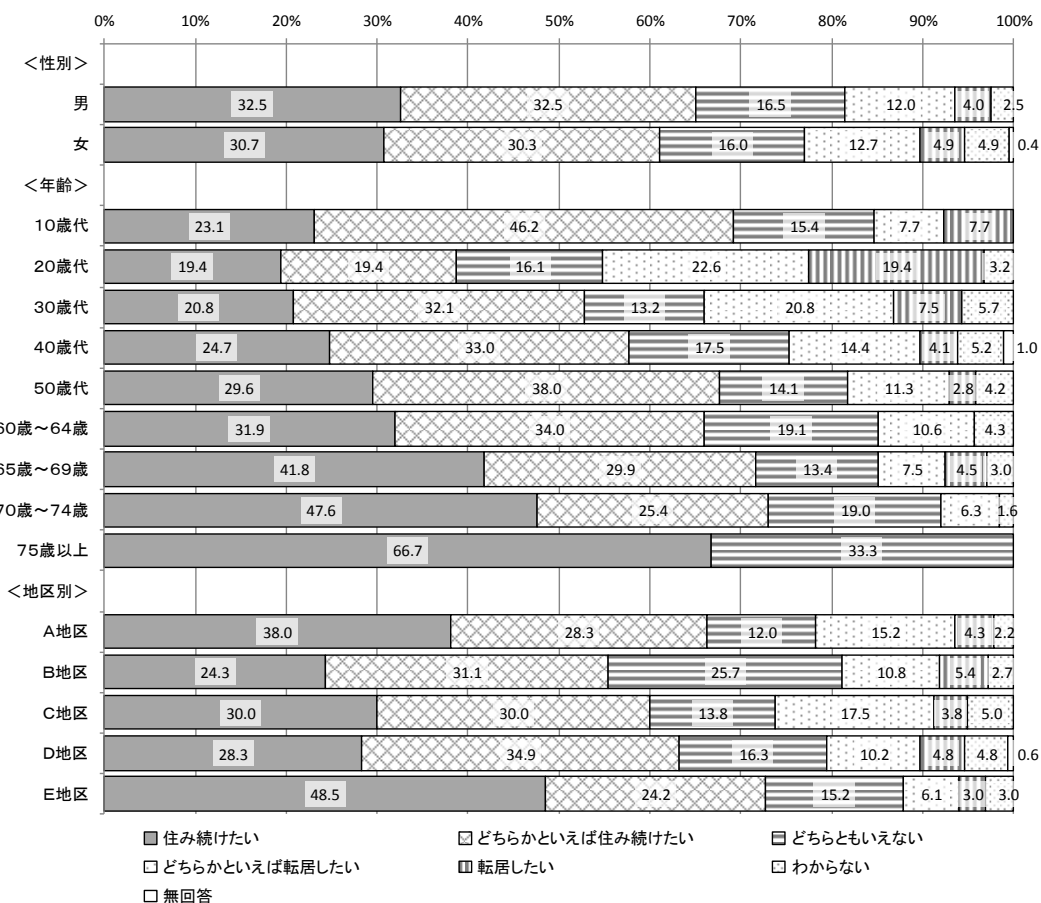
回答者の継続居住への意向については、「どちらかといえば住み続けたい」が31.6%、「住み続けたい」が31.1%をそれぞれ占める。以下、「どちらともいえない」(16.2%)、「どちらかといえば転居したい」(12.7%)の順である。

項目	件数	割合
住み続けたい	140	31.1%
どちらかといえば住み続けたい	142	31.6%
どちらともいえない	73	16.2%
どちらかといえば転居したい	57	12.7%
転居したい	20	4.4%
わからない	17	3.8%
無回答	1	0.2%



n=450

n=450



n=450

問 11-2 【問 11 で「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した方
にお聞きします。】

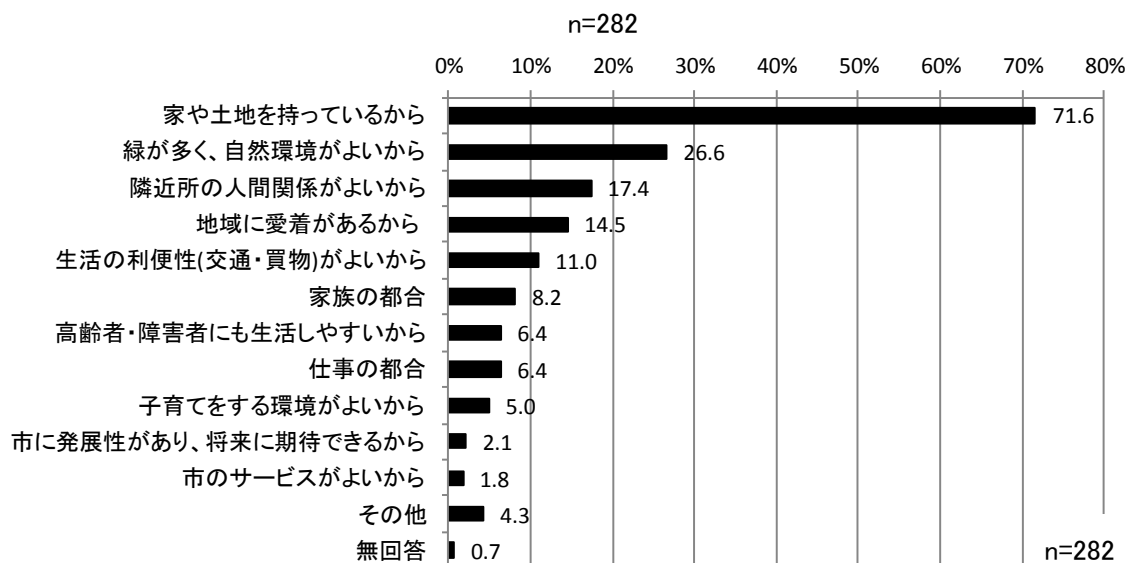
その理由は。(〇は2つまで)

住み続けたい理由としては、「家や土地を持っているから」が 71.6%で最も多く、続いて「緑が多く、自然環境がよいから」(26.6%)、「隣近所の間人間関係がよいから」(17.4%)、「地域に愛着があるから」(14.5%) の順である。

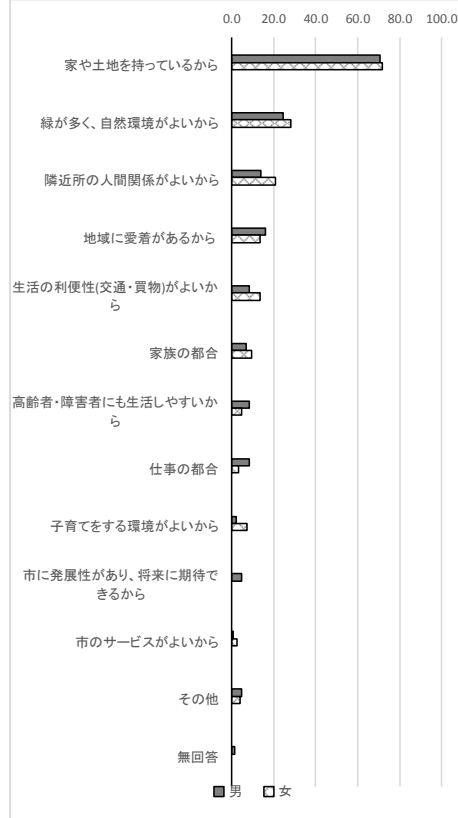
項目	件数	割合
家や土地を持っているから	202	71.6%
緑が多く、自然環境がよいから	75	26.6%
隣近所の間人間関係がよいから	49	17.4%
地域に愛着があるから	41	14.5%
生活の利便性(交通・買物)がよいから	31	11.0%
家族の都合	23	8.2%
高齢者・障害者にも生活しやすいから	18	6.4%
仕事の都合	18	6.4%
子育てをする環境がよいから	14	5.0%
市に発展性があり、将来に期待できるから	6	2.1%
市のサービスがよいから	5	1.8%
その他	12	4.3%
無回答	2	0.7%

(「その他」の詳細)

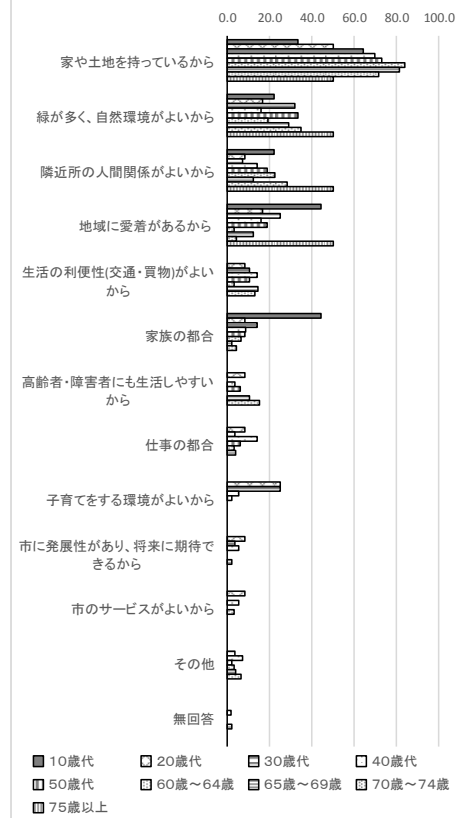
- ・自然災害がない (3 件)
- ・子供の通っている専門の病院があるから。(東京小児療育病院)
- ・施設入所中
- ・特に、お仕事に行く上で交通の便が良いのと、具合が悪い時など自転車や雨が降った時近くの医者に行けるから
- ・騒がしくないから
- ・生まれた時から住んでいるから
- ・親が土地と家を持っているから
- ・障害あるため動かない
- ・不自由さに耐えることも人生。生活環境を変えるための経済負担に耐えられない



<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=282

問 11-3 【問 11 で「どちらかといえば転居したい」又は「転居したい」と回答した方にお聞きします。】

その理由は。(〇は2つまで)

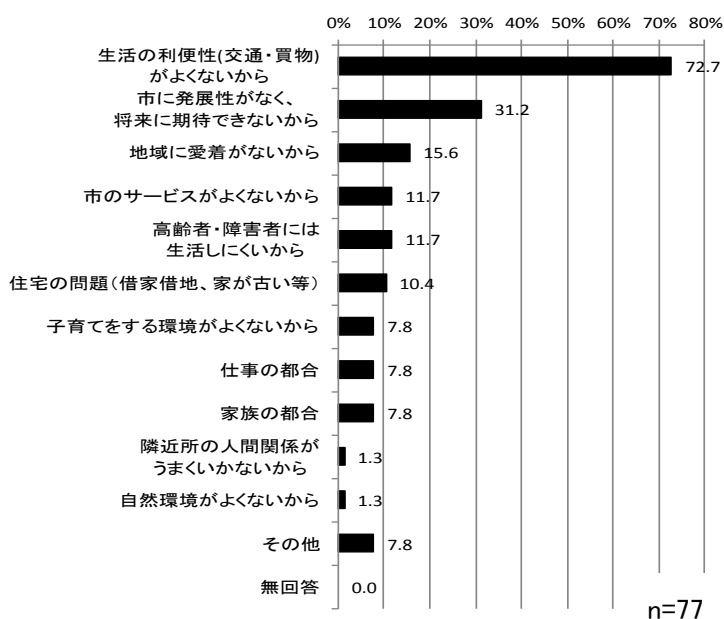
転居したい理由としては、「生活の利便性(交通・買物)がよくないから」が72.7%で最も多く、次いで「市に発展性がなく、将来に期待できないから」(31.2%)、「地域に愛着がないから」(15.6%)、「市のサービスがよくないから」及び「高齢者・障害者には生活しにくいから」(いずれも11.7%ずつ)の順である。

項目	件数	割合
生活の利便性(交通・買物)がよくないから	56	72.7%
市に発展性がなく、将来に期待できないから	24	31.2%
地域に愛着がないから	12	15.6%
市のサービスがよくないから	9	11.7%
高齢者・障害者には生活しにくいから	9	11.7%
住宅の問題(借家借地、家が古い等)	8	10.4%
子育てをする環境がよくないから	6	7.8%
仕事の都合	6	7.8%
家族の都合	6	7.8%
隣近所の人間関係がうまくいかないから	1	1.3%
自然環境がよくないから	1	1.3%
その他	6	7.8%
無回答	0	0.0%

n=77

(「その他」の詳細)

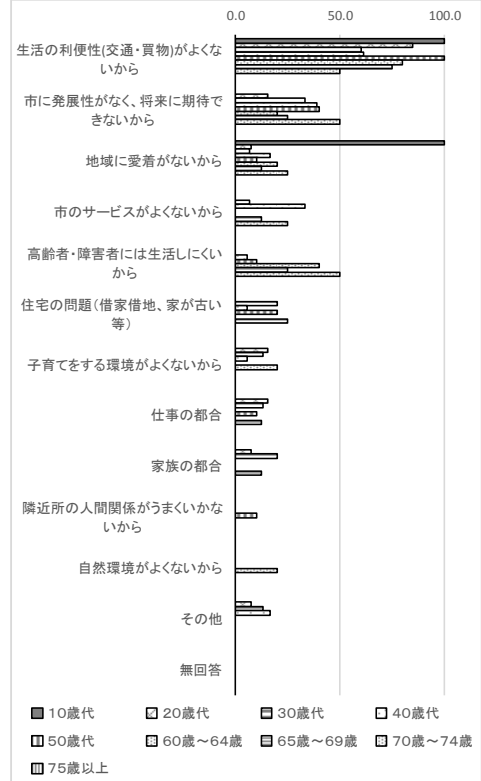
- ・ 駅がない (2件)
- ・ 道路整備が役所周りだけで、残堀・伊奈平地区は放置されているから
- ・ 実家相続の為
- ・ 市政がファシズム的
- ・ 市民意識が低いように思うから



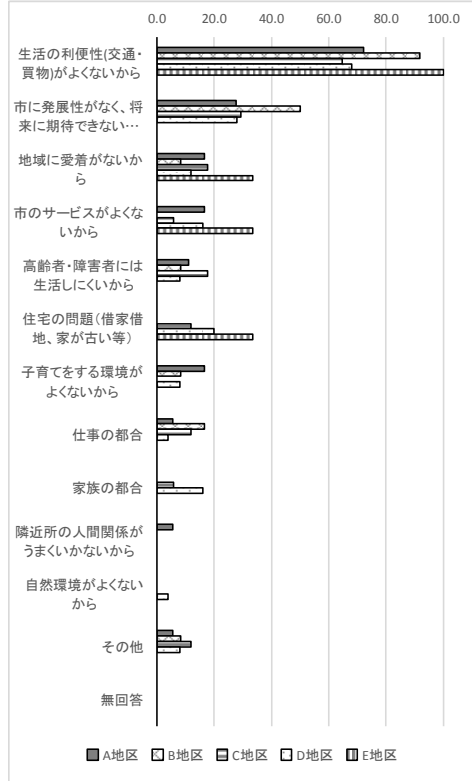
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=77

3. 市の取組に対する評価と今後への期待について

問12 次の事項（1）から（46）までについて、これまでの武蔵村山市での生活を通しての満足度はどの程度でしょうか。また、市として今後、充実すべき取組は何だと思えますか。

1 市民が自ら考え行動するまちづくり

(1) 地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動への支援

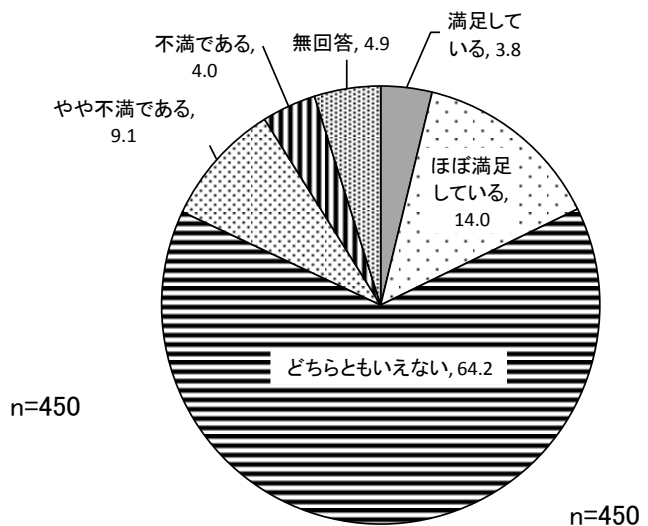
※自治会への加入促進等

満足度については、「どちらともいえない」が64.2%、「ほぼ満足している」が14.0%の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が44.0%、「やや充実してほしい」が18.4%、「充実してほしい」が17.6%の順である。

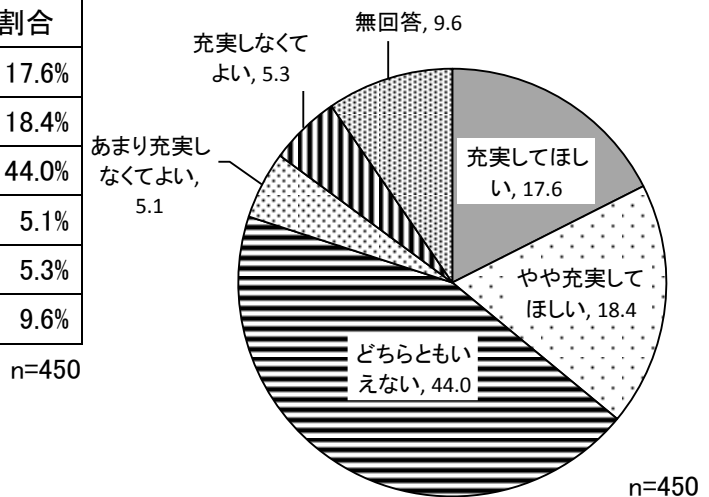
○満足度

項目	件数	割合
満足している	17	3.8%
ほぼ満足している	63	14.0%
どちらともいえない	289	64.2%
やや不満である	41	9.1%
不満である	18	4.0%
無回答	22	4.9%



○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	79	17.6%
やや充実してほしい	83	18.4%
どちらともいえない	198	44.0%
あまり充実しなくてよい	23	5.1%
充実しなくてよい	24	5.3%
無回答	43	9.6%



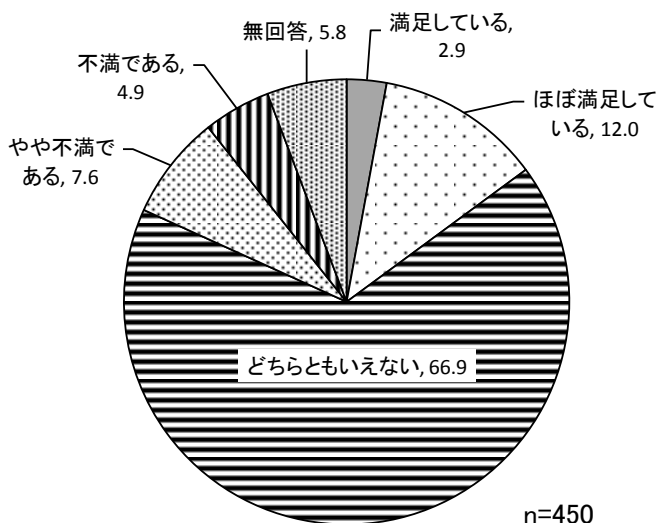
(2) 都市間交流の促進

満足度については、「どちらともいえない」が66.9%で最も多く、「ほぼ満足している」(12.0%)、「やや不満である」(7.6%)と続く。
 充実希望度については、「どちらともいえない」が48.0%で最も多く、「やや充実してほしい」(17.3%)、「充実してほしい」(16.9%)と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	13	2.9%
ほぼ満足している	54	12.0%
どちらともいえない	301	66.9%
やや不満である	34	7.6%
不満である	22	4.9%
無回答	26	5.8%

n=450

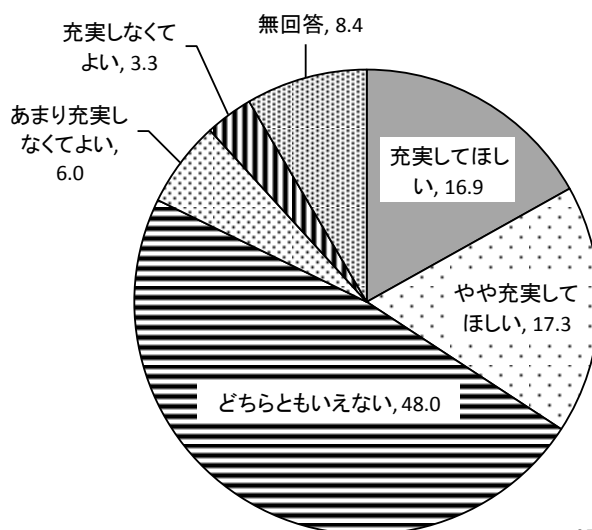


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	76	16.9%
やや充実してほしい	78	17.3%
どちらともいえない	216	48.0%
あまり充実しなくてよい	27	6.0%
充実しなくてよい	15	3.3%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

(3) 情報共有の充実

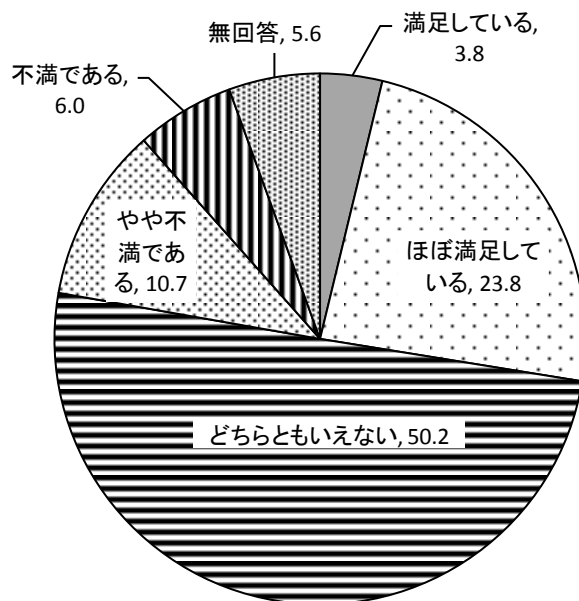
満足度については、「どちらともいえない」が 50.2%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(23.8%)、「やや不満である」(10.7%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 39.8%で最も多く、次いで「充実してほしい」(27.6%)、「やや充実してほしい」(21.1%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	17	3.8%
ほぼ満足している	107	23.8%
どちらともいえない	226	50.2%
やや不満である	48	10.7%
不満である	27	6.0%
無回答	25	5.6%

n=450

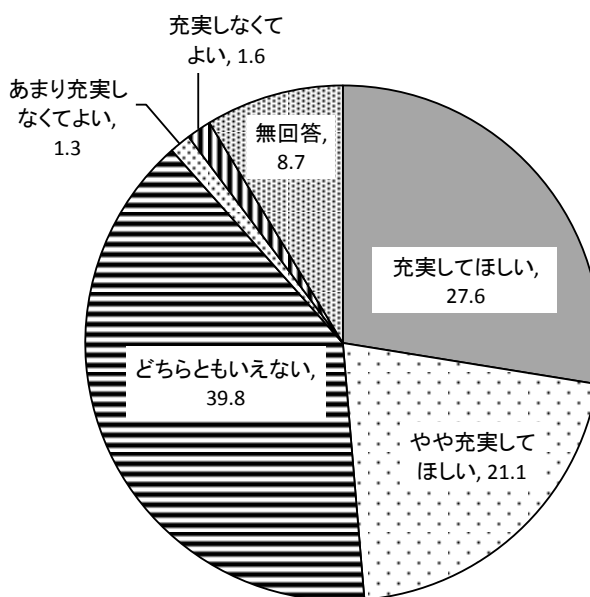


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	124	27.6%
やや充実してほしい	95	21.1%
どちらともいえない	179	39.8%
あまり充実しなくてよい	6	1.3%
充実しなくてよい	7	1.6%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

(4) 市民参加の推進と協働体制の充実

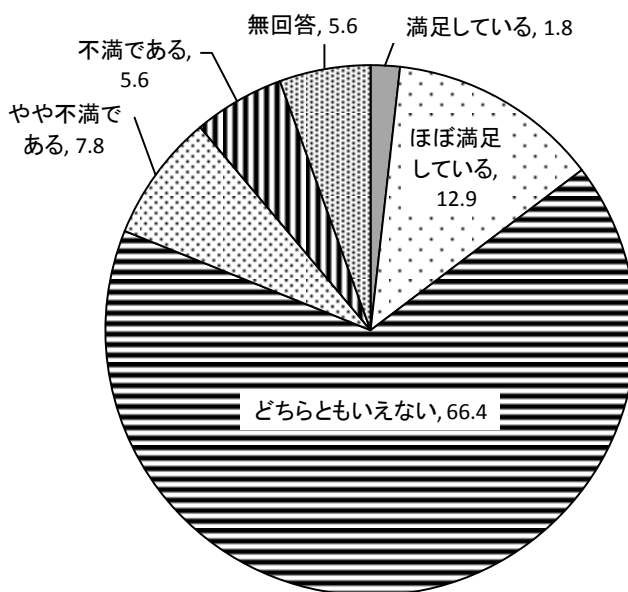
満足度については、「どちらともいえない」が 66.4%で最も多く、続いて「ほぼ満足している」(12.9%)、「やや不満である」(7.8%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 49.3%で最も多く、「充実してほしい」(21.3%)、「やや充実してほしい」(16.0%) と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	8	1.8%
ほぼ満足している	58	12.9%
どちらともいえない	299	66.4%
やや不満である	35	7.8%
不満である	25	5.6%
無回答	25	5.6%

n=450

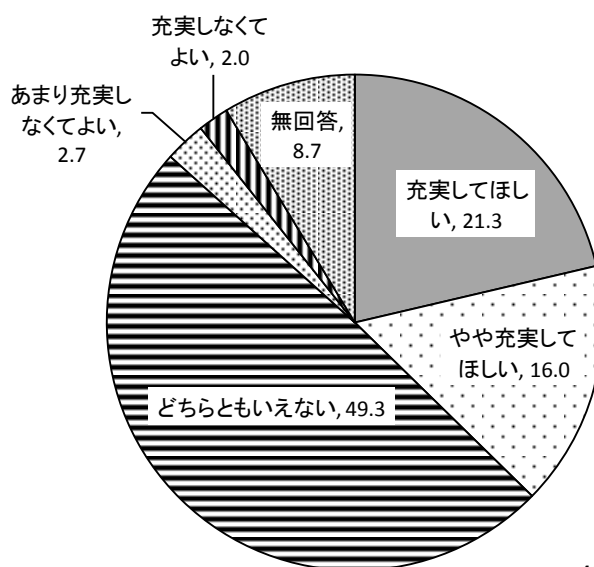


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	96	21.3%
やや充実してほしい	72	16.0%
どちらともいえない	222	49.3%
あまり充実しなくてよい	12	2.7%
充実しなくてよい	9	2.0%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

2 安心していきいきと暮らせるまちづくり

(5) 防災対策の充実・強化

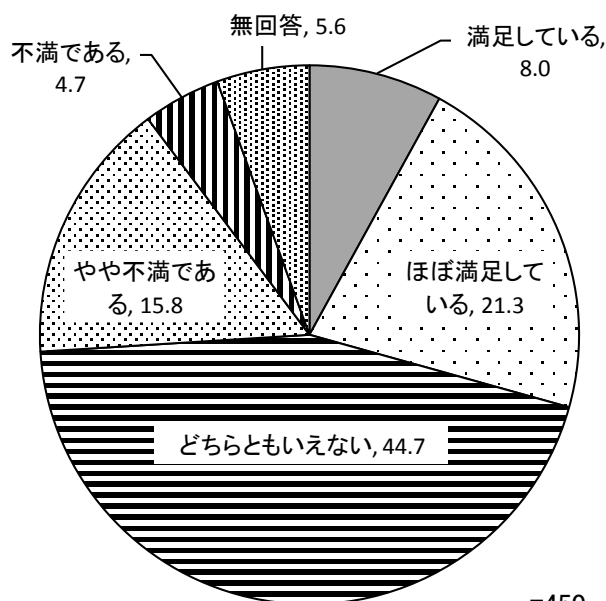
満足度については、「どちらともいえない」が44.7%で最も多く、「ほぼ満足している」(21.3%)、「やや不満である」(15.8%)と続く。

充実希望度については、「充実してほしい」が46.9%で最も多く、「どちらともいえない」(22.4%)、「やや充実してほしい」(21.3%)と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	36	8.0%
ほぼ満足している	96	21.3%
どちらともいえない	201	44.7%
やや不満である	71	15.8%
不満である	21	4.7%
無回答	25	5.6%

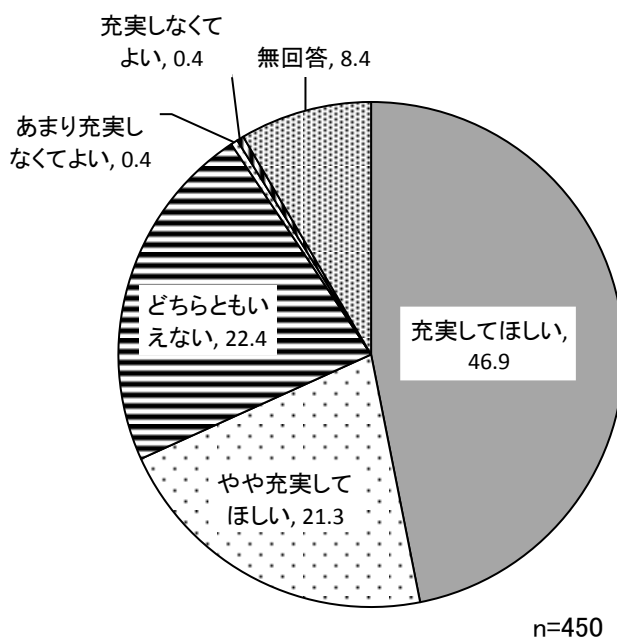
n=450



○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	211	46.9%
やや充実してほしい	96	21.3%
どちらともいえない	101	22.4%
あまり充実しなくてよい	2	0.4%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	38	8.4%

n=450



(6) 消防・救急体制の充実・強化

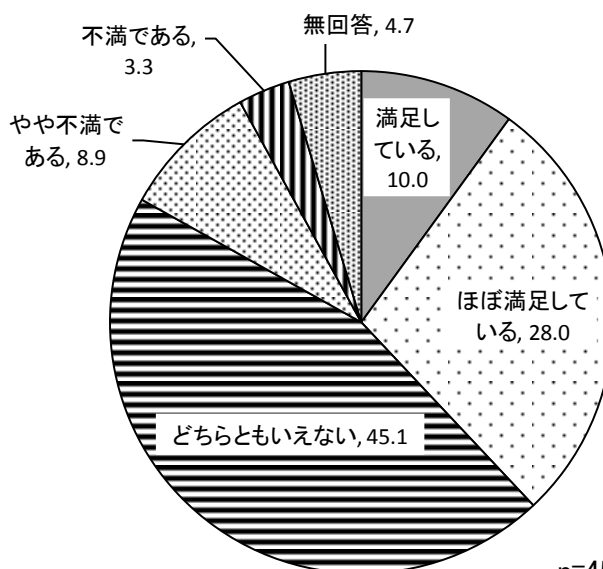
満足度については、「どちらともいえない」が45.1%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(28.0%)、「満足している」(10.0%)の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が46.9%で最も多く、「どちらともいえない」(24.7%)、「やや充実してほしい」(19.3%)と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	45	10.0%
ほぼ満足している	126	28.0%
どちらともいえない	203	45.1%
やや不満である	40	8.9%
不満である	15	3.3%
無回答	21	4.7%

n=450

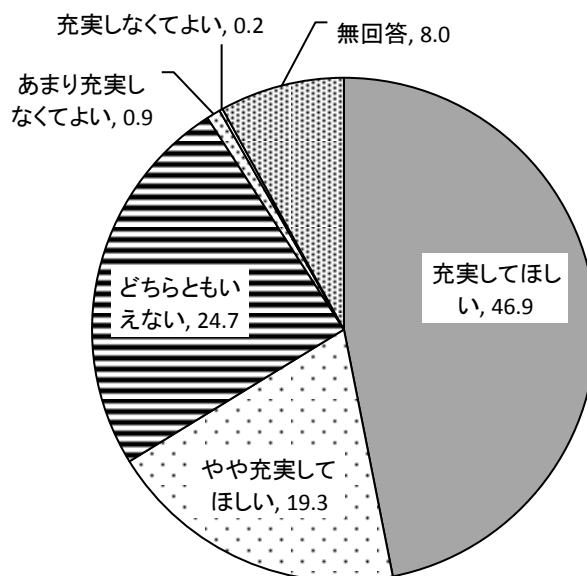


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	211	46.9%
やや充実してほしい	87	19.3%
どちらともいえない	111	24.7%
あまり充実しなくてよい	4	0.9%
充実しなくてよい	1	0.2%
無回答	36	8.0%

n=450



n=450

(7) 交通安全対策の充実・強化

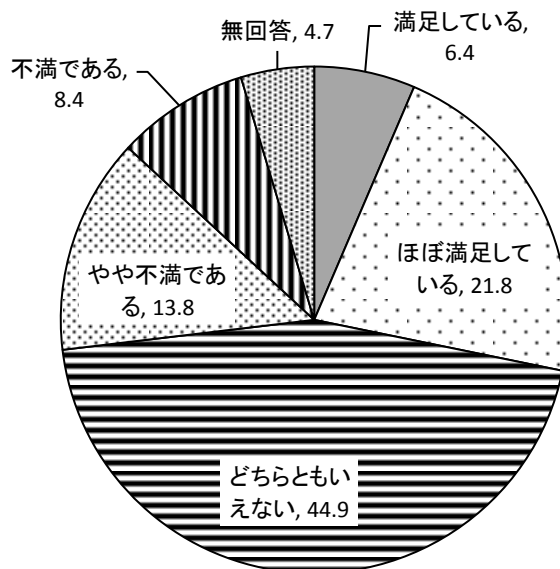
満足度については、「どちらともいえない」が 44.9%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(21.8%)、「やや不満である」(13.8%) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 44.9%で最も多く、以下「どちらともいえない」(23.8%)、「やや充実してほしい」(21.8%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	29	6.4%
ほぼ満足している	98	21.8%
どちらともいえない	202	44.9%
やや不満である	62	13.8%
不満である	38	8.4%
無回答	21	4.7%

n=450

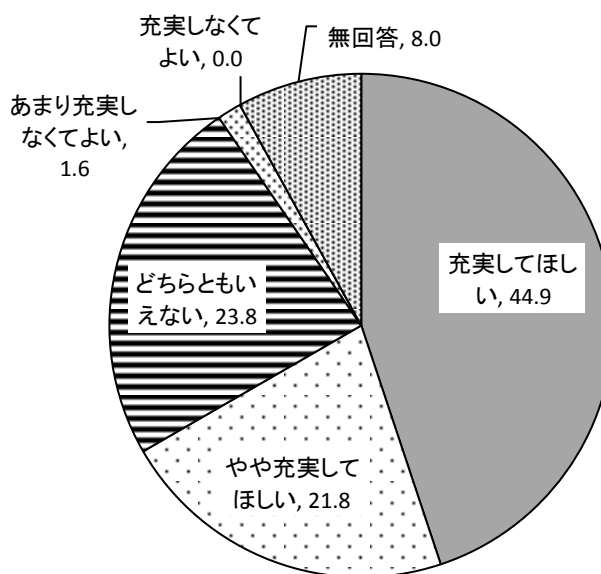


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	202	44.9%
やや充実してほしい	98	21.8%
どちらともいえない	107	23.8%
あまり充実しなくてよい	7	1.6%
充実しなくてよい	0	0.0%
無回答	36	8.0%

n=450



n=450

(8) 防犯対策の充実・強化

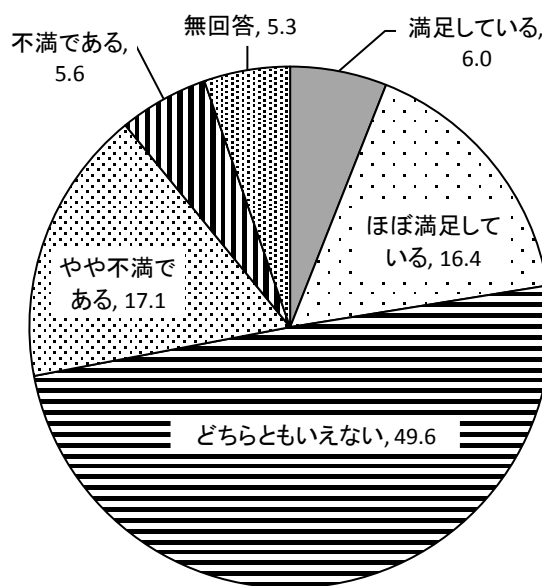
満足度については、「どちらともいえない」が 49.6%で最も多く、次いで「やや不満である」(17.1%)、「ほぼ満足している」(16.4%) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 46.2%で最も多く、以下「どちらともいえない」(22.7%)、「やや充実してほしい」(22.0%) と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	27	6.0%
ほぼ満足している	74	16.4%
どちらともいえない	223	49.6%
やや不満である	77	17.1%
不満である	25	5.6%
無回答	24	5.3%

n=450

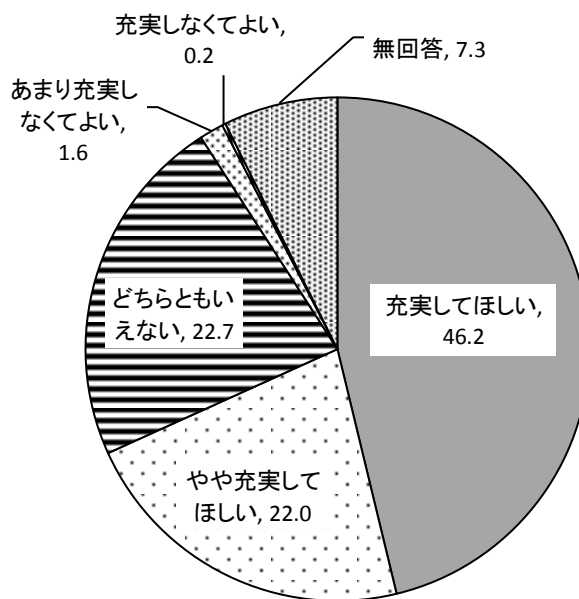


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	208	46.2%
やや充実してほしい	99	22.0%
どちらともいえない	102	22.7%
あまり充実しなくてよい	7	1.6%
充実しなくてよい	1	0.2%
無回答	33	7.3%

n=450



n=450

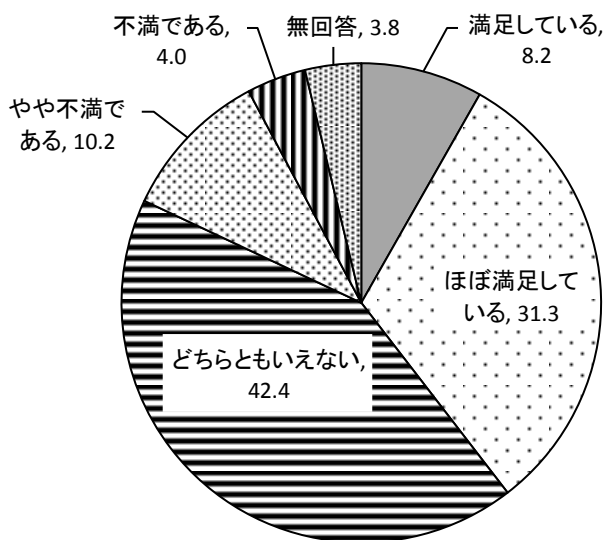
(9) 健康づくり事業の充実

満足度については、「どちらともいえない」が42.4%で最も多く、「ほぼ満足している」(31.3%)、「やや不満である」(10.2%)と続く。
 充実希望度については、「充実してほしい」が39.1%で最も多く、以下「どちらともいえない」(26.4%)、「やや充実してほしい」(23.8%)と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	37	8.2%
ほぼ満足している	141	31.3%
どちらともいえない	191	42.4%
やや不満である	46	10.2%
不満である	18	4.0%
無回答	17	3.8%

n=450

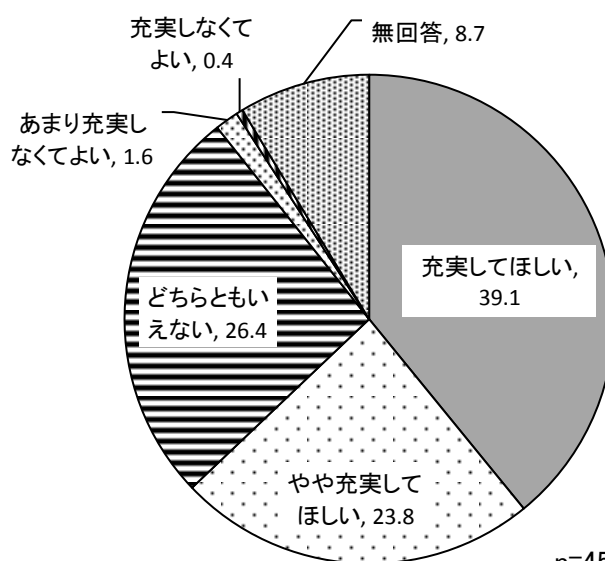


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	176	39.1%
やや充実してほしい	107	23.8%
どちらともいえない	119	26.4%
あまり充実しなくてよい	7	1.6%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

(10) スポーツ・レクリエーションの充実

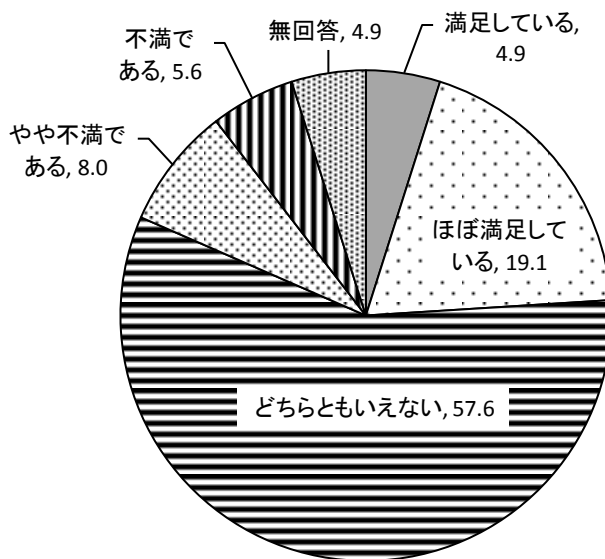
満足度については、「どちらともいえない」が57.6%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(19.1%)、「やや不満である」(8.0%)の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が37.8%で最も多く、「充実してほしい」(26.9%)、「やや充実してほしい」(20.2%)と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	22	4.9%
ほぼ満足している	86	19.1%
どちらともいえない	259	57.6%
やや不満である	36	8.0%
不満である	25	5.6%
無回答	22	4.9%

n=450

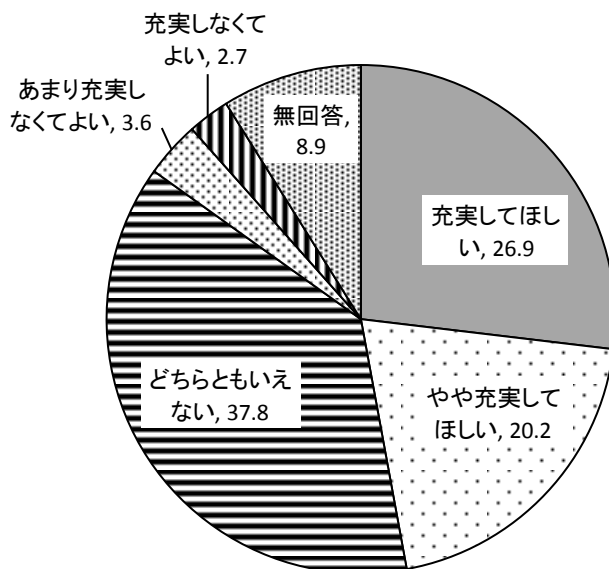


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	121	26.9%
やや充実してほしい	91	20.2%
どちらともいえない	170	37.8%
あまり充実しなくてよい	16	3.6%
充実しなくてよい	12	2.7%
無回答	40	8.9%

n=450



n=450

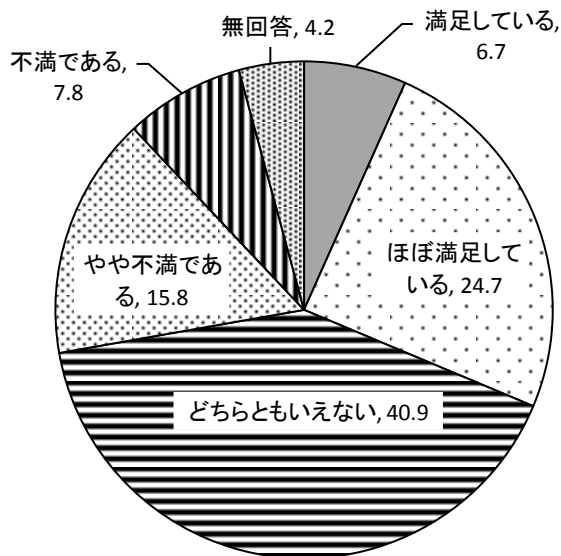
(11) 医療・救急体制の充実

満足度については、「どちらともいえない」が40.9%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(24.7%)、「やや不満である」(15.8%)の順である。
 充実希望度については、「充実してほしい」が50.4%で最も多く、「やや充実してほしい」(21.3%)、「どちらともいえない」(19.3%)と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	30	6.7%
ほぼ満足している	111	24.7%
どちらともいえない	184	40.9%
やや不満である	71	15.8%
不満である	35	7.8%
無回答	19	4.2%

n=450

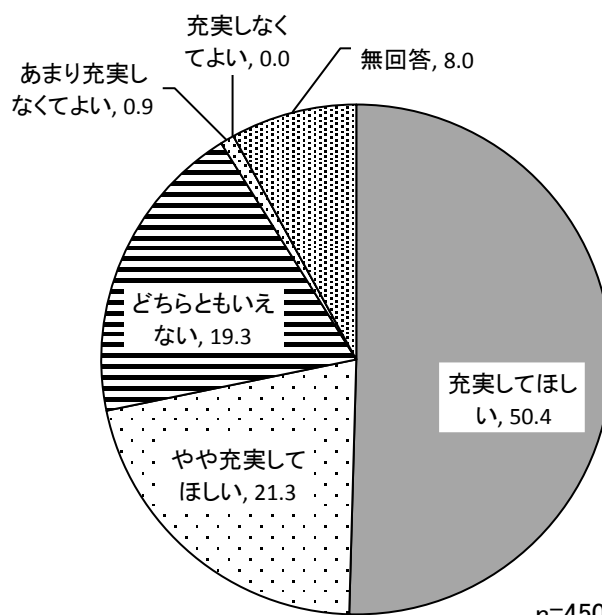


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	227	50.4%
やや充実してほしい	96	21.3%
どちらともいえない	87	19.3%
あまり充実しなくてよい	4	0.9%
充実しなくてよい	0	0.0%
無回答	36	8.0%

n=450



n=450

(12) 社会保障制度の推進

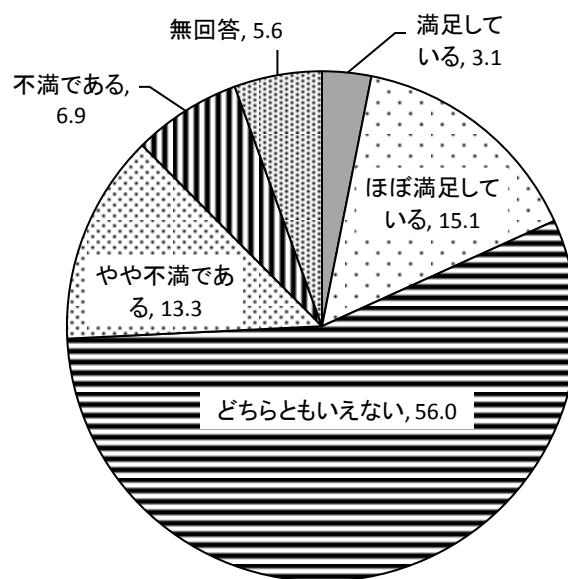
満足度については、「どちらともいえない」が 56.0%で最も多く、続いて「ほぼ満足している」(15.1%)、「やや不満である」(13.3%) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 42.9%で最も多く、以下「どちらともいえない」(26.9%)、「やや充実してほしい」(20.7%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	14	3.1%
ほぼ満足している	68	15.1%
どちらともいえない	252	56.0%
やや不満である	60	13.3%
不満である	31	6.9%
無回答	25	5.6%

n=450

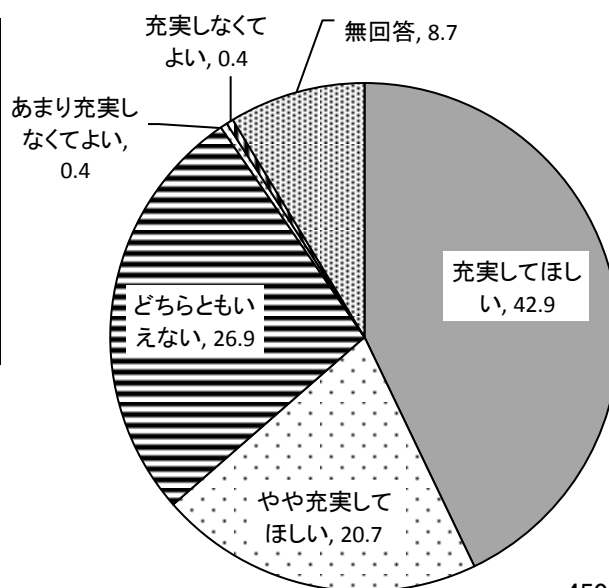


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	193	42.9%
やや充実してほしい	93	20.7%
どちらともいえない	121	26.9%
あまり充実しなくてよい	2	0.4%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

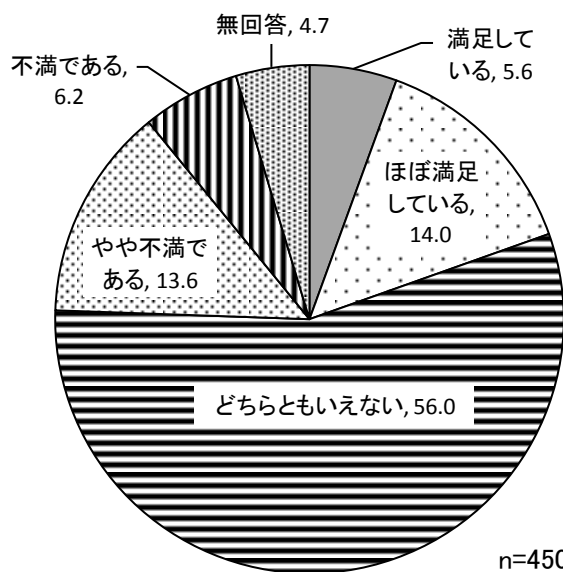
(13) 高齢者施策の充実

満足度については、「どちらともいえない」が 56.0%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(14.0%)、「やや不満である」(13.6%) と続く。
 充実希望度については、「充実してほしい」が 35.6%で最も多く、「どちらともいえない」(29.1%)、「やや充実してほしい」(22.9%) と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	25	5.6%
ほぼ満足している	63	14.0%
どちらともいえない	252	56.0%
やや不満である	61	13.6%
不満である	28	6.2%
無回答	21	4.7%

n=450

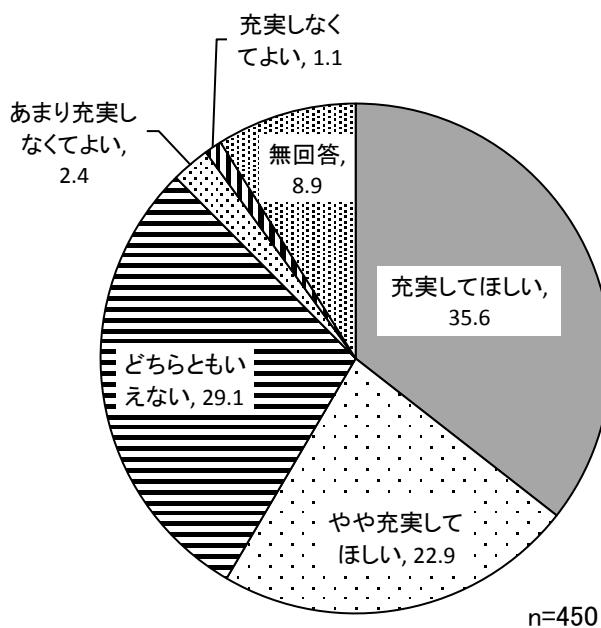


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	160	35.6%
やや充実してほしい	103	22.9%
どちらともいえない	131	29.1%
あまり充実しなくてよい	11	2.4%
充実しなくてよい	5	1.1%
無回答	40	8.9%

n=450



n=450

(14) 障害者支援の充実

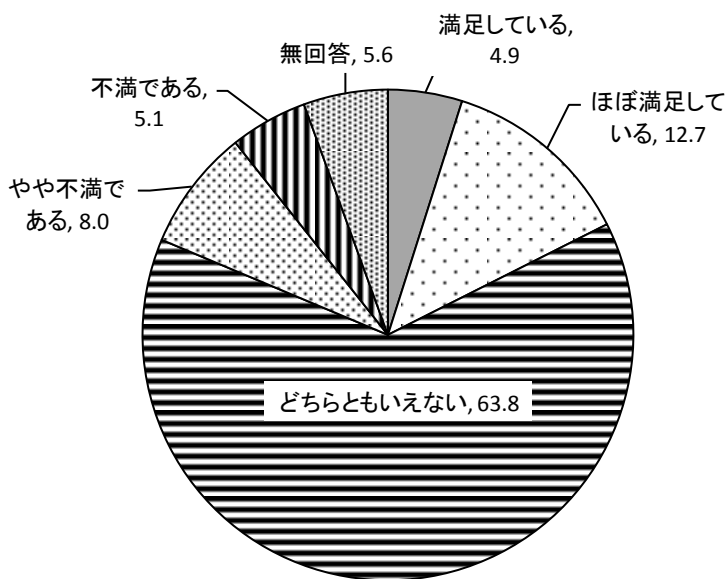
満足度については、「どちらともいえない」が63.8%で最も多く、続いて「ほぼ満足している」(12.7%)、「やや不満である」(8.0%)の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が37.1%で最も多く、以下「充実してほしい」(33.1%)、「やや充実してほしい」(18.2%)の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	22	4.9%
ほぼ満足している	57	12.7%
どちらともいえない	287	63.8%
やや不満である	36	8.0%
不満である	23	5.1%
無回答	25	5.6%

n=450

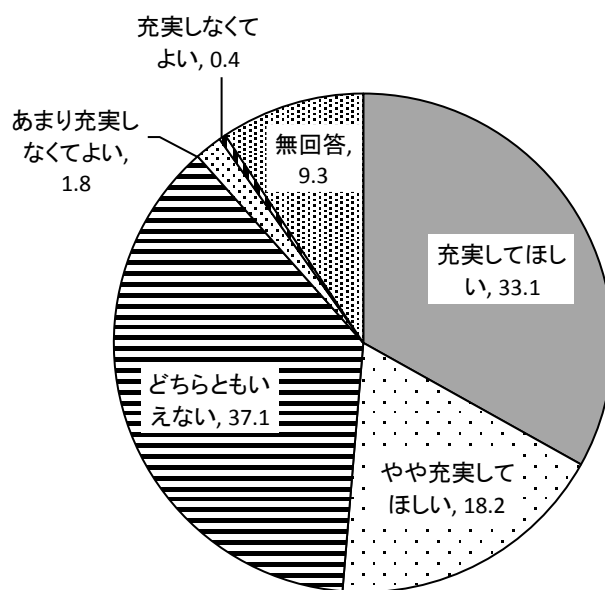


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	149	33.1%
やや充実してほしい	82	18.2%
どちらともいえない	167	37.1%
あまり充実しなくてよい	8	1.8%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	42	9.3%

n=450



n=450

(15) 子育て支援の推進

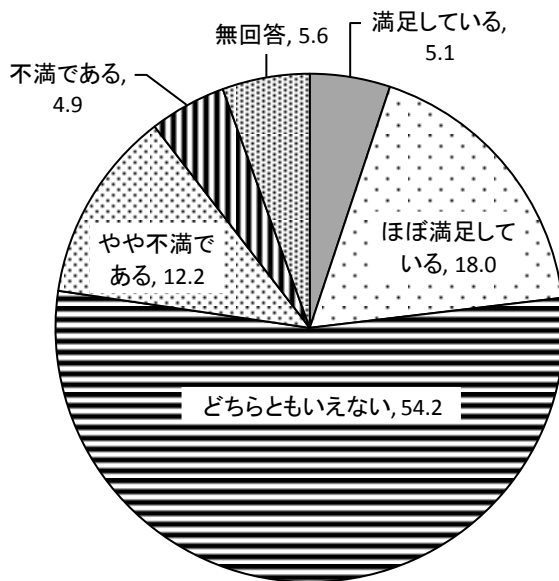
満足度については、「どちらともいえない」が 54.2%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(18.0%)、「やや不満である」(12.2%) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 41.6%で最も多く、以下「どちらともいえない」(31.1%)、「やや充実してほしい」(16.4%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	23	5.1%
ほぼ満足している	81	18.0%
どちらともいえない	244	54.2%
やや不満である	55	12.2%
不満である	22	4.9%
無回答	25	5.6%

n=450

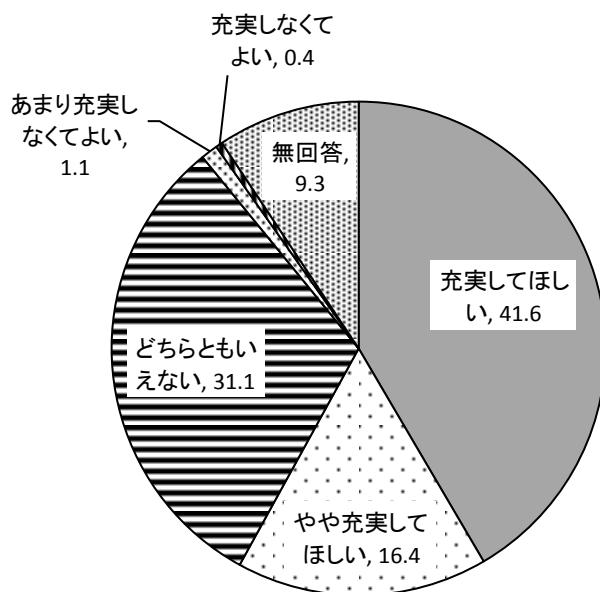


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	187	41.6%
やや充実してほしい	74	16.4%
どちらともいえない	140	31.1%
あまり充実しなくてよい	5	1.1%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	42	9.3%

n=450



n=450

(16) 生活支援の充実

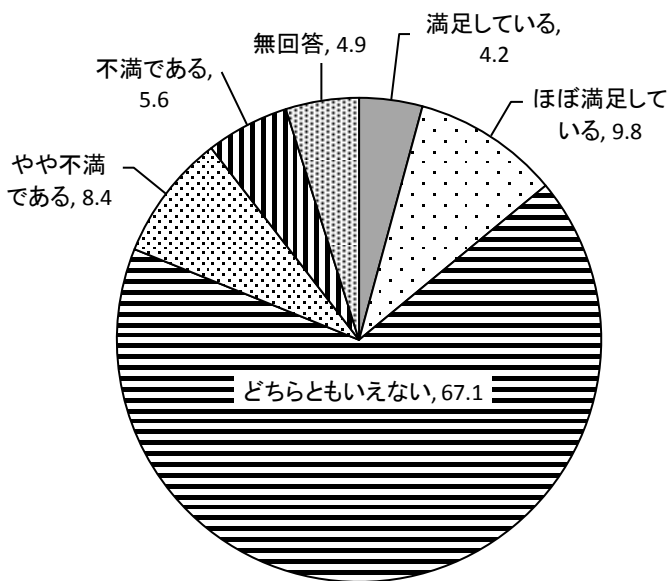
満足度については、「どちらともいえない」が 67.1%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(9.8%)、「やや不満である」(8.4%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 36.0%で最も多く、以下「充実してほしい」(30.7%)、「やや充実してほしい」(19.1%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	19	4.2%
ほぼ満足している	44	9.8%
どちらともいえない	302	67.1%
やや不満である	38	8.4%
不満である	25	5.6%
無回答	22	4.9%

n=450

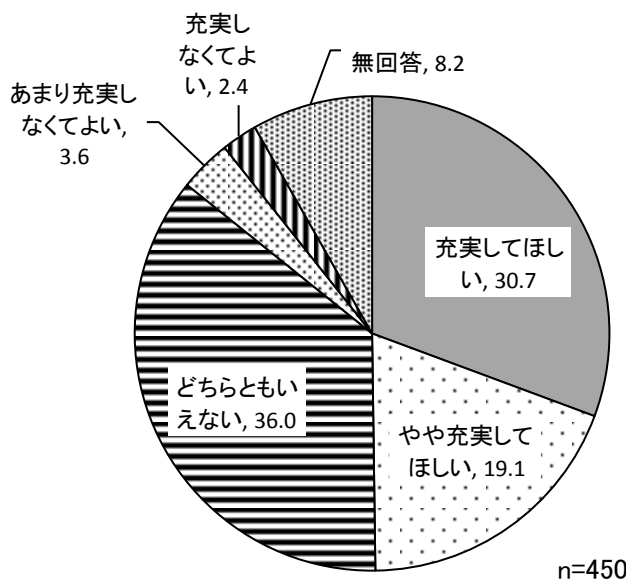


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	138	30.7%
やや充実してほしい	86	19.1%
どちらともいえない	162	36.0%
あまり充実しなくてよい	16	3.6%
充実しなくてよい	11	2.4%
無回答	37	8.2%

n=450



n=450

(17) 地域福祉サービスの充実

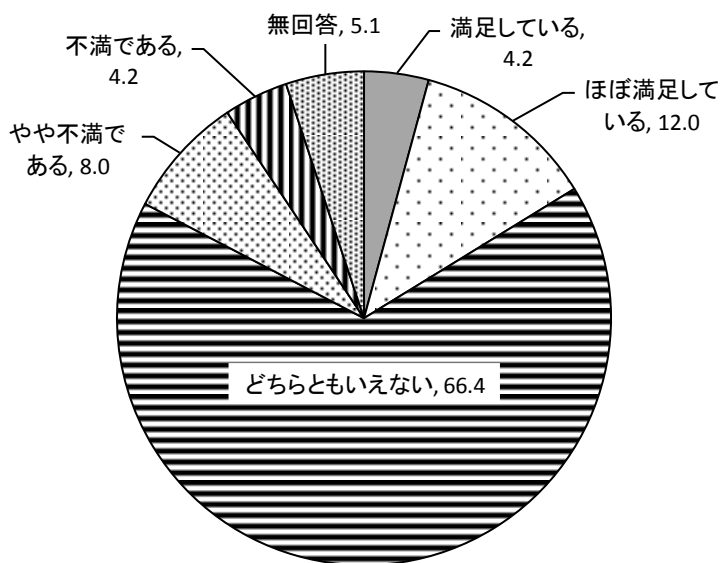
満足度については、「どちらともいえない」が 66.4%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(12.0%)、「やや不満である」(8.0%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 37.3%で最も多く、以下「充実してほしい」(31.3%)、「やや充実してほしい」(21.1%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	19	4.2%
ほぼ満足している	54	12.0%
どちらともいえない	299	66.4%
やや不満である	36	8.0%
不満である	19	4.2%
無回答	23	5.1%

n=450

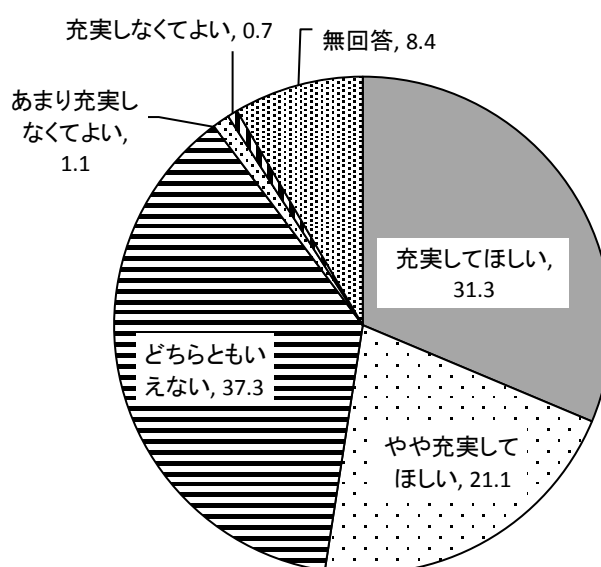


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	141	31.3%
やや充実してほしい	95	21.1%
どちらともいえない	168	37.3%
あまり充実しなくてよい	5	1.1%
充実しなくてよい	3	0.7%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

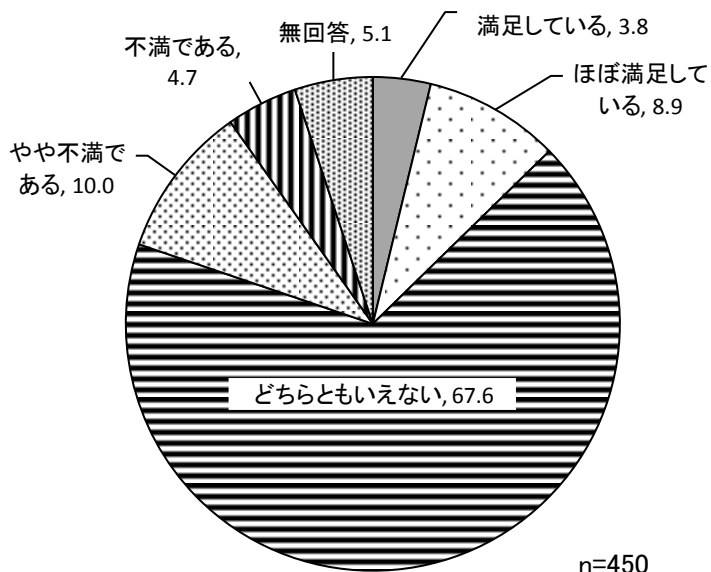
(18) 消費生活の安定と向上

満足度については、「どちらともいえない」が 67.6%で最も多く、以下「やや不満である」(10.0%)、「ほぼ満足している」(8.9%) と続く。
 充実希望度については、「どちらともいえない」が 38.0%で最も多く、次いで「充実してほしい」(28.2%)、「やや充実してほしい」(22.9%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	17	3.8%
ほぼ満足している	40	8.9%
どちらともいえない	304	67.6%
やや不満である	45	10.0%
不満である	21	4.7%
無回答	23	5.1%

n=450

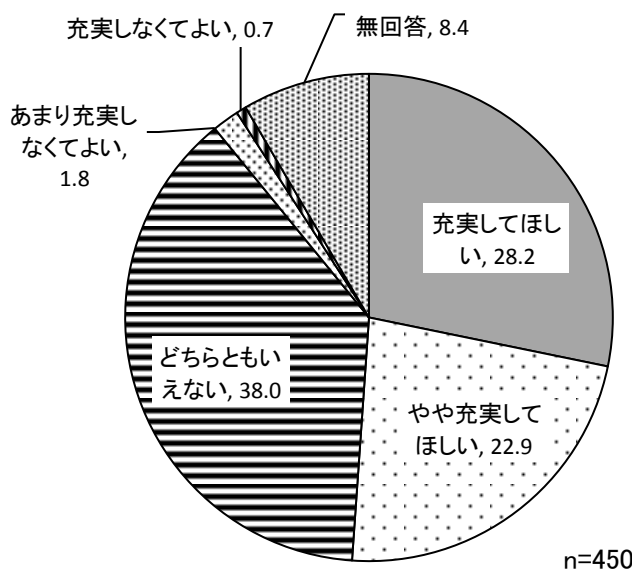


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	127	28.2%
やや充実してほしい	103	22.9%
どちらともいえない	171	38.0%
あまり充実しなくてよい	8	1.8%
充実しなくてよい	3	0.7%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

(19) 安定した雇用の確保

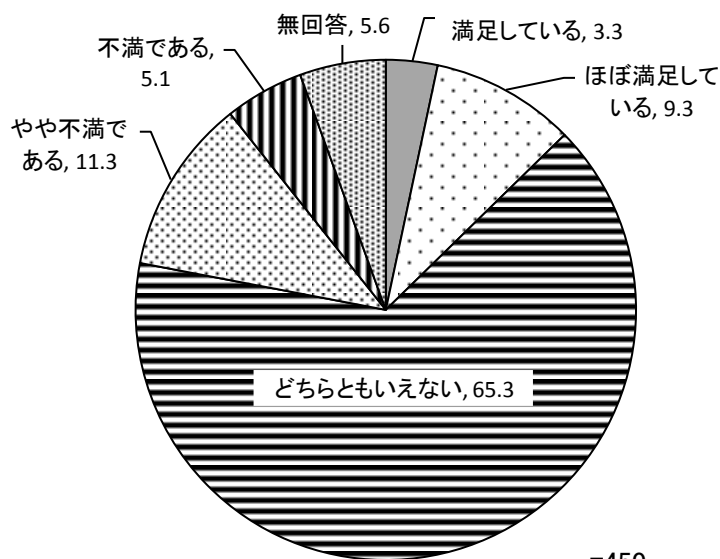
満足度については、「どちらともいえない」が 65.3%で最も多く、次いで「やや不満である」(11.3%)、「ほぼ満足している」(9.3%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 36.7%で最も多く、以下「充実してほしい」(32.2%)、「やや充実してほしい」(20.7%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	15	3.3%
ほぼ満足している	42	9.3%
どちらともいえない	294	65.3%
やや不満である	51	11.3%
不満である	23	5.1%
無回答	25	5.6%

n=450

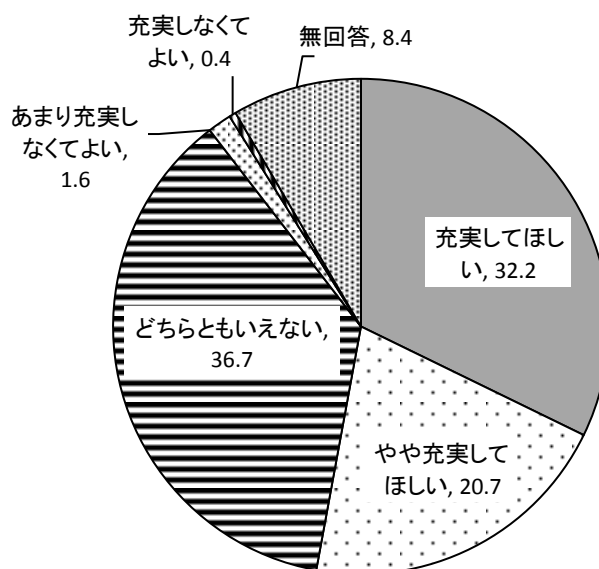


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	145	32.2%
やや充実してほしい	93	20.7%
どちらともいえない	165	36.7%
あまり充実しなくてよい	7	1.6%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

3 誰もが自分らしく成長できるまちづくり

(20) 人権意識の高揚と平和意識の醸成

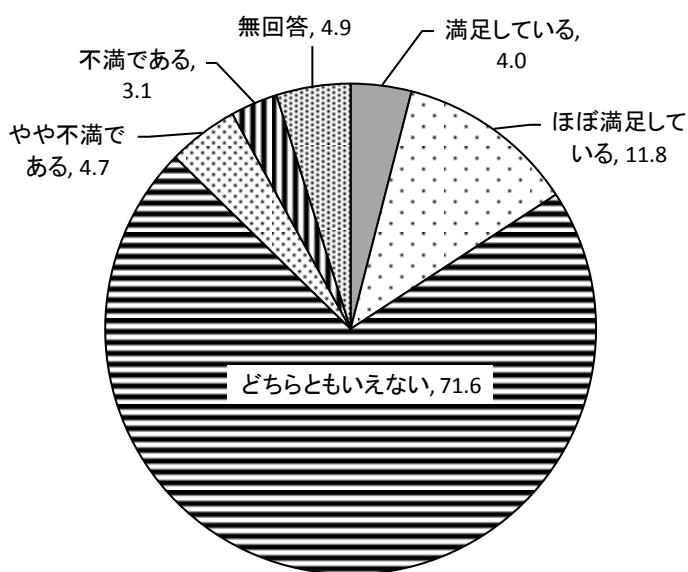
満足度については、「どちらともいえない」が71.6%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(11.8%)、「やや不満である」(4.7%)の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が47.8%で最も多く、「充実してほしい」(24.2%)、「やや充実してほしい」(16.9%)と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	18	4.0%
ほぼ満足している	53	11.8%
どちらともいえない	322	71.6%
やや不満である	21	4.7%
不満である	14	3.1%
無回答	22	4.9%

n=450

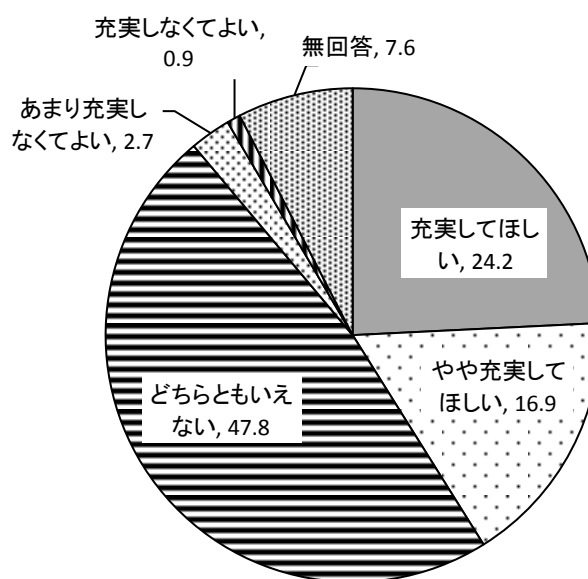


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	109	24.2%
やや充実してほしい	76	16.9%
どちらともいえない	215	47.8%
あまり充実しなくてよい	12	2.7%
充実しなくてよい	4	0.9%
無回答	34	7.6%

n=450



n=450

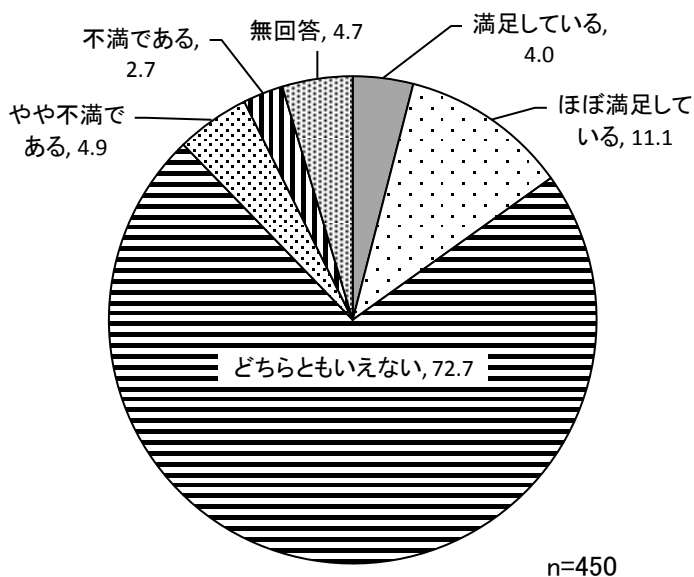
(21) 男女共同参画の推進

満足度については、「どちらともいえない」が 72.7%を占め最も多く、以下「ほぼ満足している」(11.1%)、「やや不満である」(4.9%) と続く。
 充実希望度については、「どちらともいえない」が 50.0%で最も多く、次いで「充実してほしい」(23.6%)、「やや充実してほしい」(15.1%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	18	4.0%
ほぼ満足している	50	11.1%
どちらともいえない	327	72.7%
やや不満である	22	4.9%
不満である	12	2.7%
無回答	21	4.7%

n=450

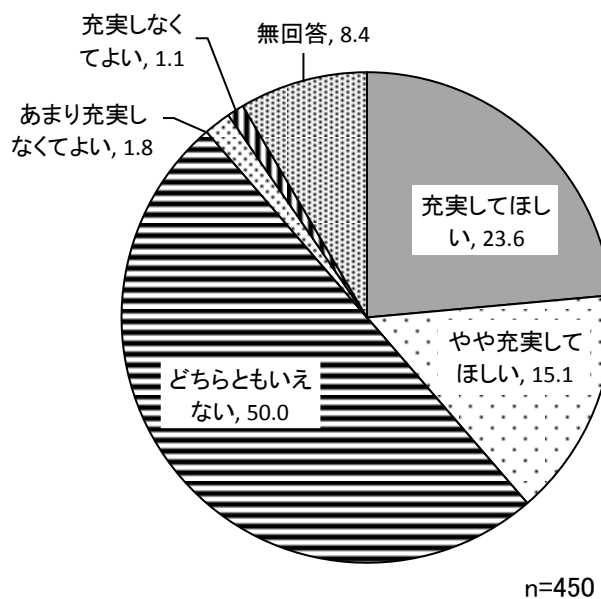


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	106	23.6%
やや充実してほしい	68	15.1%
どちらともいえない	225	50.0%
あまり充実しなくてよい	8	1.8%
充実しなくてよい	5	1.1%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

(22) 学校教育の整備・推進

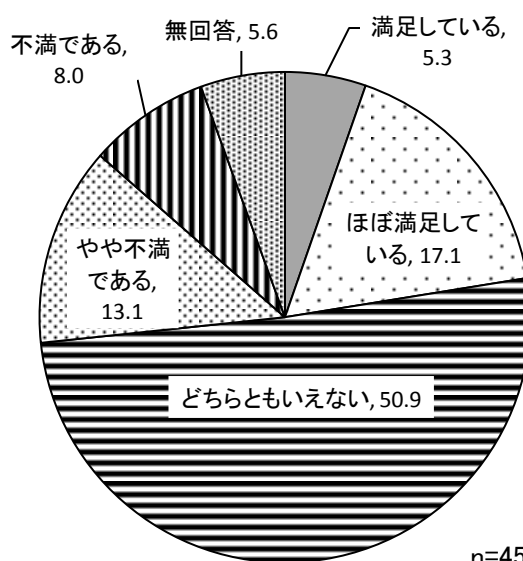
重要度については、「どちらともいえない」が 50.9%を占め最も多く、以下「ほぼ満足している」(17.1%)、「やや不満である」(13.1%) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 40.7%で最も多く、続いて「どちらともいえない」(29.3%)、「やや充実してほしい」(20.2%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	24	5.3%
ほぼ満足している	77	17.1%
どちらともいえない	229	50.9%
やや不満である	59	13.1%
不満である	36	8.0%
無回答	25	5.6%

n=450

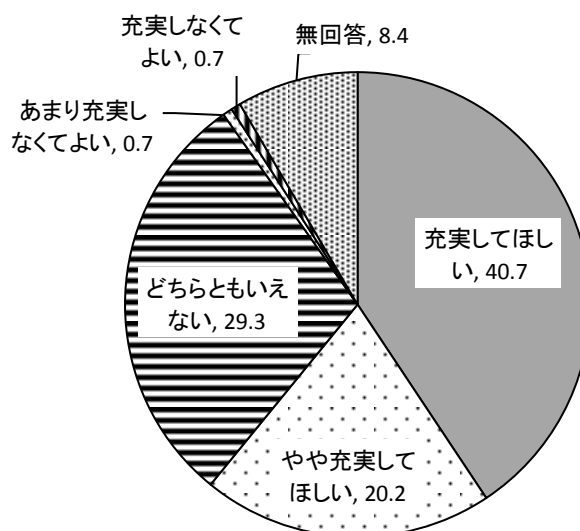


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	183	40.7%
やや充実してほしい	91	20.2%
どちらともいえない	132	29.3%
あまり充実しなくてよい	3	0.7%
充実しなくてよい	3	0.7%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

(23) 生涯学習の充実

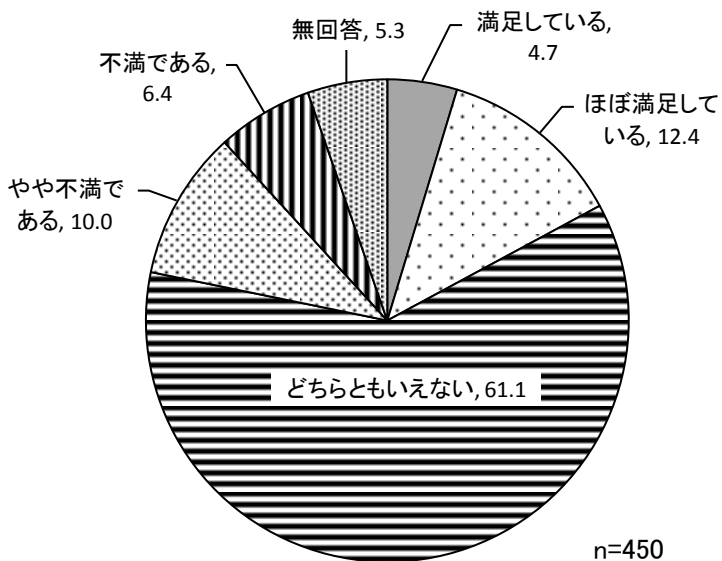
満足度については、「どちらともいえない」が 61.1%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(12.4%)、「やや不満である」(10.0%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 36.4%で最も多く、以下「充実してほしい」(31.8%)、「やや充実してほしい」(21.3%) と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	21	4.7%
ほぼ満足している	56	12.4%
どちらともいえない	275	61.1%
やや不満である	45	10.0%
不満である	29	6.4%
無回答	24	5.3%

n=450

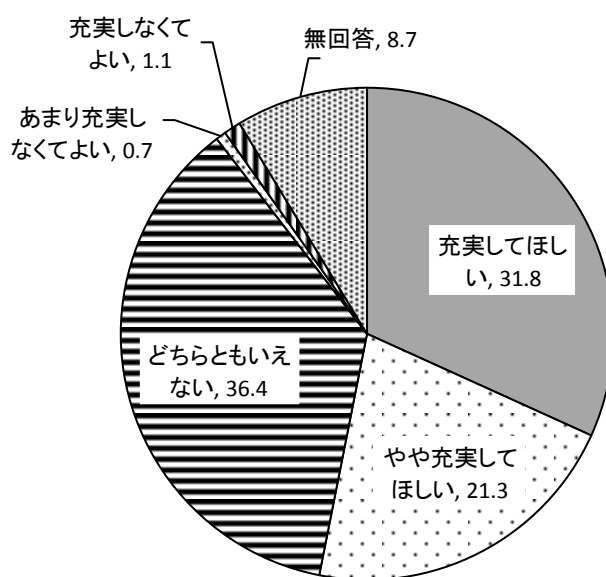


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	143	31.8%
やや充実してほしい	96	21.3%
どちらともいえない	164	36.4%
あまり充実しなくてよい	3	0.7%
充実しなくてよい	5	1.1%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

(24) 青少年健全育成の推進

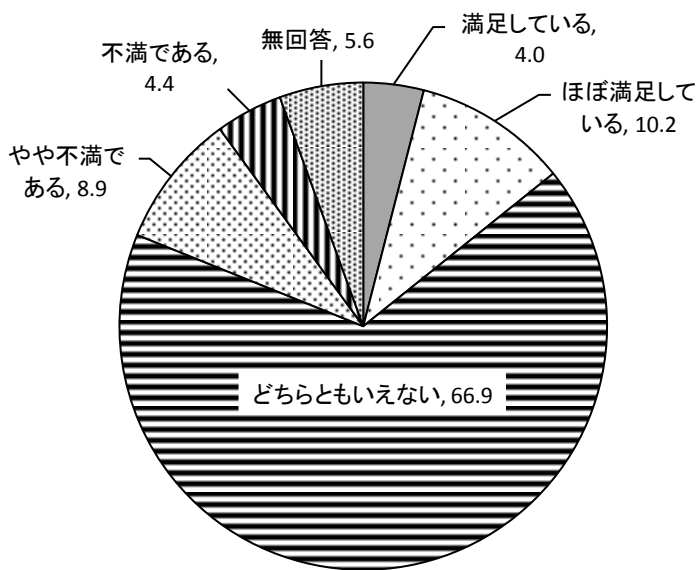
満足度については、「どちらともいえない」が 66.9%で最も多く、続いて「ほぼ満足している」(10.2%)、「やや不満である」(8.9%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 37.6%で最も多く、以下「充実してほしい」(31.8%)、「やや充実してほしい」(20.4%) と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	18	4.0%
ほぼ満足している	46	10.2%
どちらともいえない	301	66.9%
やや不満である	40	8.9%
不満である	20	4.4%
無回答	25	5.6%

n=450

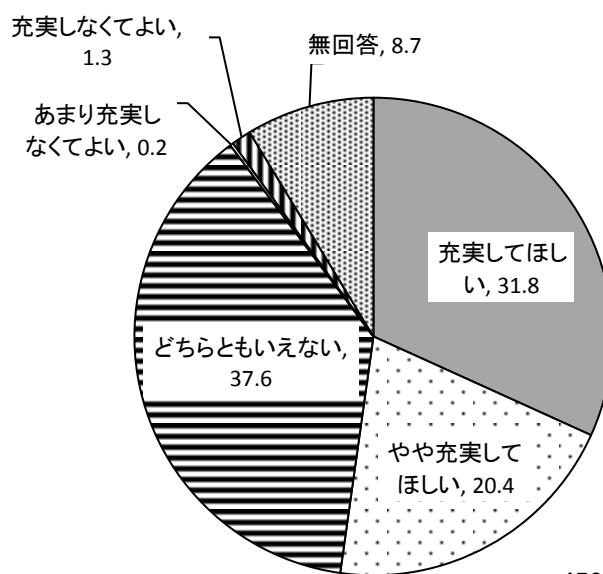


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	143	31.8%
やや充実してほしい	92	20.4%
どちらともいえない	169	37.6%
あまり充実しなくてよい	1	0.2%
充実しなくてよい	6	1.3%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

4 快適で暮らしやすいまちづくり

(25) 公共交通の整備

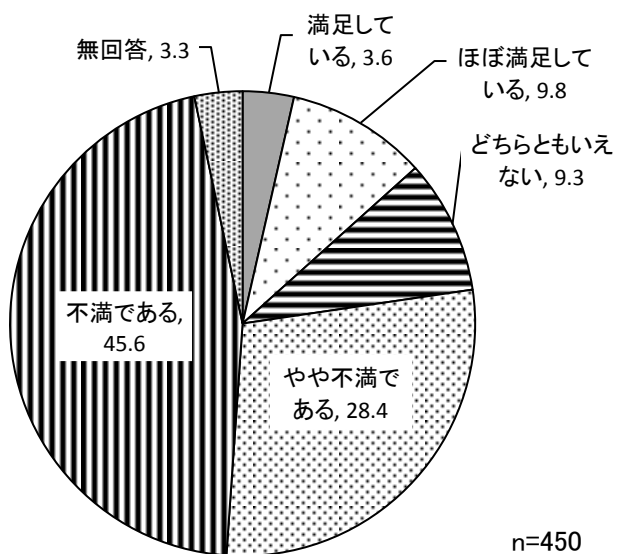
満足度については、「不満である」が45.6%、「やや不満である」が28.4%となっており、以下「ほぼ満足している」(9.8%)、「どちらともいえない」(9.3%)と続く。

充実希望度については、「充実してほしい」が73.8%、「やや充実してほしい」が11.1%となっており、「どちらともいえない」(5.8%)が続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	16	3.6%
ほぼ満足している	44	9.8%
どちらともいえない	42	9.3%
やや不満である	128	28.4%
不満である	205	45.6%
無回答	15	3.3%

n=450

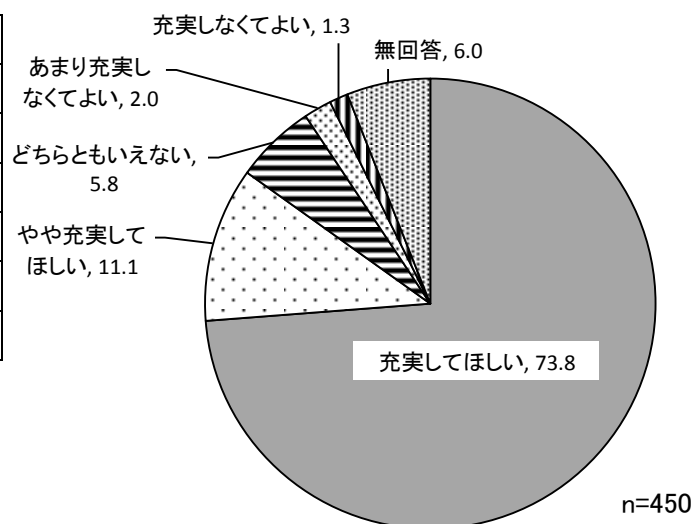


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	332	73.8%
やや充実してほしい	50	11.1%
どちらともいえない	26	5.8%
あまり充実しなくてよい	9	2.0%
充実しなくてよい	6	1.3%
無回答	27	6.0%

n=450



n=450

(26) 道路の整備

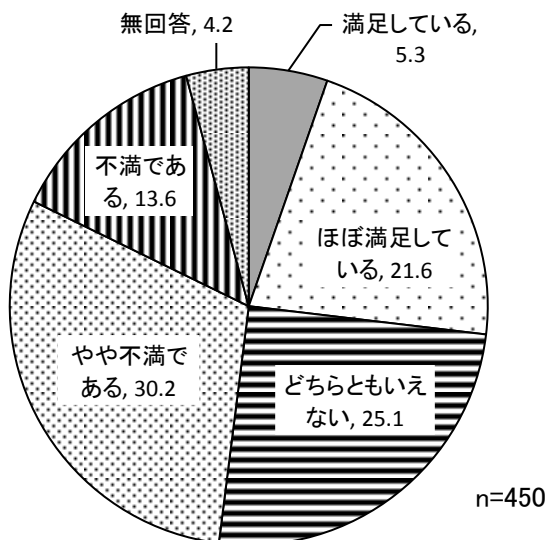
満足度については、「やや不満である」が30.2%で最も多く、続いて「どちらともいえない」(25.1%)、「ほぼ満足している」(21.6%)、「不満である」(13.6%)の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が53.8%で最も多く、以下「やや充実してほしい」(20.2%)、「どちらともいえない」(17.3%)の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	24	5.3%
ほぼ満足している	97	21.6%
どちらともいえない	113	25.1%
やや不満である	136	30.2%
不満である	61	13.6%
無回答	19	4.2%

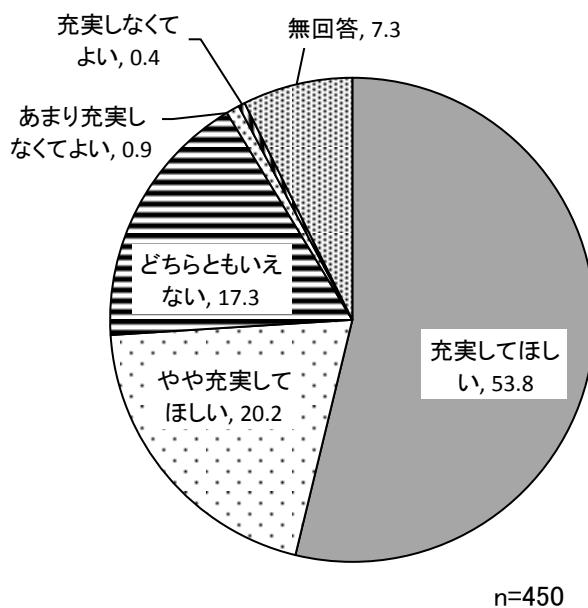
n=450



○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	242	53.8%
やや充実してほしい	91	20.2%
どちらともいえない	78	17.3%
あまり充実しなくてよい	4	0.9%
充実しなくてよい	2	0.4%
無回答	33	7.3%

n=450



(27) 公園・緑地の整備

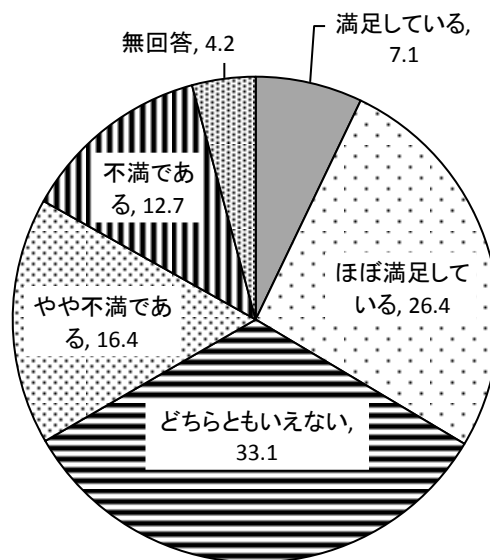
満足度については、「どちらともいえない」が 33.1%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(26.4%)、「やや不満である」(16.4%) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 44.2%で最も多く、次いで「やや充実してほしい」(24.0%)、「どちらともいえない」(21.8%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	32	7.1%
ほぼ満足している	119	26.4%
どちらともいえない	149	33.1%
やや不満である	74	16.4%
不満である	57	12.7%
無回答	19	4.2%

n=450

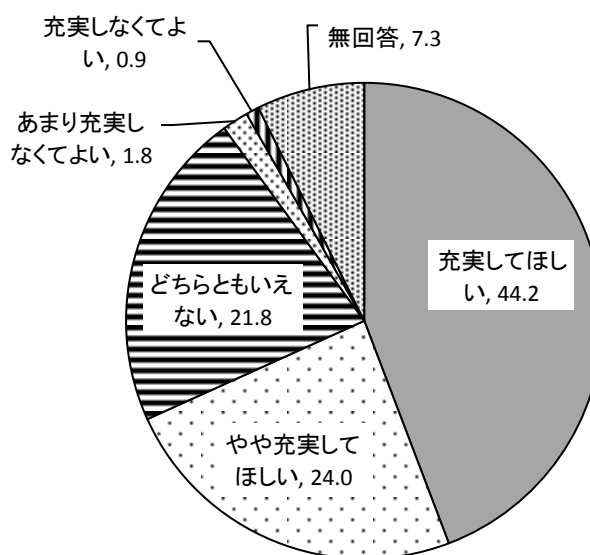


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	199	44.2%
やや充実してほしい	108	24.0%
どちらともいえない	98	21.8%
あまり充実しなくてよい	8	1.8%
充実しなくてよい	4	0.9%
無回答	33	7.3%

n=450



n=450

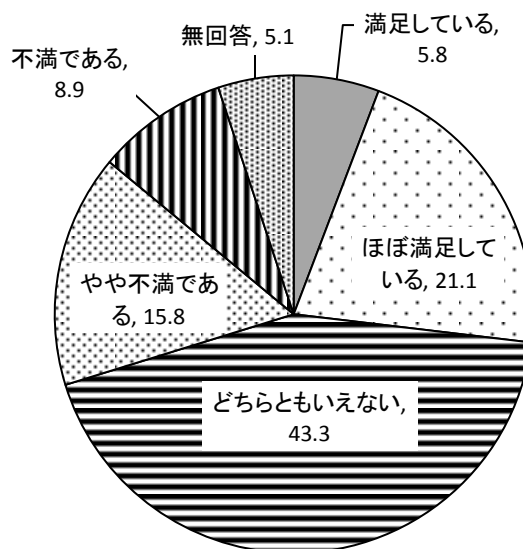
(28) 良好な住環境の整備の促進

満足度については、「どちらともいえない」が 43.3%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(21.1%)、「やや不満である」(15.8%) と続く。
 充実希望度については、「充実してほしい」が 42.9%で最も多く、以下「どちらともいえない」(27.3%)、「やや充実してほしい」(20.2%) と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	26	5.8%
ほぼ満足している	95	21.1%
どちらともいえない	195	43.3%
やや不満である	71	15.8%
不満である	40	8.9%
無回答	23	5.1%

n=450

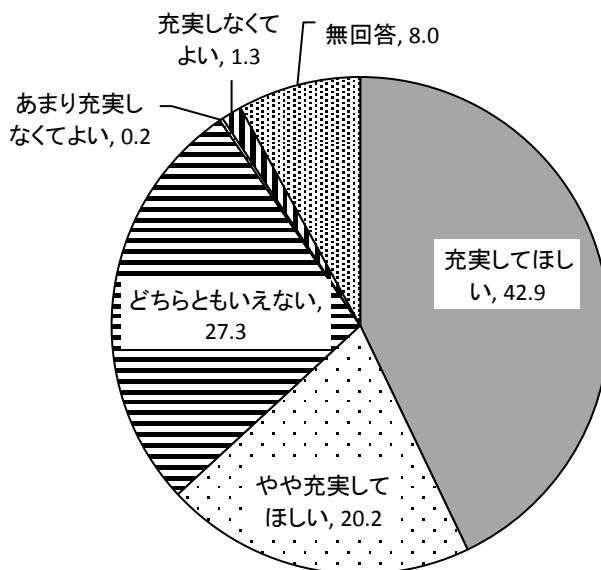


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	193	42.9%
やや充実してほしい	91	20.2%
どちらともいえない	123	27.3%
あまり充実しなくてよい	1	0.2%
充実しなくてよい	6	1.3%
無回答	36	8.0%

n=450



n=450

(29) 下水道の整備の推進

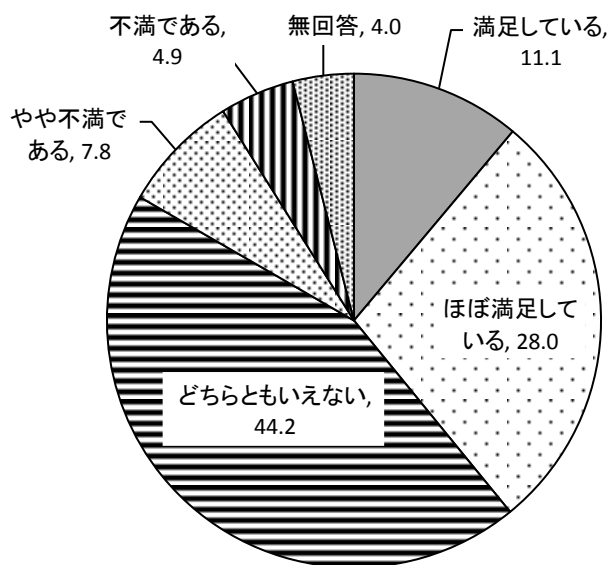
満足度としては、「どちらともいえない」が 44.2%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(28.0%)、「満足している」(11.1%) の順である。

充実希望度としては、「充実してほしい」が 38.2%で最も多く、以下「どちらでもない」(32.7%)、「やや充実してほしい」(19.6%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	50	11.1%
ほぼ満足している	126	28.0%
どちらともいえない	199	44.2%
やや不満である	35	7.8%
不満である	22	4.9%
無回答	18	4.0%

n=450

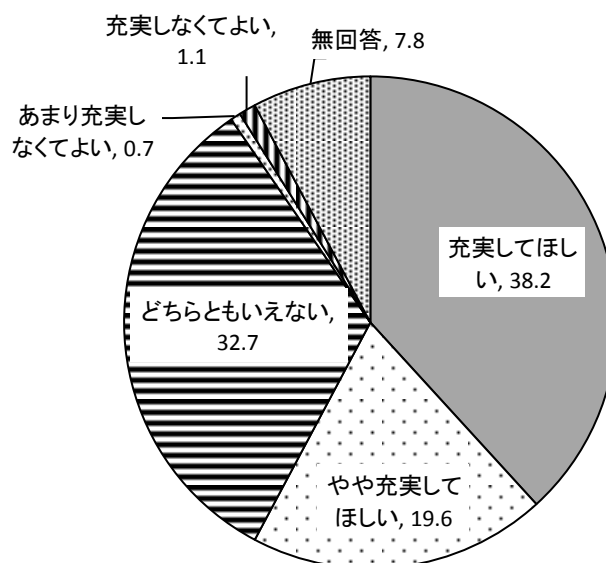


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	172	38.2%
やや充実してほしい	88	19.6%
どちらともいえない	147	32.7%
あまり充実しなくてよい	3	0.7%
充実しなくてよい	5	1.1%
無回答	35	7.8%

n=450



n=450

(30) 適正な土地利用の推進

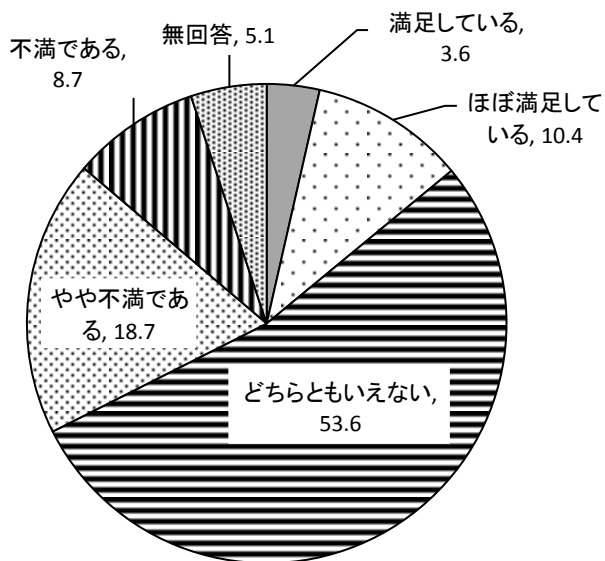
重要度については、「どちらともいえない」が 53.6%で最も多く、以下「やや不満である」(18.7%)、「ほぼ満足している」(10.4%) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 39.3%で最も多く、続いて「どちらともいえない」(31.3%)、「やや充実してほしい」(19.1%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	16	3.6%
ほぼ満足している	47	10.4%
どちらともいえない	241	53.6%
やや不満である	84	18.7%
不満である	39	8.7%
無回答	23	5.1%

n=450

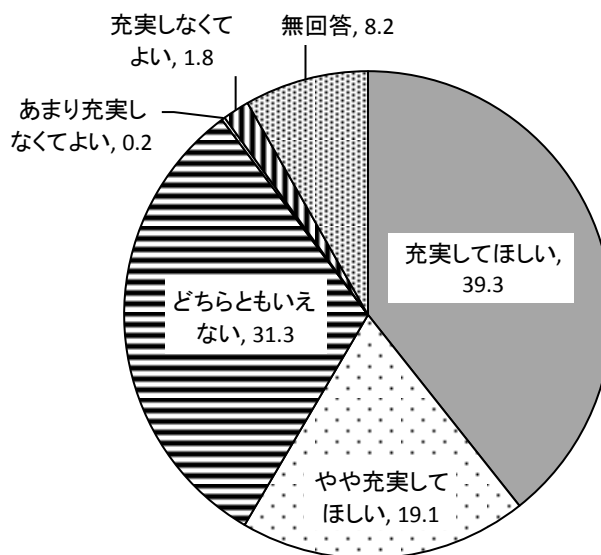


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	177	39.3%
やや充実してほしい	86	19.1%
どちらともいえない	141	31.3%
あまり充実しなくてよい	1	0.2%
充実しなくてよい	8	1.8%
無回答	37	8.2%

n=450



n=450

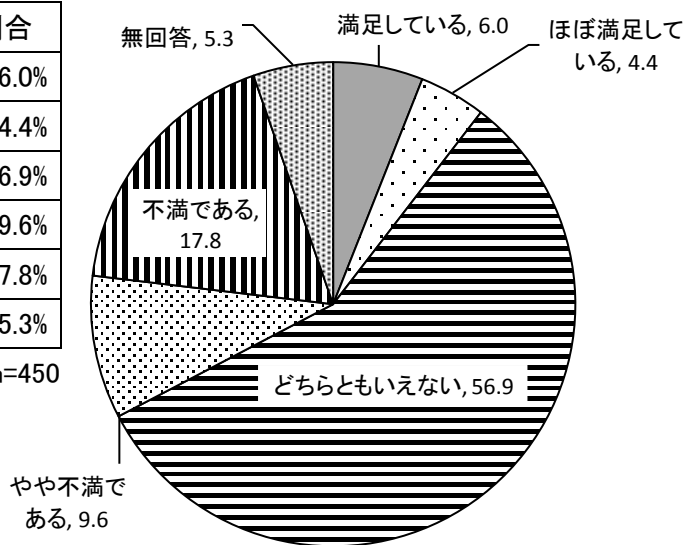
(31) 横田飛行場の軍民共同使用

満足度については、「どちらともいえない」が56.9%で最も多く、以下「不満である」(17.8%)、「やや不満である」(9.6%)の順である。
 充実希望度としては、「どちらともいえない」が36.9%で最も多く、続いて「充実してほしい」(32.2%)、「やや充実してほしい」(11.1%)の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	27	6.0%
ほぼ満足している	20	4.4%
どちらともいえない	256	56.9%
やや不満である	43	9.6%
不満である	80	17.8%
無回答	24	5.3%

n=450

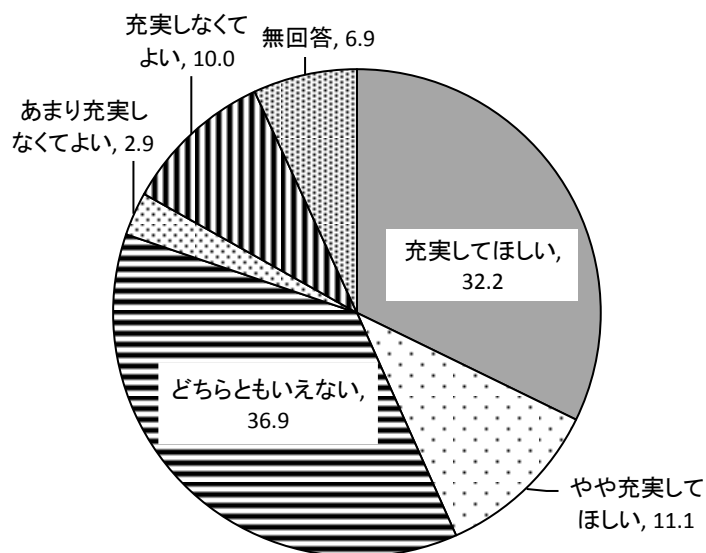


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	145	32.2%
やや充実してほしい	50	11.1%
どちらともいえない	166	36.9%
あまり充実しなくてよい	13	2.9%
充実しなくてよい	45	10.0%
無回答	31	6.9%

n=450



n=450

(32) ごみの減量化とリサイクルの推進

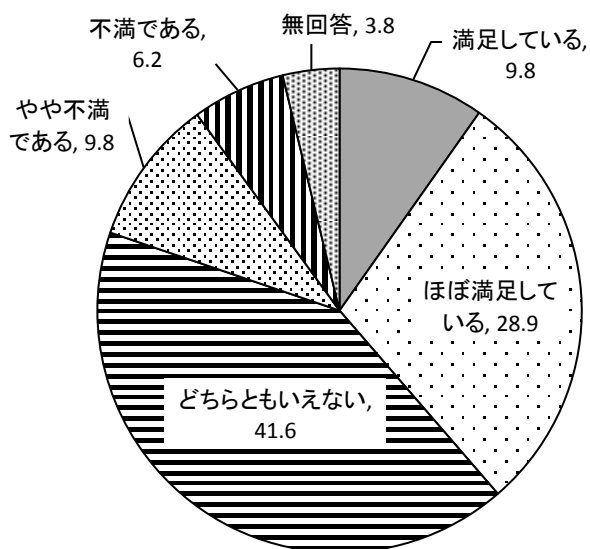
満足度については、「どちらともいえない」が 41.6%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(28.9%)、「満足している」及び「やや不満である」(いずれも 9.8%ずつ) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 40.0%で最も多く、次いで「どちらともいえない」(29.1%)、「やや充実してほしい」(21.3%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	44	9.8%
ほぼ満足している	130	28.9%
どちらともいえない	187	41.6%
やや不満である	44	9.8%
不満である	28	6.2%
無回答	17	3.8%

n=450

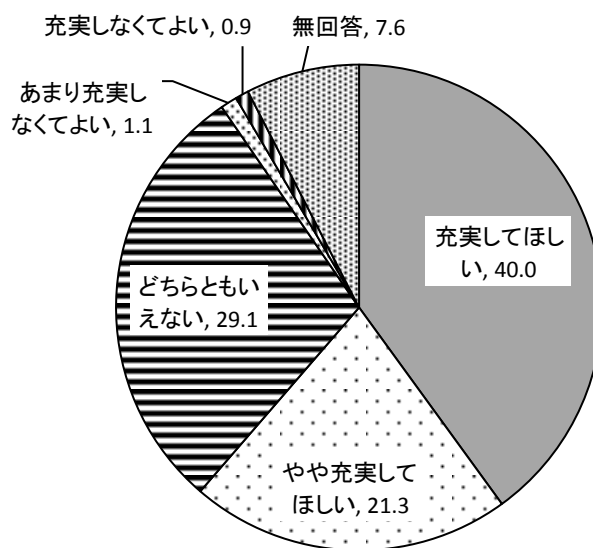


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	180	40.0%
やや充実してほしい	96	21.3%
どちらともいえない	131	29.1%
あまり充実しなくてよい	5	1.1%
充実しなくてよい	4	0.9%
無回答	34	7.6%

n=450



n=450

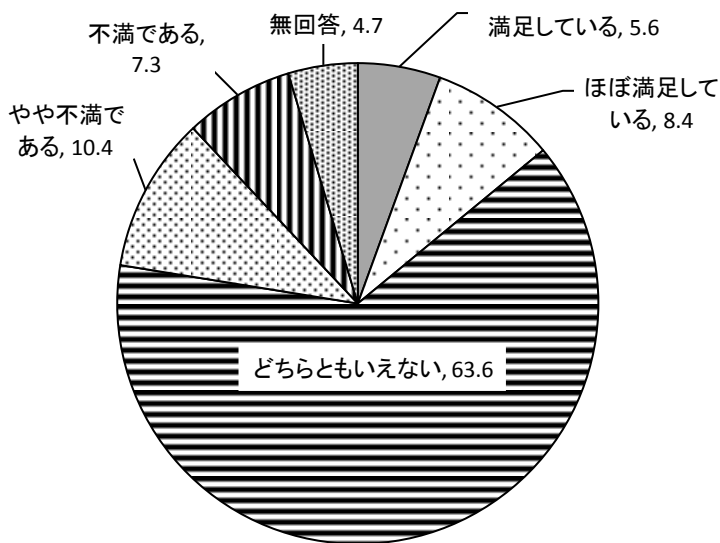
(33) 地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進

満足度については、「どちらともいえない」が 63.6%で最も多く、次いで「やや不満である」(10.4%)、「ほぼ満足している」(8.4%) の順である。
 充実希望度については、「充実してほしい」が 37.1%で最も多く、以下「どちらともいえない」(36.9%)、「やや充実してほしい」(16.7%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	25	5.6%
ほぼ満足している	38	8.4%
どちらともいえない	286	63.6%
やや不満である	47	10.4%
不満である	33	7.3%
無回答	21	4.7%

n=450

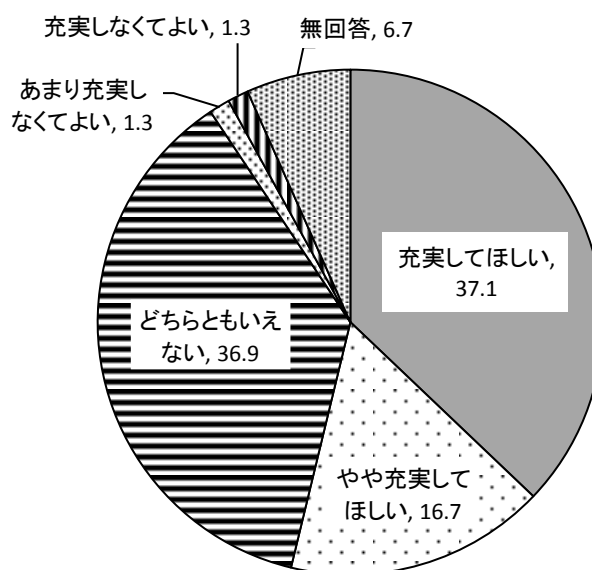


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	167	37.1%
やや充実してほしい	75	16.7%
どちらともいえない	166	36.9%
あまり充実しなくてよい	6	1.3%
充実しなくてよい	6	1.3%
無回答	30	6.7%

n=450



n=450

(34) 公害対策・環境美化の推進

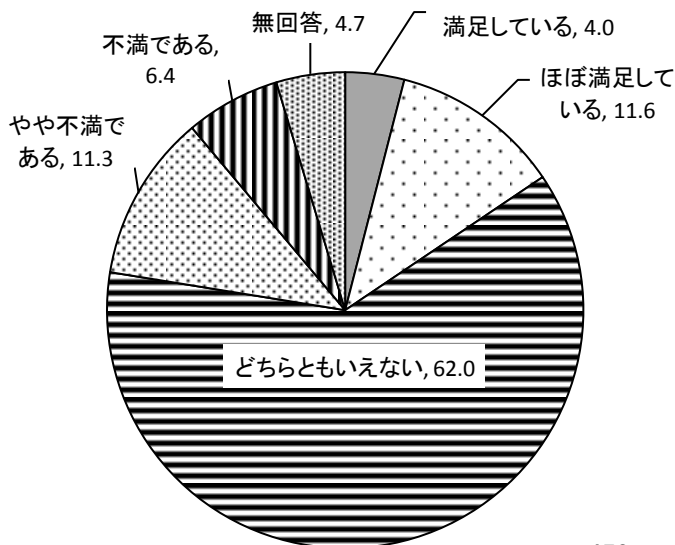
満足度については、「どちらともいえない」が 62.0%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(11.6%)、「やや不満である」(11.3%) の順である。

充実希望度としては、「充実してほしい」が 39.3%で最も多く、次いで「どちらともいえない」(34.4%)、「やや充実してほしい」(17.8%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	18	4.0%
ほぼ満足している	52	11.6%
どちらともいえない	279	62.0%
やや不満である	51	11.3%
不満である	29	6.4%
無回答	21	4.7%

n=450

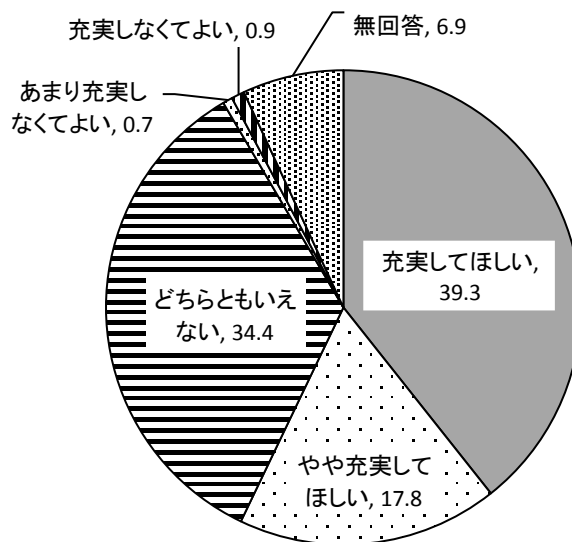


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	177	39.3%
やや充実してほしい	80	17.8%
どちらともいえない	155	34.4%
あまり充実しなくてよい	3	0.7%
充実しなくてよい	4	0.9%
無回答	31	6.9%

n=450



n=450

5 地域の資源を生かした特色あるまちづくり

(35) 農業の振興

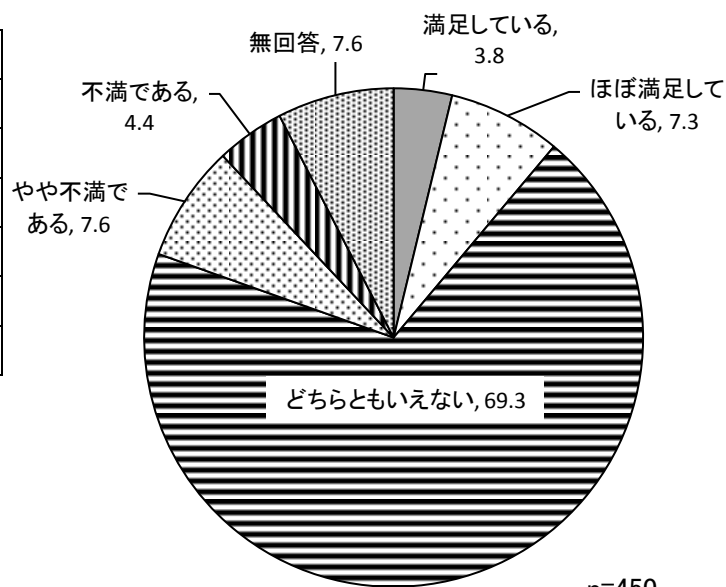
満足度については、「どちらともいえない」が 69.3%で最も多く、以下「やや不満である」(7.6%)、「ほぼ満足している」(7.3%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 44.7%で最も多く、次いで「充実してほしい」(28.9%)、「やや充実してほしい」(14.4%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	17	3.8%
ほぼ満足している	33	7.3%
どちらともいえない	312	69.3%
やや不満である	34	7.6%
不満である	20	4.4%
無回答	34	7.6%

n=450

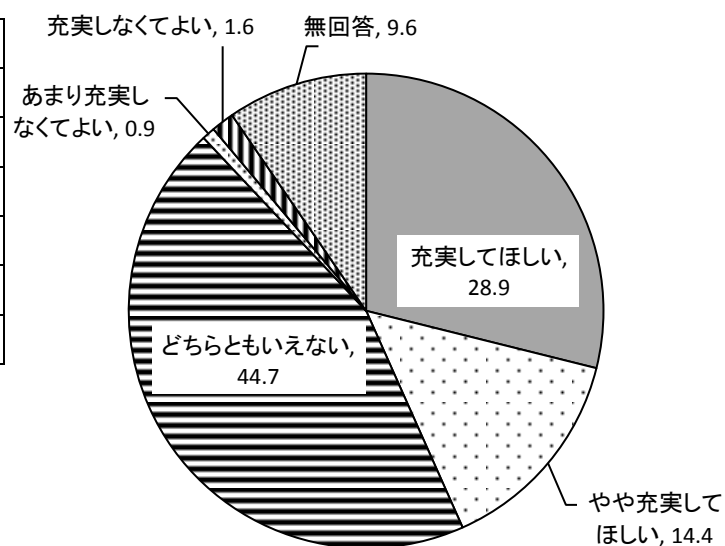


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	130	28.9%
やや充実してほしい	65	14.4%
どちらともいえない	201	44.7%
あまり充実しなくてよい	4	0.9%
充実しなくてよい	7	1.6%
無回答	43	9.6%

n=450



n=450

(36) 商・工業の活性化

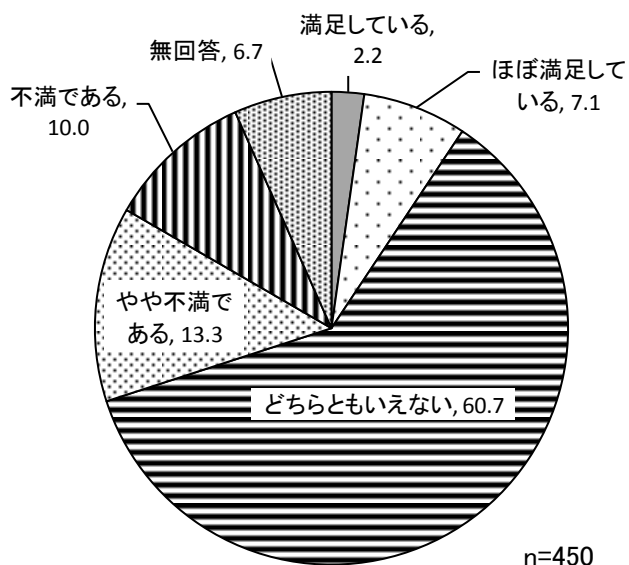
満足度については、「どちらともいえない」が 60.7%で最も多く、次いで「やや不満である」(13.3%)、「不満である」(10.0%) と続く。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 34.9%で最も多く、以下「充実してほしい」(34.2%)、「やや充実してほしい」(19.8%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	10	2.2%
ほぼ満足している	32	7.1%
どちらともいえない	273	60.7%
やや不満である	60	13.3%
不満である	45	10.0%
無回答	30	6.7%

n=450

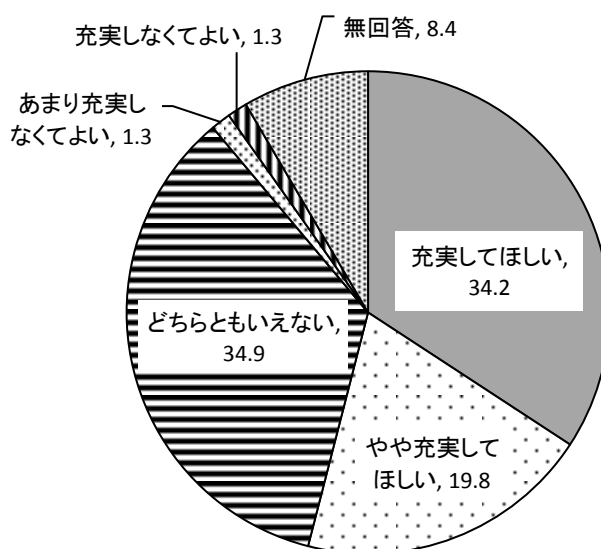


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	154	34.2%
やや充実してほしい	89	19.8%
どちらともいえない	157	34.9%
あまり充実しなくてよい	6	1.3%
充実しなくてよい	6	1.3%
無回答	38	8.4%

n=450



n=450

(37) 観光まちづくりの推進

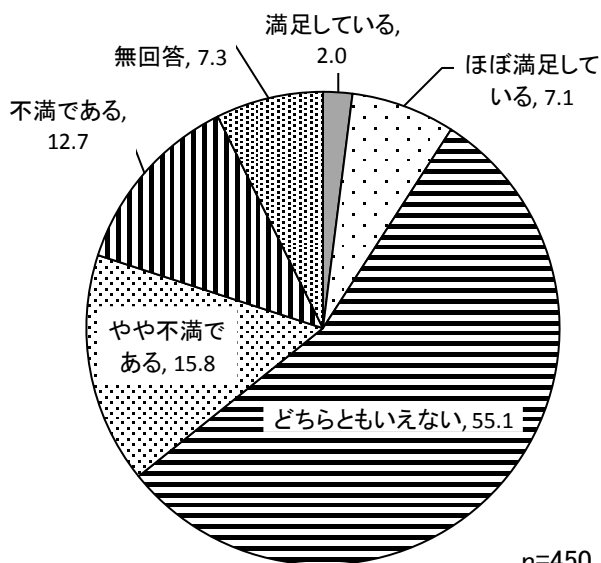
満足度については、「どちらともいえない」が 55.1%で最も多く、以下「やや不満である」(15.8%)、「不満である」(12.7%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 36.2%で最も多く、次いで「充実してほしい」(32.0%)、「やや充実してほしい」(16.9%) と続く。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	9	2.0%
ほぼ満足している	32	7.1%
どちらともいえない	248	55.1%
やや不満である	71	15.8%
不満である	57	12.7%
無回答	33	7.3%

n=450

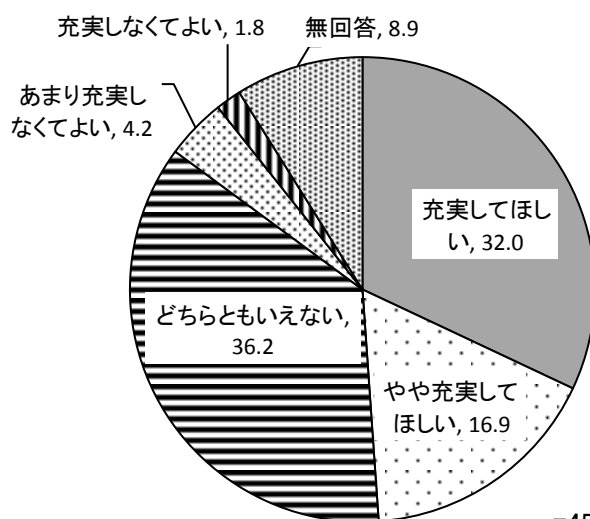


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	144	32.0%
やや充実してほしい	76	16.9%
どちらともいえない	163	36.2%
あまり充実しなくてよい	19	4.2%
充実しなくてよい	8	1.8%
無回答	40	8.9%

n=450



n=450

(38) 魅力ある街並み景観の形成

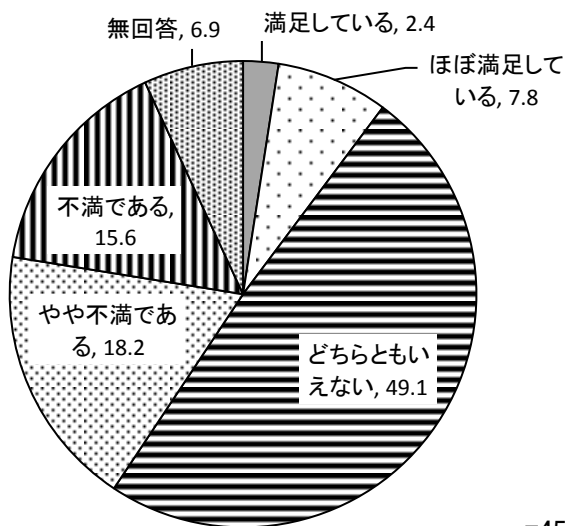
満足度については、「どちらともいえない」が 49.1%で最も多く、以下「やや不満である」(18.2%)、「不満である」(15.6%) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 37.6%で最も多く、次いで「どちらともいえない」(28.0%)、「やや充実してほしい」(21.8%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	11	2.4%
ほぼ満足している	35	7.8%
どちらともいえない	221	49.1%
やや不満である	82	18.2%
不満である	70	15.6%
無回答	31	6.9%

n=450

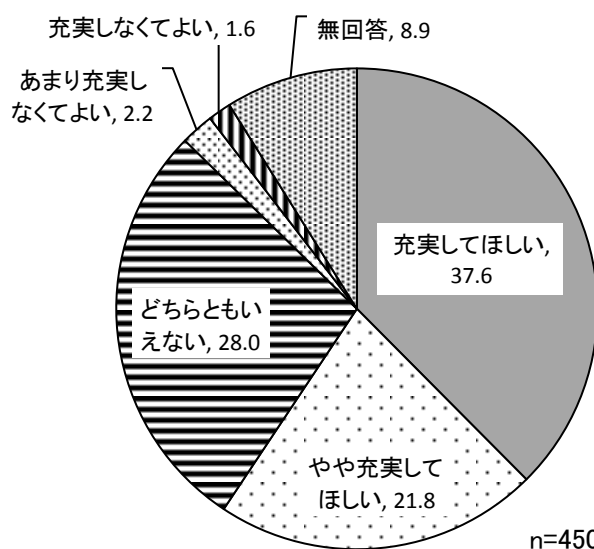


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	169	37.6%
やや充実してほしい	98	21.8%
どちらともいえない	126	28.0%
あまり充実しなくてよい	10	2.2%
充実しなくてよい	7	1.6%
無回答	40	8.9%

n=450



n=450

(39) 水と緑のネットワーク作りの推進

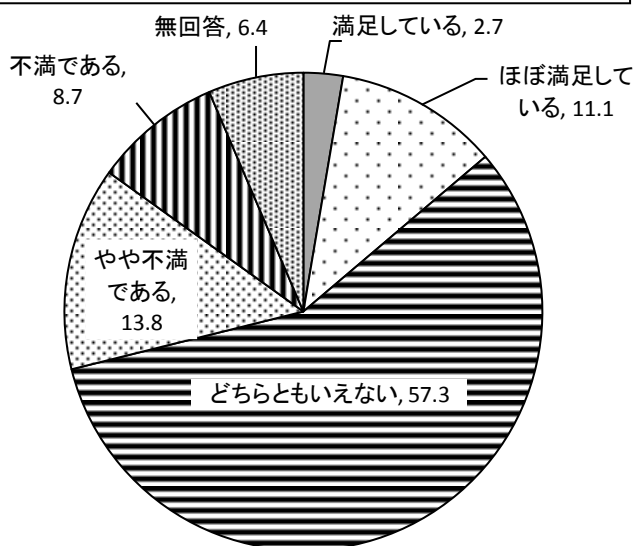
満足度については、「どちらともいえない」が 57.3%で最も多く、以下「やや不満である」(13.8%)、「ほぼ満足している」(11.1%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 34.4%で最も多く、続いて「充実してほしい」(34.2%)、「やや充実してほしい」(20.2%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	12	2.7%
ほぼ満足している	50	11.1%
どちらともいえない	258	57.3%
やや不満である	62	13.8%
不満である	39	8.7%
無回答	29	6.4%

n=450

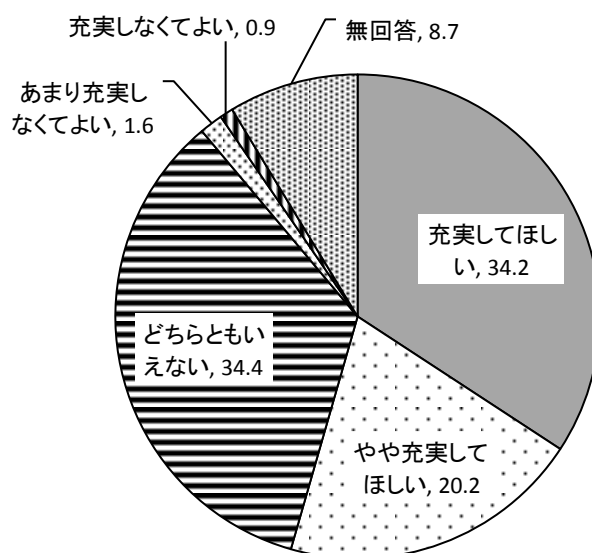


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	154	34.2%
やや充実してほしい	91	20.2%
どちらともいえない	155	34.4%
あまり充実しなくてよい	7	1.6%
充実しなくてよい	4	0.9%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

(40) 芸術・文化の振興

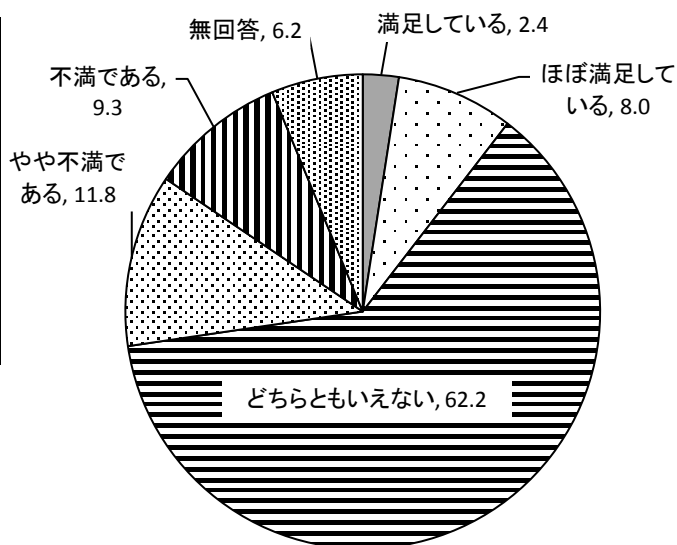
満足度については、「どちらともいえない」が 62.2%で最も多く、次いで「やや不満である」(11.8%)、「不満である」(9.3%)と続く。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 38.2%で最も多く、以下「充実してほしい」(31.1%)、「やや充実してほしい」(17.6%)の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	11	2.4%
ほぼ満足している	36	8.0%
どちらともいえない	280	62.2%
やや不満である	53	11.8%
不満である	42	9.3%
無回答	28	6.2%

n=450

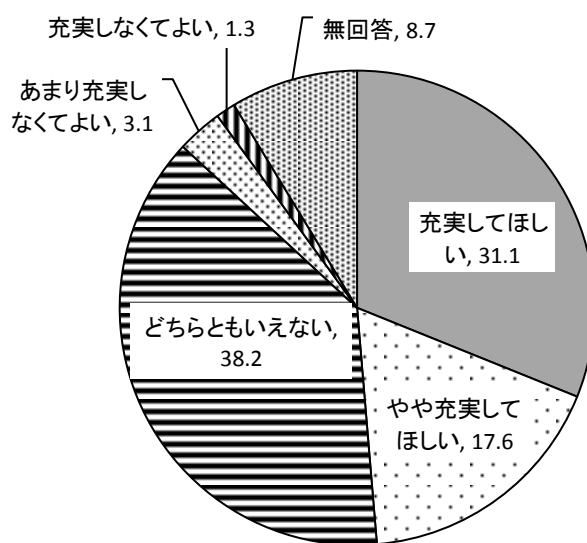


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	140	31.1%
やや充実してほしい	79	17.6%
どちらともいえない	172	38.2%
あまり充実しなくてよい	14	3.1%
充実しなくてよい	6	1.3%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

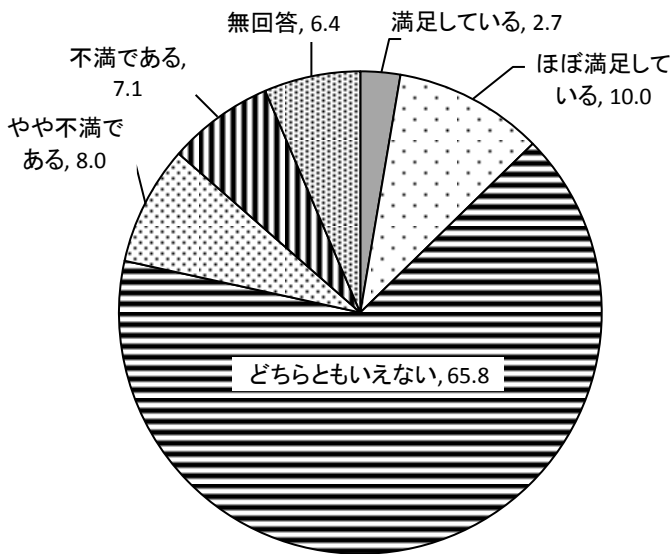
(41) 伝統文化・文化財の保護・活用

満足度については、「どちらともいえない」が 65.8%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(10.0%)、「やや不満である」(8.0%) と続く。
 充実希望度については、「どちらともいえない」が 41.8%で最も多く、以下「充実してほしい」(29.6%)、「やや充実してほしい」(16.7%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	12	2.7%
ほぼ満足している	45	10.0%
どちらともいえない	296	65.8%
やや不満である	36	8.0%
不満である	32	7.1%
無回答	29	6.4%

n=450

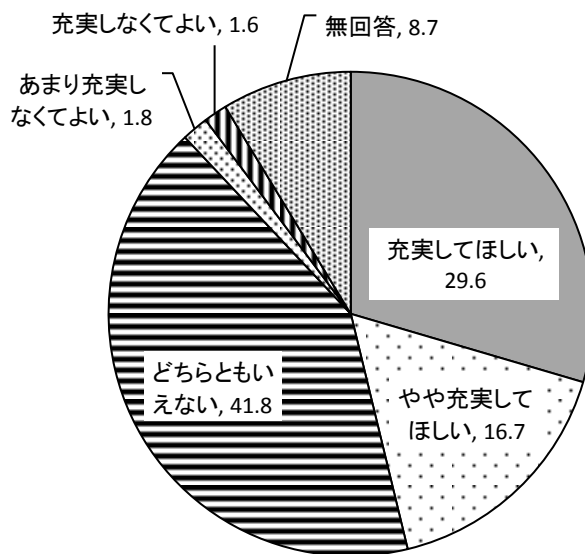


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	133	29.6%
やや充実してほしい	75	16.7%
どちらともいえない	188	41.8%
あまり充実しなくてよい	8	1.8%
充実しなくてよい	7	1.6%
無回答	39	8.7%

n=450



n=450

6 計画の推進に向けて

(42) 行政運営の推進

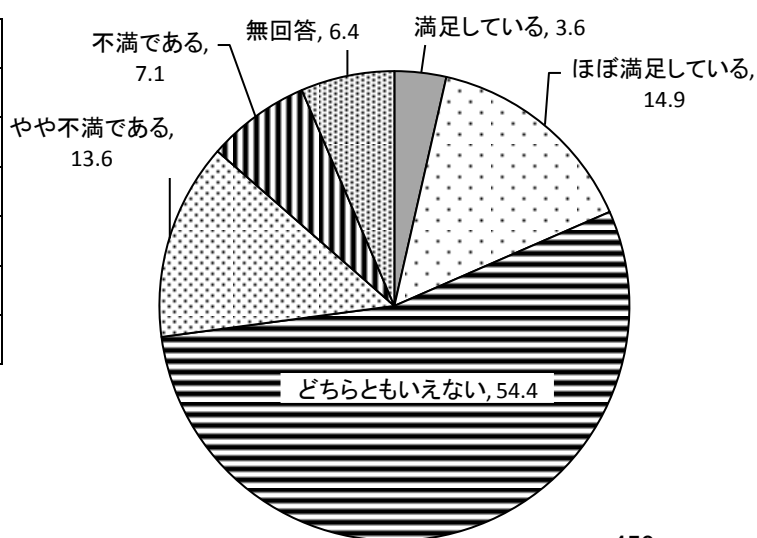
満足度については、「どちらともいえない」が 54.4%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(14.9%)、「やや不満である」(13.6%) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 38.9%で最も多く、続いて「どちらともいえない」(29.6%)、「やや充実してほしい」(20.4%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	16	3.6%
ほぼ満足している	67	14.9%
どちらともいえない	245	54.4%
やや不満である	61	13.6%
不満である	32	7.1%
無回答	29	6.4%

n=450

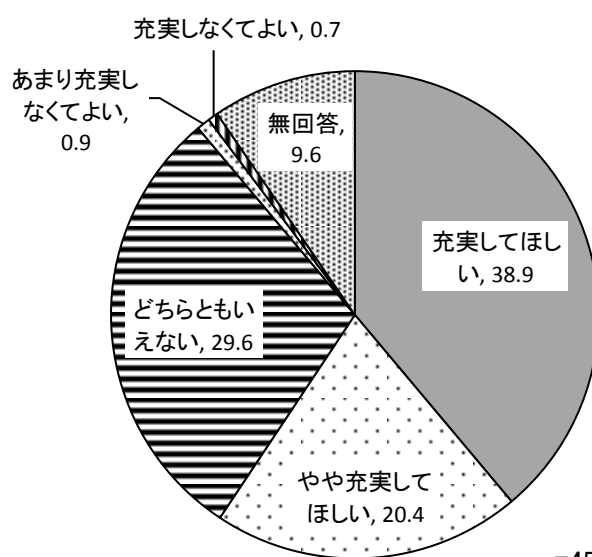


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	175	38.9%
やや充実してほしい	92	20.4%
どちらともいえない	133	29.6%
あまり充実しなくてよい	4	0.9%
充実しなくてよい	3	0.7%
無回答	43	9.6%

n=450



n=450

(43) 職員の資質向上

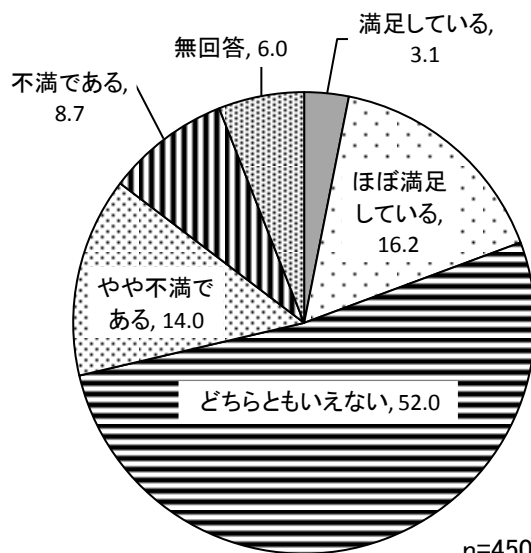
満足度については、「どちらともいえない」が 52.0%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(16.2%)、「やや不満である」(14.0%) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 38.4%で最も多く、以下「どちらともいえない」(28.7%)、「やや充実してほしい」(21.6%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	14	3.1%
ほぼ満足している	73	16.2%
どちらともいえない	234	52.0%
やや不満である	63	14.0%
不満である	39	8.7%
無回答	27	6.0%

n=450

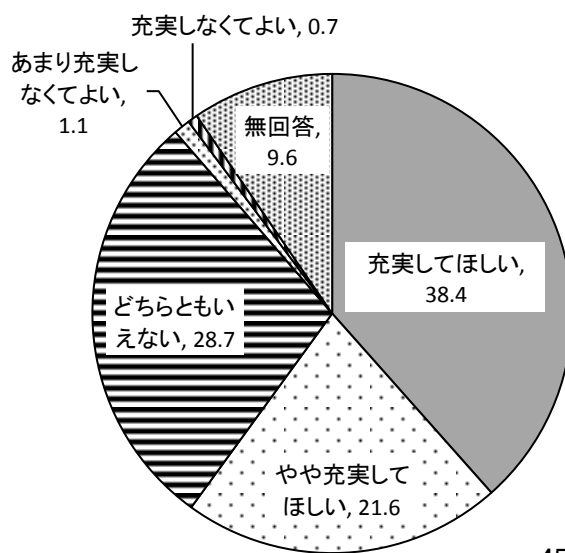


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	173	38.4%
やや充実してほしい	97	21.6%
どちらともいえない	129	28.7%
あまり充実しなくてよい	5	1.1%
充実しなくてよい	3	0.7%
無回答	43	9.6%

n=450



n=450

(44) 公共施設の適正な配置（施設数と立地）

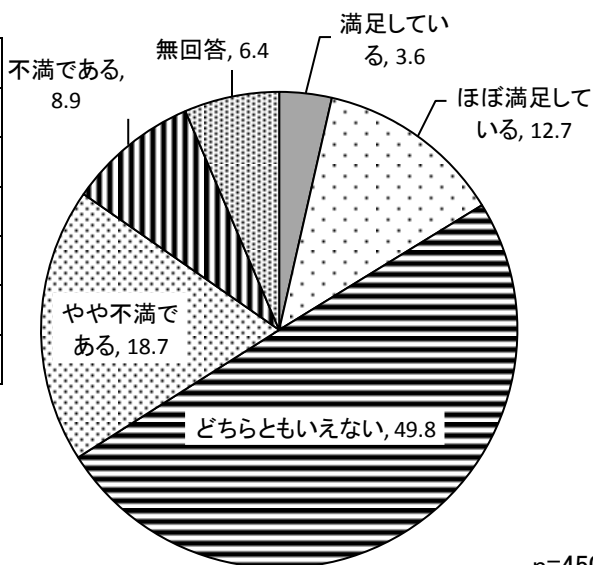
満足度については、「どちらともいえない」が 49.8%で最も多く、以下「やや不満である」(18.7%)、「ほぼ満足している」(12.7%) の順である。

充実希望度については、「充実してほしい」が 36.2%で最も多く、続いて「どちらともいえない」(28.9%)、「やや充実してほしい」(22.9%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	16	3.6%
ほぼ満足している	57	12.7%
どちらともいえない	224	49.8%
やや不満である	84	18.7%
不満である	40	8.9%
無回答	29	6.4%

n=450

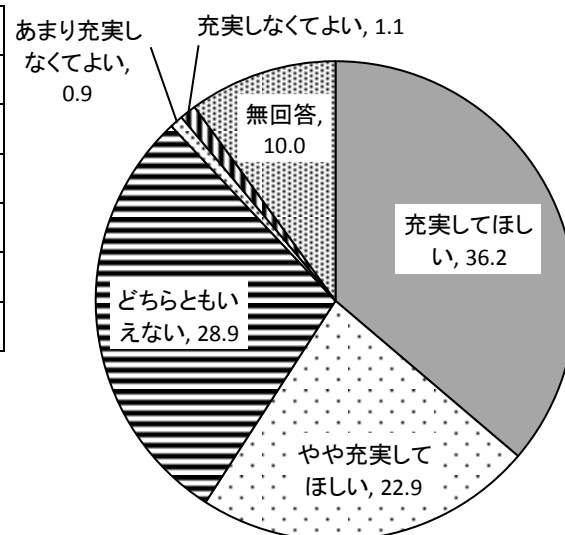


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	163	36.2%
やや充実してほしい	103	22.9%
どちらともいえない	130	28.9%
あまり充実しなくてよい	4	0.9%
充実しなくてよい	5	1.1%
無回答	45	10.0%

n=450



n=450

(45) 財政運営の適正化

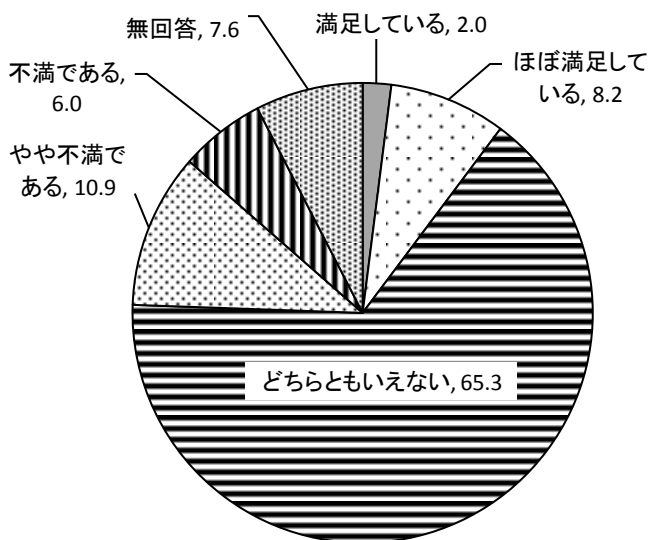
満足度については、「どちらともいえない」が 65.3%で最も多く、以下「やや不満である」(10.9%)、「ほぼ満足している」(8.2%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 39.1%で最も多く、続いて「充実してほしい」(33.8%)、「やや充実してほしい」(15.6%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	9	2.0%
ほぼ満足している	37	8.2%
どちらともいえない	294	65.3%
やや不満である	49	10.9%
不満である	27	6.0%
無回答	34	7.6%

n=450

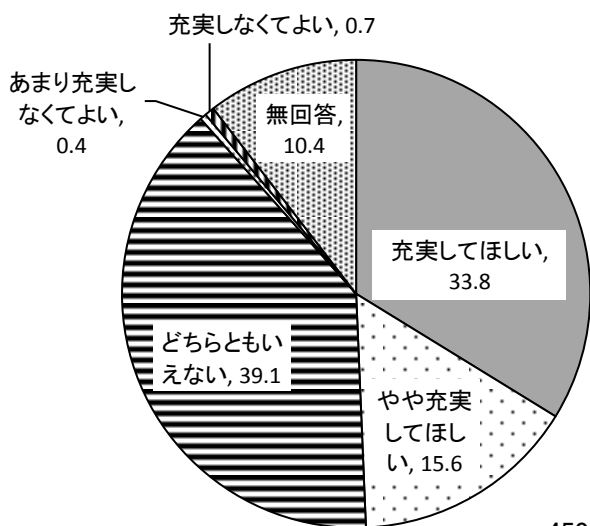


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	152	33.8%
やや充実してほしい	70	15.6%
どちらともいえない	176	39.1%
あまり充実しなくてよい	2	0.4%
充実しなくてよい	3	0.7%
無回答	47	10.4%

n=450



n=450

(46) 近隣自治体との連携強化

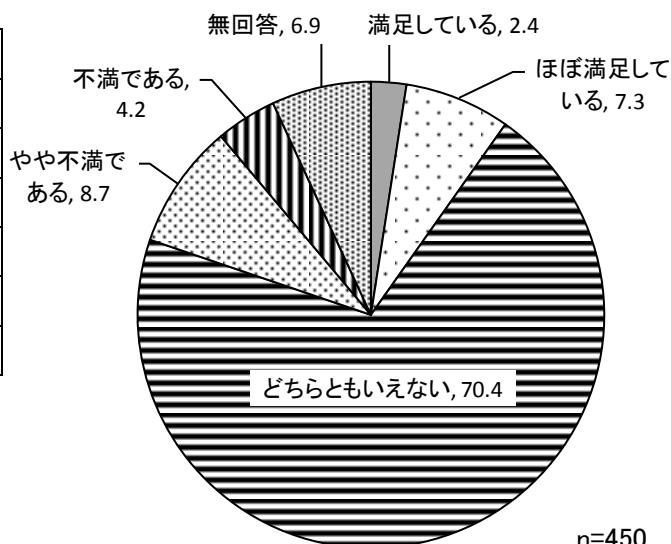
満足度については、「どちらともいえない」が 70.4%で最も多く、次いで「やや不満である」(8.7%)、「ほぼ満足している」(7.3%) の順である。

充実希望度については、「どちらともいえない」が 42.7%で最も多く、以下「充実してほしい」(26.9%)、「やや充実してほしい」(16.9%) の順である。

○満足度

項目	件数	割合
満足している	11	2.4%
ほぼ満足している	33	7.3%
どちらともいえない	317	70.4%
やや不満である	39	8.7%
不満である	19	4.2%
無回答	31	6.9%

n=450

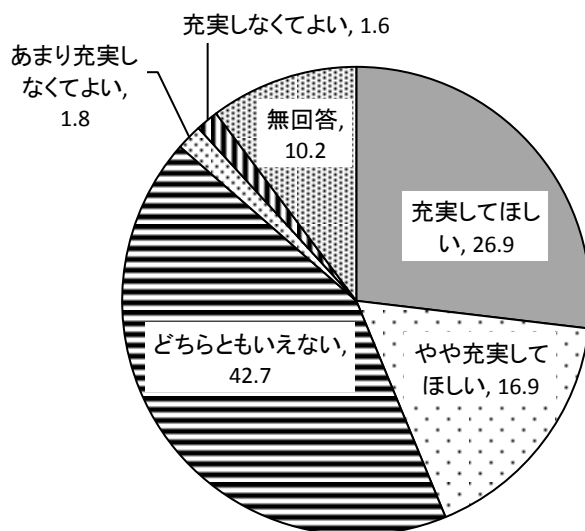


n=450

○充実希望度

項目	件数	割合
充実してほしい	121	26.9%
やや充実してほしい	76	16.9%
どちらともいえない	192	42.7%
あまり充実しなくてよい	8	1.8%
充実しなくてよい	7	1.6%
無回答	46	10.2%

n=450



n=450

○各施策の「満足度」と「充実希望度」との相関関係について

施策ごとの「満足度」と「充実希望度」について、各々の集計結果を下記の方法により点数化した上で、その加重平均値を算出した。

【満足度】

「満足している」：2点、「ほぼ満足している」：1点、「どちらともいえない」：0点、「やや不満である」：-1点、「不満である」：-2点とし、項目ごとの回答結果と上記配点との積の総和を（回答者件数－無回答件数）で除した値として算出した。

【充実希望度】

「充実してほしい」：2点、「やや充実してほしい」：1点、「どちらともいえない」：0点、「あまり充実しなくてよい」：-1点、「充実しなくてよい」：-2点とし、項目ごとの回答結果と上記配点との積の総和を（回答者件数－無回答件数）で除した値として算出した。

【次頁以降の「相関分布図】

上記「満足度」および「充実希望度」それぞれの加重平均値をもとに、X軸に「満足度」を、Y軸に「充実希望度」を設定し、各項目を散布図上に示したものが、次頁以降に示した「各施策の「満足度」と「充実希望度」の相関分布図」である。

満足度【X軸】の分布について

- ・「公共交通の整備」が突出して低く、市民の不満が多いことが読み取れる。次いで、「魅力ある街並み景観の形成」、「観光まちづくりの推進」、「道路の整備」、「水と緑のネットワーク作りの推進」、「商・工業の活性化」、「文化・芸術の振興」、「適正な土地利用の推進」、「公共施設の適正な配置（施設数と立地）」などの順で低い数値となった。
- ・一方で、「下水道の整備の推進」、「消防・救急体制の充実・強化」、「健康づくり事業の充実」、「ごみの減量化とリサイクルの推進」などの項目では、高い数値となった。

充実希望度【Y軸】の分布について

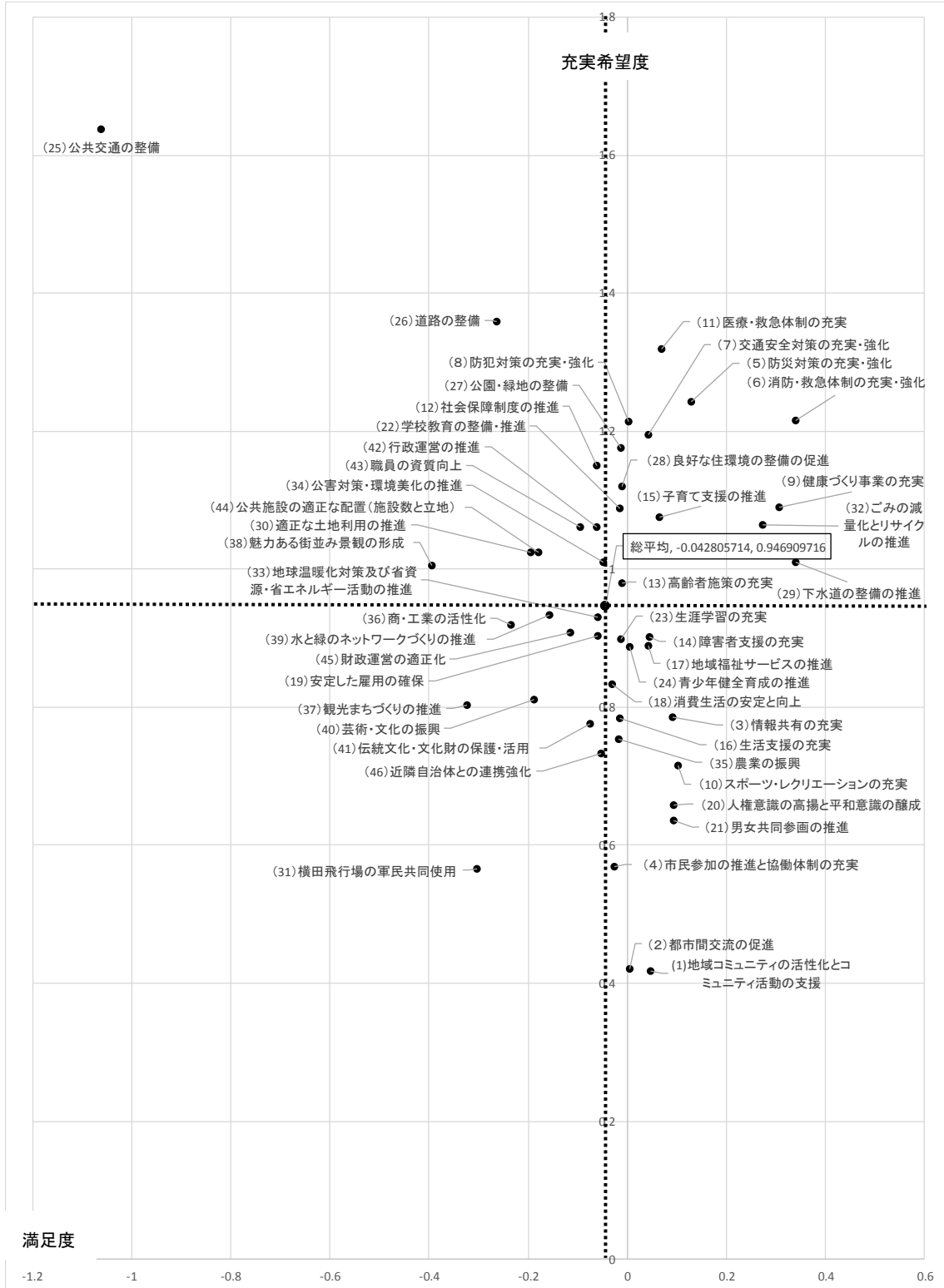
- ・「公共交通の整備」が突出して高く、市民要望が著しく高いことが読み取れる。次いで、「道路の整備」、「医療・救急体制の充実」、「防災対策の充実・強化」、「防犯対策の充実・強化」、「消防・救急体制の充実・強化」、「交通安全対策の充実・強化」などの順となった。

X軸—Y軸相関について

- ・第2象限（左上）に位置する施策群は、満足度が低く充実希望度が高いことから、施策の優先順位は高く、早急な対応が必要と考えられる。
- ・第4象限（右下）に位置する施策群は、満足度は高く充実希望度は低いことから、現状の施策水準を維持しつつ、施策の優先順位を下げる方向で調整できるものと考えられる。
- ・なお、第3象限（左下）に位置する施策群は、満足度も充実希望度も低い施策群であり、第1象限（右上）に位置する施策群は、満足度も充実希望度も高い施策群である。

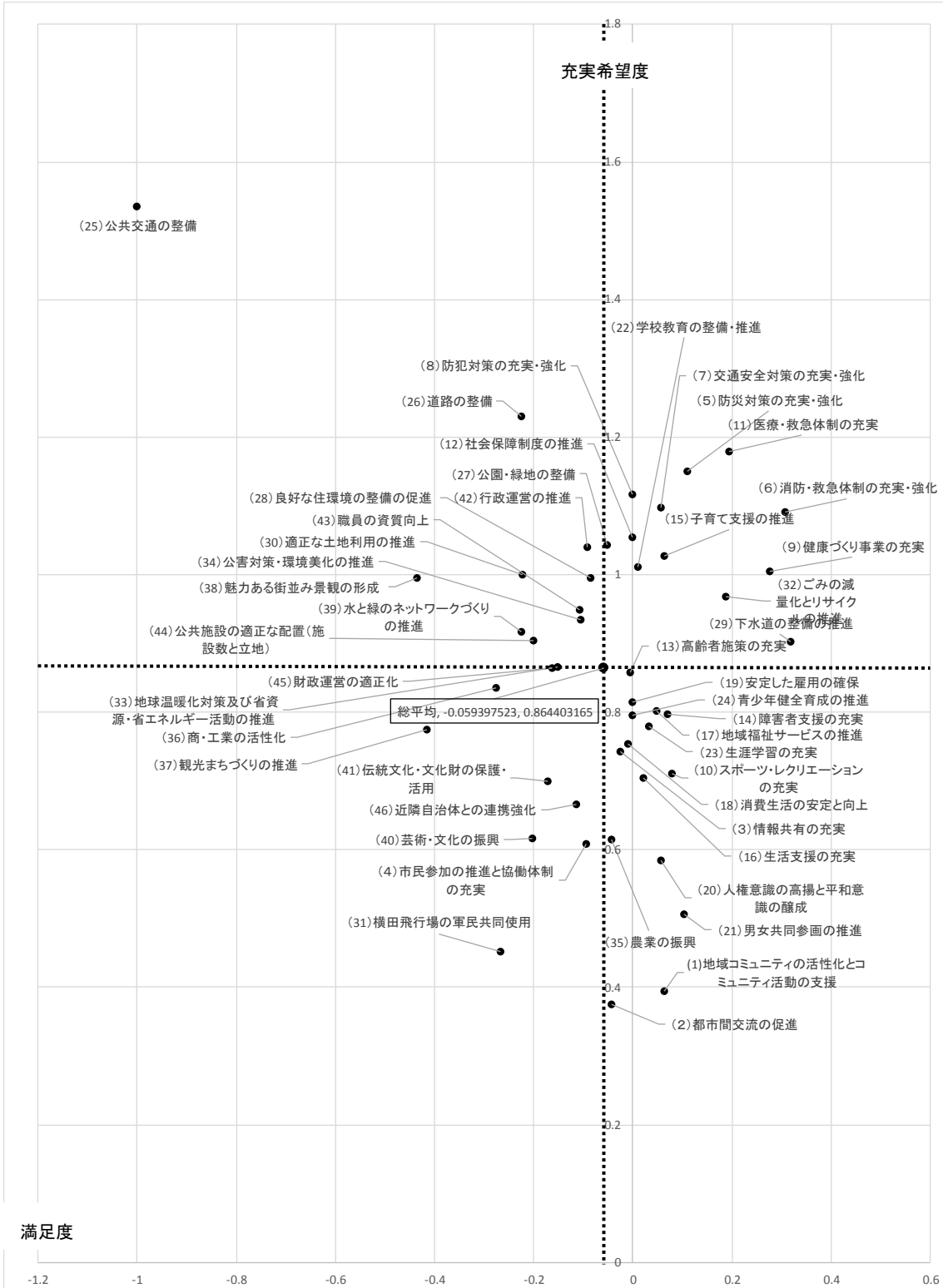
【各施策の「満足度」と「充実希望度」との相関分布図】

全体

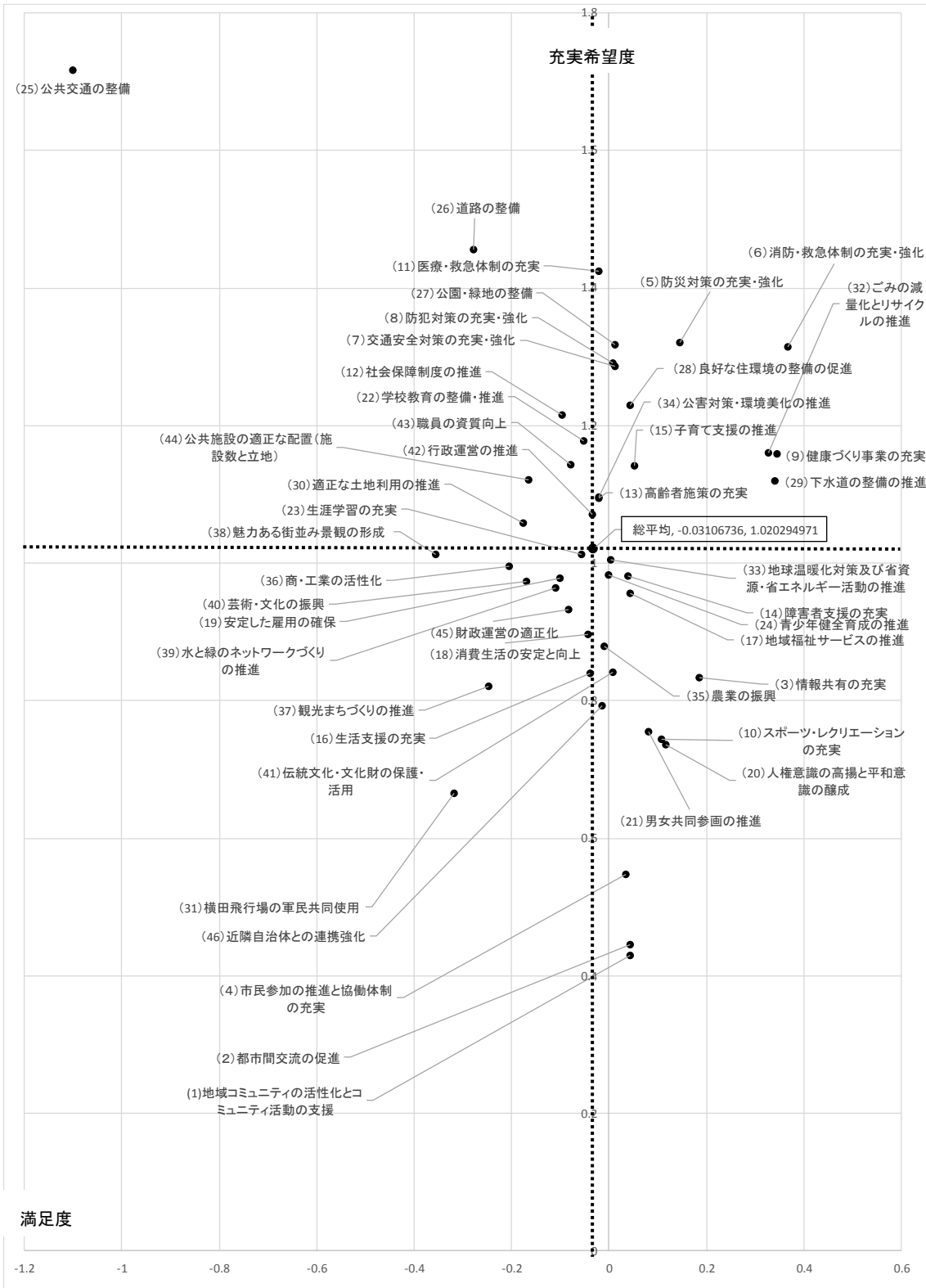


※点線部が全項目を通じた総平均値を表す

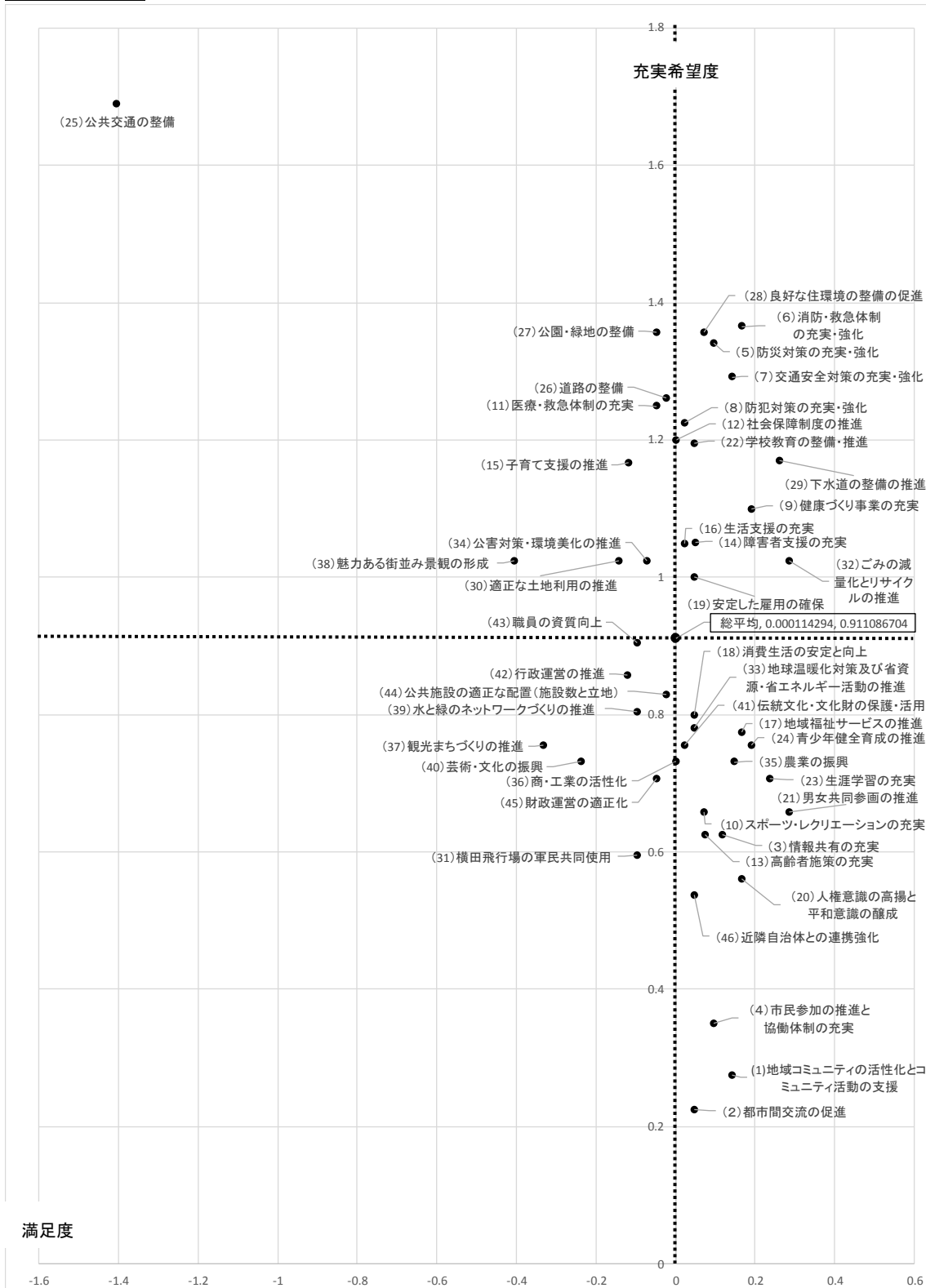
男性



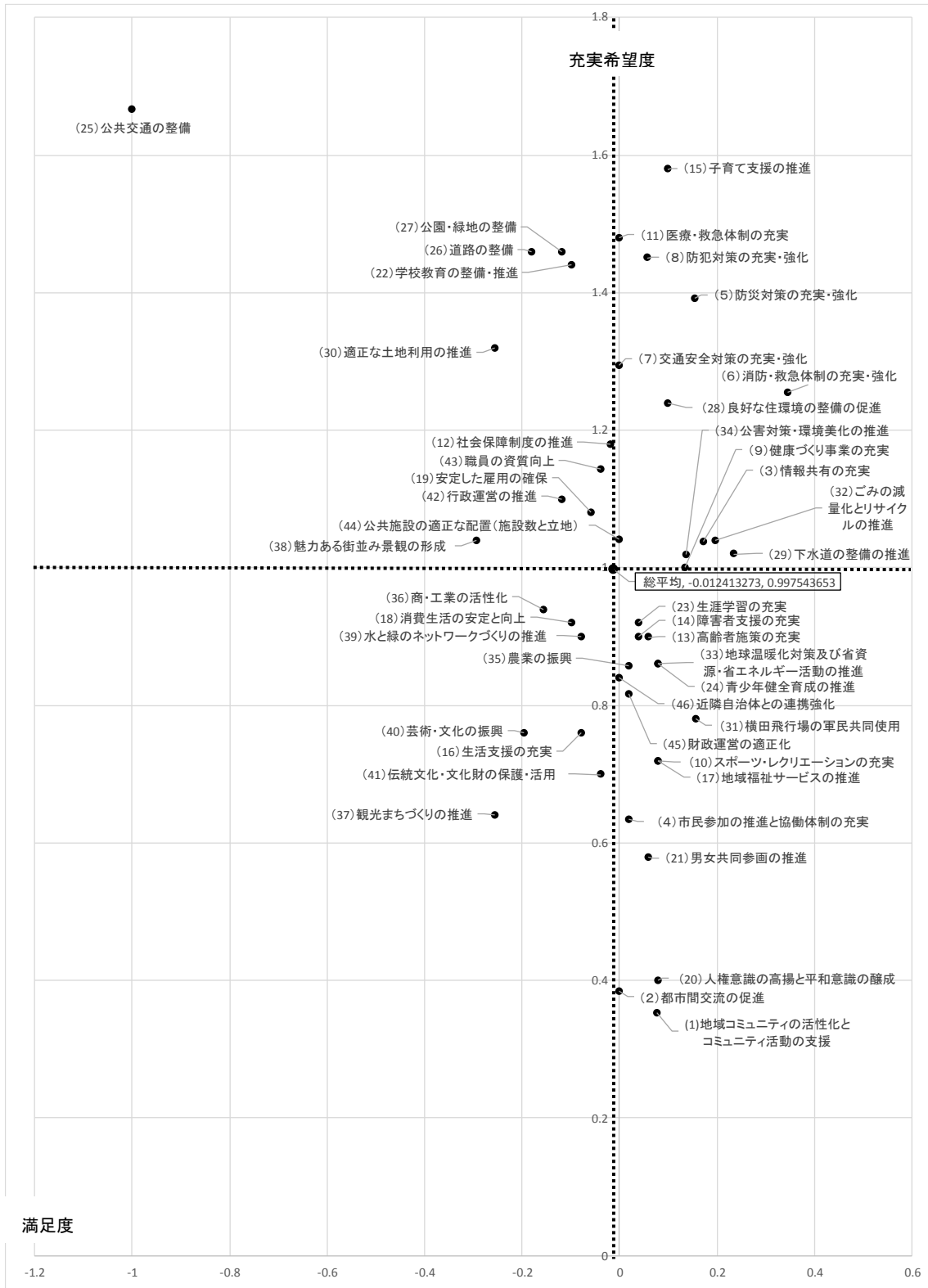
女性



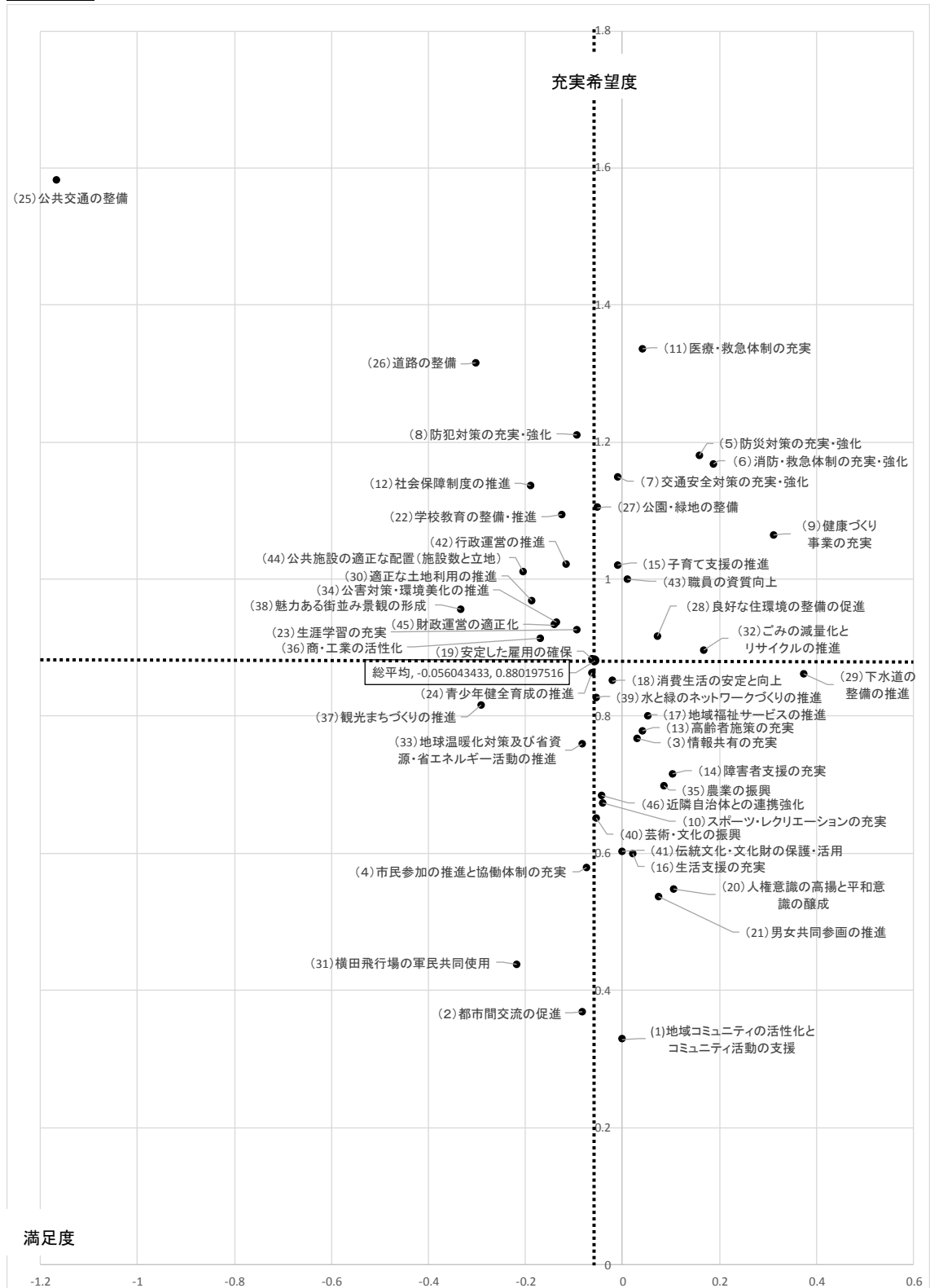
10～20 歳代



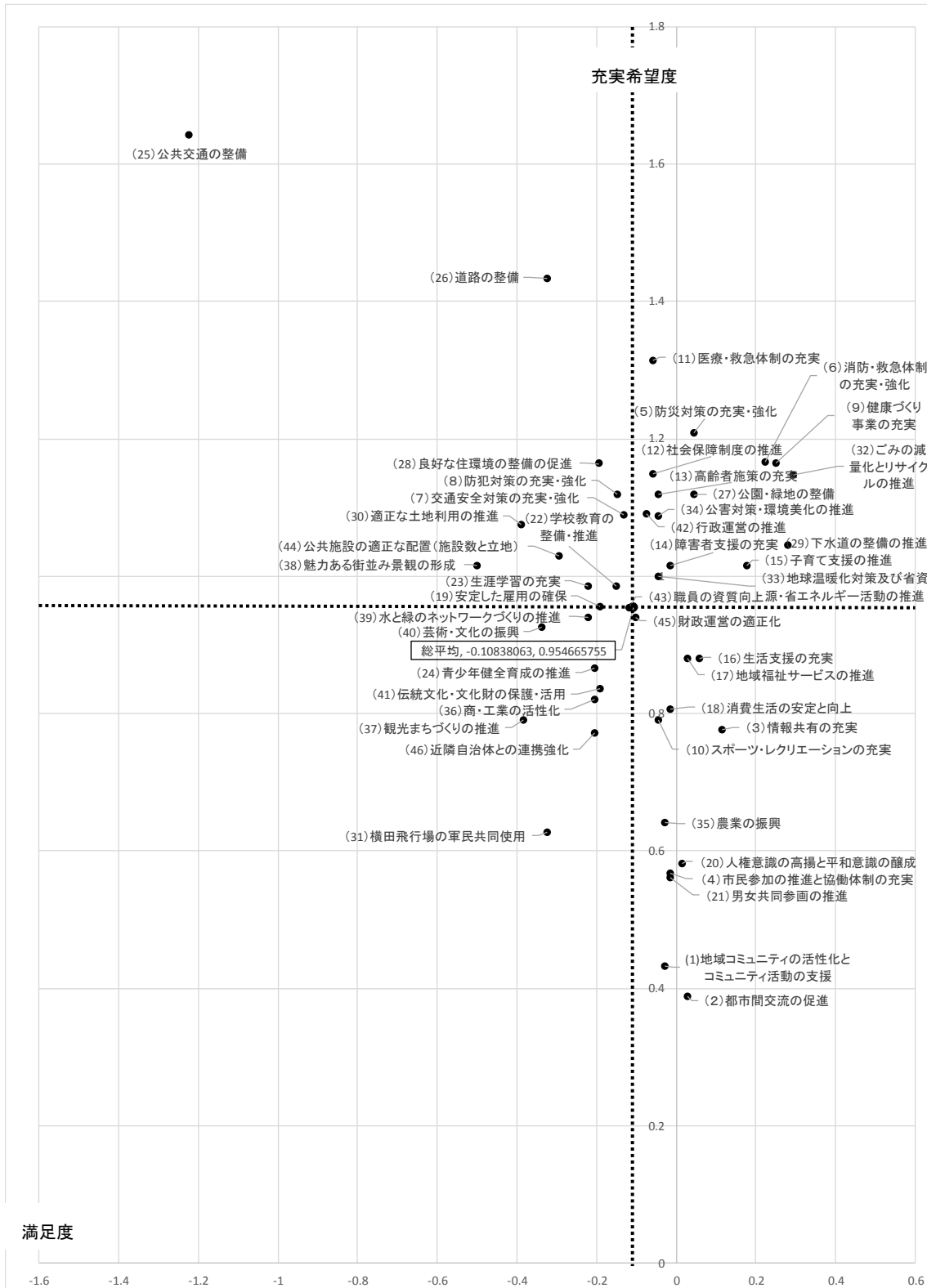
30 歳代



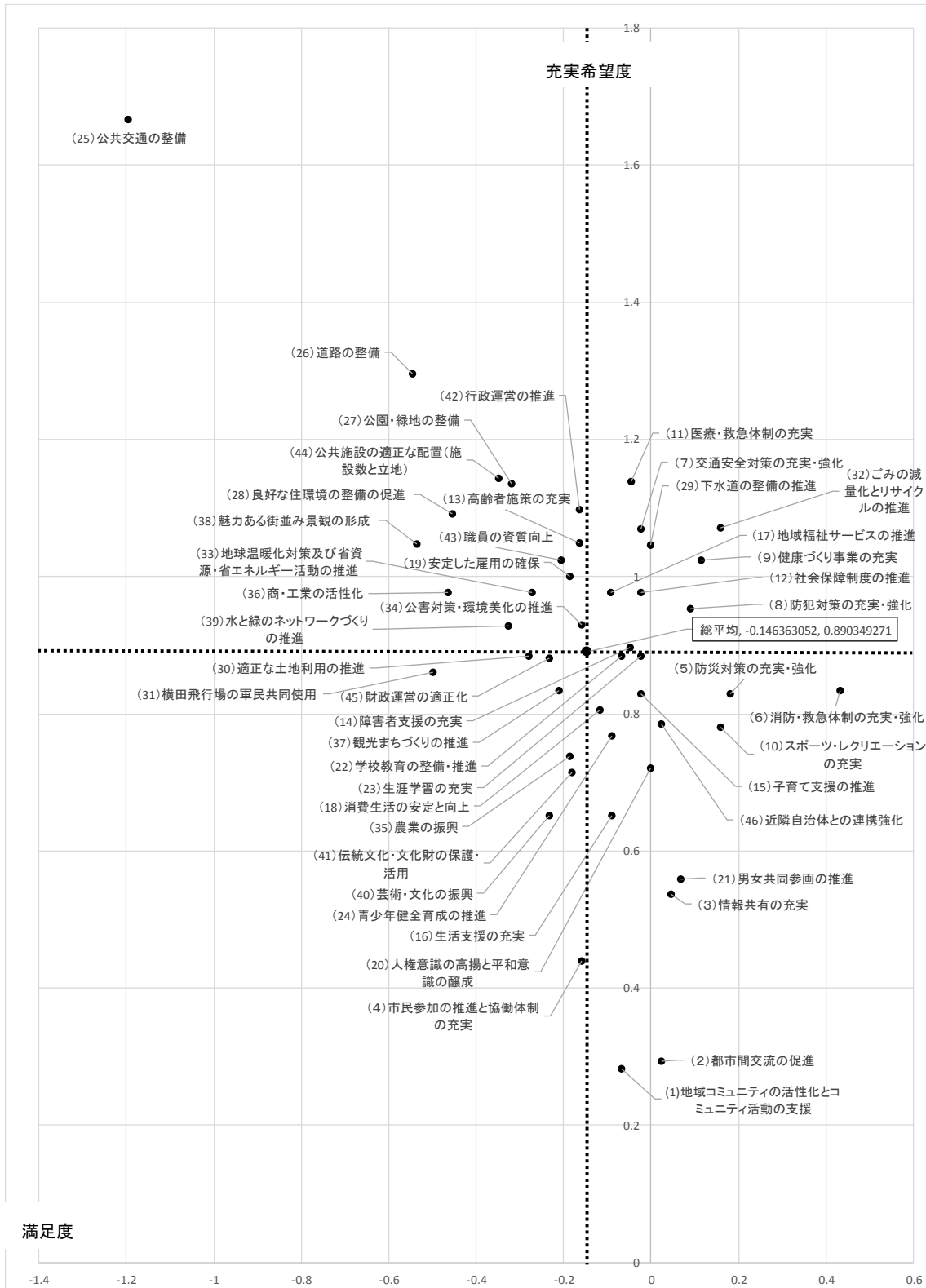
40 歳代



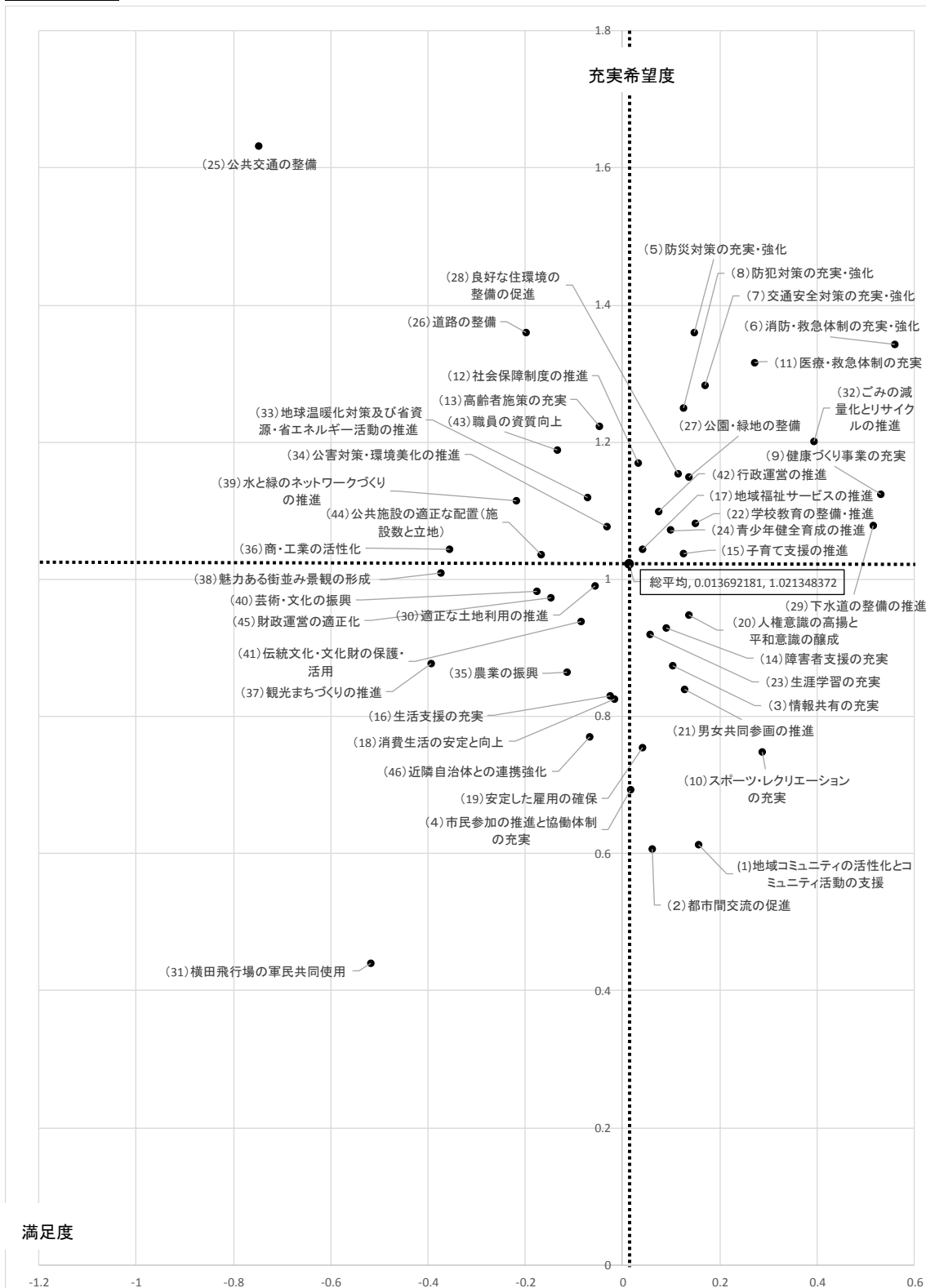
50 歳代



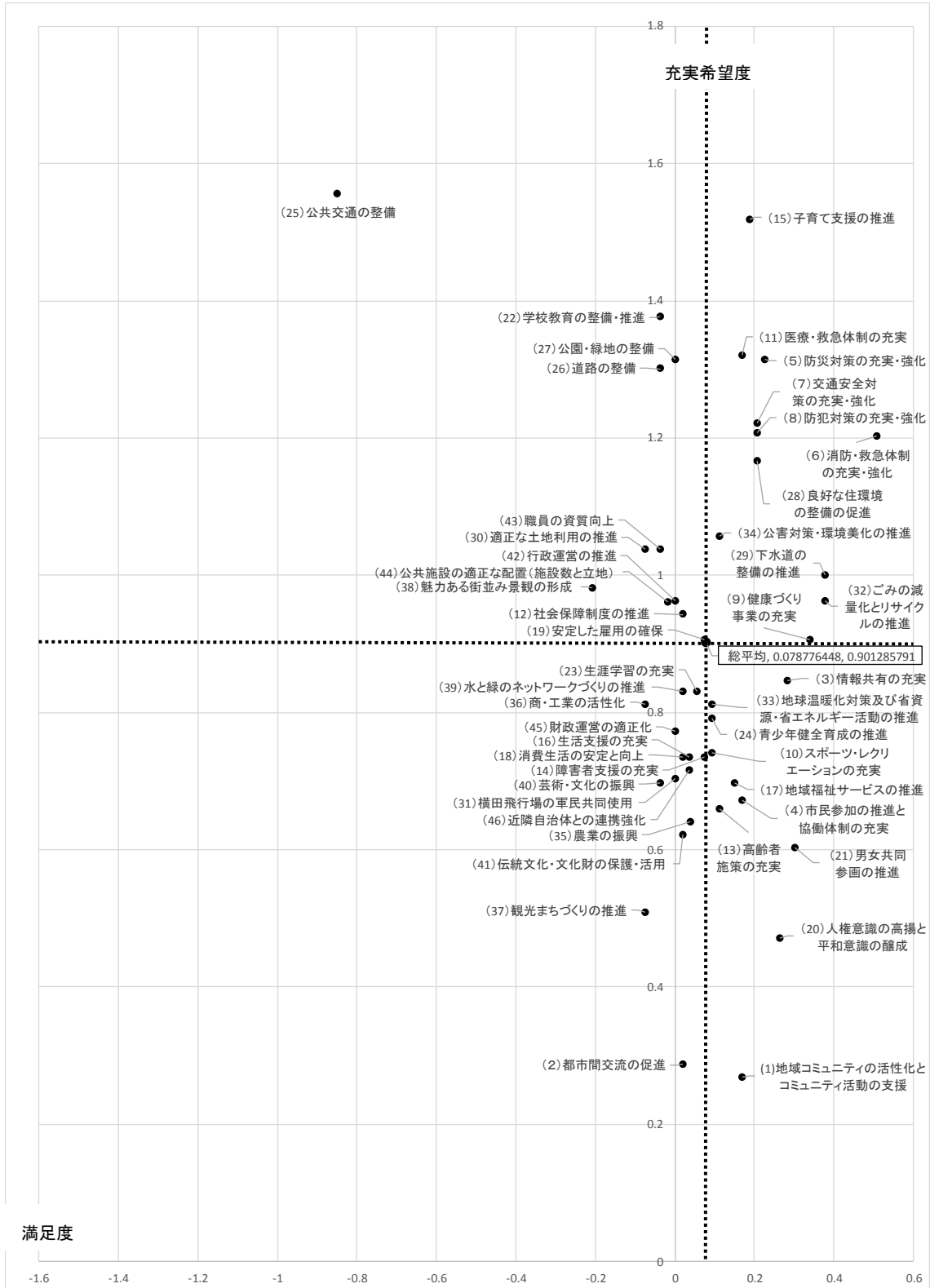
60～64 歳



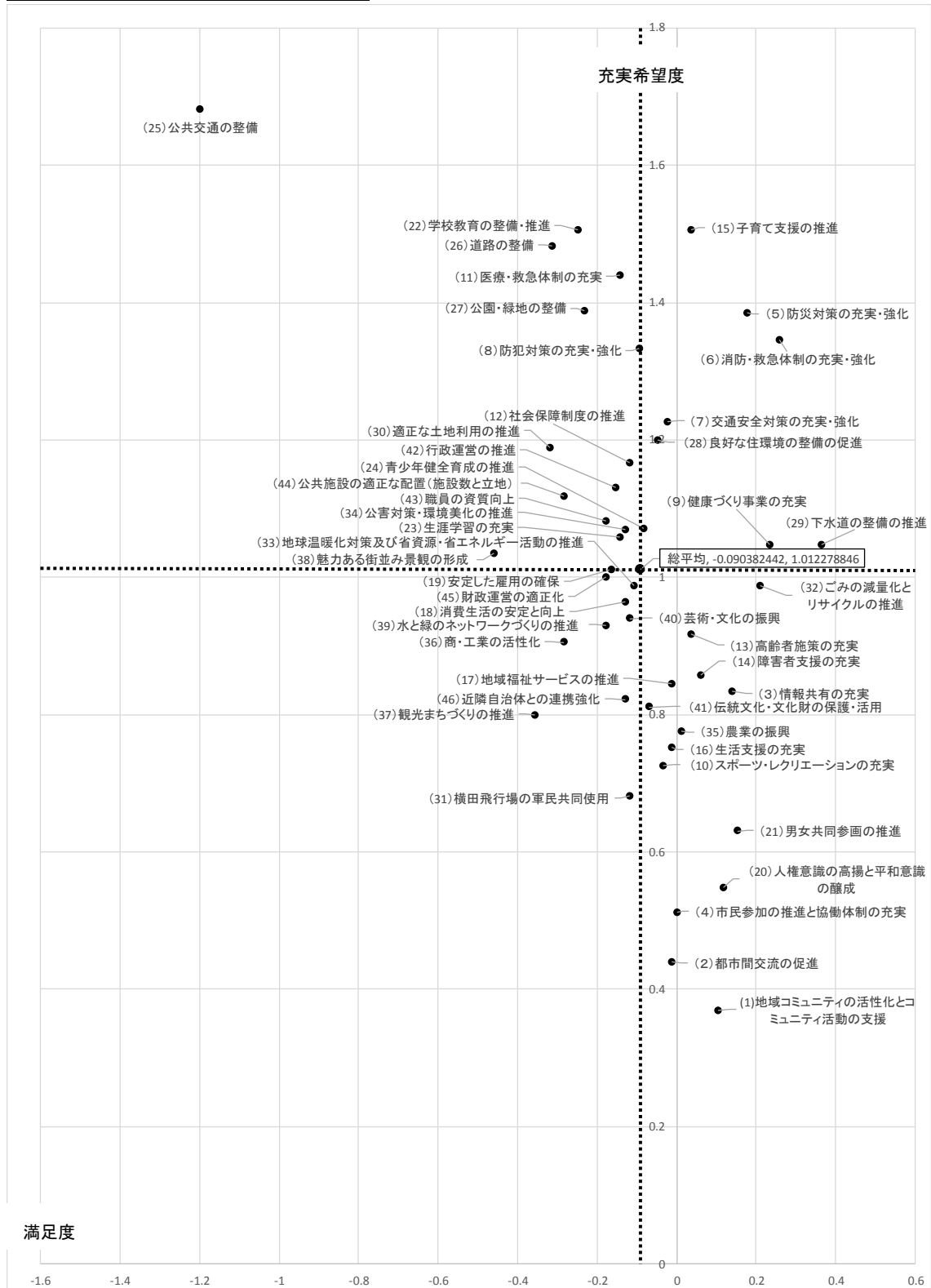
65 歳以上



世帯員に乳幼児・未就学児がいる回答者



世帯員に小中学生がいる回答者



世帯員に65歳以上の高齢者がいる回答者



問 12-2 前問の (1) から (46) までのうち、あなたが優先して取り組むべき施策と思うものを順に3つ選び、その番号をお書きください。

「1位」を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として換算したポイント数で各項目をみると、「(25) 公共交通の整備」が644ポイントを占めた。以下「(13)高齢者施策の充実」(120ポイント)、「(11)医療・救急体制の充実・強化」(115ポイント)、「(15)子育て支援の充実」(111ポイント)と続く。

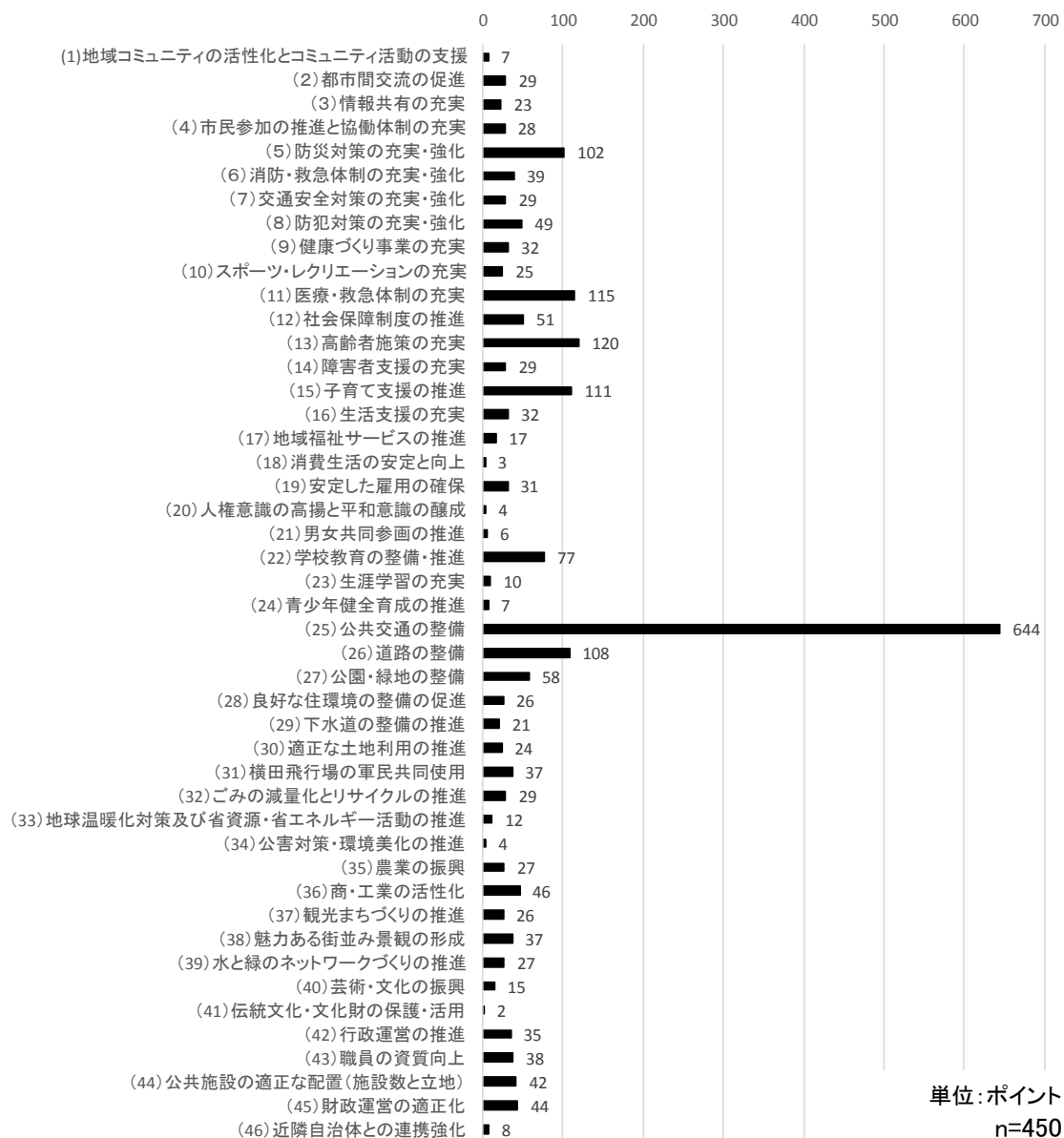
項目	件数			ポイント
	1位	2位	3位	
(1)地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援	1	1	2	7
(2)都市間交流の促進	6	5	1	29
(3)情報共有の充実	3	5	4	23
(4)市民参加の推進と協働体制の充実	6	5	0	28
(5)防災対策の充実・強化	19	13	19	102
(6)消防・救急体制の充実・強化	2	9	15	39
(7)交通安全対策の充実・強化	5	4	6	29
(8)防犯対策の充実・強化	5	12	10	49
(9)健康づくり事業の充実	7	5	1	32
(10)スポーツ・レクリエーションの充実	5	2	6	25
(11)医療・救急体制の充実	13	29	18	115
(12)社会保障制度の推進	8	11	5	51
(13)高齢者施策の充実	19	24	15	120
(14)障害者支援の充実	2	8	7	29
(15)子育て支援の推進	23	15	12	111
(16)生活支援の充実	4	7	6	32
(17)地域福祉サービスの推進	2	3	5	17
(18)消費生活の安定と向上	0	1	1	3
(19)安定した雇用の確保	3	9	4	31
(20)人権意識の高揚と平和意識の醸成	1	0	1	4
(21)男女共同参画の推進	2	0	0	6
(22)学校教育の整備・推進	11	14	16	77
(23)生涯学習の充実	0	3	4	10
(24)青少年健全育成の推進	0	2	3	7
(25)公共交通の整備	181	41	19	644

項目	件数			ポイント
	1位	2位	3位	
(26)道路の整備	8	37	10	108
(27)公園・緑地の整備	2	18	16	58
(28)良好な住環境の整備の促進	2	5	10	26
(29)下水道の整備の推進	2	6	3	21
(30)適正な土地利用の推進	1	5	11	24
(31)横田飛行場の軍民共同使用	2	8	15	37
(32)ごみの減量化とリサイクルの推進	2	5	13	29
(33)地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進	2	0	6	12
(34)公害対策・環境美化の推進	1	0	1	4
(35)農業の振興	3	5	8	27
(36)商・工業の活性化	6	7	14	46
(37)観光まちづくりの推進	1	7	9	26
(38)魅力ある街並み景観の形成	3	8	12	37
(39)水と緑のネットワークづくりの推進	3	6	6	27
(40)芸術・文化の振興	2	3	3	15
(41)伝統文化・文化財の保護・活用	0	0	2	2
(42)行政運営の推進	3	8	10	35
(43)職員の資質向上	3	5	19	38
(44)公共施設の適正な配置(施設数と立地)	6	7	10	42
(45)財政運営の適正化	9	5	7	44
(46)近隣自治体との連携強化	1	0	5	8
無回答	60	77	80	-

n=450

※ 「ポイント」は、「1位」を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として換算し、得点化したものである。

※ 表中「網掛け」部は、「ポイント」数の「トップ5」を示す。



※ 「ポイント」は、「1位」を3点、「2位」を2点、「3位」を1点として換算し、得点化したものである。

4. 武蔵村山市のまちづくりの施策について

4-1 市民が自ら考え行動するまちづくり

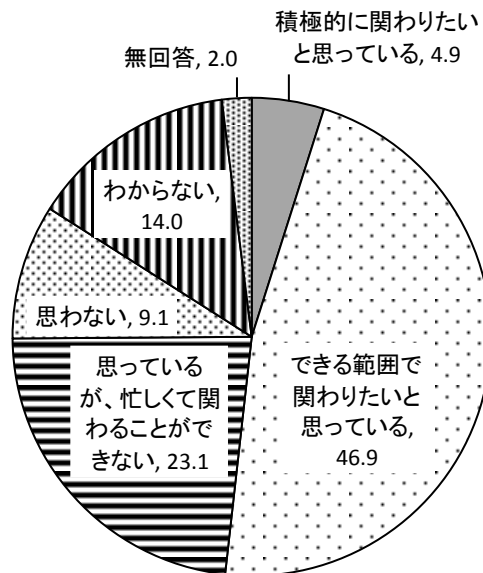
コミュニティ

問 13 あなたは、地域のために、何か役に立ちたいと思いますか。(〇は1つ)

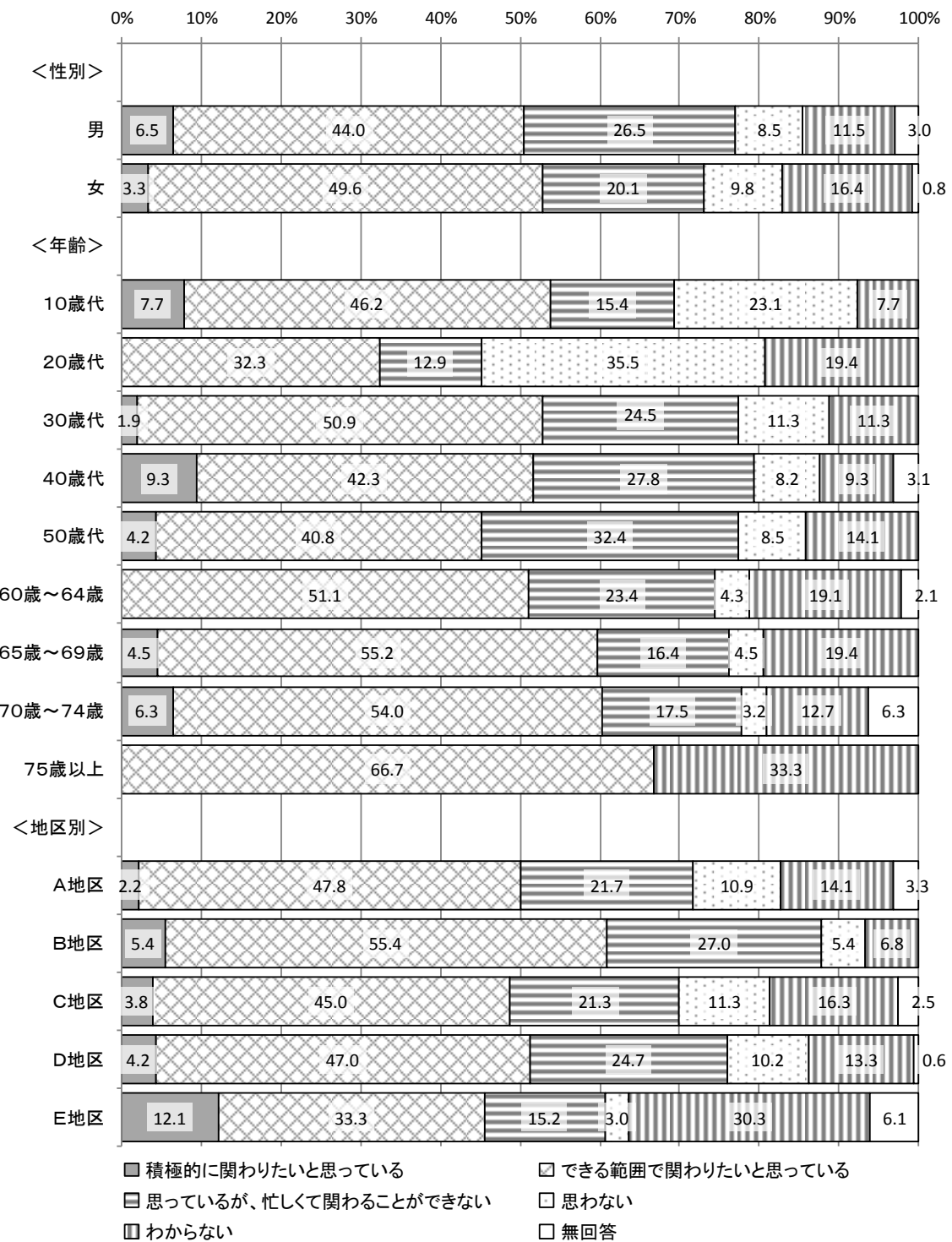
回答者の地域活動への参画意向としては、「できる範囲で関わりたいと思っている」が46.9%で最も多く、以下「思っているが、忙しくて関わることができない」(23.1%)、「わからない」(14.0%)と続く。

項目	件数	割合
積極的に関わりたいと思っている	22	4.9%
できる範囲で関わりたいと思っている	211	46.9%
思っているが、忙しくて関わることができない	104	23.1%
思わない	41	9.1%
わからない	63	14.0%
無回答	9	2.0%

n=450



n=450



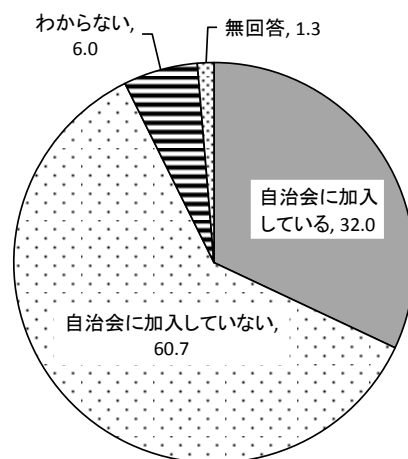
n=450

問14 あなたは、地域の自治会に加入していますか。(○は1つ)

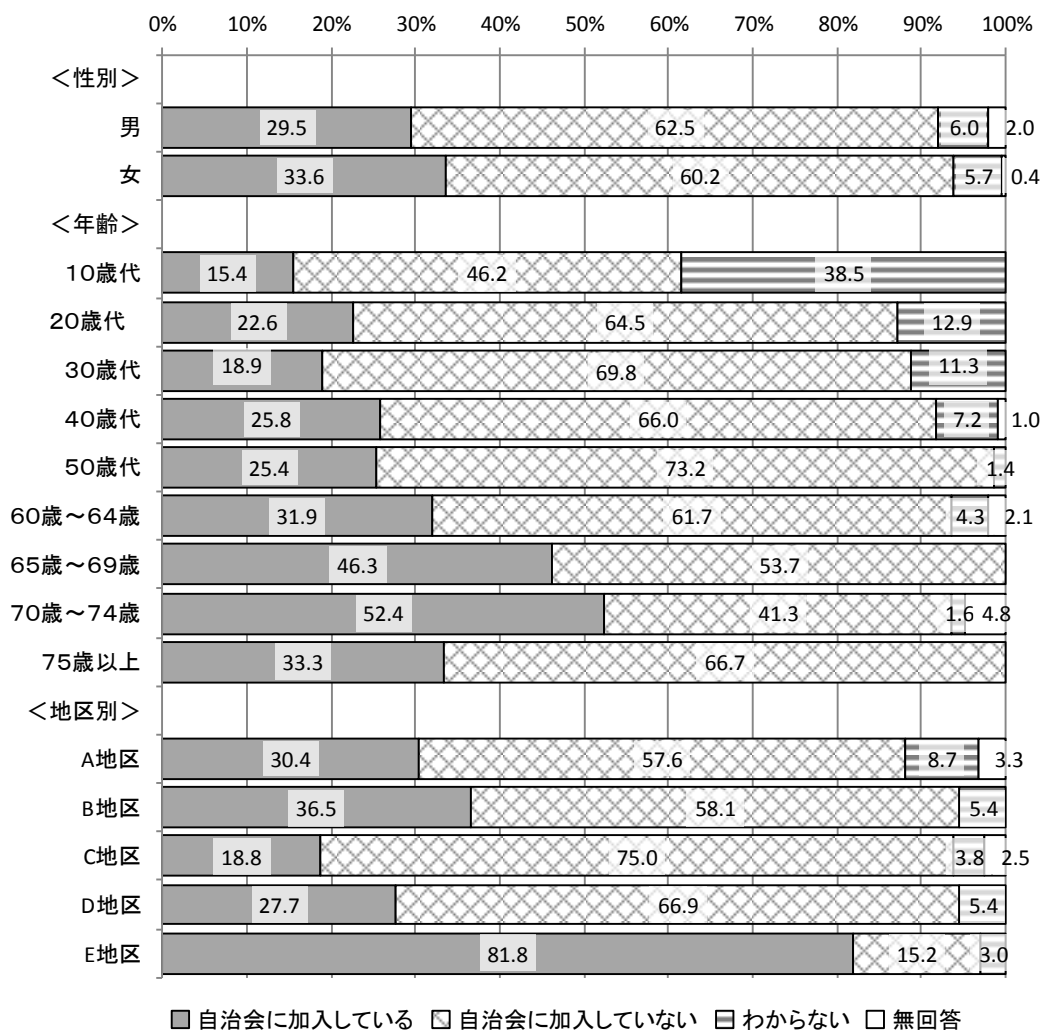
自治会への加入状況については、「自治会に加入していない」とした回答者が60.7%、「自治会に加入している」とした回答者が32.0%である。

項目	件数	割合
自治会に加入している	144	32.0%
自治会に加入していない	273	60.7%
わからない	27	6.0%
無回答	6	1.3%

n=450



n=450



n=450

問 14-2 【問 14 で「自治会に加入していない」と回答した方にお聞きします。】

自治会に加入していない理由は。(○は2つまで)

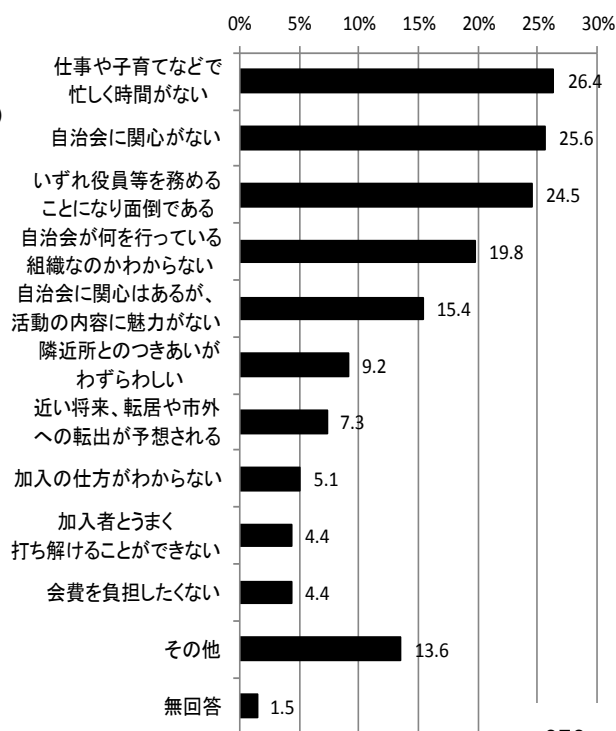
自治会に加入しない理由としては、「仕事や子育てなどで忙しく時間がない」が 26.4% で最も多く、以下「自治会に関心がない」(25.6%)、「いずれ役員等を務めることになり面倒である」(24.5%) と続く。

項目	件数	割合
仕事や子育てなどで忙しく時間がない	72	26.4%
自治会に関心がない	70	25.6%
いずれ役員等を務めることになり面倒である	67	24.5%
自治会が何を行っている組織なのかわからない	54	19.8%
自治会に関心はあるが、活動の内容に魅力がない	42	15.4%
隣近所とのつきあいがわずらわしい	25	9.2%
近い将来、転居や市外への転出が予想される	20	7.3%
加入の仕方がわからない	14	5.1%
加入者とうまく打ち解けることができない	12	4.4%
会費を負担したくない	12	4.4%
その他	37	13.6%
無回答	4	1.5%

n=273

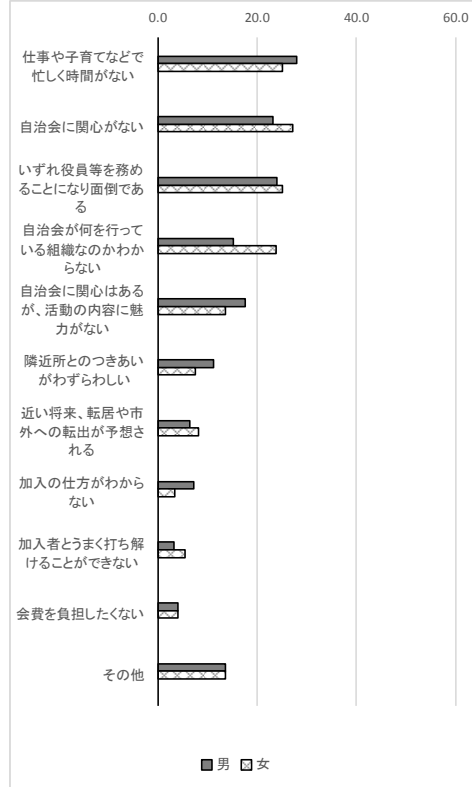
(「その他」の詳細)

- ・以前は加入していたが退会した (7 件)
- ・高齢、体調不良等のため (5 件)
- ・家族、親が加入している (4 件)
- ・自治会がない (3 件)
- ・勧誘されていない (3 件)
- ・転居間もない (2 件)
- ・活動内容がわからない (2 件)
- ・近所が加入していない
- ・加入しなくても困っていない
- ・集会所が遠く行けない
- ・古くからの会員の為の自治会だから
- ・運営費に疑問を感じる
- ・マンション内で仕事をしている

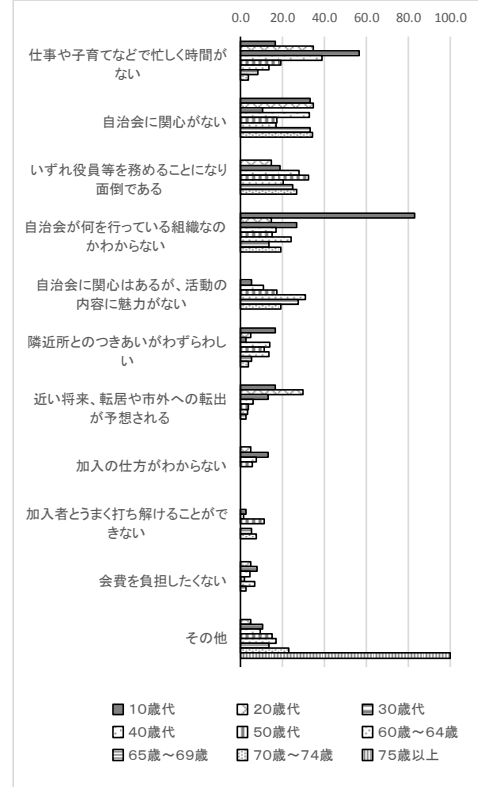


n=273

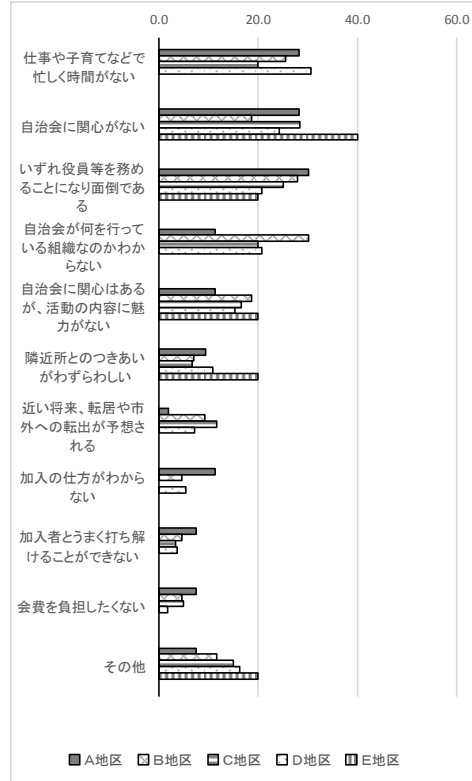
<性別>



<年齢別>



<地区別>



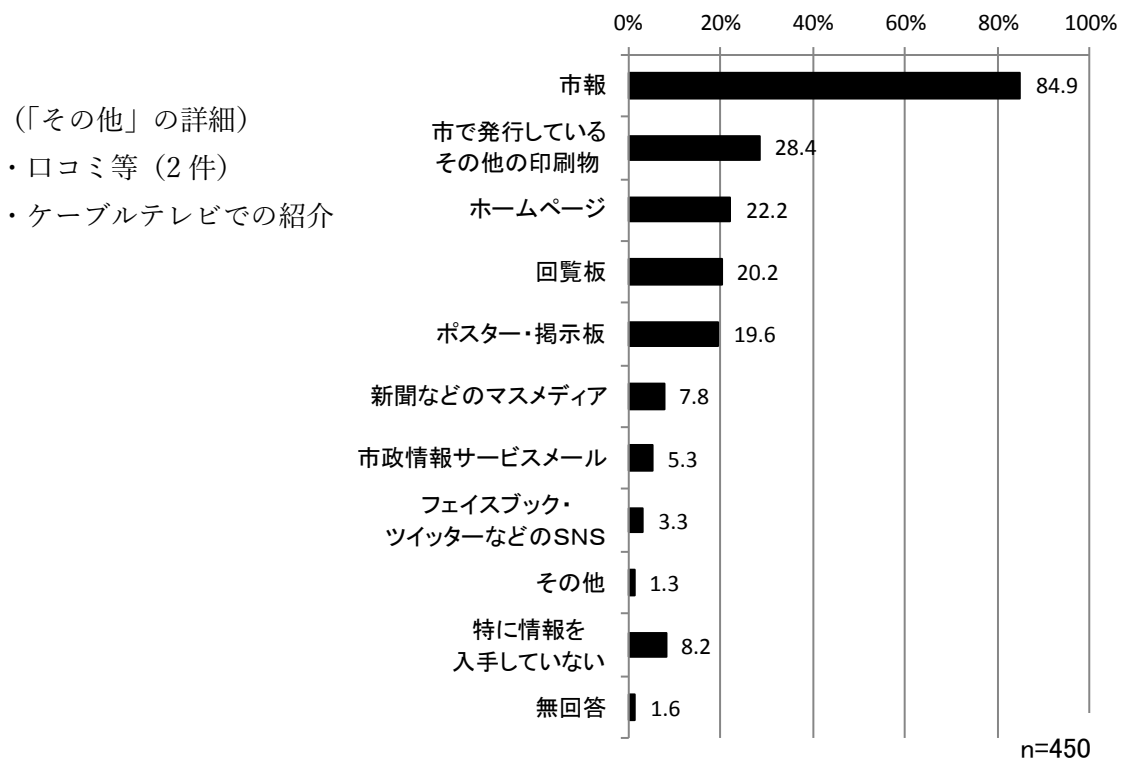
n=273

問 15 あなたは、市政に関する情報をどのような方法で入手していますか。

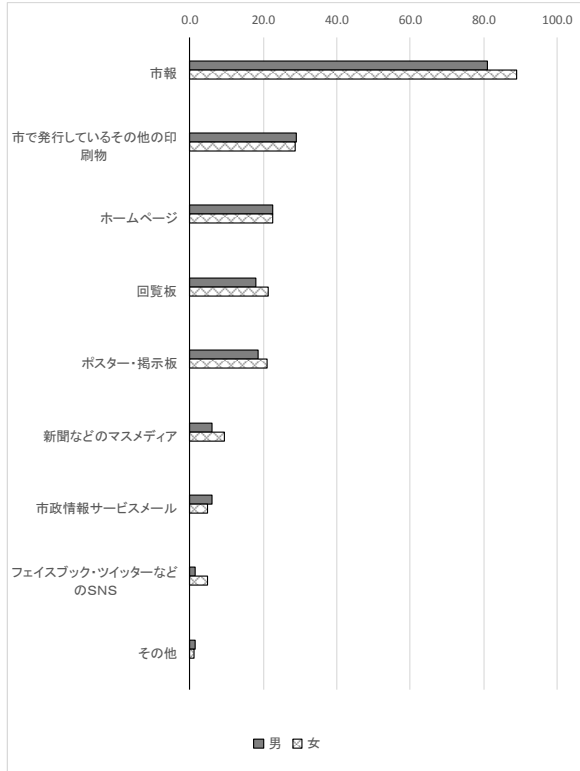
(○はいくつでも)

市政情報の入手手段としては、「市報」が 84.9%を占め、最も多い。以下「市で発行しているその他の印刷物」(28.4%)、「ホームページ」(22.2%)、「回覧板」(20.2%)と続く。

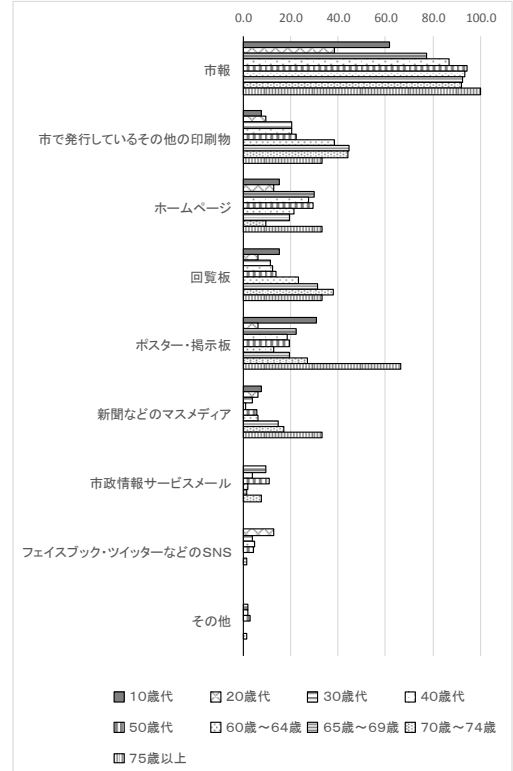
項目	件数	割合
市報	382	84.9%
市で発行しているその他の印刷物	128	28.4%
ホームページ	100	22.2%
回覧板	91	20.2%
ポスター・掲示板	88	19.6%
新聞などのマスメディア	35	7.8%
市政情報サービスメール	24	5.3%
フェイスブック・ツイッターなどのSNS	15	3.3%
その他	6	1.3%
特に情報を入手していない	37	8.2%
無回答	7	1.6%



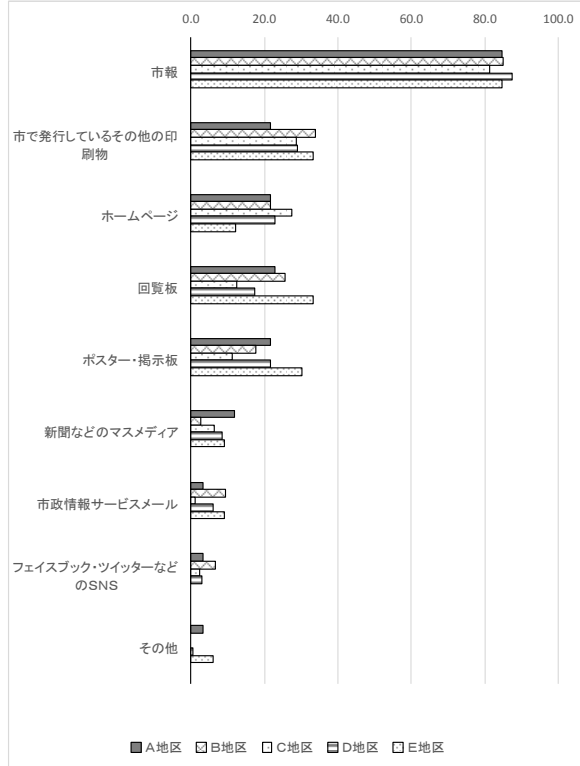
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

問 16 あなたは、市が発信する情報に対し、どの程度満足していますか。

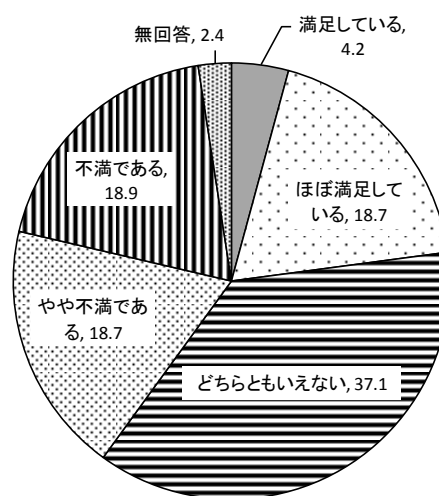
(○はそれぞれ1つ)

○道路・公共交通（モノレール・バス等）に関する情報

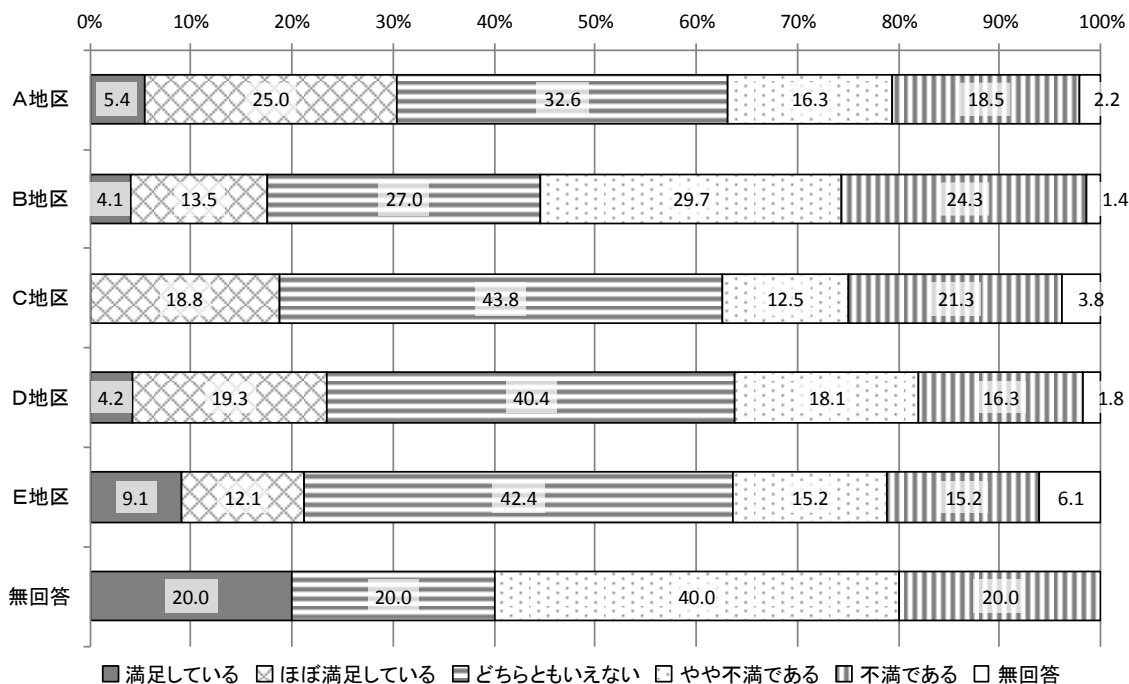
道路・公共交通に関する情報発信に対する満足度としては、「どちらともいえない」が37.1%で最も多く、次いで「不満である」(18.9%)、「ほぼ満足している」及び「やや不満である」(いずれも18.7%ずつ)の順である。

項目	件数	割合
満足している	19	4.2%
ほぼ満足している	84	18.7%
どちらともいえない	167	37.1%
やや不満である	84	18.7%
不満である	85	18.9%
無回答	11	2.4%

n=450



n=450



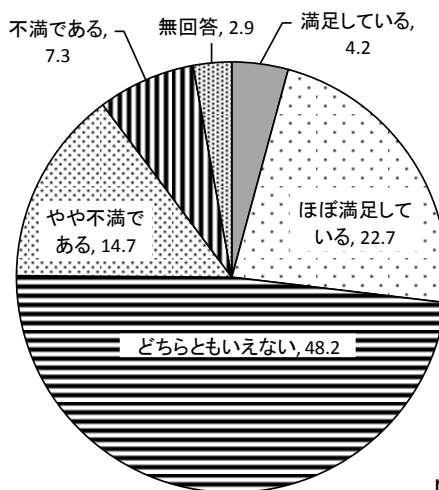
n=450

○防災、防犯対策に関する情報

防災・防犯対策に関する情報発信に対する満足度としては、「どちらともいえない」が48.2%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(22.7%)、「やや不満である」(14.7%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	19	4.2%
ほぼ満足している	102	22.7%
どちらともいえない	217	48.2%
やや不満である	66	14.7%
不満である	33	7.3%
無回答	13	2.9%

n=450



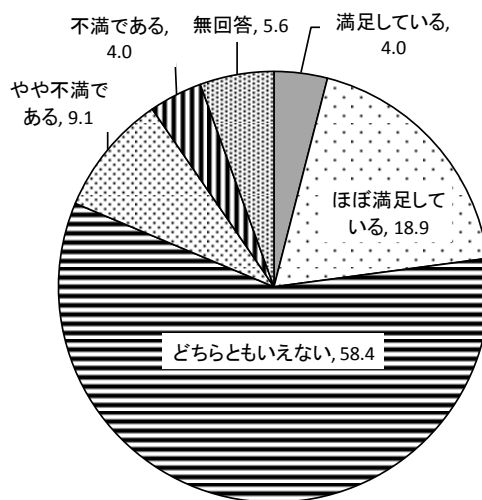
n=450

○子育てに関する情報

子育てに関する情報発信に対する満足度としては、「どちらともいえない」が58.4%で最も多く、続いて「ほぼ満足している」(18.9%)、「やや不満である」(9.1%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	18	4.0%
ほぼ満足している	85	18.9%
どちらともいえない	263	58.4%
やや不満である	41	9.1%
不満である	18	4.0%
無回答	25	5.6%

n=450



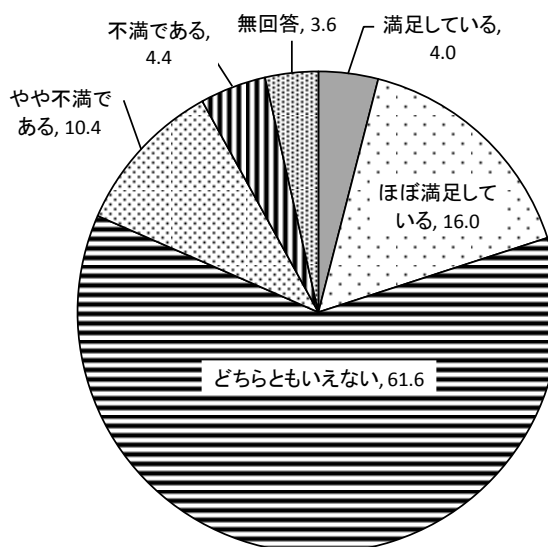
n=450

○高齢者向け情報

高齢者向け情報の発信に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 61.6%で最も多く、以下「ほぼ満足している」(16.0%)、「やや不満である」(10.4%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	18	4.0%
ほぼ満足している	72	16.0%
どちらともいえない	277	61.6%
やや不満である	47	10.4%
不満である	20	4.4%
無回答	16	3.6%

n=450



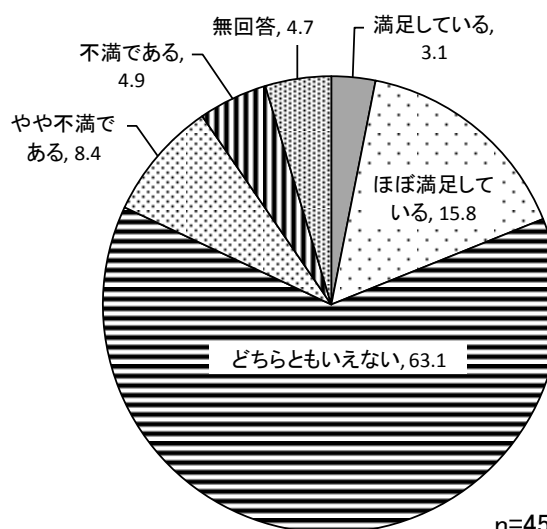
n=450

○生涯学習に関する情報

生涯学習に関する情報発信に対する満足度としては、「どちらともいえない」が 63.1%で最も多く、続いて「ほぼ満足している」(15.8%)、「やや不満である」(8.4%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	14	3.1%
ほぼ満足している	71	15.8%
どちらともいえない	284	63.1%
やや不満である	38	8.4%
不満である	22	4.9%
無回答	21	4.7%

n=450



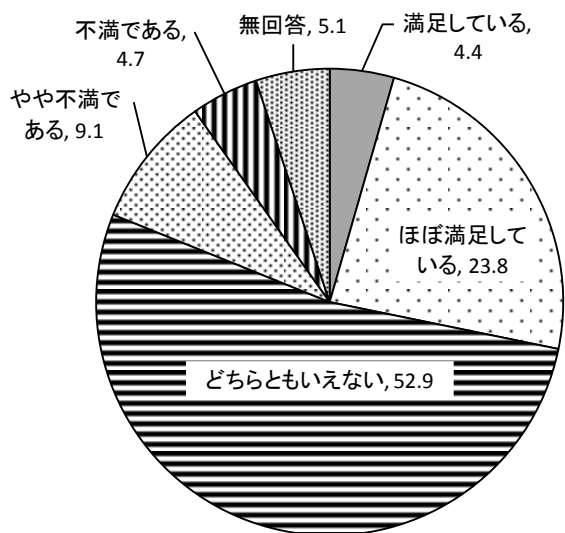
n=450

○情報全体（市報・ホームページ・SNS等）

市報・市ホームページ・SNS等、市からの情報発信全体に対する満足度としては、「どちらともいえない」が52.9%で最も多く、次いで「ほぼ満足している」(23.8%)、「やや不満である」(9.1%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	20	4.4%
ほぼ満足している	107	23.8%
どちらともいえない	238	52.9%
やや不満である	41	9.1%
不満である	21	4.7%
無回答	23	5.1%

n=450



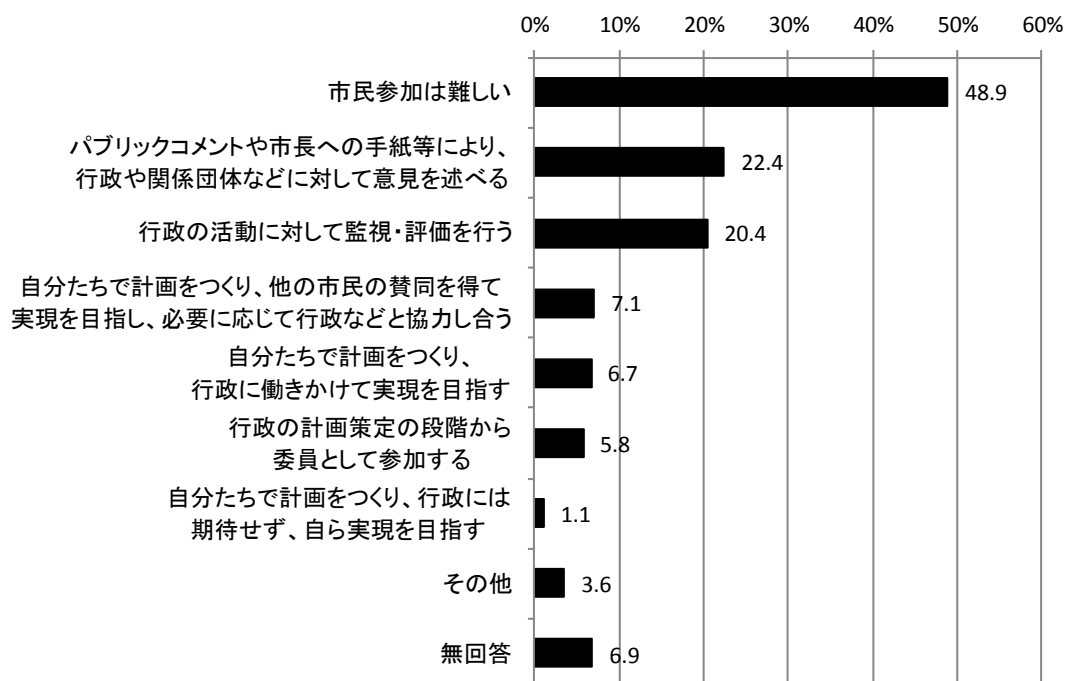
n=450

問17 あなたが行うことができると考えられる市民参加の形は。(〇はいくつでも)

回答者が実行可能と考える市民参加手法としては、「市民参加は難しい」(48.9%)に続き、「パブリックコメントや市長への手紙等により、行政や関係団体などに対して意見を述べる」(22.4%)、「行政の活動に対して監視・評価を行う」(20.4%)の順である。

項目	件数	割合
市民参加は難しい	220	48.9%
パブリックコメントや市長への手紙等により、行政や関係団体などに対して意見を述べる	101	22.4%
行政の活動に対して監視・評価を行う	92	20.4%
自分たちで計画をつくり、他の市民の賛同を得て実現を目指し、必要に応じて行政などと協力し合う	32	7.1%
自分たちで計画をつくり、行政に働きかけて実現を目指す	30	6.7%
行政の計画策定の段階から委員として参加する	26	5.8%
自分たちで計画をつくり、行政には期待せず、自ら実現を目指す	5	1.1%
その他	16	3.6%
無回答	31	6.9%

n=450

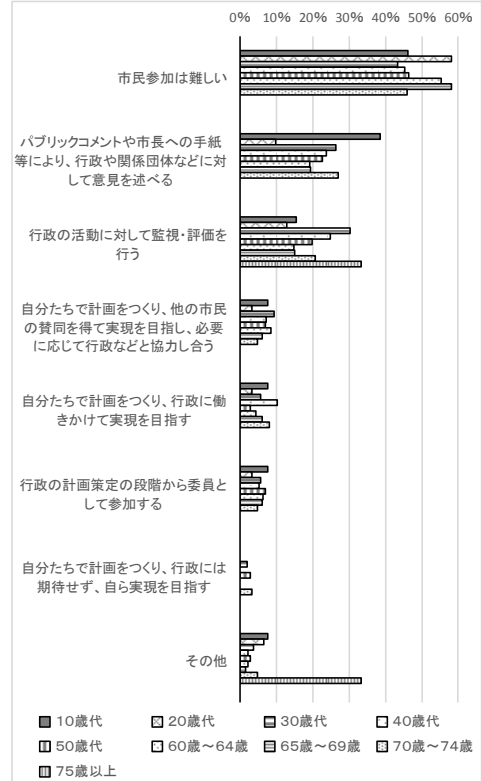


n=450

<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

(「その他」の詳細)

- ・HP、インターネット
- ・SNSでコメントをする
- ・ホームページに意見ボックスをおいてそこに意見を投稿する。他の人の意見も見れて同意見なら「イイネ！」が出来るシステムが良い
- ・様々な活動を通じて人とのコミュニケーションをとる
- ・良いと思う施策は応援したい
- ・市政に参加、又は注文を言えるには、それだけ勉強している人が言うべき
- ・忙しすぎて個人的なことで手一杯のため、外部発信はあまり望んではおりません。
- ・各自、まず自分の仕事に力を入れて下さい
- ・とにかく意見がある
- ・花だん作りのお手伝い

問 18 あなたが参加していること、又は参加が可能な活動は。(〇はいくつでも)

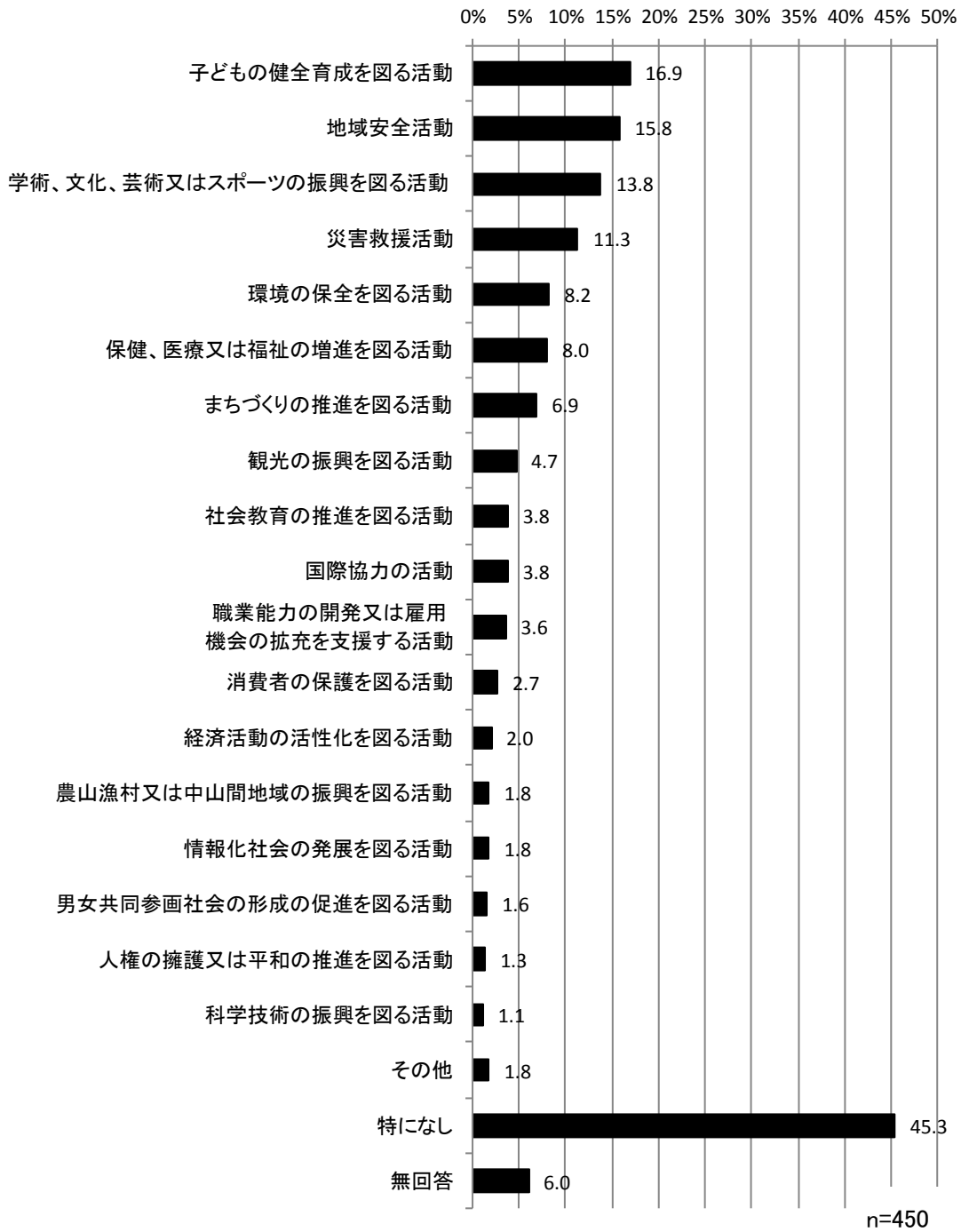
回答者が現に参加している、又は参加が可能と考える活動としては、「特になし」(45.3%)に続いて、「子どもの健全育成を図る活動」(16.9%)、「地域安全活動」(15.8%)、「学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動」(13.8%)、「災害救援活動」(11.3%)の順である。

項目	件数	割合
子どもの健全育成を図る活動	76	16.9%
地域安全活動	71	15.8%
学術、文化、芸術又はスポーツの振興を図る活動	62	13.8%
災害救援活動	51	11.3%
環境の保全を図る活動	37	8.2%
保健、医療又は福祉の増進を図る活動	36	8.0%
まちづくりの推進を図る活動	31	6.9%
観光の振興を図る活動	21	4.7%
社会教育の推進を図る活動	17	3.8%
国際協力の活動	17	3.8%
職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	16	3.6%
消費者の保護を図る活動	12	2.7%
経済活動の活性化を図る活動	9	2.0%
農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動	8	1.8%
情報化社会の発展を図る活動	8	1.8%
男女共同参画社会の形成の促進を図る活動	7	1.6%
人権の擁護又は平和の推進を図る活動	6	1.3%
科学技術の振興を図る活動	5	1.1%
その他	8	1.8%
特になし	204	45.3%
無回答	27	6.0%

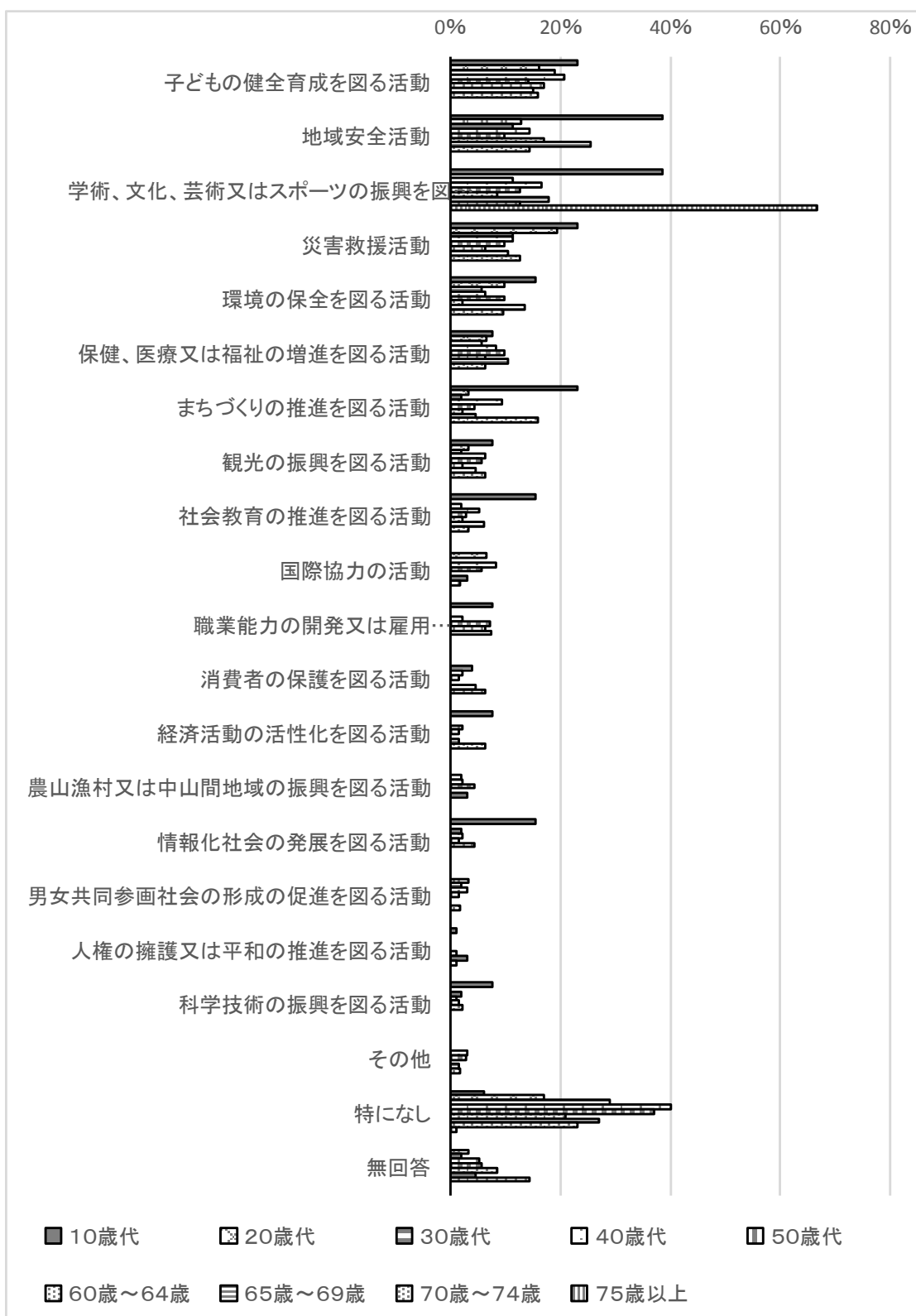
n=450

(「その他」の詳細)

- ・学校PTA役員
- ・自治会活動
- ・子供たちに吹奏楽を教える。
- ・作業所
- ・昭島市のフレンドファミリー。武蔵村山市にはないから
- ・市以外のボランティアに参加
- ・病院通いで体が疲れる



<年齢別>



n=450

4-2 安心していきいきと暮らせるまちづくり

問 19 首都直下など大きな地震が起こった場合、多くの被害が予想されます。あなたが、特に心配に思うことは。(〇は2つまで)

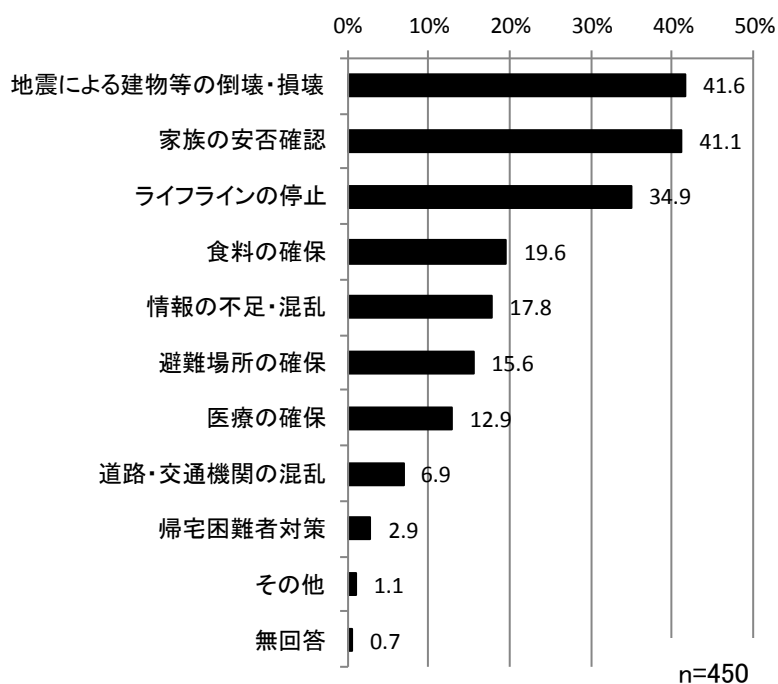
大地震発生時において、回答者が特に心配に思うこととしては、「地震による建物等の倒壊・損壊」が41.6%で最も多く、「家族の安否確認」(41.1%)、「ライフラインの停止」(34.9%)と続く。

項目	件数	割合
地震による建物等の倒壊・損壊	187	41.6%
家族の安否確認	185	41.1%
ライフラインの停止	157	34.9%
食料の確保	88	19.6%
情報の不足・混乱	80	17.8%
避難場所の確保	70	15.6%
医療の確保	58	12.9%
道路・交通機関の混乱	31	6.9%
帰宅困難者対策	13	2.9%
その他	5	1.1%
無回答	3	0.7%

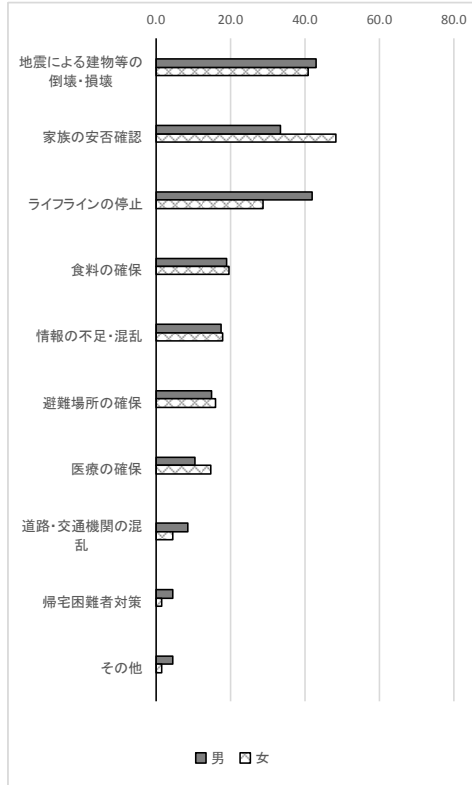
n=450

(「その他」の詳細)

- ・復興業務
- ・救急車や消防車の確保
- ・自宅の隣にある山がくずれる
- ・ペットがいるのでペットの心配
- ・家に住めなくなった場合の避難場所での薬の確保



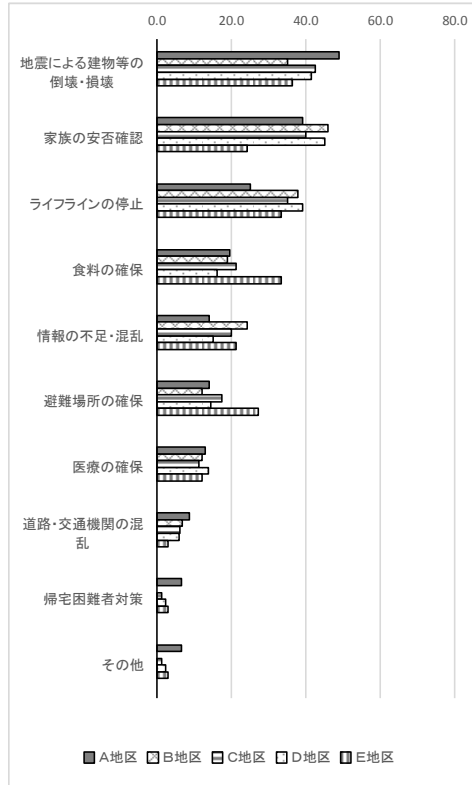
<性別>



<年齢別>



<地区別>



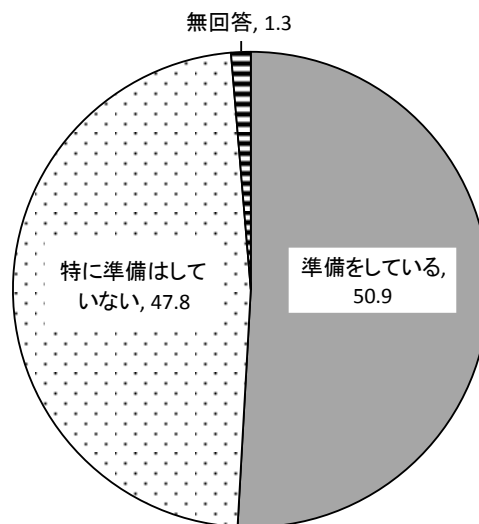
n=450

問20 あなたは、日頃、防災の準備をしていますか（○は1つ）

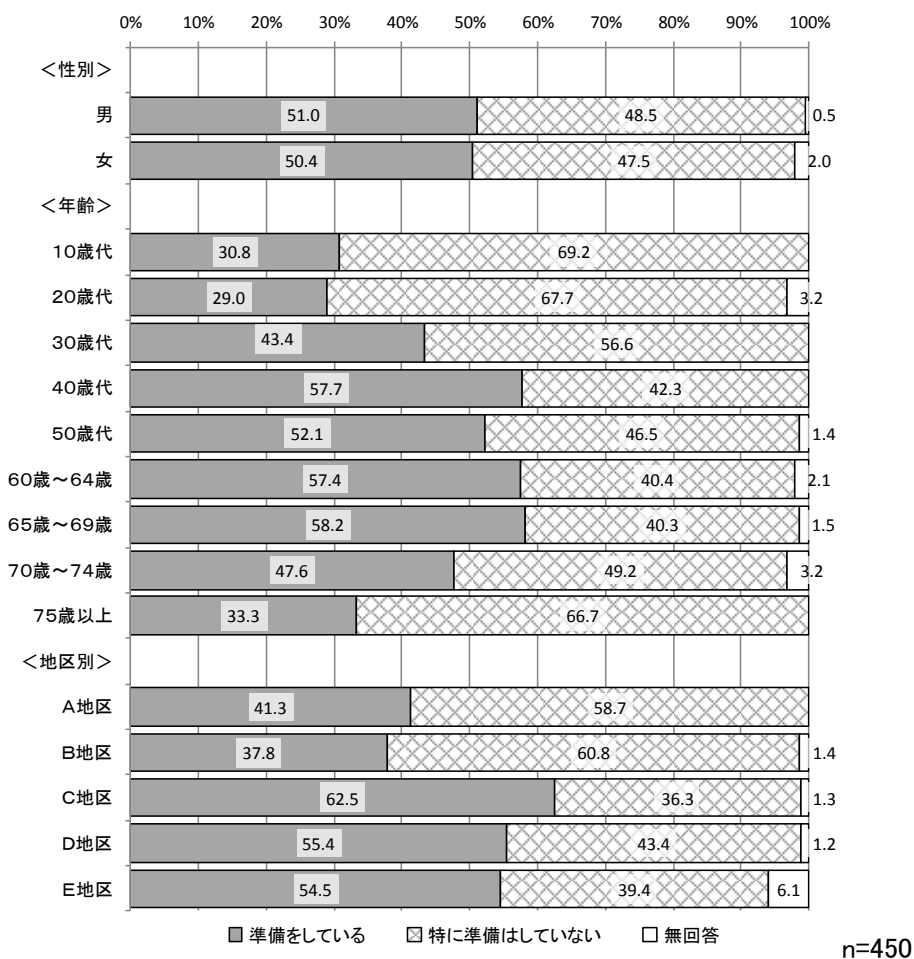
回答者の防災への準備状況については、「準備をしている」が50.9%、「特に準備はしていない」が47.8%である。

項目	件数	割合
準備をしている	229	50.9%
特に準備はしていない	215	47.8%
無回答	6	1.3%

n=450



n=450



n=450

問 20-2 【問 20 で「準備をしている」と回答した方にお聞きします。】

どのような準備を行っていますか。(〇はいくつでも)

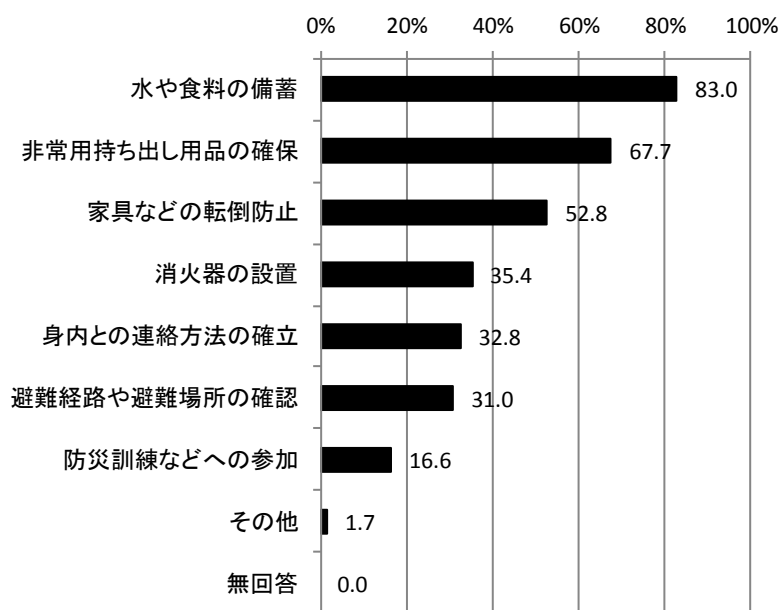
大地震に対して、回答者が行っている準備内容としては、「水や食糧の備蓄」が 83.0% で最も多く、以下「非常用持ち出し用品の確保」(67.7%)、「家具などの転倒防止」(52.8%) の順である。

項目	件数	割合
水や食料の備蓄	190	83.0%
非常用持ち出し用品の確保	155	67.7%
家具などの転倒防止	121	52.8%
消火器の設置	81	35.4%
身内との連絡方法の確立	75	32.8%
避難経路や避難場所の確認	71	31.0%
防災訓練などへの参加	38	16.6%
その他	4	1.7%
無回答	0	0.0%

n=229

(「その他」の詳細)

- ・職場で防災訓練
- ・スプリンクラー等
- ・重要な物は2階へ置く
- ・家族との待ち合わせ場所



n=229

問 21 災害に備えて地域（自治会等）が行うこととして、どのようなことが重要であると思
いますか。（○は3つまで）

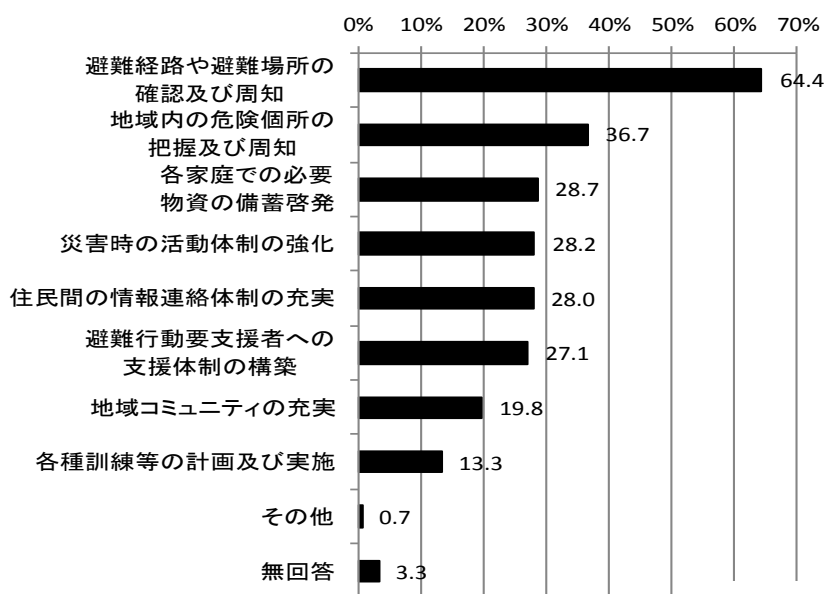
地域（自治会等）の備えとして重要に感じることについては、「避難経路や避難場所の
確認及び周知」が 64.4%で最も多く、次いで「地域内の危険個所の把握及び周知」
（36.7%）、「各家庭での必要物資の備蓄啓発」（28.7%）、「災害時の活動体制の強化」
（28.2%）と続く。

項目	件数	割合
避難経路や避難場所の確認及び周知	290	64.4%
地域内の危険個所の把握及び周知	165	36.7%
各家庭での必要物資の備蓄啓発	129	28.7%
災害時の活動体制の強化	127	28.2%
住民間の情報連絡体制の充実	126	28.0%
避難行動要支援者への支援体制の構築	122	27.1%
地域コミュニティの充実	89	19.8%
各種訓練等の計画及び実施	60	13.3%
その他	3	0.7%
無回答	15	3.3%

n=450

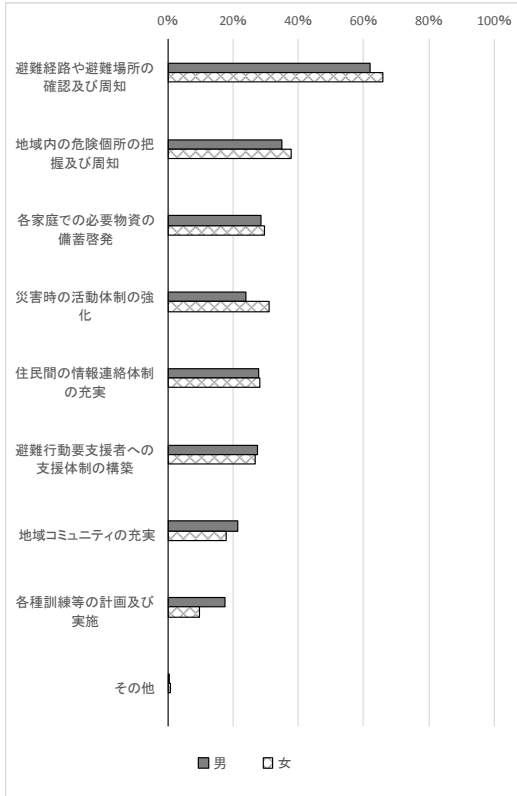
（「その他」の詳細）

- ・「個人情報」の名の元に地域の住民の様子を知ることが出来ないのはいかがでしょうか。
- ・災害時の救援物資（水含む）の調達と配布。水の供給場所の確認→できれば地図にして欲しい。

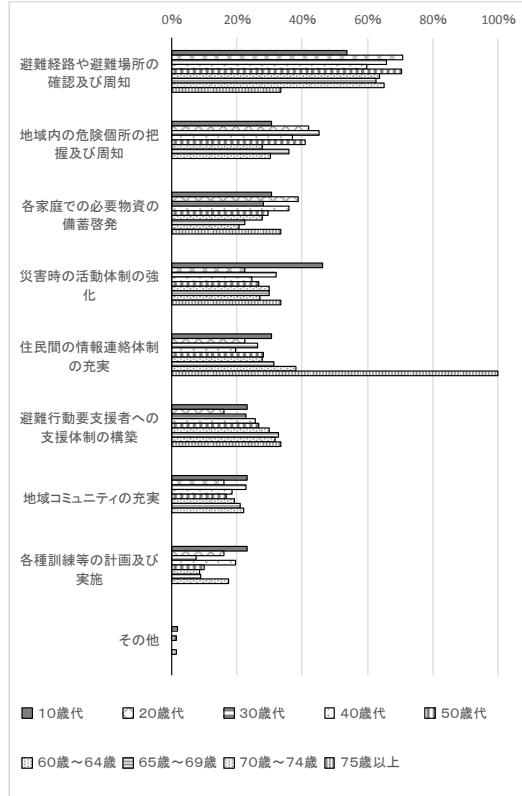


n=450

<性別>



<年齢別>



<地区別>

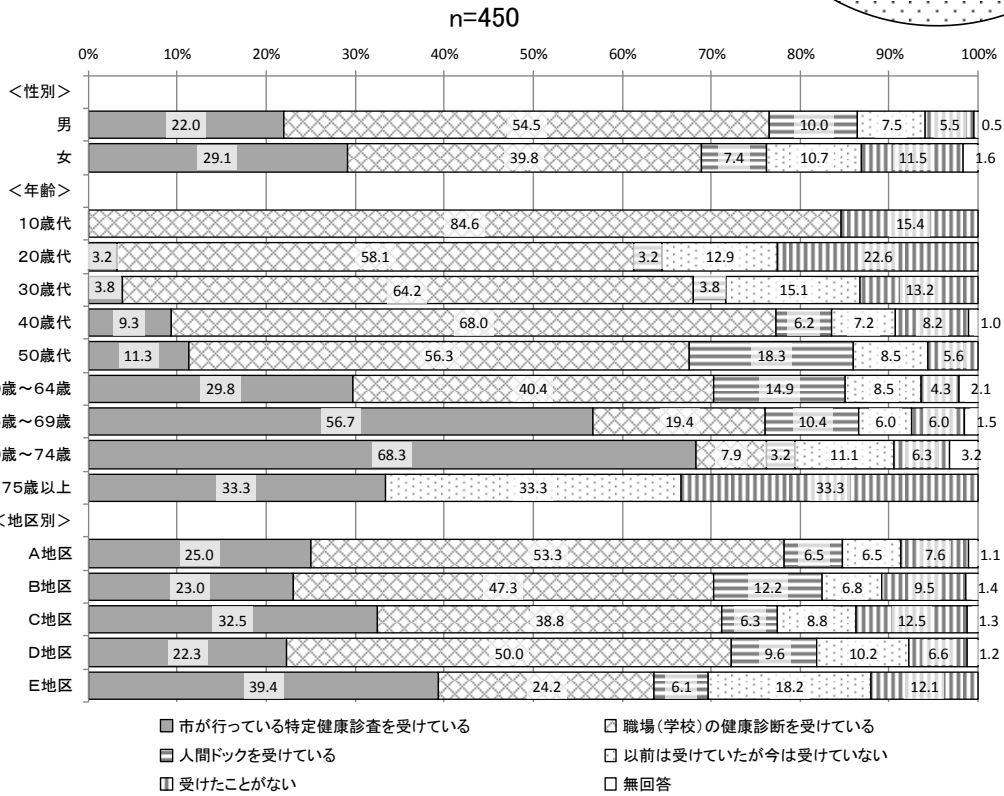
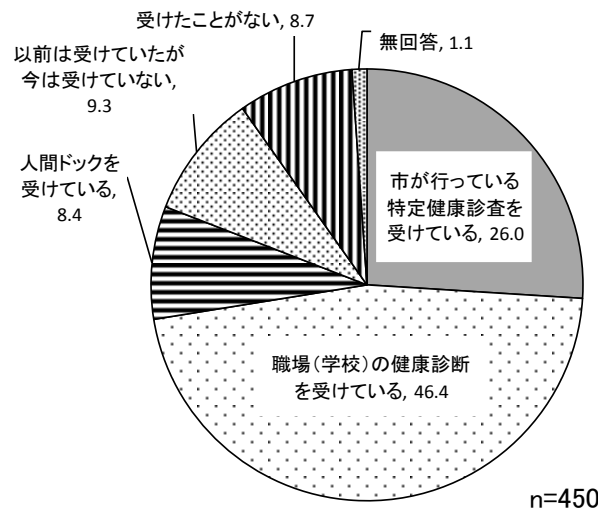


n=450

問 22 あなたは、健康診断を受けていますか。(○は1つ)

健康診断等の受診状況としては、「職場（学校）の健康診断を受けている」が46.4%で最も多く、以下「市が行っている特定健康診査を受けている」（26.0%）、「以前は受けていたが今は受けていない」（9.3%）と続く。
 特定健康診査、健康診断、人間ドックのいずれかを受診しているとする割合は、全体の80.8%を占めている。

項目	件数	割合
市が行っている特定健康診査を受けている	117	26.0%
職場(学校)の健康診断を受けている	209	46.4%
人間ドックを受けている	38	8.4%
以前は受けていたが今は受けていない	42	9.3%
受けたことがない	39	8.7%
無回答	5	1.1%



問 22-2 【問 22 で「以前は受けていたが今は受けていない」、「受けたことがない」と回答した方にお聞きします。】

その理由は。(〇は1つ)

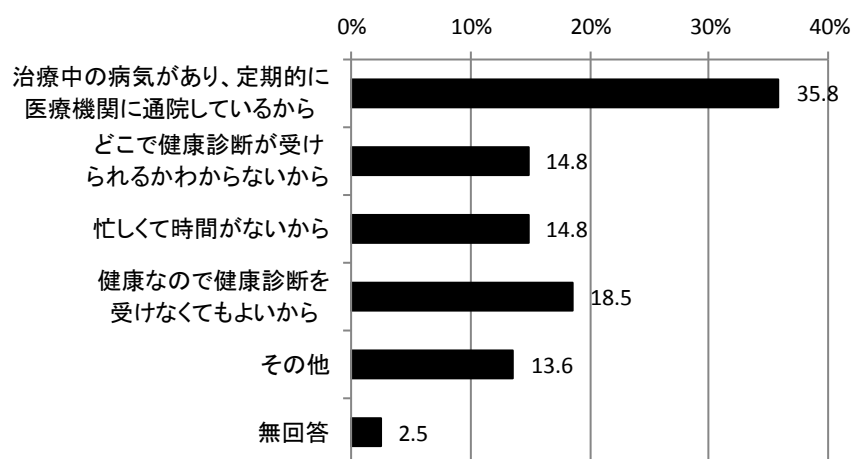
健康診断等を受診していない理由としては、「治療中の病気があり、定期的に医療機関に通院しているから」が 35.8% で最も多く、次いで「どこで健康診断が受けられるかわからないから」(19.8%)、「忙しくて時間がないから」(17.3%) の順である。

項目	件数	割合
治療中の病気があり、定期的に医療機関に通院しているから	29	35.8%
どこで健康診断が受けられるかわからないから	12	14.8%
忙しくて時間がないから	12	14.8%
健康なので健康診断を受けなくてもよいから	15	18.5%
その他	11	13.6%
無回答	2	2.5%

n=81

(「その他」の詳細)

- ・ 今後職場で受ける予定
- ・ 職場の健康診断がないから
- ・ 仕事を辞めて受けられなくなった
- ・ 学校の健康診断を受けなくなったから
- ・ 扶養に入っている主人の会社の配偶者健康診断が 40 才以上対象のため
- ・ 妊娠中
- ・ 若いから
- ・ 施設管理されている
- ・ お金が高そうだから
- ・ 受けたい施設がない
- ・ 案内がこなくなったから



n=81

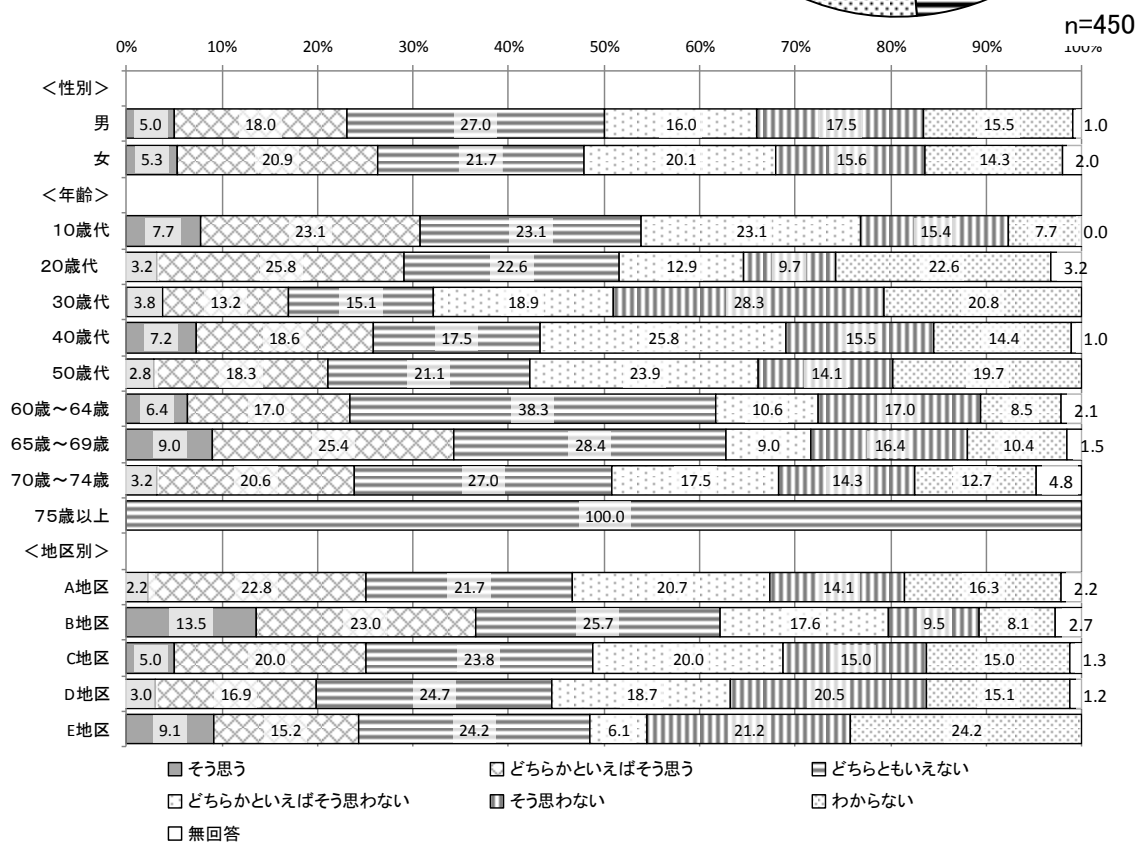
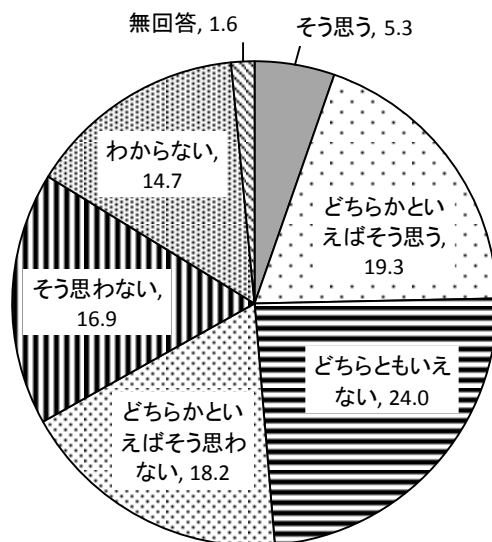
問23 あなたは、市内にスポーツ・レクリエーション施設が整っていると思いますか。

(○は1つ)

市内のスポーツ・レクリエーション施設の充実度に対する評価としては、「どちらともいえない」が24.0%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思う」(19.3%)、「どちらかといえばそう思わない」(18.2%)、「そう思わない」(16.9%)の順である。

項目	件数	割合
そう思う	24	5.3%
どちらかといえばそう思う	87	19.3%
どちらともいえない	108	24.0%
どちらかといえばそう思わない	82	18.2%
そう思わない	76	16.9%
わからない	66	14.7%
無回答	7	1.6%

n=450



n=450

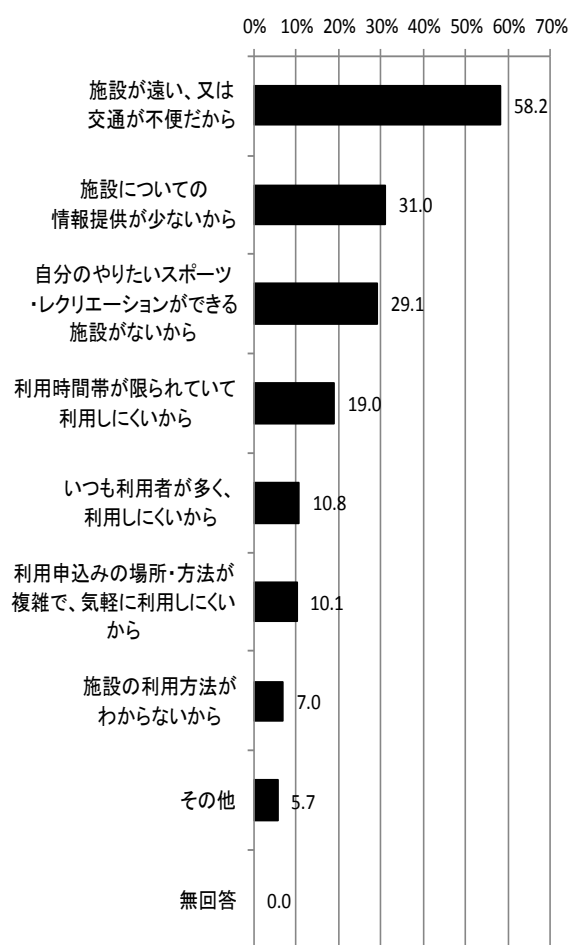
問 23-2 【問 23 で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方にお聞きします。】

その理由は。(〇は2つまで)

市内のスポーツ・レクリエーション施設が整っていないと思う理由としては、「施設が遠い、又は交通が不便だから」が58.2%で最も多く、続いて「施設についての情報提供が少ないから」(31.0%)、「自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから」(29.1%)の順である。

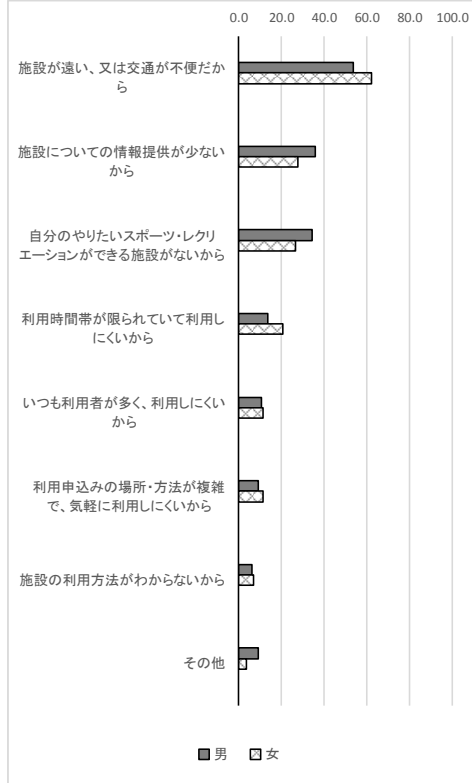
項目	件数	割合
施設が遠い、又は交通が不便だから	92	58.2%
施設についての情報提供が少ないから	49	31.0%
自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから	46	29.1%
利用時間帯が限られていて利用しにくいから	30	19.0%
いつも利用者が多く、利用しにくいから	17	10.8%
利用申込みの場所・方法が複雑で、気軽に利用しにくいから	16	10.1%
施設の利用方法がわからないから	11	7.0%
その他	9	5.7%
無回答	0	0.0%

n=158



n=158

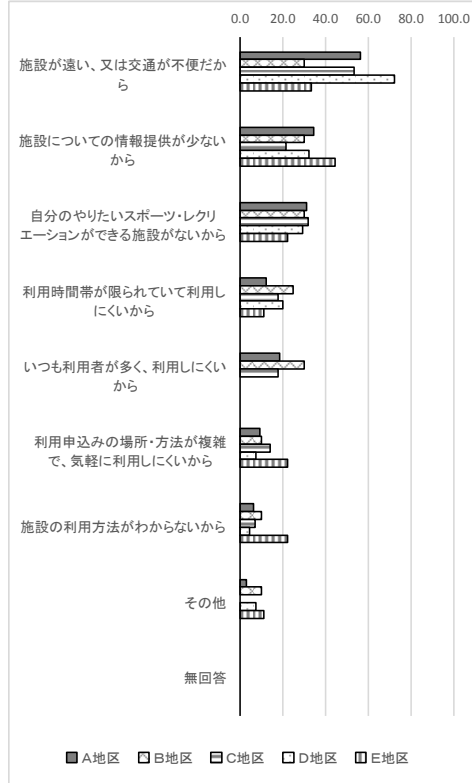
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=158

(「その他」の詳細)

- ・施設入所中、療養中 (2件)
- ・自分で工夫している
- ・遠いので興味がわからない
- ・施設があるかどうか知らない
- ・施設職員が最悪だから。(態度、言動)
- ・かたよったスポーツ種目となっている
- ・個人で利用出来ない。団体に入らないと駄目
- ・公園の整備が悪すぎる。立川市を見習ってほしい
- ・難易度別、2時間とかでなく短時間の企画があるとよい
- ・市民体育館の駐車場の利用方法のひどさ (特に日曜や休日の野球等の観戦?)。市民税を払っているのに利用もできない。時間外だと言ってトイレも貸してもらえない。どうにかするべきだ。とても怒りを覚える
- ・大それた施設がなくても公園にバスケットゴールがあればうれしい。施設の予約もどこに書いてあるのかわからない、直接行っても予約がないとできない等、不便なことが多く感じる

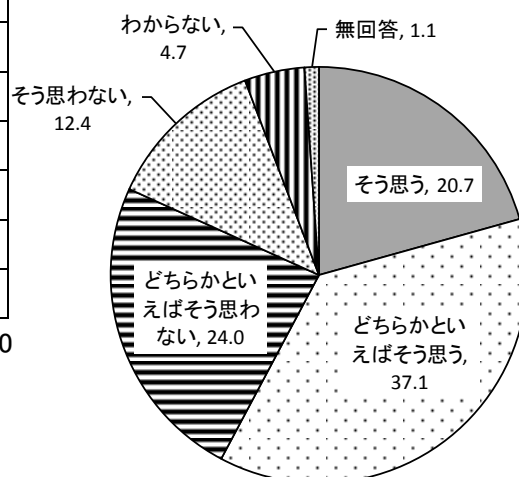
問 24 あなたは、市内に病院や診療所等の医療機関が身近に整っていると思いますか。

(○は1つ)

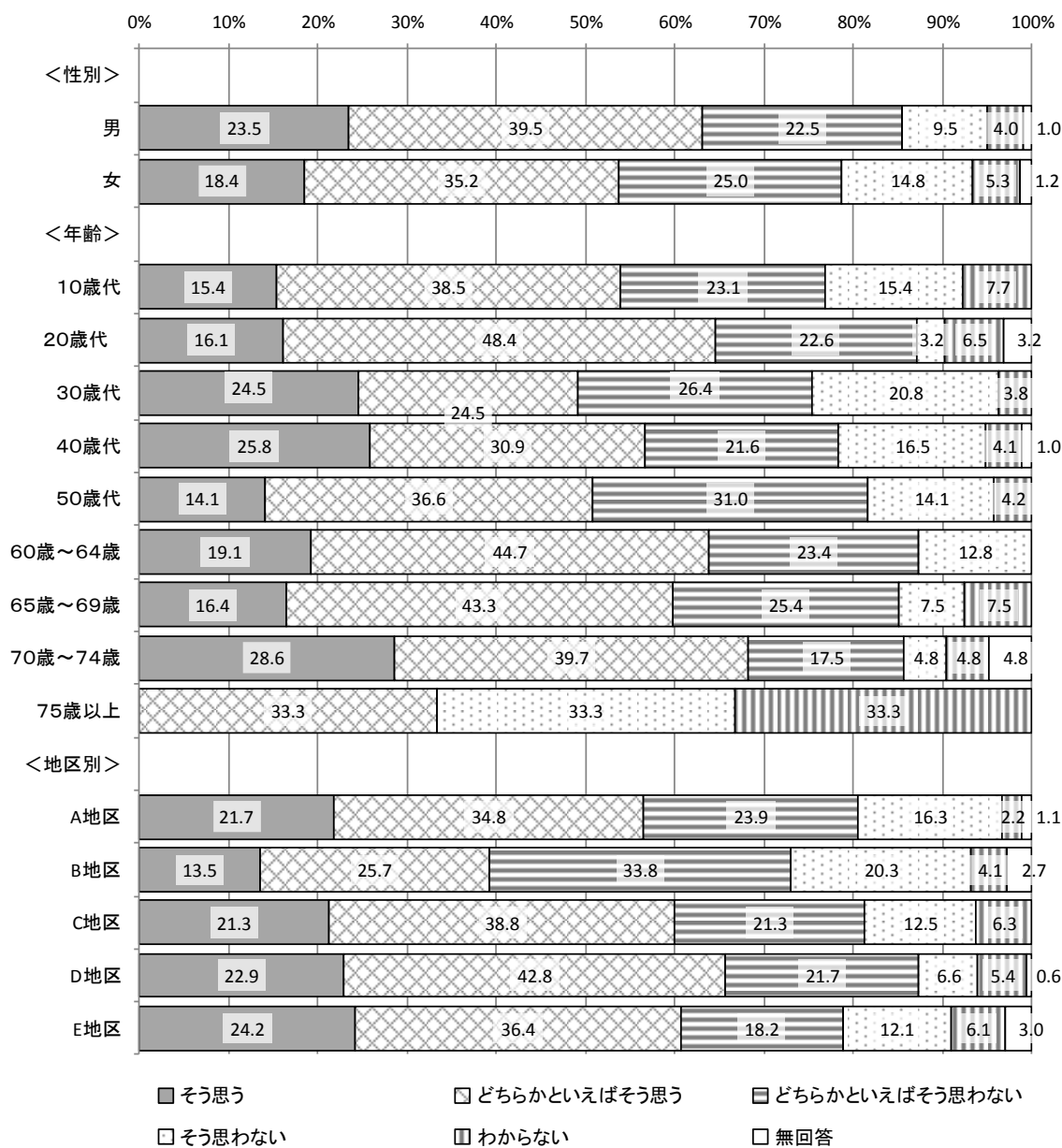
病院や診療所等の医療機関についての充実度に対する評価としては、「どちらかといえばそう思う」が37.1%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(24.0%)、「そう思う」(20.7%)の順である。

項目	件数	割合
そう思う	93	20.7%
どちらかといえばそう思う	167	37.1%
どちらかといえばそう思わない	108	24.0%
そう思わない	56	12.4%
わからない	21	4.7%
無回答	5	1.1%

n=450



n=450



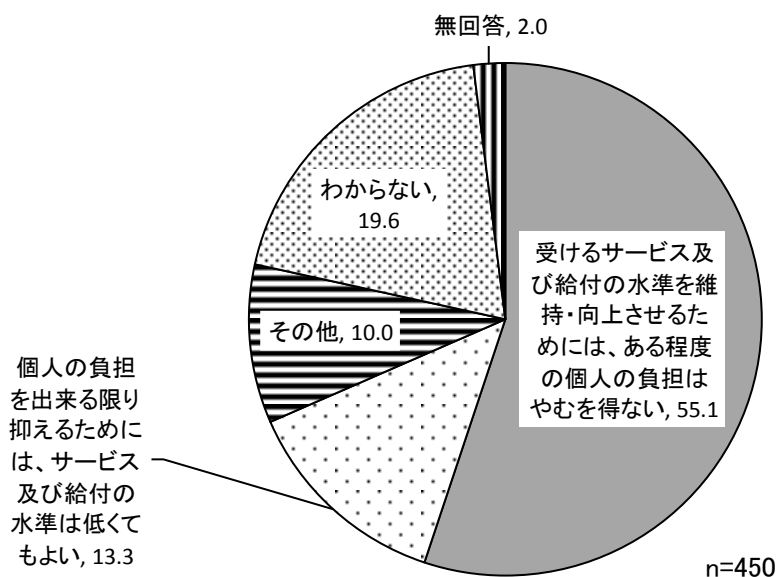
n=450

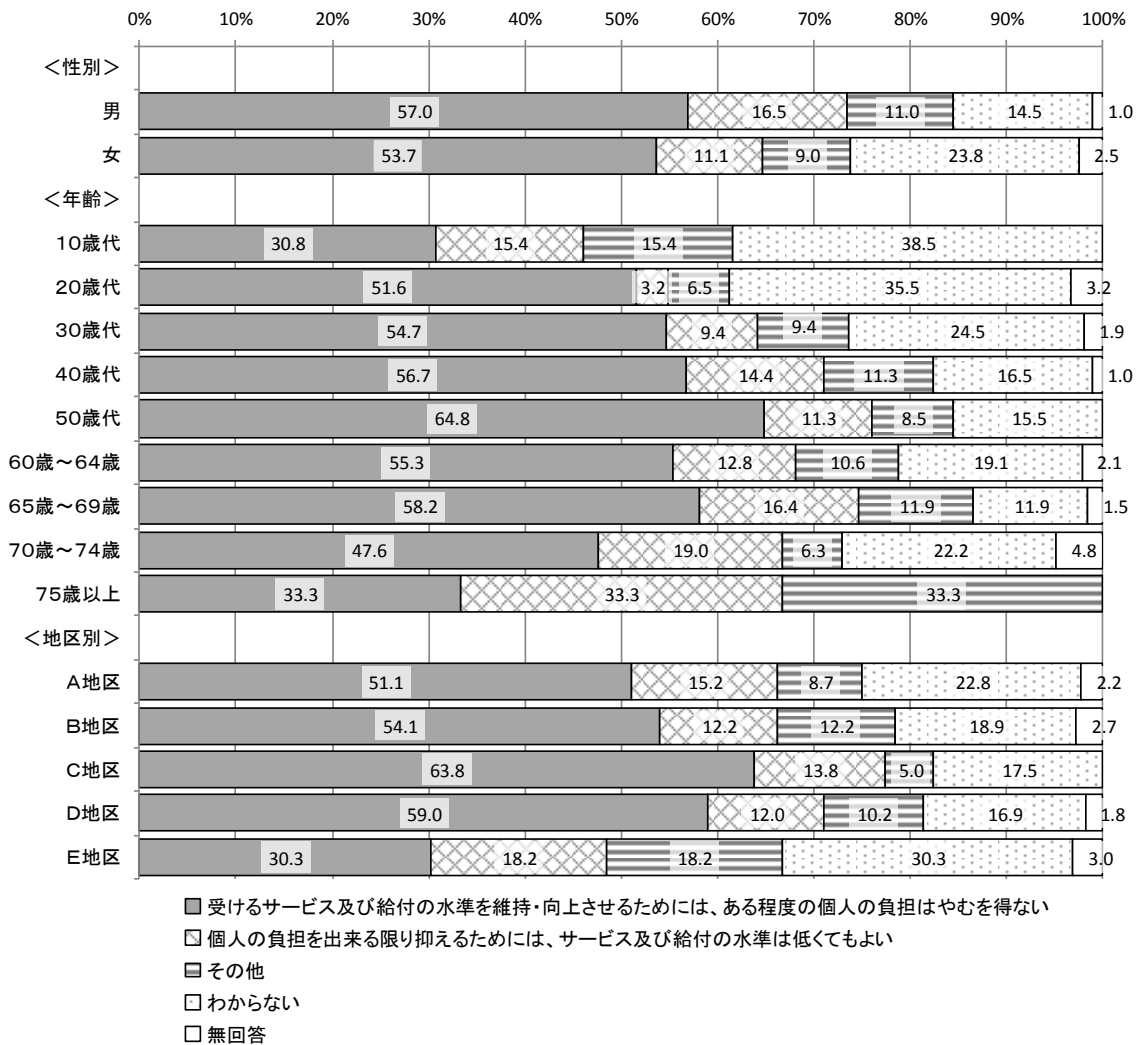
問 25 現在、社会保障給付費が増加しています。あなたは、社会保障制度（年金・医療・介護など）の今後についてどのように思いますか。（○は1つ）

社会保障制度のあり方に対する回答者の考え方としては、「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない」が 55.1%、「個人の負担を出来る限り抑えるためには、サービス及び給付の水準は低くてもよい」が 13.3%である。

項目	件数	割合
受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない	248	55.1%
個人の負担を出来る限り抑えるためには、サービス及び給付の水準は低くてもよい	60	13.3%
その他	45	10.0%
わからない	88	19.6%
無回答	9	2.0%

n=450





n=450

(「その他」の詳細)

○負担増、給付減ともに反対の意見

- ・負担を少なく、水準を向上してもらいたい
- ・年金が少ない上、サービス及び給付の水準は低くは困る
- ・個人の負担を増加することなく、サービス向上の方法を策定する
- ・所得が低くギリギリで生活している私達は、できるだけ個人負担はさけて頂きたい

- ・個人の負担を出来る限り抑えて、サービス及び給付の水準を出来るだけ高く維持してもらいたい

○他の経費削減でまかなうべきとする意見

- ・税金の使い方の見直しが必要
- ・根本的な対策がとられていない
- ・社会保険制度見直し、むだ使い等
- ・どこか削れる支出部分を探すべきである
- ・サービス・給付を提供する側に工夫が足りない
- ・様々な角度から見て良い方法をもっと考えるべき

- ・社会保障制度の充実の為、予算の見直しを国、都、市各所で
- ・市の予算枠を社会保障へ回す。予算の使い方を精査し有効活用を図る
- ・削れるところから削ればいい。何をしているのか分からない。市の役員とかの給料はいらないと思う
- ・私は毎月高血圧診療を受けていますが、医者は血圧を測定し処方箋を書くだけで高額な診療費を得る。血圧は毎日自分で測定している、同じ薬を買うだけで良い。…無駄な医療費の出費である
- ・本当に必要ではない医療費の増加などは構造の問題。医師の意識、又利用者の意識などにより何とかおさまらないかと常々感じている

○現況の負担が重いとの意見

- ・負担が増える一方
- ・介護保険費が高い
- ・障害あるが級が低いと何も受けられない
- ・医療・介護保険等が高すぎる。先払がむずかしい月がある
- ・高所得の人にくらべ低所得者に厳しすぎる金額を何とかしてもらいたい
- ・年金は将来もらえると思えないので毎月払いたくない。他の医療等は必要なら負担しなければならぬと思う
- ・年寄りになって保険料（三種の神器）がこう高くなるとはいささか愕いています。年金と保険料は妙な関係です。が、気にしないで生きていくつもりです

○給付の見直しを求める意見

- ・給付の水準を低くせざるを得ない。（個人負担はこれ以上重くしない）
- ・「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個

- 人の負担はやむを得ない」について個人の負担増を考える以前にすべての見直しが必要。「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない」は必要
- ・同じ病気で何ヶ所も受診したり薬の重複など私達も医師も気を付け、社会保障給付費の増加をおさえる努力をもっとする。
- ・受けられるサービスについて具体的に開示（又は表示）する必要があると思う。特に年金については。

○給付の絞込みを求める意見

- ・不正受給者（生保など）を減らす。
- ・本当に必要な人へしぼって欲しい。
- ・団地に住んでいる人に手厚すぎるのでは…。
- ・本当に必要な所へ給付されているのか検証が必要！
- ・本当に必要な人、必要ではない人、もっとちゃんとする。不正受給してないか。
- ・受けるサービス及び給付の水準を維持する為には、選択と集中が必要。

○負担の見直しを求める意見

- ・「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない」ではあるが収入や資産に応じた負担。
- ・本当に困っている人へ税金が使われるなら、負担はやむを得ない。

○その他の意見

- ・どちらとも言えず難しい。
- ・障がい者にやさしくしてね。
- ・今自分が払っても将来自分達まで保証されるか不安。

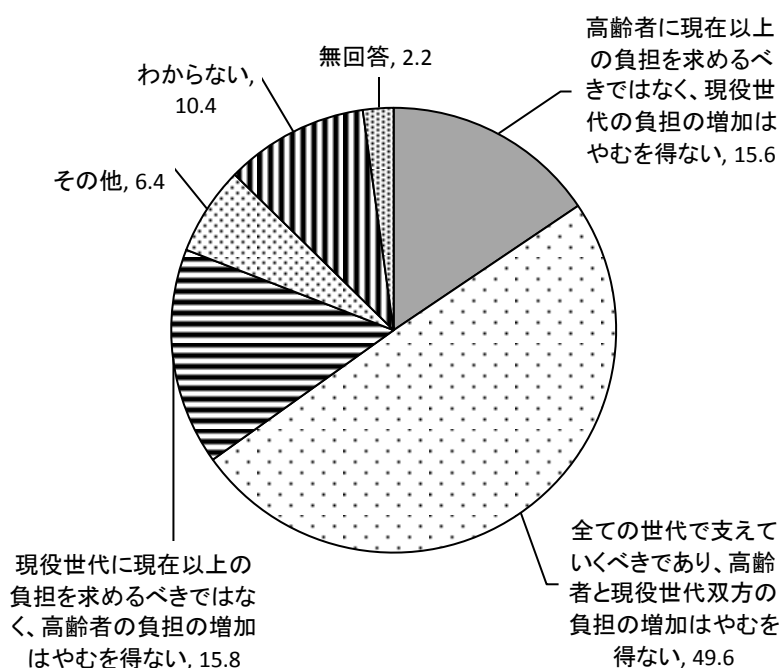
- ・子育て支援や交通の便の改革で、問題はある程度解決する。
- ・「受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない」、「個人の負担を出来る限り抑えるためには、サービス及び給付の水準は低くてもよい」の回答文はいずれも誘導的で問題であると感じる。
- ・年金の損出（不足）を株で取り戻そうなんて非常に問題だと思う。

問 26 社会保障制度における高齢者と現役世代の負担のあり方について、今後どのような形が望ましいと思いますか。(○は1つ)

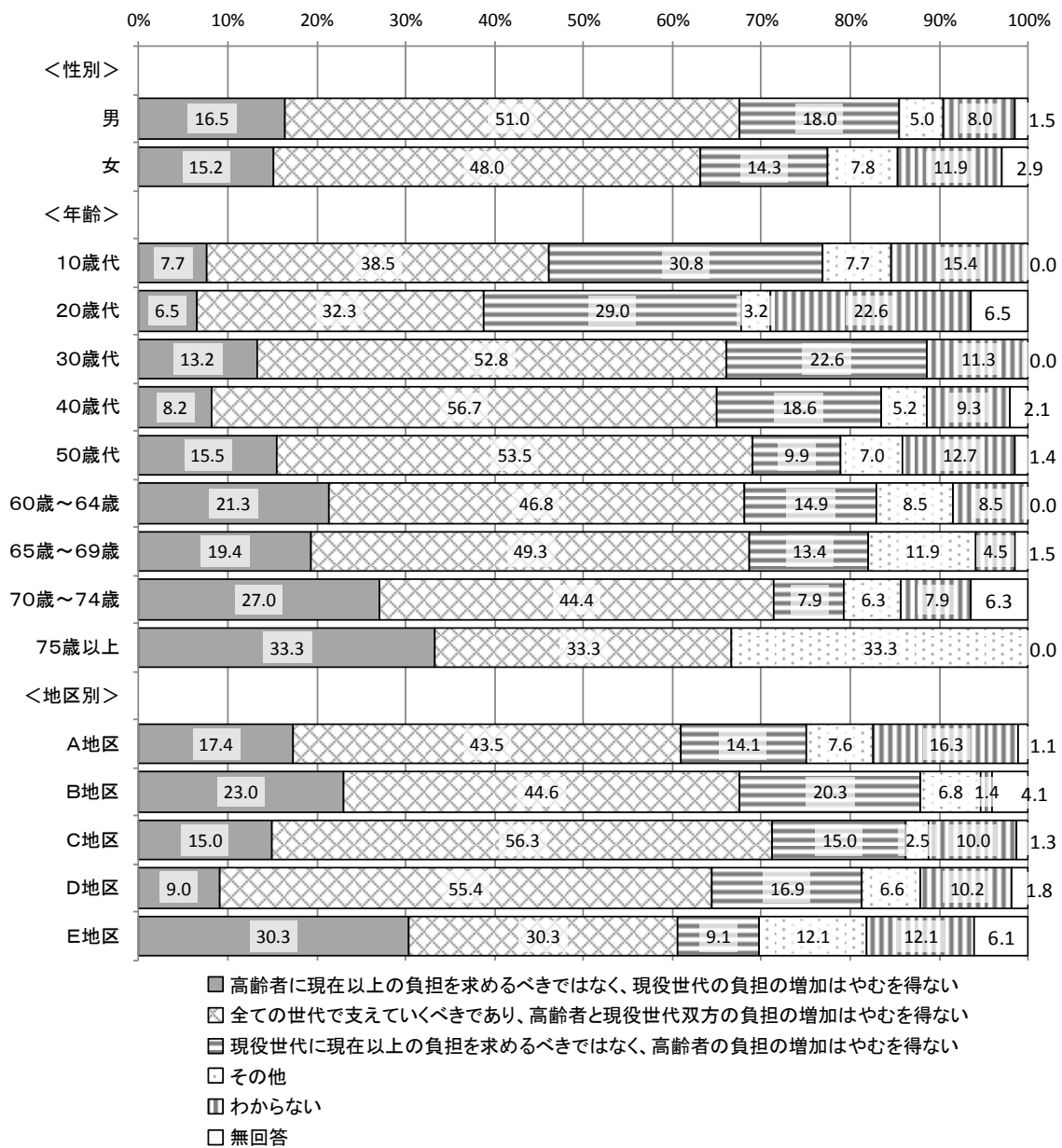
高齢者と現役世代との負担のあり方に対する回答者の考え方としては、「全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない」が49.6%で最も多く、以下「現役世代に現在以上の負担を求めるべきではなく、高齢者の負担の増加はやむを得ない」(15.8%)、「高齢者に現在以上の負担を求めるべきではなく、現役世代の負担の増加はやむを得ない」(15.6%)の順である。

項目	件数	割合
高齢者に現在以上の負担を求めるべきではなく、現役世代の負担の増加はやむを得ない	70	15.6%
全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない	223	49.6%
現役世代に現在以上の負担を求めるべきではなく、高齢者の負担の増加はやむを得ない	71	15.8%
その他	29	6.4%
わからない	47	10.4%
無回答	10	2.2%

n=450



n=450



n=450

（「その他」の詳細）

○福祉政策の考え方についての意見

- ・すべて保護する、保障するという考え方はやめた方が良い。
- ・余力のある人が困っている人を助ける（支える）のが福祉の基本だと思う。
- ・高齢者、若い人でも一定財産のある方にはご遠慮していただき、みんなでみんな

の暮らしを支える、というイメージが望ましい。

○負担増も給付減も反対の意見

- ・個人の負担を増加することなく、サービス向上の方法を策定する。
- ・高齢者は人生のほとんどを社会のためにつくしてきた。その恩恵は今の制度に生きており、そのことにより現役世代は昔

に比し格段の恩恵を受けている。高齢者にここへ来て更に負担の増加を求めることは信じられない。高齢者をこれ以上こき使うのか。

○他の経費削減でまかなうべきとする意見

- ・税金の使い方をもう少し考え直して欲しい。
- ・負担増の前に考える事があるのではないか。←市がです！
- ・負担ありきでなく内容を見直し（無駄）必要な所に充実。
- ・年金事務所などの仕事内容や勤務している人数などの見直しをするのが先だと思う。

○負担と給付の見直しを求める意見

- ・所得により負担を分ける。
- ・負担は税金にした方が良く。
- ・現役世代がよろこんで参加してくれる形。
- ・企業（大会社）などに多少の負担を希む。
- ・富裕層の人達に助けてもらうことも必要だと思う。
- ・お金のない人は負担できないのである人に多目に。
- ・年齢に関係なく余裕のある人からの負担の増加が望ましい。
- ・高齢だから、現役だからではなく、その人の生活水準だと思う。

- ・高齢者でも収入がある方には負担して頂く事は無理でしょうか？
- ・高齢者は少しの負担の増加、現役世代の負担は少し多めの負担はやむを得ない。
- ・考えは「全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない」だが、国民年金が収入の高低に関わらず一律の金額であるのがいつも納得出来ない。収入に応じたかたちにならないものなのだろうか？

○どちらともいえないという意見

- ・収入に限界があるので、どちらともいえない。
- ・高齢者に負担を求めるべきではないが若者も大変。
- ・一言では言えない問題です。国のやり方にも問題はあると思います。お金のことはみんな大変な思いをしていると思います。

○その他の意見

- ・健康予防活動に力を入れてほしい。
- ・社会保障制度に頼りきりにならないよう、健康なうちに準備を進めていく。
- ・高齢者の負担増、やむなしだと思うが、必要ない医療機関受診ひかえるよう、“別のごほうび”的なものがあつたら良いのではないか。
- ・現役世代が住みやすい街作りを交通、環境等、人口増につながるような施策づくりを。

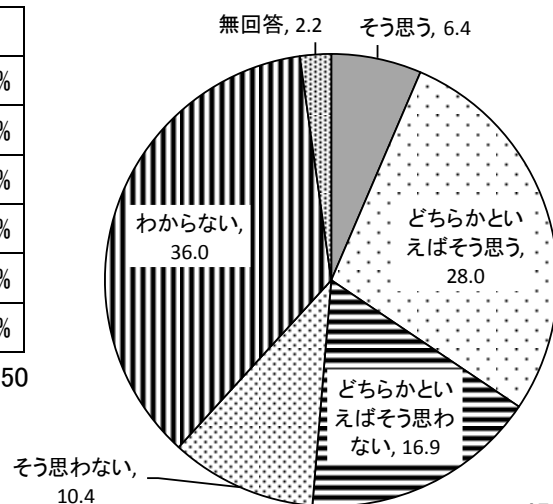
問 27 あなたは、武蔵村山市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。

(○は1つ)

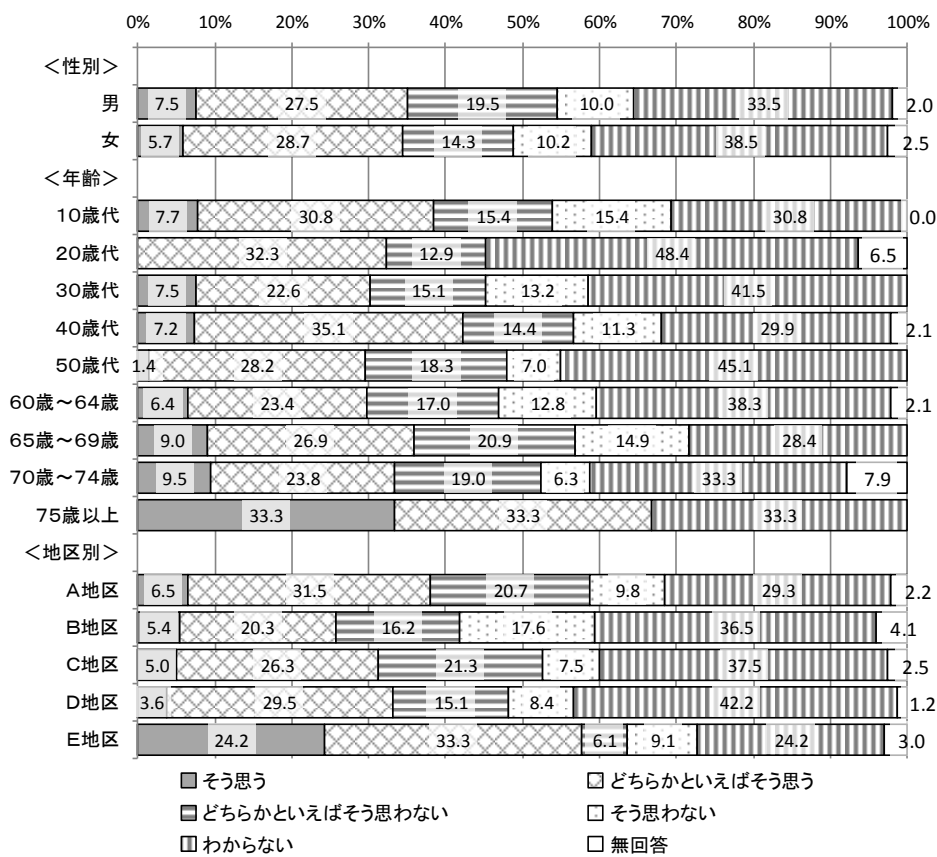
「高齢者が安心して住み続けられるまちだと」思うかとの問いに対する回答としては、「わからない」(36.0%)に続いて、「どちらかといえばそう思う」が28.0%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(16.9%)、「そう思わない」(10.4%)の順である。

項目	件数	割合
そう思う	29	6.4%
どちらかといえばそう思う	126	28.0%
どちらかといえばそう思わない	76	16.9%
そう思わない	47	10.4%
わからない	162	36.0%
無回答	10	2.2%

n=450



n=450



n=450

問 28 本格的な高齢社会に向けて、あなたはどのような施策が重要だと思いますか。

(○は2つまで)

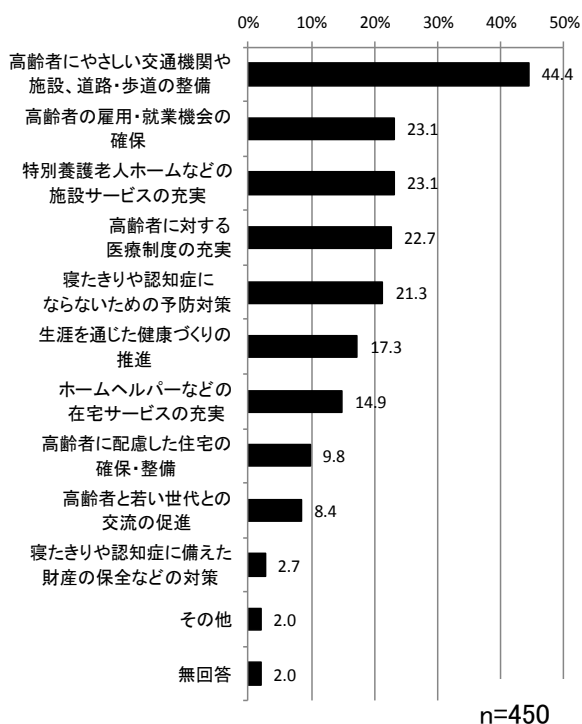
高齢社会の到来に向けて重要と考える施策としては、「高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が44.4%で最も多く、次いで「高齢者の雇用・就業機会の確保」並びに「特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実」（いずれも23.1%ずつ）、「高齢者に対する医療制度の充実」（22.7%）と続く。

項目	件数	割合
高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備	200	44.4%
高齢者の雇用・就業機会の確保	104	23.1%
特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実	104	23.1%
高齢者に対する医療制度の充実	102	22.7%
寝たきりや認知症にならないための予防対策	96	21.3%
生涯を通じた健康づくりの推進	78	17.3%
ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実	67	14.9%
高齢者に配慮した住宅の確保・整備	44	9.8%
高齢者と若い世代との交流の促進	38	8.4%
寝たきりや認知症に備えた財産の保全などの対策	12	2.7%
その他	9	2.0%
無回答	9	2.0%

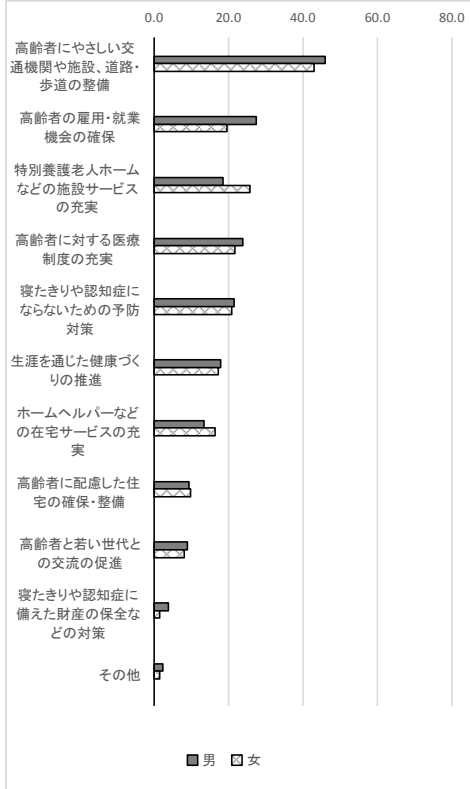
n=450

(「その他」の詳細)

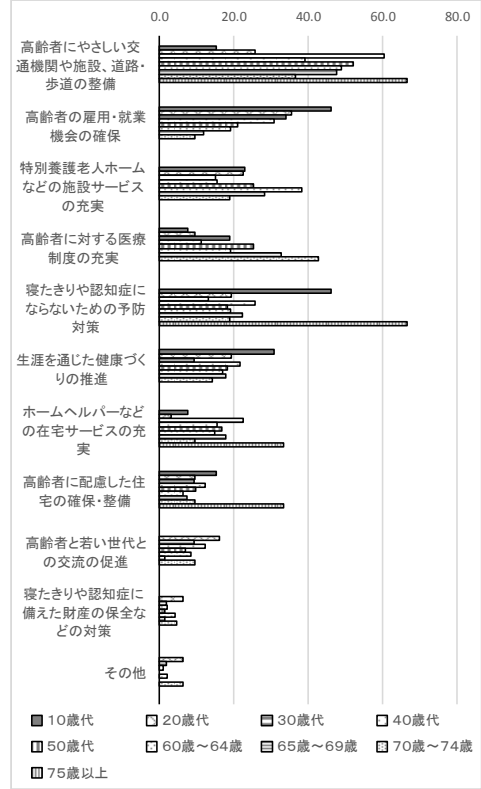
- ・ 高齢者同士の交流施設の充実確保。
- ・ 高齢者だけに行なうのはおかしい！！
- ・ 介護士の賃金を上げてなり手を増やす。
- ・ 若い世代人口の増加施策を強力に進める要有り。
- ・ 高齢者と同居して家族が頑張る事が1番だと思います。
- ・ 介護保険等支払っているが、もっと内容など、情報が知りたいです。
- ・ デイ・サービス等で遊びでなく簡単な仕事(作業)等ができる社会参加している気分になれると思いますが？



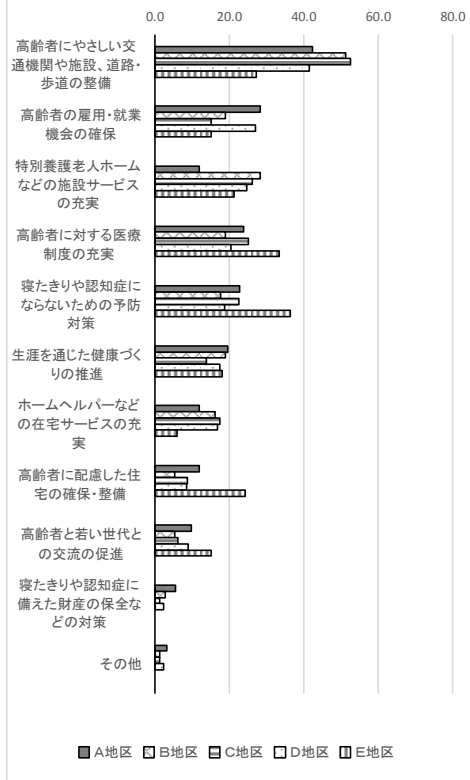
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

問 29 今後、障害のある人の自立のための支援として、市はどのようなことを重点的に進めるべきだと思いますか。(〇は3つまで)

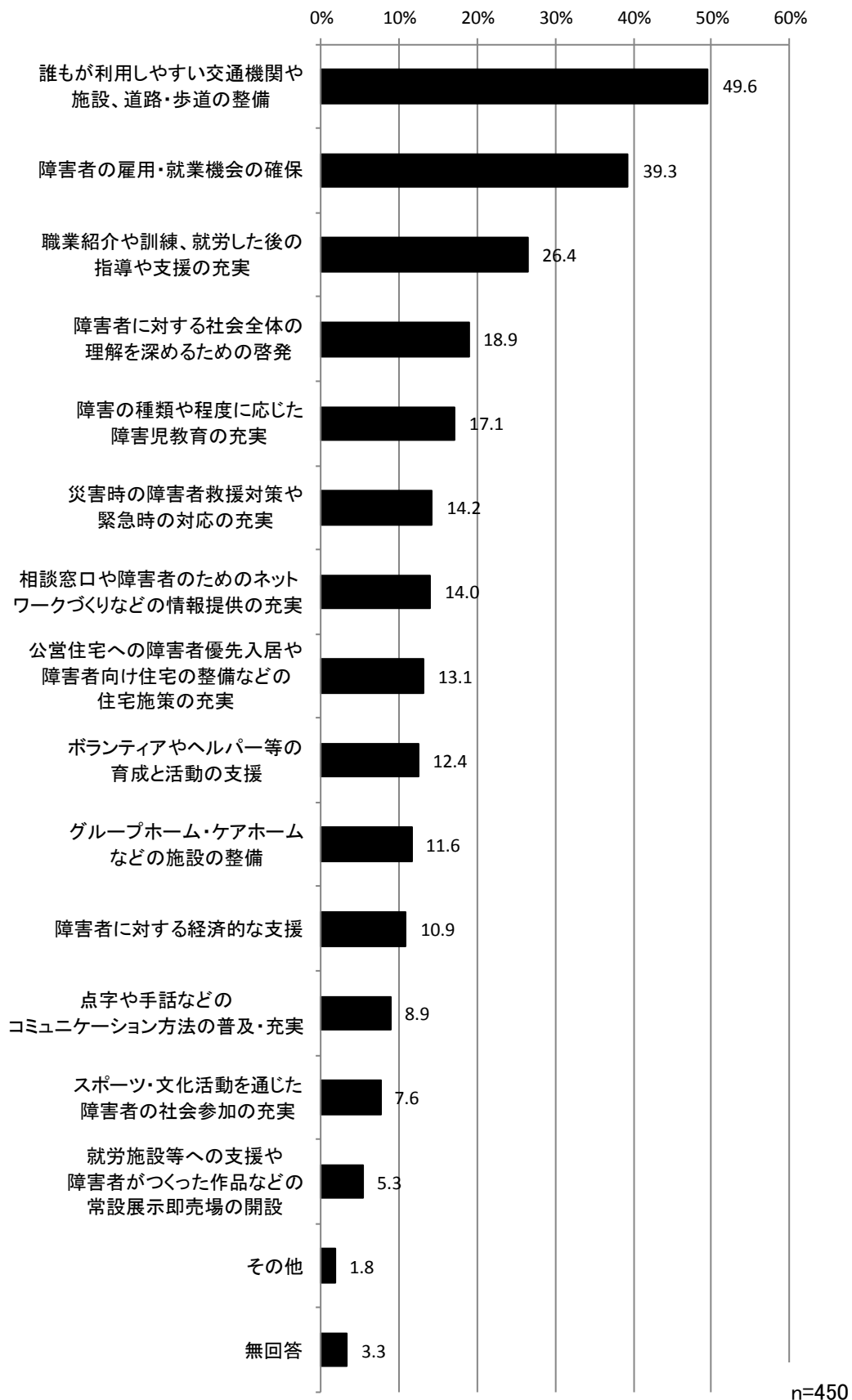
障害者の自立に向けた支援として重点的に進めるべきものとしては、「誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備」が49.6%で最も多く、次いで「障害者の雇用・就業機会の確保」(39.3%)、「職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実」(26.4%)の順である。

項目	件数	割合
誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備	223	49.6%
障害者の雇用・就業機会の確保	177	39.3%
職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実	119	26.4%
障害者に対する社会全体の理解を深めるための啓発	85	18.9%
障害の種類や程度に応じた障害児教育の充実	77	17.1%
災害時の障害者救援対策や緊急時の対応の充実	64	14.2%
相談窓口や障害者のためのネットワークづくりなどの情報提供の充実	63	14.0%
公営住宅への障害者優先入居や障害者向け住宅の整備などの住宅施策の充実	59	13.1%
ボランティアやヘルパー等の育成と活動の支援	56	12.4%
グループホーム・ケアホームなどの施設の整備	52	11.6%
障害者に対する経済的な支援	49	10.9%
点字や手話などのコミュニケーション方法の普及・充実	40	8.9%
スポーツ・文化活動を通じた障害者の社会参加の充実	34	7.6%
就労施設等への支援や障害者がつくった作品などの常設展示即売場の開設	24	5.3%
その他	8	1.8%
無回答	15	3.3%

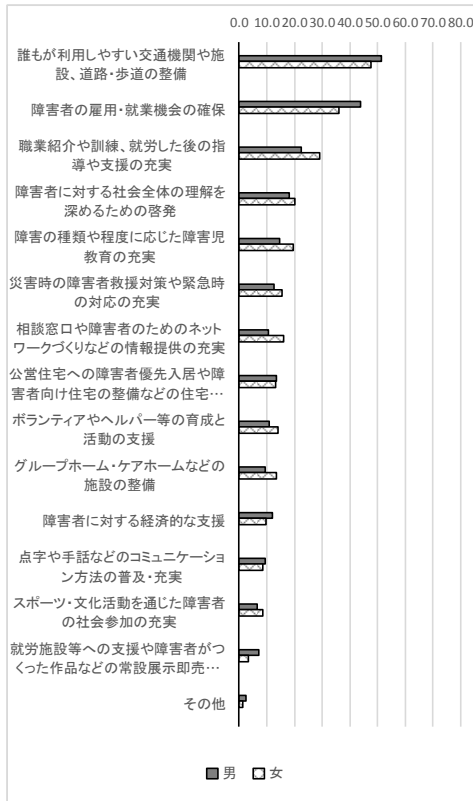
n=450

(「その他」の詳細)

- ・ケースワーカーの充実
- ・障害者が日常通う場所の充実
- ・見えにくい障害(自閉症)の早期発見・対策。
- ・障害のある方と健常な方との触れ合いの場を増やす。
- ・パラリンピックを開催しようとしている国だとは思えない。
- ・自転車が多すぎて車椅子では動けなく恐い。自転車の人が優先になっています。



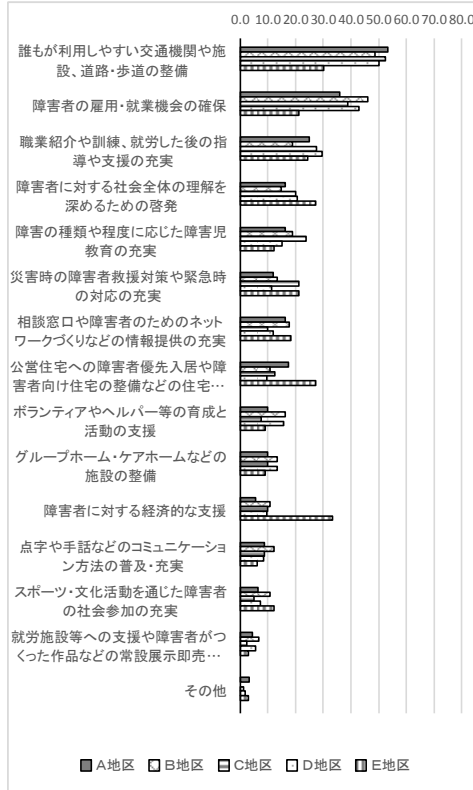
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

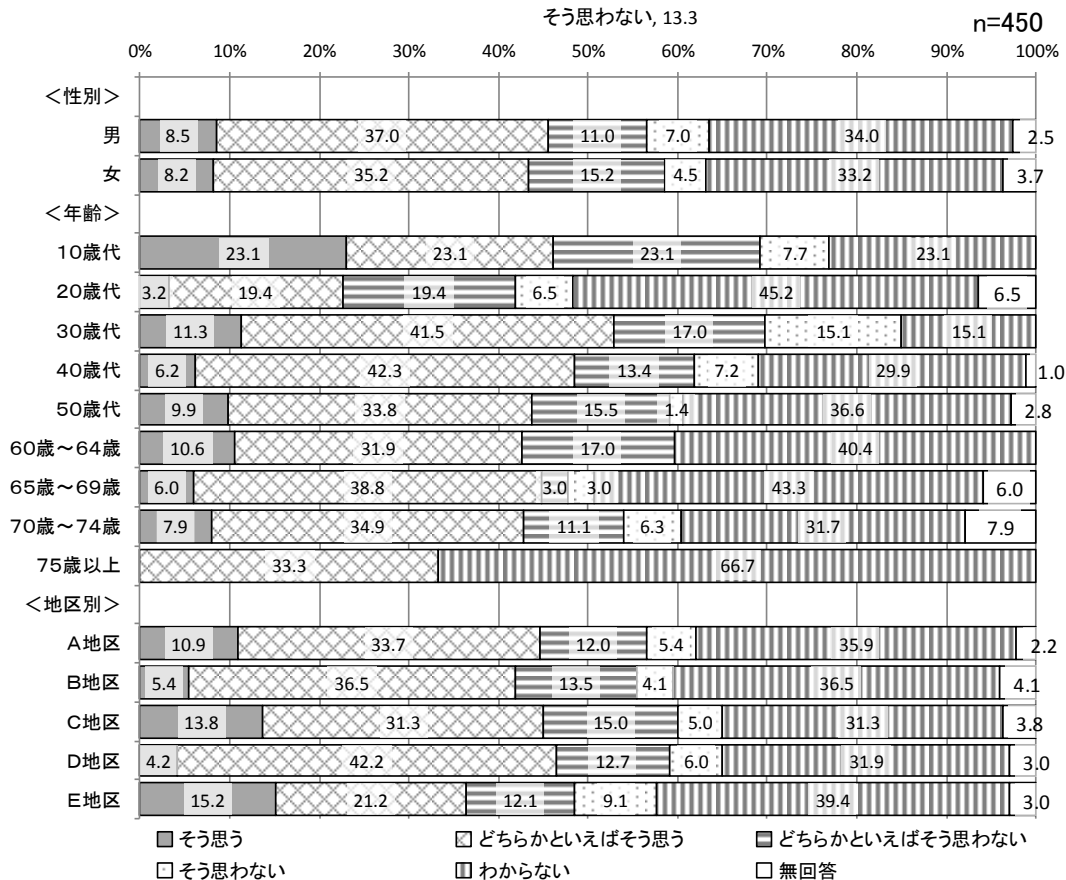
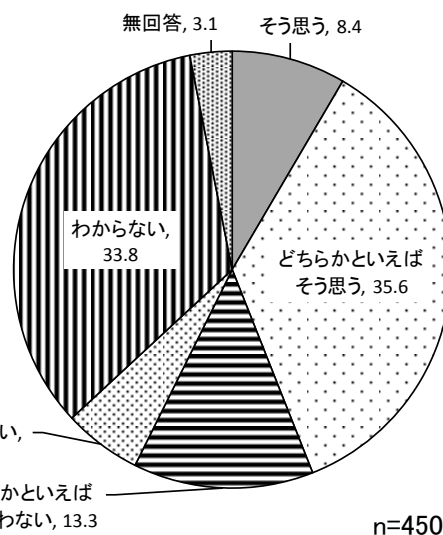
問 30 あなたは、武蔵村山市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。

(○は1つ)

「安心して子育てしやすいまち」だと思いかとの問いに対する回答としては、「どちらかといえばそう思う」が35.6%で最も多く、次いで「どちらかといえばそう思わない」(13.3%)、「そう思う」(8.4%)の順である。

項目	件数	割合
そう思う	38	8.4%
どちらかといえばそう思う	160	35.6%
どちらかといえばそう思わない	60	13.3%
そう思わない	26	5.8%
わからない	152	33.8%
無回答	14	3.1%

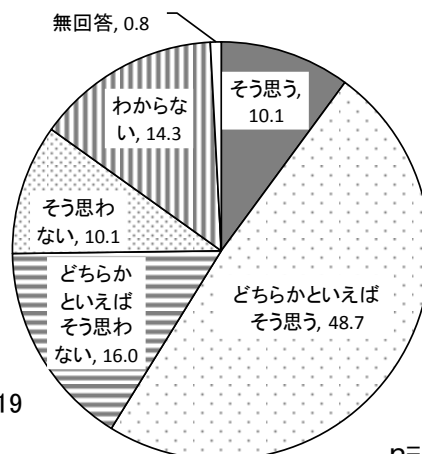
n=450



n=450

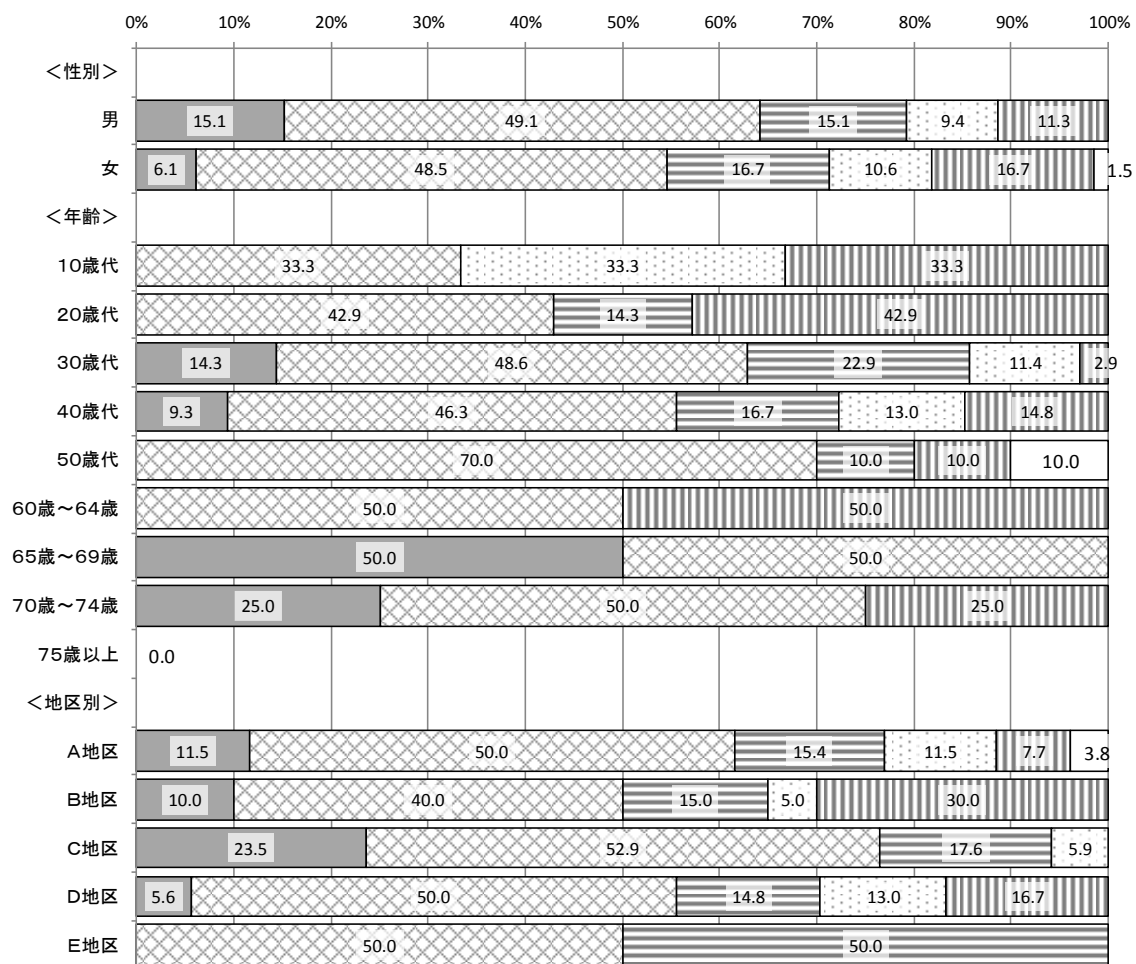
☆問7において、一緒にお住まいの方に「乳幼児・未就学児」または「小学生・中学生」が「いる」とした回答者（119件）のみを対象とした場合の集計結果は、下記のとおりである。

項目	件数	割合
そう思う	12	10.1%
どちらかといえばそう思う	58	48.7%
どちらかといえばそう思わない	19	16.0%
そう思わない	12	10.1%
わからない	17	14.3%
無回答	1	0.8%



n=119

n=119



■ そう思う □ どちらかといえばそう思う ▨ どちらかといえばそう思わない □ そう思わない ▨ わからない □ 無回答

n=119

問 31 あなたが安心して子育てを行うためには、市は特にどのようなことをする必要が
あると思いますか。(○は2つまで)

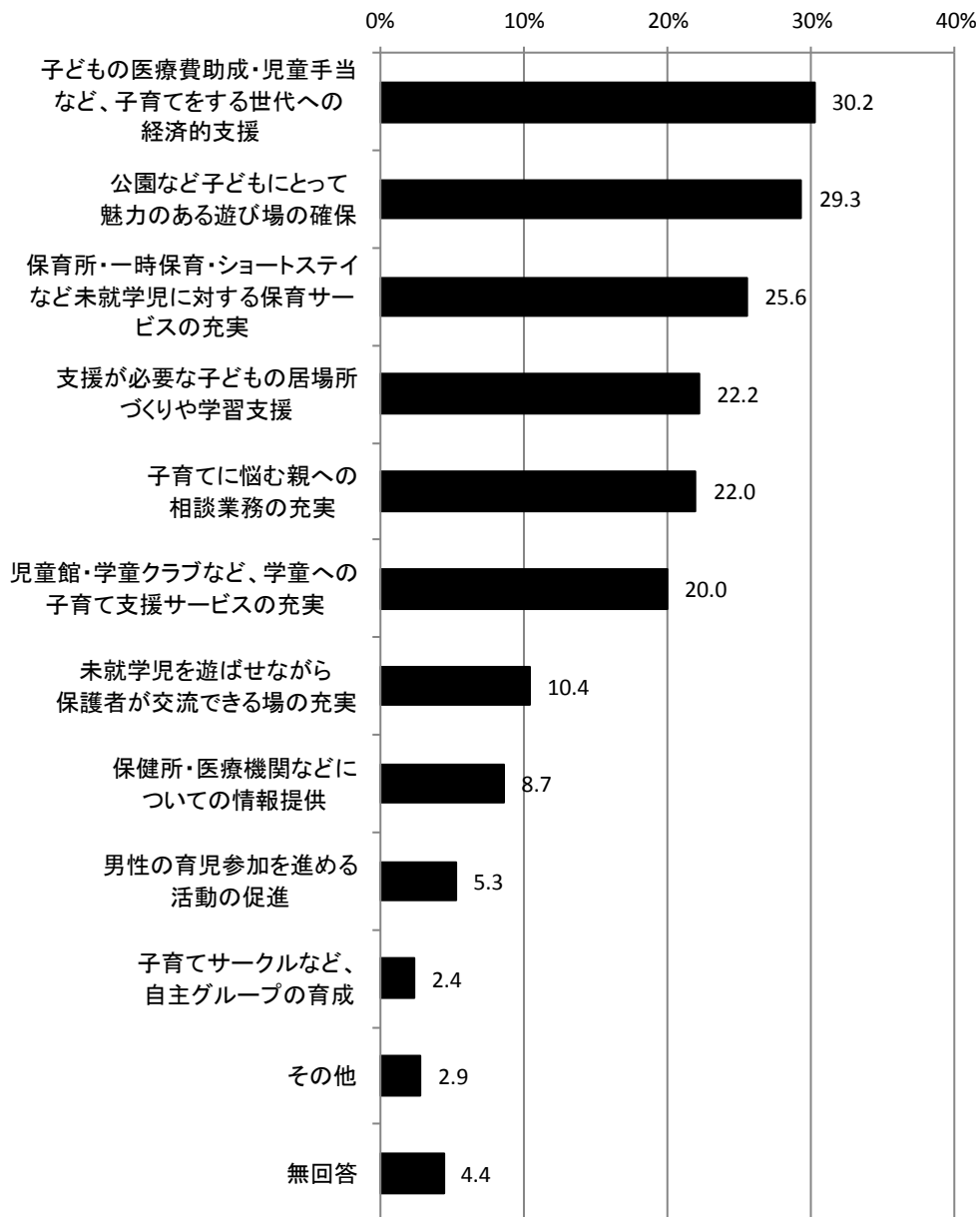
子育て支援策として特に必要があると思う施策としては「子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援」が30.2%で最も多く、以下「公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保」(29.3%)、「保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実」(25.6%)、「支援が必要な子どもの居場所づくりや学習支援」(22.2%)と続く。

項目	件数	割合
子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援	136	30.2%
公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保	132	29.3%
保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実	115	25.6%
支援が必要な子どもの居場所づくりや学習支援	100	22.2%
子育てに悩む親への相談業務の充実	99	22.0%
児童館・学童クラブなど、学童への子育て支援サービスの充実	90	20.0%
未就学児を遊ばせながら保護者が交流できる場の充実	47	10.4%
保健所・医療機関などについての情報提供	39	8.7%
男性の育児参加を進める活動の促進	24	5.3%
子育てサークルなど、自主グループの育成	11	2.4%
その他	13	2.9%
無回答	20	4.4%

n=450

(「その他」の詳細)

- ・教育環境の充実
- ・レベルに見合った進学をする為に、交通機関の充実
- ・保育園利用料の見直し
- ・医療機関の充実
- ・親の就労時間短縮の支援
- ・防犯
- ・子供が自由に遊んだり学べる場の確保

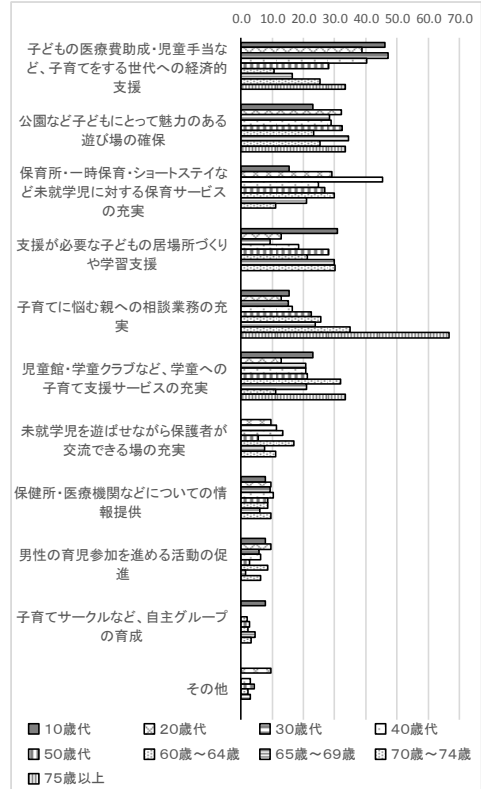


n=450

<性別>



<年齢別>



<地区別>

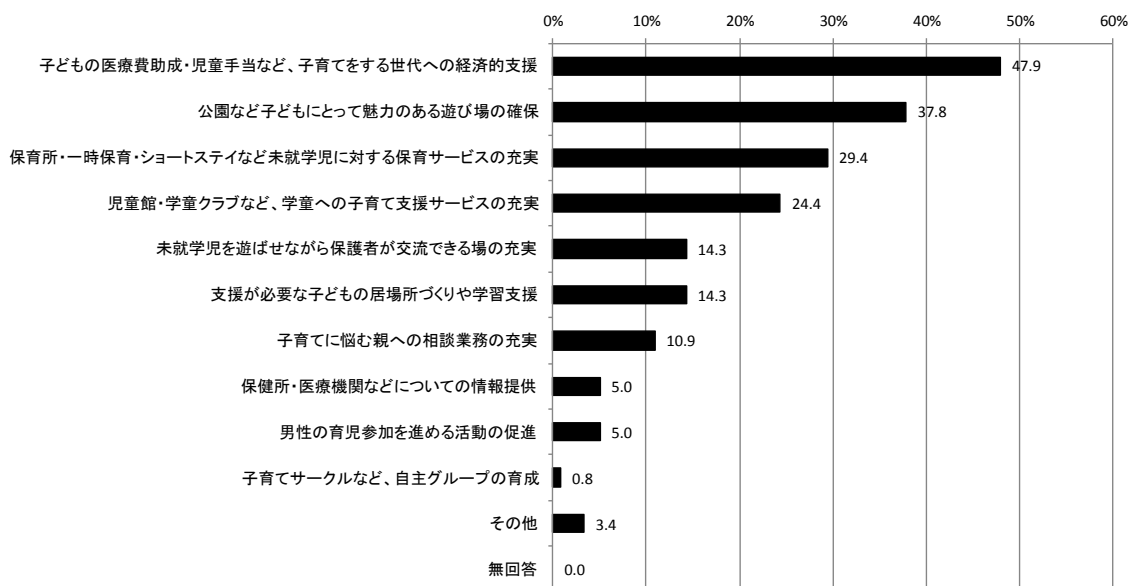


n=450

☆問7において、一緒にお住まいの方に「乳幼児・未就学児」又は「小学生・中学生」が「いる」とした回答者（119件）のみを対象とした場合の集計結果は、下記のとおりである。

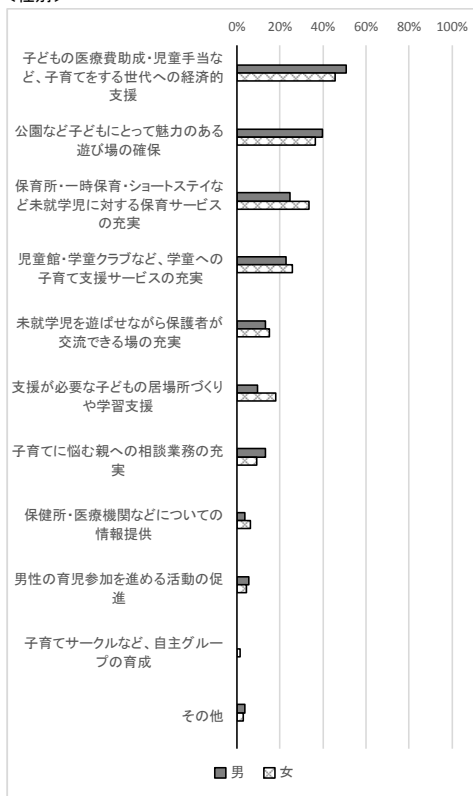
項目	件数	割合
子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援	57	47.9%
公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保	45	37.8%
保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実	35	29.4%
児童館・学童クラブなど、学童への子育て支援サービスの充実	29	24.4%
未就学児を遊ばせながら保護者が交流できる場の充実	17	14.3%
支援が必要な子どもの居場所づくりや学習支援	17	14.3%
子育てに悩む親への相談業務の充実	13	10.9%
保健所・医療機関などについての情報提供	6	5.0%
男性の育児参加を進める活動の促進	6	5.0%
子育てサークルなど、自主グループの育成	1	0.8%
その他	4	3.4%
無回答	0	0.0%

n=119

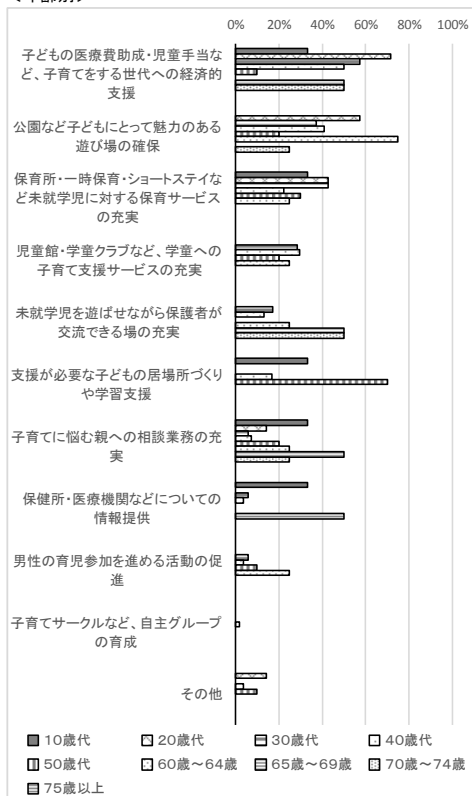


n=119

<性別>



<年齢別>



<地区別>



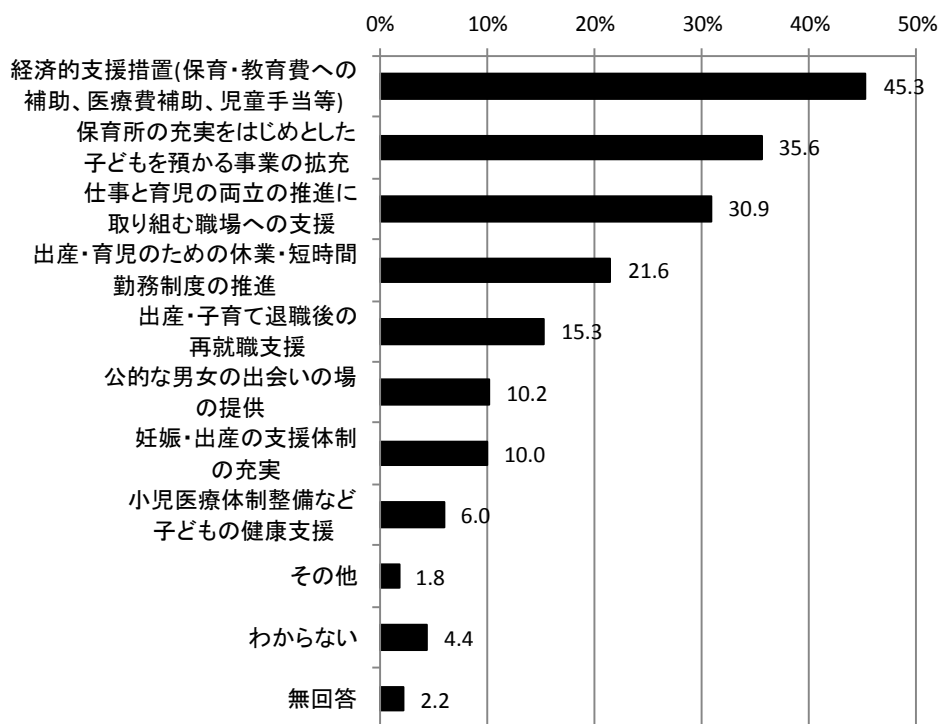
n=119

問 32 あなたは、少子化対策としてどのような支援や体制づくりをする必要があると思いますか。(〇は2つまで)

少子化対策として必要とする支援や体制については、「経済的支援措置（保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当等）」が 45.3%で最も多く、次いで「保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充」（35.6%）、「仕事と育児の両立の推進に取り組む職場への支援」（30.9%）の順である。

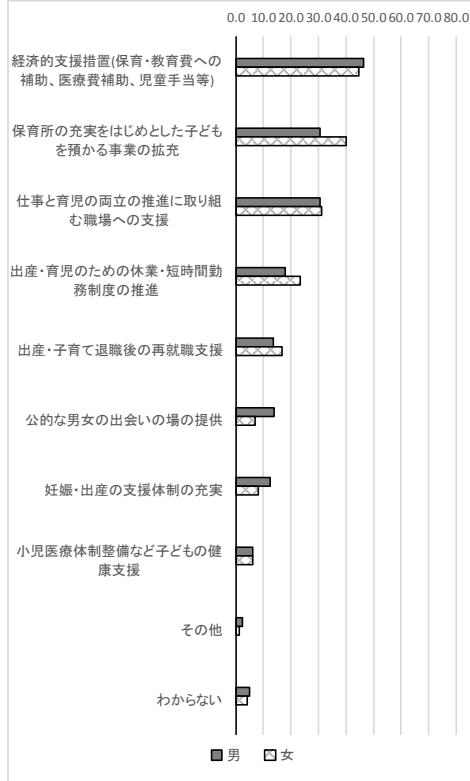
項目	件数	割合
経済的支援措置(保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当等)	204	45.3%
保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充	160	35.6%
仕事と育児の両立の推進に取り組む職場への支援	139	30.9%
出産・育児のための休業・短時間勤務制度の推進	97	21.6%
出産・子育て退職後の再就職支援	69	15.3%
公的な男女の出会いの場の提供	46	10.2%
妊娠・出産の支援体制の充実	45	10.0%
小児医療体制整備など子どもの健康支援	27	6.0%
その他	8	1.8%
わからない	20	4.4%
無回答	10	2.2%

n=450



n=450

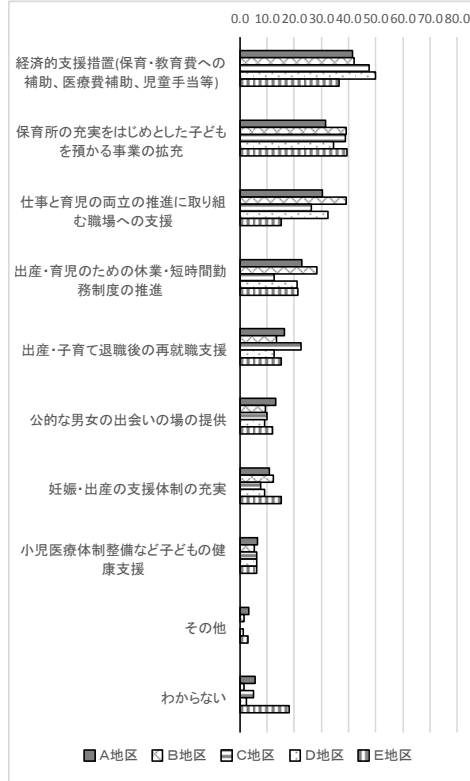
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

(「その他」の詳細)

○対策そのものを疑問視する意見

- ・特に対策は必要ないのではないですか
- ・少子化が問題だとは思えない。高齢者が活躍する社会作りを目指して欲しい
- ・子どもを生む生まぬは個人の自由である。行政が出産を強要することはできない

○具体的施策についての意見

- ・子育て世帯の全ての税金を下げる
- ・外国人を協力者として労働を願う
- ・経済的支援ではなく、そもそも子育てに費用がかからない社会づくり

- ・育休後の保育園への入所確約制度の構築
(入所できるかどうかわからなければ育休を切り上げ、0歳での入所を希望せざるを得ない。ついては育休も取れない…。)
- ・まず結婚しなければ始まらない。男も女も自分のランクがどの辺かわからず、すごく相手に高望している。プライバシー保護の下で教える場所があった方が良い

暮らし

問 33 消費者支援のために、行政としてどのようなことに取り組むべきだと思いますか。

(○は2つまで)

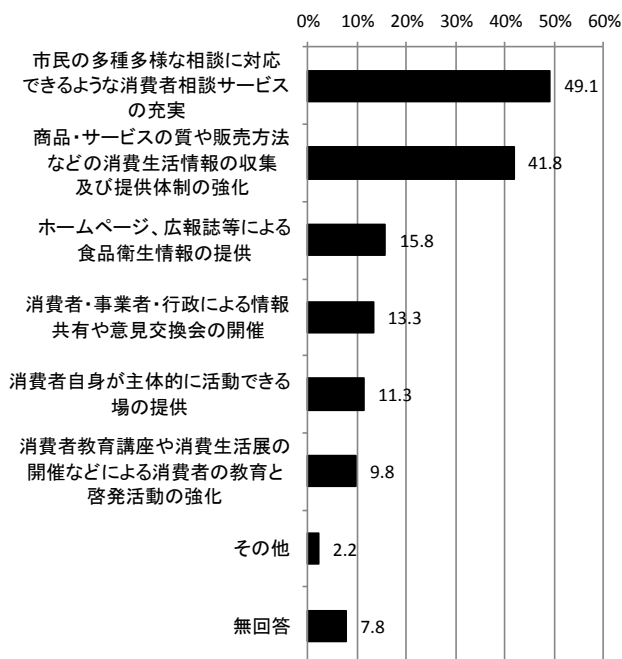
消費者支援のために取り組むべきことについては、「市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実」が49.1%で最も多く、以下「商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化」(41.8%)、「ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供」(15.8%)と続く。

項目	件数	割合
市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実	221	49.1%
商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化	188	41.8%
ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供	71	15.8%
消費者・事業者・行政による情報共有や意見交換会の開催	60	13.3%
消費者自身が主体的に活動できる場の提供	51	11.3%
消費者教育講座や消費生活展の開催などによる消費者の教育と啓発活動の強化	44	9.8%
その他	10	2.2%
無回答	35	7.8%

n=450

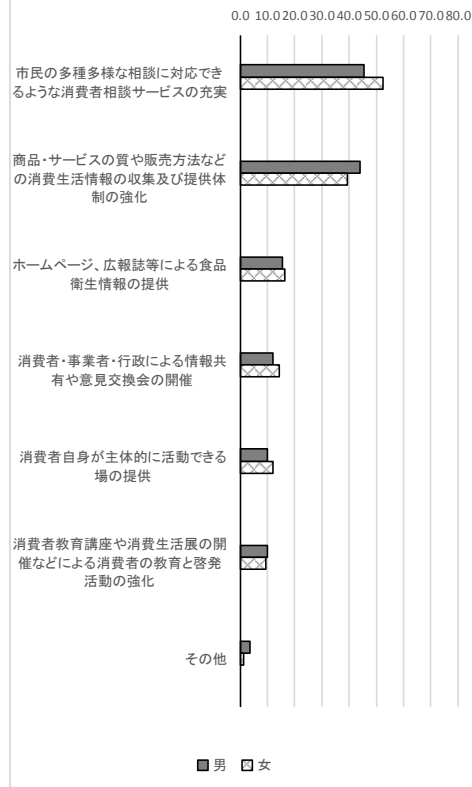
(「その他」の詳細)

- ・安売り店(オーケー等)の誘致
- ・近くにスーパー等が無い。スーパー等の誘致
- ・SNSでの情報発信
- ・消費者被害が起こらないように企業を規制すべきだ
- ・生産について良く勉強する教育
- ・市で行う必要なし

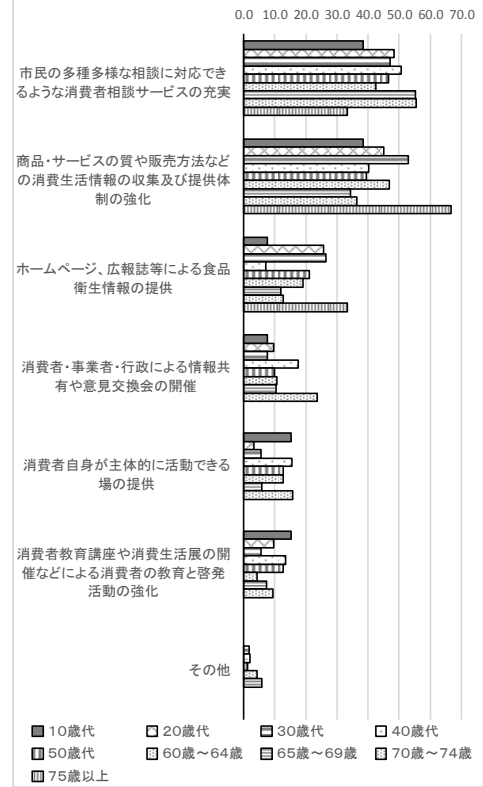


n=450

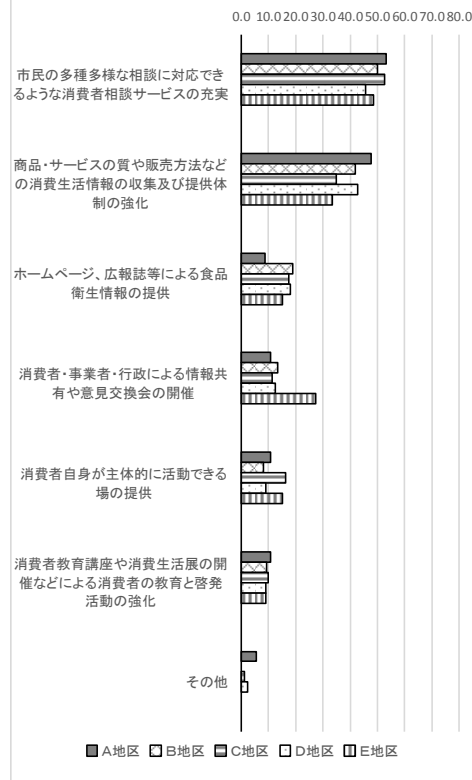
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

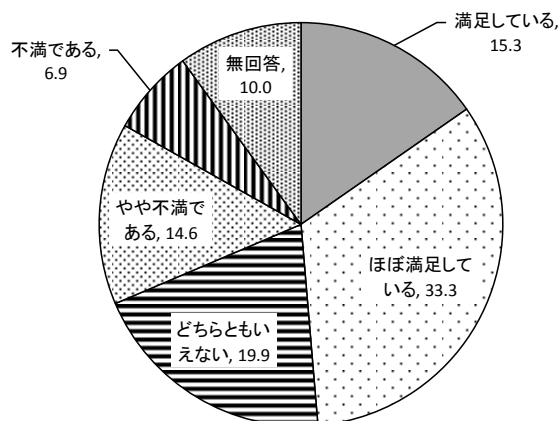
問 34 【雇用されている方に伺います。(個人事業主は除きます。)]

現在の就業環境に満足していますか。(○は1つ)

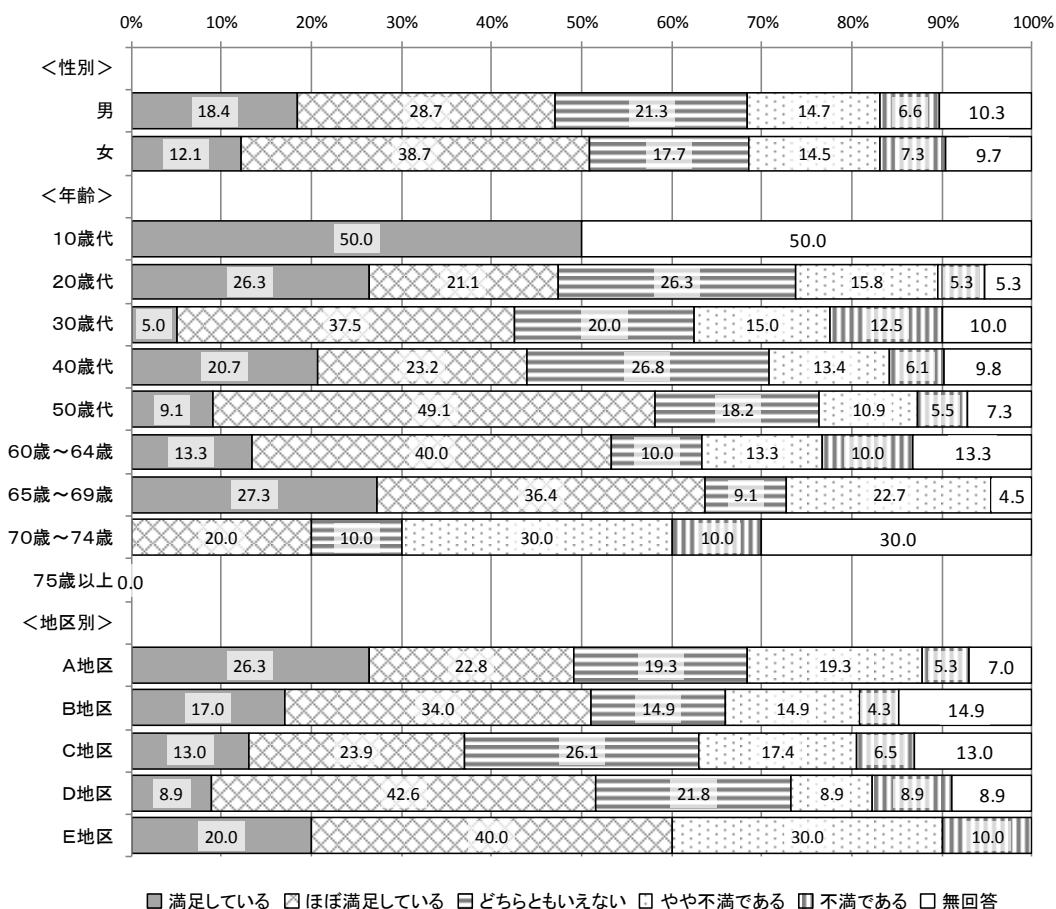
現在の就業環境に対する満足度としては、「ほぼ満足している」が33.3%で最も多く、以下「どちらともいえない」(19.9%)、「満足している」(15.3%)、「やや不満である」(14.6%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	40	15.3%
ほぼ満足している	87	33.3%
どちらともいえない	52	19.9%
やや不満である	38	14.6%
不満である	18	6.9%
無回答	26	10.0%

n=261



n=261



問 35 【雇用されている方に伺います。(個人事業主は除きます。)]

現在の就業環境について、改善してほしいとすればどのような点ですか。

(〇は3つまで)

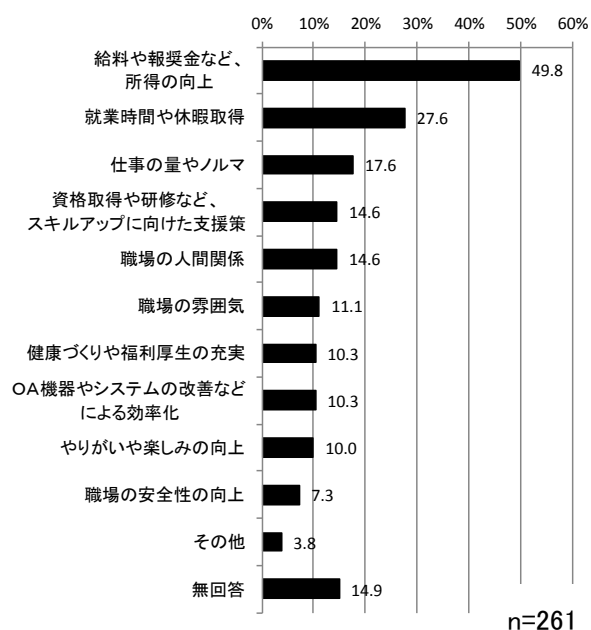
現在の就業環境における改善希望点としては、「給料や報奨金など、所得の向上」が49.8%で最も多く、以下「就業時間や休暇取得」(27.6%)、「仕事の量やノルマ」(17.6%)、「資格取得や研修など、スキルアップに向けた支援策」及び「職場の人間関係」(いずれも14.6%ずつ)と続く。

項目	件数	割合
給料や報奨金など、所得の向上	130	49.8%
就業時間や休暇取得	72	27.6%
仕事の量やノルマ	46	17.6%
資格取得や研修など、スキルアップに向けた支援策	38	14.6%
職場の人間関係	38	14.6%
職場の雰囲気	29	11.1%
健康づくりや福利厚生の充実	27	10.3%
OA機器やシステムの改善などによる効率化	27	10.3%
やりがいや楽しみの向上	26	10.0%
職場の安全性の向上	19	7.3%
その他	10	3.8%
無回答	39	14.9%

n=261

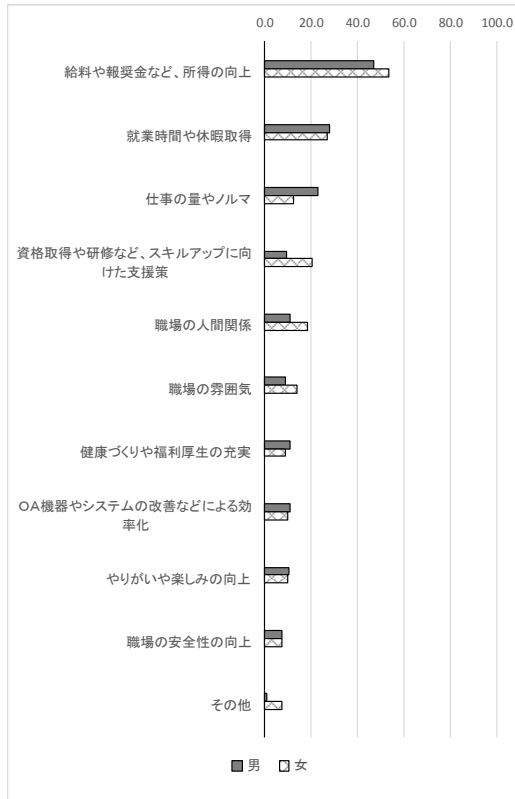
(「その他」の詳細)

- ・ 人手不足
- ・ 契約期間がある
- ・ 車通勤等の対策
- ・ ハラスメント対策
- ・ 行政の規則が厳しすぎ。負担及びストレスを感じる事が多い
- ・ パートで15年以上働いても、夏冬ボーナス(気持ち)もない。ずっと時給です

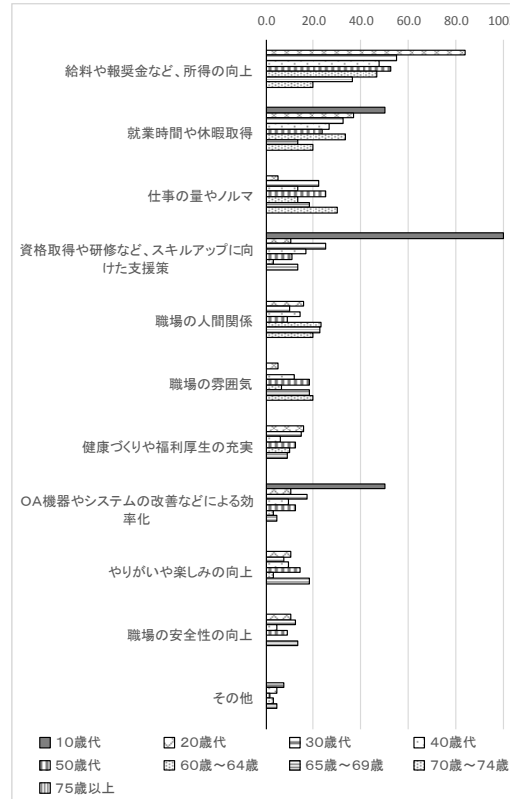


n=261

<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=261

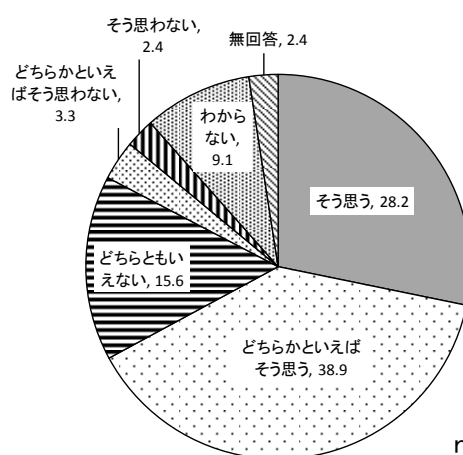
4-3 誰もが自分らしく成長できるまちづくり

人権・平和

問 36 あなたやあなたの家族が、まわりに認められ、(人権が) 尊重されていると思いますか。(○は1つ)

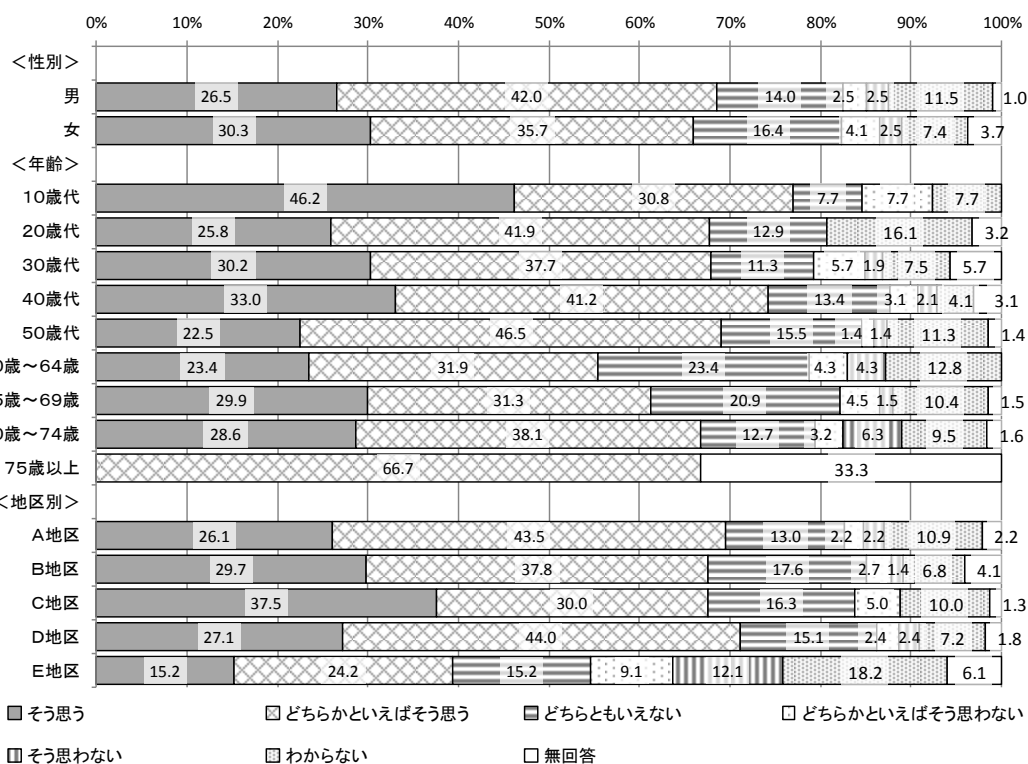
回答者本人及び家族が人権尊重されていると思うか、との問に対する回答としては、「どちらかといえばそう思う」が38.9%で最も多く、続いて「そう思う」(28.2%)、「どちらともいえない」(15.6%)の順である。

項目	件数	割合
そう思う	127	28.2%
どちらかといえばそう思う	175	38.9%
どちらともいえない	70	15.6%
どちらかといえばそう思わない	15	3.3%
そう思わない	11	2.4%
わからない	41	9.1%
無回答	11	2.4%



n=450

n=450



n=450

問 36-2 【問 36 で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方にお聞きします。】

そう思わない理由は。(○は2つまで)

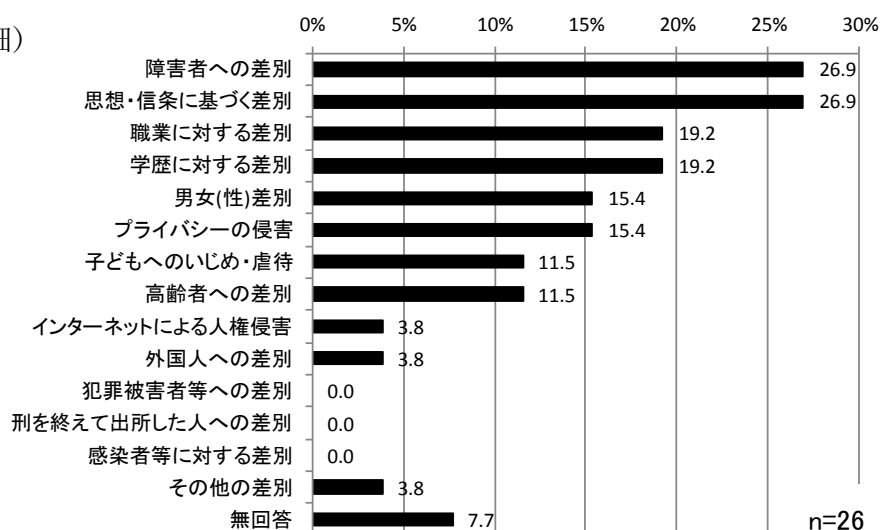
回答者本人または家族が、人権尊重されていると思わない理由としては、「障害者への差別」及び「思想・信条に基づく差別」がいずれも 26.9%ずつで最も多く、以下「職業に対する差別」及び「学歴に対する差別」（いずれも 19.2%ずつ）、「男女（性）差別」及び「プライバシーの侵害」（いずれも 15.4%ずつ）の順である。

項目	件数	割合
障害者への差別	7	26.9%
思想・信条に基づく差別	7	26.9%
職業に対する差別	5	19.2%
学歴に対する差別	5	19.2%
男女(性)差別	4	15.4%
プライバシーの侵害	4	15.4%
子どもへのいじめ・虐待	3	11.5%
高齢者への差別	3	11.5%
インターネットによる人権侵害	1	3.8%
外国人への差別	1	3.8%
犯罪被害者等への差別	0	0.0%
刑を終えて出所した人への差別	0	0.0%
感染者等に対する差別	0	0.0%
その他の差別	1	3.8%
無回答	2	7.7%

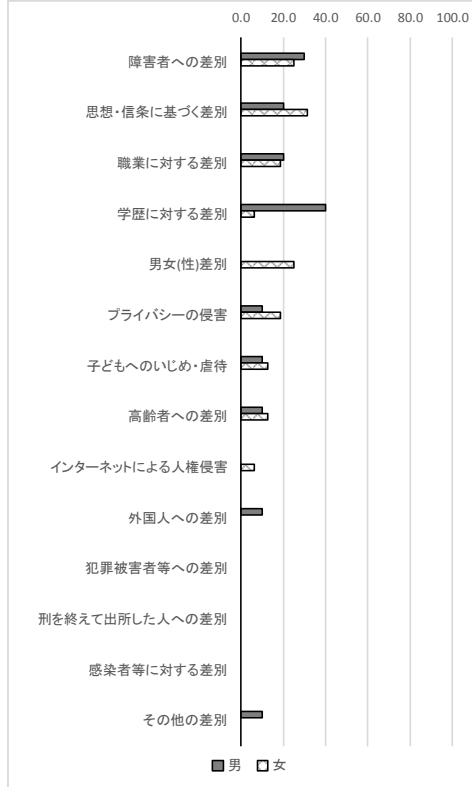
n=26

(「その他」の詳細)

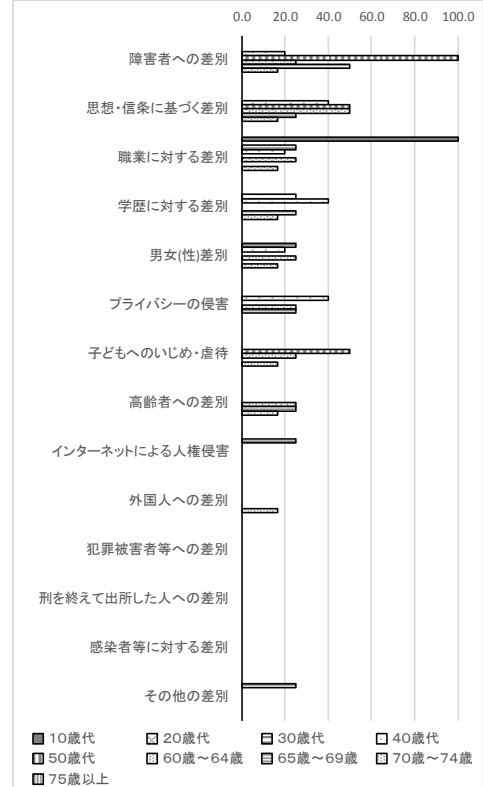
- ・ マタニティ
- ハラスメント



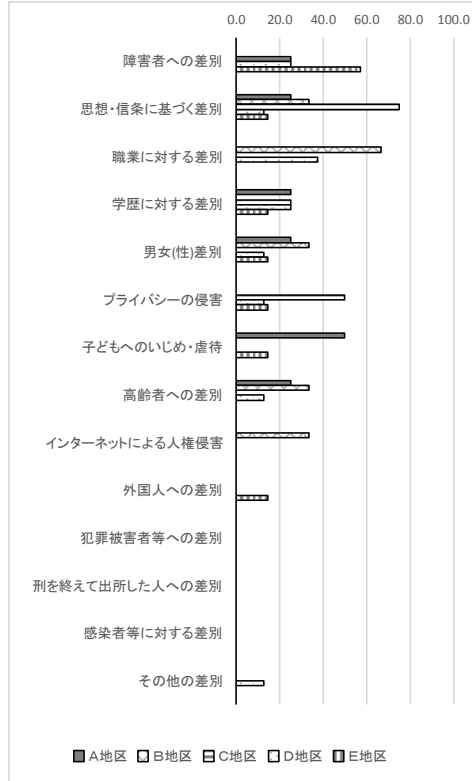
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=26

男女共同参画

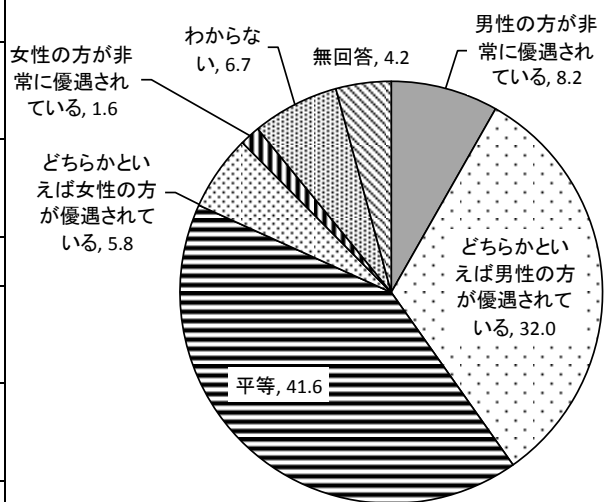
問 37 あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

(○はそれぞれ1つ)

・家庭生活の場

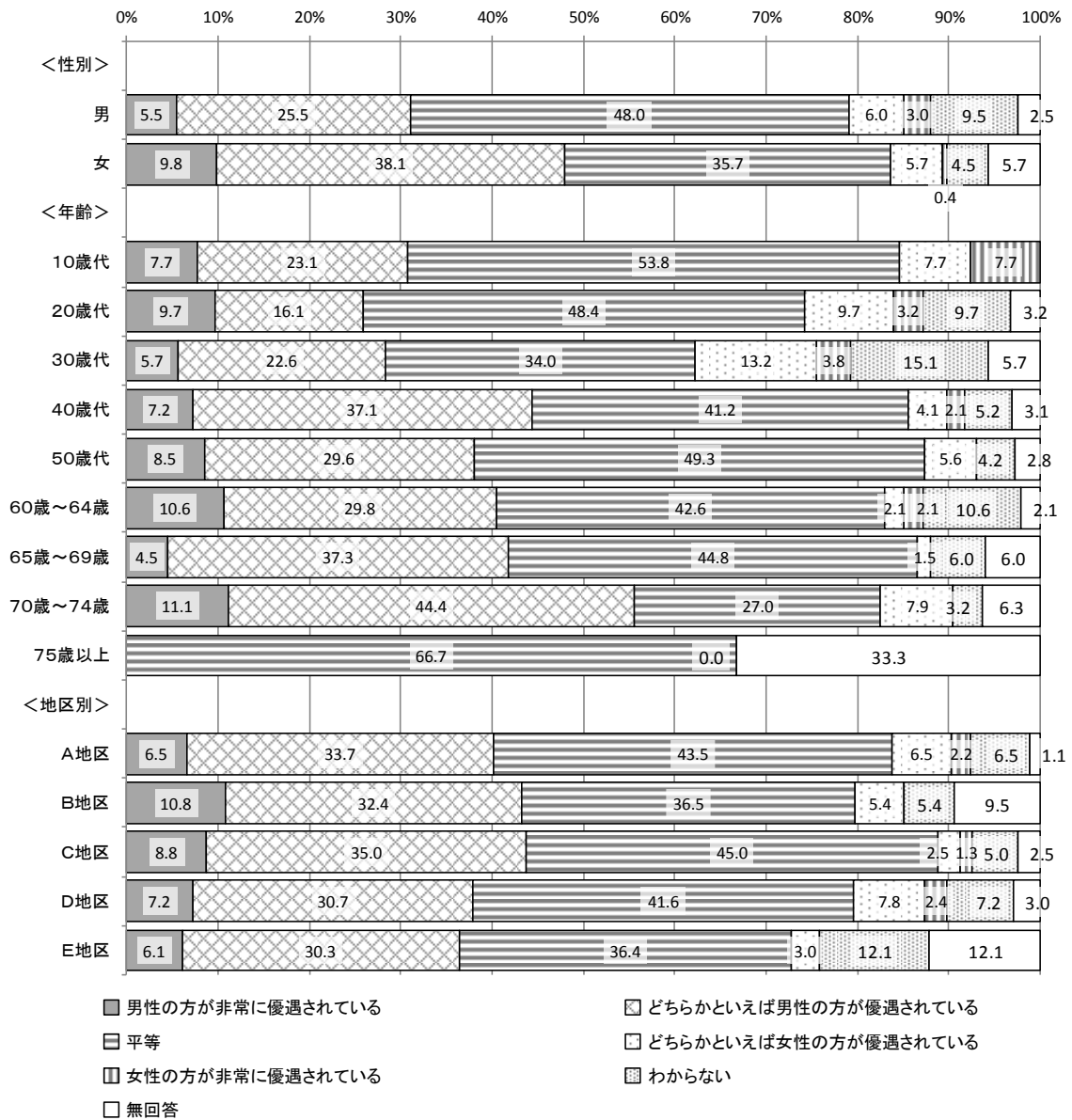
家庭生活の場における男女の地位に対する認識については、「平等」とする回答が41.6%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(32.0%)、「男性の方が非常に優遇されている」(8.2%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	37	8.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	144	32.0%
平等	187	41.6%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	26	5.8%
女性の方が非常に優遇されている	7	1.6%
わからない	30	6.7%
無回答	19	4.2%



n=450

n=450



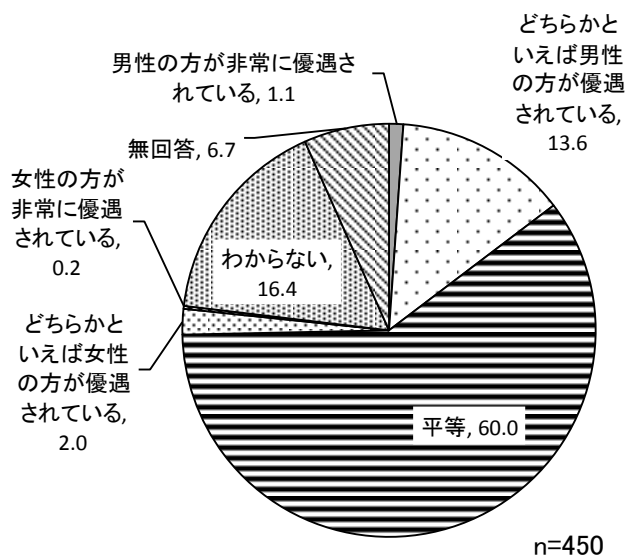
n=450

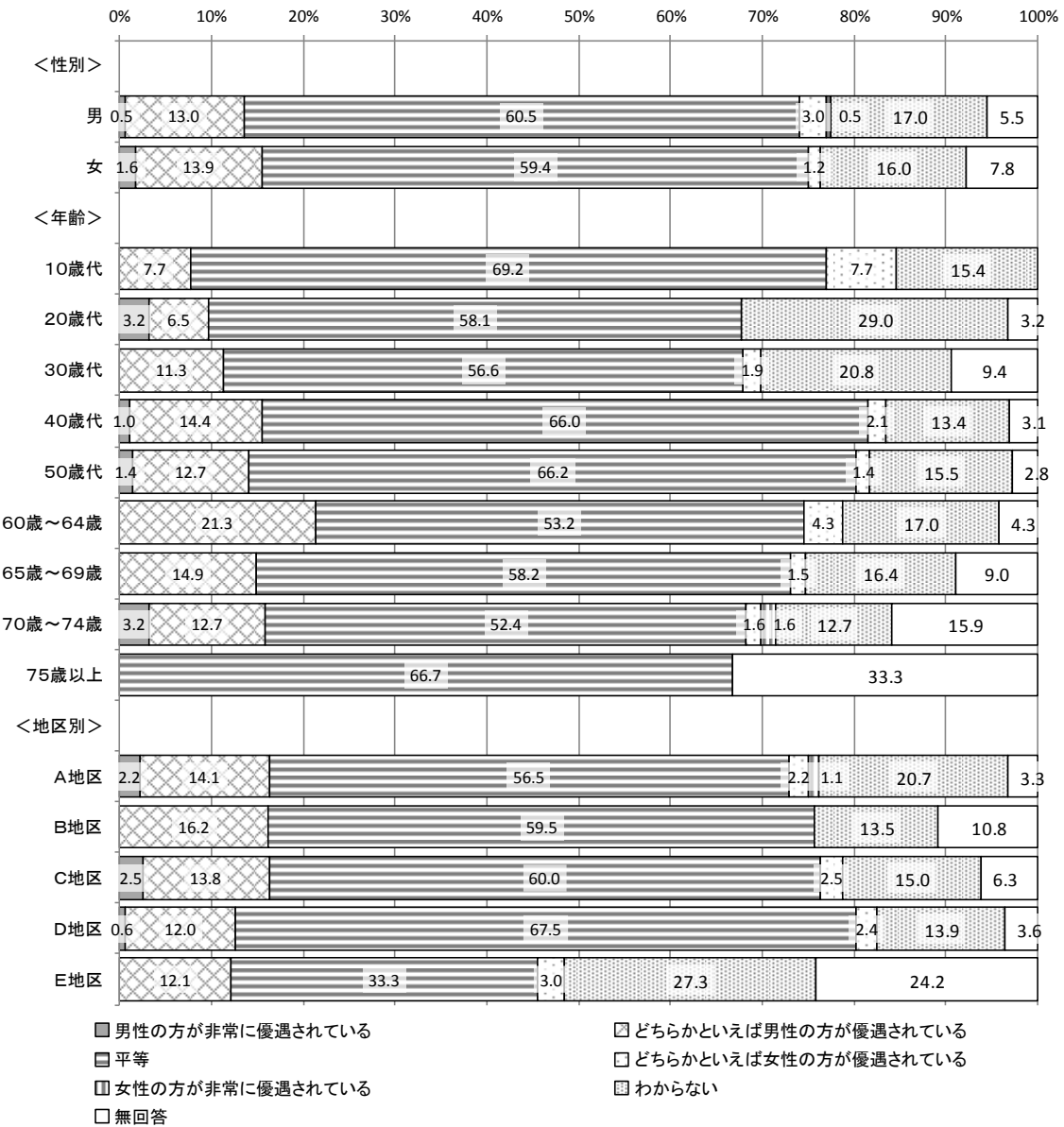
・学校教育の場

学校教育の場における男女の地位に対する認識については、「平等」とする回答が60.0%を占め、最も多い。以下、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(13.6%)、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(2.0%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	5	1.1%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	61	13.6%
平等	270	60.0%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	9	2.0%
女性の方が非常に優遇されている	1	0.2%
わからない	74	16.4%
無回答	30	6.7%

n=450





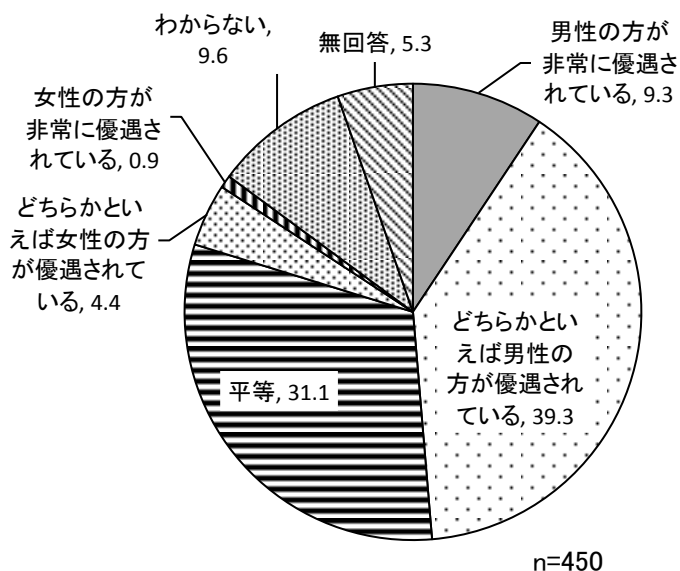
n=450

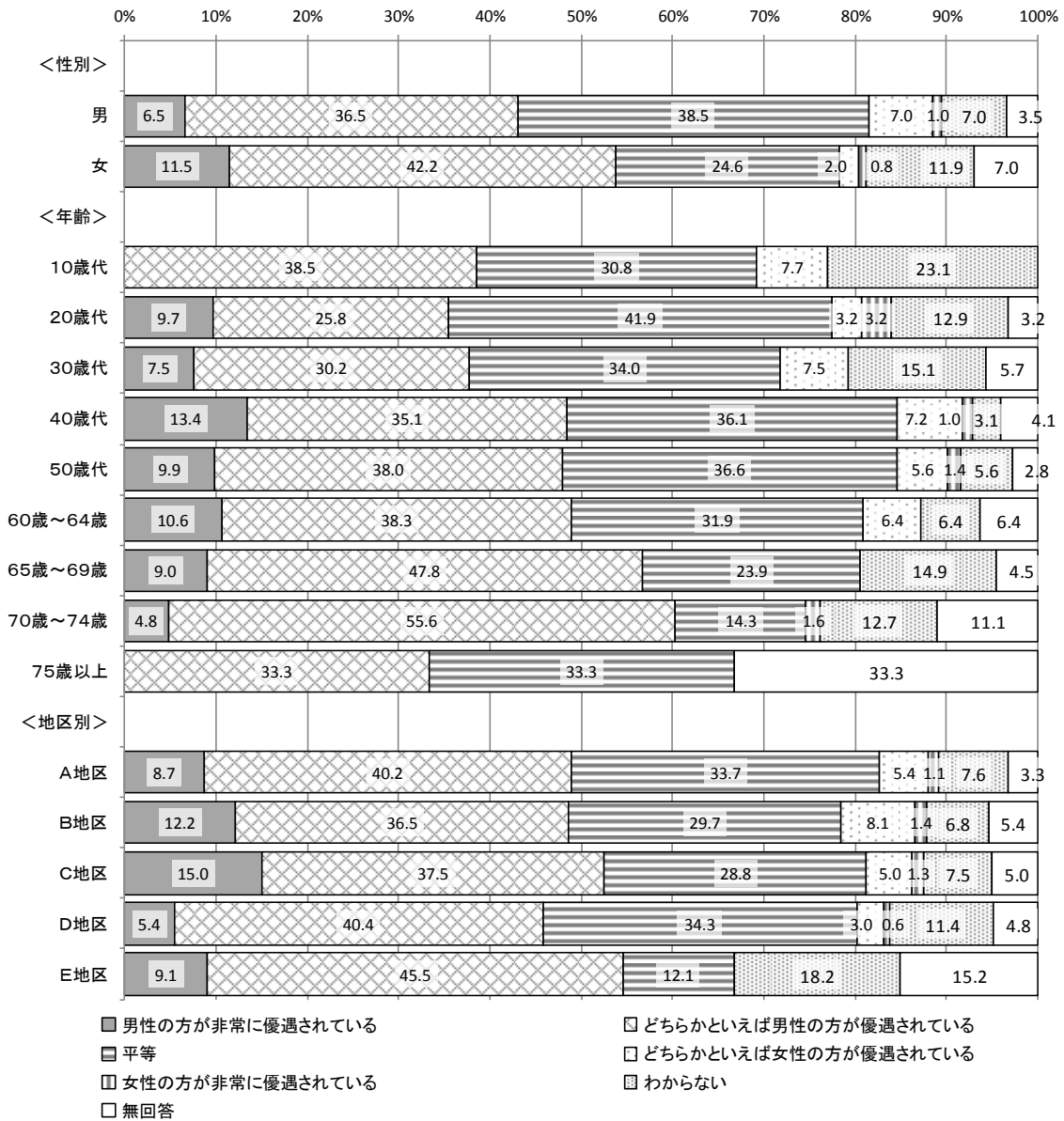
・職場

職場における男女の地位に対する認識については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする回答が39.3%で最も多く、次いで「平等」(31.1%)、「男性の方が非常に優遇されている」(9.3%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	42	9.3%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	177	39.3%
平等	140	31.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	20	4.4%
女性の方が非常に優遇されている	4	0.9%
わからない	43	9.6%
無回答	24	5.3%

n=450





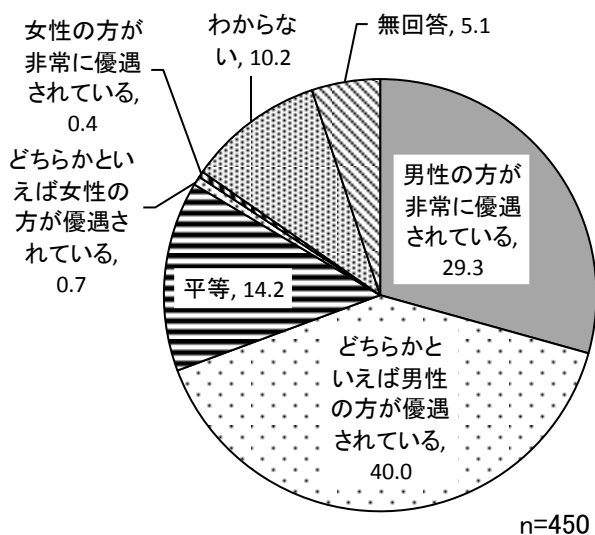
n=450

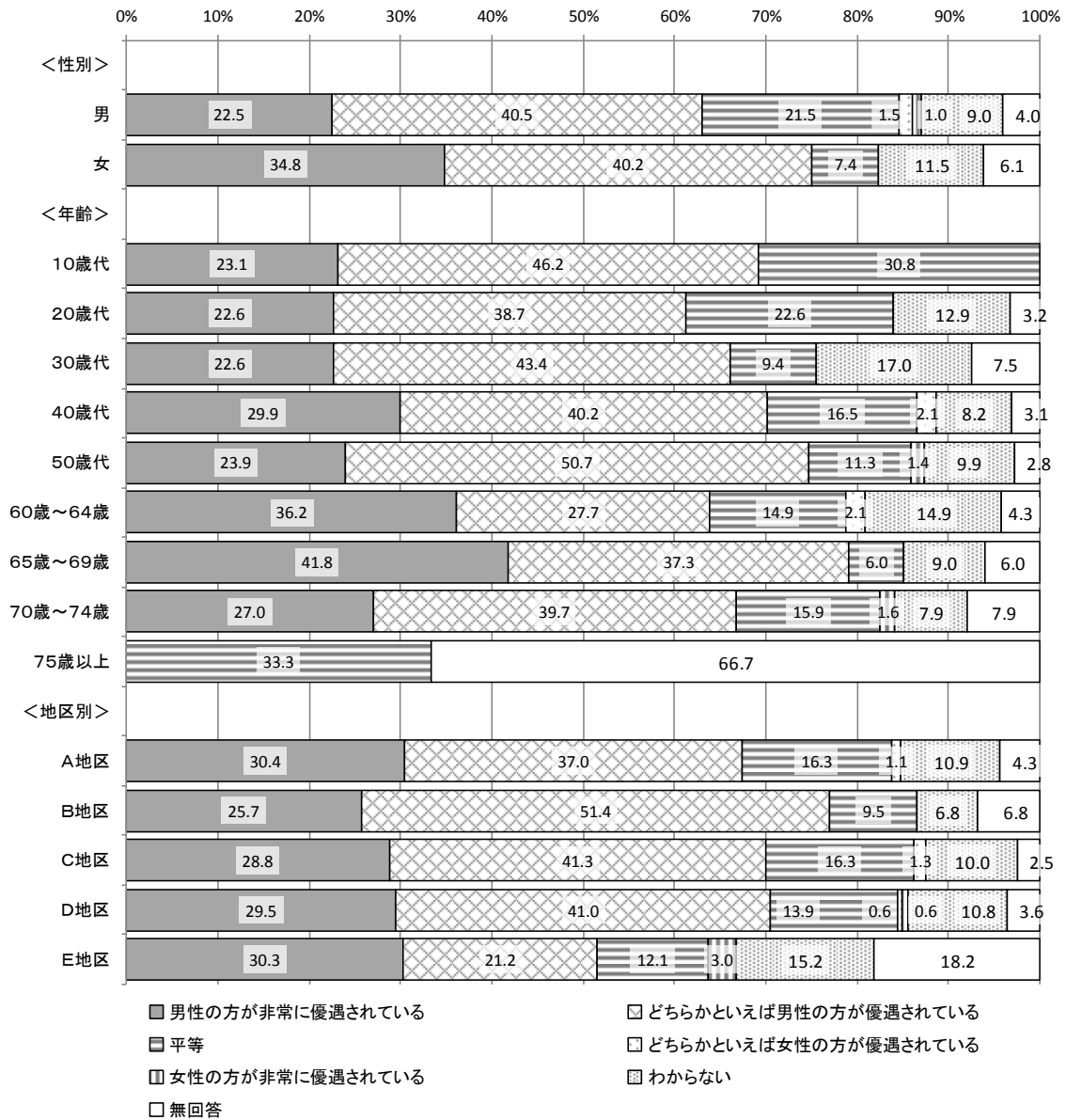
・政治の場

政治の場における男女の地位に対する認識については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする回答が40.0%で最も多く、次いで「男性の方が非常に優遇されている」(29.3%)、「平等」(14.2%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	132	29.3%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	180	40.0%
平等	64	14.2%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	3	0.7%
女性の方が非常に優遇されている	2	0.4%
わからない	46	10.2%
無回答	23	5.1%

n=450





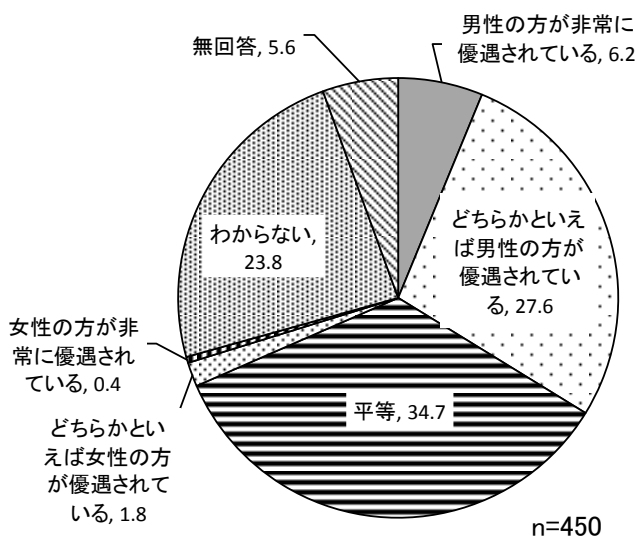
n=450

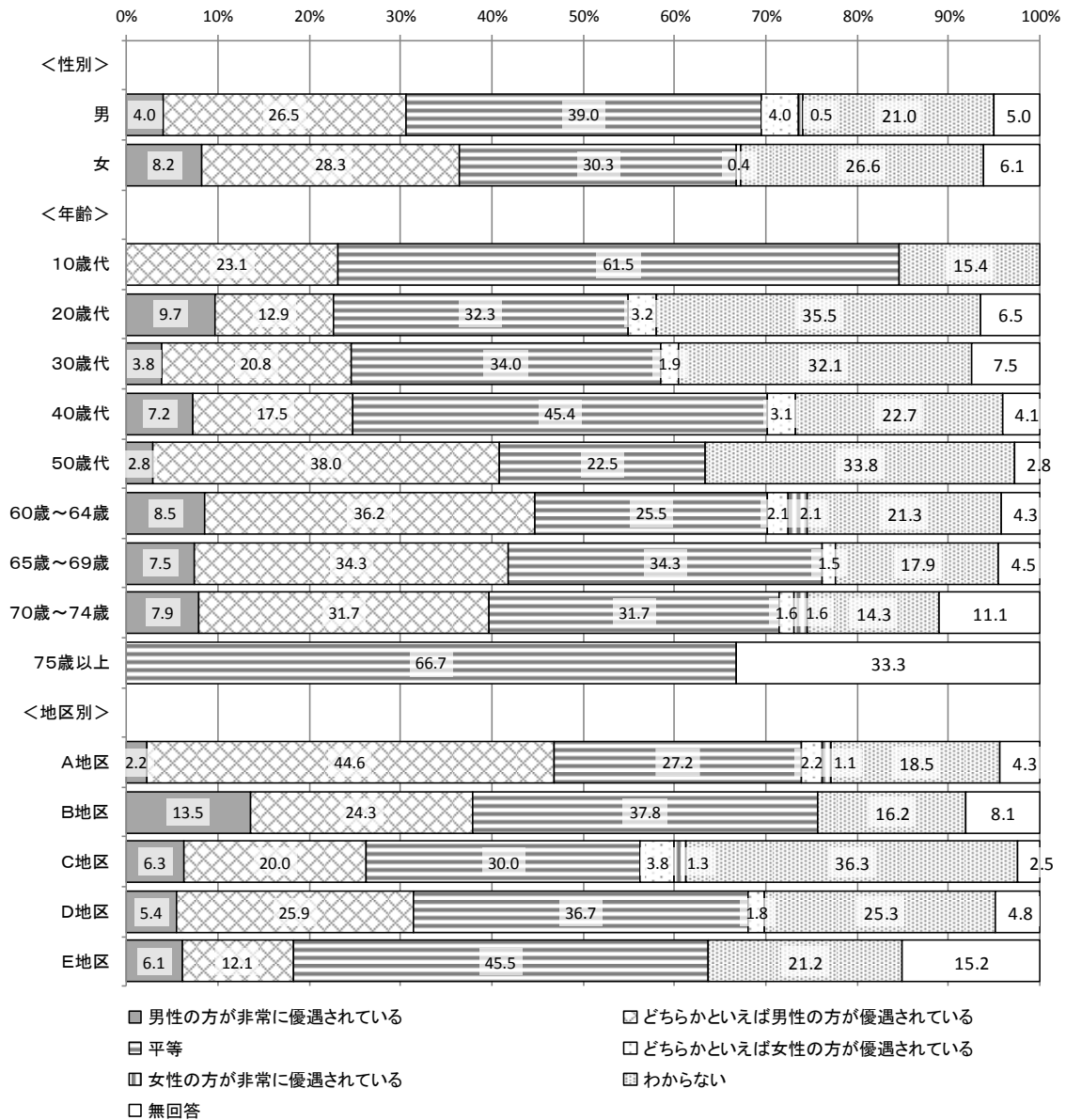
・自治会や NPO 等の地域活動の場

自治会や NPO 等の地域活動の場における男女の地位に対する認識については、「平等」とする回答が 34.7%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(27.6%)、「男性の方が非常に優遇されている」(6.2%) の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	28	6.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	124	27.6%
平等	156	34.7%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	8	1.8%
女性の方が非常に優遇されている	2	0.4%
わからない	107	23.8%
無回答	25	5.6%

n=450





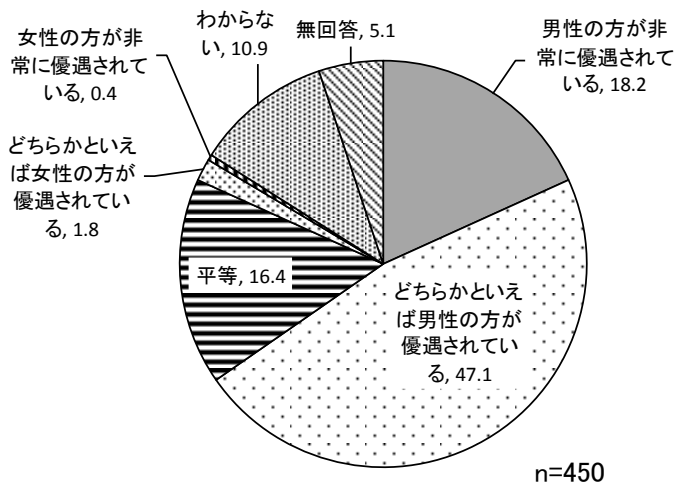
n=450

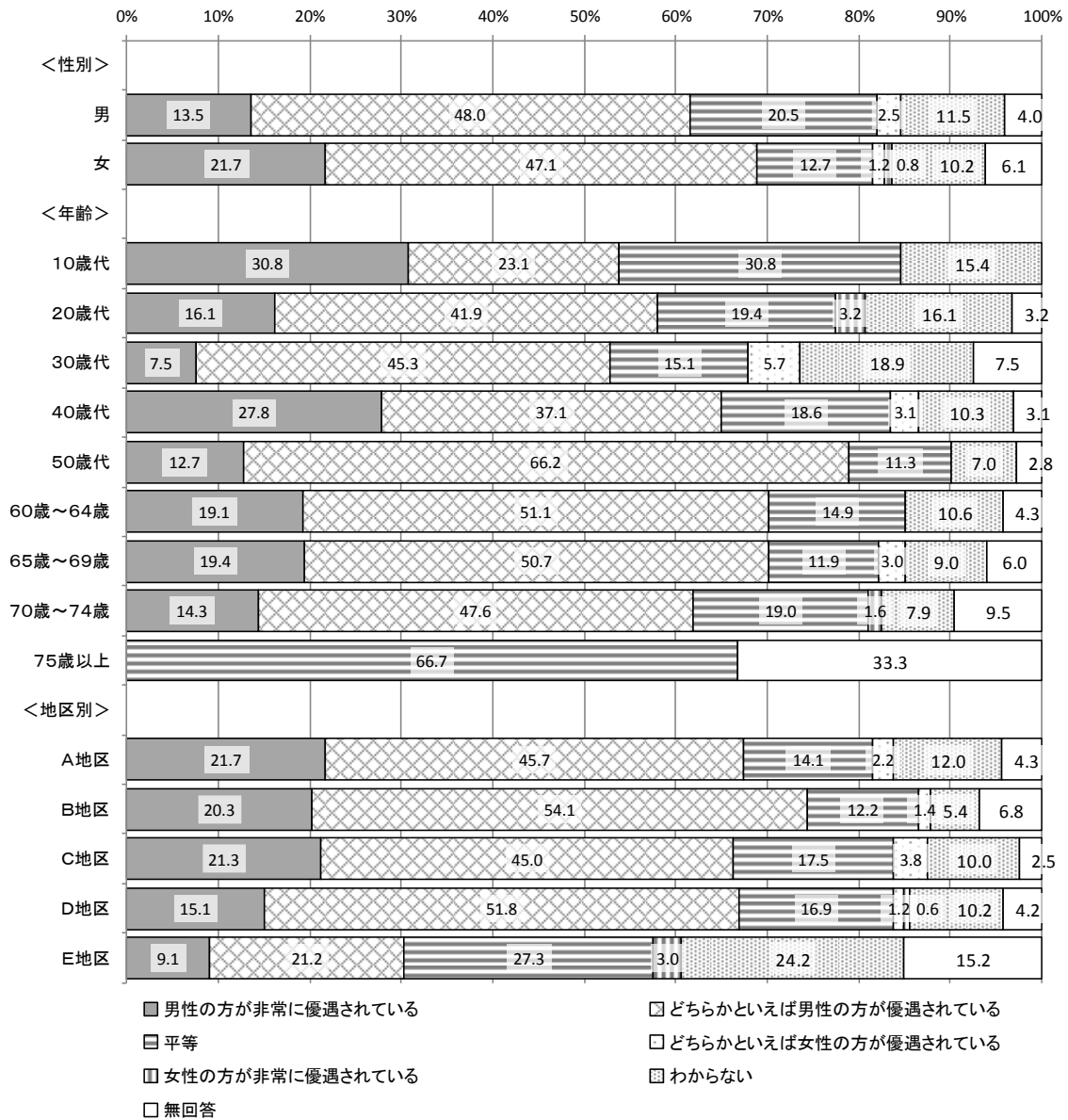
・社会通念・慣習・しきたり等

社会通念・慣習・しきたり等における男女の地位に対する認識については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする回答が47.1%で最も多く、次いで「男性の方が非常に優遇されている」(18.2%)、「平等」(16.4%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	82	18.2%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	212	47.1%
平等	74	16.4%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	8	1.8%
女性の方が非常に優遇されている	2	0.4%
わからない	49	10.9%
無回答	23	5.1%

n=450





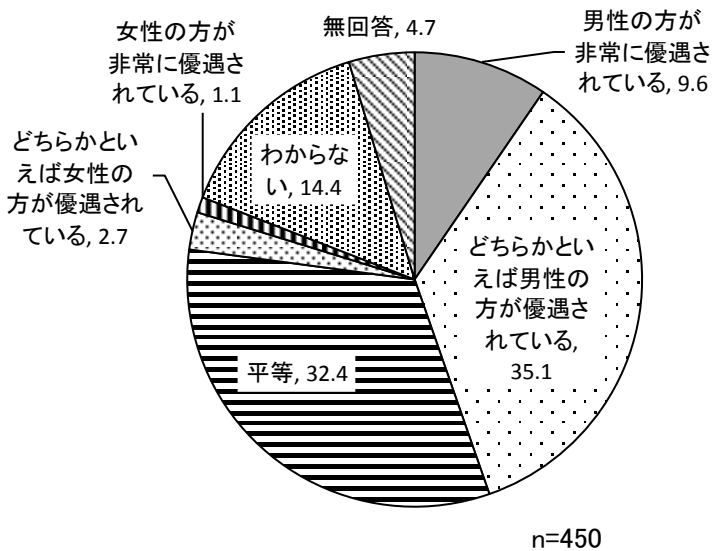
n=450

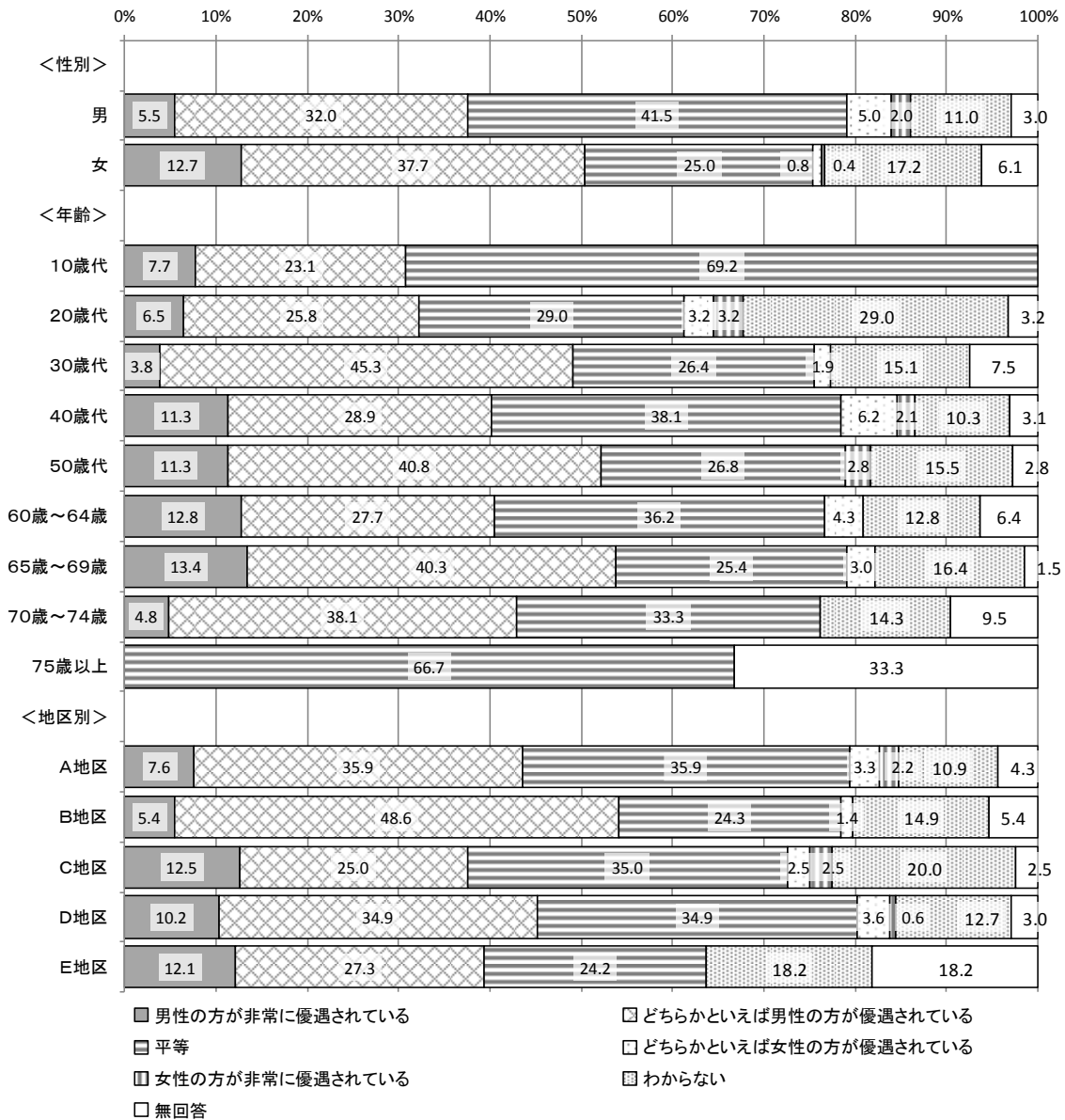
・法律や制度

法律や制度における男女の地位に対する認識については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする回答が 35.1%で最も多く、次いで「平等」(32.4%)、「男性の方が非常に優遇されている」(9.6%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	43	9.6%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	158	35.1%
平等	146	32.4%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	12	2.7%
女性の方が非常に優遇されている	5	1.1%
わからない	65	14.4%
無回答	21	4.7%

n=450





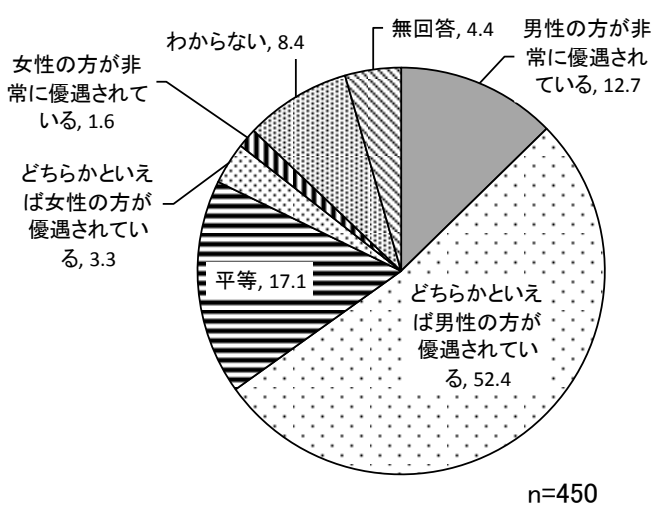
n=450

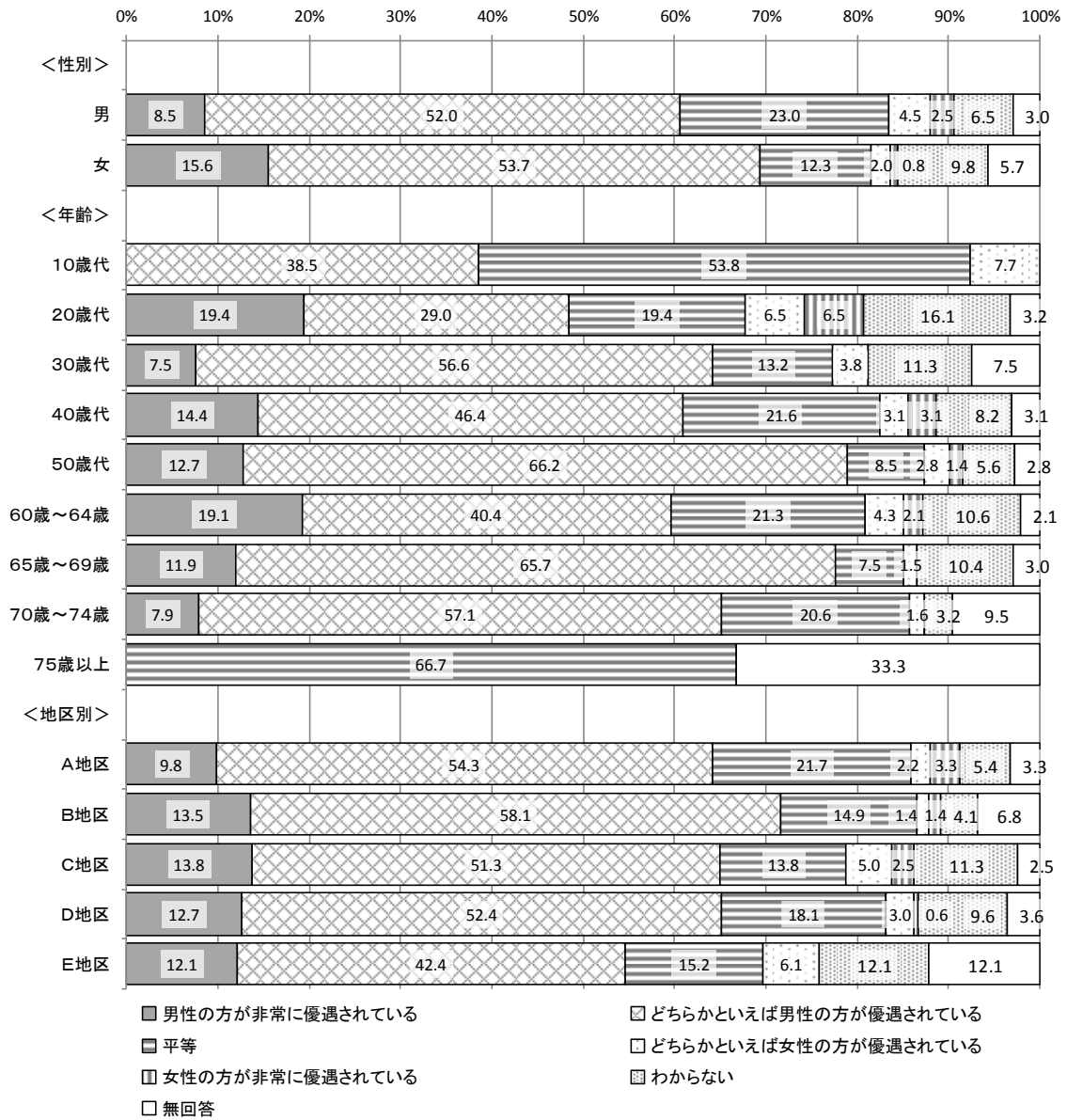
・社会全体

社会全体における男女の地位に対する認識については、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」とする回答が全体の52.4%を占め、最も多い。以下、「平等」(17.1%)、「男性の方が非常に優遇されている」(12.7%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	57	12.7%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	236	52.4%
平等	77	17.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	15	3.3%
女性の方が非常に優遇されている	7	1.6%
わからない	38	8.4%
無回答	20	4.4%

n=450





n=450

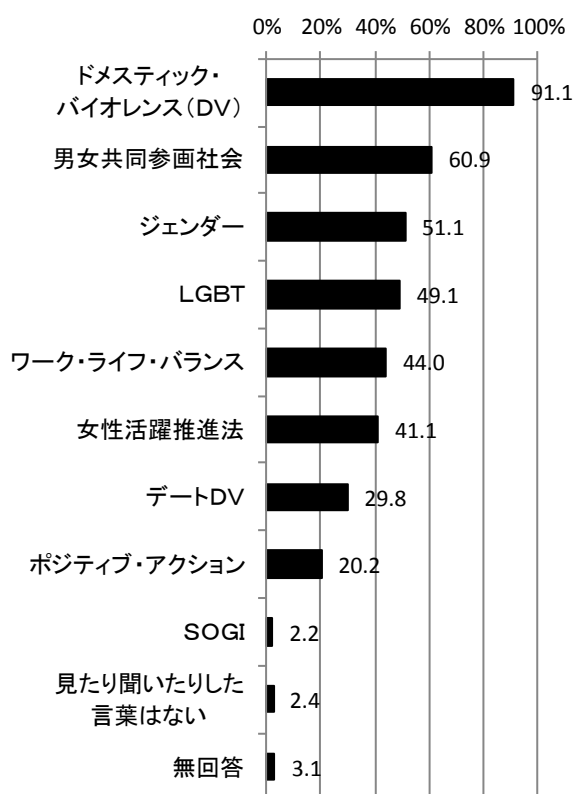
問 38 あなたは、次にあげる言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。

(○はいくつでも)

見たり聞いたりしたことがある言葉としては、「ドメスティック・バイオレンス(DV)」(91.1%)、「男女共同参画社会」(60.9%)、「ジェンダー」(51.1%)、「LGBT」(49.1%)の順が多い。

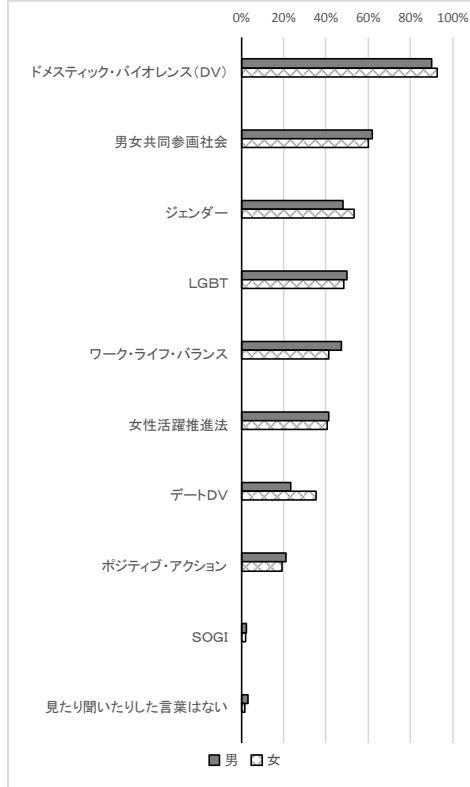
項目	件数	割合
ドメスティック・バイオレンス(DV)	410	91.1%
男女共同参画社会	274	60.9%
ジェンダー	230	51.1%
LGBT	221	49.1%
ワーク・ライフ・バランス	198	44.0%
女性活躍推進法	185	41.1%
デートDV	134	29.8%
ポジティブ・アクション	91	20.2%
SOGI	10	2.2%
見たり聞いたりした言葉はない	11	2.4%
無回答	14	3.1%

n=450

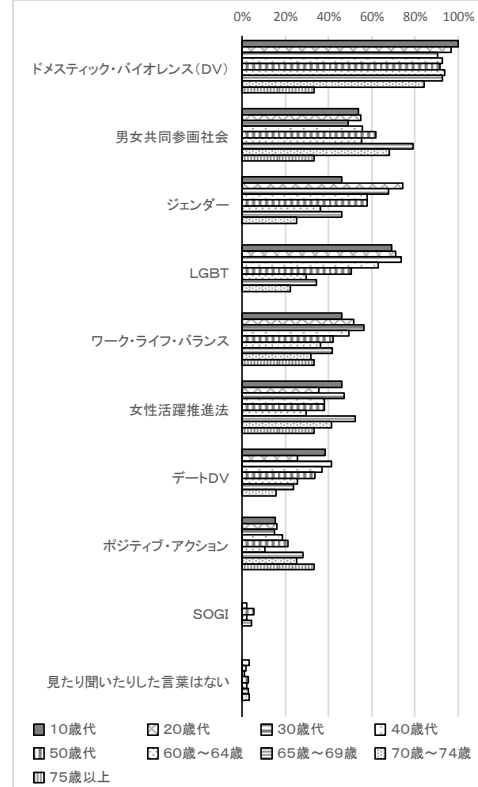


n=450

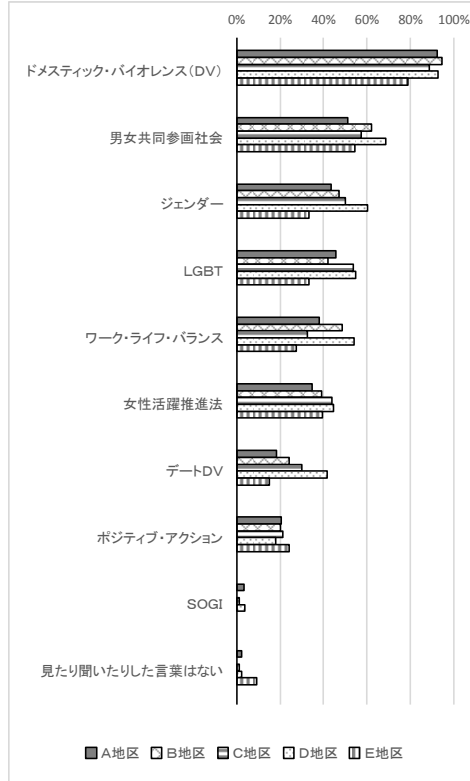
<性別>



<年齢別>



<地区別>



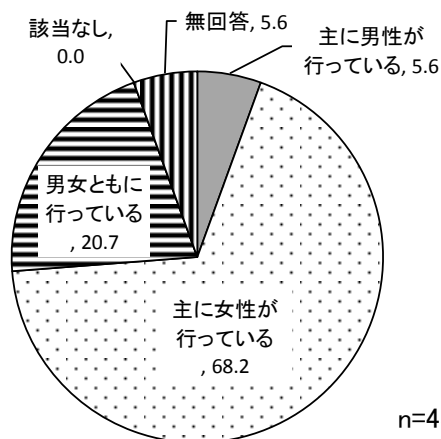
n=450

問 39 あなたの家庭では、次にあげることがらを、主に男性と女性のどちらが行っていますか。(○はそれぞれ1つ)

・炊事・洗濯・掃除などの家事

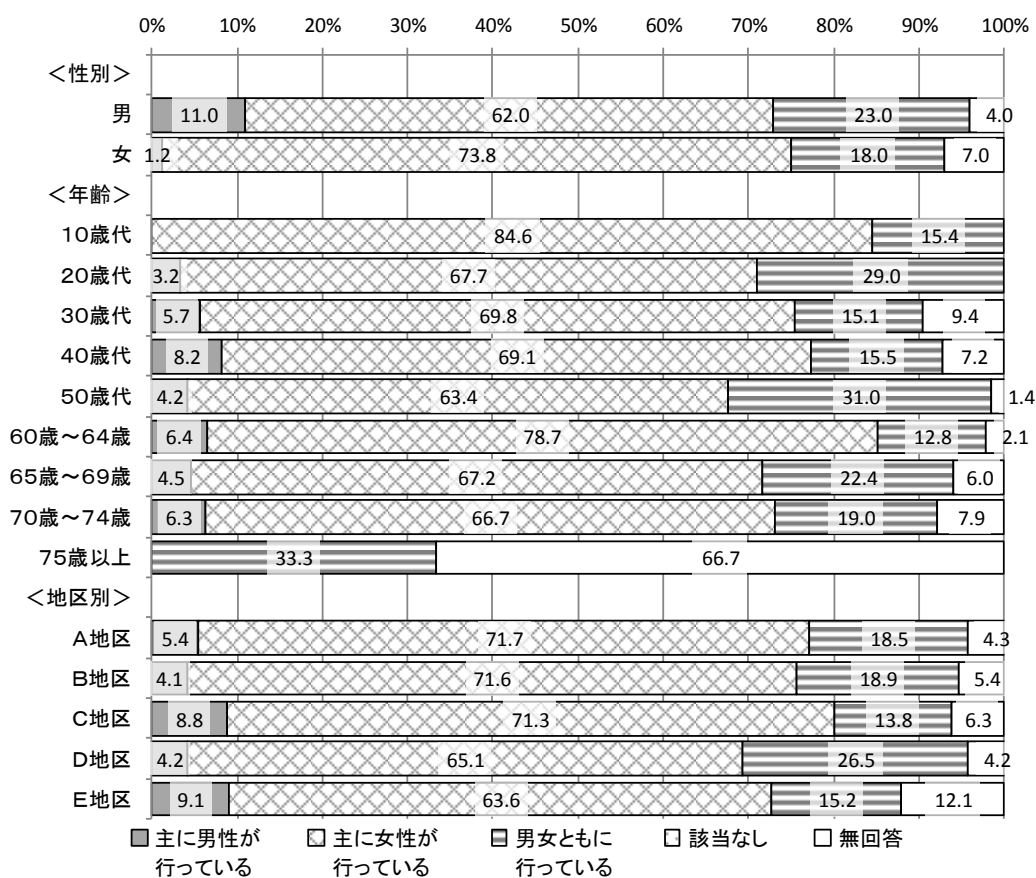
家庭内における、炊事・洗濯・掃除などの家事に関する性別役割分担については、「主に女性が行っている」が68.2%、「男女ともに行っている」が20.7%、「主に男性が行っている」が5.6%の順である。

項目	件数	割合
主に男性が行っている	25	5.6%
主に女性が行っている	307	68.2%
男女ともに行っている	93	20.7%
該当なし	0	0.0%
無回答	25	5.6%



n=450

n=450

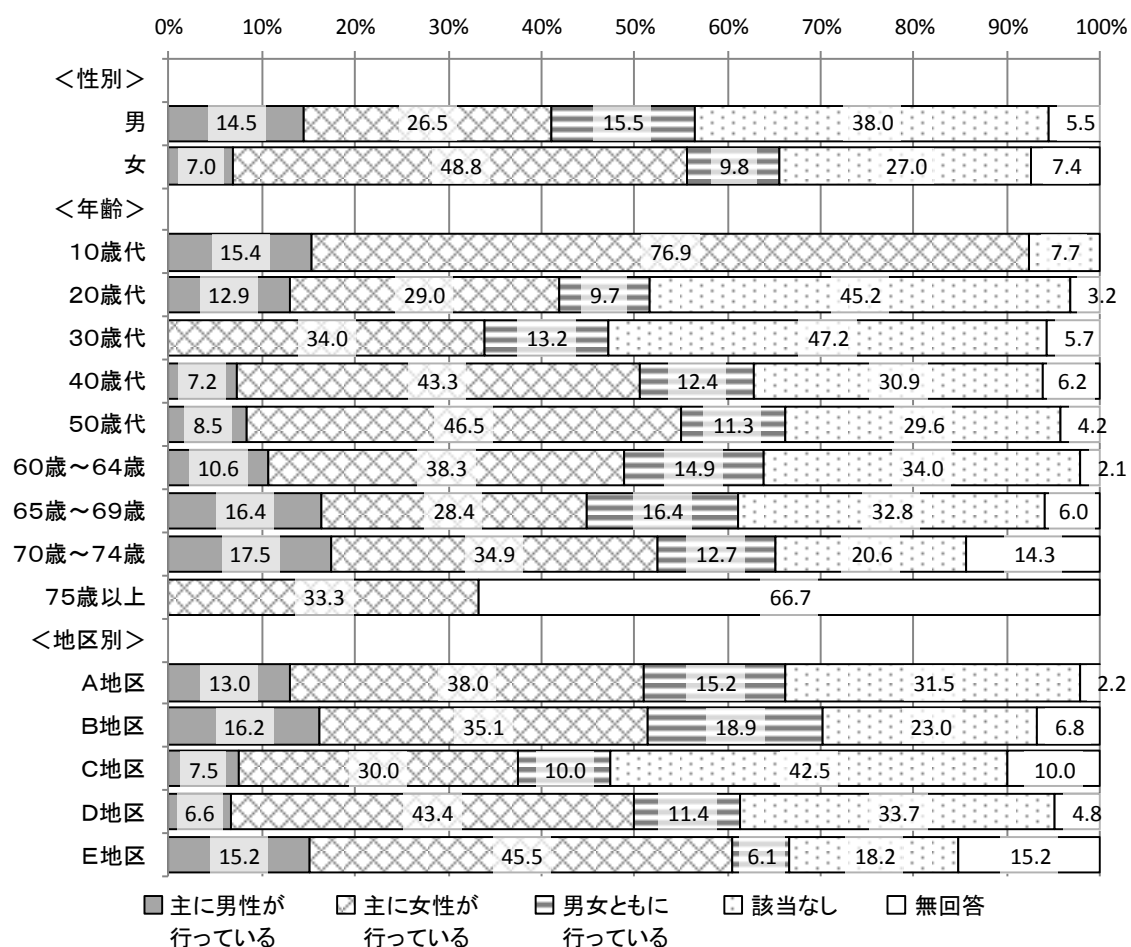
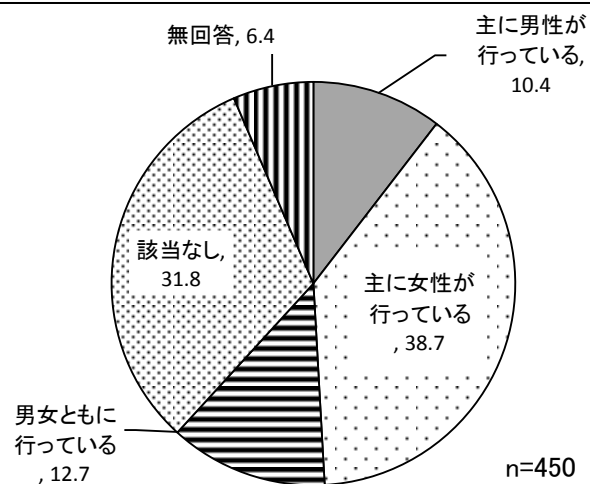


n=450

・PTA や自治会などの地域活動

家庭内における、PTA や自治会などの地域活動に関する性別役割分担については、「主に女性が行っている」(38.7%)、「男女ともに行っている」(12.7%)、「主に男性が行っている」(10.4%)の順である。

項目	件数	割合
主に男性が行っている	47	10.4%
主に女性が行っている	174	38.7%
男女ともに行っている	57	12.7%
該当なし	143	31.8%
無回答	29	6.4%



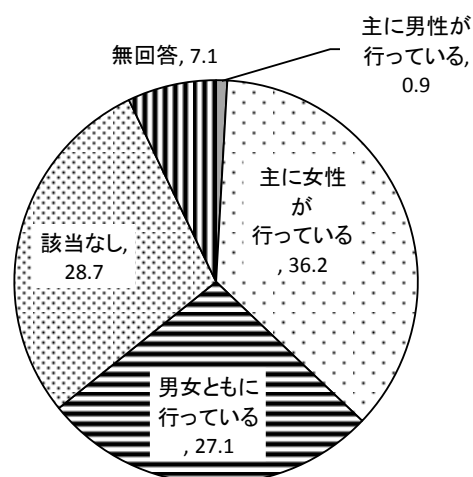
n=450

・育児や子どものしつけ

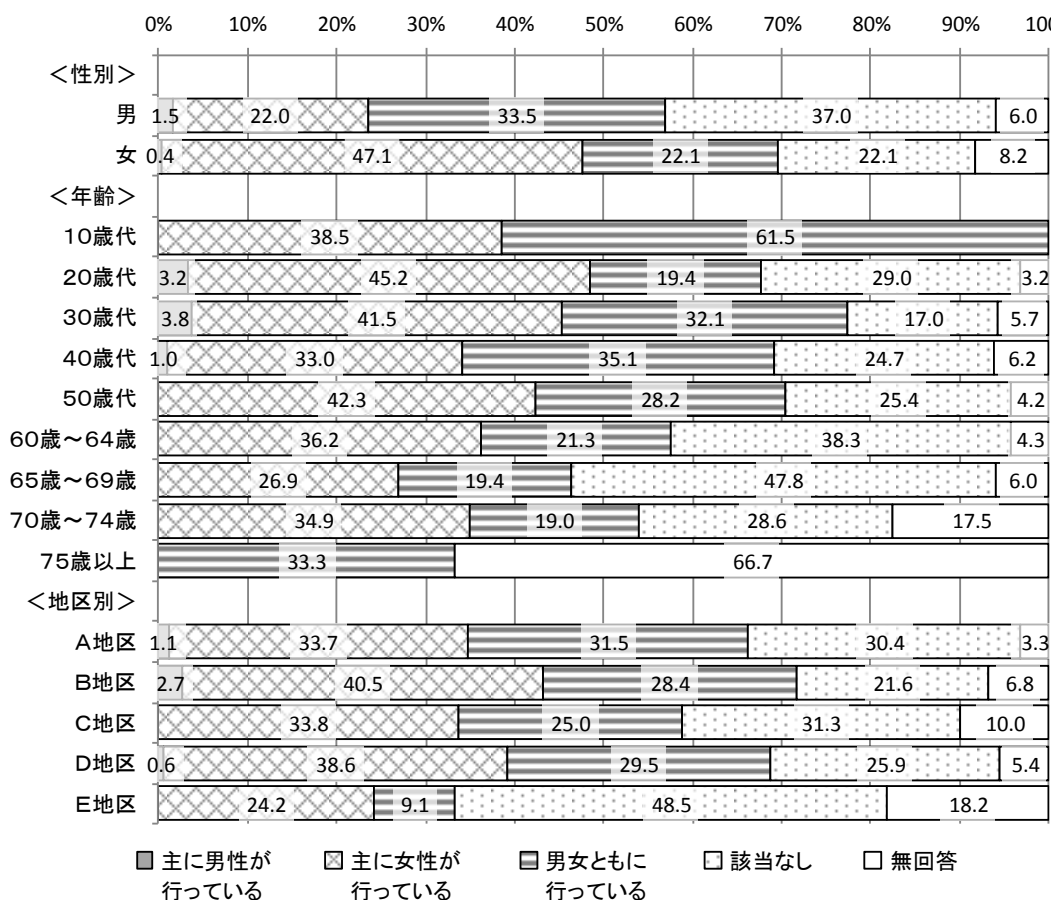
家庭内における、育児や子どものしつけに関する性別役割分担については、「主に女性が行っている」(36.2%)、「男女ともに行っている」(27.1%)、「主に男性が行っている」(0.9%)の順である

項目	件数	割合
主に男性が行っている	4	0.9%
主に女性が行っている	163	36.2%
男女ともに行っている	122	27.1%
該当なし	129	28.7%
無回答	32	7.1%

n=450



n=450



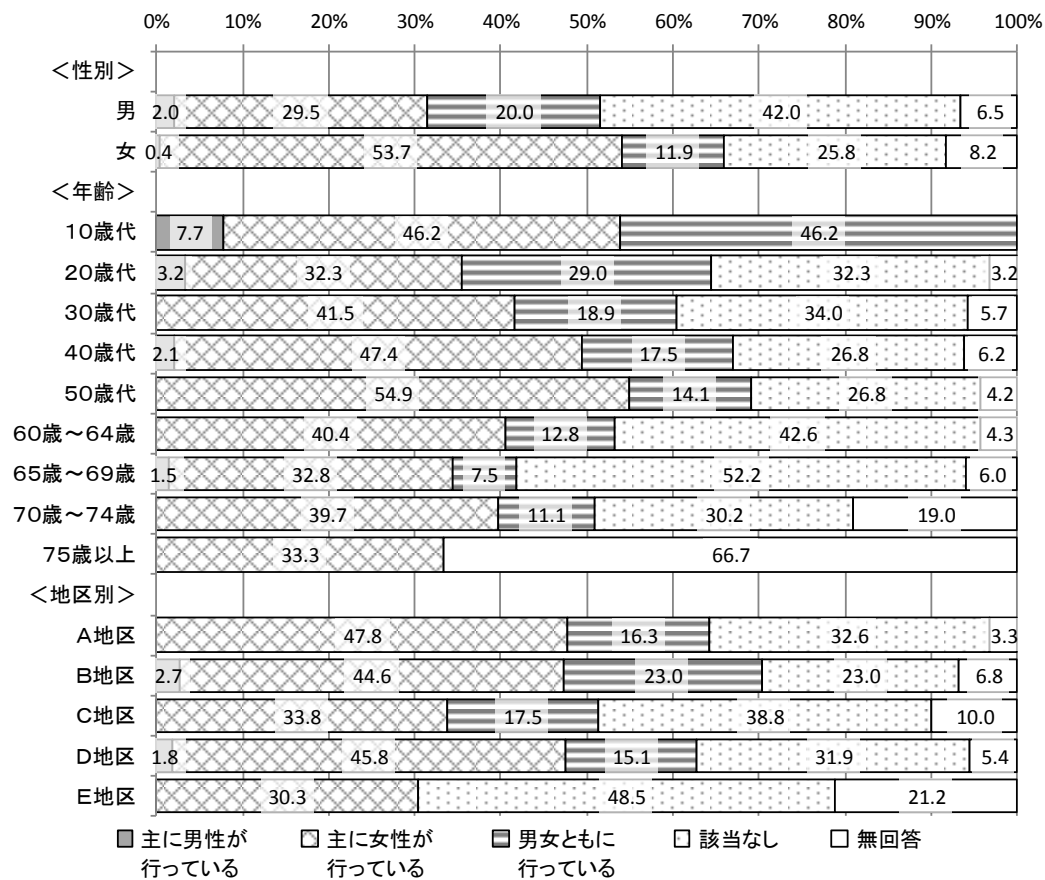
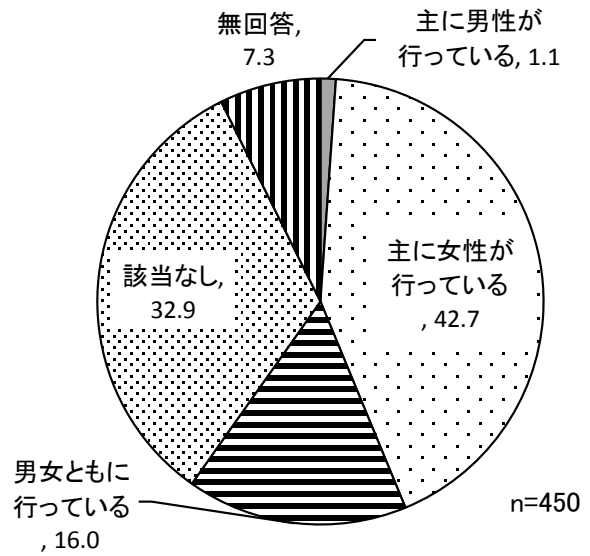
n=450

・子どもの学校行事への参加

家庭内における、子どもの学校行事への参加に関する性別役割分担については、「主に女性が行っている」(42.7%)、「男女ともに行っている」(16.0%)、「主に男性が行っている」(1.1%)の順である。

項目	件数	割合
主に男性が行っている	5	1.1%
主に女性が行っている	192	42.7%
男女ともに行っている	72	16.0%
該当なし	148	32.9%
無回答	33	7.3%

n=450



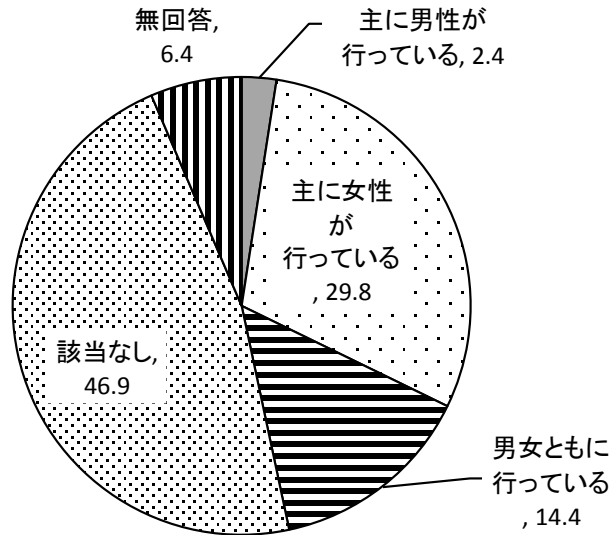
n=450

・親や家族の介護

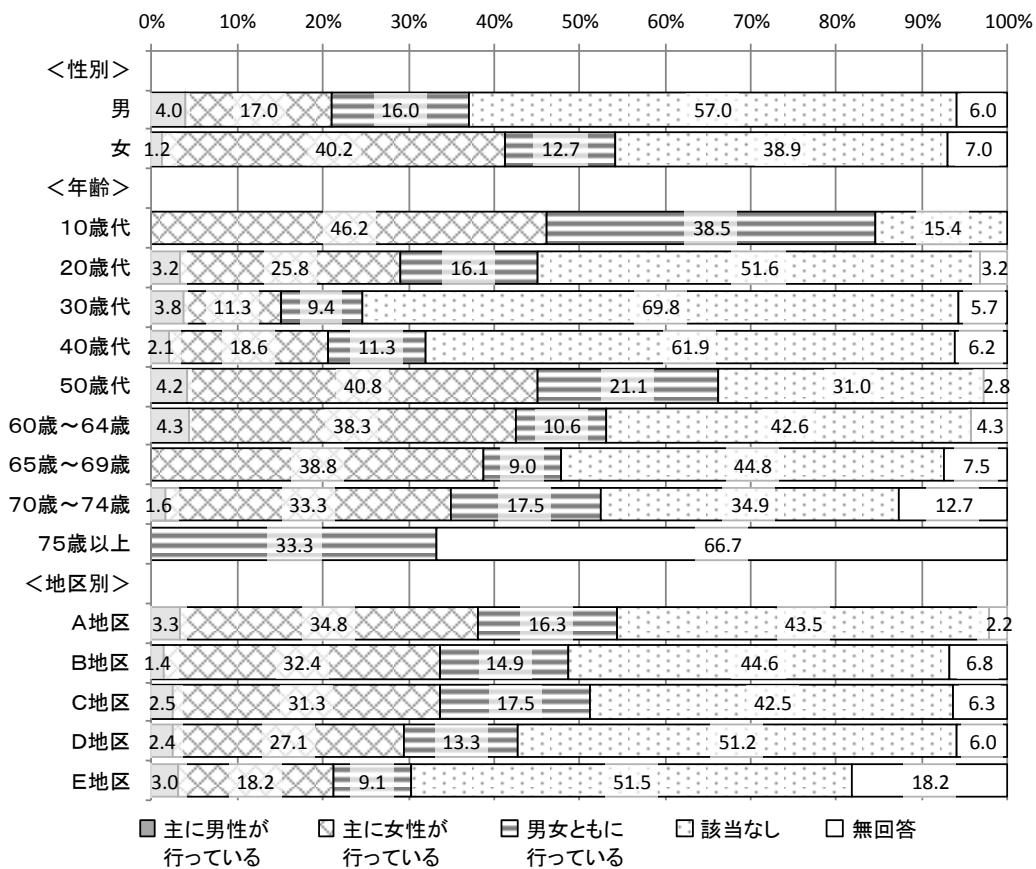
家庭内における、親や家族の介護に関する性別役割分担については、「主に女性が行っている」(29.8%)、「男女ともに行っている」(14.4%)、「主に男性が行っている」(2.4%)の順である。

項目	件数	割合
主に男性が行っている	11	2.4%
主に女性が行っている	134	29.8%
男女ともに行っている	65	14.4%
該当なし	211	46.9%
無回答	29	6.4%

n=450



n=450



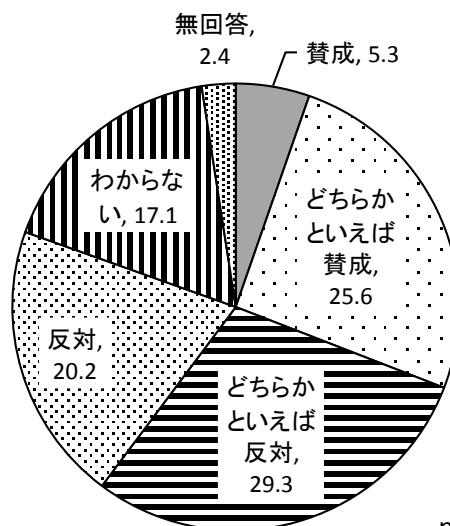
n=450

問 40 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのように思いますか。(○は1つ)

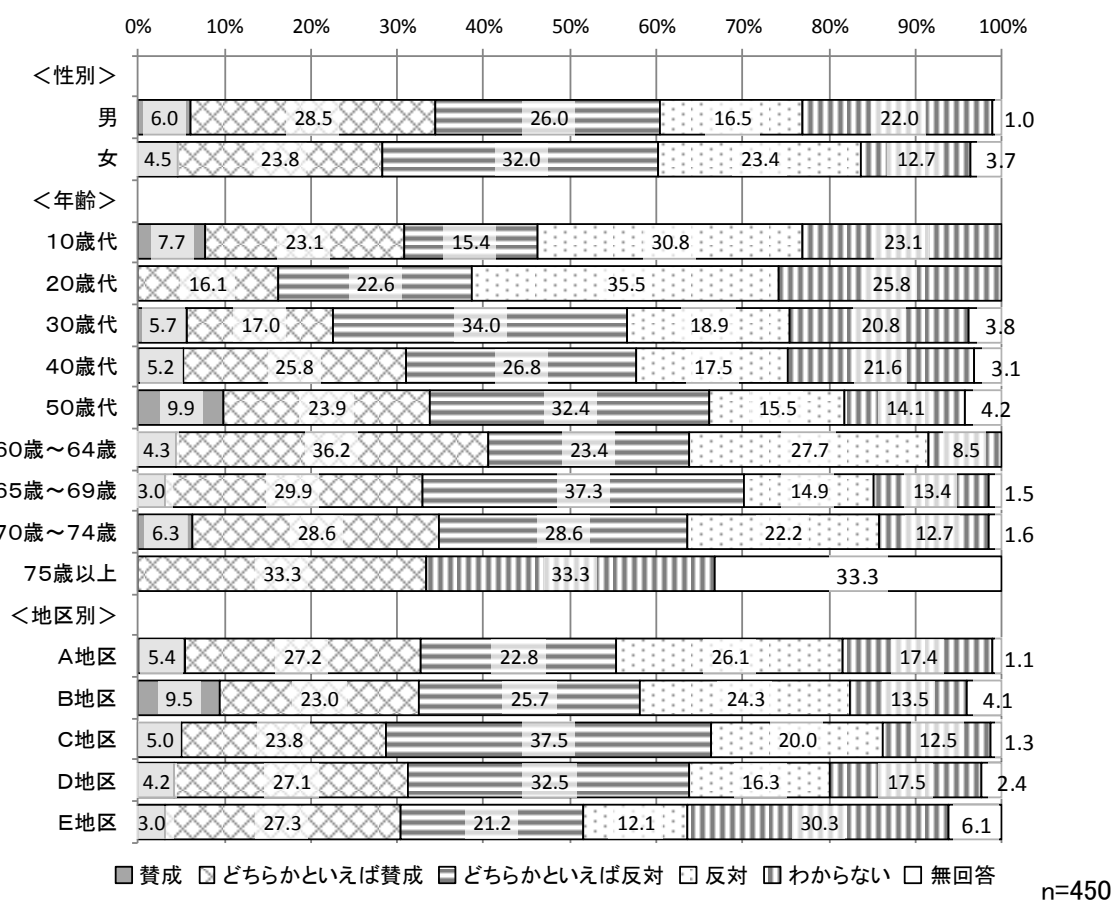
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対する認識としては、「どちらかといえば反対」が 29.3%、「どちらかといえば賛成」が 25.6%、「反対」が 20.2%の順が多い。

項目	件数	割合
賛成	24	5.3%
どちらかといえば賛成	115	25.6%
どちらかといえば反対	132	29.3%
反対	91	20.2%
わからない	77	17.1%
無回答	11	2.4%

n=450



n=450



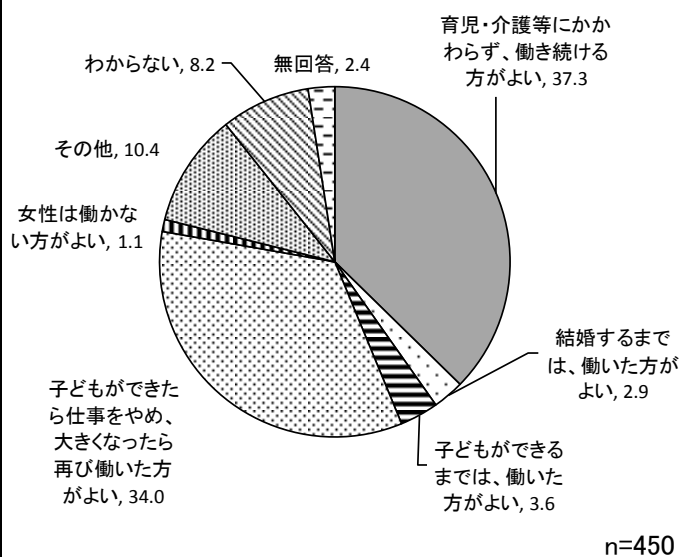
n=450

問 41 あなたは、女性が働くことについて、どうお考えですか。(○は1つ)

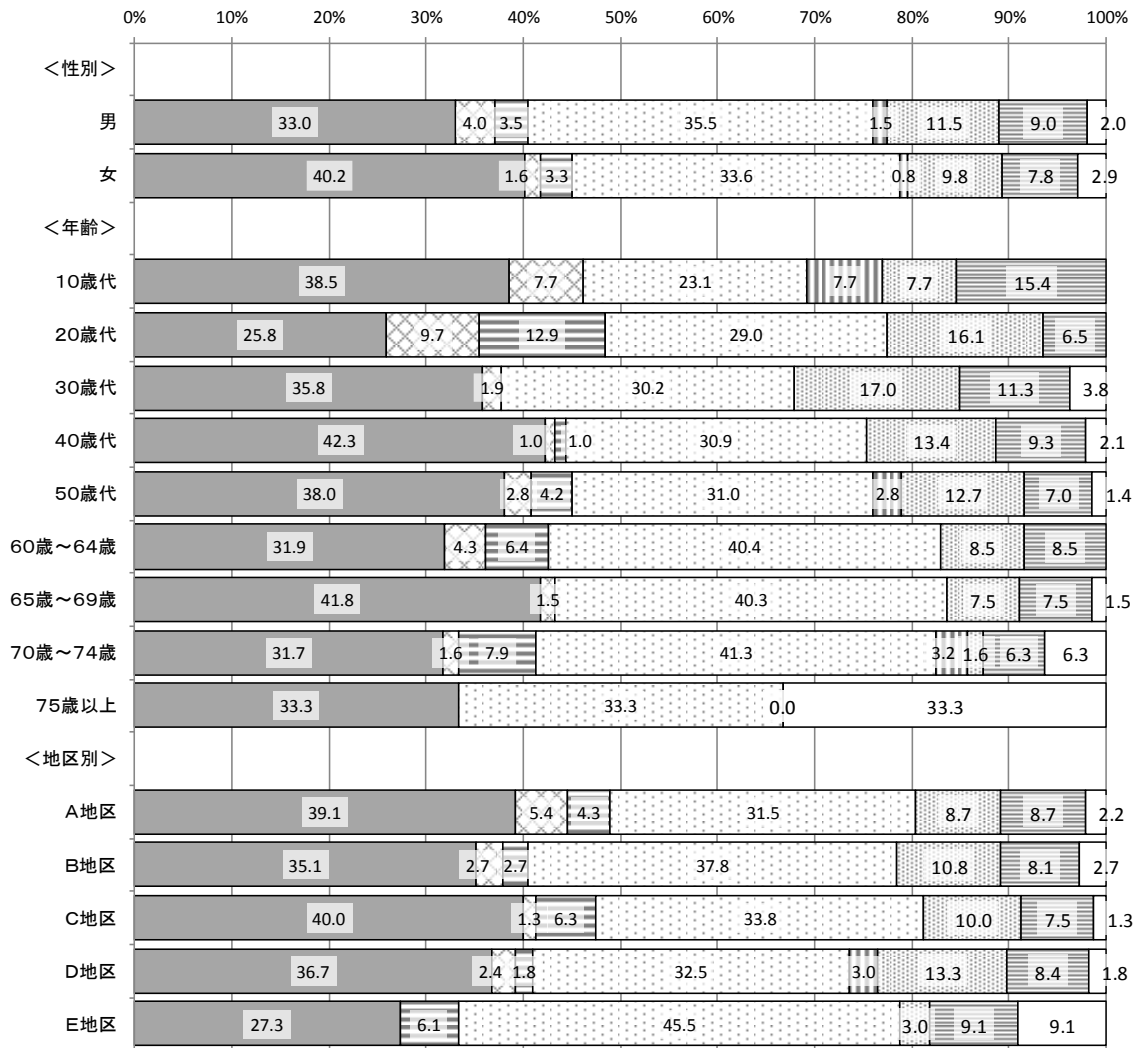
女性が働くことに対する認識については、「育児・介護等にかかわらず、働き続ける方がよい」が37.3%、「子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方がよい」が34.0%の順である。

項目	件数	割合
育児・介護等にかかわらず、働き続ける方がよい	168	37.3%
結婚するまでは、働いた方がよい	13	2.9%
子どもができるまでは、働いた方がよい	16	3.6%
子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方がよい	153	34.0%
女性は働かない方がよい	5	1.1%
その他	47	10.4%
わからない	37	8.2%
無回答	11	2.4%

n=450



n=450



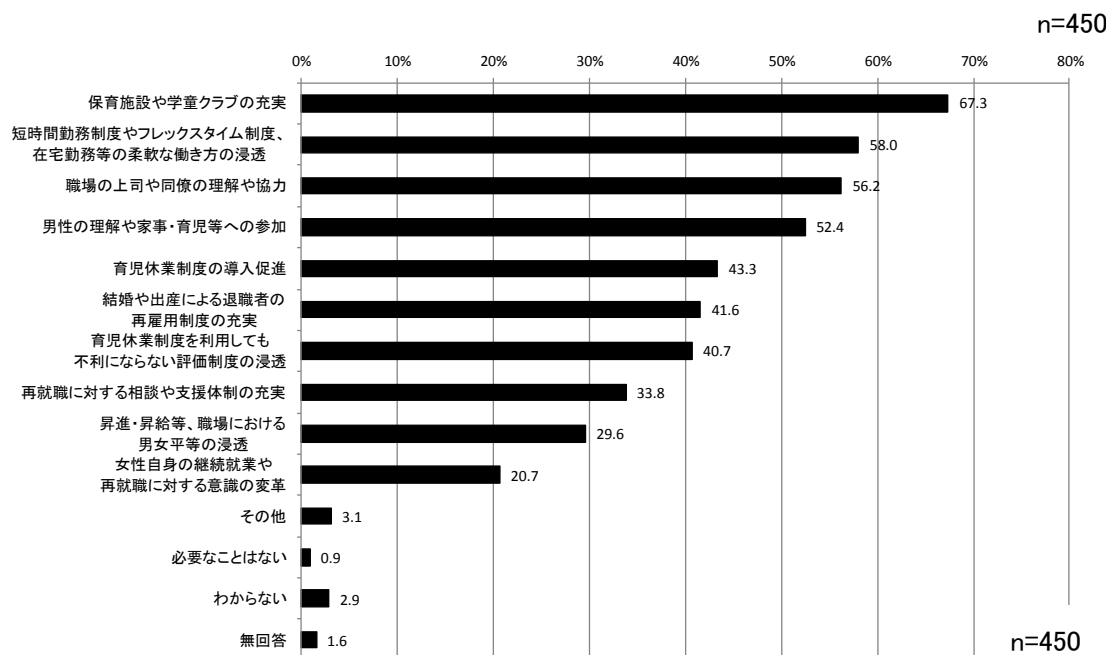
- 育児・介護等にかかわらず、働き続ける方がよい
- 子どもができるまでは、働いた方がよい
- 女性は働かない方がよい
- わからない
- 結婚するまでは、働いた方がよい
- 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方がよい
- その他
- 無回答

n=450

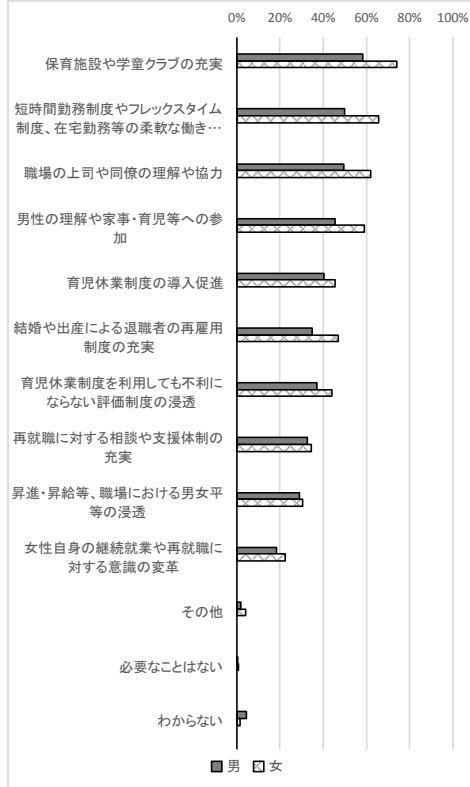
問 42 あなたは、女性が結婚や出産後も働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

女性が結婚や出産後も働き続けるために必要だと思うこととしては、「保育施設や学童クラブの充実」が67.3%で最も多く、次いで「短時間勤務制度やフレックスタイム制度、在宅勤務等の柔軟な働き方の浸透」(58.0%)、「職場の上司や同僚の理解や協力」(56.2%)、「男性の理解や家事・育児等への参加」(52.4%)の順である。

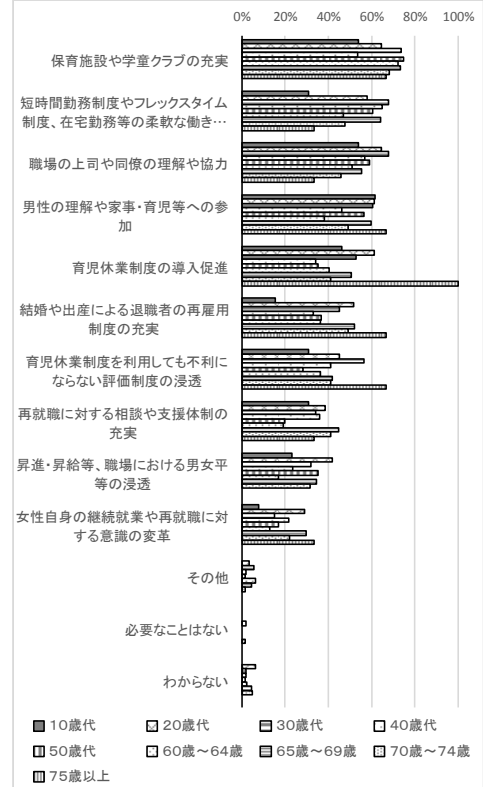
項目	件数	割合
保育施設や学童クラブの充実	303	67.3%
短時間勤務制度やフレックスタイム制度、在宅勤務等の柔軟な働き方の浸透	261	58.0%
職場の上司や同僚の理解や協力	253	56.2%
男性の理解や家事・育児等への参加	236	52.4%
育児休業制度の導入促進	195	43.3%
結婚や出産による退職者の再雇用制度の充実	187	41.6%
育児休業制度を利用しても不利にならない評価制度の浸透	183	40.7%
再就職に対する相談や支援体制の充実	152	33.8%
昇進・昇給等、職場における男女平等の浸透	133	29.6%
女性自身の継続就業や再就職に対する意識の変革	93	20.7%
その他	14	3.1%
必要なことはない	4	0.9%
わからない	13	2.9%
無回答	7	1.6%



<性別>



<年齢別>



<地区別>

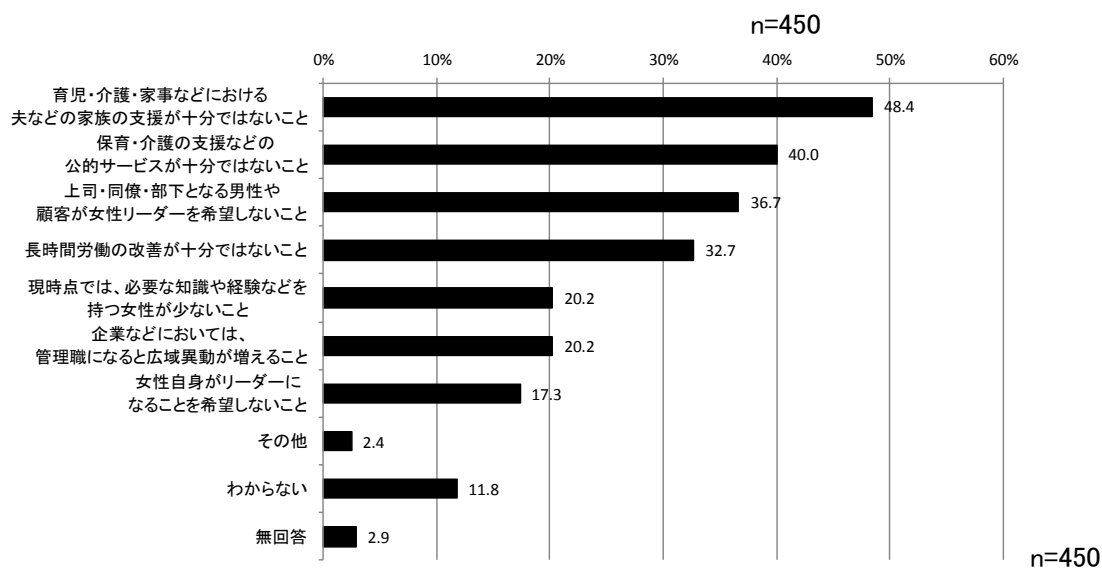


n=450

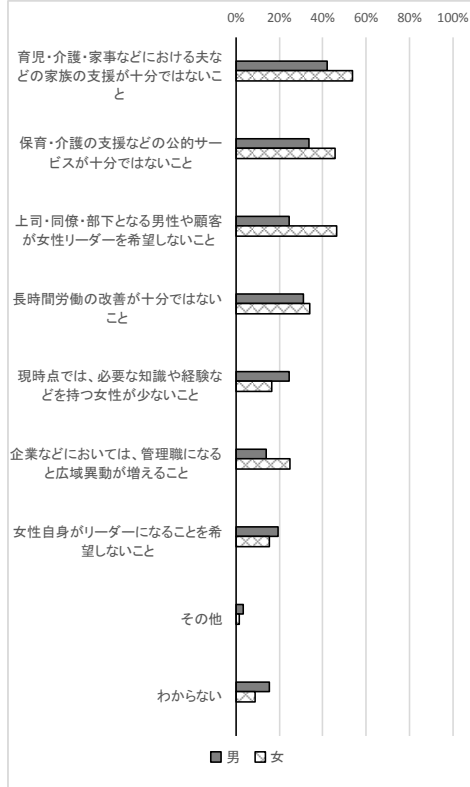
問 43 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となることは何だと思えますか。(〇はいくつでも)

女性リーダーを増やすときに障害となることとしては、「育児・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が48.4%で最も多く、次いで「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」(40.0%)、「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」(36.7%)の順である。

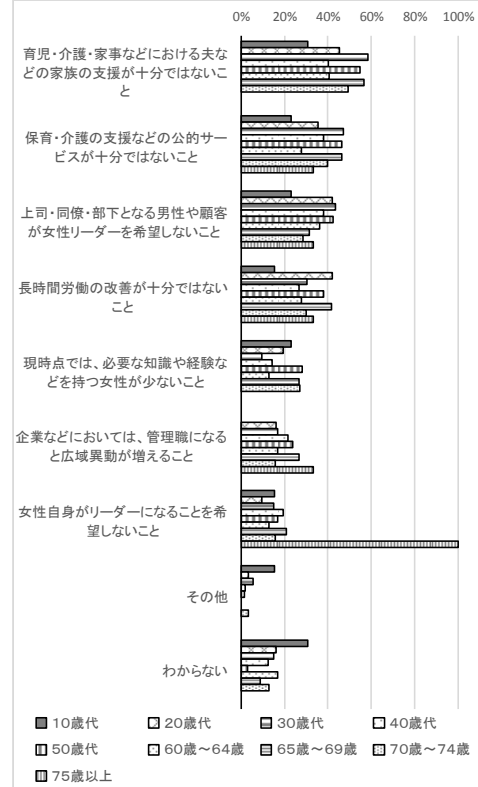
項目	件数	割合
育児・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと	218	48.4%
保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと	180	40.0%
上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと	165	36.7%
長時間労働の改善が十分ではないこと	147	32.7%
現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと	91	20.2%
企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること	91	20.2%
女性自身がリーダーになることを希望しないこと	78	17.3%
その他	11	2.4%
わからない	53	11.8%
無回答	13	2.9%



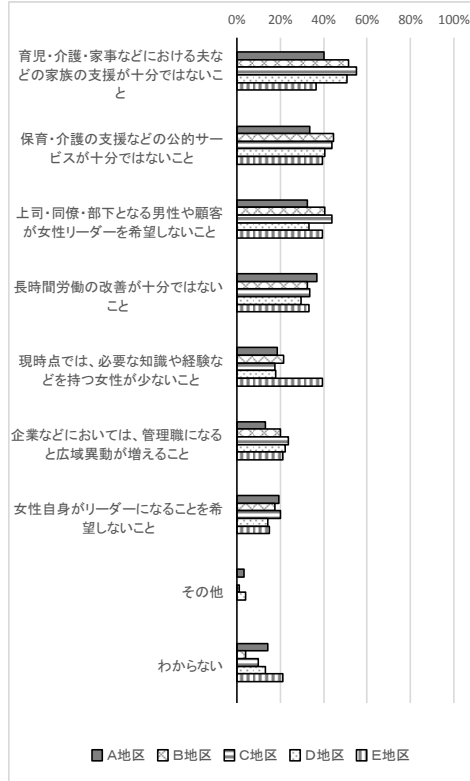
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

問 44 【現在、仕事をされている方（休業中を含む）にお聞きします。】

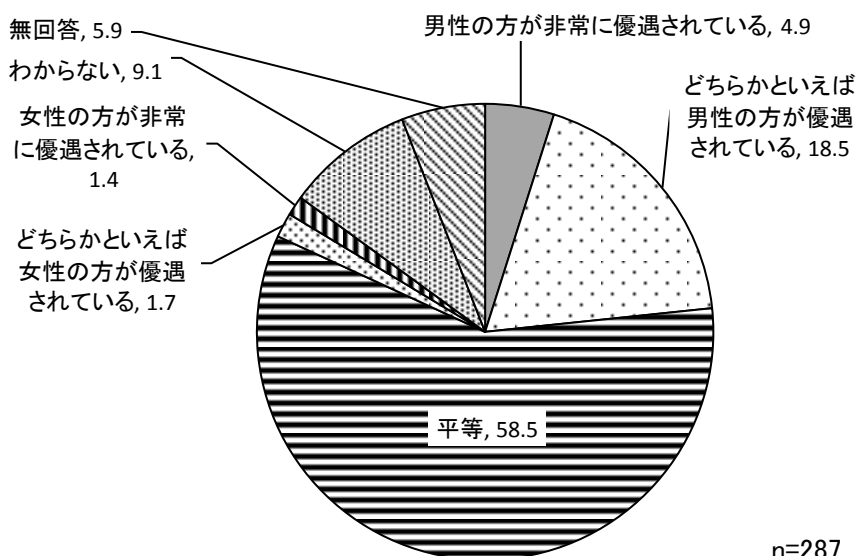
あなたの職場では、次のことがらについて、男女は平等になっていると思いますか。（○はそれぞれ1つ）

- ・ 採用時の条件

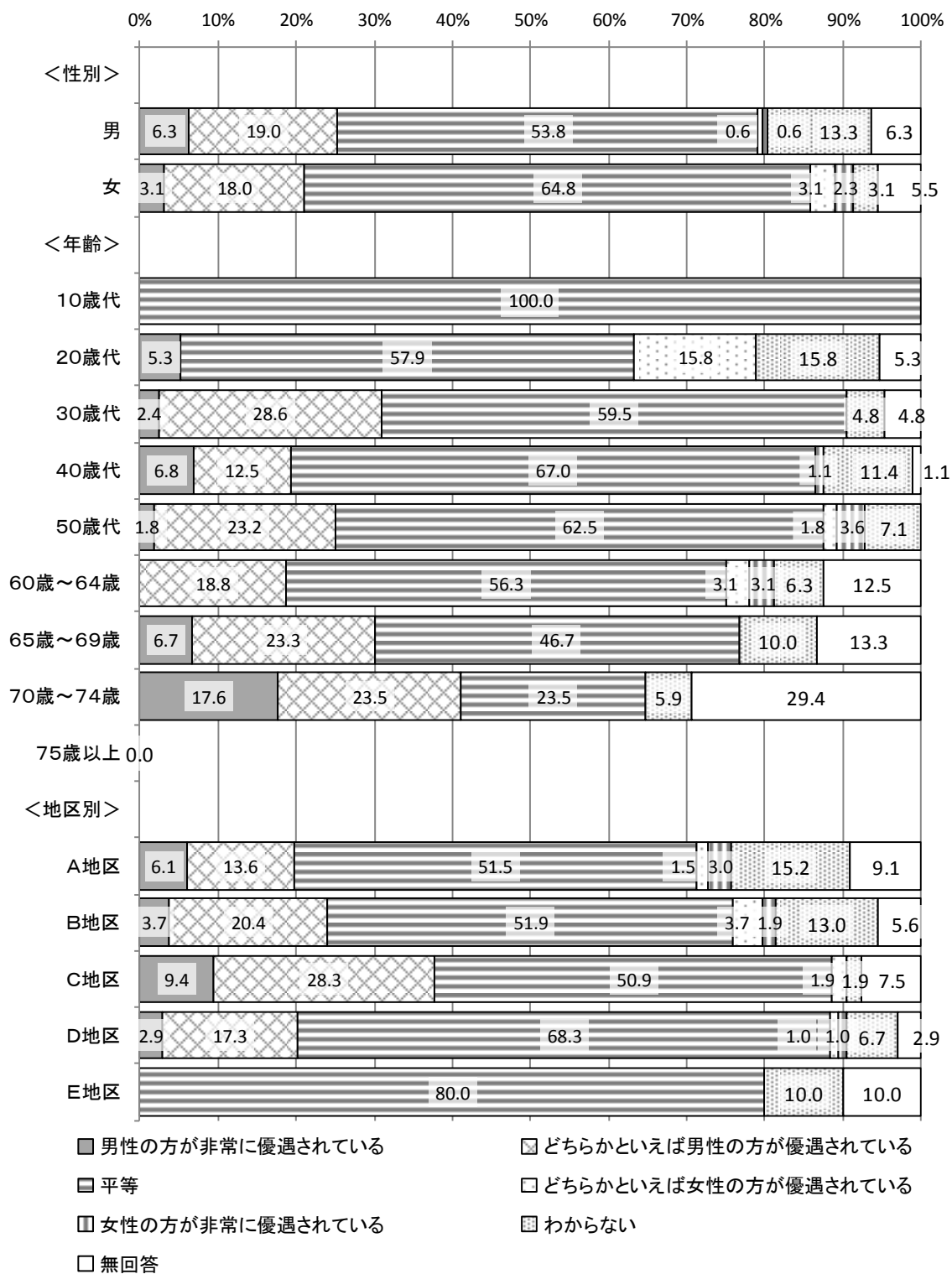
職場における、採用時の条件に関する男女平等に対する認識については、「平等」が58.5%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」（18.5%）、「男性の方が非常に優遇されている」（4.9%）の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	14	4.9%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	53	18.5%
平等	168	58.5%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	5	1.7%
女性の方が非常に優遇されている	4	1.4%
わからない	26	9.1%
無回答	17	5.9%

n=287



n=287



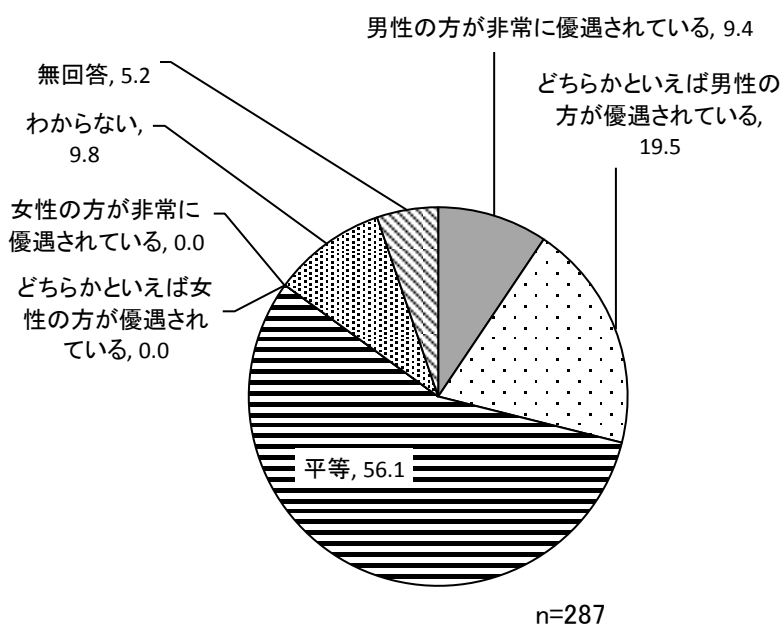
n=287

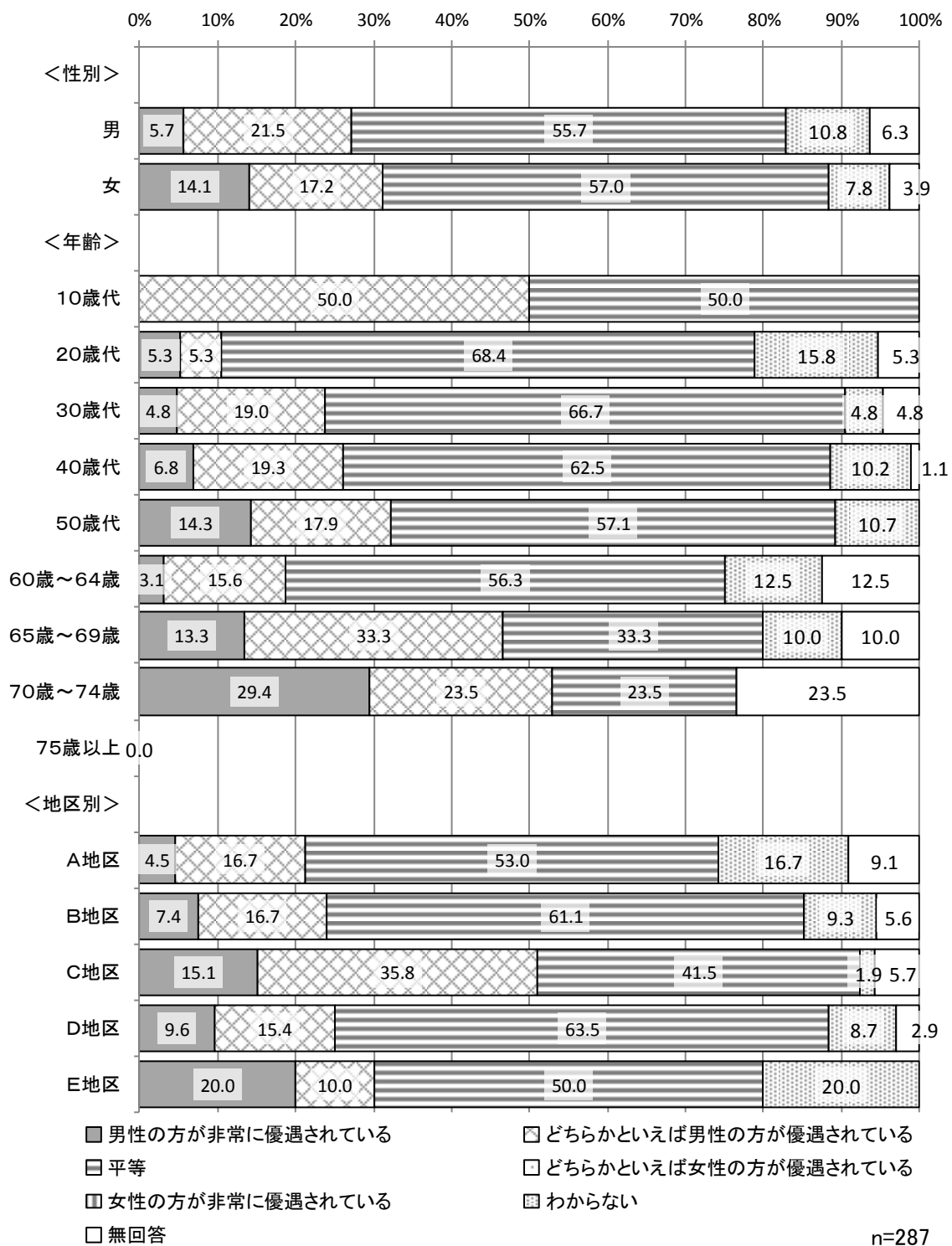
・賃金

職場における、賃金に関する男女平等に対する意識については、「平等」が 56.1%で最も多く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(19.5%)、「男性の方が非常に優遇されている」(9.4%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	27	9.4%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	56	19.5%
平等	161	56.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	0	0.0%
女性の方が非常に優遇されている	0	0.0%
わからない	28	9.8%
無回答	15	5.2%

n=287



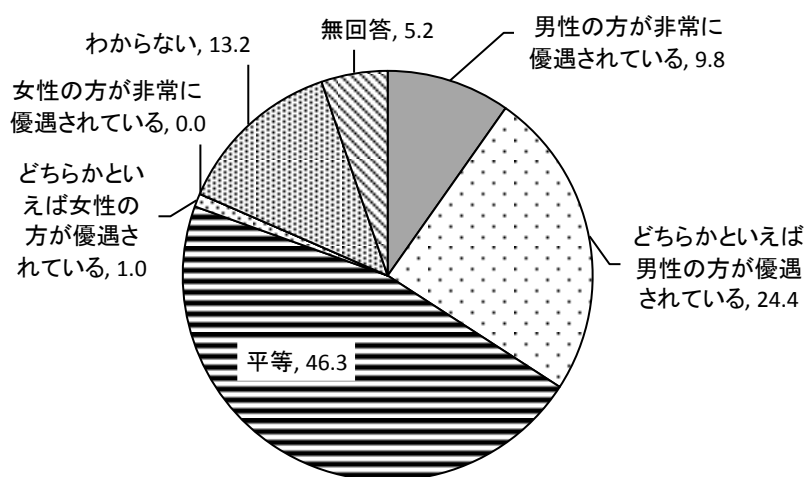


・昇進や昇格

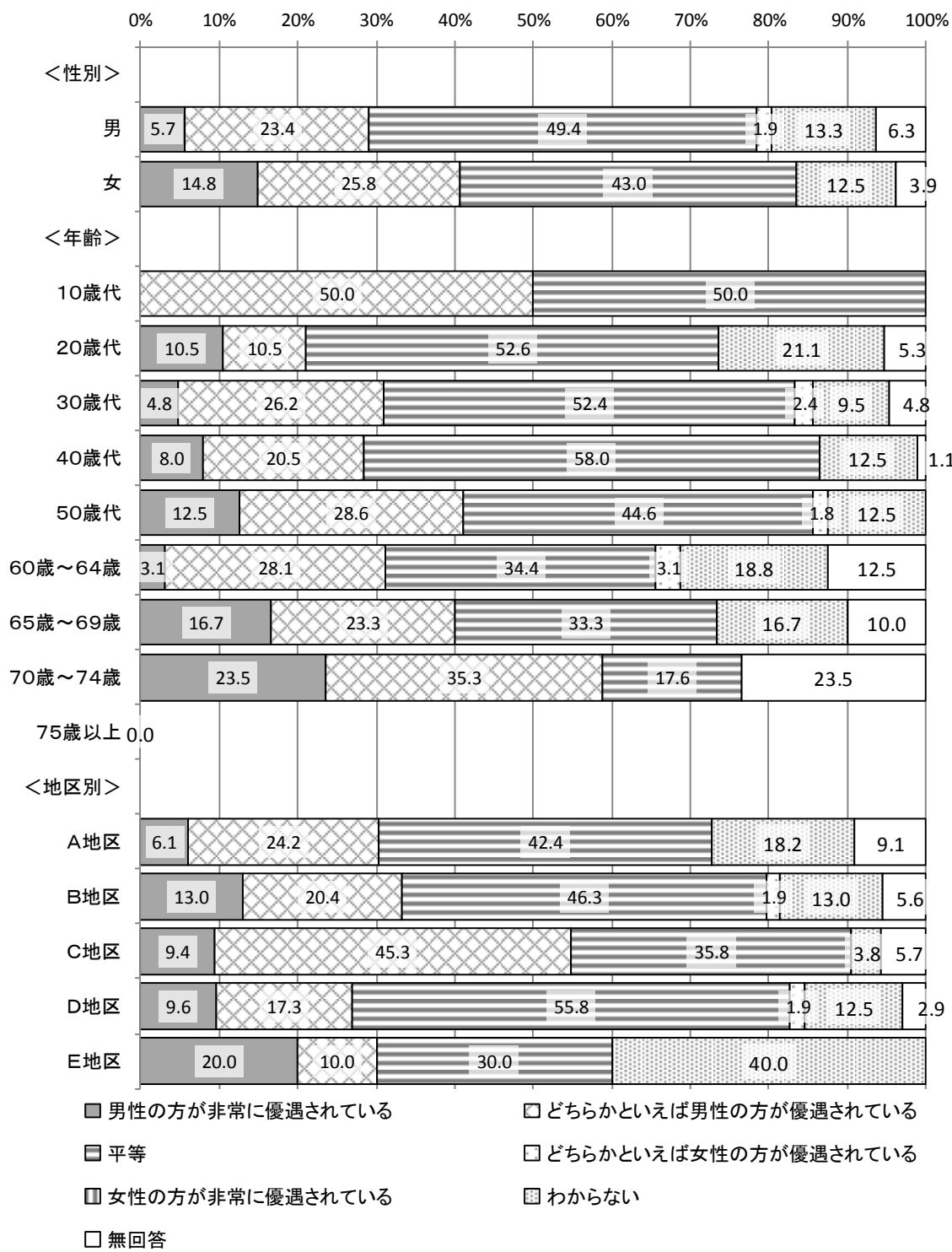
職場における、昇進や昇格に関する男女平等に対する認識については、「平等」が46.3%で最も多く、以下「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(24.4%)、「男性の方が非常に優遇されている」(9.8%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	28	9.8%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	70	24.4%
平等	133	46.3%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	3	1.0%
女性の方が非常に優遇されている	0	0.0%
わからない	38	13.2%
無回答	15	5.2%

n=287



n=287



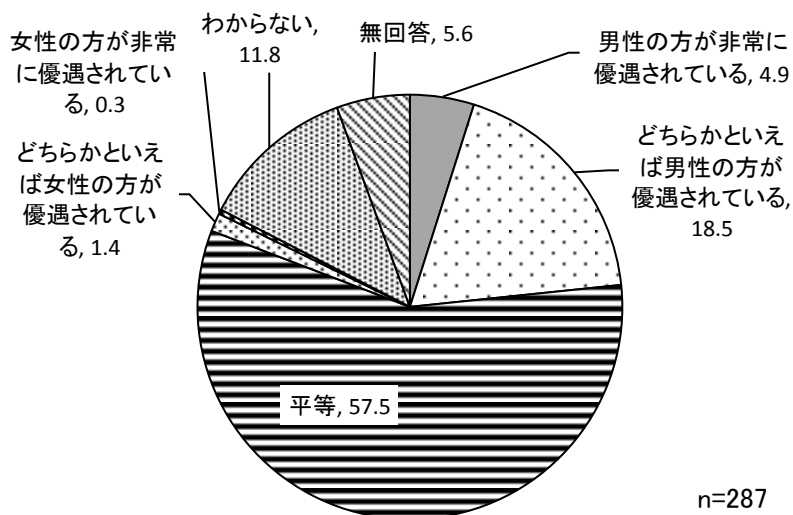
n=287

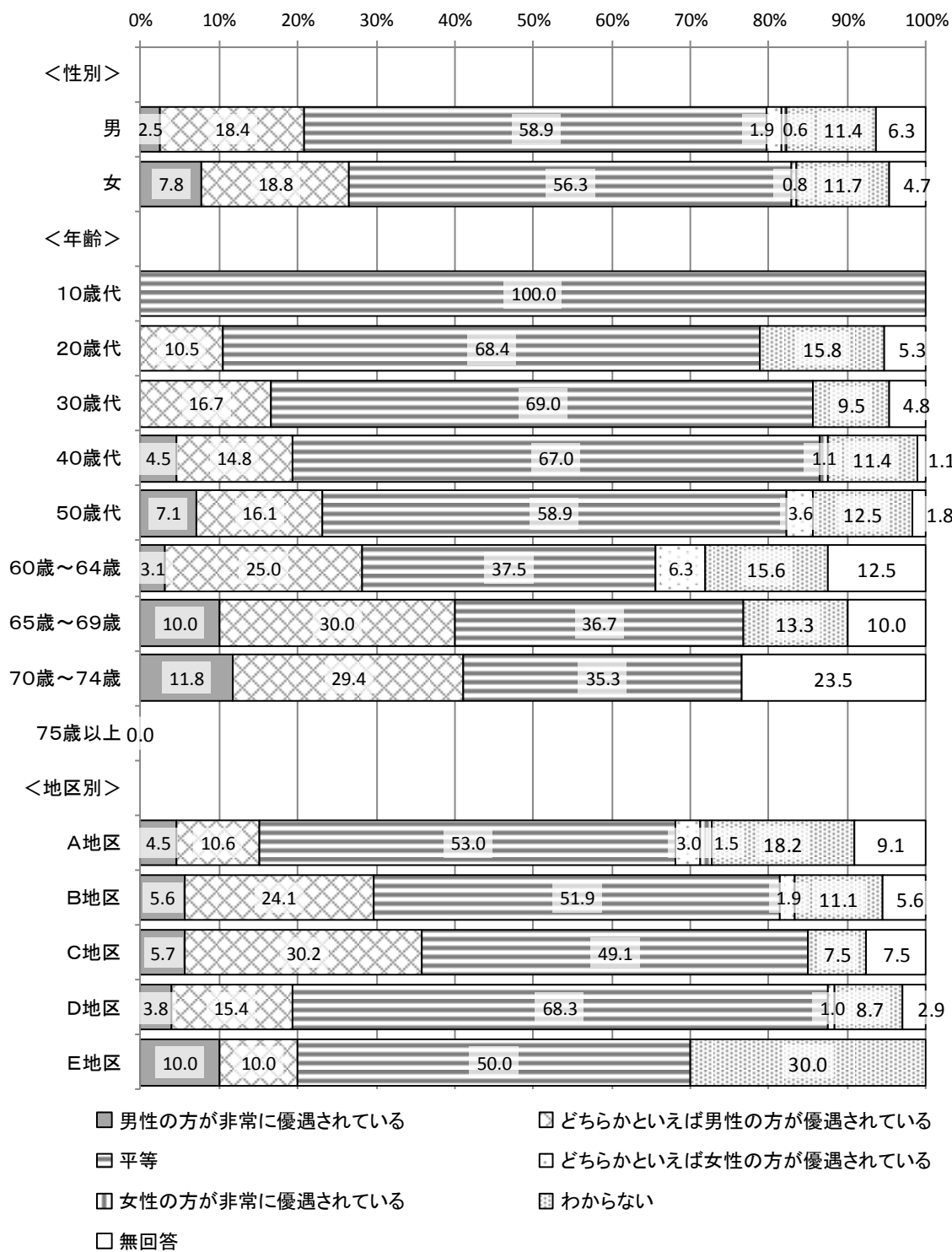
・能力評価

職場における、能力評価に関する男女平等に対する認識については、「平等」が57.5%で最も多く、以下「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(18.5%)、「男性の方が非常に優遇されている」(4.9%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	14	4.9%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	53	18.5%
平等	165	57.5%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	4	1.4%
女性の方が非常に優遇されている	1	0.3%
わからない	34	11.8%
無回答	16	5.6%

n=287





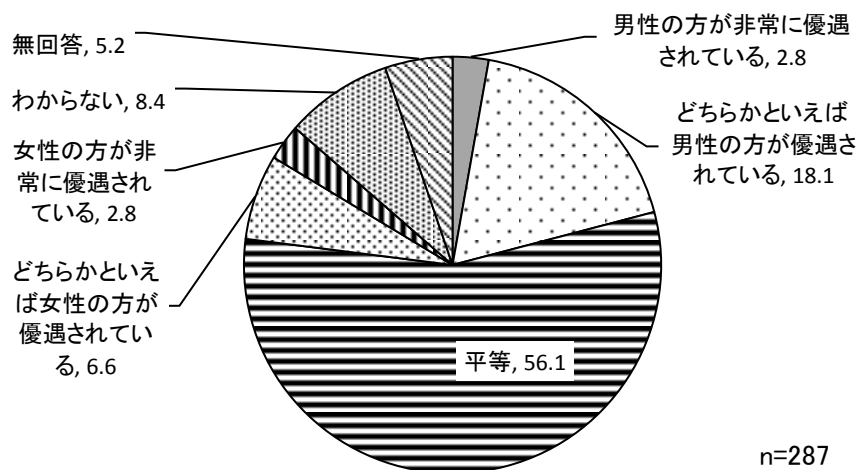
n=287

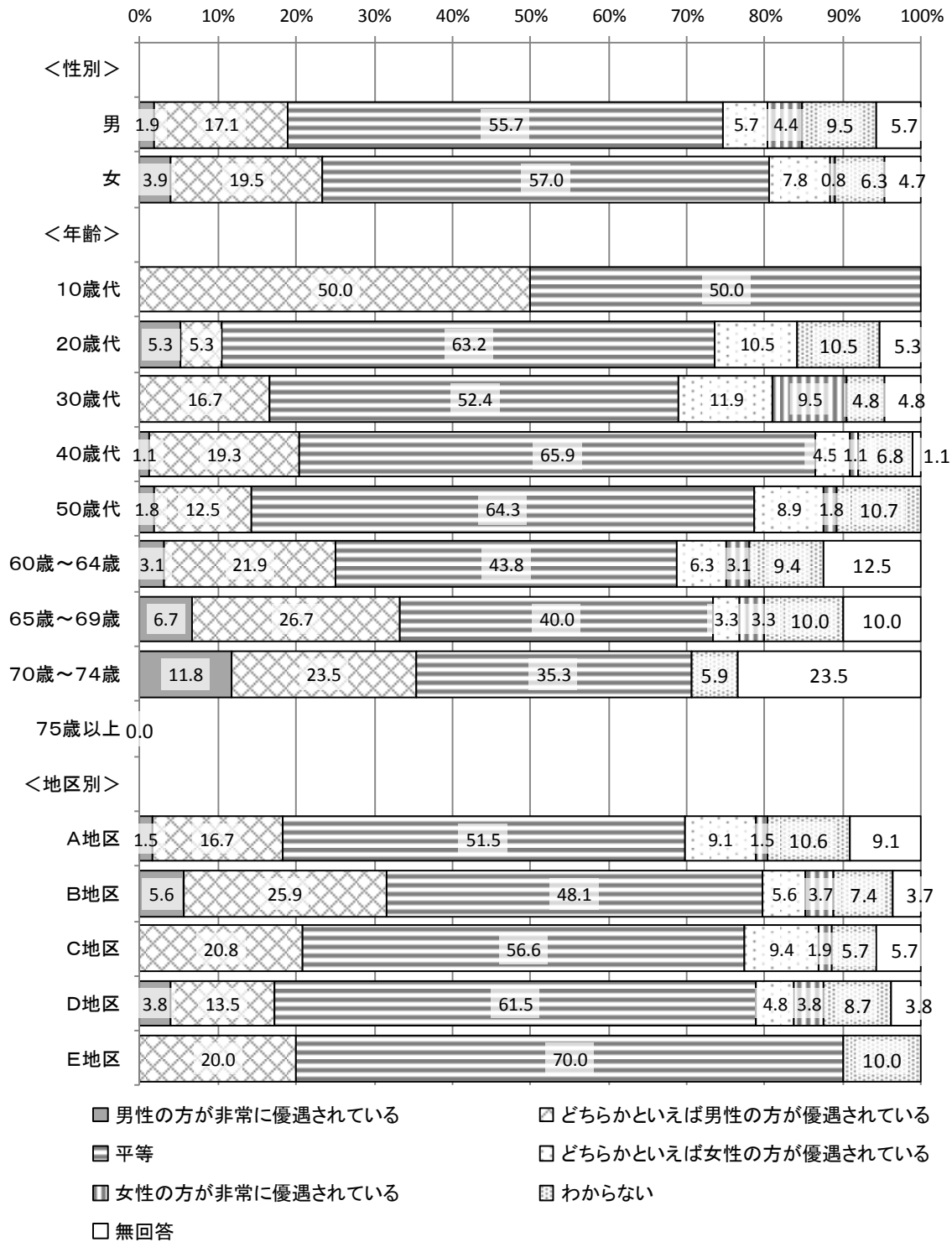
・仕事の内容

職場における、仕事の内容に関する男女平等の認識については、「平等」が 56.1%で最も多く、以下「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(18.1%)、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(6.6%) の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	8	2.8%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	52	18.1%
平等	161	56.1%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	19	6.6%
女性の方が非常に優遇されている	8	2.8%
わからない	24	8.4%
無回答	15	5.2%

n=287





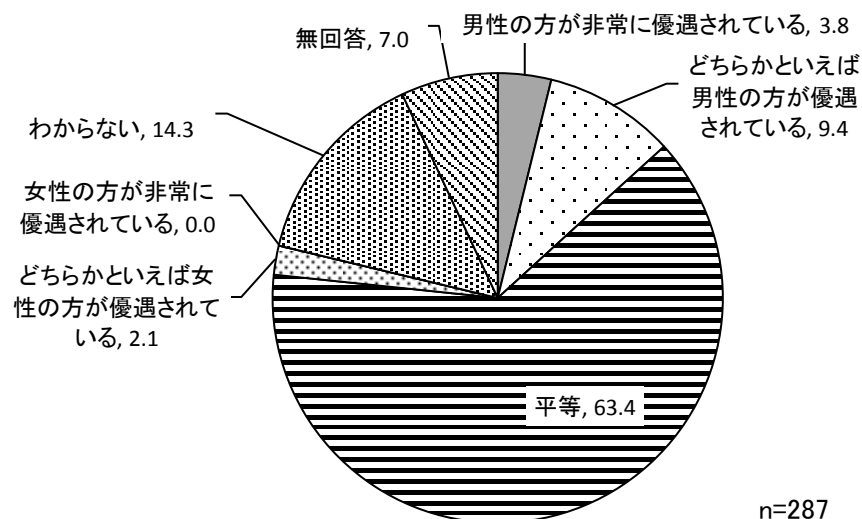
n=287

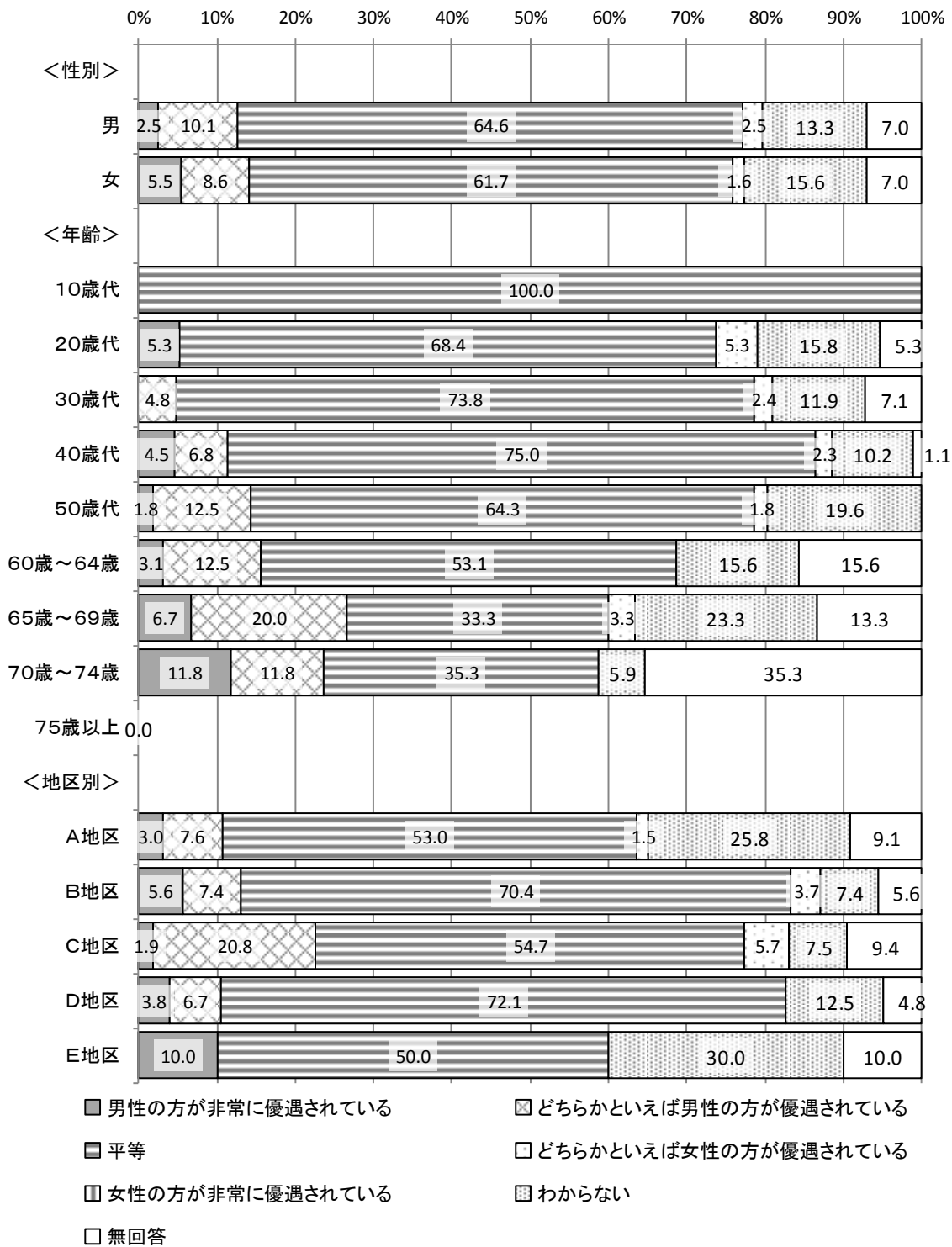
・研修の機会や内容

職場における、研修の機会や内容に関する男女平等の認識については、「平等」が63.4%で最も多く、以下「どちらかといえば男性の方が優遇されている」(9.4%)、「男性の方が非常に優遇されている」(3.8%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	11	3.8%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	27	9.4%
平等	182	63.4%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	6	2.1%
女性の方が非常に優遇されている	0	0.0%
わからない	41	14.3%
無回答	20	7.0%

n=287





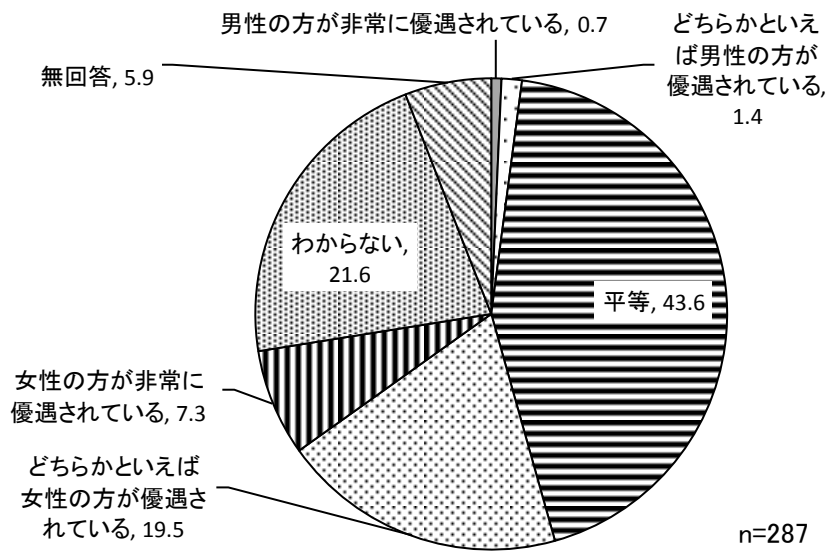
n=287

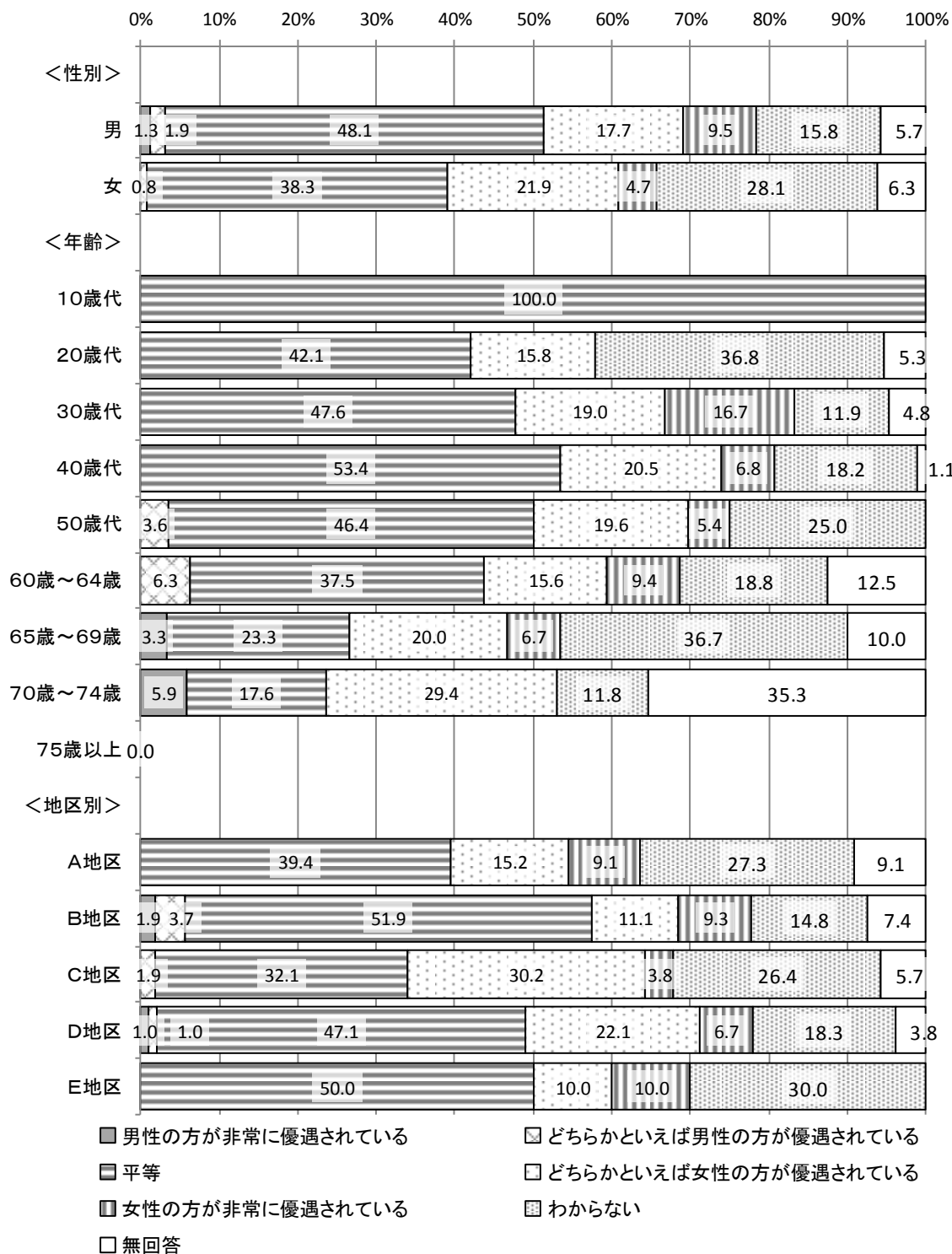
・育児休業、介護休業の取得

職場における、育児休業、介護休業の取得に関する男女平等に対する認識については、「平等」が43.6%で最も多く、以下「どちらかといえば女性の方が優遇されている」(19.5%)、「女性の方が非常に優遇されている」(7.3%)の順である。

項目	件数	割合
男性の方が非常に優遇されている	2	0.7%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	4	1.4%
平等	125	43.6%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	56	19.5%
女性の方が非常に優遇されている	21	7.3%
わからない	62	21.6%
無回答	17	5.9%

n=287





n=287

問 45 【現在、仕事をされている方（休業中を含む）にお聞きします。】

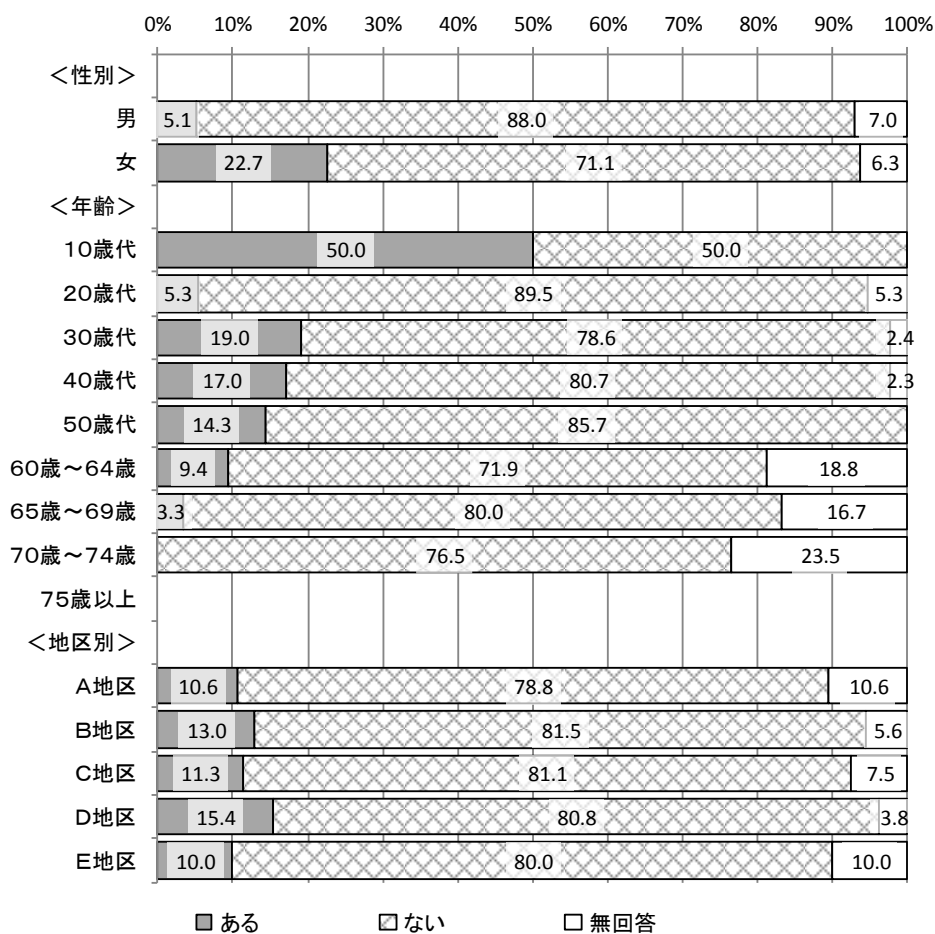
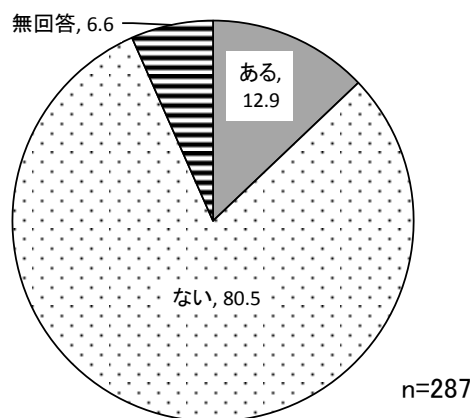
あなたは、育児や介護を行うために、次あげる制度を利用したことがありますか。（○はそれぞれ1つ）

・育児休業（原則として、1歳未満の子を養育するための休業）

育児休業制度の利用状況については、「ない」が80.5%、「ある」が12.9%である。

項目	件数	割合
ある	37	12.9%
ない	231	80.5%
無回答	19	6.6%

n=287



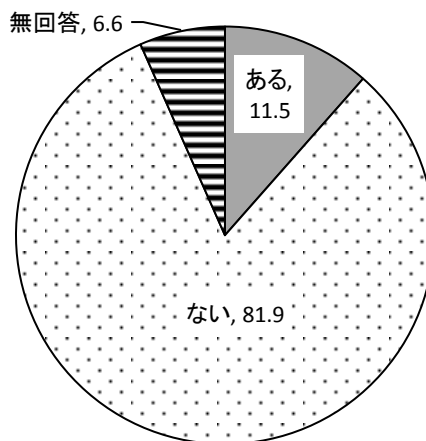
n=287

・子の看護休暇（小学校就学前の子の病気や負傷等の看護のための休暇）

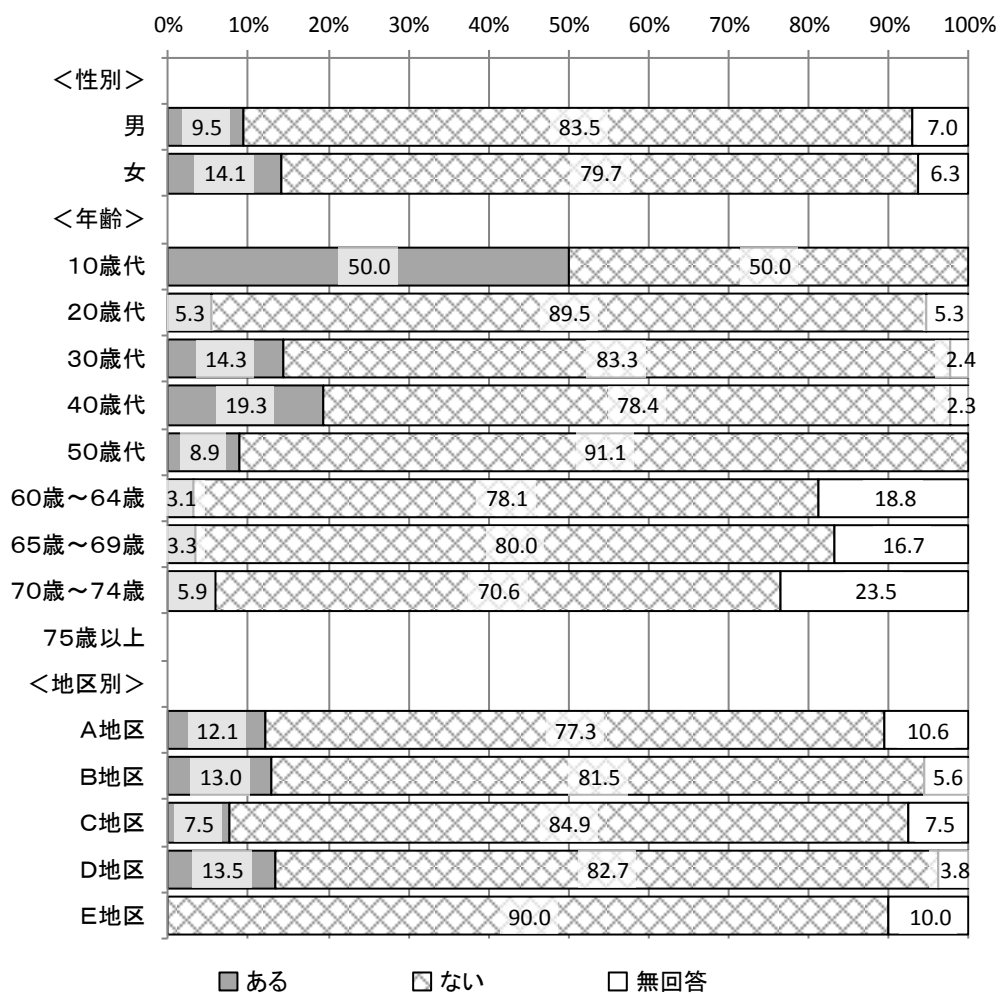
子の看護休暇の利用状況については、「ない」が81.9%、「ある」が11.5%である。

項目	件数	割合
ある	33	11.5%
ない	235	81.9%
無回答	19	6.6%

n=287



n=287



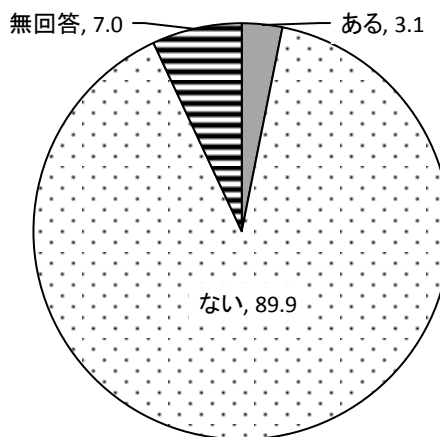
n=287

・介護休業（要介護状態にある家族を介護するための休業（上限 93 日））

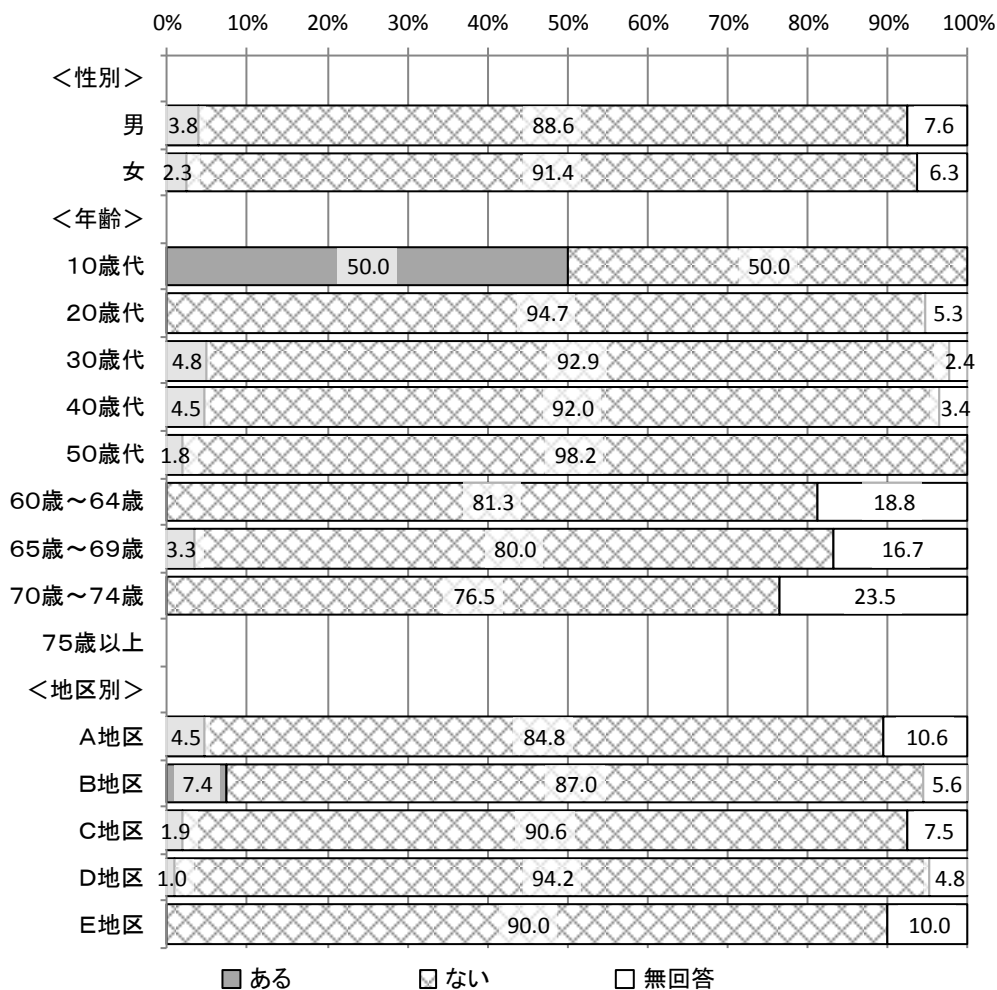
介護休業制度の利用状況については、「ない」が 89.9%、「ある」が 3.1%である。

項目	件数	割合
ある	9	3.1%
ない	258	89.9%
無回答	20	7.0%

n=287



n=287



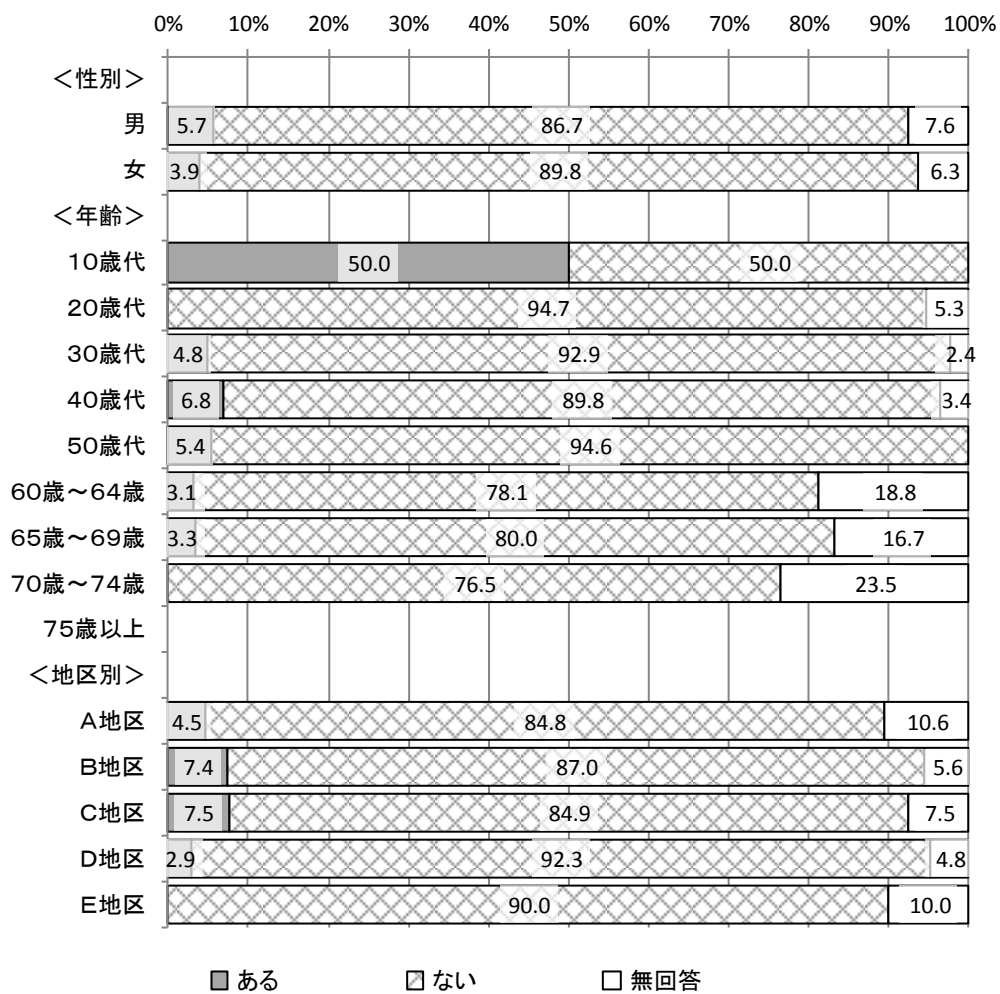
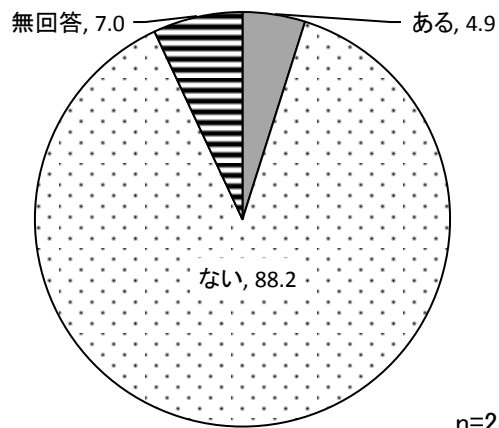
n=287

・介護休暇（要介護状態にある家族を介護・世話するための短期の休暇）

介護休暇制度の利用状況については、「ない」が88.2%、「ある」が4.9%である。

項目	件数	割合
ある	14	4.9%
ない	253	88.2%
無回答	20	7.0%

n=287



n=287

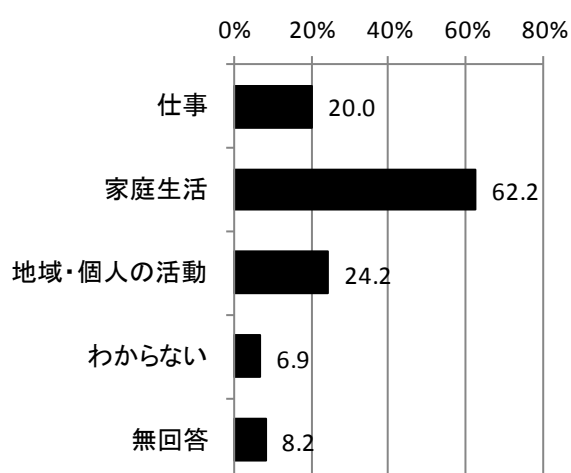
問 46 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお聞きます。あなたが優先すべきものとして希望するものと、現実に（現状で）優先されるものについて教えてください。（○はそれぞれいくつでも）

・希望するもの

生活の中で優先することを希望するものとしては、「家庭生活」が62.2%で最も多く、次いで「地域・個人の活動」（24.2%）、「仕事」（20.0%）の順である。

項目	件数	割合
仕事	90	20.0%
家庭生活	280	62.2%
地域・個人の活動	109	24.2%
わからない	31	6.9%
無回答	37	8.2%

n=450



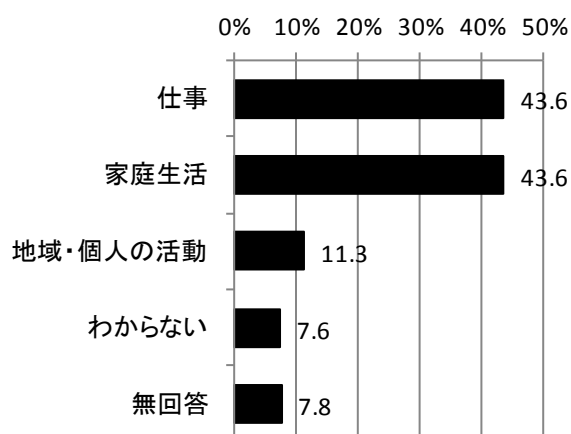
n=450

・現状、優先されるもの

生活の中で、現状において優先されているものとしては、「仕事」と「家庭生活」がいずれも 43.6%ずつを占めて最も多く、次いで「地域・個人の活動」（11.3%）の順である。

項目	件数	割合
仕事	196	43.6%
家庭生活	196	43.6%
地域・個人の活動	51	11.3%
わからない	34	7.6%
無回答	35	7.8%

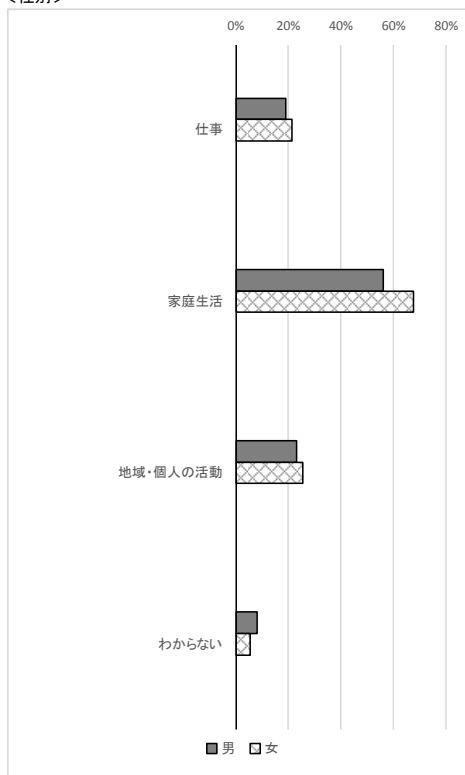
n=450



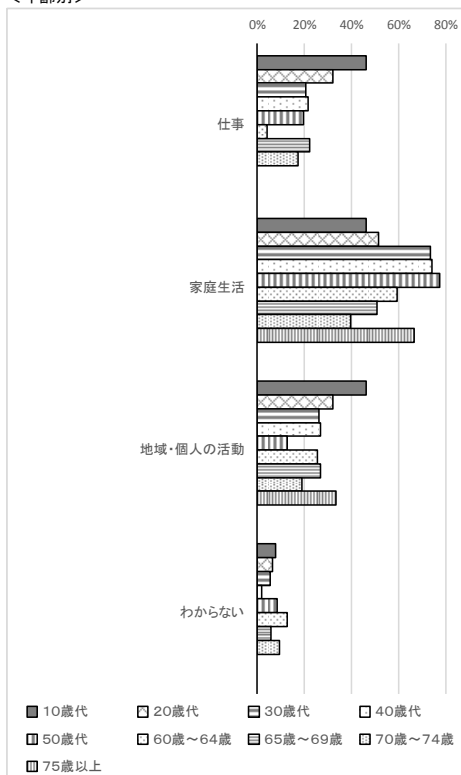
n=450

・希望するもの

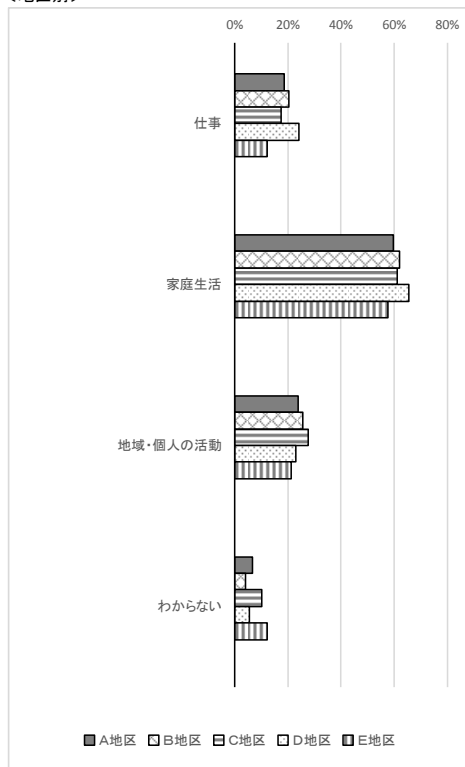
<性別>



<年齢別>



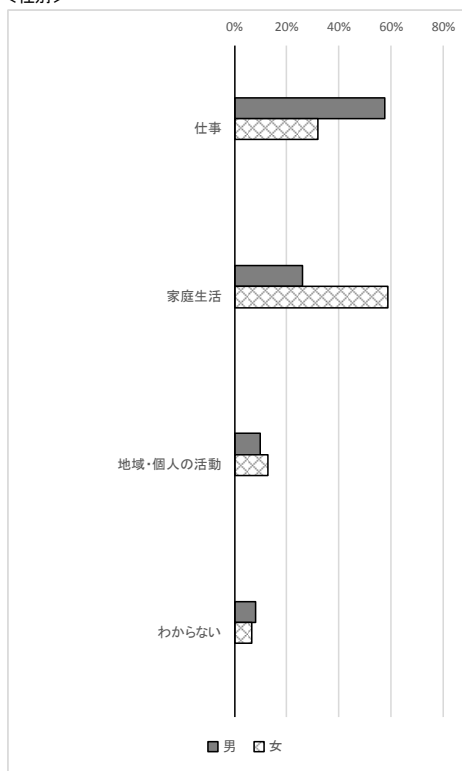
<地区別>



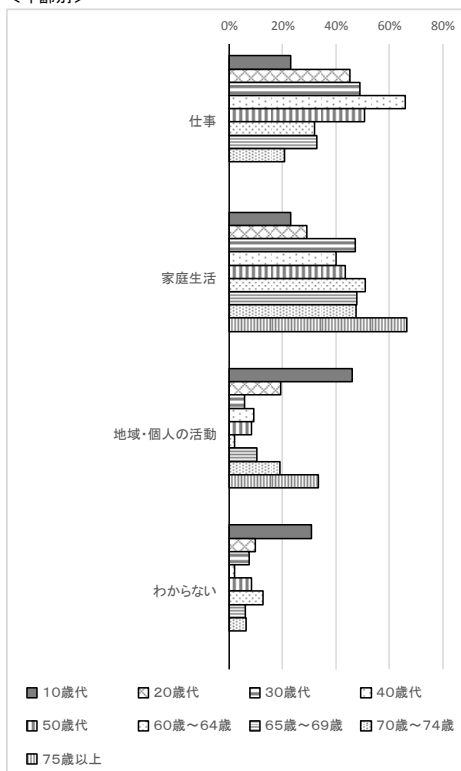
n=450

・現状、優先されるもの

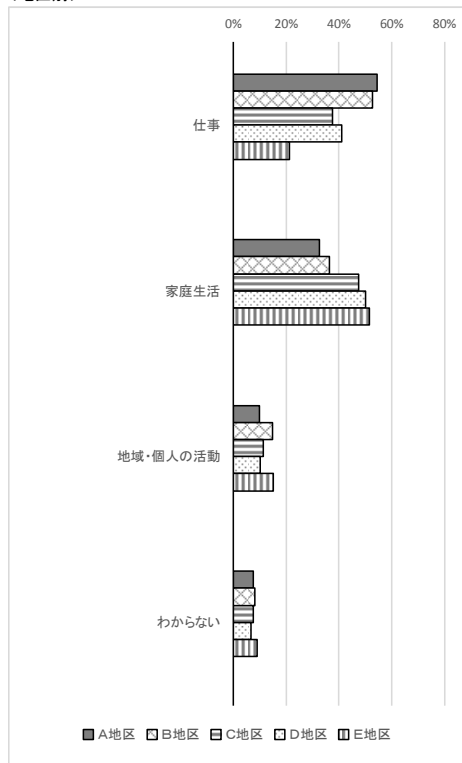
<性別>



<年齢別>



<地区別>



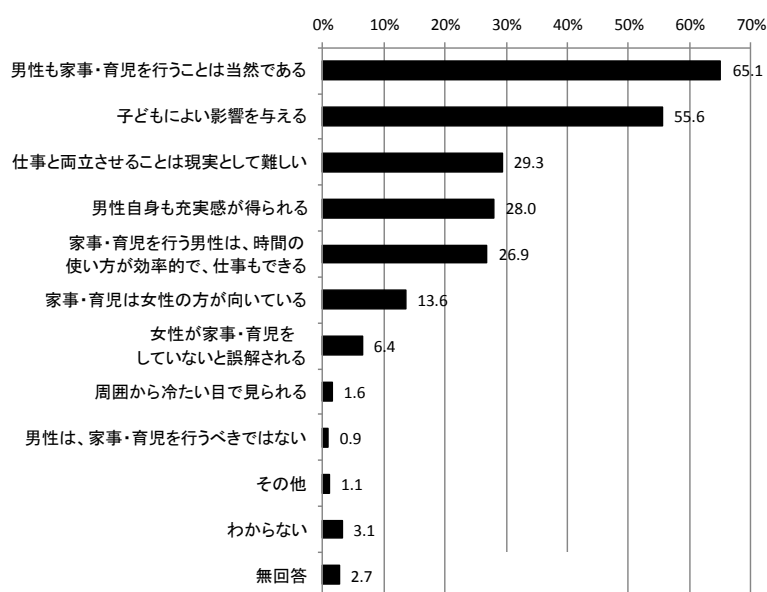
n=450

問 47 あなたは、男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。(〇はいくつでも)

男性が家事・育児を行うことに対する回答者のイメージとしては、「男性も家事・育児を行うことは当然である」が 65.1%で最も多く、以下「子どもにより影響を与える」(55.6%)、「仕事と両立させることは現実として難しい」(29.3%)、「男性自身も充実感が得られる」(28.0%)、「家事・育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」(26.9%)と続く。

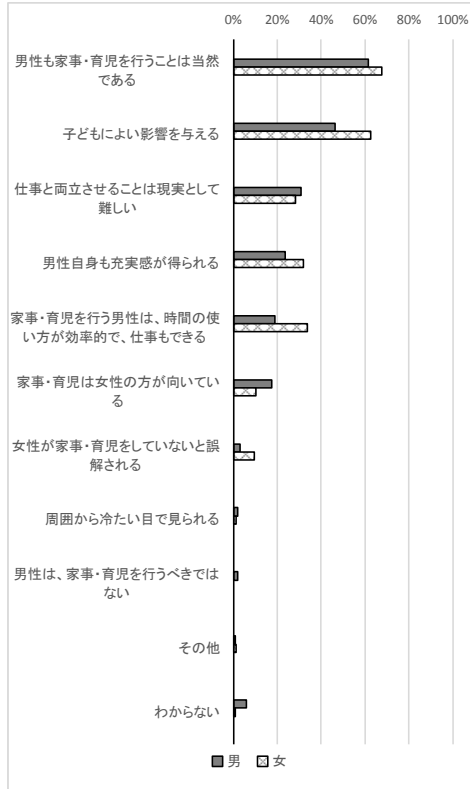
項目	件数	割合
男性も家事・育児を行うことは当然である	293	65.1%
子どもにより影響を与える	250	55.6%
仕事と両立させることは現実として難しい	132	29.3%
男性自身も充実感が得られる	126	28.0%
家事・育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる	121	26.9%
家事・育児は女性の方が向いている	61	13.6%
女性が家事・育児をしていないと誤解される	29	6.4%
周囲から冷たい目で見られる	7	1.6%
男性は、家事・育児を行うべきではない	4	0.9%
その他	5	1.1%
わからない	14	3.1%
無回答	12	2.7%

n=450

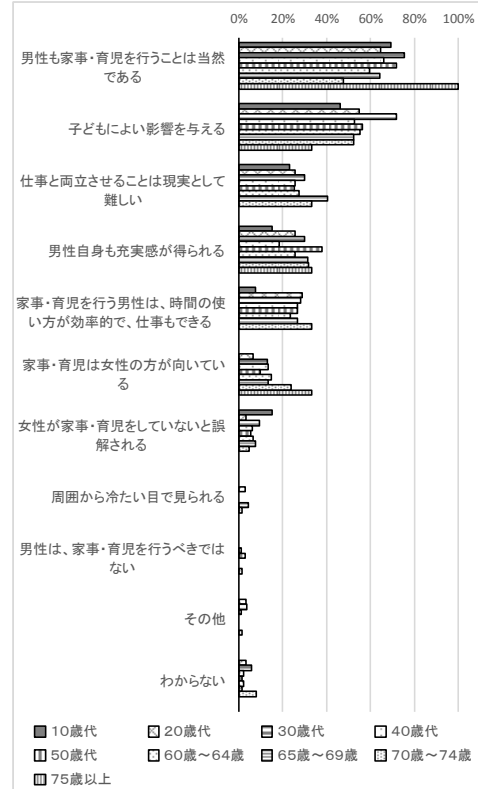


n=450

<性別>



<年齢別>



<地区別>

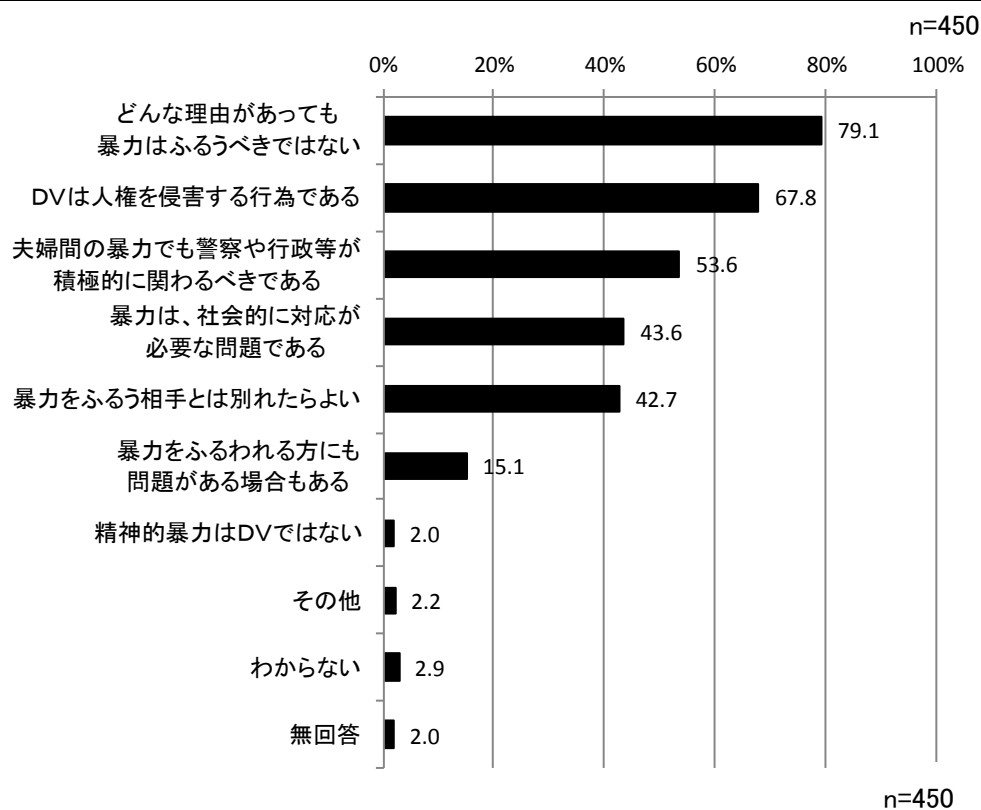


n=450

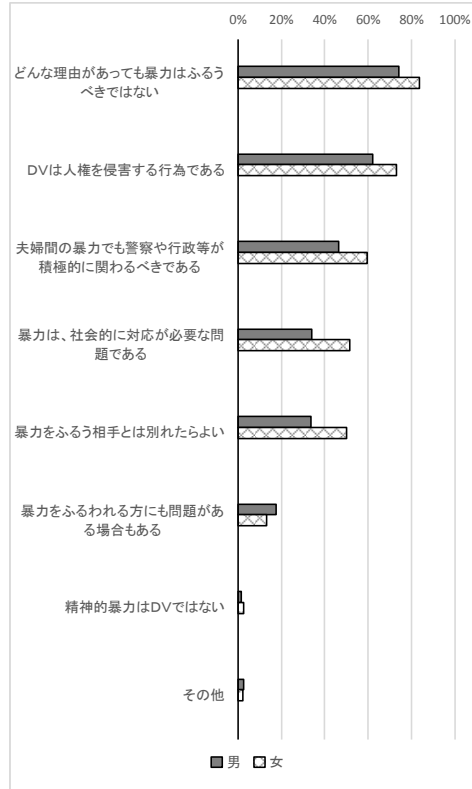
問 48 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV、配偶者などからの暴力）について、どう思いますか。（○はいくつでも）

ドメスティック・バイオレンス（DV）に対する回答者の認識としては、「どんな理由があっても暴力はふるうべきではない」が79.1%で最も多く、以下「DVは人権を侵害する行為である」（67.8%）、「夫婦間の暴力でも警察や行政等が積極的に関わるべきである」（53.6%）、「暴力は、社会的に対応が必要な問題である」（43.6%）、「暴力をふるう相手とは別れたらよい」（42.7%）と続く。

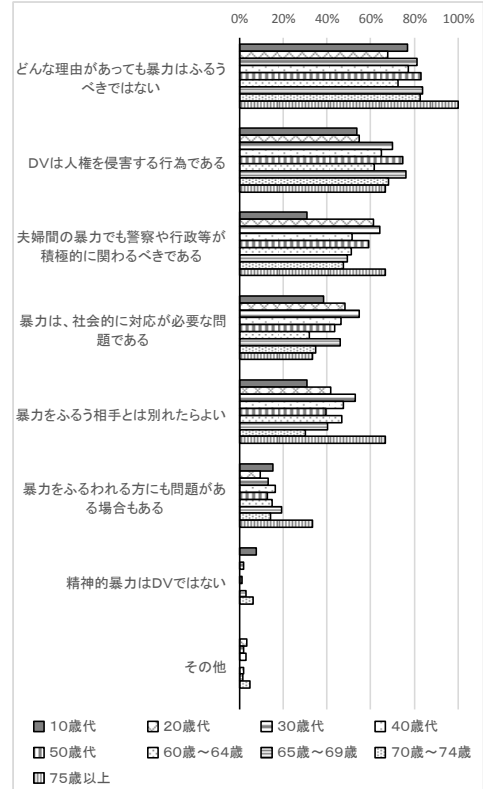
項目	件数	割合
どんな理由があっても暴力はふるうべきではない	356	79.1%
DVは人権を侵害する行為である	305	67.8%
夫婦間の暴力でも警察や行政等が積極的に関わるべきである	241	53.6%
暴力は、社会的に対応が必要な問題である	196	43.6%
暴力をふるう相手とは別れたらよい	192	42.7%
暴力をふるわれる方にも問題がある場合もある	68	15.1%
精神的暴力はDVではない	9	2.0%
その他	10	2.2%
わからない	13	2.9%
無回答	9	2.0%



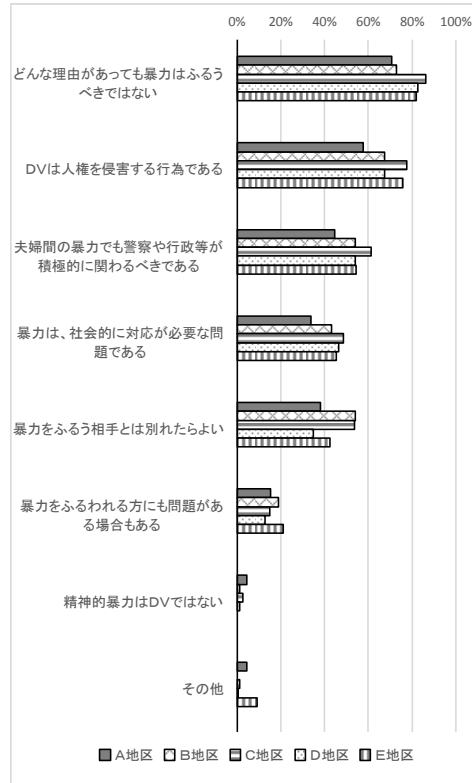
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

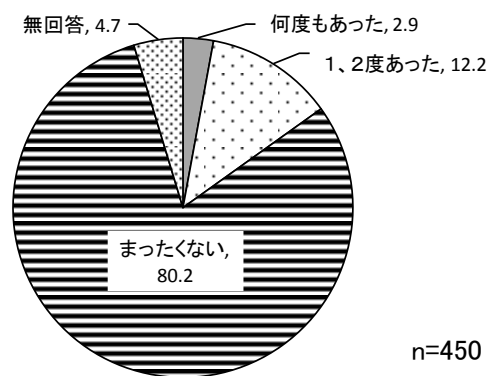
問 49 あなたは、これまでに、配偶者や交際相手から次のような行為をされたことがありますか。(○はそれぞれ1つ)

- ・殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた

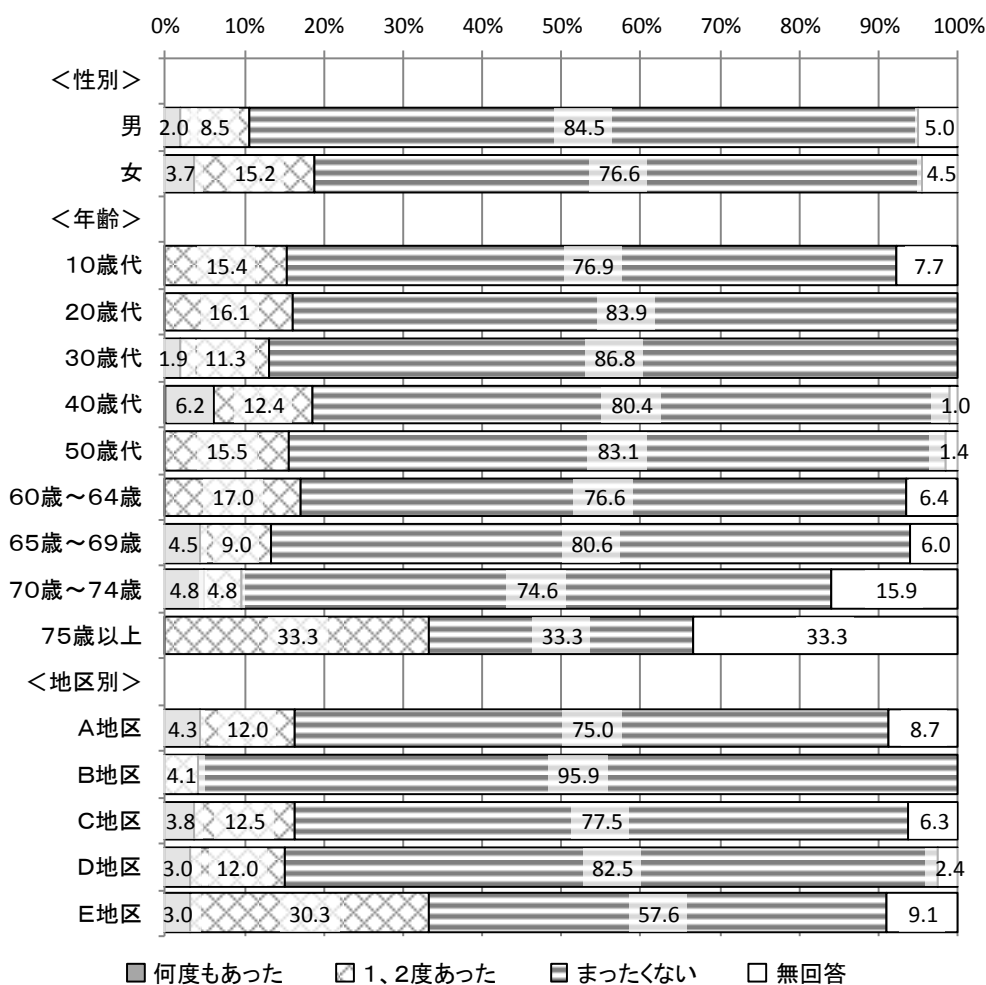
身体に対する暴行を受けたことの有無については、「まったくない」が80.2%、「1、2度あった」が12.2%、「何度もあった」が2.9%である。

項目	件数	割合
何度もあった	13	2.9%
1、2度あった	55	12.2%
まったくない	361	80.2%
無回答	21	4.7%

n=450



n=450



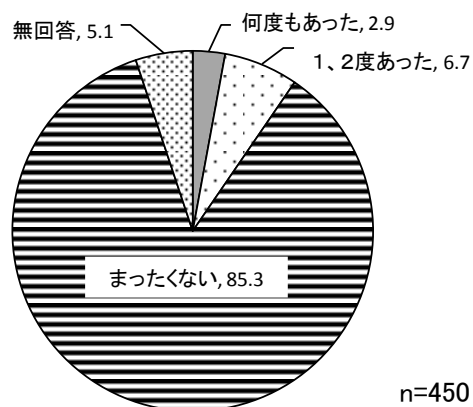
n=450

- ・精神的な嫌がらせや暴言など、自分や家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた

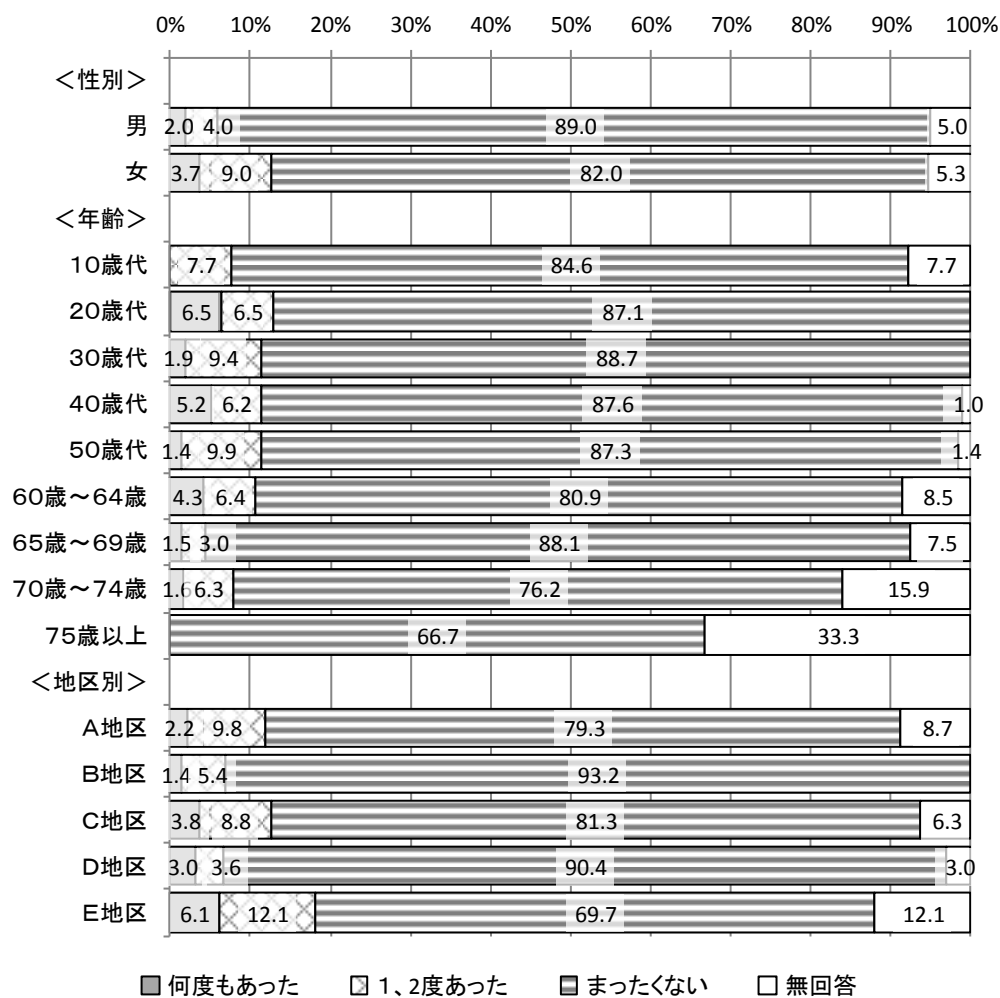
精神的な嫌がらせ等を受けたことの有無については、「まったくない」が85.3%、「1、2度あった」が6.7%、「何度もあった」が2.9%である。

項目	件数	割合
何どもあった	13	2.9%
1、2度あった	30	6.7%
まったくない	384	85.3%
無回答	23	5.1%

n=450



n=450



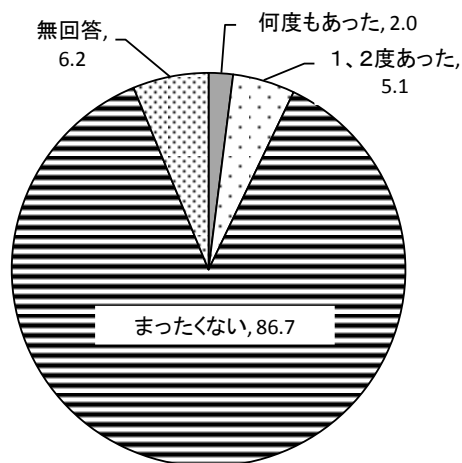
n=450

・嫌がっているのに、性的な行為を強要された

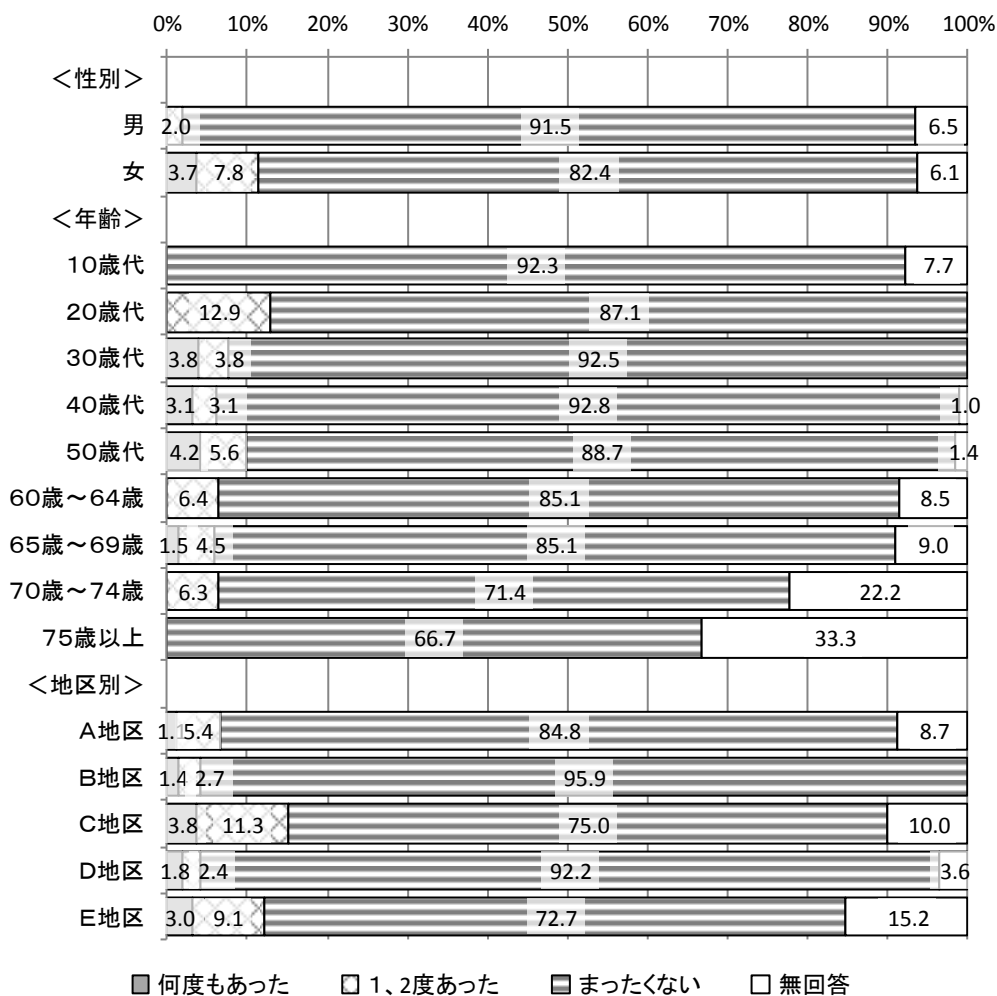
性的行為を強要されたことの有無については、「まったくない」が86.7%、「1、2度あった」が5.1%、「何度もあった」が2.0%である。

項目	件数	割合
何どもあった	9	2.0%
1、2度あった	23	5.1%
まったくない	390	86.7%
無回答	28	6.2%

n=450



n=450



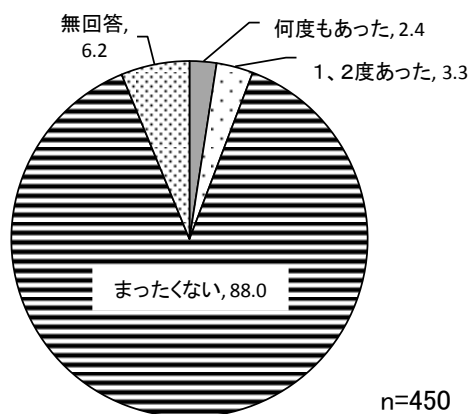
n=450

- ・必要な生活費を渡されなかったり、過度にお金を細かく管理されるなどの経済的な圧力を受けた

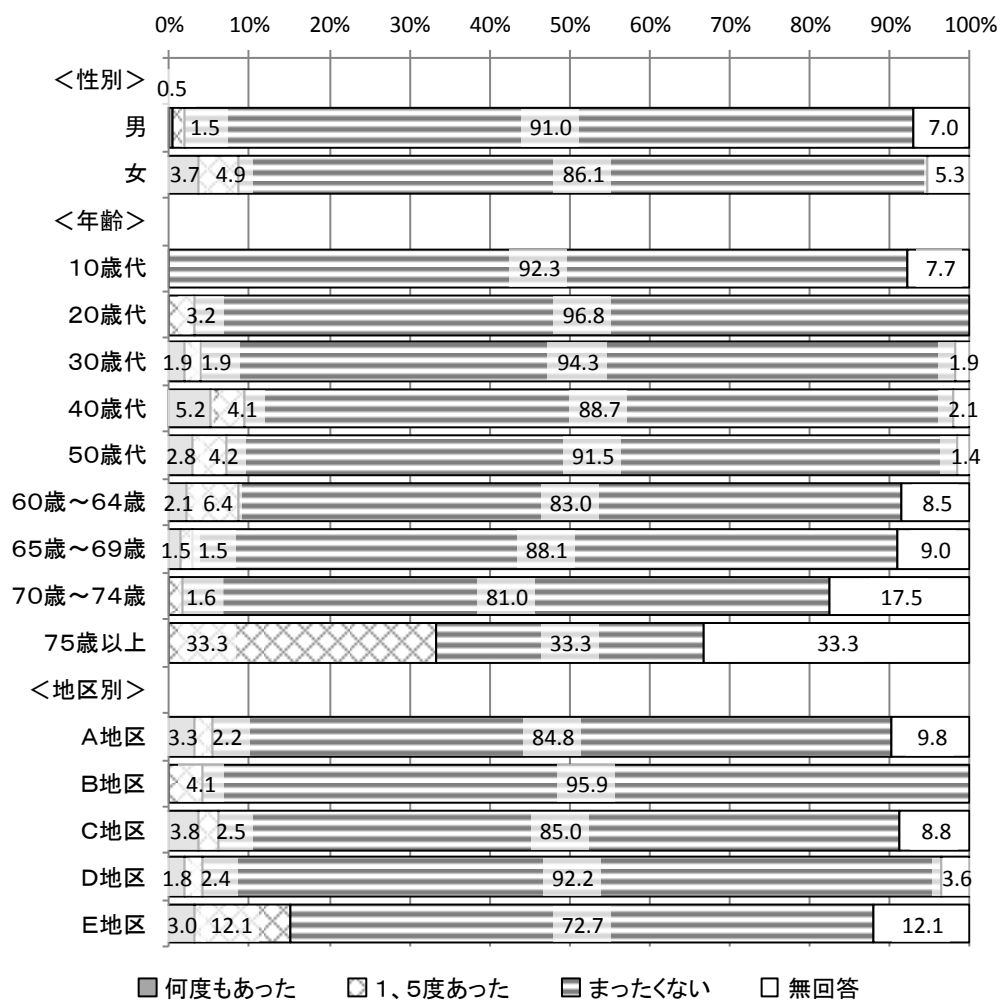
経済的な圧力を受けたことの有無については、「まったくない」が88.0%、「1、2度あった」が3.3%、「何度もあった」が2.4%である。

項目	件数	割合
何どもあった	11	2.4%
1、2度あった	15	3.3%
まったくない	396	88.0%
無回答	28	6.2%

n=450



n=450



n=450

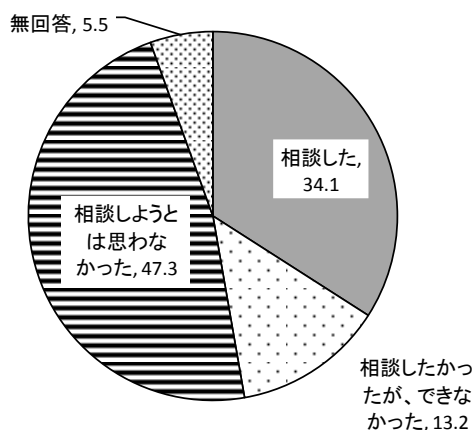
問 49-2 【問 49 で「何度もあった」又は「1、2度あった」と回答した方にお聞きします。】

あなたはこれまでに、その相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は1つ)

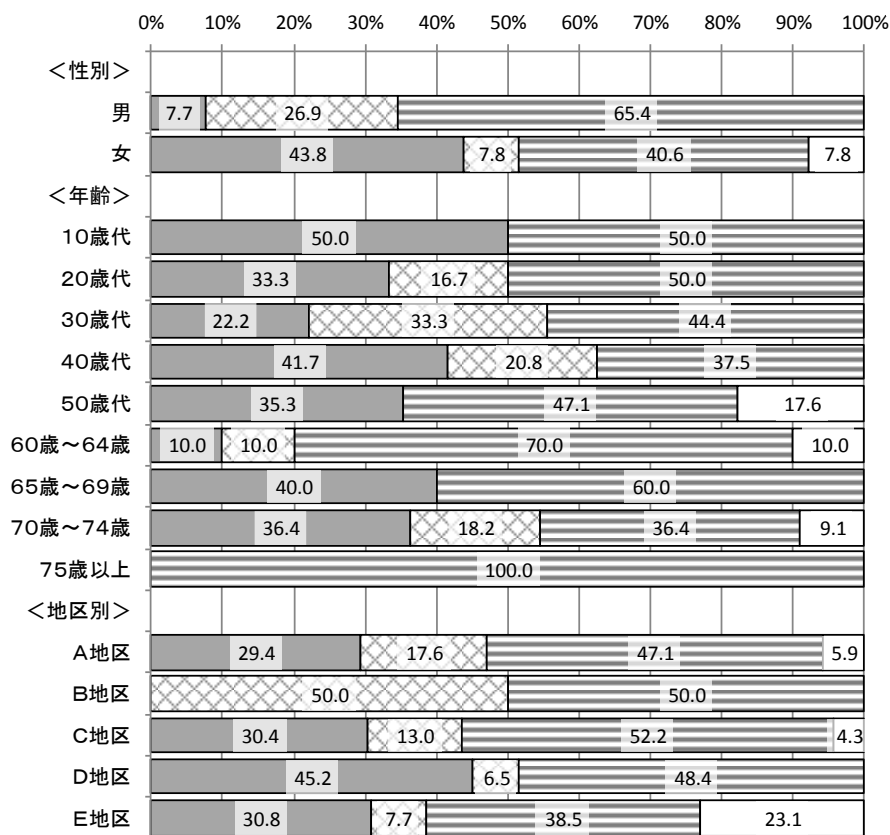
DV 被害の相談をしたかどうかについては、「相談しようとは思わなかった」が 47.3%、「相談した」が 34.1%、「相談したかったが、できなかった」が 13.2%である。

項目	件数	割合
相談した	31	34.1%
相談したかったが、できなかった	12	13.2%
相談しようとは思わなかった	43	47.3%
無回答	5	5.5%

n=91



n=91



■ 相談した ▨ 相談したかったが、できなかった ▩ 相談しようとは思わなかった □ 無回答

n=91

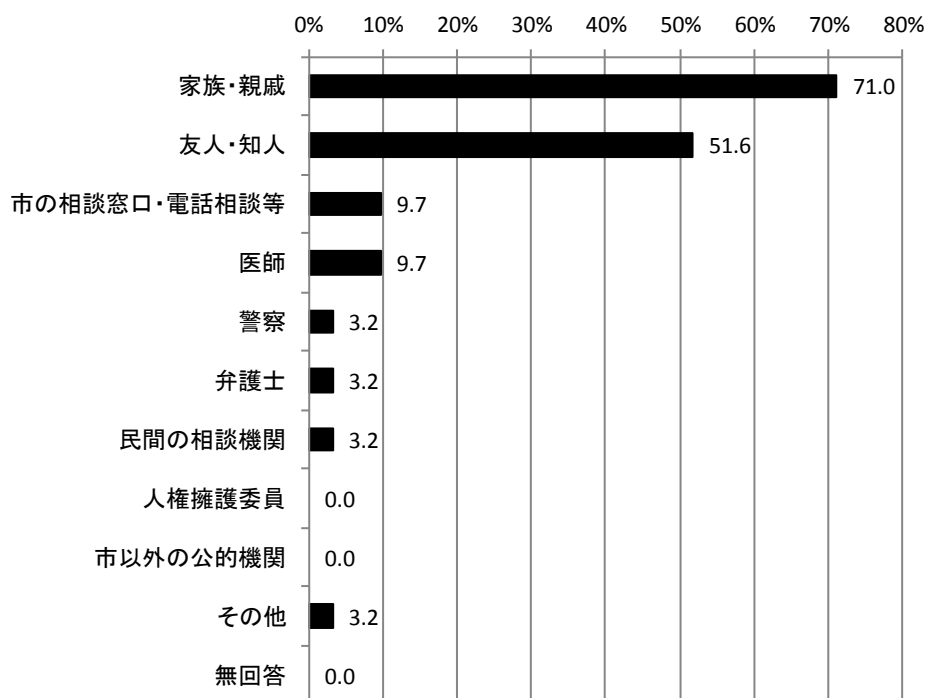
問 49-3 【問 49-2 で「相談した」と回答した方にお聞きします。】

そのときの相談相手は誰ですか。(○はいくつでも)

DV 被害の相談先、相談相手としては、「家族・親戚」が 71.0%で最も多く、次いで「友人・知人」(51.6%)、「市の相談窓口・電話相談等」及び「医師」(いずれも 9.7%)の順である。

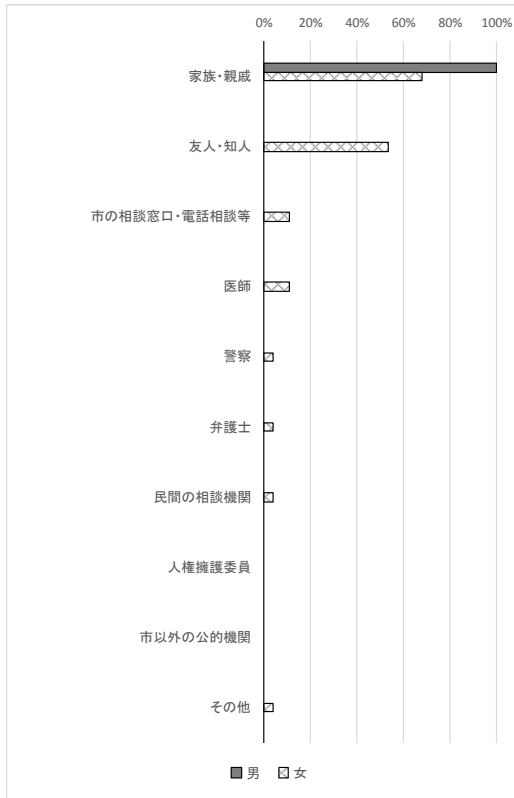
項目	件数	割合
家族・親戚	22	71.0%
友人・知人	16	51.6%
市の相談窓口・電話相談等	3	9.7%
医師	3	9.7%
警察	1	3.2%
弁護士	1	3.2%
民間の相談機関	1	3.2%
人権擁護委員	0	0.0%
市以外の公的機関	0	0.0%
その他	1	3.2%
無回答	0	0.0%

n=31

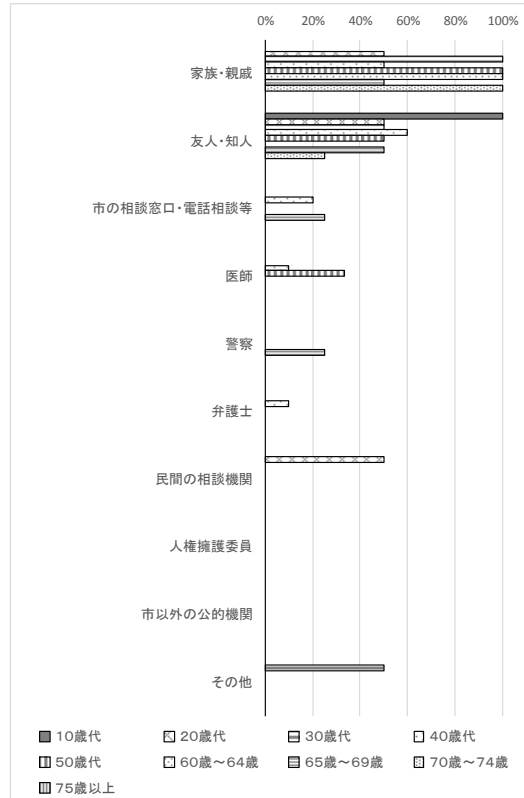


n=31

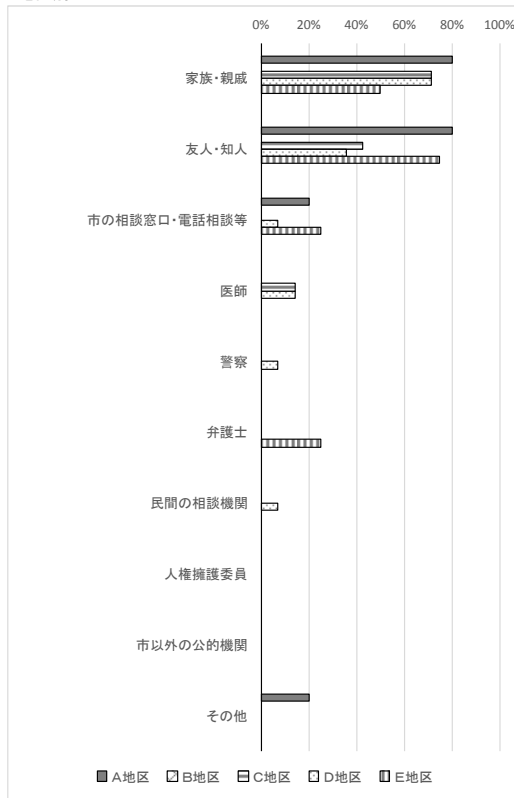
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=31

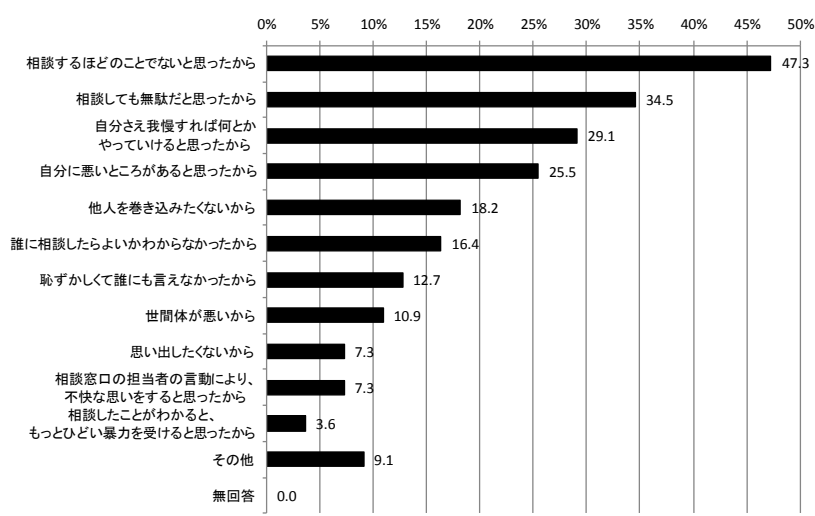
問 49-4 【問 49-2 で「相談したかったが、できなかった」又は「相談しようと思わなかった」と回答した方にお聞きします。】

相談しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

DV 等の被害について相談しなかった理由としては、「相談するほどのことではないと思ったから」が 47.3%で最も多く、以下「相談しても無駄だと思ったから」(34.5%)、「自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから」(29.1%)、「自分に悪いところがあると思ったから」(25.5%) と続く。

項目	件数	割合
相談するほどのことではないと思ったから	26	47.3%
相談しても無駄だと思ったから	19	34.5%
自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから	16	29.1%
自分に悪いところがあると思ったから	14	25.5%
他人を巻き込みたくないから	10	18.2%
誰に相談したらよいかわからなかったから	9	16.4%
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	7	12.7%
世間体が悪いから	6	10.9%
思い出したくないから	4	7.3%
相談窓口の担当者の言動により不快な思いをすと思ったから	4	7.3%
相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思ったから	2	3.6%
その他	5	9.1%
無回答	0	0.0%

n=55

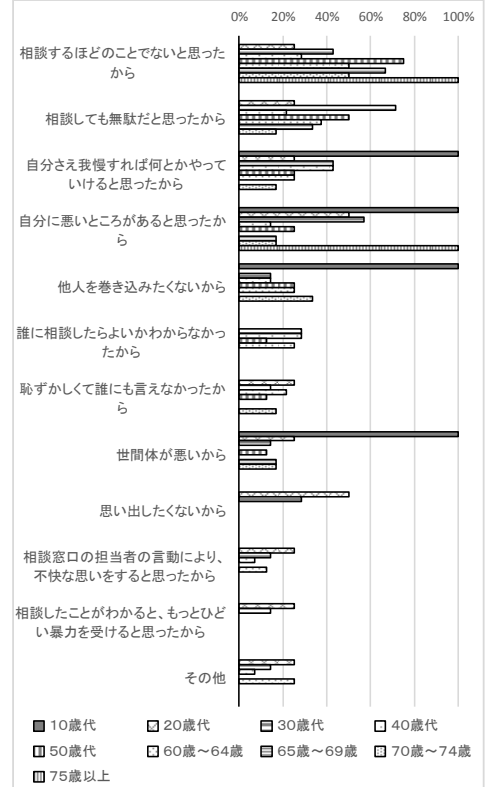


n=55

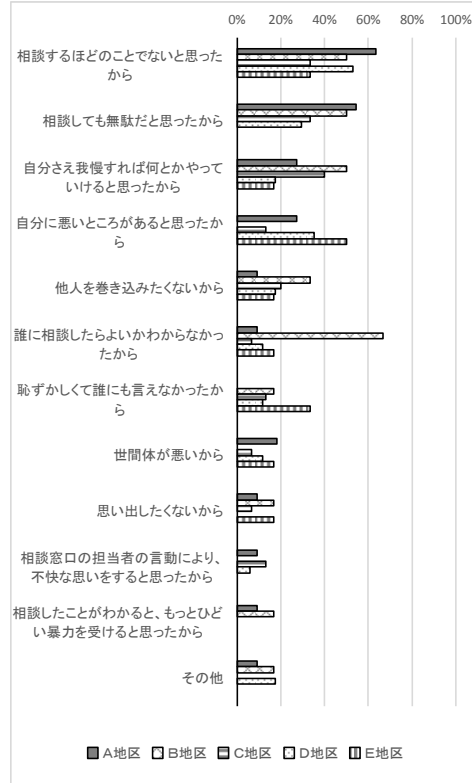
<性別>



<年齢別>



<地区別>



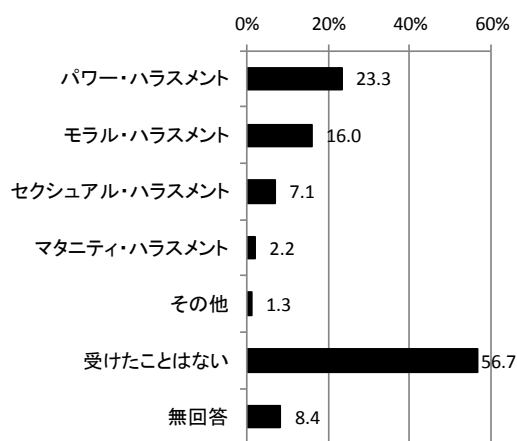
n=55

問 50 あなたは、職場や学校等で、次にあげるハラスメント（嫌がらせ）をうけたことがありますか。（○はいくつでも）

回答者が受けたことのあるハラスメントについては、「パワー・ハラスメント」が23.3%で最も多く、次いで「モラル・ハラスメント」（16.0%）、「セクシュアル・ハラスメント」（7.1%）の順である。

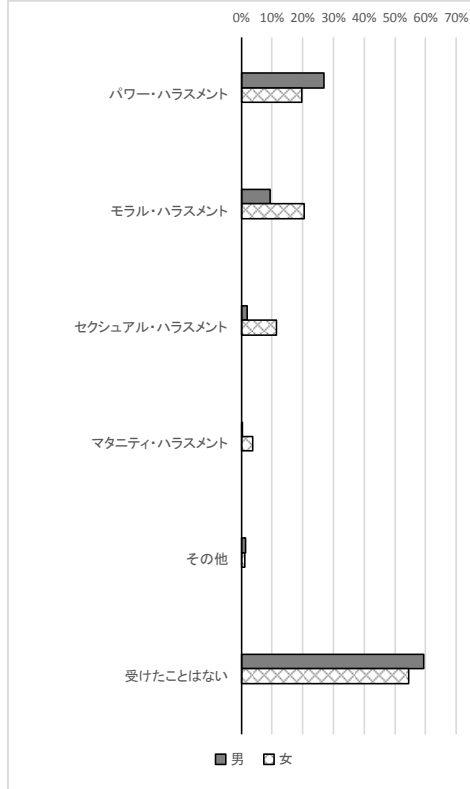
項目	件数	割合
パワー・ハラスメント	105	23.3%
モラル・ハラスメント	72	16.0%
セクシュアル・ハラスメント	32	7.1%
マタニティ・ハラスメント	10	2.2%
その他	6	1.3%
受けたことはない	255	56.7%
無回答	38	8.4%

n=450

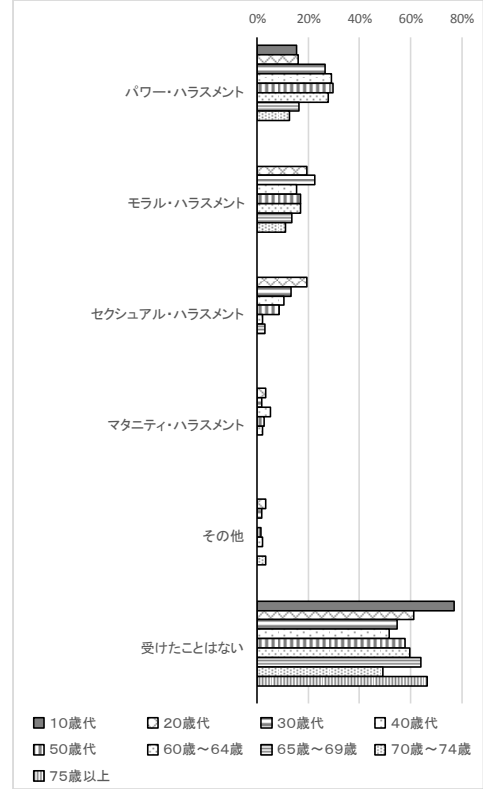


n=450

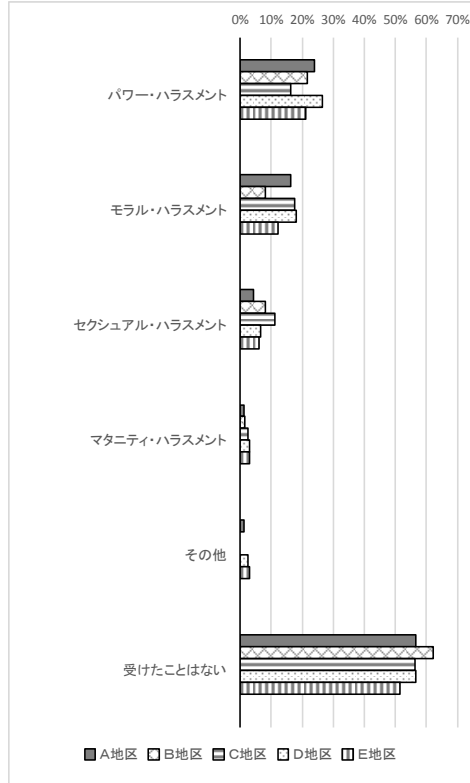
<性別>



<年齢別>



<地区別>



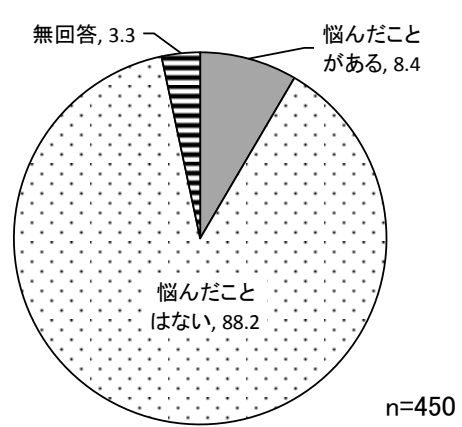
n=450

問 51 あなたは、これまでに自分の身体の性、心の性、好きになる性に悩んだことがありますか。(○は1つ)

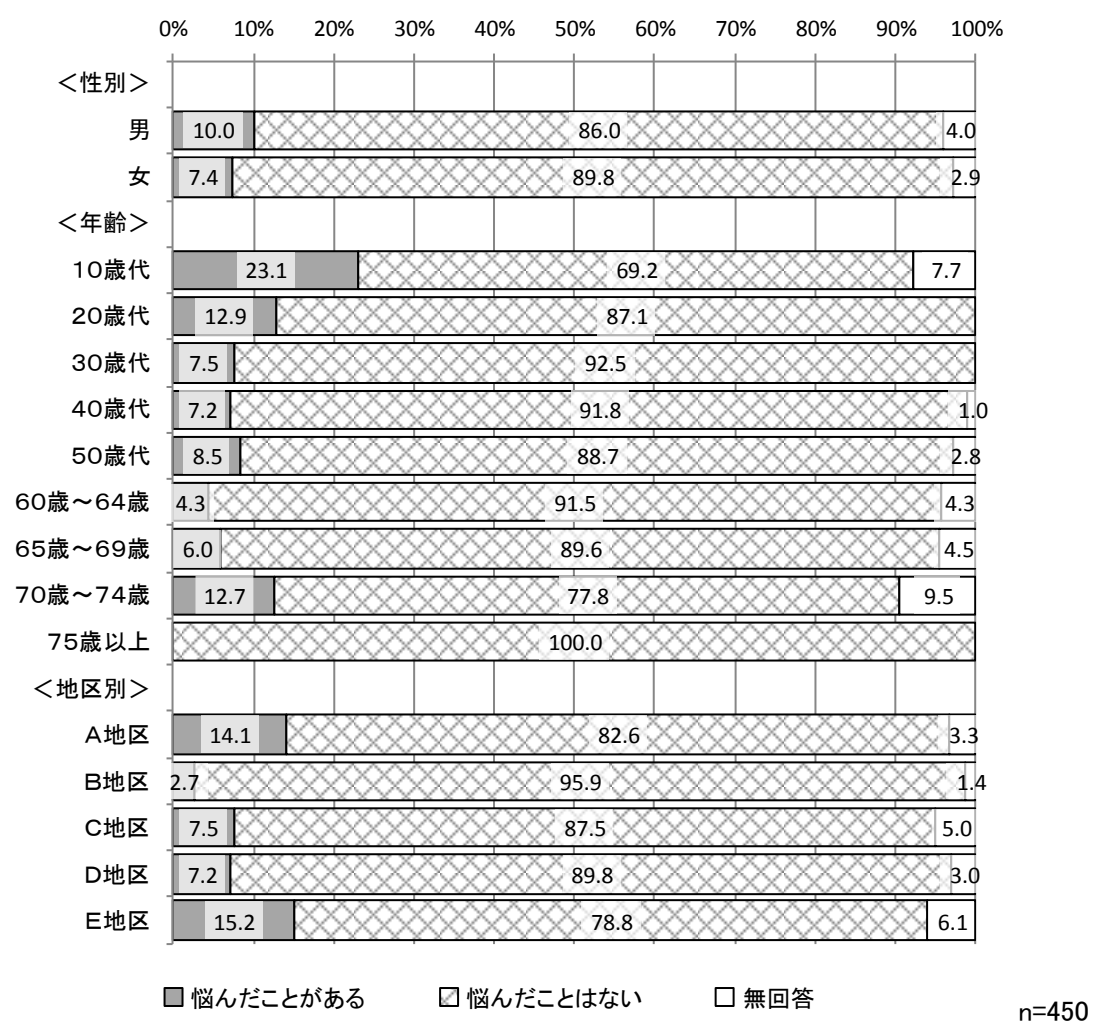
身体と心の性の不一致の悩みについては、「悩んだことはない」が88.2%、「悩んだことがある」が8.4%である。

項目	件数	割合
悩んだことがある	38	8.4%
悩んだことはない	397	88.2%
無回答	15	3.3%

n=450



n=450



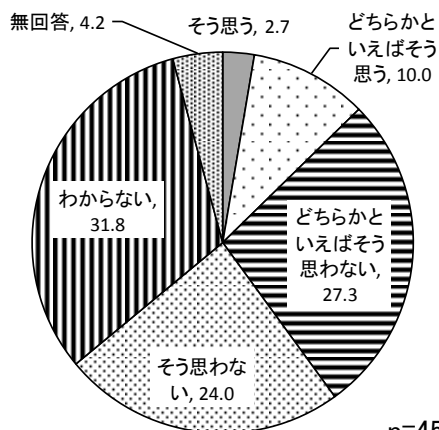
n=450

問 52 あなたは、現在、性的マイノリティの方々にとって、偏見や差別がなく、生活しやすい社会になっていると思いますか。(○は1つ)

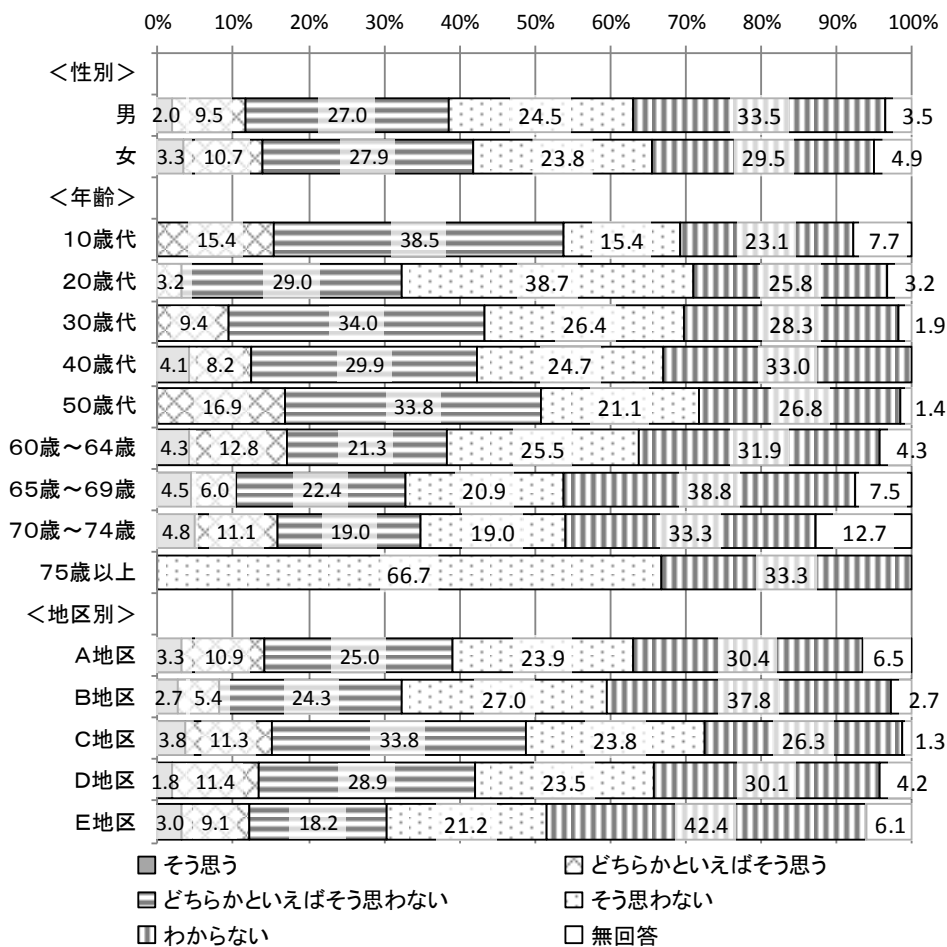
性的マイノリティの方々にとって、偏見や差別がなく、生活しやすい社会になっているかどうかという設問に対する回答としては、「どちらかといえばそう思わない」が27.3%で最も多く、以下「そう思わない」(24.0%)、「どちらかといえばそう思う」(10.0%)と続く。

項目	件数	割合
そう思う	12	2.7%
どちらかといえばそう思う	45	10.0%
どちらかといえばそう思わない	123	27.3%
そう思わない	108	24.0%
わからない	143	31.8%
無回答	19	4.2%

n=450



n=450

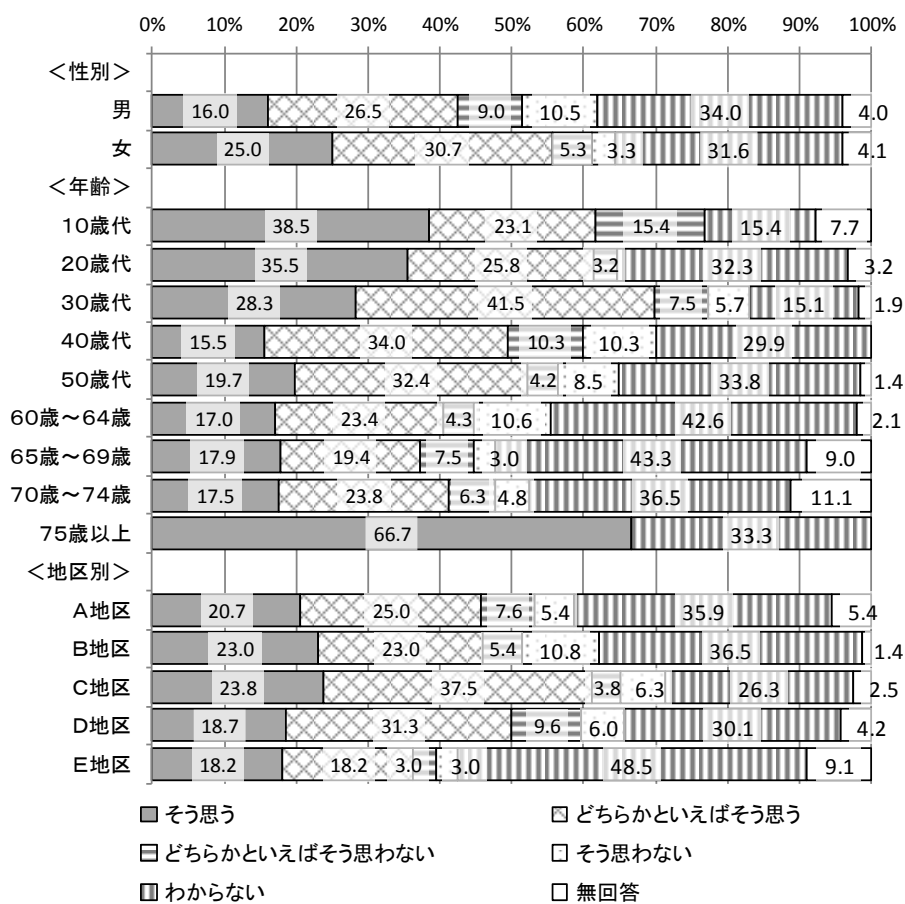
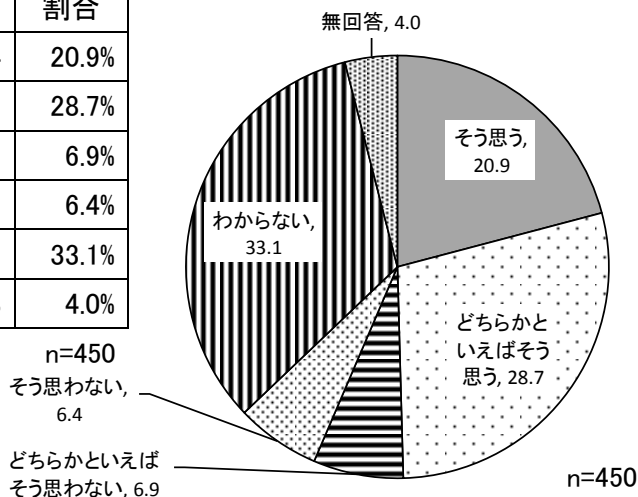


n=450

問 53 あなたは、性的マイノリティの方々が生活しやすい社会をつくるために、市が何らかの対策を講じることが必要だと思いますか。(〇は1つ)

性的マイノリティの方々のために、市が対策を講じることの必要性については、「どちらかといえばそう思う」が28.7%、「そう思う」が20.9%であり、肯定的な意見が全体の49.6%を占めた。

項目	件数	割合
そう思う	94	20.9%
どちらかといえばそう思う	129	28.7%
どちらかといえばそう思わない	31	6.9%
そう思わない	29	6.4%
わからない	149	33.1%
無回答	18	4.0%

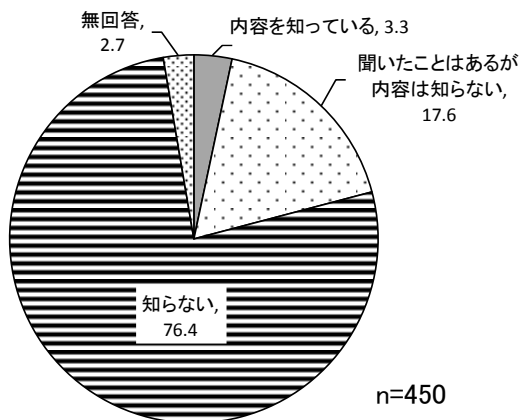


問 54 あなたは、「武蔵村山市第三次男女共同参画計画—男女 YOU・I プラン—」を見たり
聞いたりしたことがありますか。(○は1つ)

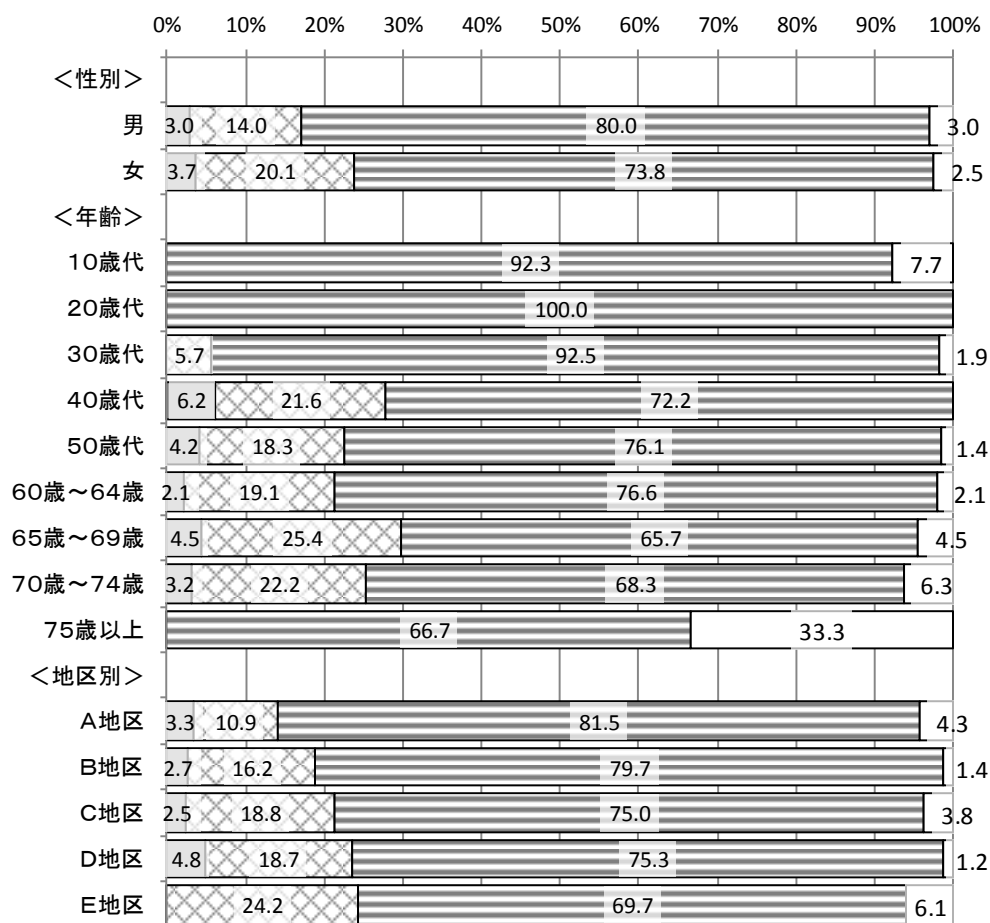
「武蔵村山市第三次男女共同参画計画—男女 YOU・I プラン—」の内容認知度については、「知らない」が 76.4%で最も多く、以下「聞いたことはあるが内容は知らない」(17.6%)、「内容を知っている」(3.3%) の順である。

項目	件数	割合
内容を知っている	15	3.3%
聞いたことはあるが内容は知らない	79	17.6%
知らない	344	76.4%
無回答	12	2.7%

n=450



n=450



■ 内容を知っている □ 聞いたことはあるが内容は知らない ■ 知らない □ 無回答

n=450

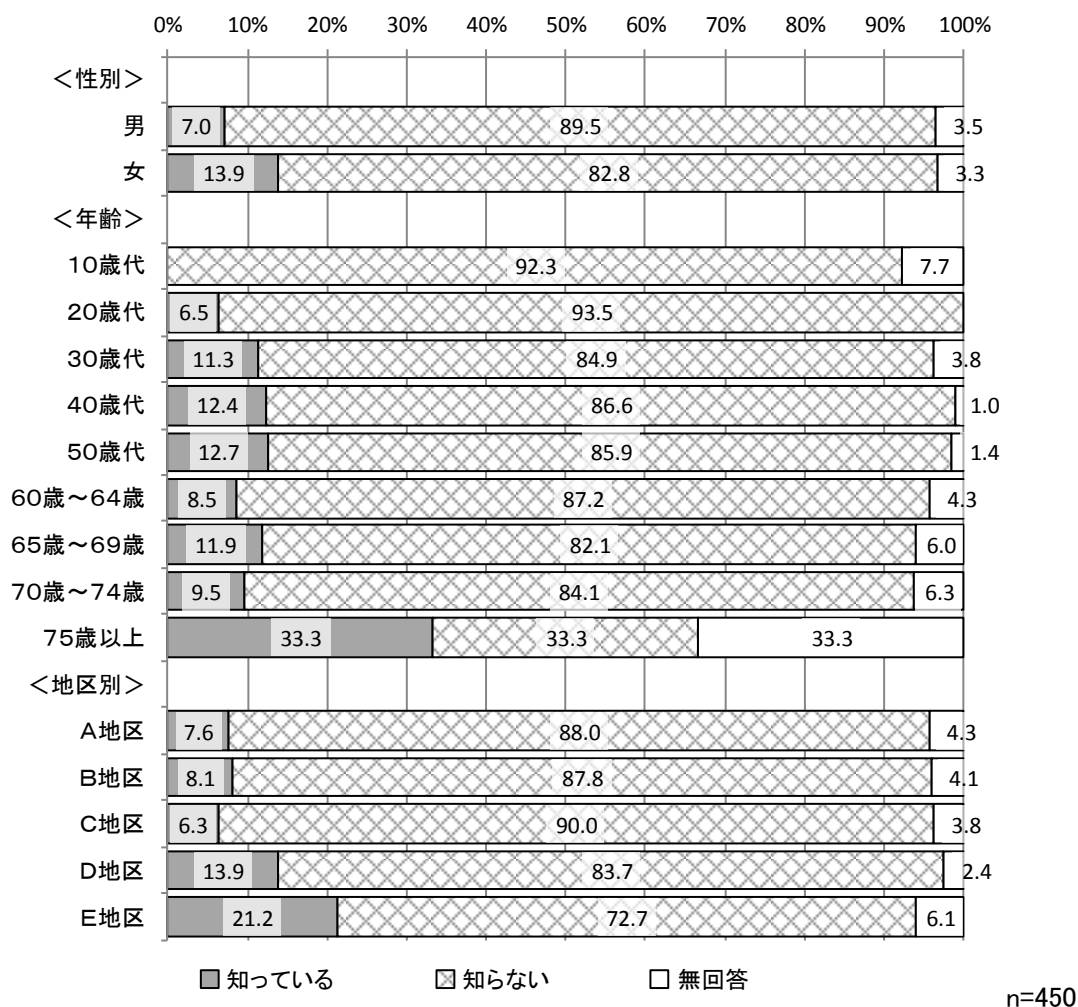
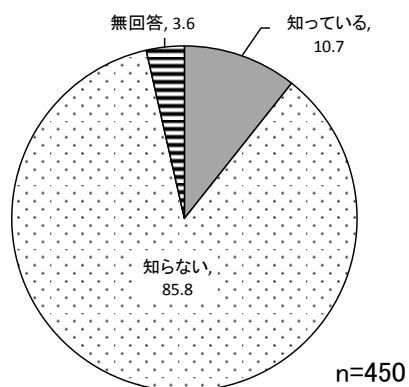
問 55 市には、男女共同参画を推進するための拠点施設として、緑が丘ふれあいセンターの中に男女共同参画センター『ゆーあい』があります。

あなたは、このセンター（『ゆーあい』）を知っていますか。（○は1つ）

男女共同参画センター『ゆーあい』の認知度については、「知らない」が85.8%、「知っている」が10.7%であった。

項目	件数	割合
知っている	48	10.7%
知らない	386	85.8%
無回答	16	3.6%

n=450



問 55-2 【問 55 で「知っている」と回答した方にお聞きします。】

あなたは、『ゆーあい』で行っている次の事業を知っていますか。(○は1つ)

また、知っている場合、参加・利用したことはありますか。(○はそれぞれ1つ)

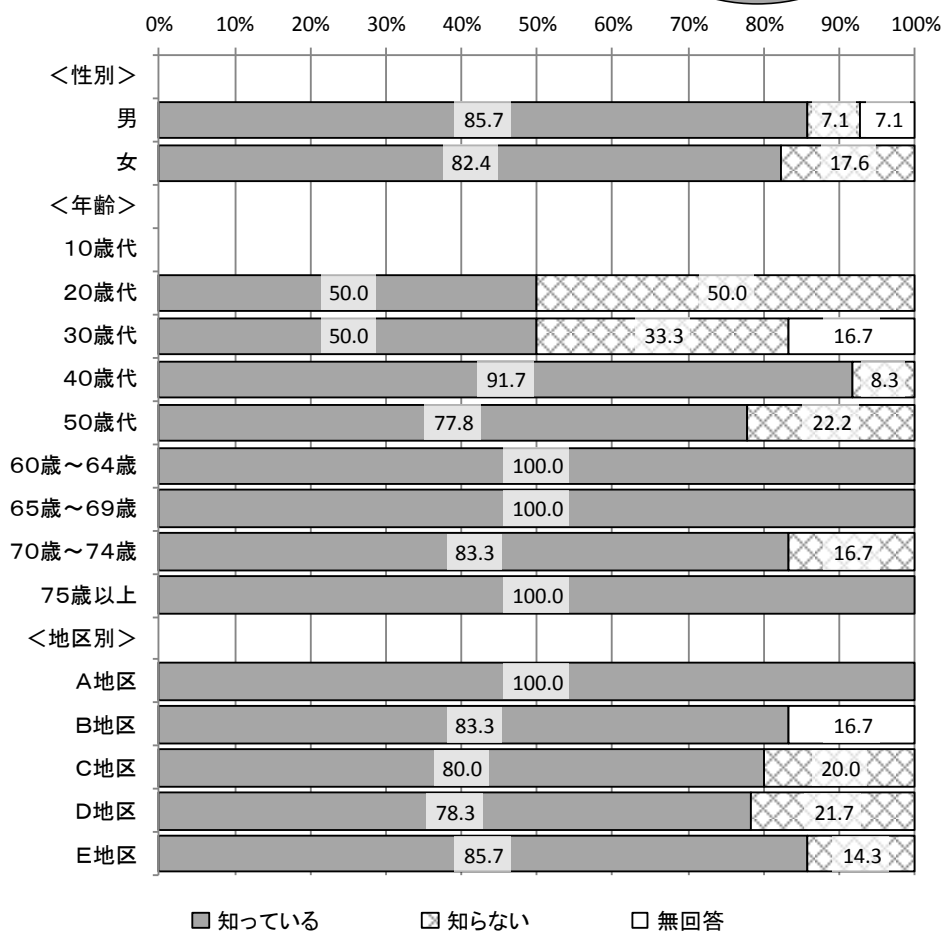
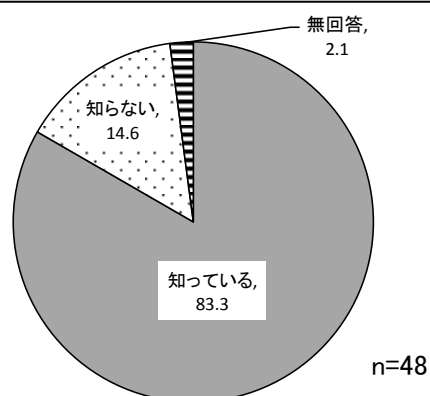
・ YOU・I フォーラム (男女共同参画講演会) 等の講演会や各種講座

・ 認知度

YOU・I フォーラム (男女共同参画講演会) 等の講演会や各種講座の認知度については、「知っている」が 83.3%、「知らない」が 14.6%である。

項目	件数	割合
知っている	40	83.3%
知らない	7	14.6%
無回答	1	2.1%

n=48



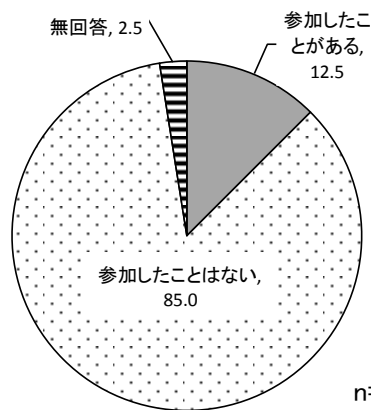
n=48

・参加の有無

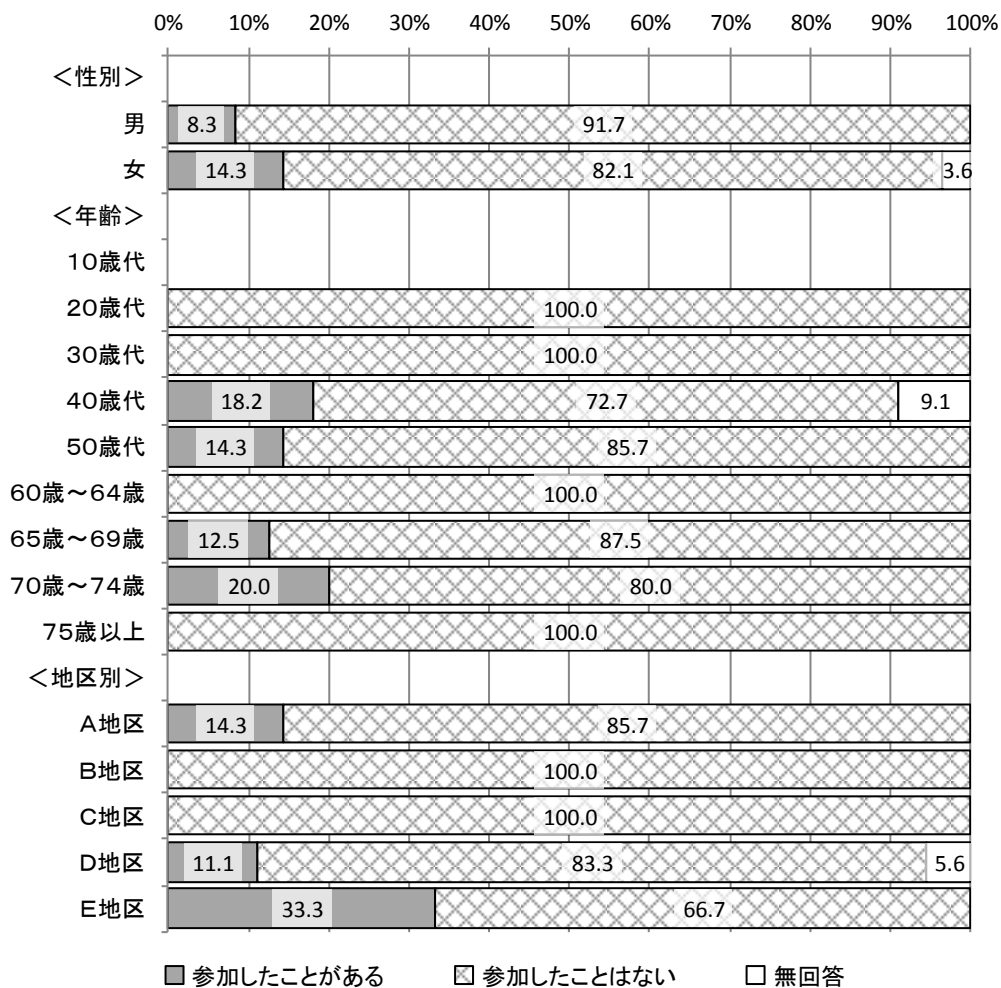
YOU・Iフォーラム（男女共同参画講演会）等の講演会や各種講座の利用の有無については、「参加したことはない」が85.0%、「参加したことがある」が12.5%であった。

項目	件数	割合
参加したことがある	5	12.5%
参加したことはない	34	85.0%
無回答	1	2.5%

n=40



n=40



n=40

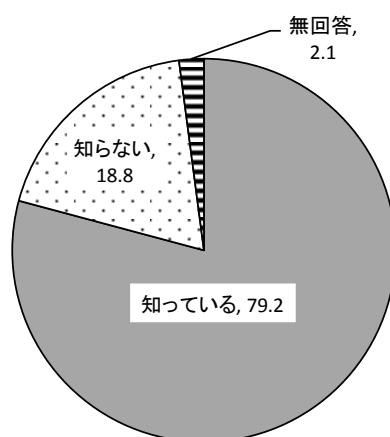
・情報・資料コーナー

・認知度

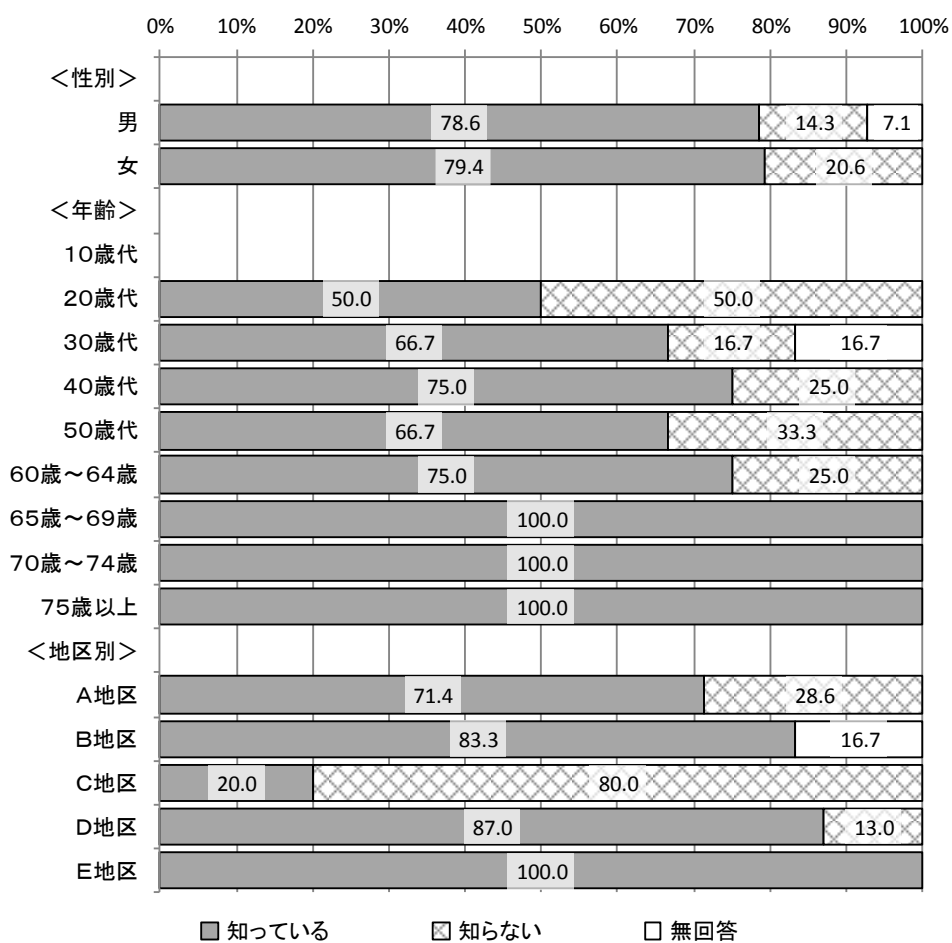
情報・資料コーナーの認知度については、「知っている」が79.2%、「知らない」が18.8%であった。

項目	件数	割合
知っている	38	79.2%
知らない	9	18.8%
無回答	1	2.1%

n=48



n=48



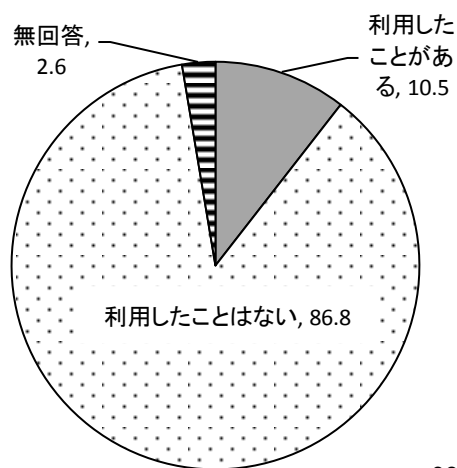
n=48

・利用の有無

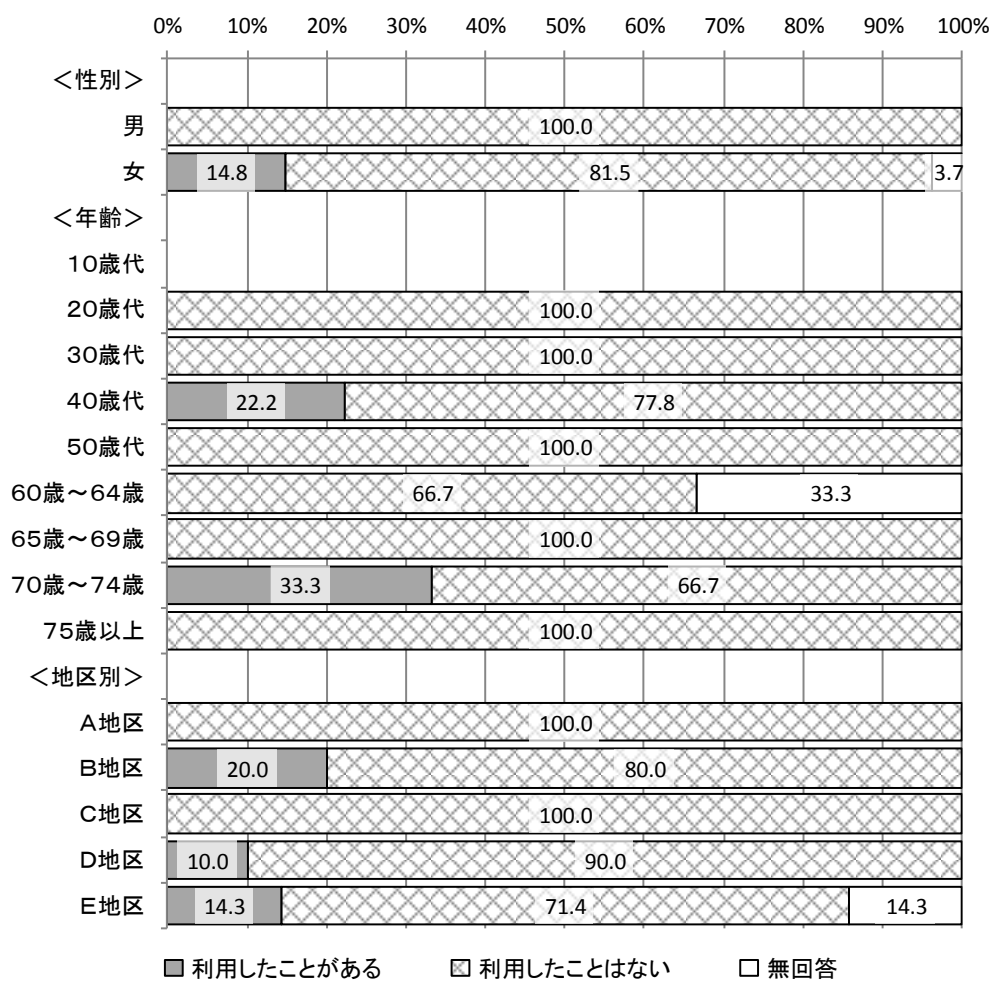
情報・資料コーナーの利用の有無については、「利用したことはない」が86.8%、「利用したことがある」が10.5%であった。

項目	件数	割合
利用したことがある	4	10.5%
利用したことはない	33	86.8%
無回答	1	2.6%

n=38



n=38



n=38

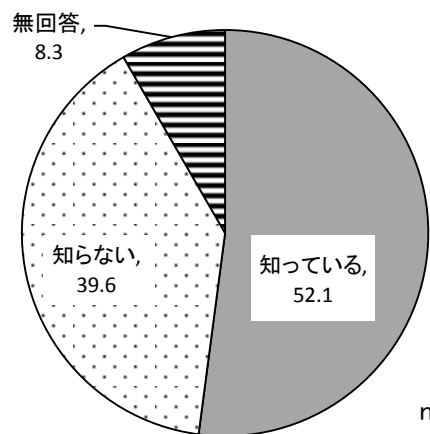
・なやみごと・生きかた相談

・認知度

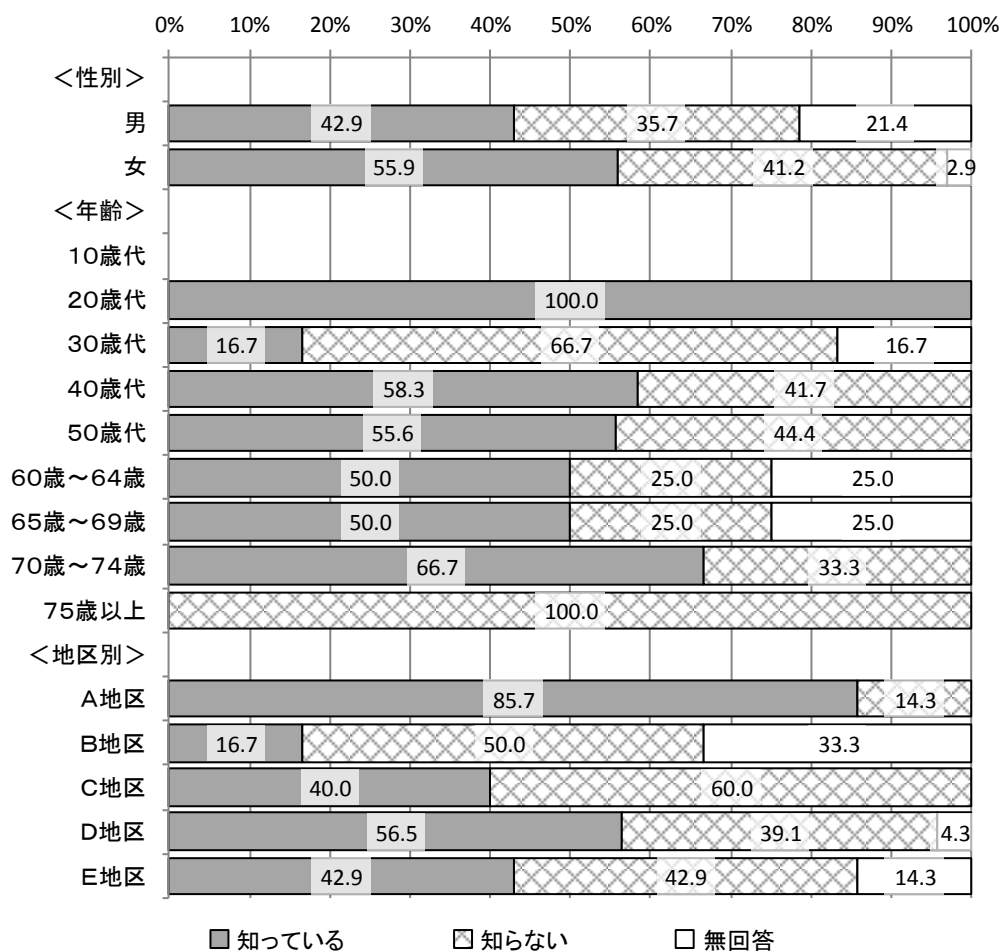
なやみごと・生きかた相談の認知度については、「知っている」が52.1%、「知らない」が39.6%である。

項目	件数	割合
知っている	25	52.1%
知らない	19	39.6%
無回答	4	8.3%

n=48



n=48



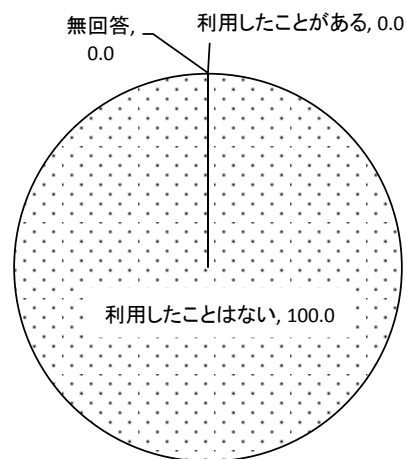
n=48

・利用の有無

なやみごと・生きかた相談の利用の有無については、すべての有効回答が「利用したことはない」である。

項目	件数	割合
利用したことがある	0	0.0%
利用したことはない	25	100.0%
無回答	0	0.0%

n=25



n=25

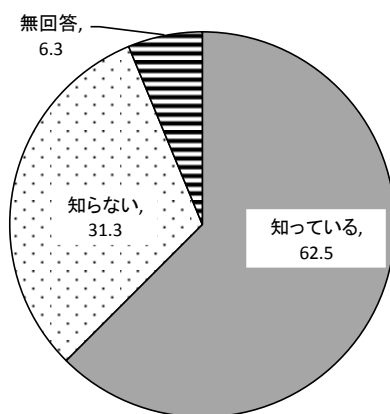
・女性弁護士による法律相談

・認知度

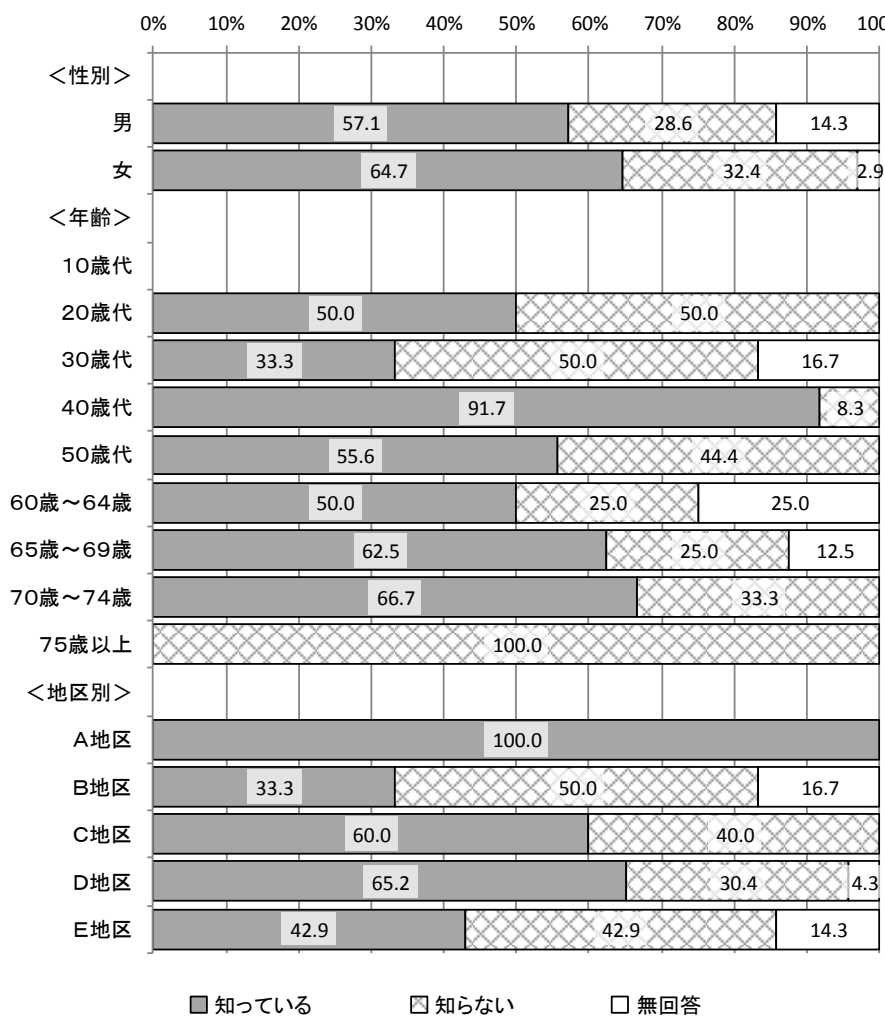
女性弁護士による法律相談の認知度については、「知っている」が62.5%、「知らない」が31.3%である。

項目	件数	割合
知っている	30	62.5%
知らない	15	31.3%
無回答	3	6.3%

n=48



n=48



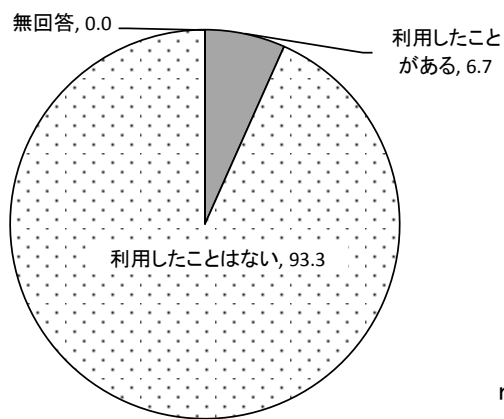
n=48

・利用の有無

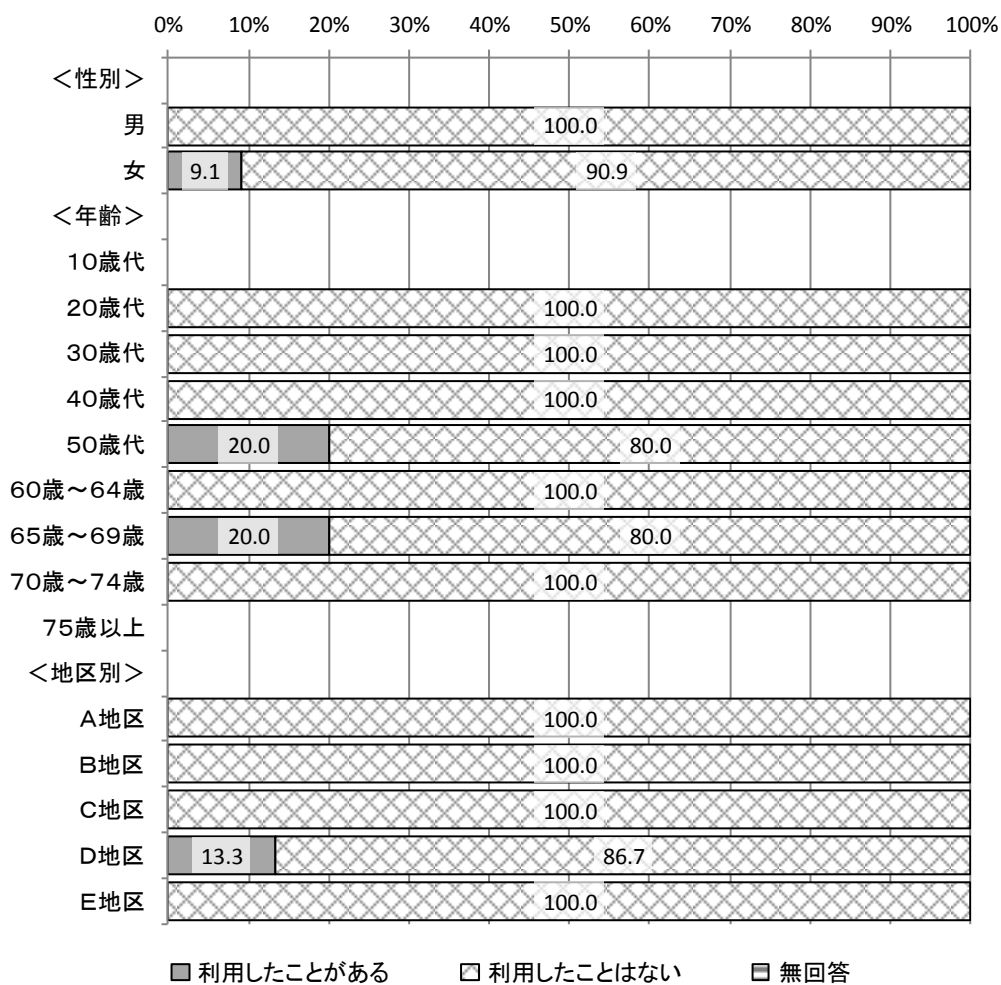
女性弁護士による法律相談の利用の有無については、「利用したことはない」が93.3%、「利用したことがある」が6.7%である。

項目	件数	割合
利用したことがある	2	6.7%
利用したことはない	28	93.3%
無回答	0	0.0%

n=30



n=30



n=30

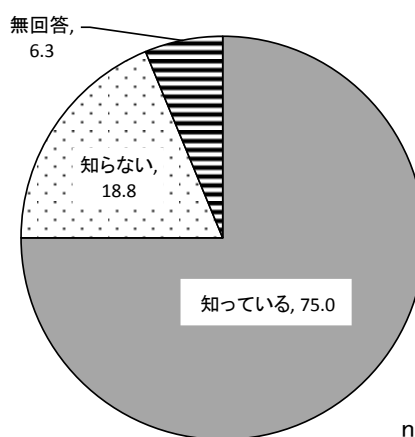
・情報誌『YOU・I』

・認知度

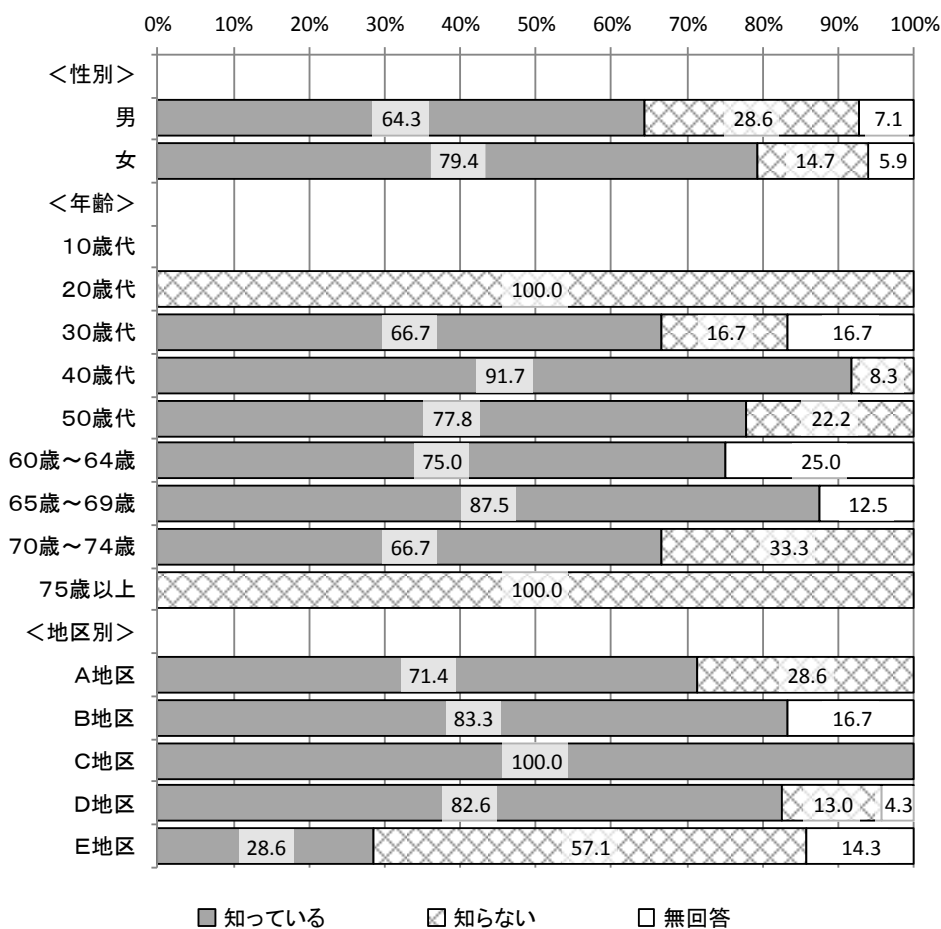
情報誌『YOU・I』の認知度については、「知っている」が75.0%、「知らない」が18.8%である。

項目	件数	割合
知っている	36	75.0%
知らない	9	18.8%
無回答	3	6.3%

n=48



n=48



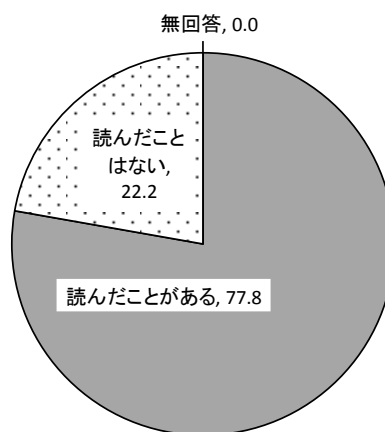
n=48

・ 読んだことの有無

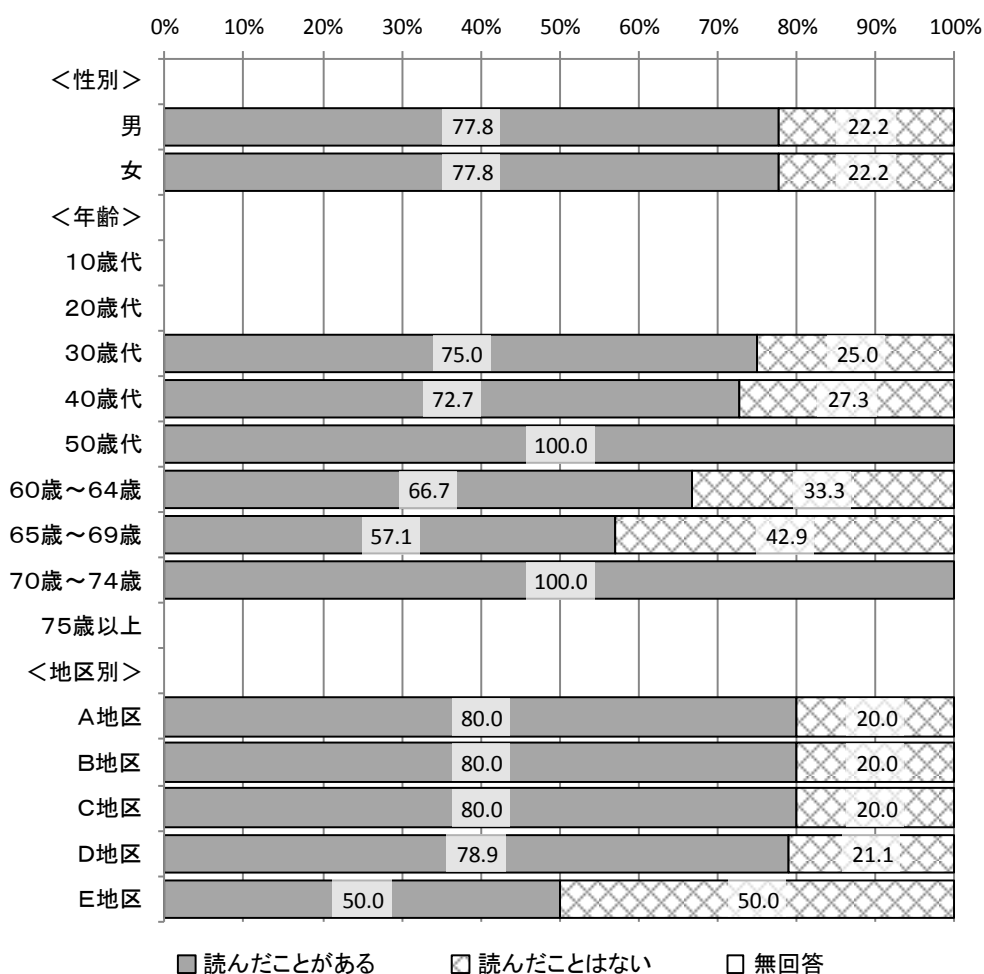
情報誌『YOU・I』を読んだことがあるかどうかについては、「読んだことがある」が77.8%、「読んだことはない」が22.2%である。

項目	件数	割合
読んだことがある	28	77.8%
読んだことはない	8	22.2%
無回答	0	0.0%

n=36



n=36



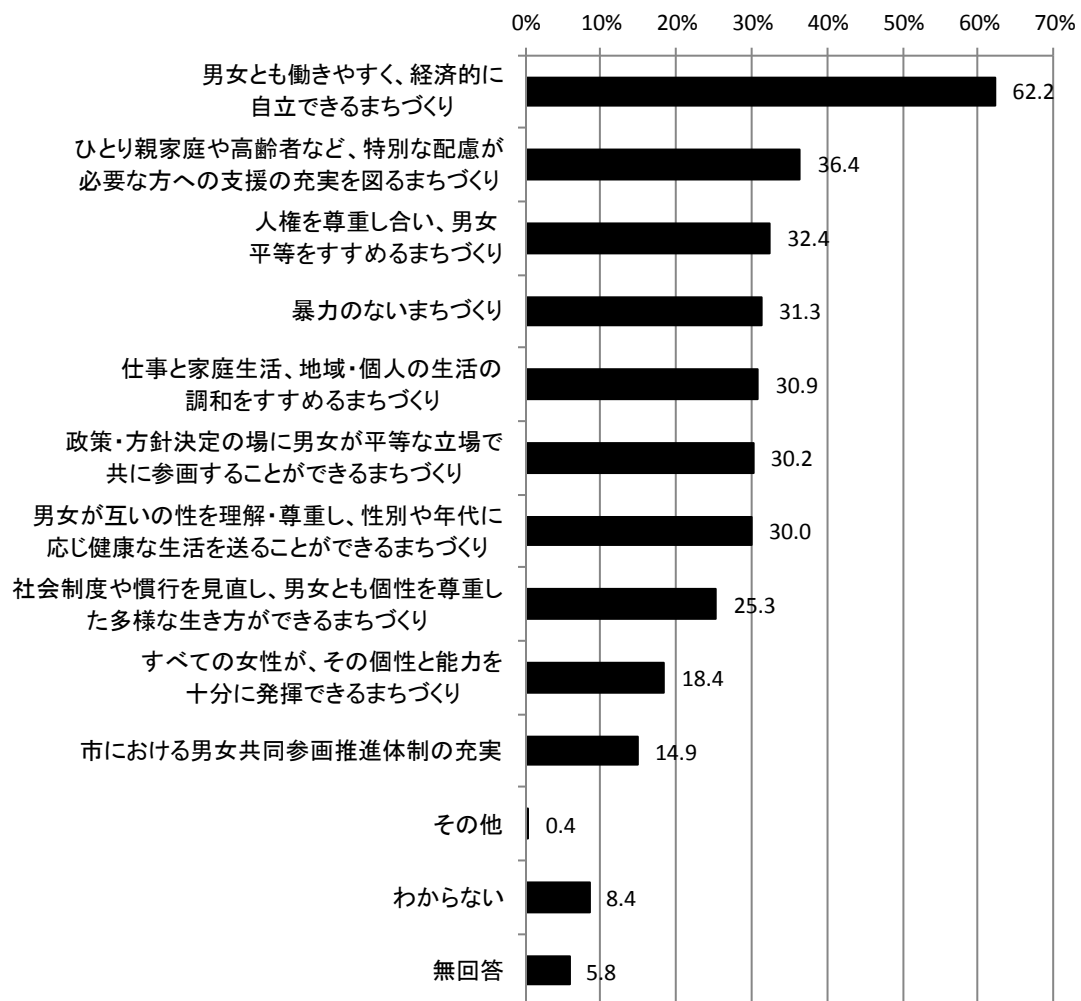
n=36

問 56 男女共同参画社会を実現させるために、市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(〇はいくつでも)

市が今後力を入れていくべきと思うことについては、「男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり」が62.2%で最も多く、以下「ひとり親家庭や高齢者など、特別な配慮が必要な方への支援の充実を図るまちづくり」(36.4%)、「人権を尊重し合い、男女平等をすすめるまちづくり」(32.4%)と続く。

項目	件数	割合
男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり	280	62.2%
ひとり親家庭や高齢者など、特別な配慮が必要な方への支援の充実を図るまちづくり	164	36.4%
人権を尊重し合い、男女平等をすすめるまちづくり	146	32.4%
暴力のないまちづくり	141	31.3%
仕事と家庭生活、地域・個人の生活の調和をすすめるまちづくり	139	30.9%
政策・方針決定の場に男女が平等な立場で共に参画することができるまちづくり	136	30.2%
男女が互いの性を理解・尊重し、性別や年代に応じ健康な生活を送ることができるまちづくり	135	30.0%
社会制度や慣行を見直し、男女とも個性を尊重した多様な生き方ができるまちづくり	114	25.3%
すべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できるまちづくり	83	18.4%
市における男女共同参画推進体制の充実	67	14.9%
その他	2	0.4%
わからない	38	8.4%
無回答	26	5.8%

n=450



n=450

<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

教育

問 57 子どもたちの教育をより一層充実するために、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(○は3つまで)

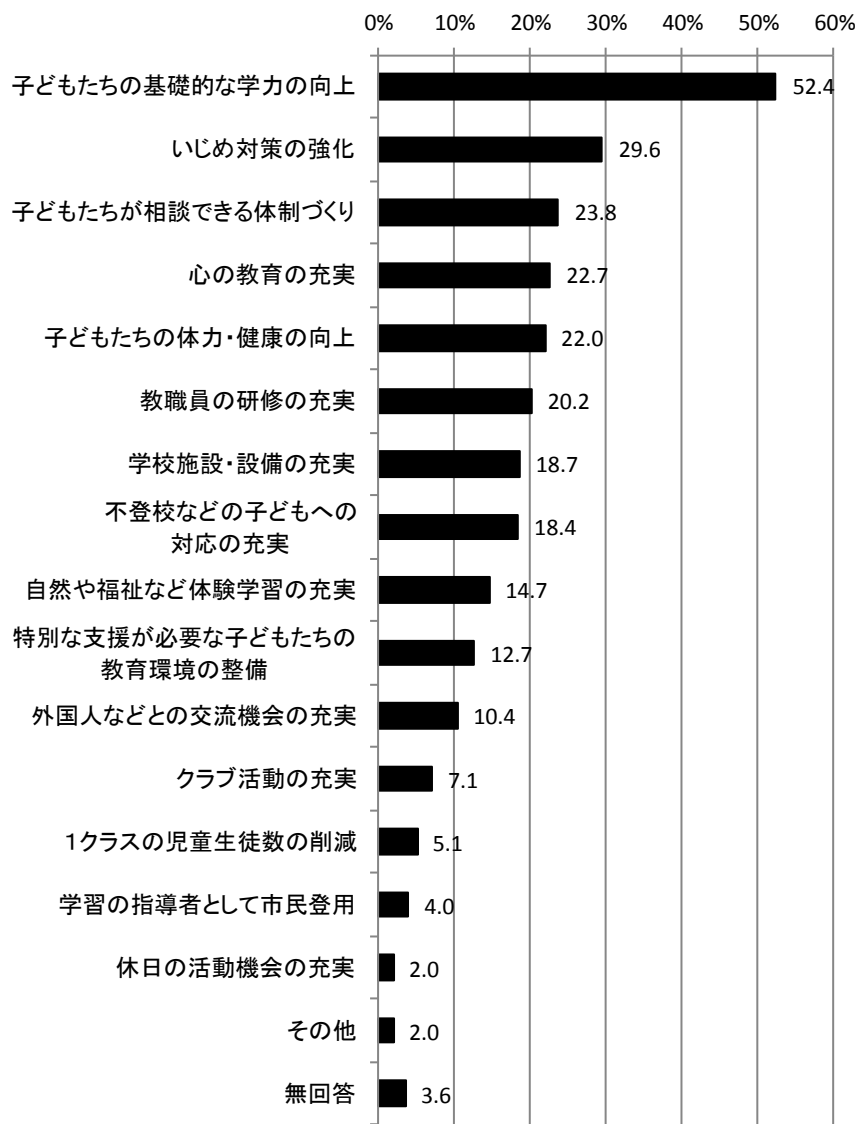
市の教育施策として重点をおいてほしい項目としては、「子どもたちの基礎的な学力の向上」が52.4%で最も多く、以下「いじめ対策の強化」(29.6%)、「子供たちが相談できる体制づくり」(23.8%)、「心の教育の充実」(22.7%)と続く。

項目	件数	割合
子どもたちの基礎的な学力の向上	236	52.4%
いじめ対策の強化	133	29.6%
子どもたちが相談できる体制づくり	107	23.8%
心の教育の充実	102	22.7%
子どもたちの体力・健康の向上	99	22.0%
教職員の研修の充実	91	20.2%
学校施設・設備の充実	84	18.7%
不登校などの子どもへの対応の充実	83	18.4%
自然や福祉など体験学習の充実	66	14.7%
特別な支援が必要な子どもたちの教育環境の整備	57	12.7%
外国人などとの交流機会の充実	47	10.4%
クラブ活動の充実	32	7.1%
1クラスの児童生徒数の削減	23	5.1%
学習の指導者として市民登用	18	4.0%
休日の活動機会の充実	9	2.0%
その他	9	2.0%
無回答	16	3.6%

n=450

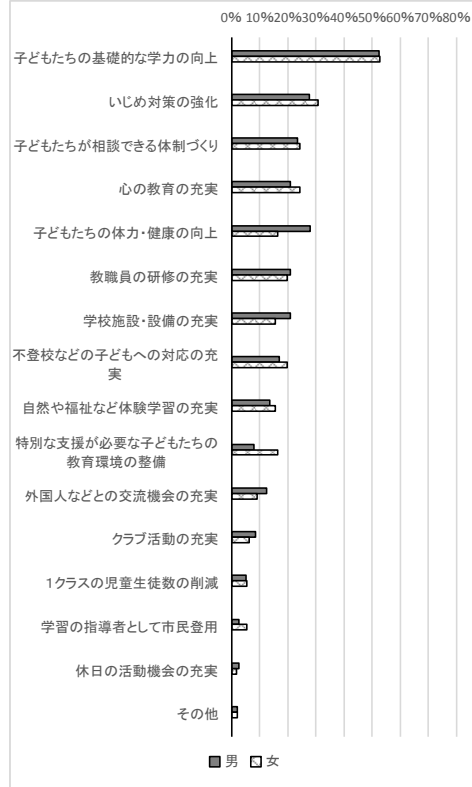
(「その他」の詳細)

- ・教員の増員
- ・教職員への支援
- ・教職員のレベルアップ
- ・教職員が休みやすくなってほしい。行事を減らしてほしい
- ・子供達を見守るための人員を募集する(特に高齢者に協力を求める)
- ・自由に使える時間も大切
- ・あたり前の道徳教育の充実
- ・行政は教育の自由を侵害すべきでない

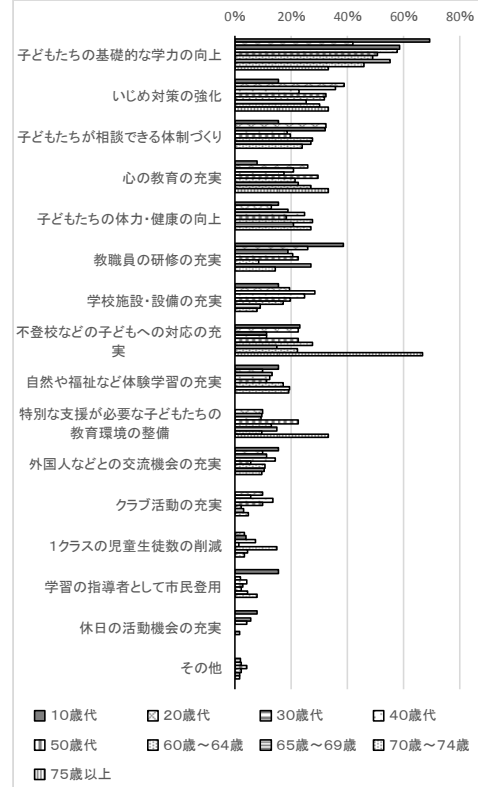


n=450

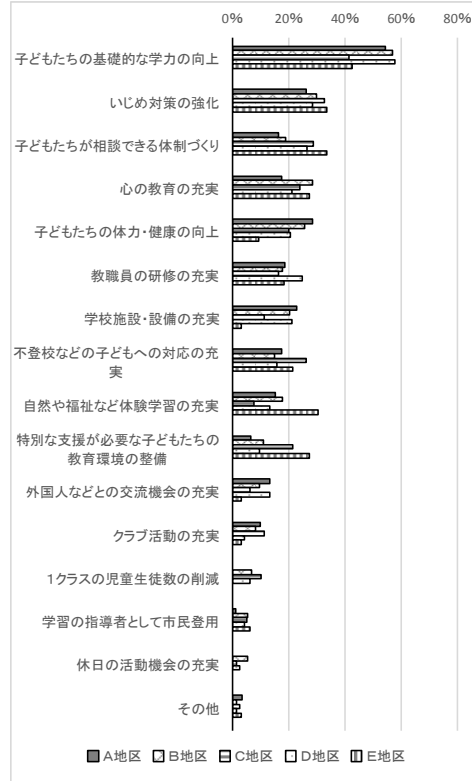
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

問 58 生涯学習をより一層充実させるために、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。(〇は3つまで)

生涯学習分野で充実を望むこととしては、「学習するための施設の充実」が 36.2%で最も多く、次いで「学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する」(33.6%)、「講座や教室の内容の充実」(30.4%)の順である。

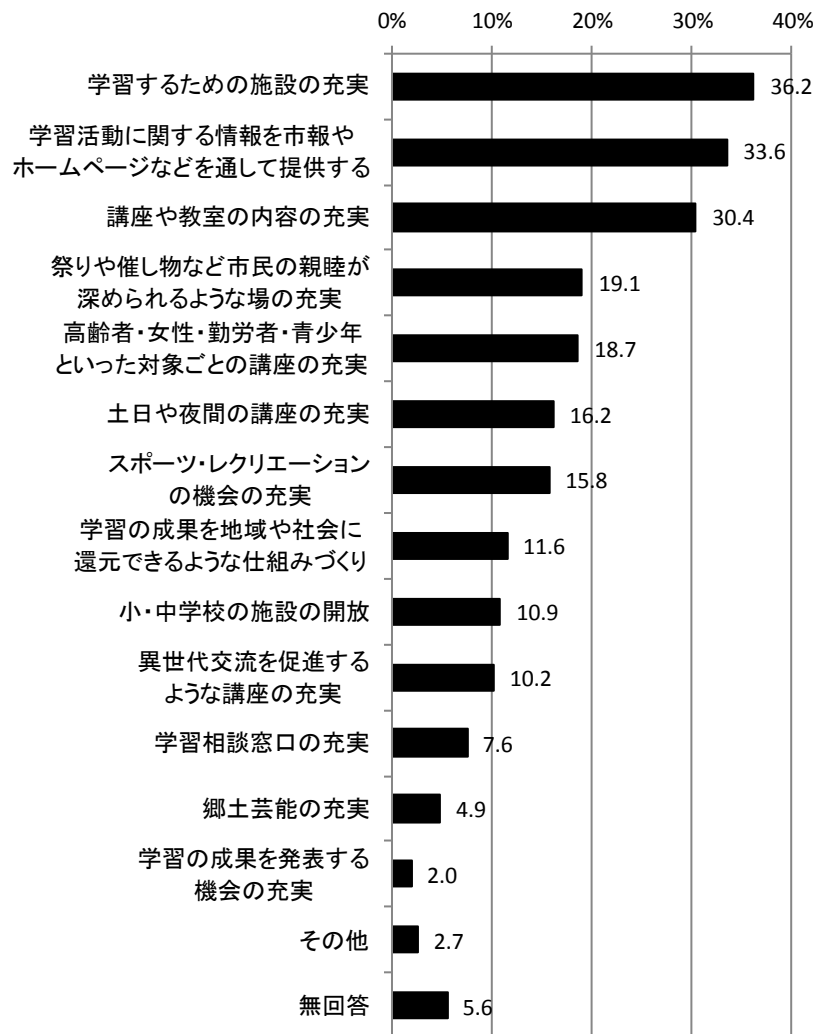
項目	件数	割合
学習するための施設の充実	163	36.2%
学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する	151	33.6%
講座や教室の内容の充実	137	30.4%
祭りや催し物など市民の親睦が深められるような場の充実	86	19.1%
高齢者・女性・勤労者・青少年といった対象ごとの講座の充実	84	18.7%
土日や夜間の講座の充実	73	16.2%
スポーツ・レクリエーションの機会の充実	71	15.8%
学習の成果を地域や社会に還元できるような仕組みづくり	52	11.6%
小・中学校の施設の開放	49	10.9%
異世代交流を促進するような講座の充実	46	10.2%
学習相談窓口の充実	34	7.6%
郷土芸能の充実	22	4.9%
学習の成果を発表する機会の充実	9	2.0%
その他	12	2.7%
無回答	25	5.6%

n=450

(「その他」の詳細)

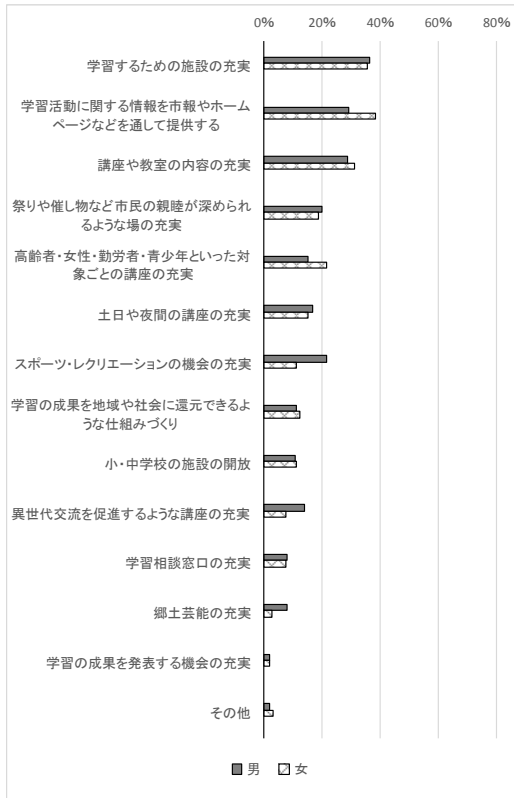
- ・企業や大学との協力
- ・図書館の充実
- ・職員体制の充実
- ・障がい児の支援
- ・市・学校は色々やっていると思う。大人も子供も参加、協力があれば充実すると思う
- ・フェイスブック、ツイッター、インスタでの情報提供、1日に何度も更新してほしい。明るく楽しい感じで
- ・市民が行っている自主的な活動の後押し。金銭的ではなく何かの市の事業とタ

- ・エアップするなど。しがらみにとらわれない取り組みが必要
- ・芸術関係(音楽、文学、絵画)もあると良いのですが…。武蔵村山市の生涯学習のことは一切知っておりません。他の街のことは友人から情報を得られますが、この街では何も入っては来ません。私は歌と詩のサークルに入っていますが、ここでもこうした情報はありません
- ・市がやることではないと思う



n=450

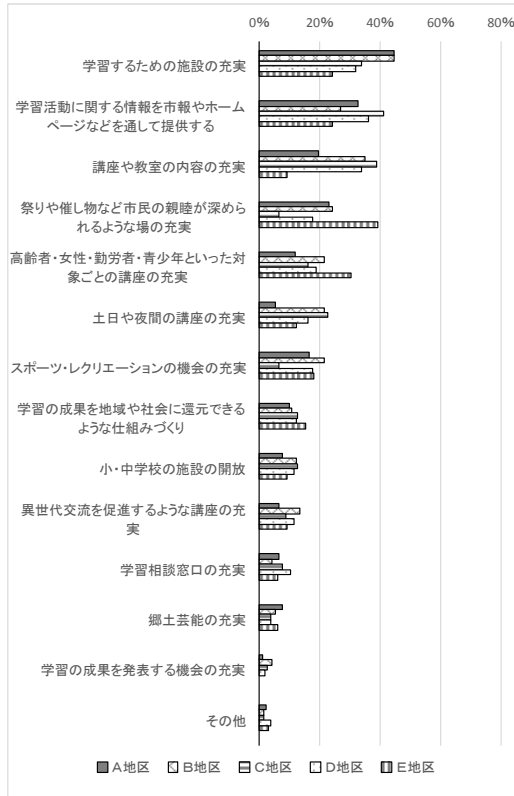
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

4-4 快適で暮らしやすいまちづくり

都市基盤

問 59 あなたは、今後、武蔵村山市内においてどのような土地利用に力を入れてほしいですか。(〇は2つまで)

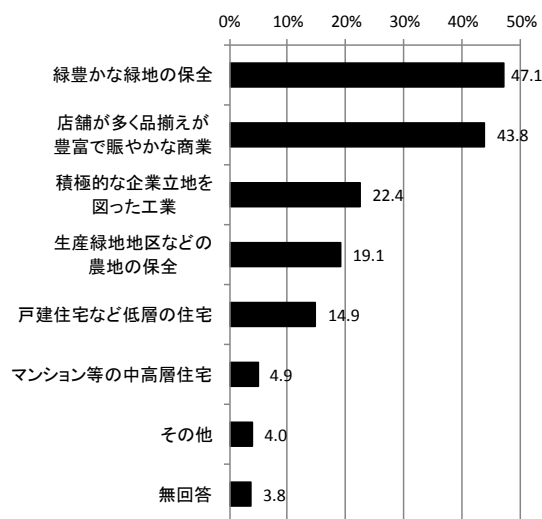
力を入れてほしい土地利用としては、「緑豊かな緑地の保全」が 47.1%で最も多く、以下「店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業」(43.8%)、「積極的な企業立地を図った工業」(22.4%)、「生産緑地地区などの農地の保全」(19.1%)と続く。

項目	件数	割合
緑豊かな緑地の保全	212	47.1%
店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業	197	43.8%
積極的な企業立地を図った工業	101	22.4%
生産緑地地区などの農地の保全	86	19.1%
戸建住宅など低層の住宅	67	14.9%
マンション等の中高層住宅	22	4.9%
その他	18	4.0%
無回答	17	3.8%

n=450

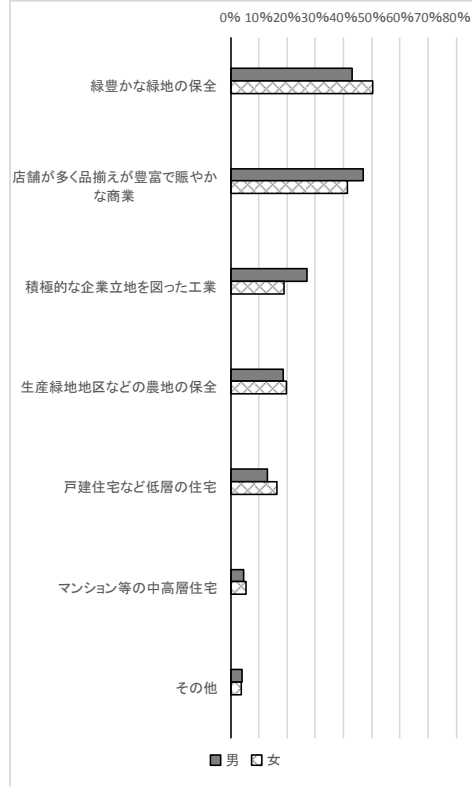
(「その他」の詳細)

- ・モノレール、公共交通機関 (3 件)
- ・公園 (2 件)
- ・商店街の充実 (2 件)
- ・病院 (2 件)
- ・自然を利用したレクリエーション施設 (2 件)
- ・スポーツ施設
- ・空家対策、有効利用
- ・テーマパーク等の誘致
- ・給食センターの新しい建物
- ・子供たちの教育の中に農家の仕事を取り込む
- ・お金持ちが引っ越してきたくなるような街づくり

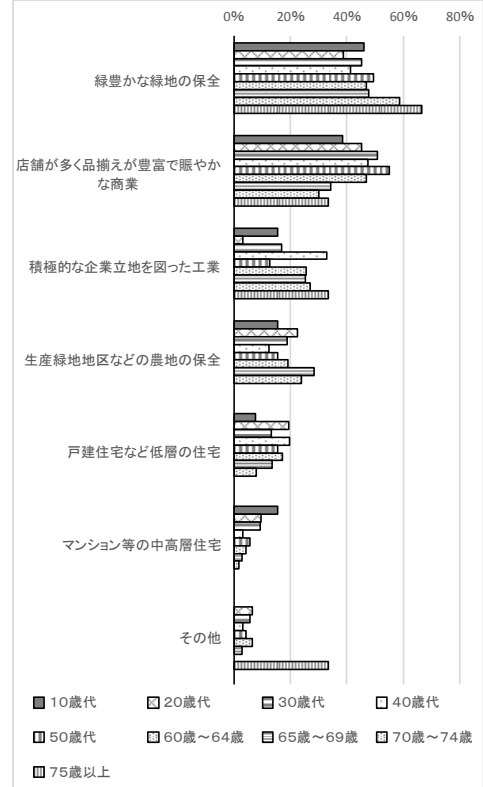


n=450

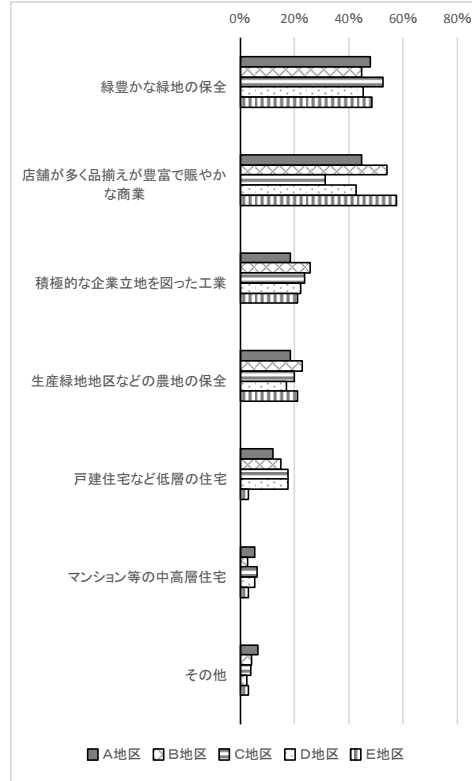
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

問 60 あなたは、今後、どのような都市基盤整備を推進していくべきだと思いますか。

(○は3つまで)

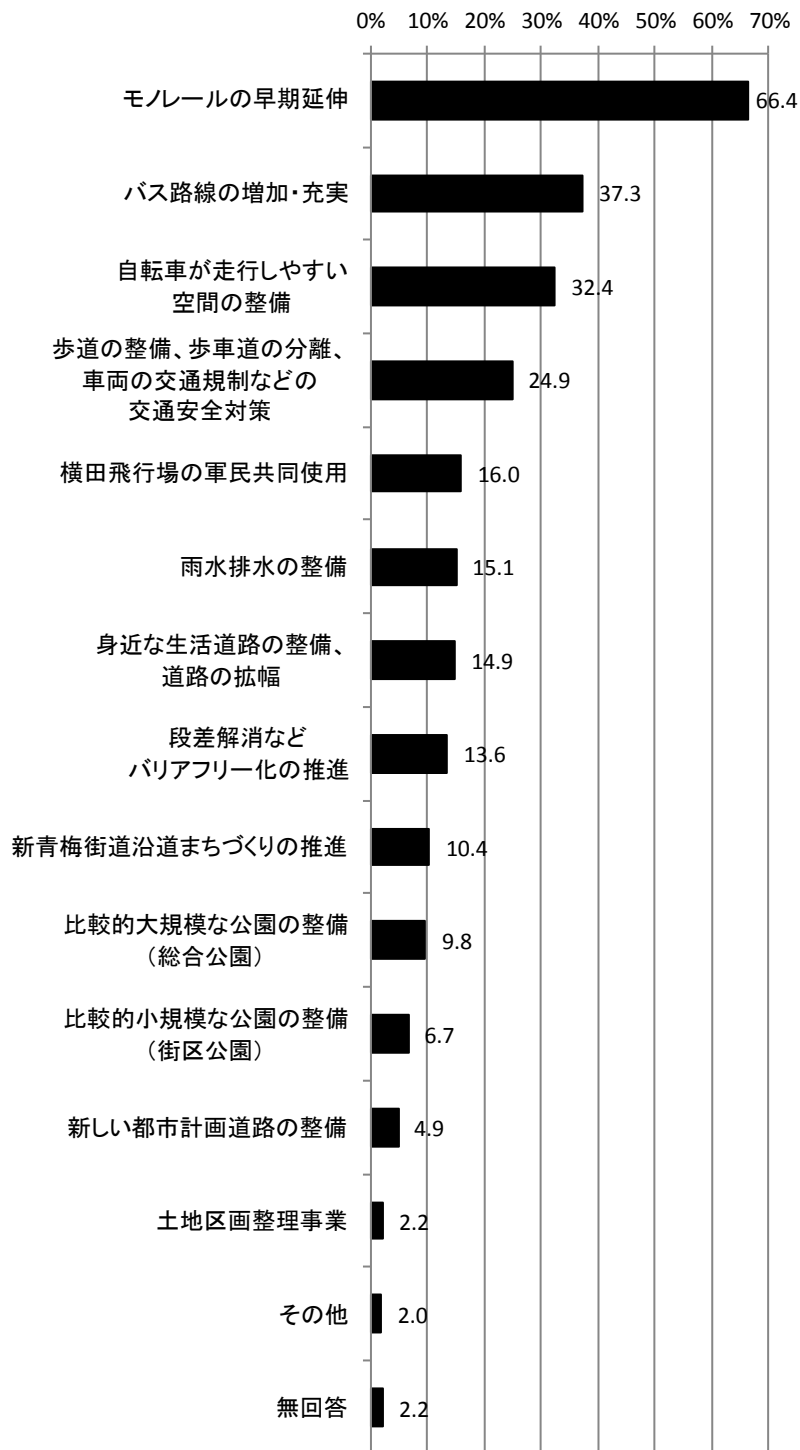
今後推進すべきと考える都市基盤整備の内容としては、「モノレールの早期延伸」が66.4%で最も多く、以下「バス路線の増加・充実」(37.3%)、「自転車が走行しやすい空間の整備」(32.4%)、「歩道の整備、歩車道の分離、車両の通行規制などの交通安全対策」(24.9%)と続く。

項目	件数	割合
モノレールの早期延伸	299	66.4%
バス路線の増加・充実	168	37.3%
自転車が走行しやすい空間の整備	146	32.4%
歩道の整備、歩車道の分離、車両の交通規制などの交通安全対策	112	24.9%
横田飛行場の軍民共同使用	72	16.0%
雨水排水の整備	68	15.1%
身近な生活道路の整備、道路の拡幅	67	14.9%
段差解消などバリアフリー化の推進	61	13.6%
新青梅街道沿道まちづくりの推進	47	10.4%
比較的大規模な公園の整備(総合公園)	44	9.8%
比較的小規模な公園の整備(街区公園)	30	6.7%
新しい都市計画道路の整備	22	4.9%
土地区画整理事業	10	2.2%
その他	9	2.0%
無回答	10	2.2%

n=450

(「その他」の詳細)

- ・ 鉄道 (2 件)
- ・ 横田基地撤去
- ・ 無料の駐輪場
- ・ 自然環境が整っていないと人間の心も育たない
- ・ 最寄駅の駐車場の確保
- ・ 広報の塔を作ってください!
- ・ 宅地の緑化



n=450

<性別>



<年齢別>



<地区別>



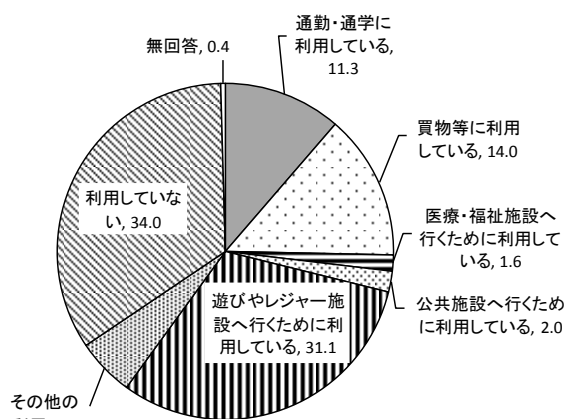
n=450

問 61 あなたは、多摩都市モノレールを利用していますか。(○は1つ)

多摩都市モノレールの利用現況については、「利用していない」が34.0%で最も多く、次いで「遊びやレジャー施設へ行くために利用している」(31.1%)、「買物等に利用している」(14.0%)、「通勤・通学に利用している」(11.3%)の順である。

項目	件数	割合
通勤・通学に利用している	51	11.3%
買物等に利用している	63	14.0%
医療・福祉施設へ行くために利用している	7	1.6%
公共施設へ行くために利用している	9	2.0%
遊びやレジャー施設へ行くために利用している	140	31.1%
その他の利用	25	5.6%
利用していない	153	34.0%
無回答	2	0.4%

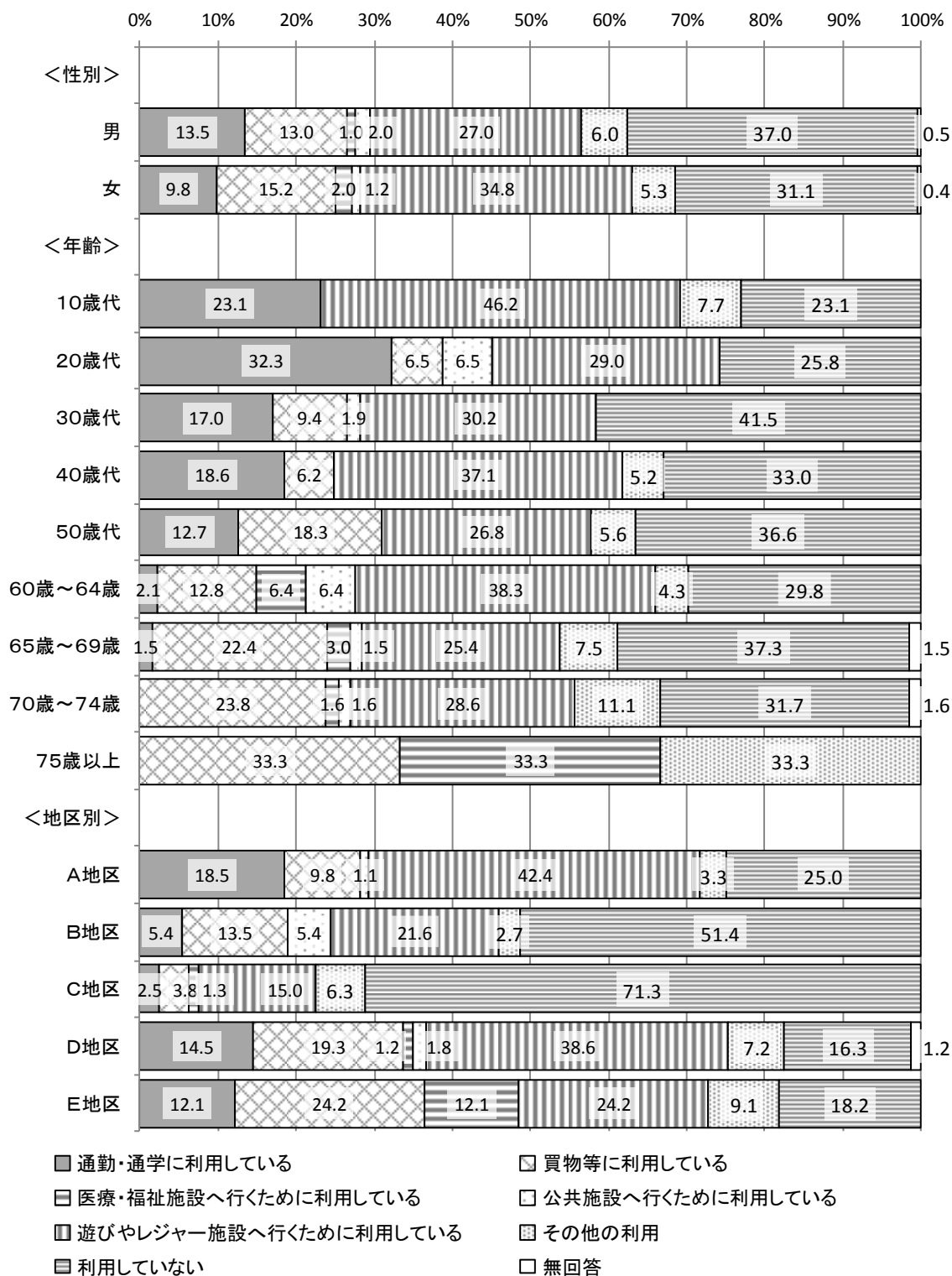
n=450



n=450

(「その他」の詳細)

- ・ 都内にでかける時
- ・ 月一回程度、実家へ行く
- ・ 娘宅に行くために
- ・ 年に何回か
- ・ 私的な用事
- ・ 仕事の出張
- ・ 仕事で
- ・ バス、自家用車
- ・ 通勤に使うことがある
- ・ 必要に応じ利用
- ・ これしか移動手段がないとき
- ・ 時々病院などへ利用しています
- ・ 医療・福祉施設へ行く時、まれに利用せざるを得ない
- ・ 立川駅を利用する為に
- ・ バス⇒立川北口ー武蔵村山市役所間乗降場所が遠い(殆ど利用しない)



n=450

問 62 あなたは、多摩都市モノレールが市内まで延伸した場合、モノレールを主にどのように利用しますか。(○は1つ)

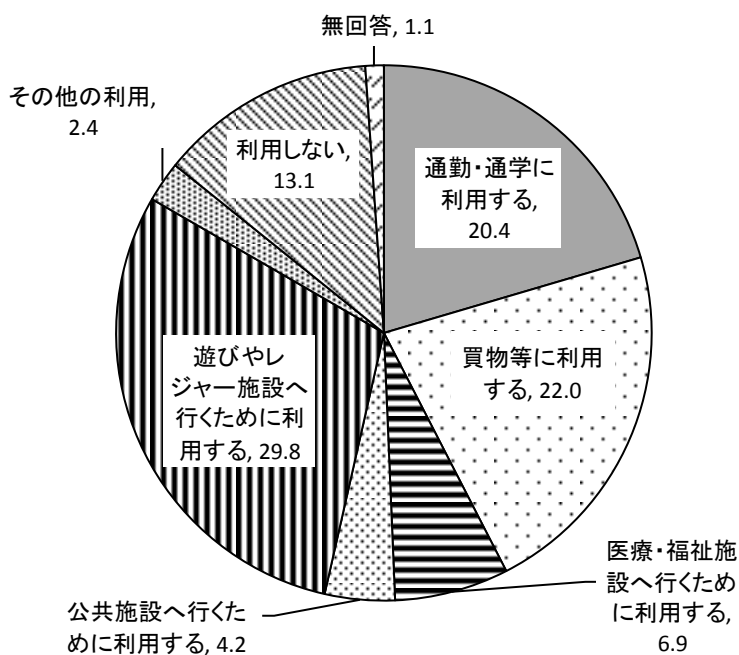
多摩都市モノレール延伸時点における利用意向については、「遊びやレジャー施設へ行くために利用する」が29.8%で最も多く、次いで「買物等に利用する」(22.0%)、「通勤・通学に利用する」(20.4%)の順である。

項目	件数	割合
通勤・通学に利用する	92	20.4%
買物等に利用する	99	22.0%
医療・福祉施設へ行くために利用する	31	6.9%
公共施設へ行くために利用する	19	4.2%
遊びやレジャー施設へ行くために利用する	134	29.8%
その他の利用	11	2.4%
利用しない	59	13.1%
無回答	5	1.1%

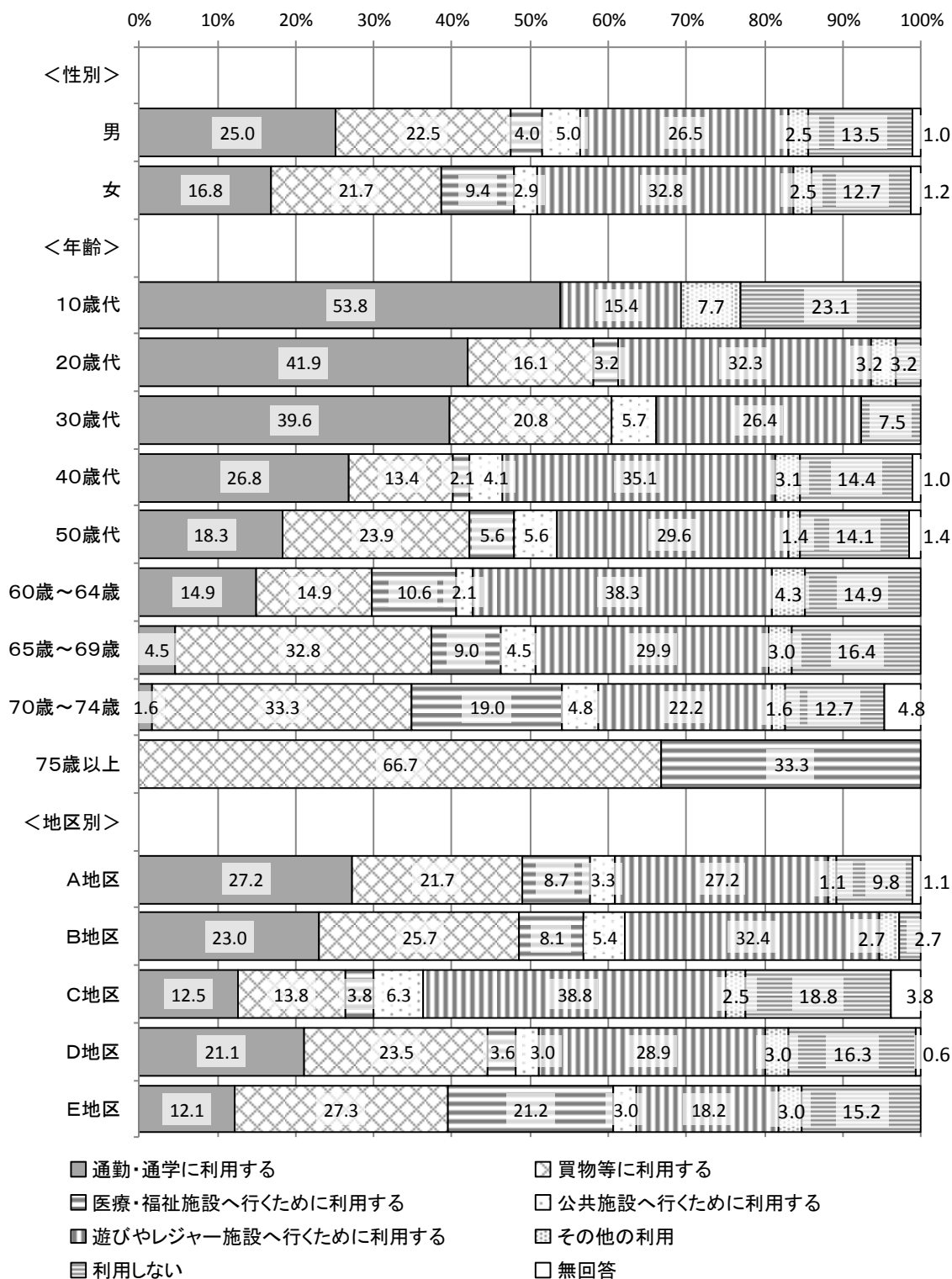
n=450

(「その他」の詳細)

- ・家族との交流。親戚との交流
- ・駅が近ければ利用する
- ・月一回程度、実家へ行く
- ・今まで同様
- ・すべてにおいて利用
- ・子供に通学で利用するように提案する
- ・時々病院などへ利用します
- ・いろいろと



n=450



n=450

問 63 あなたが通勤・通学以外で利用する施設や場所への移動時間はどのくらいですか。

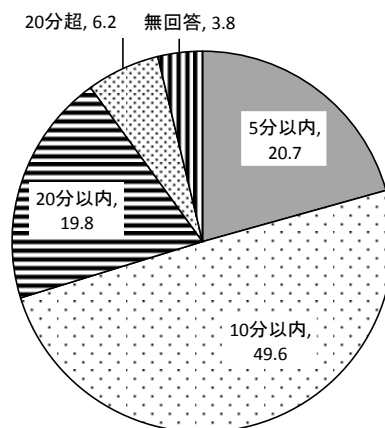
(○はそれぞれ1つ)

・身近な商店（日常の買物）

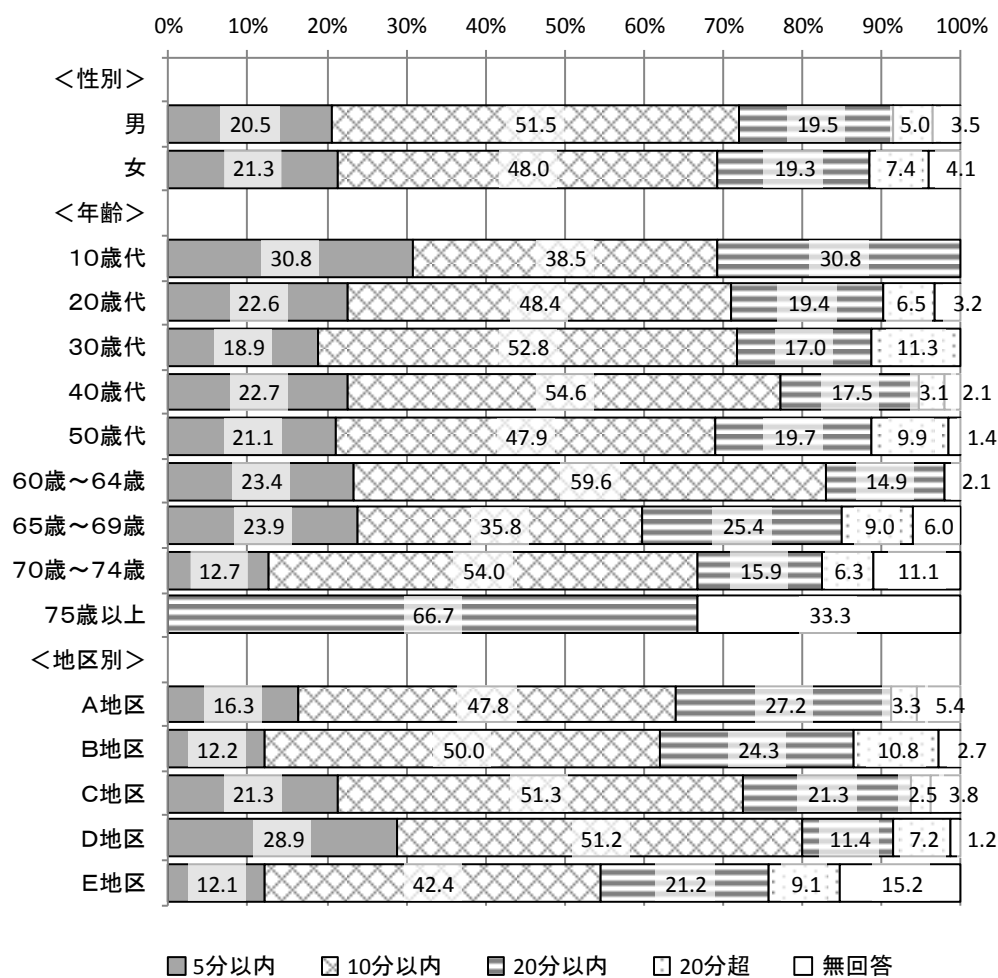
身近な商店（日常の買物）までの移動時間としては、「10分以内」が49.6%で最も多く、続いて「5分以内」(20.7%)、「20分以内」(19.8%)の順である。

項目	件数	割合
5分以内	93	20.7%
10分以内	223	49.6%
20分以内	89	19.8%
20分超	28	6.2%
無回答	17	3.8%

n=450



n=450



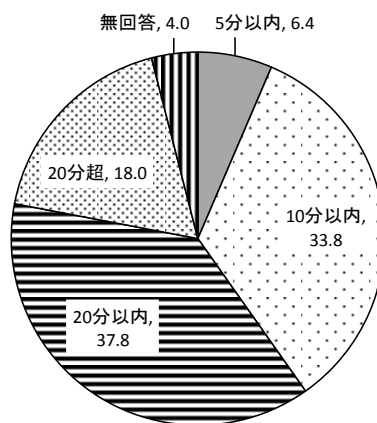
n=450

・大規模な店舗

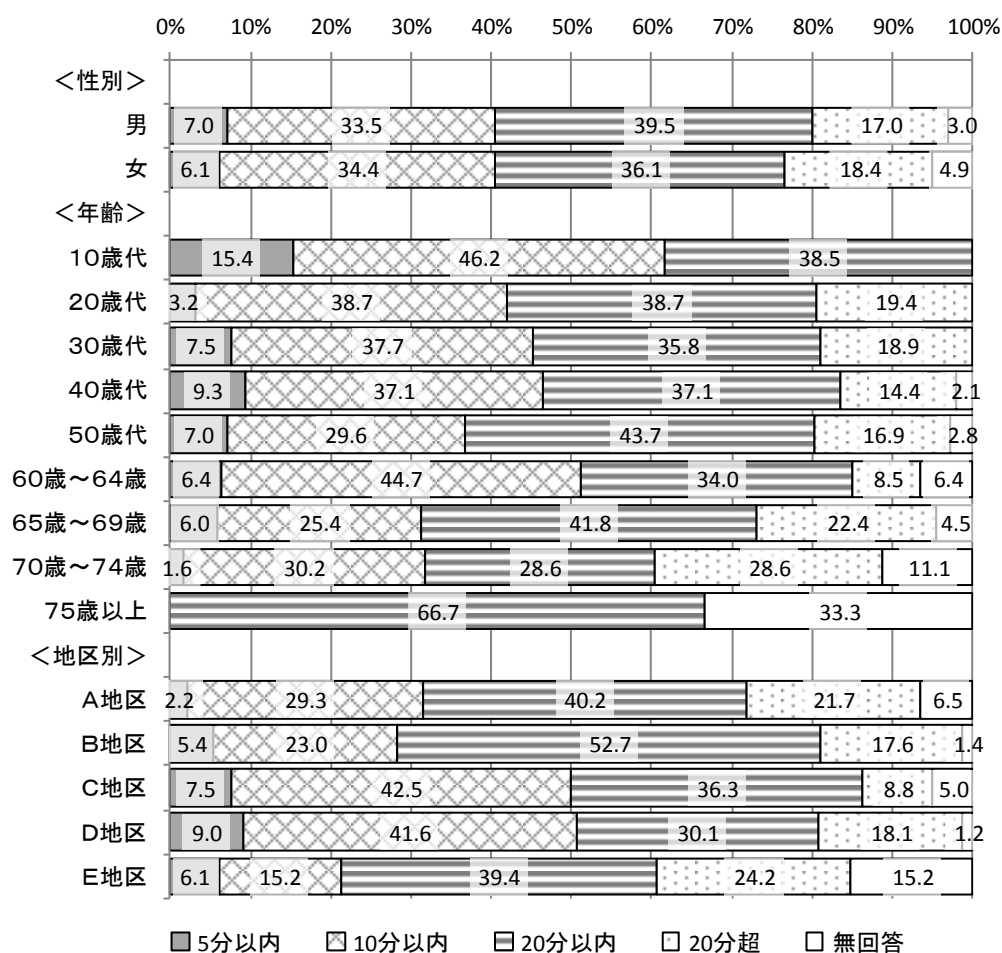
大規模な店舗までの移動時間としては、「20分以内」が37.8%で最も多く、以下「10分以内」(33.8%)、「20分超」(18.0%)と続く。

項目	件数	割合
5分以内	29	6.4%
10分以内	152	33.8%
20分以内	170	37.8%
20分超	81	18.0%
無回答	18	4.0%

n=450



n=450



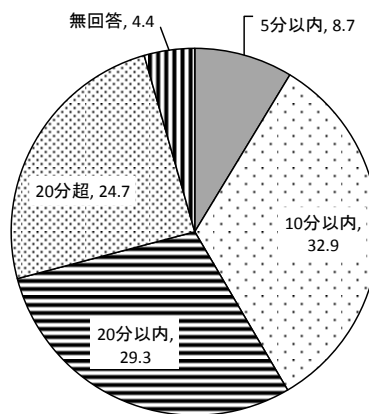
n=450

・病院など（通院）

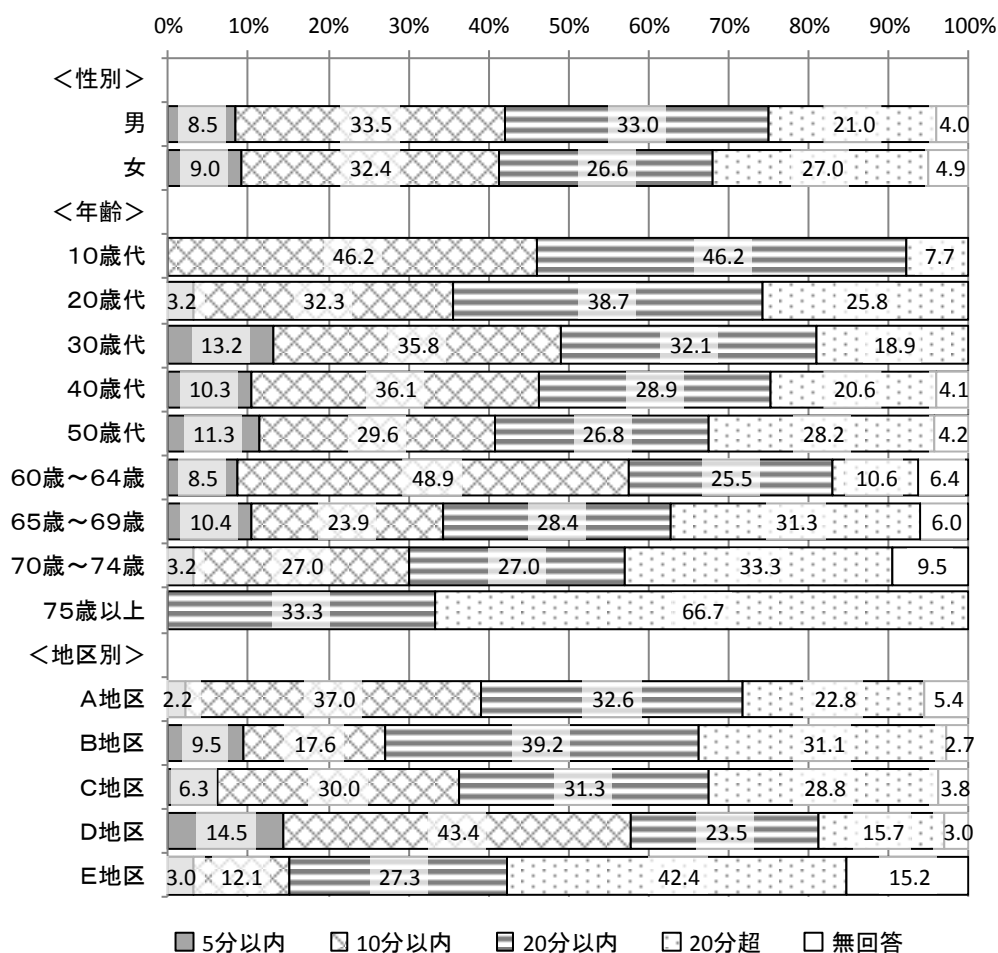
通院先の病院までの移動時間としては、「10分以内」が32.9%で最も多く、以下「20分以内」（29.3%）、「20分超」（24.7%）と続く。

項目	件数	割合
5分以内	39	8.7%
10分以内	148	32.9%
20分以内	132	29.3%
20分超	111	24.7%
無回答	20	4.4%

n=450



n=450



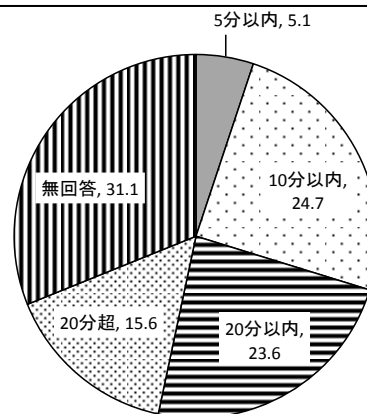
n=450

・福祉施設（デイサービス等）

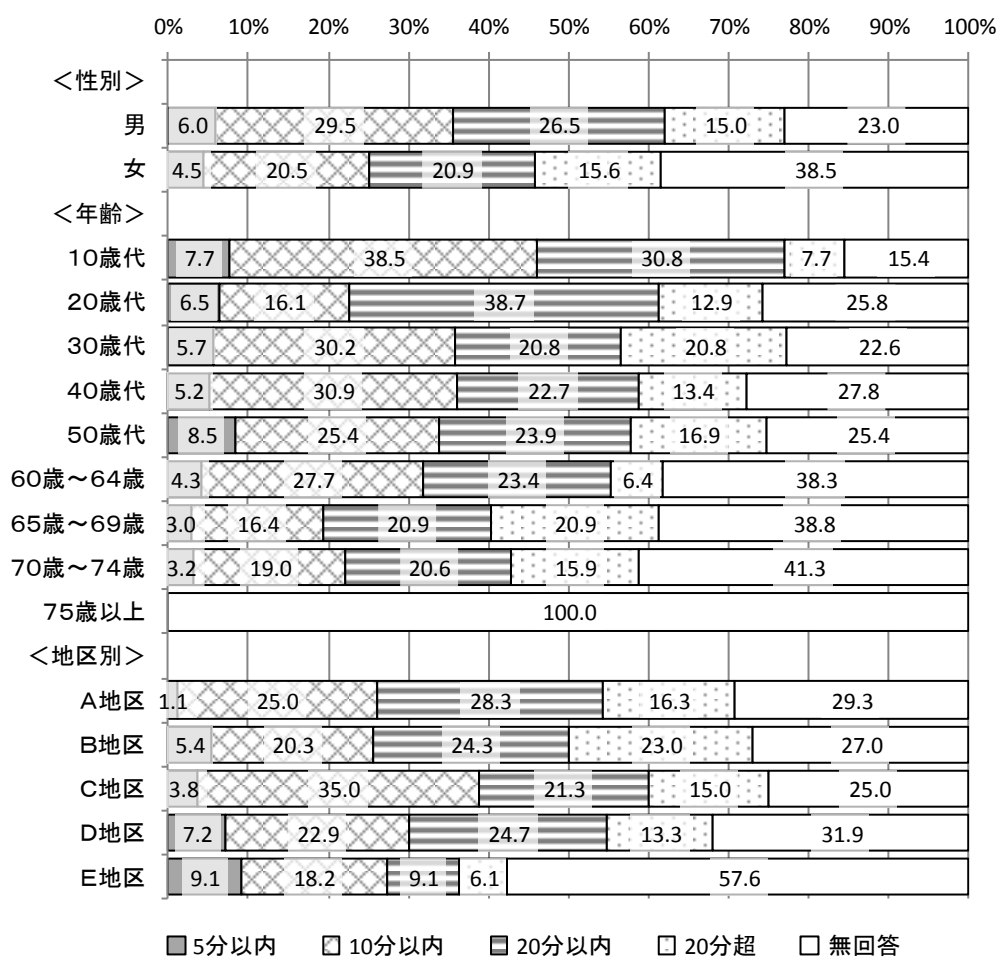
デイサービス等福祉施設までの移動時間としては、「10分以内」が24.7%で最も多く、以下「20分以内」（23.6%）、「20分超」（15.6%）と続く。

項目	件数	割合
5分以内	23	5.1%
10分以内	111	24.7%
20分以内	106	23.6%
20分超	70	15.6%
無回答	140	31.1%

n=450



n=450



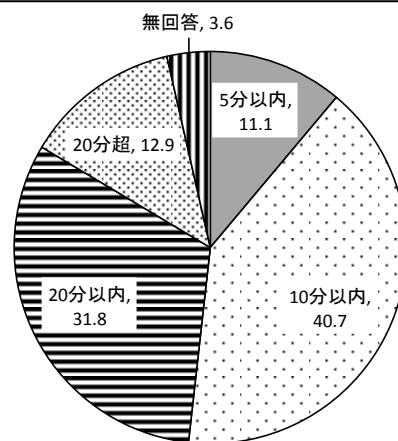
n=450

・市役所・出張所等（市の手続等）

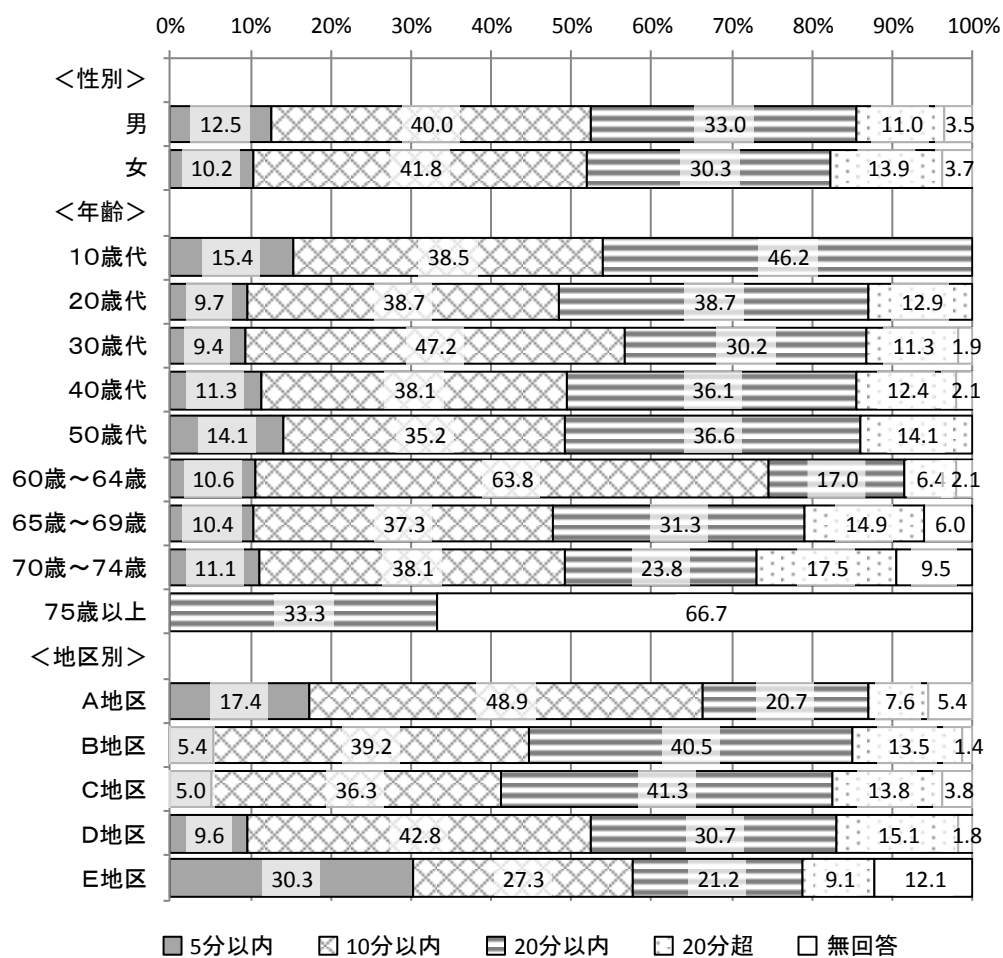
市役所・出張所までの移動時間としては、「10分以内」が40.7%で最も多く、以下「20分以内」（31.8%）、「20分超」（12.9%）と続く。

項目	件数	割合
5分以内	50	11.1%
10分以内	183	40.7%
20分以内	143	31.8%
20分超	58	12.9%
無回答	16	3.6%

n=450



n=450



n=450

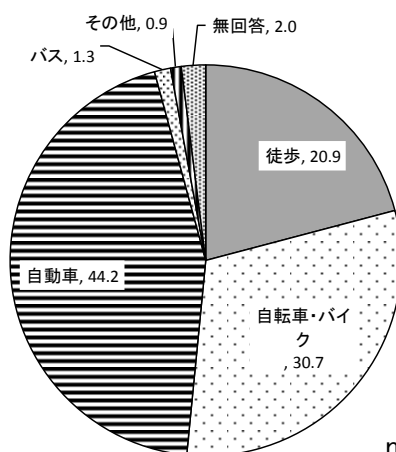
問 63-2 問 63 の施設へ行くための交通手段は何ですか。(○はそれぞれ1つ)

・身近な商店 (日常の買物)

身近な商店 (日常の買物) までの移動手段としては、「自動車」が 44.2% で最も多く、以下「自転車・バイク」(30.7%)、「徒歩」(20.9%) と続く。

項目	件数	割合
徒歩	94	20.9%
自転車・バイク	138	30.7%
自動車	199	44.2%
バス	6	1.3%
その他	4	0.9%
無回答	9	2.0%

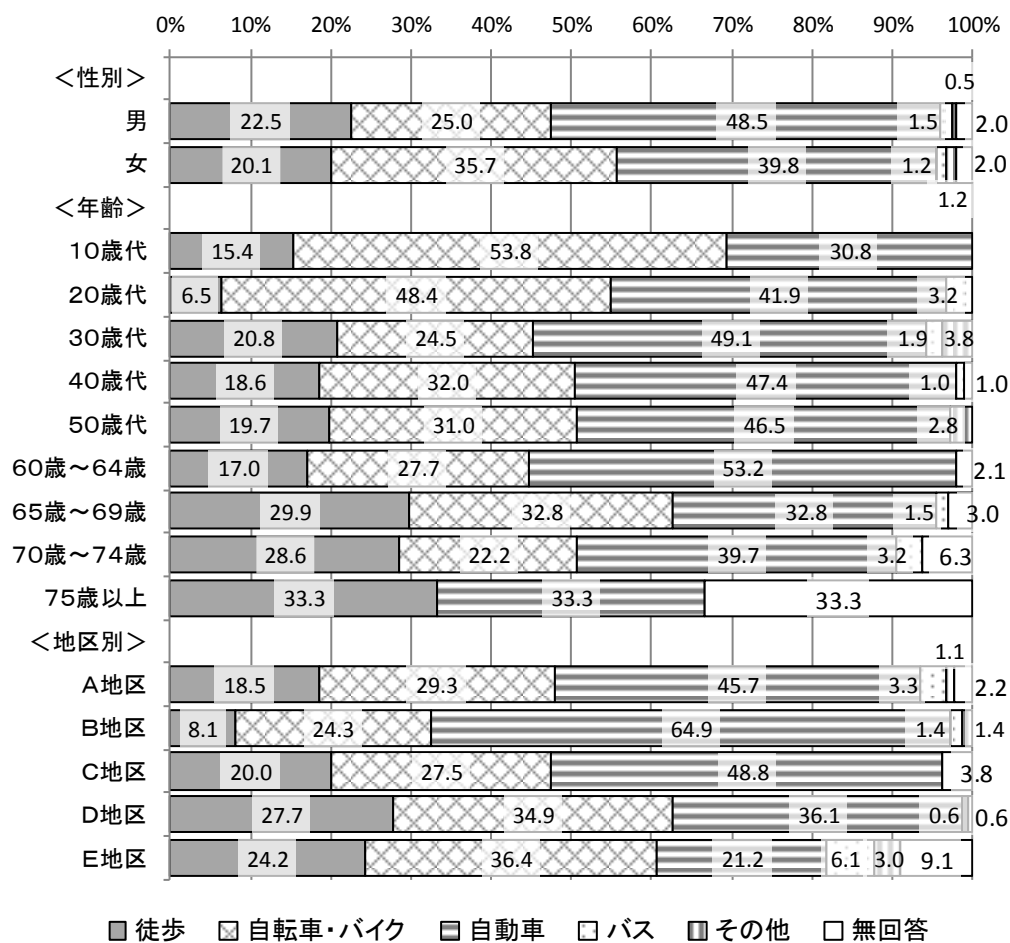
n=450



n=450

(「その他」の詳細)

・モノレール ・友人の車



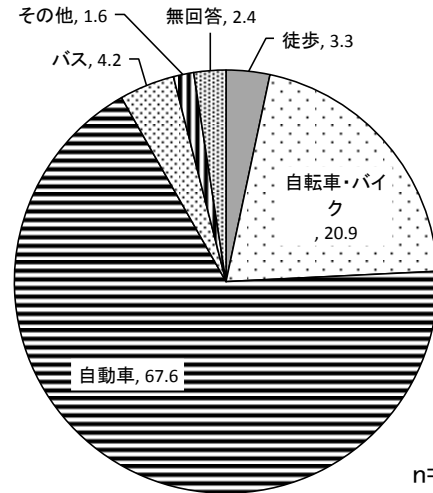
n=450

・大規模な店舗

大規模な店舗までの移動手段としては、「自動車」が 67.6%で最も多く、以下「自転車・バイク」(20.9%)、「バス」(4.2%) と続く。

項目	件数	割合
徒歩	15	3.3%
自転車・バイク	94	20.9%
自動車	304	67.6%
バス	19	4.2%
その他	7	1.6%
無回答	11	2.4%

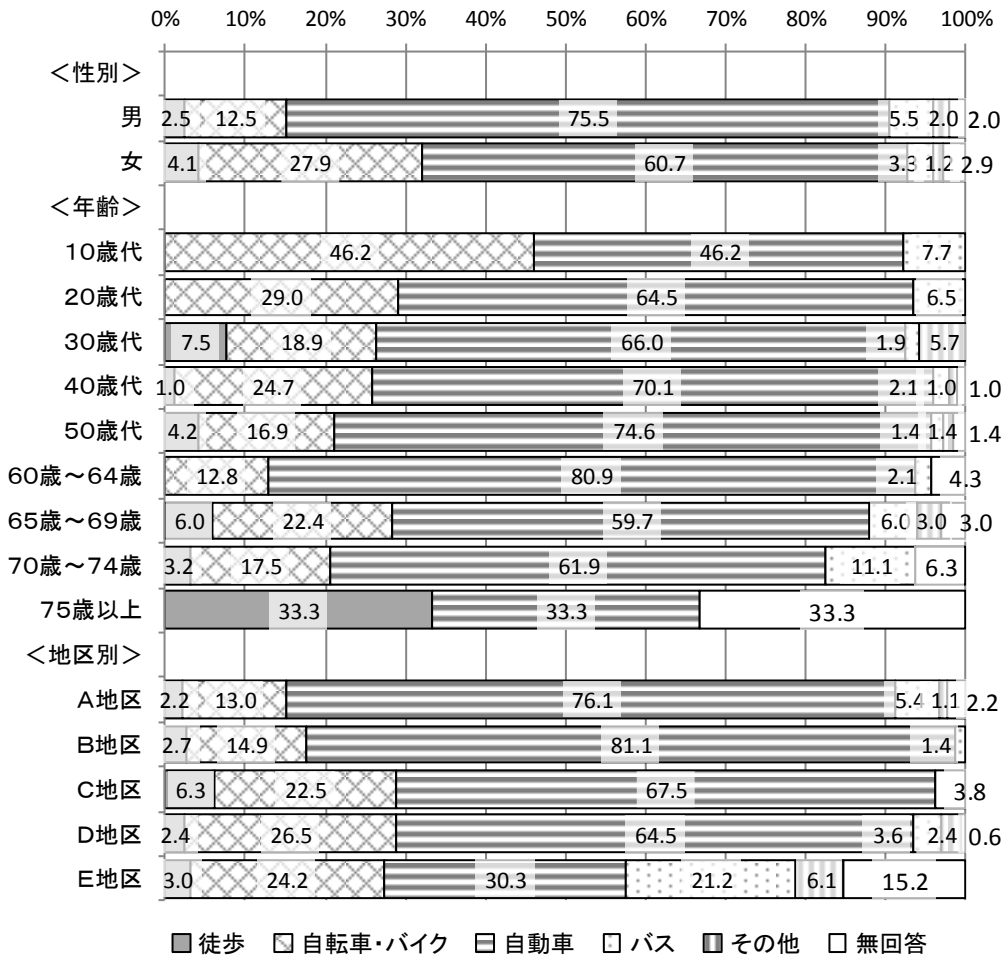
n=450



n=450

(「その他」の詳細)

- ・電車 (2件)
- ・モノレール (2件)



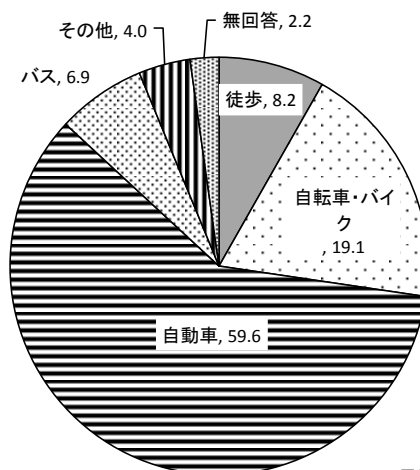
n=450

・病院など（通院）

通院先の病院までの移動手段としては、「自動車」が59.6%で最も多く、以下「自転車・バイク」（19.1%）、「徒歩」（8.2%）の順となった。

項目	件数	割合
徒歩	37	8.2%
自転車・バイク	86	19.1%
自動車	268	59.6%
バス	31	6.9%
その他	18	4.0%
無回答	10	2.2%

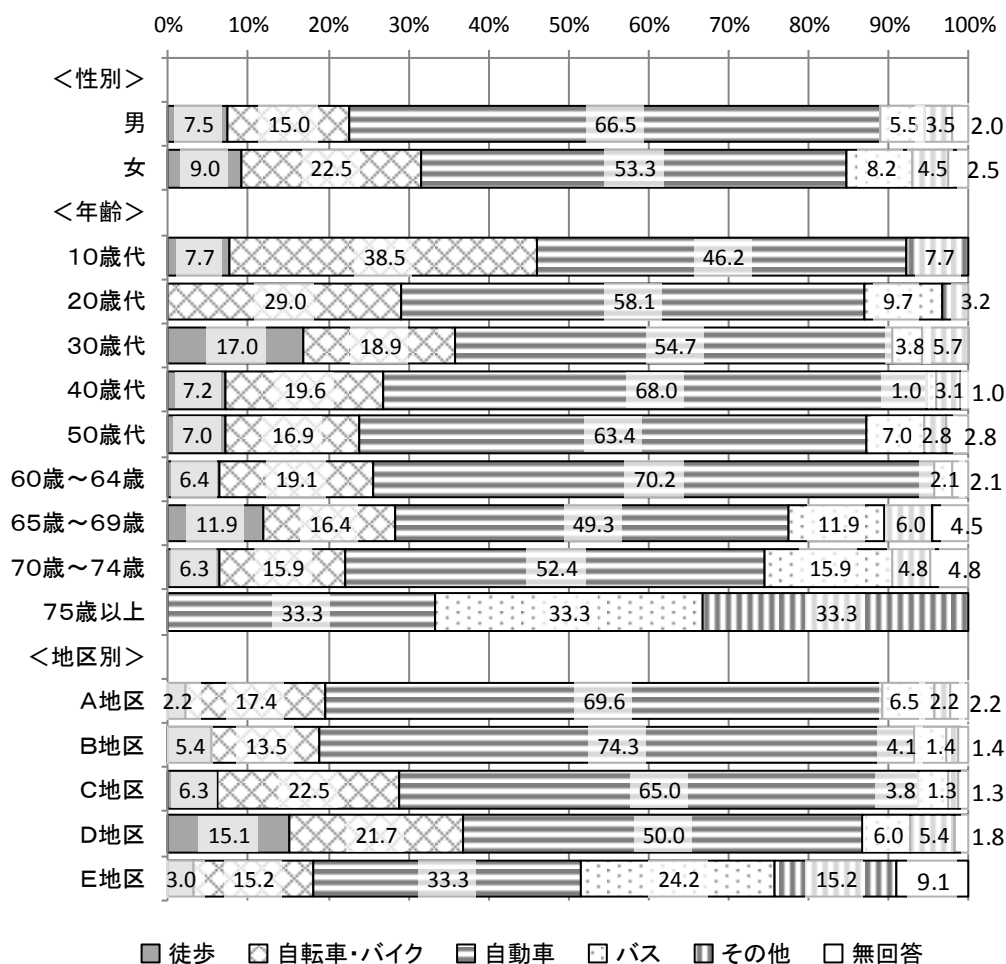
n=450



n=450

（「その他」の詳細）

・電車（7件） ・モノレール（5件） ・タクシー



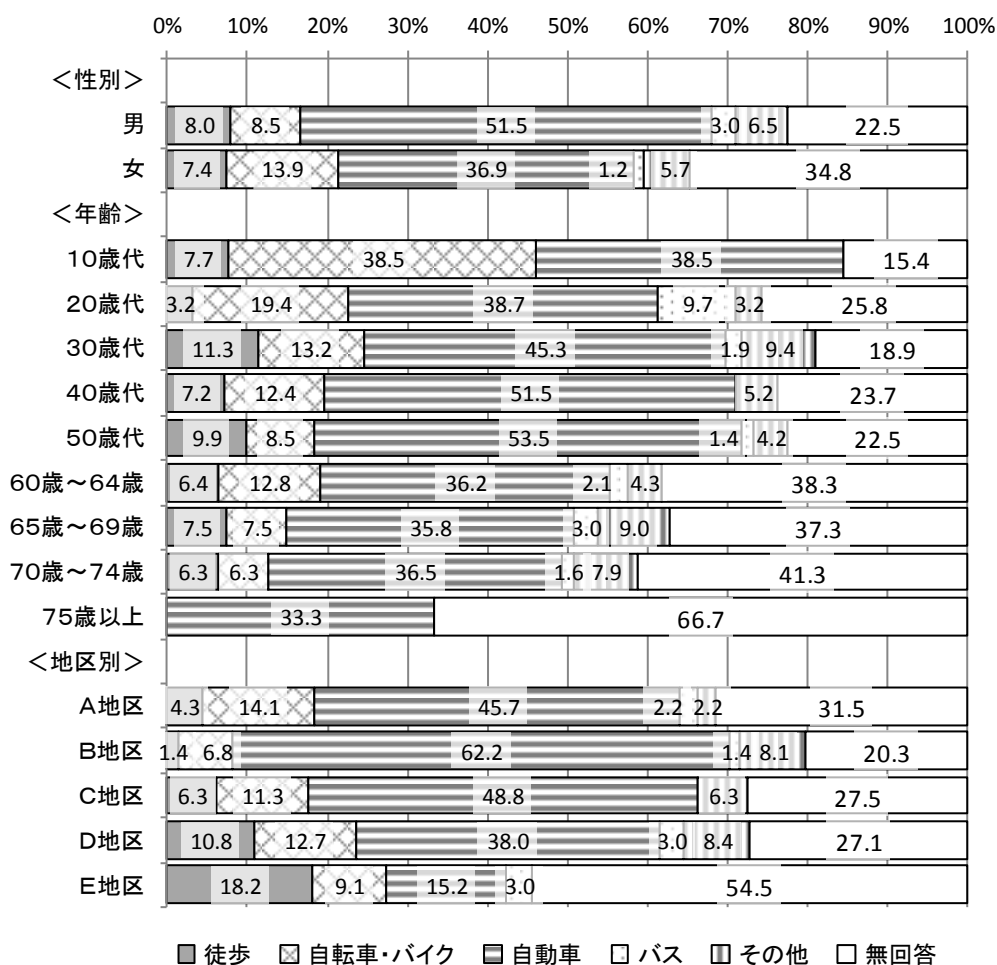
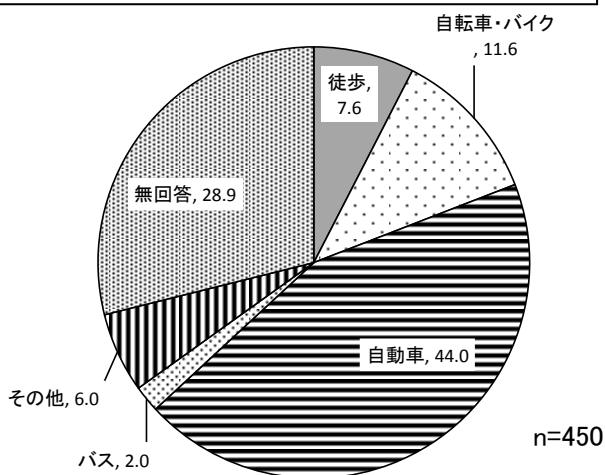
n=450

・福祉施設（デイサービス等）

デイサービス等福祉施設までの移手段としては、「自動車」が44.0%で最も多く、以下「自転車・バイク」（11.6%）、「徒歩」（7.6%）の順である。

項目	件数	割合
徒歩	34	7.6%
自転車・バイク	52	11.6%
自動車	198	44.0%
バス	9	2.0%
その他	27	6.0%
無回答	130	28.9%

n=450



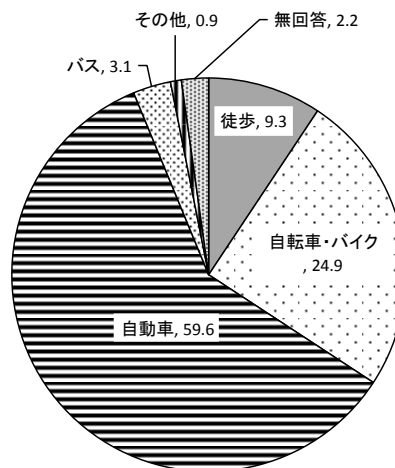
n=450

・市役所・出張所等（市の手続等）

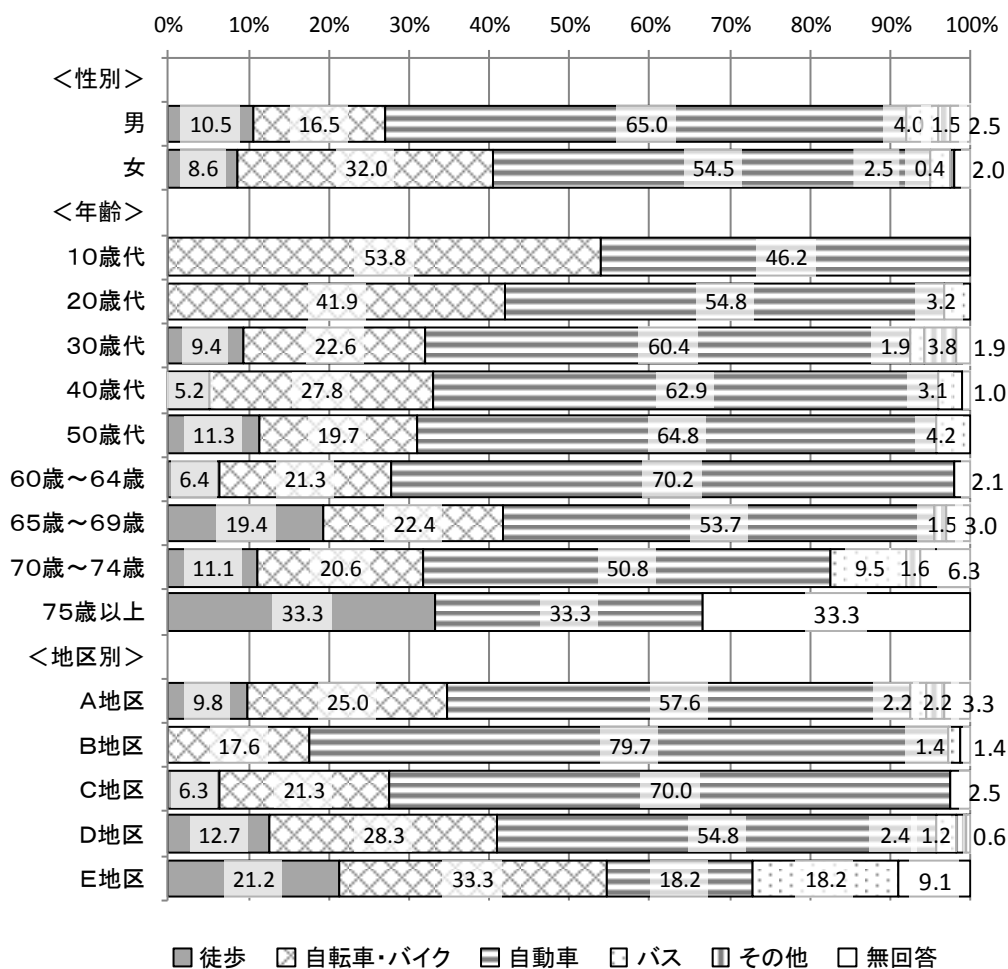
市役所・出張所までの移動手段としては、「自動車」が59.6%で最も多く、以下「自転車・バイク」（24.9%）、「徒歩」（9.3%）の順である。

項目	件数	割合
徒歩	42	9.3%
自転車・バイク	112	24.9%
自動車	268	59.6%
バス	14	3.1%
その他	4	0.9%
無回答	10	2.2%

n=450



n=450



n=450

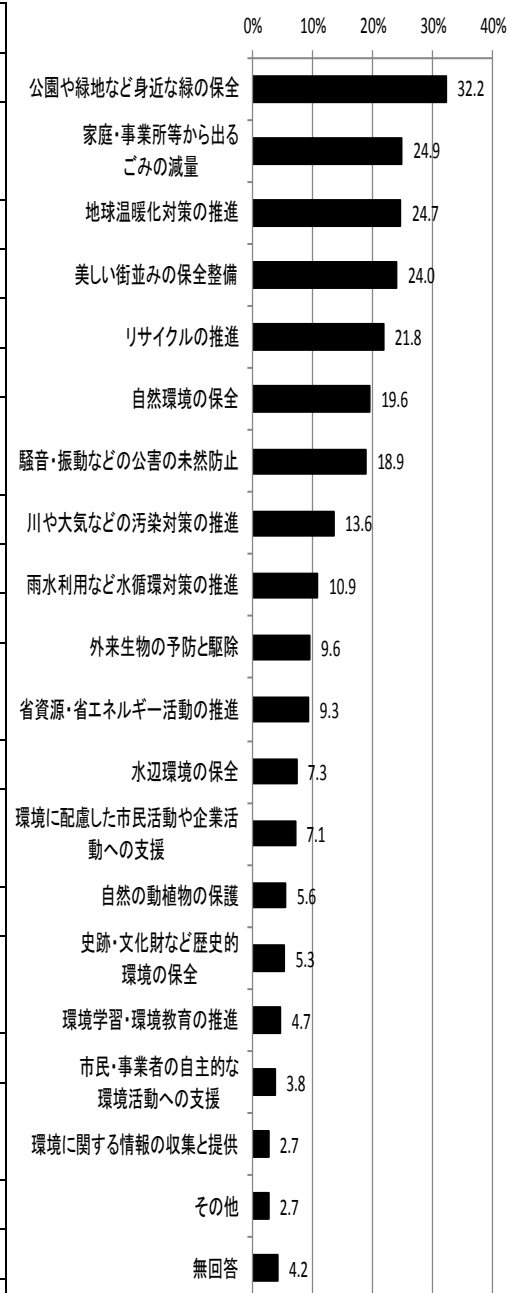
環境

問 64 よりよい環境づくりのため、市は、今後どのような分野に取り組むべきだと思いますか。(〇は3つまで)

今後、市が取り組むべき環境施策としては、「公園や緑地などの身近な緑の保全」が32.2%で最も多く、以下「家庭・事業所等から出るごみの減量」(24.9%)、「地球温暖化対策の推進」(24.7%)、「美しい街並みの保全整備」(24.0%)の順である。

項目	件数	割合
公園や緑地など身近な緑の保全	145	32.2%
家庭・事業所等から出るごみの減量	112	24.9%
地球温暖化対策の推進	111	24.7%
美しい街並みの保全整備	108	24.0%
リサイクルの推進	98	21.8%
自然環境の保全	88	19.6%
騒音・振動などの公害の未然防止	85	18.9%
川や大気などの汚染対策の推進	61	13.6%
雨水利用など水循環対策の推進	49	10.9%
外来生物の予防と駆除	43	9.6%
省資源・省エネルギー活動の推進	42	9.3%
水辺環境の保全	33	7.3%
環境に配慮した市民活動や企業活動への支援	32	7.1%
自然の動植物の保護	25	5.6%
史跡・文化財など歴史的環境の保全	24	5.3%
環境学習・環境教育の推進	21	4.7%
市民・事業者の自主的な環境活動への支援	17	3.8%
環境に関する情報の収集と提供	12	2.7%
その他	12	2.7%
無回答	19	4.2%

n=450

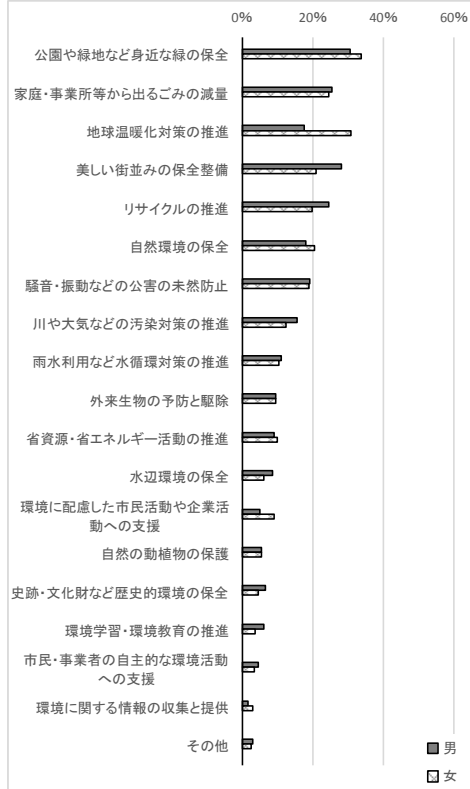


n=450

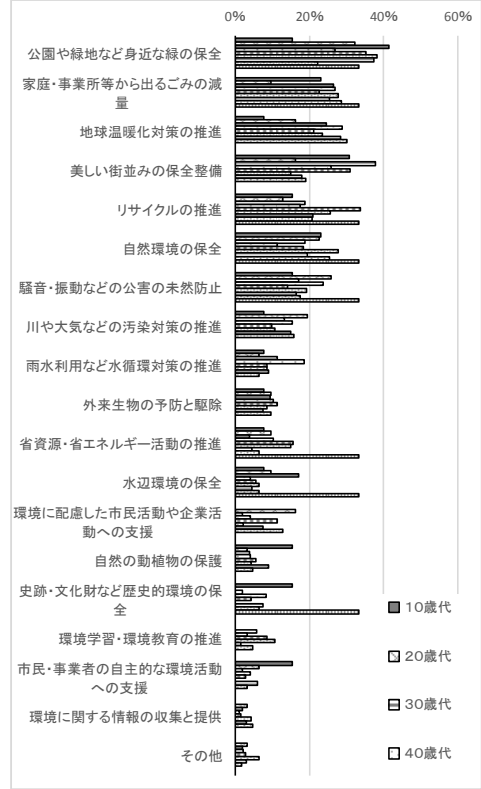
(「その他」の詳細)

- ・タバコの禁止
- ・自然災害の防止
- ・防犯の警備が行き届いた町
- ・市民税の値下げ。市議会の縮小、議員を減らす！！
- ・路線バスの増加等、公共交通機関の整備
- ・小動物の（犬猫の殺処分0）手術などの援助。ネコ対策
- ・横田基地の閉鎖。夜10時頃までうるさい。ヘリコプターやめて欲しい

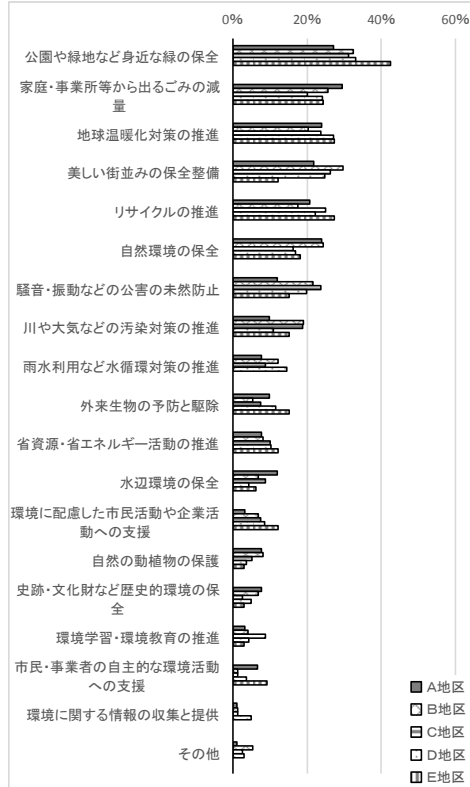
<性別>



<年齢別>



<地区別>



<職業別>



n=450

4-5 地域の資源を活かした特色あるまちづくり

産業

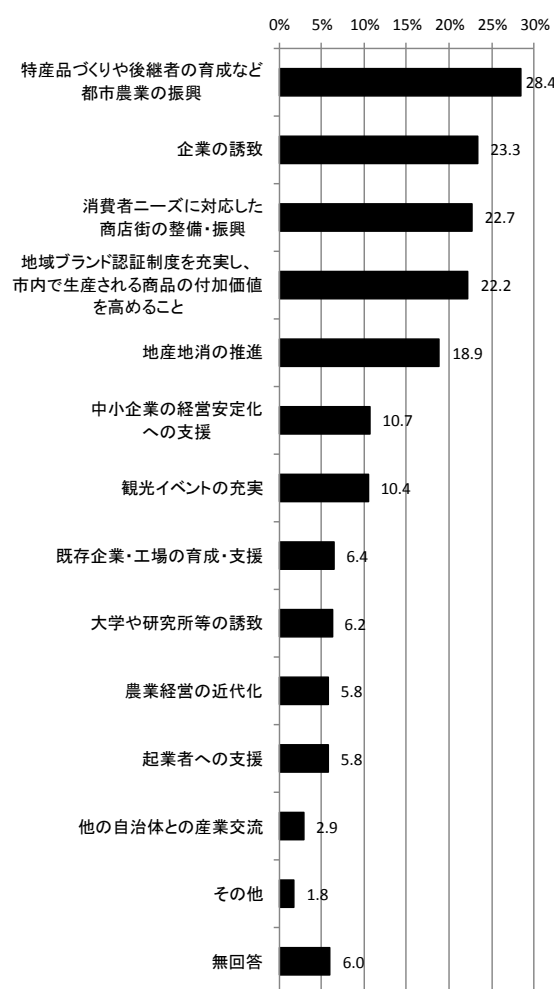
問 65 あなたは、市の産業振興として次のうちどれが重要だと思いますか。

(○は2つまで)

重要だと思う産業振興分野としては、「特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興」が28.4%で最も多く、以下「企業の誘致」(23.3%)、「消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興」(22.7%)、「地域ブランド認証制度を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること」(22.2%)の順である。

項目	件数	割合
特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興	128	28.4%
企業の誘致	105	23.3%
消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興	102	22.7%
地域ブランド認証制度を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること	100	22.2%
地産地消の推進	85	18.9%
中小企業の経営安定化への支援	48	10.7%
観光イベントの充実	47	10.4%
既存企業・工場の育成・支援	29	6.4%
大学や研究所等の誘致	28	6.2%
農業経営の近代化	26	5.8%
起業家への支援	26	5.8%
他の自治体との産業交流	13	2.9%
その他	8	1.8%
無回答	27	6.0%

n=450



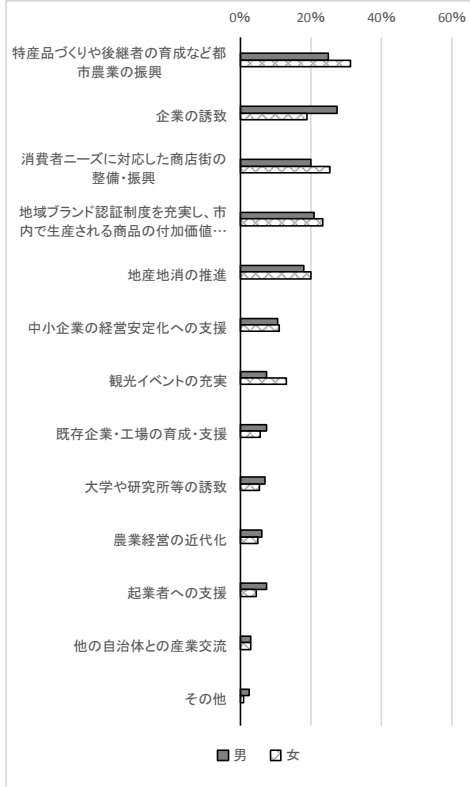
n=450

(「その他」の詳細)

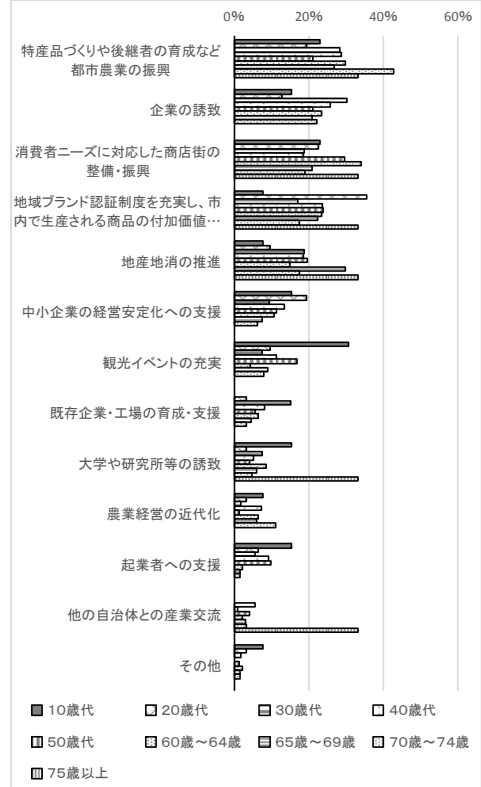
- ・作業所の創設
- ・横田基地の活用
- ・商店街がシャッターだらけ

- ・「特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興」に関し、田植・稲刈・茶摘みなど小学生の科目に取り込む

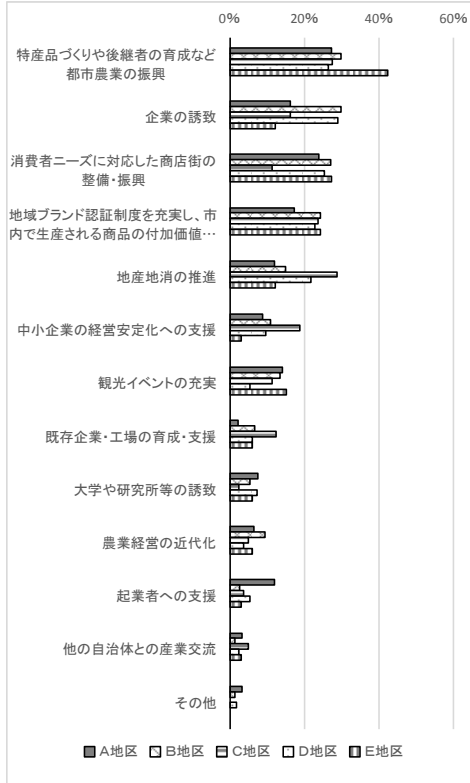
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

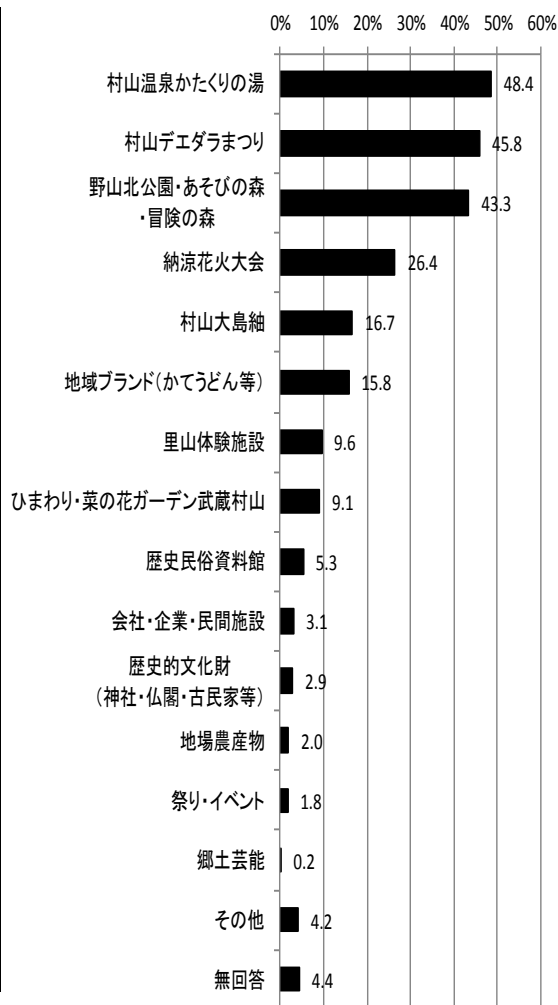
問 66 あなたは、武蔵村山市の観光資源といえば、何をイメージしますか。

(〇は3つまで)

回答者がイメージする市の観光資源としては、「村山温泉かたくりの湯」が 48.4%で最も多く、以下「村山デエダラまつり」(45.8%)、「野山北公園・あそびの森・冒険の森」(43.3%)、「納涼花火大会」(26.4%)と続く。

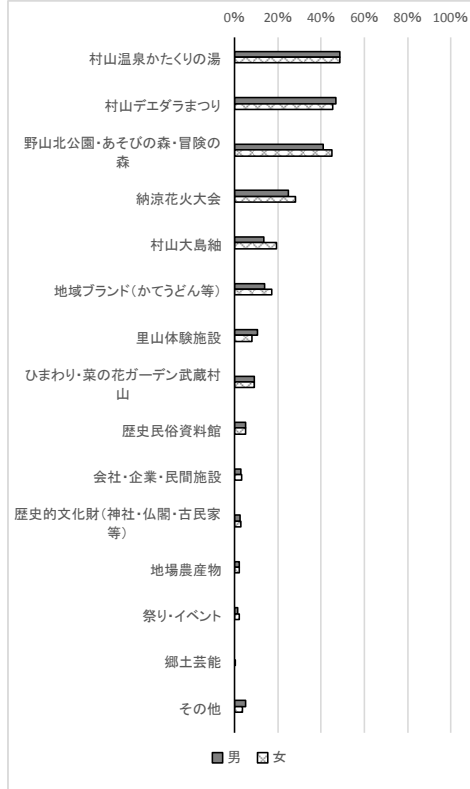
項目	件数	割合
村山温泉かたくりの湯	218	48.4%
村山デエダラまつり	206	45.8%
野山北公園・あそびの森・冒険の森	195	43.3%
納涼花火大会	119	26.4%
村山大島紬	75	16.7%
地域ブランド(かてうどん等)	71	15.8%
里山体験施設	43	9.6%
ひまわり・菜の花ガーデン 武蔵村山	41	9.1%
歴史民俗資料館	24	5.3%
会社・企業・民間施設	14	3.1%
歴史的文化財(神社・仏閣・古民家等)	13	2.9%
地場農産物	9	2.0%
祭り・イベント	8	1.8%
郷土芸能	1	0.2%
その他	19	4.2%
無回答	20	4.4%

n=450

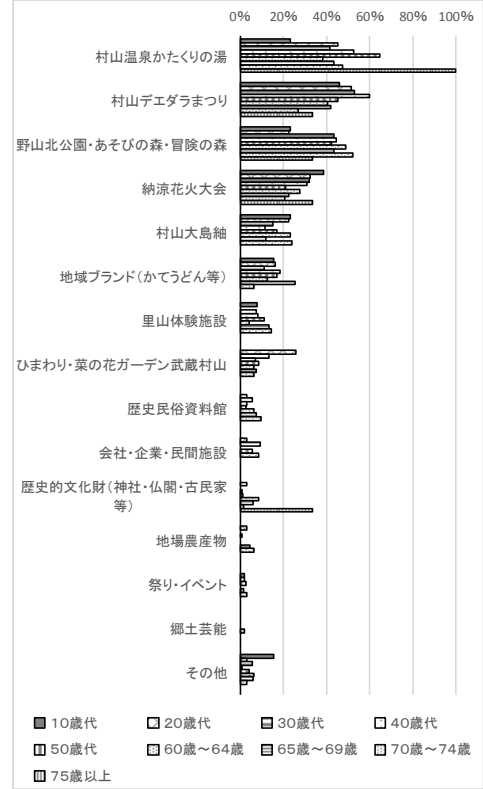


n=450

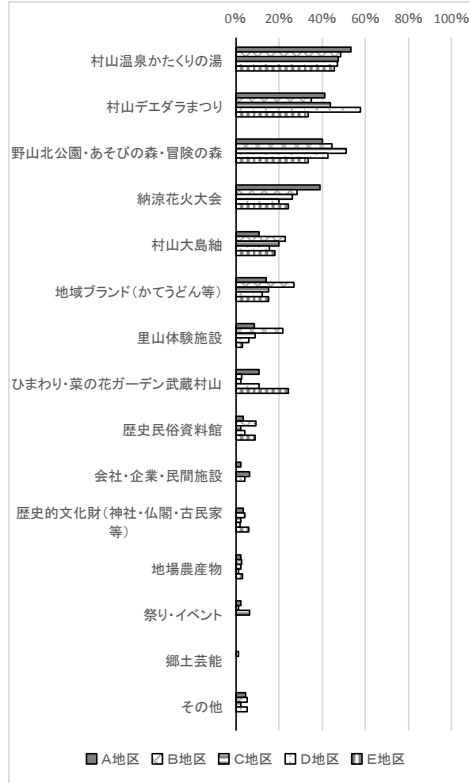
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

(「その他」の詳細)

(祭り・イベント)

- ・ さくら祭り
- ・ 11月にあるフードグランプリ。もっと外からおいしいテナントを入れて規模を大きくしてほしい

(神社仏閣)

- ・ 須賀神社
- ・ おいせのもり

(企業等)

- ・ イオン・イオンモール (13件)
- ・ 天乃屋 (2件)
- ・ 武蔵村山病院、PET撮影

・ 文明堂

(その他)

- ・ 観光資源はない (7件)
- ・ みかん農園
- ・ 少年飛行兵
- ・ 横田トンネル～自転車道路の桜
- ・ 「村山デエダラまつり」、「野山北公園・あそびの森・冒険の森」、「納涼花火大会」はセットで考えるべき
- ・ 過度に人の手が加わっていない自然が残っていること

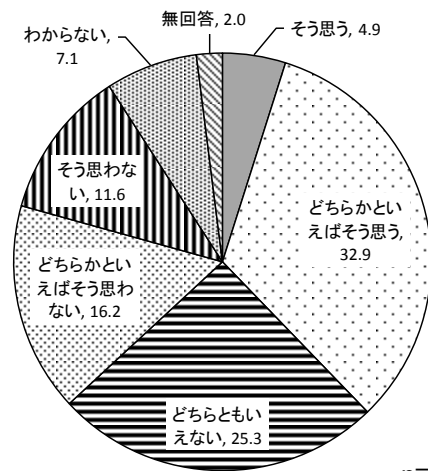
景観

問 67 あなたが住んでいる地区は、自然環境や魅力ある街並みがよく保全されていると思いますか。(○は1つ)

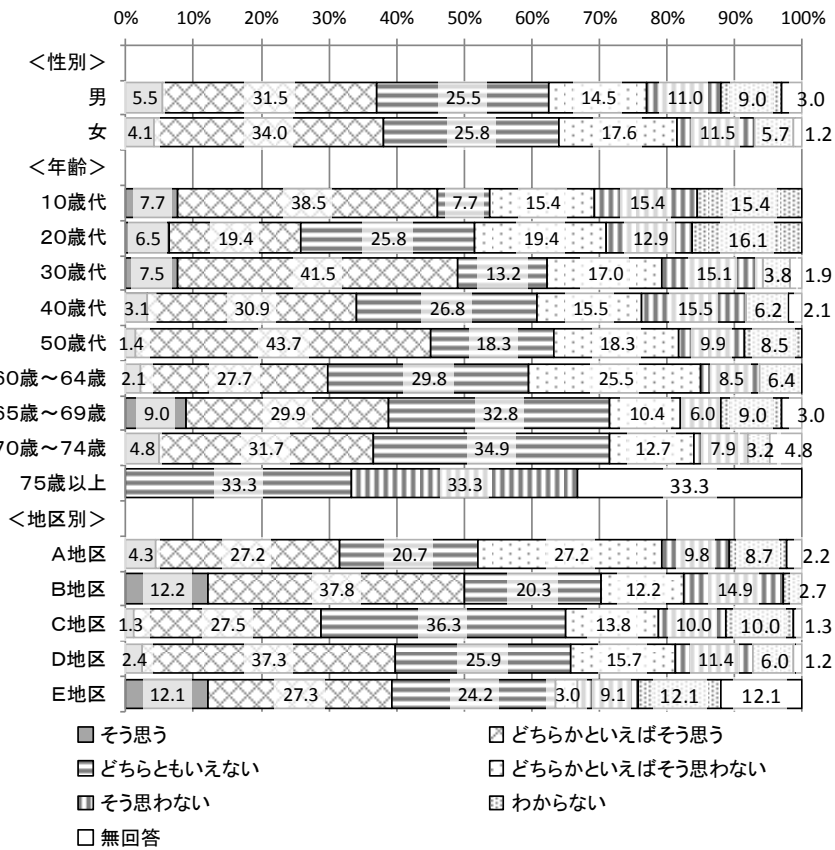
回答者の居住地区における、環境、景観保全に対する認識については、「どちらかといえばそう思う」が32.9%で最も多く、以下「どちらともいえない」(25.3%)、「どちらかといえばそう思わない」(16.2%)の順である。

項目	件数	割合
そう思う	22	4.9%
どちらかといえばそう思う	148	32.9%
どちらともいえない	114	25.3%
どちらかといえばそう思わない	73	16.2%
そう思わない	52	11.6%
わからない	32	7.1%
無回答	9	2.0%

n=450



n=450



n=450

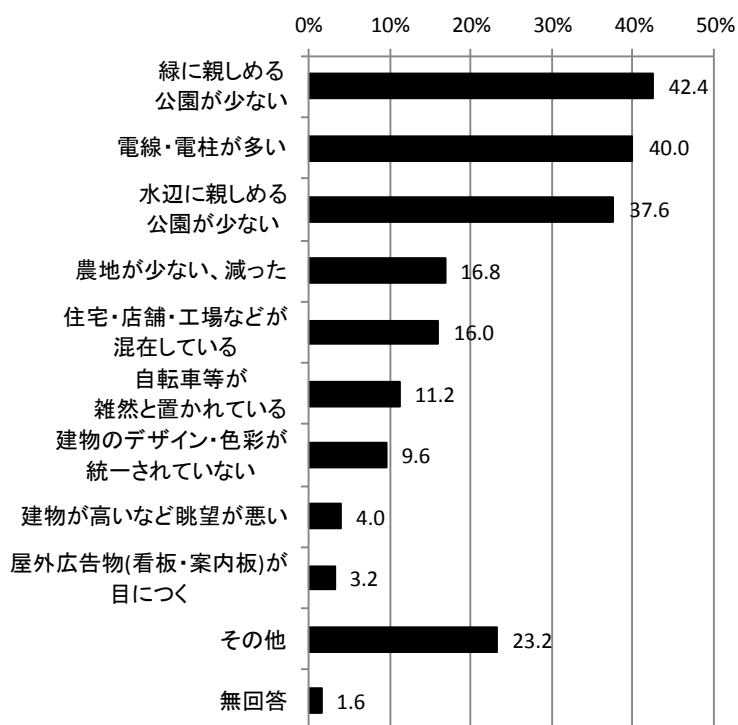
問 67-2 【問 67 で「どちらかといえばそう思わない」、「そう思わない」と回答した方にお聞きします。】

そう思わない理由は。(〇はいくつでも)

回答者の居住地区において、環境や景観が良いと思わない理由としては、「緑に親しめる公園が少ない」が42.4%で最も多く、以下「電線・電柱が多い」(40.0%)、「水辺に親しめる公園が少ない」(37.6%)、「農地が少ない、減った」(16.8%)と続く。

項目	件数	割合
緑に親しめる公園が少ない	53	42.4%
電線・電柱が多い	50	40.0%
水辺に親しめる公園が少ない	47	37.6%
農地が少ない、減った	21	16.8%
住宅・店舗・工場などが混在している	20	16.0%
自転車等が雑然と置かれている	14	11.2%
建物のデザイン・色彩が統一されていない	12	9.6%
建物が高いなど眺望が悪い	5	4.0%
屋外広告物(看板・案内板)が目につく	4	3.2%
その他	29	23.2%
無回答	2	1.6%

n=125

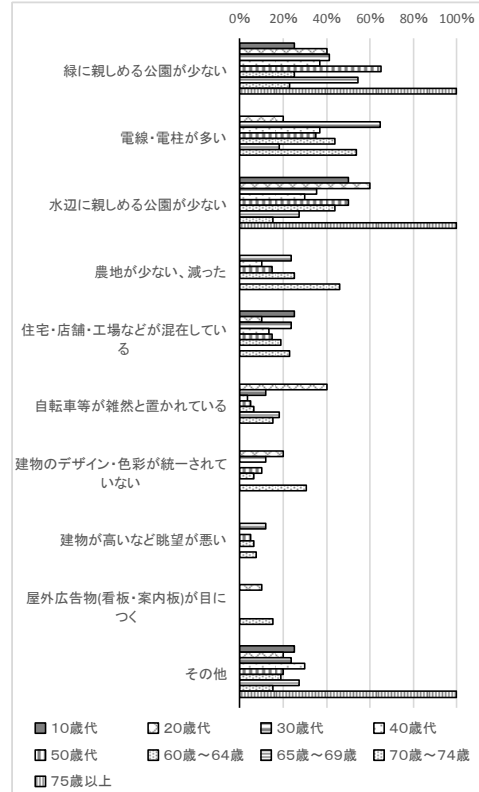


n=125

<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=125

(「その他」の詳細)

○道路関係

- ・道が汚い
- ・歩道が狭い
- ・道路の質が良くない
- ・歩道が細くあぶない
- ・道が狭い。道が繋がらない
- ・道が狭く危ない。公園はあっても駐車場はない
- ・とにかく歩道がボロイ。東大和市との境がはっきりわかるほど。緑の公園は多いが、うっそうとしていて暗い。緑が多く明るい公園の多い青梅を見習ってほしい

○街路樹

- ・街路樹が少ない
- ・街路樹を植えて町（地域全体）を明るいイメージにする
- ・街路樹やツツジなどの植木が多すぎて道が狭くなっている、植えりゃいいってもんじゃない

○緑地、周辺環境

- ・路上駐車が多すぎる
- ・川沿草だらけ、ゴミ他
- ・森林伐採が増加している
- ・通りすがりの人のゴミのポイ捨て
- ・植木・樹木等、即設物の手入れの仕方がひどい！

- ・隣の竹やぶの状態がひどすぎる。もう何年も。市の所有ではないですが、がまんできないほどひどいです

○商業立地

- ・スーパーがない
- ・空き店舗が目立つ
- ・まわりにスーパーマーケット、銀行、郵便局など生活に必要なものがない

○都市構造、街並み

- ・高齢者しかいない団地だから
- ・畑をつぶして住宅が増えている
- ・廃墟建物（財務省）による街並みの低下
- ・町並みが雑然としている。道路の向きがそろっていない、道幅が狭い、ゴミステーションが目立つ、住居の向きもばらばら、敷地が道路にせり出している→通行しにくく町並みが貧相に感じる

○その他の意見

- ・魅力がない
- ・人が少ない
- ・横田基地の騒音
- ・放置されている感がある
- ・特に自然が多いところでも特色がある地区でもないの

4-6 計画の推進に向けて

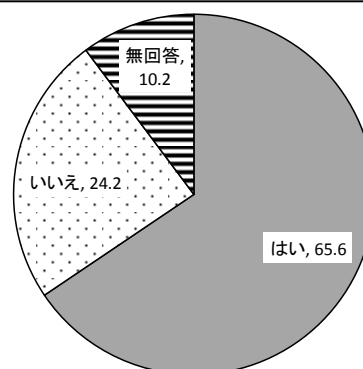
行政運営

問 68 あなたは、過去1年間に各種手続や相談のために武蔵村山市役所を訪れたことがありますか。(○は1つ)

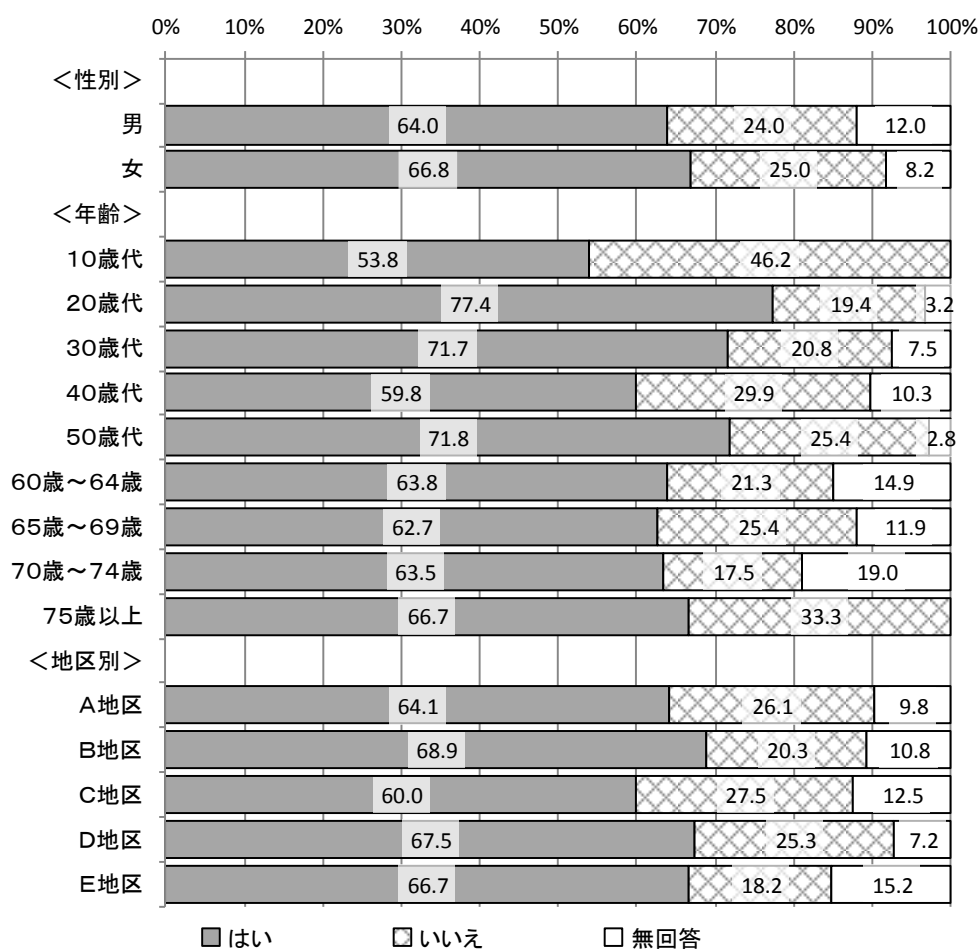
過去1年間における市役所への来訪の有無については、「はい」が65.6%、「いいえ」が24.2%である。

項目	件数	割合
はい	295	65.6%
いいえ	109	24.2%
無回答	46	10.2%

n=450



n=450



n=450

問 68-2 【問 68 で「はい」と答えた方にお聞きします。】

あなたは市職員の対応等について、どのように感じていますか。

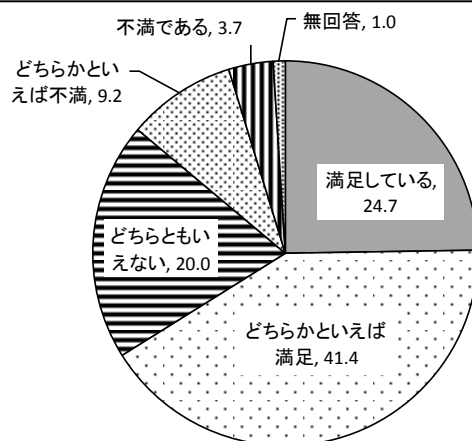
(○はそれぞれ1つ)

・職員の態度 (応対)

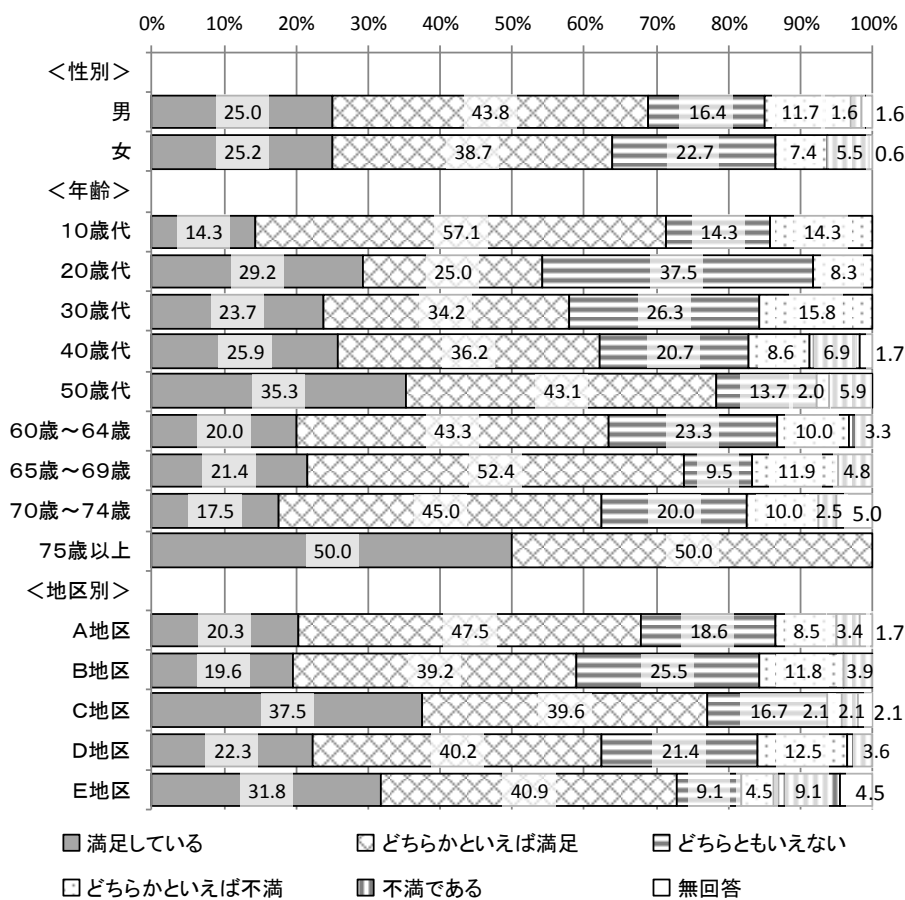
職員の態度、応対に対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が41.4%で最も多く、以下「満足している」(24.7%)、「どちらともいえない」(20.0%)、「どちらかといえば不満」(9.2%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	73	24.7%
どちらかといえば満足	122	41.4%
どちらともいえない	59	20.0%
どちらかといえば不満	27	9.2%
不満である	11	3.7%
無回答	3	1.0%

n=295



n=295



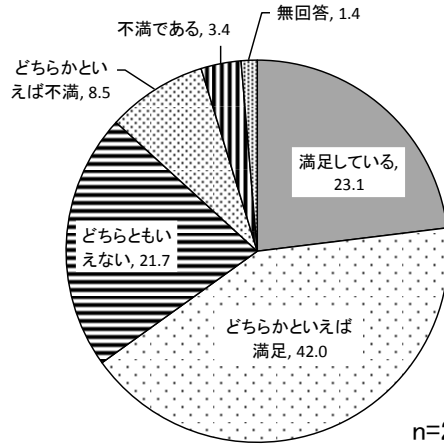
n=295

・職員の説明

職員の説明に対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が 42.0%で最も多く、以下「満足している」(23.1%)、「どちらともいえない」(21.7%)、「どちらかといえば不満」(8.5%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	68	23.1%
どちらかといえば満足	124	42.0%
どちらともいえない	64	21.7%
どちらかといえば不満	25	8.5%
不満である	10	3.4%
無回答	4	1.4%

n=295



n=295



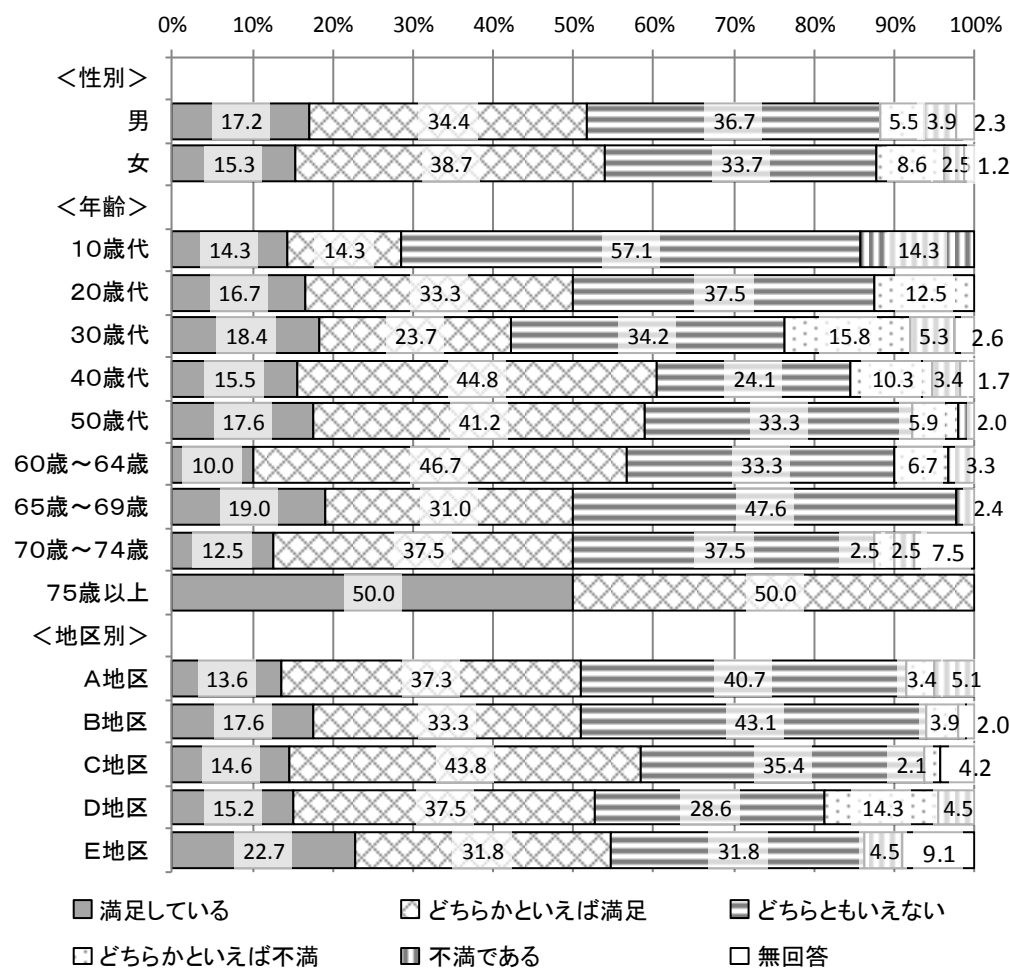
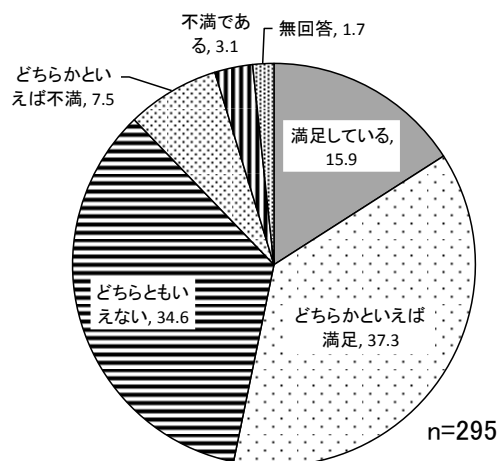
n=295

・申請書類の書きやすさ

申請書類の書きやすさに対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が37.3%で最も多く、以下「どちらともいえない」(34.6%)、「満足している」(15.9%)、「どちらかといえば不満」(7.5%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	47	15.9%
どちらかといえば満足	110	37.3%
どちらともいえない	102	34.6%
どちらかといえば不満	22	7.5%
不満である	9	3.1%
無回答	5	1.7%

n=295



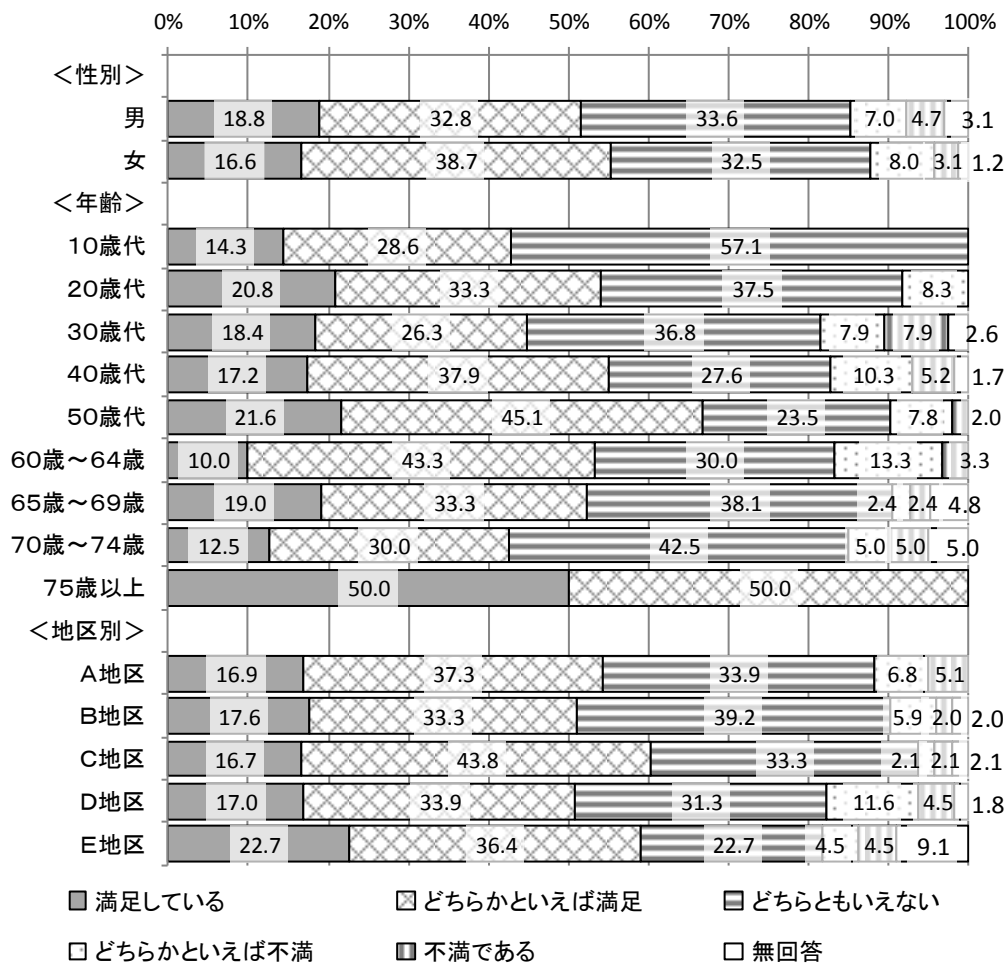
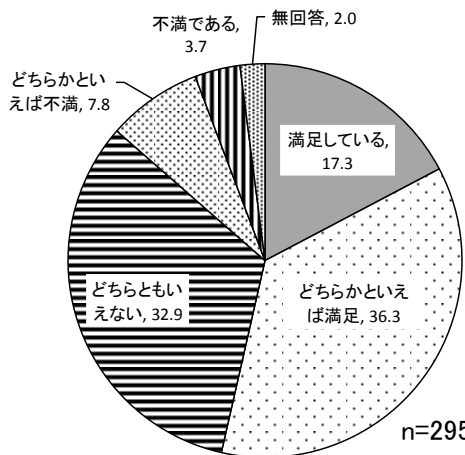
n=295

・ 手続の方法

手続の方法に対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が36.3%で最も多く、以下「どちらともいえない」(32.9%)、「満足している」(17.3%)、「どちらかといえば不満」(7.8%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	51	17.3%
どちらかといえば満足	107	36.3%
どちらともいえない	97	32.9%
どちらかといえば不満	23	7.8%
不満である	11	3.7%
無回答	6	2.0%

n=295



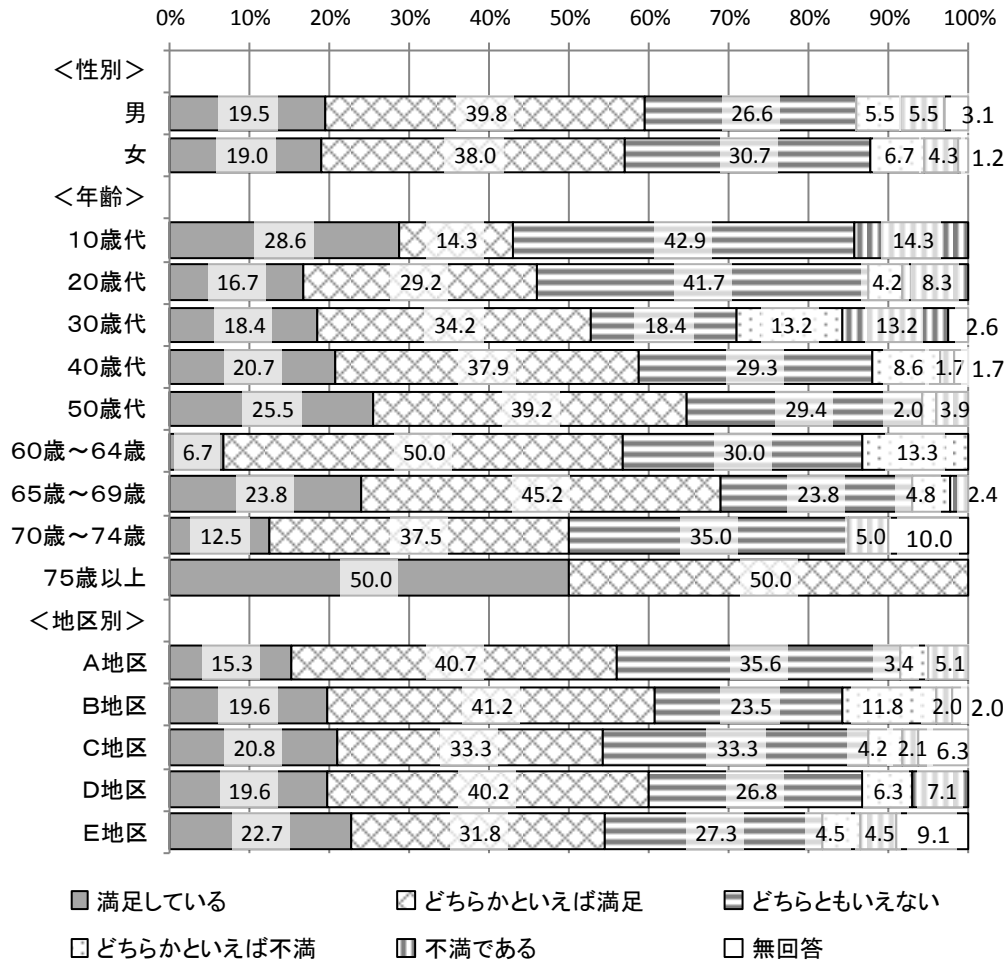
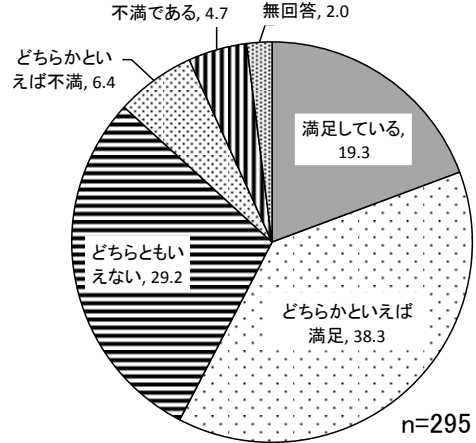
n=295

・待ち時間

待ち時間に対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が38.3%で最も多く、以下「どちらともいえない」(29.2%)、「満足している」(19.3%)、「どちらかといえば不満」(6.4%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	57	19.3%
どちらかといえば満足	113	38.3%
どちらともいえない	86	29.2%
どちらかといえば不満	19	6.4%
不満である	14	4.7%
無回答	6	2.0%

n=295



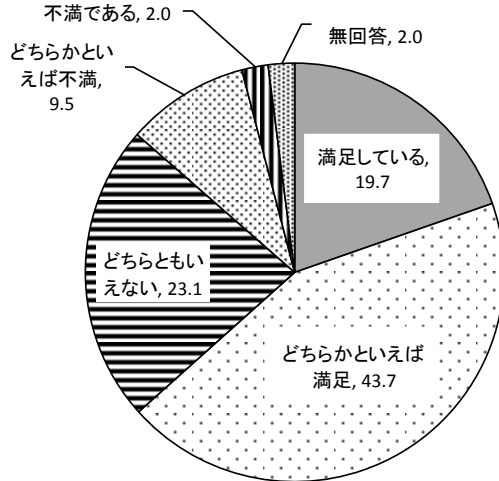
n=295

・待合スペースの広さ

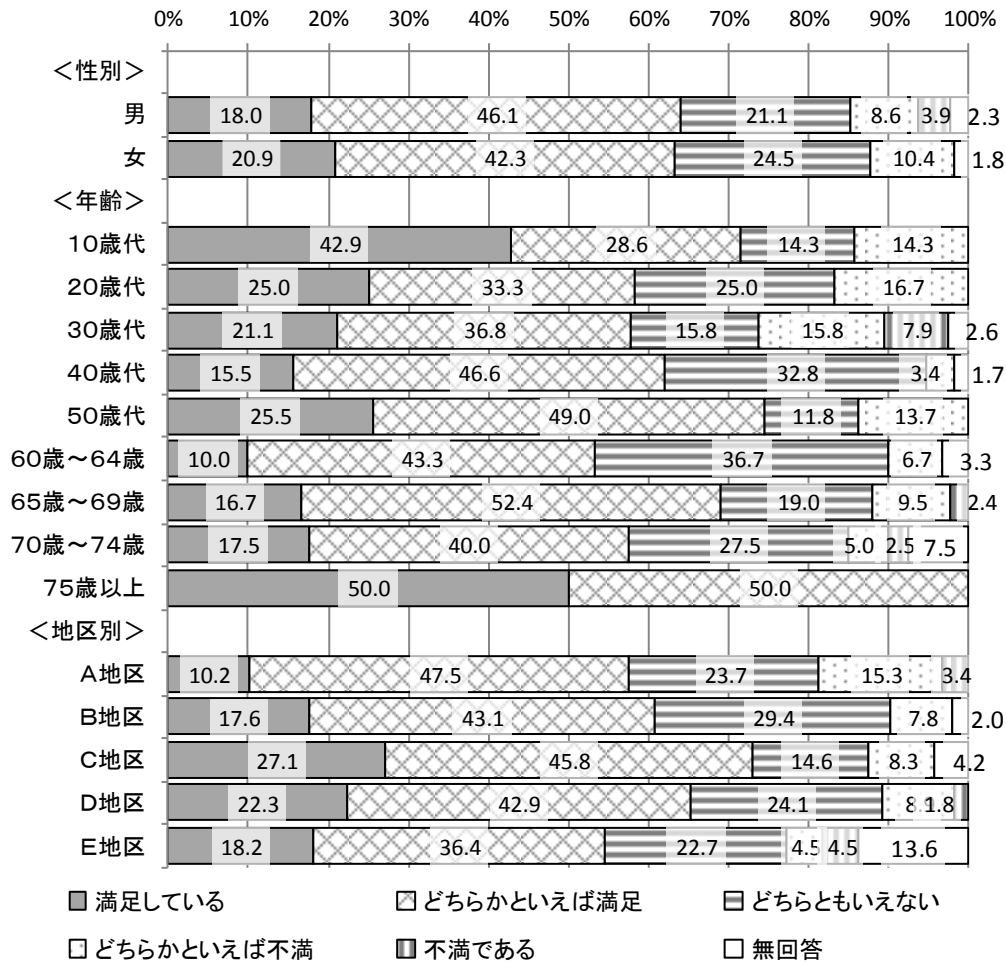
待合スペースの広さに対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が43.7%で最も多く、以下「どちらともいえない」(23.1%)、「満足している」(19.7%)、「どちらかといえば不満」(9.5%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	58	19.7%
どちらかといえば満足	129	43.7%
どちらともいえない	68	23.1%
どちらかといえば不満	28	9.5%
不満である	6	2.0%
無回答	6	2.0%

n=295



n=295



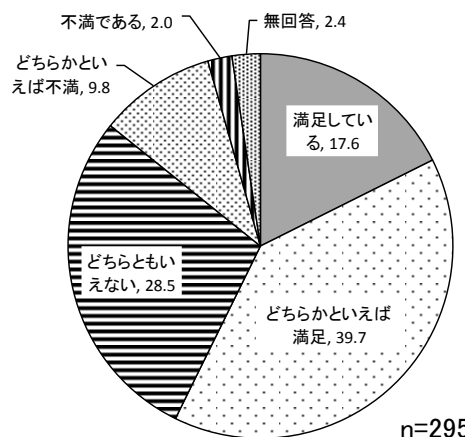
n=295

・カウンター、記載台の利用しやすさ

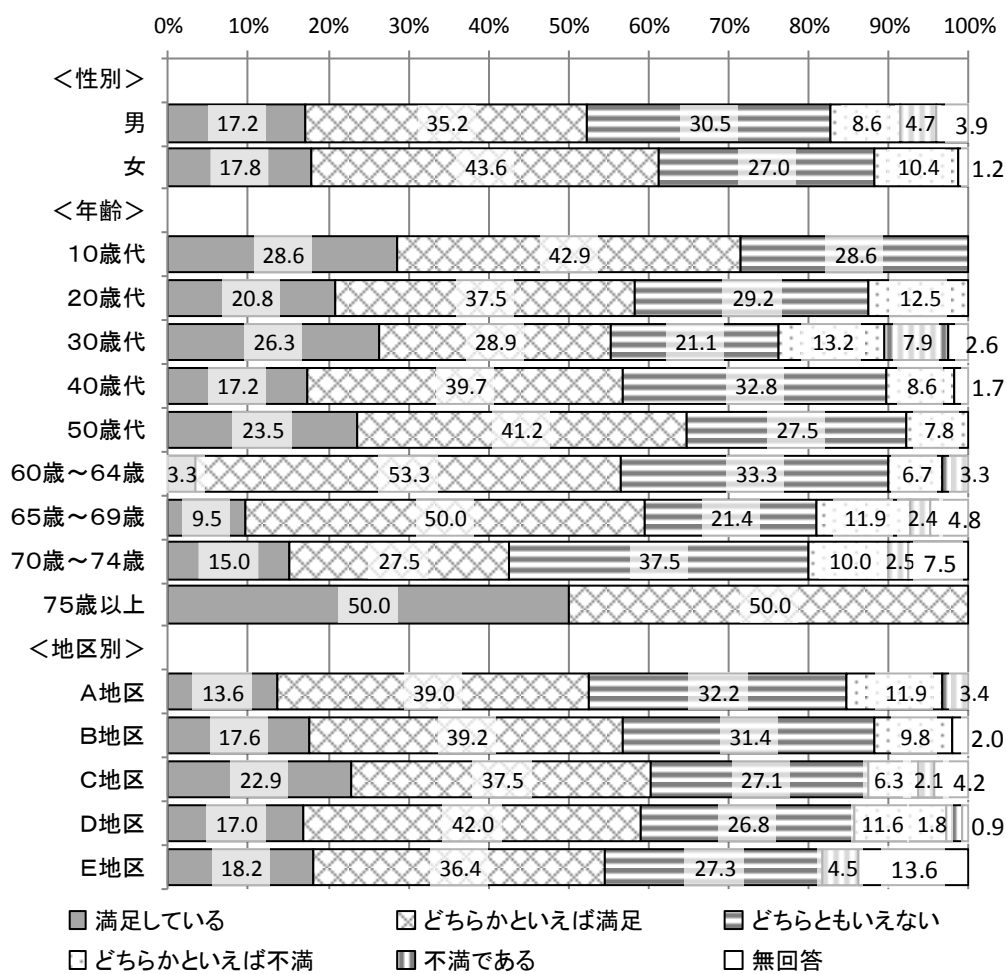
カウンター、記載台の利用しやすさに対する回答者の満足度については、「どちらかといえば満足」が39.7%で最も多く、次いで「どちらともいえない」(28.5%)、「満足している」(17.6%)、「どちらかといえば不満」(9.8%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	52	17.6%
どちらかといえば満足	117	39.7%
どちらともいえない	84	28.5%
どちらかといえば不満	29	9.8%
不満である	6	2.0%
無回答	7	2.4%

n=295



n=295



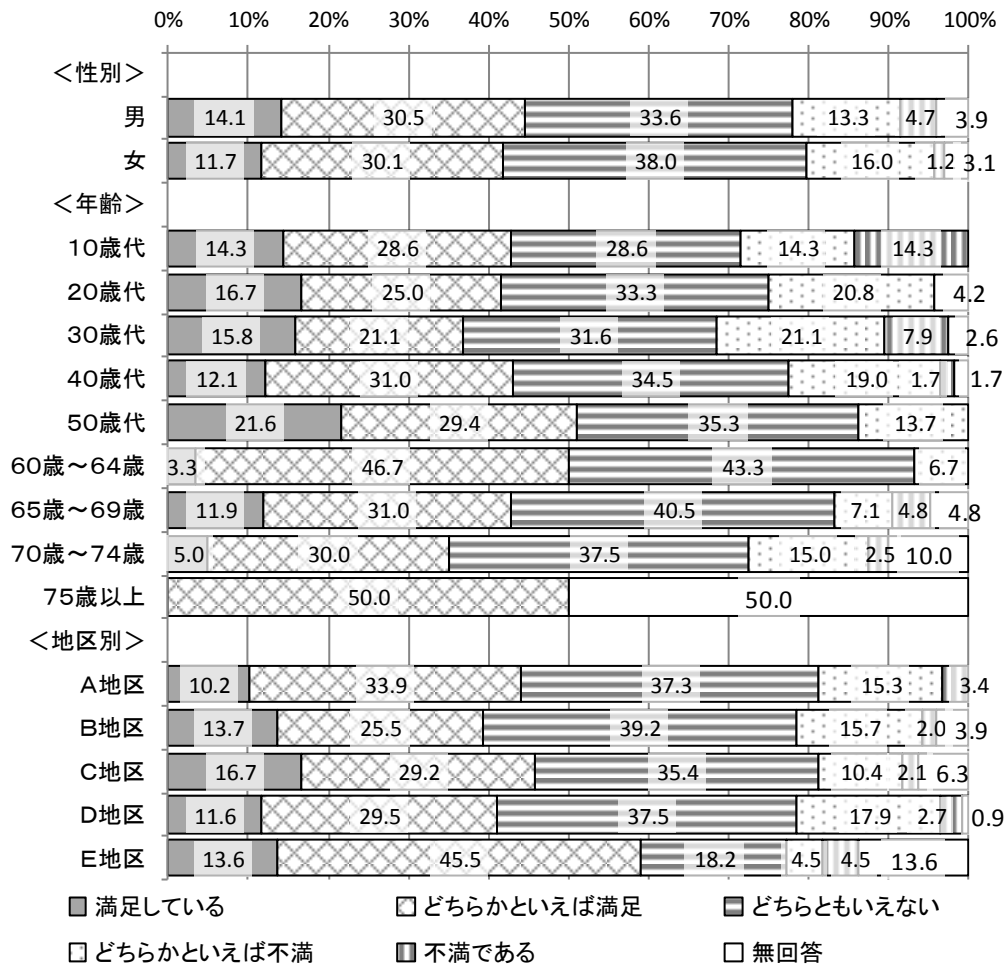
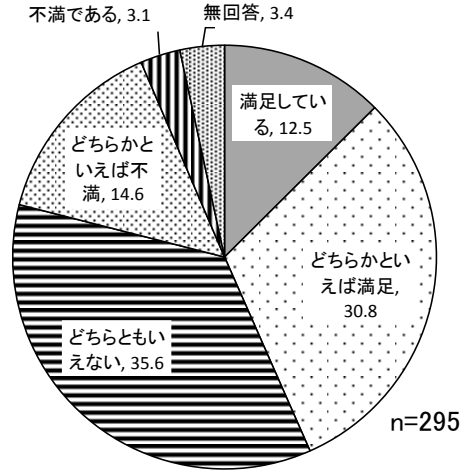
n=295

・案内表示の分かりやすさ

案内表示の分かりやすさに対する回答者の満足度としては、「どちらともいえない」が 35.6%で最も多く、以下「どちらかといえば満足」(30.8%)、「どちらかといえば不満」(14.6%)、「満足している」(12.5%) の順である。

項目	件数	割合
満足している	37	12.5%
どちらかといえば満足	91	30.8%
どちらともいえない	105	35.6%
どちらかといえば不満	43	14.6%
不満である	9	3.1%
無回答	10	3.4%

n=295



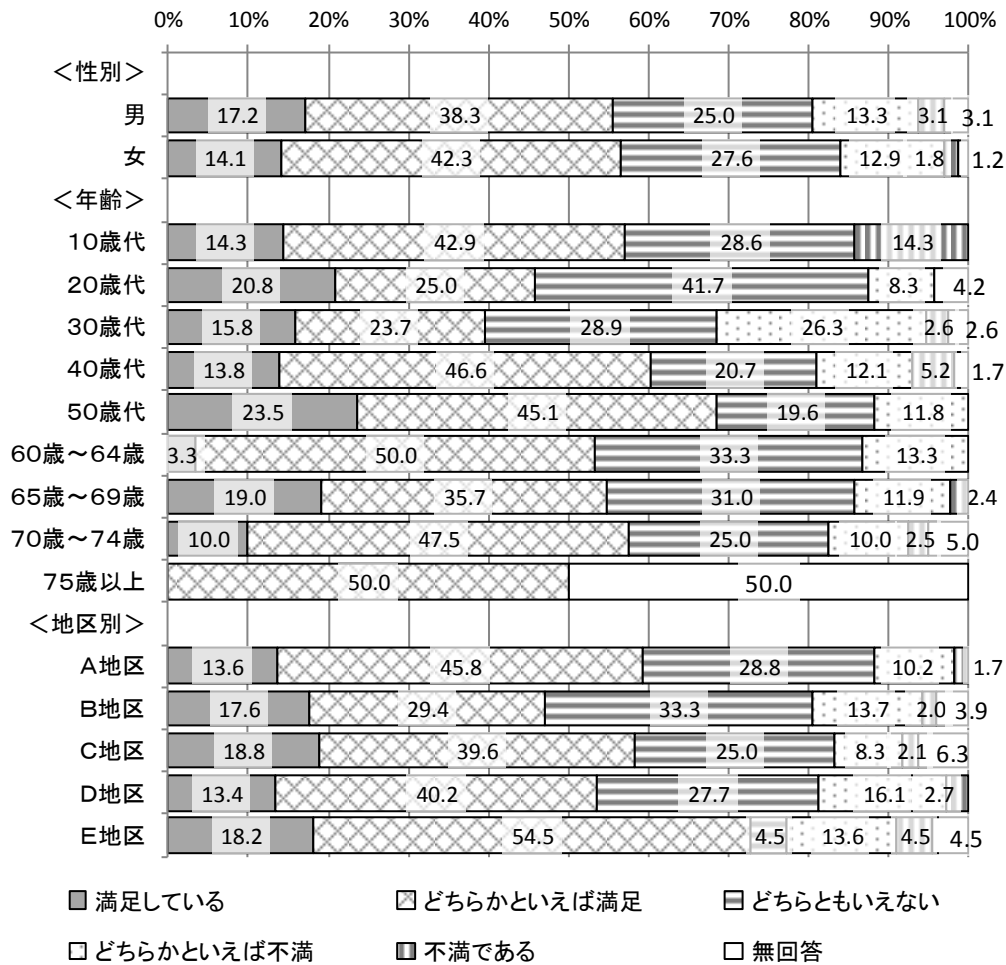
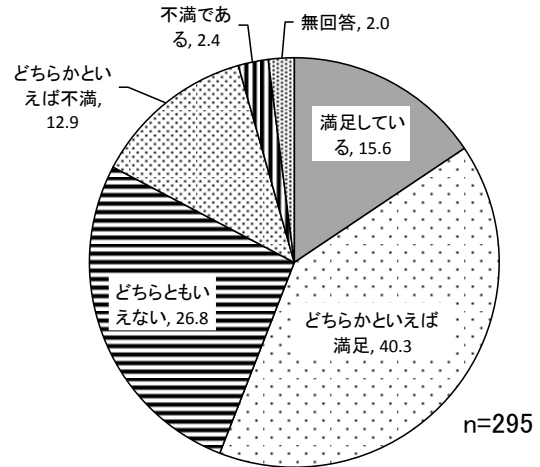
n=295

・全体的な評価

市役所、市職員の接遇等全般に対する回答者の満足度としては、「どちらかといえば満足」が40.3%で最も多く、以下「どちらともいえない」(26.8%)、「満足している」(15.6%)、「どちらかといえば不満」(12.9%)の順である。

項目	件数	割合
満足している	46	15.6%
どちらかといえば満足	119	40.3%
どちらともいえない	79	26.8%
どちらかといえば不満	38	12.9%
不満である	7	2.4%
無回答	6	2.0%

n=295



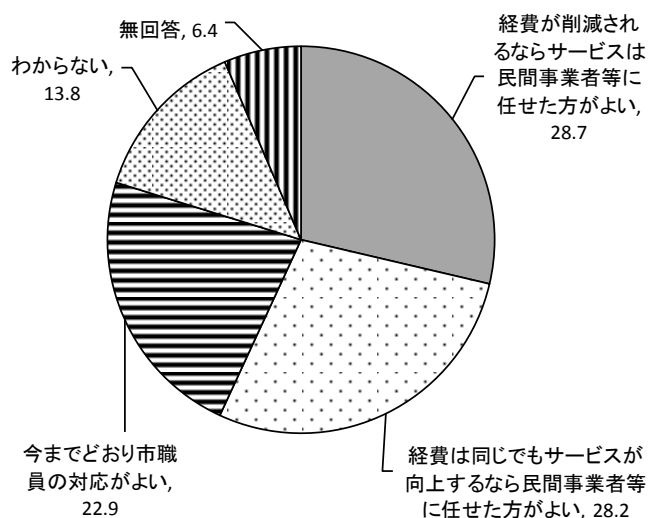
n=295

問 69 今後、民間事業者等に窓口業務を委託することについて、どう思いますか。

(○は1つ)

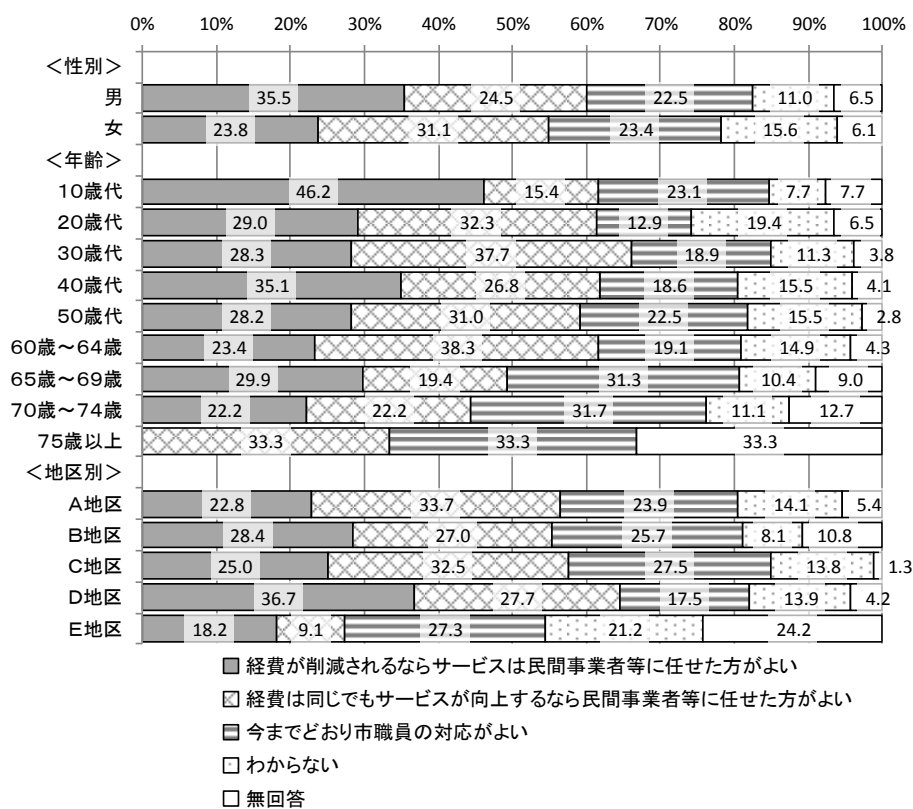
窓口業務の民間委託に対する回答者の考え方としては、「経費が削減されるならサービスは民間事業者等に任せた方がよい」が28.7%で最も多く、以下「経費は同じでもサービスが向上するなら民間事業者等に任せた方がよい」(28.2%)、「今までどおり市職員の対応がよい」(22.9%)の順である。

項目	件数	割合
経費が削減されるならサービスは民間事業者等に任せた方がよい	129	28.7%
経費は同じでもサービスが向上するなら民間事業者等に任せた方がよい	127	28.2%
今までどおり市職員の対応がよい	103	22.9%
わからない	62	13.8%
無回答	29	6.4%



n=450

n=450



n=450

問 70 現在の市の財政状況や人口減少社会を迎える中、老朽化した公共施設の全てを建て替えることは難しい状況となっています。そこで、次の公共施設に関する今後の方向性について、どう思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

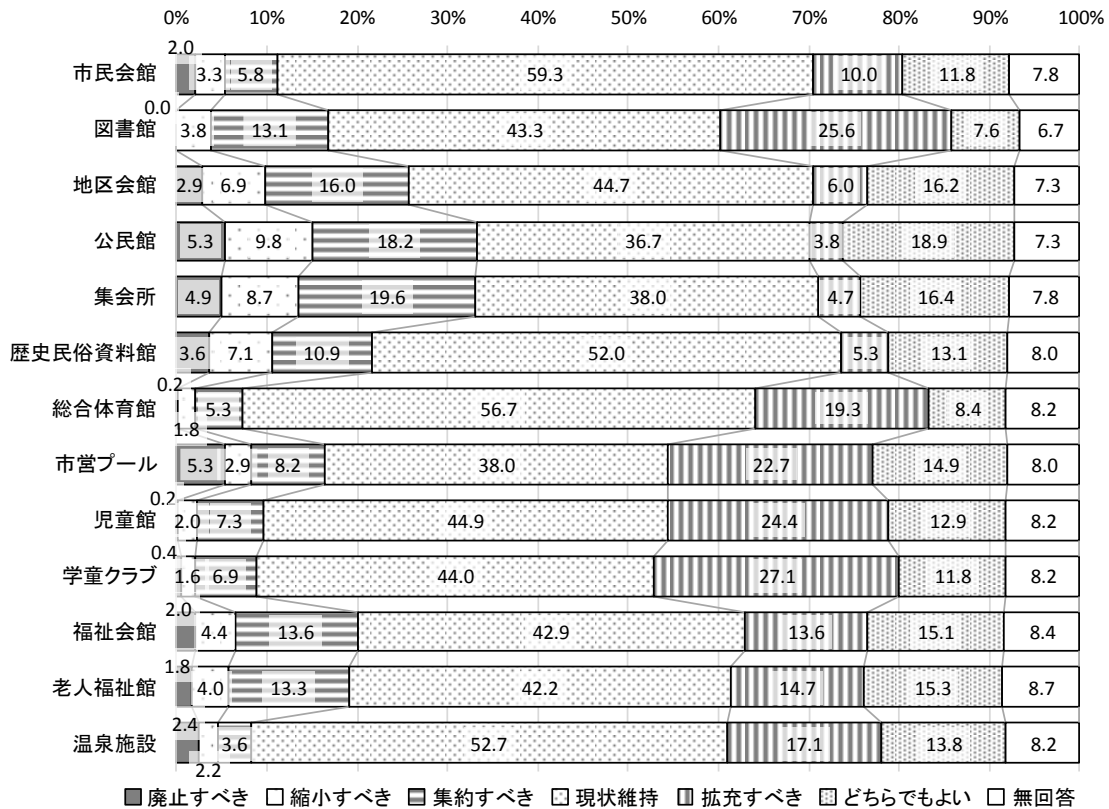
- いずれの公共施設についても、「現状維持」を求める回答が最も多い。
- 「廃止すべき」とする回答は、「公民館」及び「市民プール」(それぞれ 5.3%)、「集会所」(4.9%)、「歴史民俗資料館」(3.6%) の順で多い。
- 「縮小すべき」とする回答は、「公民館」(9.8%)、「集会所」(8.7%)、「歴史民俗資料館」(7.1%) の順で多い。
- 「集約すべき」とする回答は、「集会所」(19.6%)、「公民館」(18.2%)、「地区会館」(16.0%) の順に多い。
- 「現状維持」とする回答は、「市民会館」(59.3%)、「総合体育館」(56.7%)、「温泉施設」(52.7%) の順に多い。
- 「拡充すべき」とする回答は、「学童クラブ」(27.1%)、「図書館」(25.6%)、「児童館」(24.4%) の順に多い。
- 「現状維持」とする回答が少ない公共施設としては、「公民館」(36.7%)、「集会所」及び「市民プール」(それぞれ 38.0%) の順であり、これら施設のあり方については、他の公共施設よりも意見が分かれていることが読み取れる。

■度数分布表

(n=450)	廃止 すべき	縮小 すべき	集約 すべき	現状 維持	拡充 すべき	どちらで もよい	無回答
市民会館	9	15	26	267	45	53	35
図書館	0	17	59	195	115	34	30
地区会館	13	31	72	201	27	73	33
公民館	24	44	82	165	17	85	33
集会所	22	39	88	171	21	74	35
歴史民俗資料館	16	32	49	234	24	59	36
総合体育館	1	8	24	255	87	38	37
市営プール	24	13	37	171	102	67	36
児童館	1	9	33	202	110	58	37
学童クラブ	2	7	31	198	122	53	37
福社会館	9	20	61	193	61	68	38
老人福祉館	8	18	60	190	66	69	39
温泉施設	11	10	16	237	77	62	37

■割合

(n=450)	廃止すべき	縮小すべき	集約すべき	現状維持	拡充すべき	どちらでもよい	無回答
市民会館	2.0%	3.3%	5.8%	59.3%	10.0%	11.8%	7.8%
図書館	0.0%	3.8%	13.1%	43.3%	25.6%	7.6%	6.7%
地区会館	2.9%	6.9%	16.0%	44.7%	6.0%	16.2%	7.3%
公民館	5.3%	9.8%	18.2%	36.7%	3.8%	18.9%	7.3%
集会所	4.9%	8.7%	19.6%	38.0%	4.7%	16.4%	7.8%
歴史民俗資料館	3.6%	7.1%	10.9%	52.0%	5.3%	13.1%	8.0%
総合体育館	0.2%	1.8%	5.3%	56.7%	19.3%	8.4%	8.2%
市営プール	5.3%	2.9%	8.2%	38.0%	22.7%	14.9%	8.0%
児童館	0.2%	2.0%	7.3%	44.9%	24.4%	12.9%	8.2%
学童クラブ	0.4%	1.6%	6.9%	44.0%	27.1%	11.8%	8.2%
福社会館	2.0%	4.4%	13.6%	42.9%	13.6%	15.1%	8.4%
老人福祉館	1.8%	4.0%	13.3%	42.2%	14.7%	15.3%	8.7%
温泉施設	2.4%	2.2%	3.6%	52.7%	17.1%	13.8%	8.2%

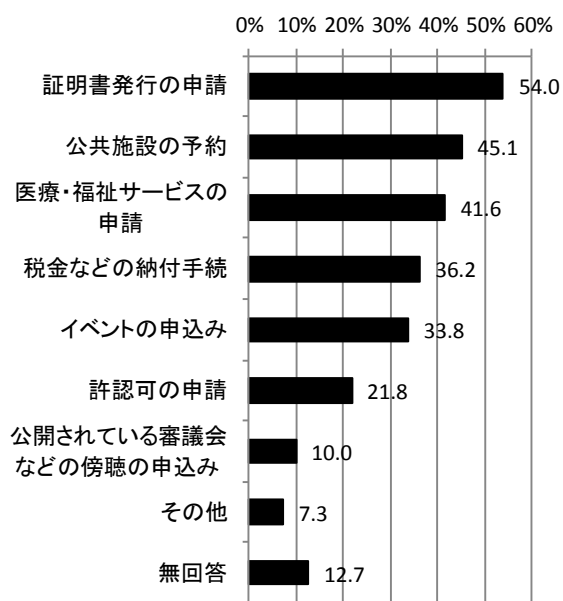


問 71 インターネットを活用した行政サービスについて、今後どのようなサービスの充実を求めますか。(〇はいくつでも)

インターネットを活用した行政サービスの充実に対する回答者の意向としては、「証明書発行の申請」が54.0%で最も多く、続いて「公共施設の予約」(45.1%)、「医療・福祉サービスの申請」(41.6%)、「税金などの納付手続」(36.2%)の順である。

項目	件数	割合
証明書発行の申請	243	54.0%
公共施設の予約	203	45.1%
医療・福祉サービスの申請	187	41.6%
税金などの納付手続	163	36.2%
イベントの申込み	152	33.8%
許認可の申請	98	21.8%
公開されている審議会などの傍聴の申込み	45	10.0%
その他	33	7.3%
無回答	57	12.7%

n=450

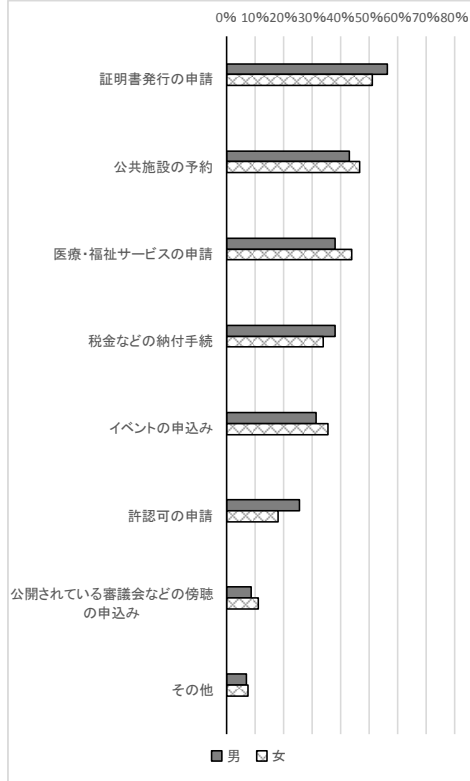


n=450

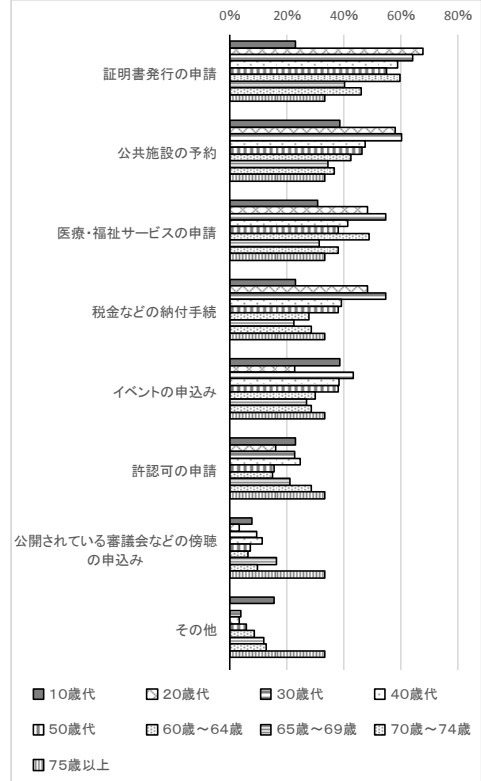
(「その他」の詳細)

- ・インターネットは使っていない(12件)
- ・充実させなくとも、よいと思う(3件)
- ・インターネット使用環境にない市民の手続きへの配慮が並行されるべき(2件)
- ・各種相談
- ・アンケート
- ・モノレール情報
- ・防災情報サービスの拡充
- ・市報にての電話申込みでより人間の声にての対応が好ましい

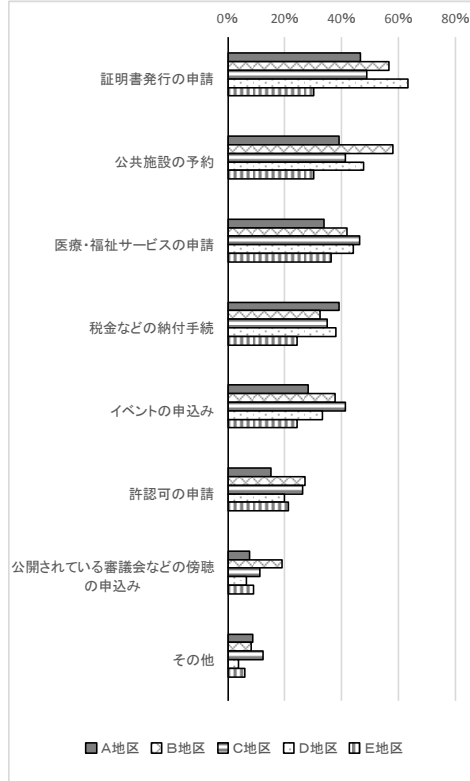
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

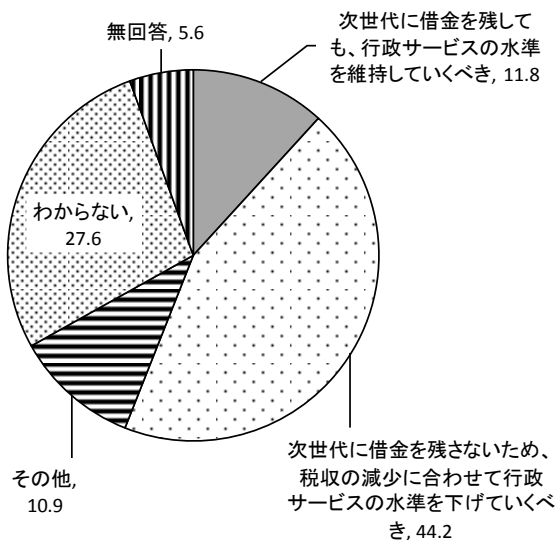
財政運営

問 72 今後、少子高齢化がますます進展する中で、市の財政は、一層厳しさを増すことが予想されます。そこで、市の財政運営と行政サービスとの関係について、どのように取り組む必要があると思いますか。

①歳出と行政サービス水準について (○は1つ)

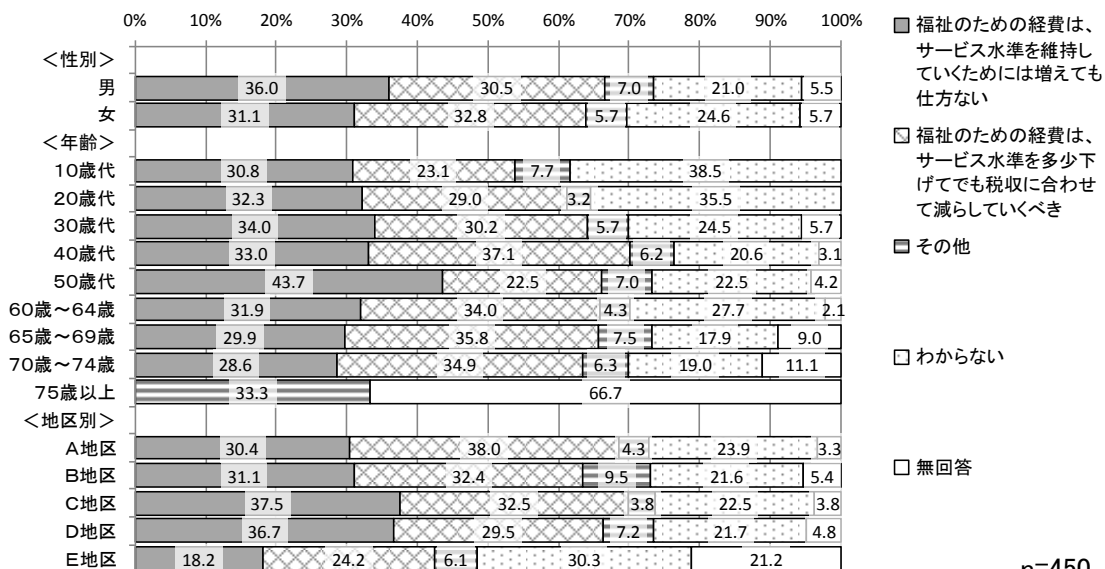
歳出と行政サービス水準との関係性にかかる回答者の考え方としては、「次世代に借金を残さないため、税収の減少にあわせて行政サービスの水準を下げていくべき」が44.2%である一方、「次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき」が11.8%である。

項目	件数	割合
次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき	53	11.8%
次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げていくべき	199	44.2%
その他	49	10.9%
わからない	124	27.6%
無回答	25	5.6%



n=450

n=450



n=450

(「その他」の詳細)

○負担増、サービス減ともに反対の意見

- ・必要に応じて
- ・「次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき」、「次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げっていくべき」合わせてそのまま
- ・必要あるものには対応すべき
- ・借金を残さず、水準を維持する
- ・借金を残しても行政サービスの水準を上げるべき
- ・借金を残さずサービスの水準は下げてもいい
- ・借金を増やさずに新しいやり方を考えて実行すべき
- ・次世代に借金を残さず、サービスの水準を上げるべき
- ・税収の減少を見込み、現在の行政サービス内容の質の向上
- ・借金を残すべきではないが、行政サービスの水準を下げるのもどうかと思う
- ・借金を残さない、かつ行政のサービス水準を下げずにすむ方法を考えていくべき
- ・行政サービスの内容について水準を下げずに検討、見直しをした上で必要な所へ

○他の経費削減でまかなうべきとする意見

- ・人件費削減
- ・ムダな経費の削減が前提
- ・無駄使いを徹底的にさがすべき
- ・財政支出のスリム化。(優先と先送り)
- ・費用軽減のため民間委託しサービスの向上
- ・借金を残さないため、サービスの工夫をする

- ・財政の合理化を図り、行政サービスを維持する
- ・経費削減を徹底し、極力サービス水準は維持すべき
- ・「次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき」と「次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げっていくべき」の2択はおかしい。行政コストを削減すべき
- ・税金の有効活用、今後必要とされるところへの投入
- ・行政の努力・能力が不足。サービスの水準を維持し、次世代に負担を残すな
- ・何をしているか分からない市の役員から削減すべき。そして維持を可能な限り行う
- ・市役所の職員の人数。ヒマそうな人がたくさんいるように見える。スマホをいじっていたり、新聞読んでたり
- ・多少なりとも借金を残さないため、水準を下げるのではなく、効率化を図るべき
- ・財政が厳しくなるというのが理解できない。なぜ？財政運営が良くないからではないのか
- ・必要な物にお金をかけるために、あまり使用されていないサービスの人質を他の所に分けるなどしてムダをなくしていくべき
- ・次世代に借金を残さず、財政運営のムダな部分の排除、行政サービスの水準を保ち、又は向上させるための、縮小化や効率化
- ・財政運営の見直し、工夫により優先度の高い行政サービスの水準を維持していく

べき。(必要以上の借金は望まない) 高齢世代よりもっと税を徴収すべき

○サービスの見直しを求める意見

- ・金を掛けずに出来るサービスを考える
- ・今の行政サービスが必要か？検討する
- ・市民が納得できるラインでバランスを保つべき
- ・税収の減少に合わせ、サービスにメリハリをつけていくべき
- ・税収の減少に合わせて行政が提供すべきサービスの優先度により選択していく。
- ・「次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げていくべき」の意見に近いが、どのサービスを下げるかの見識が大切だと思う
- ・次世代に借金を残さないため、選択と集中をし、それでも税収が不足するなら、行政サービスの水準を下げる

- ・サービスの水準を下げるのではなく本当に必要かどうかの見直し、サービス内容の検討

○歳入増を求める意見

- ・新たな財源の確保、努力が重要
- ・税収入を増やして行政サービスをニーズに合わせたものにすべき
- ・財源の取り方、使い方に検討の余地があると思う。市に限らず国レベルで
- ・行政サービスを充実させ、税収を増やすために日産跡地を一つの街として活用し、企業・市民の誘致を図るべき
- ・村山はとても貧しい街だと聞かされています。駅(モノレール)が出来ればいろんなものが入ってきやすいし、経済的にも潤います。そこから行政サービス水準も明るくなると思うのですが…

○その他の意見

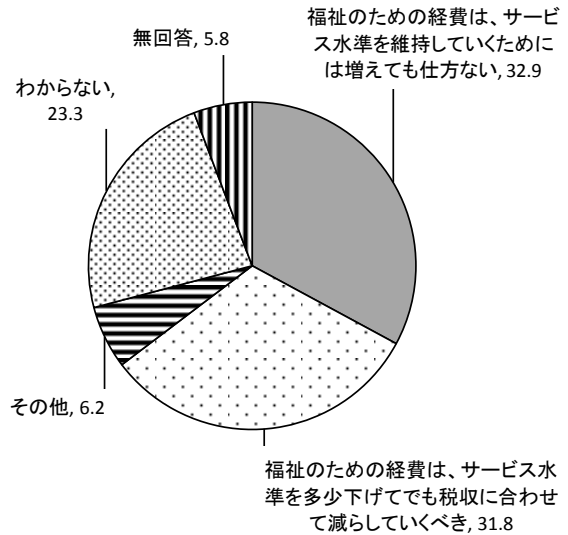
- ・立川市等と合併を検討
- ・しぼれるところをしぼり子には増す

②福祉に関するサービス水準について (○は1つ)

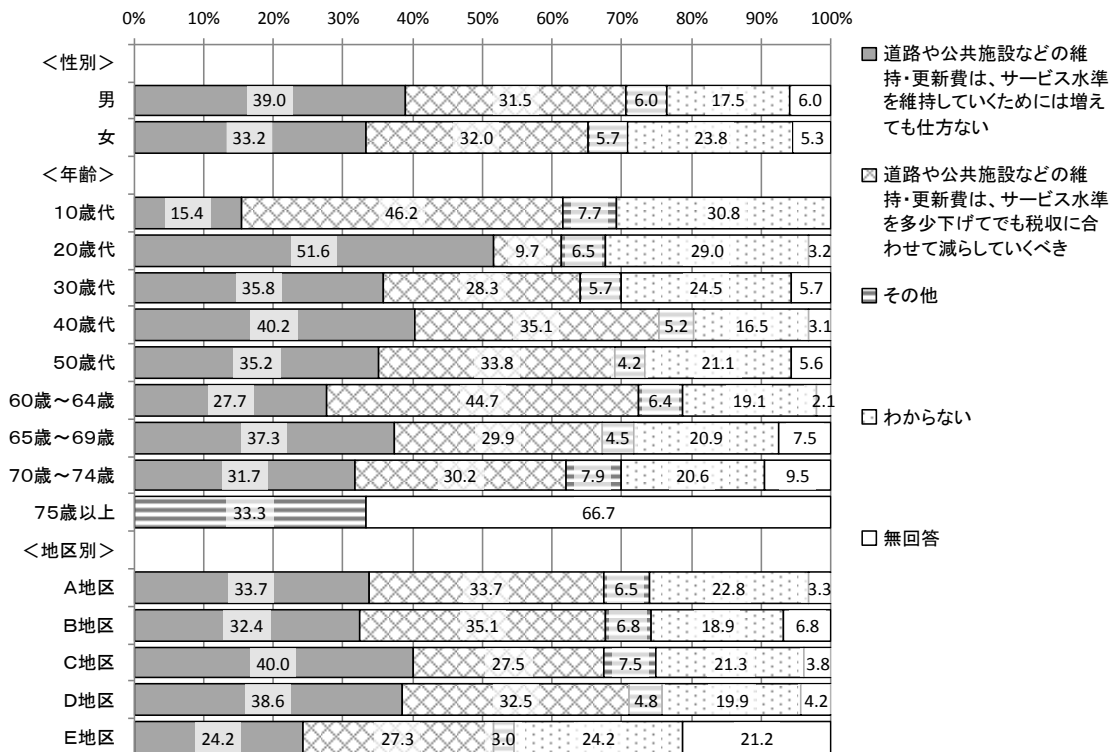
福祉に関するサービス水準にかかる回答者の考え方としては、「福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が 32.9%である一方、「福祉のための経費は、サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき」が 31.8%である。

項目	件数	割合
福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない	148	32.9%
福祉のための経費は、サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき	143	31.8%
その他	28	6.2%
わからない	105	23.3%
無回答	26	5.8%

n=450



n=450



n=450

(「その他」の詳細)

○負担増、給付減ともに反対の意見

- ・ サービス水準を下げず、税収も減らすべき
- ・ 水準を下げず、経費も増やさない
- ・ 個人対応できないものには対応すべき
- ・ 最良の使い方を社会と関係者でもっと考えて
- ・ 経費もサービスも維持するための方策を検討する

○他の経費削減でまかなうべきとする意見

- ・ 「福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」と「福祉のための経費は、サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき」の2択はおかしい。行政コストを削減すべき
- ・ 何をしているか分からない市の役員から削減すべき。そして維持を可能な限り行う
- ・ 経費低減の努力・能力ができていないだけのこと。サービス水準を維持していくこと

○負担と給付の見直しを求める意見

- ・ 質の見直しを
- ・ サービスの工夫
- ・ サービスを精査すべき
- ・ 市の財政にあわせて実行
- ・ 金を掛けずに出来るサービスを考える
- ・ 市民が納得できるラインでバランスを保つべき

- ・ サービスの見直しと収入に応じた自己負担の検討
- ・ 優先度に応じてサービス水準を維持するものと下げるものを適切に選択する
- ・ 選択と集中をし、それでも税収が不足するなら、行政サービスの水準を下げる
- ・ 主に対象となる高齢世代よりもっと税を徴収すべき（主に医療・介護費）
- ・ 福祉サービスは大事、維持していくことも大切、歳入税を考えることも必要と思う
- ・ 本当に困っている人には手厚くし、グレーな人には利用を遠慮してもらうような使い方を

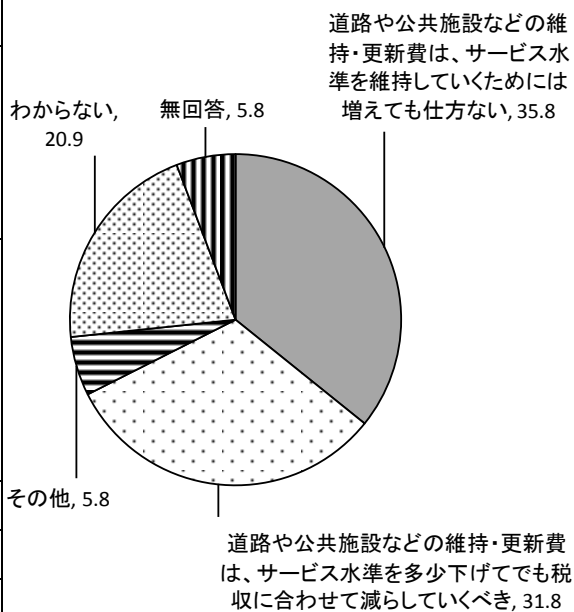
○その他の意見

- ・ 現在の福祉サービスがわからない
(2件)
- ・ 税収減少させない為の施策を市民より聞く事も考えるべき
- ・ 福祉のプロフェッショナルの育成及び維持に取り組み、人員を増やさなくても良いような体制をとることと、市民や利用者の理解と協力を促し、できるサービスと、できないサービスの見直し、およびそれを受け入れてもらうための活動等（説明や広告等）
- ・ しぼれるところをしぼり子には増す
- ・ 国をあてにしないで生きていきたいと思っているので、何とも言えません。当てにならぬ国と我が子

③道路や公共施設などの整備水準について（○は1つ）

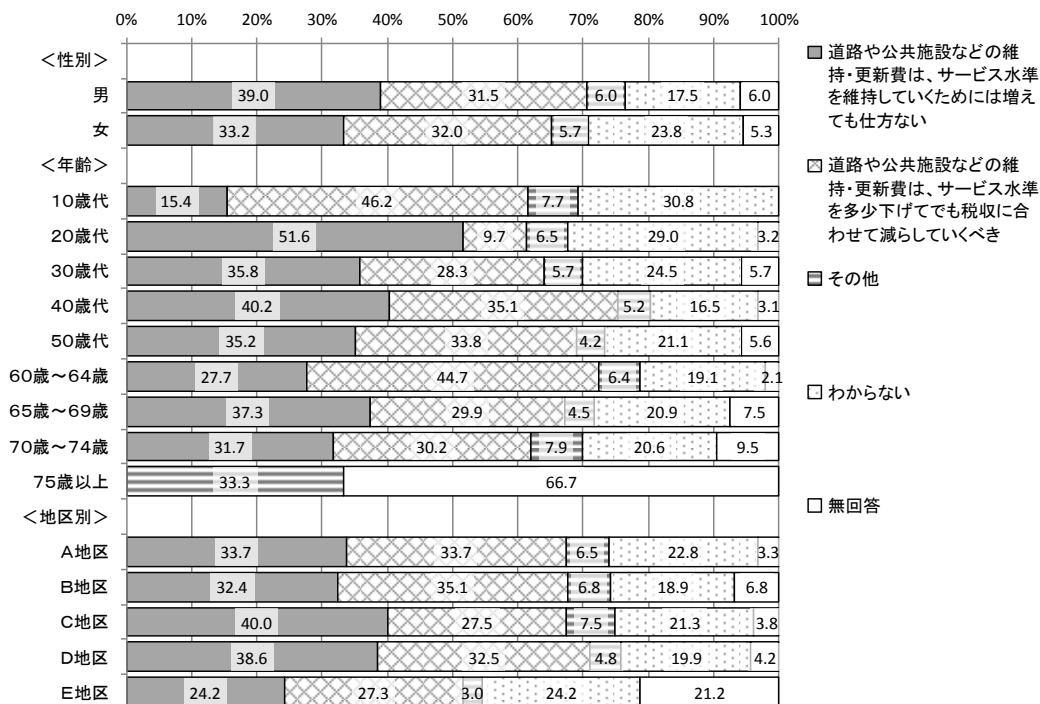
道路や公共施設の整備水準に対する回答者の考え方としては、「道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない」が35.8%、「道路や公共施設の維持・更新費は、サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき」が31.8%である。

項目	件数	割合
道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない	161	35.8%
道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき	143	31.8%
その他	26	5.8%
わからない	94	20.9%
無回答	26	5.8%



n=450

n=450



n=450

(「その他」の詳細)

○負担増も整備水準低下も反対の意見

- ・必要な場合は行なう
- ・公共施設は以前のようにお金をとるべきではない！！
- ・行政が無能かつ努力の実行意欲がない。
サービス水準維持
- ・安全・安心に生活していくためには、サービス水準の維持は必要

○他の経費削減でまかなうべきとする意見

- ・県や都などの補助金等を利用して維持してほしい
- ・「税収減少やむなし」の考え方は不可。
- ・サービス水準のレベルによる
- ・何をしているか分からない市の役員から削減すべき。そして維持を可能な限り行う
- ・そもそもサービス水準と経費が見合っているのか検証が必要。無駄が多いと感じる！
- ・市民の負担を増やすか、サービス水準を下げるかを問う前に、市の財政運営の透明化・工夫・見直しの姿勢を分かりやすく示してほしい

○整備水準等の見直しを求める意見

- ・最低限の事をしてゆく
- ・金を掛けずに出来るサービスを考える

- ・現在の維持、更新方法の見直し
- ・市民が納得できるラインでバランスを保つべき
- ・維持などは高齢者のボランティア等を考えられませんか
- ・道路清掃（自動車による）散水、ブラシ回数を減らすべき
- ・安全には費用はかけるべきであるが、過度に支出しないようにしてほしい
- ・市役所南（本町一丁目と榎三丁目）の道路整備や区画整理はお金をかけすぎ
- ・ライフライン、安全基準等の見直しをして無駄をなくせば減るものと思料。その他、サイクルコストを考える
- ・よくわからない道路整備をなくし、必要な場所の整備をする。（道路整備）サービスを向上させるために公共施設などの内装をきれいにする。費用は今のままでも、できることや変えられるところはあ

○その他の意見

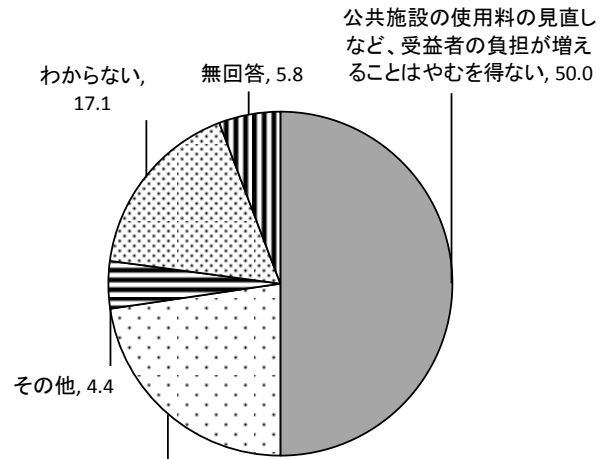
- ・新青梅街道に出る道はどれも一車線、右折専用レーンがないため渋滞が多い。維持よりも改善すべき
- ・しぼれるところをしぼり子には増す

④公共施設の使用料とサービス水準について（○は1つ）

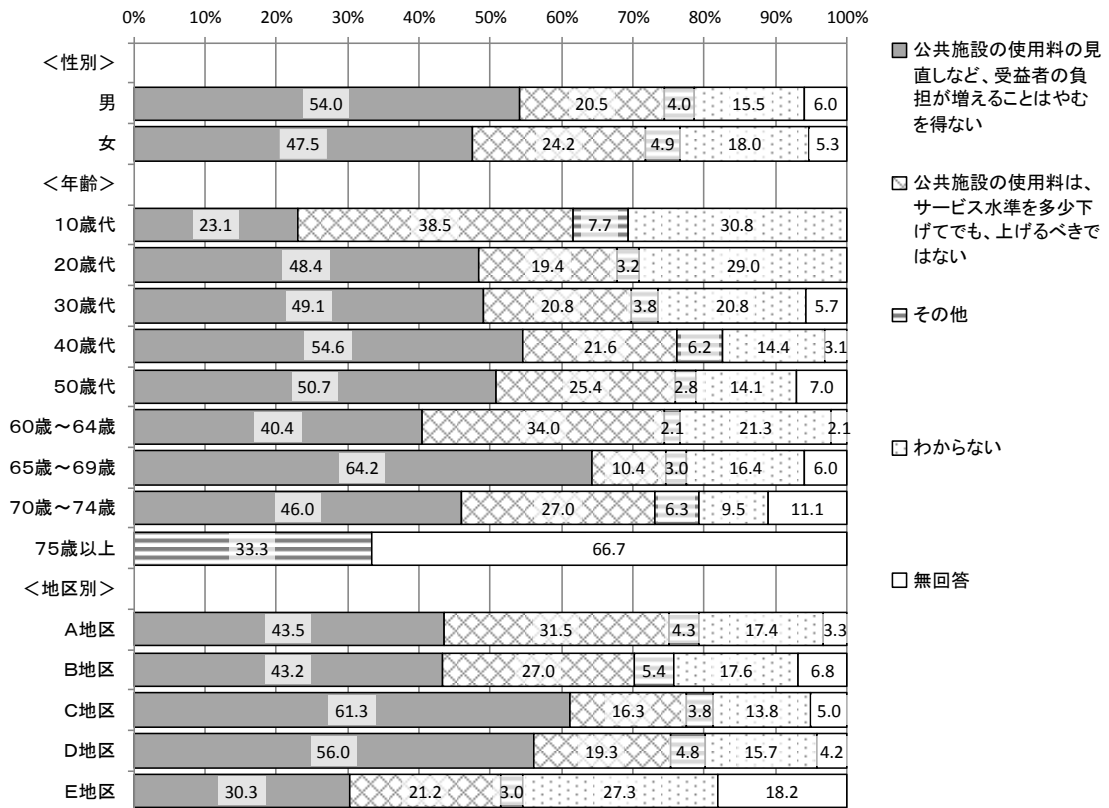
公共施設の使用料とサービス水準に対する回答者の考え方としては、「公共施設の使用料の見直しなど、受益者の負担が増えることはやむを得ない」が50.0%、「公共施設の使用料は、サービス水準を多少下げても、上げるべきではない」が22.7%である。

項目	件数	割合
公共施設の使用料の見直しなど、受益者の負担が増えることはやむを得ない	225	50.0%
公共施設の使用料は、サービス水準を多少下げても、上げるべきではない	102	22.7%
その他	20	4.4%
わからない	77	17.1%
無回答	26	5.8%

n=450



n=450



n=450

(「その他」の詳細)

○負担増もサービス減も反対の意見

- ・現状維持
- ・今以上に上がるにはいやです
- ・現在の施設をたいせつに使用する
- ・使用料を低減する施策を検討・実施
- ・そもそもサービス水準が低いと思いませんか！
- ・使用料は必要ない。パソコンを入れたためのお金では
- ・使用料なんて小さいものなのに…。何とかならないのですか
- ・公共施設の使用料を上げる必要性があるのであれば、サービスをひとつでも良くする

○他の経費削減でまかなうべきとする意見

- ・無駄を少しでもさがして削って下さい
- ・①(新たな財源の確保、努力が重要)、②(税収減少させない為の施策を市民より聞く事も考えるべき)、③(「税収減少やむなし」の考え方は不可)がまず必要、「財源減るからどうする」は不可

- ・何をしているか分からない市の役員から削減すべき。そして維持を可能な限り行う
- ・市役所の無能ぶりだけが目立つ。使用料を下げ、受給者負担に頼らない。ましてやサービス水準を下げるとはもってのほかだ
- ・市民の負担を増やすか、サービス水準を下げるかを問う前に、市の財政運営の透明化・工夫・見直しの姿勢を分かりやすく示してほしい

○サービス内容の見直しを求める意見

- ・金を掛けずに出来るサービスを考える
- ・市民が納得できるラインでバランスを保つべき
- ・使用料は上げず、その場でできることを利用者が行うことでお金をかけないようにする。→管理(お掃除など)は利用者が行うなど…地区会館の場合

○その他の意見

- ・しぼれるところをしぼり子には増す
- ・何に力を入れるか悩んで下さい、仕事ですから

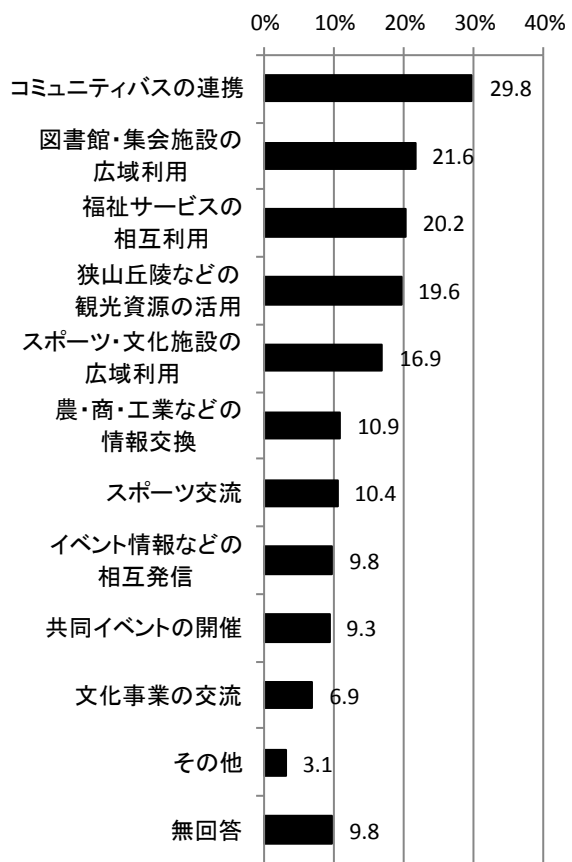
広域行政

問73 あなたは、今後、近隣自治体と連携し、どのような事業を行うべきだと思いますか。(○は2つまで)

近隣自治体と連携して行うべき事業としては、「コミュニティバスの連携」が29.8%で最も多く、以下「図書館・集会施設の広域利用」(21.6%)、「福祉サービスの相互利用」(20.2%)、「狭山丘陵などの観光資源の活用」(19.6%)と続く。

項目	件数	割合
コミュニティバスの連携	134	29.8%
図書館・集会施設の広域利用	97	21.6%
福祉サービスの相互利用	91	20.2%
狭山丘陵などの観光資源の活用	88	19.6%
スポーツ・文化施設の広域利用	76	16.9%
農・商・工業などの情報交換	49	10.9%
スポーツ交流	47	10.4%
イベント情報などの相互発信	44	9.8%
共同イベントの開催	42	9.3%
文化事業の交流	31	6.9%
その他	14	3.1%
無回答	44	9.8%

n=450



n=450

(「その他」の詳細)

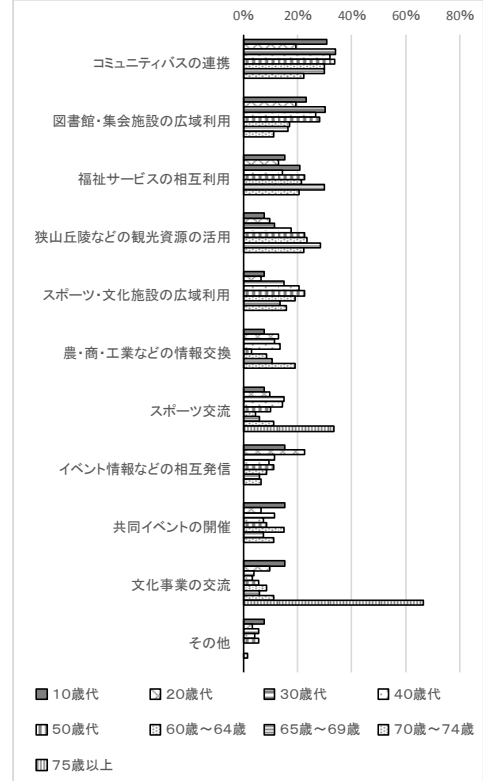
- ・横田基地の利用
- ・モノレールの延伸
- ・防災設備の充実
- ・「図書館・集会施設の広域利用」以外の連携の必要はない
- ・経費削減につながらない連携は事務負担が増加するだけで意味がない

- ・自治体に参加していないのでわからない
- ・武蔵村山市が交通の便が悪いと云われて久しいが、コミュニティバス等で頑張っていると思える。しかしそのバスがどこを走っているのかわからない。車が運転できなくなったときは不安で一杯です
- ・悩んで下さい

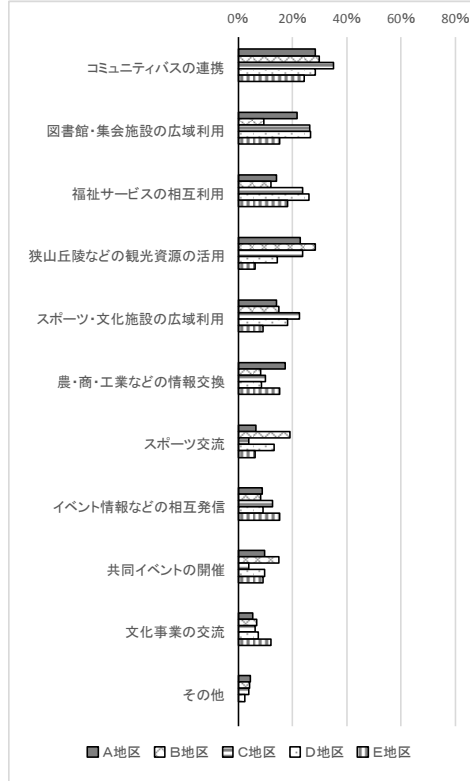
<性別>



<年齢別>



<地区別>



n=450

5. 自由意見

問 74 最後に、第五次長期総合計画策定に当たって、市政運営やまちづくりに対する意見や要望がありましたら自由にお書きください。【自由回答】

施策体系別 自由回答集計表

節	項目	件数	節	項目	件数
コミュニティ	地域コミュニティ	1	都市基盤	モノレール・地域交通	55
	交流	3		道路	10
パートナーシップ	情報共有	5		公園・緑地	7
	市民参加と協働	0		住宅・宅地	3
安心安全	防災対策	5		下水道	2
	消防体制	0		都市づくり	7
	交通安全	4	環境	廃棄物処理とリサイクル	4
	防犯対策	3		自然環境	0
健康・医療	健康づくり	0		地球温暖化対策	1
	スポーツ・レクリエーション	3	公害対策・環境美化	10	
	医療・救急	3	産業	農業	5
	社会保障制度	2		商・工業	7
福祉	高齢者福祉	3		観光	9
	障害者福祉	2	景観	都市景観	1
	子ども・子育て支援	5		水とみどりのネットワーク	4
	生活支援	2	文化	市民文化	0
	地域福祉	1		伝統文化・文化財	1
暮らし	消費生活	0	計画推進	行政運営	32
	雇用	1		財政運営	14
人権	人権・平和	1		広域行政	2
	男女共同参画	1	その他	このアンケートについて	11
教育	学校教育	6		その他	4
	生涯学習	3	合計	245	
	青少年健全育成	2			

回答者数: 132

○A 地区（中藤・神明・中央・本町）

性別	年齢	地区	自由意見
男	50 歳代	中藤	公共施設の集約化と真に求められる施設の新設が必要だと思えます。武蔵村山市には他世代と一緒に居て交流できる施設がない？（少ない）と思えます。特に中・高校生と高齢の方が交流できる（自然に一緒にいる）しかけのある施設があると活気があるまちづくりができると思えます。今後、モノレールの導入と共に活気あるまちづくりを進めてもらいたいと思えます。人口減少、超高齢社会、超少子化に抗えるまちづくり。
男	50 歳代	中藤	狭山丘陵などの観光資源（自然資源）と農作物、うどん文化などを融合させた、武蔵村山市独自のレジャー施設（学習施設）の創出をお願いします。丘陵の落葉や枯枝など再生エネルギーとしての資源も豊富で、エコロジーやリサイクルをキーワードに資源の活用にも興味があります。
男	65 歳～ 70 歳	中藤	問 8 で農業の欄がないのに、問 6 5 で農業都市がでてくる。農業は誰がやるんですか。総合計画を考える時、この市に対してどの様なユメを描くのか、それがなければ目標などで出てくるわけありません。目標がなければ計画など立てられません。始めに現実をたたきつけられてしまう（財政）と希望が小さくなってしまいます。
女	10 歳代	中藤	駅がないので大変つらい。
女	60 歳～ 64 歳	中藤	これだけの調査表作るのに大変お疲れ様です。これを作るのに経費もかかりますが記入するのが大変でした～！！
女	70 歳～ 74 歳	中藤	市民会館、市役所などきれいにしてほしい。小さな公園もきれいにしてほしい。
男	30 歳代	神明	早期、モノレール延伸の実現をお願い致します。
男	40 歳代	神明	自分が現役のうちには武蔵村山市から出てゆく事はない。この間（約 2 5 年）はバランスの取れた生活を送られればよいと考える。子供が自己のため転出するのは一向に構わない。このため 3 0 年先の武蔵村山市はどうなってもよいが、当然 3 0 年後も多数の市民が居住しているので、持続的な街（行政）として「元気」に存続してもらいたい。
男	40 歳代	神明	モノレールの早期延伸と大型商業施設等の誘致。
男	40 歳代	神明	モノレールの延伸なんかいらぬから身近な道路（生活道路）の歩道等の補修を行ってほしい。でこぼこで雨が降ると水たまりでまっすぐ歩けない道が多すぎる。地味でも生活に直結した物に金を使ってほしい。武蔵村山に駅なんか無くても良い。
男	50 歳代	神明	東大和市上北台駅駐輪場について、定期利用と一時利用の利用者の見通しについて疑問を感じる。また、上・下で駐輪する仕様になっているが、上の駐輪は女性では大変であり、両脇とのスペースも狭く出す時も大変。違法駐輪も多い。近隣の駐輪スペースにとめている者もいる。シルバー人材センターに委託し見回りしているが対応が悪い。（挨拶しない、私語が多い、e t c …）高齢者にやさしい街づくりを特に希望します。モノレールの一日も早い延伸を節に希望します。
男	50 歳代	神明	早くモノレールを市内にお願いします。ゴミの収集でプラスチックの日を増やしてもらいたい。
男	60 歳～ 64 歳	神明	国立や浦和のように住みたい町にするにはどうしたらよいか考えれば良いのでは。国が考えるような大きなこと（地球温暖化

			等) なんか考える必要はなく、市は市民のために何ができるかを考えるべき。封筒が小さい!
男	60歳～ 64歳	神明	教育委員会は学校教育の自由を侵害すべきではない。教育行政は学校の施設整備に徹するべきで、教育内容に介入すべきではない。子どもの実態を知る教師の意見を尊重して、自由な教育を尊重することが子どもたちの成長に資することになる。武蔵村山の教育委員会による学校教育に対する不当な支配は言語道断である。教師の意見を無視して何の見識も持たない委員が右翼的教科書を採用するなど、民度の低さを端的に示すもので、多摩地域の恥である。
女	20歳代	神明	モノレールの延伸を早く実現してほしい。最寄り駅まで自転車で約10分というのは少々不便である。また、市内バスの本数も少なすぎるのもっと充実させて欲しい。
女	20歳代	神明	街の顔である市役所内が雑多で事務所めいている上、そういった場で働いているがために、そうなっていると感じるような対応や雰囲気が見られるので、まちづくりをしていくのであれば、そこから変えていくことを考えます。また、せっかくの大きな観光イベントであるデイダラ祭りが、どんな祭りなのかを知る機会がなく、外側からみれば道路等を使えない等のストレスを与えている部分があるので、それを改善していくと良いと思います。(市報に絵本やかんたんななりたち・物語り・武蔵村山市との関わりを掲載するだけでなく、わかりやすいパンフレットの配布、他市などへの案内や配慮に力を入れる等。) かたくりの湯は他市民の方々も知っている名所となっているので、わかりやすい案内や施設の整備、周辺の手入れ等を行い、観光名所としてより良いものにしていくと、さらなる武蔵村山市名所のアピールになるのではないのでしょうか。
女	30歳代	神明	ずっと言われていると思いますが、多摩モノレールは早く延伸してほしいです。バスも少なく、時間帯によって寄らないバス停や1時間に1本しか来ないとか、少し改善してほしいです。
女	40歳代	神明	大雪の朝等、市内循環バスの上北台ルートで迂回の際、神明に住んでいる人も利用できるよう臨時バス停か乗車可能な場所を設けて市報等で知らせるなりした方が良いと思います。多摩モノレール延伸してほしいです。ちょっとした病院に行けるバスがあると高齢者に良いのでは。
女	40歳代	神明	モノレールを早く通してほしいと思っています。
女	50歳代	神明	駅駐輪場の有料化やバスの運行縮小等、交通機関の利用が不便になる点があるように感じるので、モノレールの早期延伸やバス路線の増加・充実を望みます。(駅が市にない分、他の充実をお願いします) 他にもあると思いますが、今第1に浮かぶのは上記の件です。
男	60歳～ 64歳	中央	モノレールの早期延伸を希望する。
男	70歳～ 74歳	中央	1. アンケートの設問がむずかしいと思う。2. 対面回収でないと回収率が上がらない。3. 上記のことからアンケートの効果が期待できない。
女	10歳代	中央	市内循環バス(MMシャトルなど)の本数を増やして欲しいです。電車やモノレールがない分、通学・通勤に、また高齢者の方に配慮したまちづくりを進めて頂きたいです。また、野山北

			公園などの緑や自然をいかしたイベントなどがあると良いと思います。宜しくお願い致します。
女	20 歳代	中央	モノレール延伸を早急にお願いしたいです。若者（特に学生や車のない人）にとって、交通の便が悪いのは大変です。市内バスや市外バスも本数が多い訳ではないので、出掛けるのも一苦労です。交通の不便さを理由に武蔵村山を出て行く若者は今後増えていくと思います。ますます市の少子高齢化にも繋がり、新たな問題が生まれると考えます。それらを防ぐためにも早急に延伸して頂きたいです。よろしくお願い致します。
女	40 歳代	中央	車が無ければ生活（買物、仕事等々）などの不便な所がある内は住む事も働く事も悩みますよね。やっぱりバスは遅れますし、昭島、拝島は行く時の不便さははんばない。
男	30 歳代	本町	市名を変更すべし。「武蔵村山市」→もっと明るい名称にすべし。西東京市などあるじゃないか！！
男	65 歳～ 70 歳	本町	<p><要望> 1) 一番の要望、モノレール（鉄道）を早く通して欲しい。（例。不便、P 2 4 の問 6 1 参照） 2) 住んでいる人が少ないのに、必要以上の立派な道は造る必要ないと思う。（例。<要望> 1) 一番の要望、モノレール（鉄道）を早く通して欲しい。（例。不便、P 2 4 の問 6 1 参照） 2) 住んでいる人が少ないのに、必要以上の立派な道は造る必要ないと思う。（例。P 2 9 の問③参照） 3) 無駄な医療費をなくす。（例。P 1 2 参照） 4) 他市よりも犬のフンが多く汚い街である。（外国人にもあきれられるほど、武蔵村山市の道路は犬のフンが多い街。）市から、もう少し強く指導して欲しい。<将来都市像への一案> 将来都市像『人と緑が織りなす 夢ひろがる やさしいまち むさしむらやま』にぴったりの企画（案）</p> <p>例-1 『自然環境に恵まれ、楽しくウォーキングが出来る街、武蔵村山』武蔵村山市には、素晴らしい自然環境に恵まれたウォーキングコース（※1）が沢山あり、私が、時々歩いていて楽しいコースです。他市ではしない近辺にこれほど沢山のコースはないと思う。是非盛大にコマーシャルをして、市民の健康と市の知名度を挙げてこれが市の産業に繋がればよい。</p> <p>（※1 ウォーキングコース例、特徴と安全度）①野山北公園自転車道コース…木陰があり、桜の季節は花見可。歩道幅が広く歩きやすい。②多摩湖公園自転車道コース…木陰があり、森林がきれいで湖も見られる。（信号がほとんどない）③野山北・六道山公園コース木陰や自然森林が一番あり、山歩き感覚で歩ける。（信号がない）④横田-赤堀-御岳-赤坂トンネルコース…真夏の日差しの強い暑い日でも、トンネル内は日陰があり最も涼しいコース。（信号がない）⑤残堀川コース…川を見ながら歩ける。⑥旧日産跡地一周コース…一周回りながら、遠くの山、多摩の空を全体見ながら歩ける。ランニングにもってこいのコース。（信号が少ない）⑦野山北・六道山公園コース…木陰があり、自然森林を未ながら山歩きが出来るコース。（信号がない）⑧空堀川コース…川を見ながら歩ける。⑨里山-六道山公園道-六地藏-出会い広場-遺跡広場コース…木陰があり、自然森林を見ながら山歩きが出来るコース。（信号がない）</p> <p>例-2 市に立ち寄った帰りに、名物「武蔵村山肉汁うどん」や「武蔵村山かてうどん」を食べて帰っていただく。「武蔵村山肉汁うどん」や「武蔵村山かてうどん」は、毎年 M-1 グラン</p>

			り（武蔵村山市一番）を実施して一番を決める。…知名度を上げる。
女	50歳代	本町	大雪、大雨時の災害時の市の対応が感じられない。数年前の大雪の時、瑞穂町では日曜日で休み中にもかかわらず、町の職員がブルドーザーで町中の細い道まで除雪作業をしていました。瑞穂町からの帰り道、武蔵村山市に入ったら道路は雪だらけ。瑞穂町の職員、地域の方々等の除雪作業の町の方々は安心したと思います。私は瑞穂町の職場がありますので、良く瑞穂町の街づくりを目にします。公園の整備、避難所等充実している様に思えます。武蔵村山市も市と地域の方々と市民に見える街づくりを希望します。大雪時の除雪の対応はお願いしたいと思います。武蔵村山市は公共交通機関が不便なため一家に1台以上車を持っているかと思います。道路は整備をお願い致します。
女	70歳～ 74歳	本町	①空堀川がきれいな流れになることを願っています。外来の蛙や亀の姿も見かけますが、オイカワなども繁殖し、それを目当てにカワセミが飛んで来るなど、思いの外自然豊かです。できたら定期的な清掃など、よりきれいな流れにすることを考えてほしいと思います。ボランティア活動で市民の協力を求めてもいいと思います。市民同士のつながりが生まれるという副産物も期待できるのではないのでしょうか。②横田基地へのオスプレイの配備が決まりました。墜落の恐れをはじめ、様々な問題をはらんだオスプレイです。トランプのアメリカとその意向をそのまま受け容れる現在の日本の政府を考えたら、オスプレイが村山の空を轟音をひびかせて飛び回る日が来るような気がして心配です。近隣の自治体と力を合わせ言うべきことをきちんと言って欲しいと願っています。（以上2点、2,000名の1人に選ばれた家内の思いに賛同し、協力して文章化しました。許容されるならお取上げ下さい。）

○B地区（三ツ木・岸・中原）

性別	年齢	地区	自由意見
男	30歳代	三ツ木	調査票が長過ぎる。全部読むのがキツイです。
男	50歳代	三ツ木	異常気象による豪雨などがあつたり、地震や自然災害が多く見られます。火災やお年寄りのひとり暮らしなど非常時の防災放送に耳を傾けますが全く聞こえません。広報放送のとう（塔）を作ってください。野山北公園山中でも聞こえません！何度もお願いをしているのですが、次の予算で～と言いながら何年経っているのでしょうか。この地域はお年寄り、ひとり暮らしが多いのです。
男	70歳～ 74歳	三ツ木	色々と御苦労様です。
女	30歳代	三ツ木	市内の第2小学校に通う子（学区内で広く遊べる）が公園がない。公園に行っても高校生など、少し柄の悪い子がいて小さい子が遊びづらそうです。山王森付近の水道道路は、夜間通る時不気味です。ライトなどももう少し明るくしてほしいです。不審者も多く出るので、何か対策をお願い致します。
女	40歳代	三ツ木	市政運営やまちづくりに当たる職員の方が武蔵村山市を好きになっていただけるような研修などを工夫してほしい。

女	50歳代	三ツ木	モノレールの延伸を少しでも早く実現して下さい。路線バスを使って通院しているので、本数の増加を充実させて下さい（都バス）。日常の移動は（買い物など）主に自転車を使用しているので、道路の段差や自転車走行帯などを充実させて下さい。（事故を未然に防ぐ為）常日頃、市の為に尽力されている職員、関係者の皆様に感謝致します。
女	60歳～ 64歳	三ツ木	1) モノレールの早期実現とショッピングモールとの連絡。2) 病院の受信時間の拡大と救急医療の充実。3) 村山団地の入所の拡大。入居者の実態調査。昔から入居している為、家族が外に出たり配偶者が亡くなって独居で広い所に入っている為、若い人が入れない。単身者用の団地に移す事はできないのか？若い人を入れ子育てしてほしい。4) 生活保護の実態調査。住所変更せず同居している家族がいて聞いていますが…。又、生活保護の人に対する生活と就労支援。自立に向けての働きかけの強化。5) 待機児童0、子育て支援、出産・育児に対する経済支援。6) 農地の充実、若い人の農業人口拡大、失業者減少に向けての取り組み。
女	65歳～ 70歳	三ツ木	私は毎日のように水道道路（桜並木）を散歩に利用させてもらっています。緑に囲まれ夏はとても涼しく助かります。道脇にあじさいの花が所々植えてあり、それ以外はいつも草の生える場所がすごく、処理が大変です。提案ですが、あじさいの花を道両脇にたくさん植え、桜の花とあじさいの花を楽しむようにしたらいかがでしょうか？草退治をせずにすれば経費も節減できると思います。4月の桜と6月のあじさいが有名にしたいと思います。
男	50歳代	岸	サービス水準を上げる＝税金が増えるといった前提でアンケートを聞いているようですが、その考え方が武蔵村山が発展しない理由だと思います！税を下げてもサービスを良くするという考えが市の財務部にはないのでしょうか。たぶん武蔵村山から引越します！
女	30歳代	岸	電車も通っていないのに駐車場は少なくとても不便。武蔵村山市に住んでいる利点は何1つ感じられない。前記【問23-2：市民体育館の駐車場の利用方法のひどさ（特に日曜や休日の野球等の観戦？）。市民税を払っているのに利用もできない。時間外だと言ってトイレも貸してもらえない。どうにかするべきだ。とても怒りを覚える。】した様に市民体育館の駐車場の利用方法についてはすぐに対応するべきだと思う。スペースや線が無視して止めるせいで奥まで行くのはもちろん戻ることでもできずとても困った。いつかトラブルになると思う。給料をもらっているのなら職員が誘導や整備をするべきだ。又体調悪い時、そうじのおばさんにトイレの利用を断られたが、だったら外のトイレもきれいに整備しろ、とても不快だ。
女	60歳～ 64歳	岸	以前市役所の窓口にて対応の悪さに辟易するの繰り返しでした。市民課の女性につけられた心の傷は今でも消えていません。市民を見下し、舌打ちでもしそうな位のキレ方でした。数年が過ぎ昨年、窓口での対応は少し改善されたような気がしました。市民の血税で成り立つ仕事である事を認識し、市民目線を忘れずに勤めて頂きたい。地元民だからとか古くからのなあなあな関わりとか一時代前のような市政は未来への繋がりを狭めてしまいます。開かれた新時代の市政を希望します。

女	60歳～ 64歳	岸	市政運営やまちづくりに対して早くモノレールを延伸してほしいです。雨水排水の整備をお願いしたい。数年前に旧青梅街道にて大雨で自分の車が水没してしまい、修理が大変でした。 (峰地区)
男	40歳代	中原	モノレールの交通整備に力を入れて下さい。
男	40歳代	中原	かたくりの湯のとなりの市民プールが古くきたないため（特に更衣室）改修してほしいです。（H22年以来行っていないため。その後、8年経っており改修されていればOKです！！）市内路線バスの時刻表を作成してほしいです。（MMシャトルバスと同じタイプのもの）（高齢者にはHPは見るのがむずかしいため）人によって意見等を直接言うことが出来ない人もいますので、このようなアンケート等を実施してもらおうと良いと思います。
男	65歳～ 70歳	中原	市の発展には住民に住みやすい町を提供することが重要であり、地域に愛着を持つ若い人を育成するためにも地域の特性を有効に活用することが基本となる。そのために、①住宅環境の整備（美しい街並、緑化保全、モノレール延伸）②歴史・産業文化の伝承（歴史民俗資料館、里山体験施設を利用し、狭山丘陵の自然に学び歴史・産業の発展に触れる）③市内の農家の協力を得て市民農園や茶の栽培等の体験企画（シニアの趣味や小・中学生の教科目の体験学習に組み入れる等で農業の後継者不足にも対応）④横田基地での国際交流（夏休みを利用した横田基地の家族との短期交換留学により、小・中学生の語学・国際感覚を養う。）を検討・実施してほしい。
女	30歳代	中原	モノレールの早期延伸、本当にお願ひします！！とにかく交通の便がとっても不便です！！結婚して旦那さんが市民だったのでそのまま住みましたが、本当に不便です…。
女	40歳代	中原	結婚を機に引っ越してきましたが、交通の便が悪すぎて最悪です。高校や大学に通う為に電車が走っていないのはあり得ません。本当に東京都なののでしょうか？！しかもバスも1時間に2本しか走っておらず日々拷問です。交通の便が理由で行きたい学校に行けず（都内が遠いので）最悪です。若い人々は武蔵村山市には将来住みたくない！という声を多数聞きます。早く引越したいです。
女	60歳～ 64歳	中原	グリーンタウンの近くに、生鮮食品をおくスーパーを誘致してほしい。ジョイフルはあるけど、遠いので。大型でなくてもよいので、徒歩2～3分の所に一軒欲しい。
女	65歳～ 70歳	中原	交通が不便です。全てはここからだと思ひます。ご苦労様です。がんばって下さい。

○C地区（三ツ藤・伊奈平・残堀）

性別	年齢	地区	自由意見
男	30歳代	三ツ藤	意識調査、マークシートにしてはどうでしょうか。費用対効果は試算していませんが、この「まる」をまた人の手で集計してデータ化するとなるとなんだか思いやられます。
男	60歳～ 64歳	三ツ藤	家の上を米軍のヘリコプターが低空で旋回しており騒音がうるさい！市から米軍に忠告できないか。
女	20歳代	三ツ藤	サービスの水準など具体的ではない質問は答えづらい。アンケートの量が多い。アンケートの回収率を市報に載せて欲しい。

女	30歳代	三ツ藤	三ツ藤の住宅街には、あまりカーブミラーがありません。大きな道があったり、車の通りも多く自転車も通りますので、ミラーを付けてほしいです。
女	65歳～70歳	三ツ藤	モノレールが通ると話を聞いてから早30年近く経ち、その後も遠い日になるのでしょうか。村山の活性化にはモノレール、駅が必要です。どうか早目にモノレール実現を期待しております。いつまでも村山のままになります、残念です。
女	70歳～74歳	三ツ藤	これからの人達はITに長ける方が多数となります。旧体制依然では武蔵村山は取り残されてしまいます。どうぞどうぞ若い職員の考えを活用され活性化された役所になって頂きたいと希望いたします。私は武蔵村山市に生まれ育ちました71才です。（市長と同期）ローカルティは好きですが他市のことも学習して下さい。ちなみに私でさえタブレットやアイホンを駆使し生きております。こんなバーバもおります。
女	70歳～74歳	三ツ藤	早期モノレールの事業の開発を推進し、交通の不便を解消し高齢者、若者の住み良い環境を望みます。
女	70歳～74歳	三ツ藤	公共施設の使用料について。地区会館を週2回利用していません。大南を使うと月に9,600円、会費を増してがんばっているのに見返りが全くありません。（カーテンボロボロ）まだ都の緑ヶ丘の方が安価でサービスが整い予約が大変です。不満なのは使用料がどのように使われているか明細が全くわかりません。サークル仲間の不満がふくらんでいます。
男	30歳代	伊奈平	医療、サービス、福祉のバランスのとれた都市計画のもと、空地を有効活用し電車等の交通機関の充実、市民及び企業の誘致を行い税収改善を計るべき。
男	40歳代	伊奈平	モノレールの誘致。
女	50歳代	伊奈平	伊奈平のドミノピザ、セブンイレブンのある交差点から東（イオンの方）に向かう道に広い歩道を整えてほしい。トラック等が多いので、自転車で通るのがあぶない。同交差点から横田に向かう細い道について、抜け道になっている為、車や高校生の自転車が多いので広くなりませんか。
女	65歳～70歳	伊奈平	公害を発生すると思われる企業に対して、市民生活に影響を及ぼさないよう厳しくチェックし改善を指導すること。もっと高齢者の活用（仕事、ボランティア）を図ること。
男	40歳代	残堀	外国人の短期、長期就労を支援するべき。日産跡地を早く公園やリクリエーション施設に変えていくべき。
男	65歳～70歳	残堀	使われていない住宅等の有効利用に関する取り組みや計画や現状を伺いに市役所を訪問した。今は制度を検討し始めた様だが、その時（一年半前）は窓口をたらい回しされたあげく「そんな計画もないです」と関心のない態度を示された。他の自治体の動きや空家対策など考えたこともないと言った男性の対応にがっかりした。窓口に立った男性やまわりの人たちの資質までも問いたくなった経験です。
男	70歳～74歳	残堀	今に満足せず、アンケートの1～2で無く、お互いに皆んなで悩みましょう。
女	40歳代	残堀	歩きタバコを禁止して罰則をつくってほしい。自転車が歩道を堂々と危ない（特に小中高生）。通学路は抜き歩きタバコを禁止して罰則をつくってほしい。自転車が歩道を堂々と危ない（特に小中高生）。通学路は抜け道禁止してほしい（標識、時間帯）。公園に変質者が多すぎる。図書館の窓口が会話がうるさ

			くて困る。市役所の窓口に態度が悪い人がいる。野焼きは土日にされる、市役所に要望出したら注意してと言われたが目が合うと逆切れされた（こわいです!）。住宅街でバーベキューやめてほしい。道路で遊ばせないでほしい。防災訓練（体育館で実際にとまってみたい。トイレや炊き出し）
女	40歳代	残堀	イオンの近くにコストコを誘致してほしいです。歩道の植木を撤去して道を広げてほしいです。武蔵村山の情報を明るい感じでSNSで情報発信してほしいです。武蔵村山に住んで思うのは公共の交通がとても悪いので、ライドシェア（相乗り）のお試し地域として取り組んではどうだろうかと思えます。アプリで車を呼べたりシェアしたりできたらモノレールもバスもいらなと思う。ワンボックス7人乗りくらいの車（やや広めの車）でやってほしいです。未来的な公共サービスや市政の発想や取り組みで移住者を増やせば、老人ばかりの先細り財政難の金がないからサービスを低下すべきかというくだらない事に頭を悩ますこともなくなると思えます。インスタグラムのテクノロジーのジャンルを見て新しい事を武蔵村山でもどんどんやってみてほしいです。
女	40歳代	残堀	今後老人が増えていくことは絶対ですが、それに対して私たちの負担が大きくなり過ぎていくのは子育てすらできない状況になる。もっと子育てしたい、たくさん産んでも安心という社会になって欲しい。自分たちの子供も交通の便のためにここから早く出ていきたいと思って欲しくない。モノレールを早期実現をして欲しい。自分の子供がもっと小さい頃、休みのたびに遊びに行きたいと思う公園もなく市外へ行くようになっていました。家はどんどん建っていくので市民は増えていくはず、今までの緑を大切にしたい施設を作って欲しい。
女	50歳代	残堀	モノレールを早く通してほしい。本当に不便。
女	50歳代	残堀	市役所と市民総合センターとで窓口が分かれていて手続き等が面倒、市役所を移転するか1つの建物にしてほしい。コミュニティバス終了時間が早過ぎ、遅くまで運行してほしい。図書館も開始時間を9時にしてほしい。閉館時間も早過ぎる。
女	60歳～64歳	残堀	※野生のネコが増加している。犬と同様、ネコの放し飼いはどうかと思う？市でもご協力を。※回答しづらい質問が多々ありました。ご協力できたかどうかは疑問です…。

○D地区（榎・学園・大南）

性別	年齢	地区	自由意見
男	40歳代	榎	緊急車両が車幅の大きな道路を通るためわざわざ遠回りし、病院へ急行している。病院周辺の道を大きくして、どこからも最短距離で行けるように整備願います。三本榎（旧日産通り）連日のサイレン音軽減にもなります。
女	40歳代	榎	財政がきびしくなることを市民全体に周知した上で、自分たちでできることはお金をかけないということと、大きなお金でしかできないことの2つを柱にしたまちづくりをしていくのはどうでしょうか。お金がないのに何でも人任せ（市にお任せ）では、今後の社会は成り立たなくなるのでは、と心配しています。「1人の市民ができる事を1つする」それが7万人以上集まったら何億のお金を使うよりも大きな結果になるのでは？と

			妄想します。「こんなまちになったらいいな」を1人1人がイメージできる長計が出来上がることを期待しています。乱筆で失礼しました。
女	40歳代	榎	①側溝の整備について。ゲリラ豪雨時などの雨水の排水が追いつかず浸水の危機を感じる。②狭い道路をイオンモール方面へ向かう車やバイク・自転車・歩行者等が混在している為、危険を感じる。
女	70歳～ 74歳	榎	市の行政のビジョンの可視化。都市基盤整備の件ですが、モノレールの早期延伸を望みます。（何年位までに完成するのか、少し丁寧に説明して欲しい）教育の面では、教育委員会の機能の範囲がどこまでか解りませんが、学校運営等に独自の方針（少し無理かもしれませんが）打ち出して下さい。特に小学生の場合は人間形成に重点を置いて。農業の面では、市のブランドの農産物は何なのか、1つ選択しそれを広く進めてアピールして欲しい。皆がこの市に住んで良かったと少しでも思える市になる事を切望致します。
男	20歳代	学園	他の地区と比較し、学習への意欲、意識がすごく低い。そのため根本的な意識の改善。
男	20歳代	学園	モノレールの早期延伸を望みます。
男	30歳代	学園	モノレールの延伸を希望。保育園の増加、もしくは保育士の増加。各交付金のより充実したものに。
男	30歳代	学園	モノレールの早期延伸、新青梅街道の整備を進めて欲しい。市内循環の本数も少なく通勤に非常に不便を感じています。緑も多く住環境としては満足していますが、子供の通学などに不安を感じます。また、子育て中にも施設に階段しかなく不便を感じる事も多いです。特にお伊勢の森分室は古く、せまく、生まれて数ヶ月の子供を連れて待つ環境ではないと感じます。日曜診療所での歯科健診も同様に感じます。数ヶ所に作るのではなく集約してほしいです。学校施設を有効的に活用したり、既存のものを上手く利用して内容を充実させてほしいです。
男	40歳代	学園	市民に対してこのような意識調査を行っている訳ですから、多数意見については可及的かつ迅速な措置を、少数意見については再調査する等、民意を大切にし市政運営に反映してほしいと願います。
男	60歳～ 64歳	学園	計画策定外ですが、①各種選挙時の投票会場への配置人数の見直し。（人数が多過ぎませんか）②防犯カメラの拡充と警察機関等との迅速な連携。
男	60歳～ 64歳	学園	モノレールの市内延伸に全力を傾注していただきたい。これが市政の一丁目一番地、本丸だと思います。軌道交通がないことによりどれだけ市民が引け目を感じているか考えていただきたい。これなくして魅力的な町づくりも何もありません。
男	70歳～ 74歳	学園	市民の暮らしがより良くなる為の財政収入増加を市政の第一目標として会社、学校等の誘致に全力傾注をして頂きたいと思えます。孤立しない市を、そしてこれからの子供の将来の為にもより積極的な上記の市政運営をお願い致します。（資金不足は何も出来ないのではないのでしょうか）
女	40歳代	学園	これはあくまでも出来たら良いと思う事です。かたくりの湯を筆頭に野山北公園をレジャーランド化したら観光したら外貨が入ると…。レジャーランドとは言い過ぎですが、コテージにアスレチックプール、田植え体験や様々な里山文化を体験出来

			る、都内で出来る様にすれば…。他市の私の周りの人間からも同じ様な意見を持っていた人もいました。それにはモノレールの延伸も不可欠です。考え方によってかたくりの湯が出来て子供の頃から良く遊んだ野山北公園は開発ありだと思います。一年で一番の市民の喜びの花火大会もあり…。公務員と民間企業との融和。
女	50歳代	学園	菜の花ガーデンやひまわりガーデンはとても良いと思います。その延長線上で遠くからでも見に行ってみたくと思うような庭作りというのは難しいでしょうか。昭和記念公園のハーブ園など、ボランティアの方がたくさん作業に参加されてきれいで行くのがいつも楽しみなのですが…。そのような所ができれば私もお手伝いしたいです。ポーチユラカという花はさし芽でどんどん増えるし、日当たりさえ良ければ地植えだと水やりはほとんど必要なくかわいらしいので何か活用できたらいいなと思います。
女	60歳～64歳	学園	一日も早くモノレールが通ることを願います。
女	60歳～64歳	学園	高齢者の方が増えてきているので、施設及びホーム等の建設等を推進して欲しいです。入居する時の費用が高額であると言う話を聞くので、出来たら公的な施設が増える事を希望します。総合センター前の住宅が利用出来ると良いです。
女	65歳～70歳	学園	次の世代が重税で気の毒です。何でもかんでも税金に「おんぶにだっこ」の方法が増えていると感じています。まず市議会議員を選挙ごとに1名ずつカットして下さい。
男	30歳代	大南	元日産跡地で音楽イベントを行い、人を集めてほしい。
男	30歳代	大南	防災無線が聞き取れない事が多い為、改善を望みます。
男	40歳代	大南	何故、村山には、市営の大きな図書館がないのか、隣の立川市のような、大きな図書館を利用してもらいたい。モノレールの延伸を言い続けているが、まったく動いているようには、見えない。福生市、立川市、埼玉県所沢市と協力して何とかしてもらいたい。ついでに言えば、横田基地のアメリカとの協同で使用することもからめて、何とかしてもらいたい。
男	40歳代	大南	これから十～十五年を見据えて、新しく起業したり指導したりする人をつのり、育てていくことが大事であると思う。特にベビーブーム世代が退職を迎える頃に動き出すためにも、その準備期間として今から動きその頃に発展・充実させていくことが必要であると考えている。
男	40歳代	大南	①武蔵村山市は財政が悪化し続けるので団地を廃止。②立川市と合併を検討。ただし、武蔵村山市の一部（東部の家庭の希望調査を実施）とし、検討を深化させる必要あり。③団地の住民の世帯収入や税を厳しく再調査、審査する必要あり。※③は急務であり、市の税制、財政を非常に圧迫していると思慮している。④大型の公園で遊ぶ子供たちの意識調査から、どのような遊具や施設を充実させるべきか検討。※現場の意見を反映させるべき。⑤立川市との一部合併を検討する時期にきている。 （「提案用紙」添付あり）：【題名】大南公園バスケットコート新設【内容】大南公園にバスケットコートを設け、地域住民の交流を図る。【効果】①子どもたちの健全な遊び場としての活用②年代を超えた人々の交流に寄与③健康増進【その他】玉

			川上水駅で、立川市、東大和市に駐輪代（自転車）を払うのに違和感あり。駐輪代の助成を行っていただきたい。）
男	40歳代	大南	モノレールいる？東京で駅がない市でがんばれば良いと思う。ネガティブをポジティブに。
男	50歳代	大南	私事ではありますが、今、子供たち3人を海外留学させております。資金は、留学ローンに頼りながら、これから生きる若い人たちに世界の人と関わる大事さを学んで欲しいと思っております。戦後、日本は借金を背負ってでも、子供たちに無償で教育を与えて育ててきました。いま、世界中の人たちと直接、子供たちが接し、生活や習慣の違いを肌で感じることができる環境を増やし与えて欲しい。武蔵村山市が先駆けとなって欲しい。姉妹都市の拡充、いろいろな世界との交流、ホームステイや学校生活の体験。これから生きる子供たちだからこそ、世界を知って欲しいと切に願います。
男	60歳～ 64歳	大南	アンケートの項目にもありましたが、税金の収入が限られている中、支出する項目の精査をお願いしたい。例えば少子高齢化問題、モノレール実現化、活気ある武蔵村山市にするには…等。イベントなどを企画し、多くに人々を寄せる工夫など。魅力ある武蔵村山にするために若手の育成に力を注いで欲しい。
男	60歳～ 64歳	大南	いつも狭い道路に危険を感じています。家が次々と建ってくると不安です。計画性を持った町づくりを。
男	65歳～ 70歳	大南	本計画そのものを知らない。（課題）
男	65歳～ 70歳	大南	30年以上住んでいますが、仕事中心で市民生活になじんでおりません。的確な意見が出せずに申し訳ありません。
男	65歳～ 70歳	大南	モノレールは不要（利益を受けるのは限られており、また、利用するには費用がかかり過ぎだ）。むしろ市内循環バスをコースや設備を充実させ、コストも下げ、多くの人により安心安全に利用できる様にするのが大切。市の能力の低さを露わにしている様な質問が多いのに、これに対して市自身がどの様に対応しようとしているのか、自身の能力を高め積極的に改善しようとしているのか、それを市民の前にさらけ出すことが先だ。逃げの姿勢だけでは市民はついていけない。人口7万人程度で市であり続けるつもりなのか。他市町村との合併はどう考えるのか。
男	65歳～ 70歳	大南	本市の財政は決して豊かとはいえません。行政報告を見る限り、市民の反応はこれといったご意見はあったのでしょうか。26市の事務報告書及び決算書を見ると全てにおいて下のランクであり、まかり間違えば財政破綻につながりかねません。今や都市間競争の時代、個性なき自治体は消滅すると称されております。例えば、区画整理事業やつと形が見えてきました。私から言わせて頂きますと少なくとも30年遅いと思っております。当時本市と同等だった26市のある市はこの事業を積極的に行い、宅地の供給を図り戸建住宅が増え、併せて所得の多い市民が転入し人口増となっております。本市の都市モノレール計画は今後の楽しみではありますが、まだまだ時間を要するようでありますので、現在進行中の整備計画は個性あるそして特徴ある街づくりが必要と考えます。※最後に、この市に住んでみたいと思うような自治体にするには、新しい考えを生み出す力として、自発性を発揮する職員の提案には積極的に受け入れ、

			これだけは他市には負けない魅力ある自治体を実現して頂きたい。
男	70歳～ 74歳	大南	狭い道が多くてとても危険な場所が多い。
男	70歳～ 74歳	大南	1. 財源を減らさない政策努力をもっと深く考えるべき。①若者の集まる武蔵村山②新たな企業誘致③既存企業の収益向上①～③はどうしたらよいか。2. まず財源縮小ありきの発想は不可。
女	10歳代	大南	市政はどうしても高齢者と子どもたち目線のことにばかり目が向いてしまうもののように思います。また、その時その時世間で問題視されていたり注目されていることだったりに力を入れているようにも思います。そうではなく、もっと働いている世代に対するちいさなことにも目を向けたことをしてほしいと思います。また、大学進学に際した経済支援などの事業をしてもらえると、学歴社会である現代に合ったまちづくりの一端になるのではないのでしょうか。また、“男女”という概念に捉われすぎない、もっと緩やかな枠組みを当たり前にしていけるような運営を期待します。もっと武蔵村山が知られる様になったら嬉しいです。ゴミは有料化しないでほしいです。若い世代への負担が少なくなるような資金運用願っています。
女	10歳代	大南	全く期待していないので大丈夫です。
女	20歳代	大南	モノレールの早期延伸。
女	20歳代	大南	ドッグランが欲しい。
女	40歳代	大南	①子育てについて…今の時代、大学進学が一般的になりました。しかし、周囲も最近の地方創生の影響か、滑り止めさえ不合格になってます。おかげさまで夫婦で職があり幸せですが、収入は生活と学費・塾代と消えてしまいます。友人達も教育費で他消費に回せないと同意見です。この1～2年、大学進学が状況がおかしいです。未来ある子供の為に学校への経費の削減等はやめてほしいです。②高齢者の対応について…接客業（他市外で金融系）をしています。明日は我が身と思いついていますが、認知症ではないかと思う人の対応に日々悩んでいます。わかるように接し、その場で解決できてますが、対応におえなくなった時（家族もいない方など）相談できる窓口があればいいのかなと思います。しかし、市職員の方も私達と同じで、大変かと思えます。でも何か今後対策があればと思い書きました。社会全体が高齢者となるので、お互い理解できるようになればと…。きちんとしたアイデアでなくすみません。今回のアンケートに合わない回答でしたらすみません。親・仕事している目線で環境の変化を知って頂きたく記入しました。「どちらでも良い」という回答も利用者がいれば難しい問題です。しかし、施設等無ければ（無くなれば）対応していかなければいけないと思う、自分なりの回答です。
女	40歳代	大南	通勤のため駅に近い場所へ越して来ましたが、子供の健康診断や予防接種など、どこの施設も車もしくはバスで移動しなければならない距離でおどろきました。小学校に上がったあともコンクールなど市民会館が遠く、スポーツ施設も北の方に集中しており子供を気軽に連れて行くのもためられます。市の南側に保健所の出張所もしくは市中心部へのバスの直行便（MMシ

			ヤトルのような遠回りのルートではない) などがあると便利だと思います。
女	50歳代	大南	年間を通して利用できる全天候型市民プールを作って欲しい。武蔵村山市には無いので、立川市のプールを利用しています。市外なので利用料が倍です。
女	50歳代	大南	ごみの分別がわからず四苦八苦しています。もって行ってくれない粗大ゴミの日程を増やしてほしい。粗大ゴミのお金が高い。市報のチャイム、お知らせが聞きづらい。声が流されてはつきり聞こえません。(大南の回り)
女	50歳代	大南	武蔵村山は都内でありながら、高い建物が少なく緑も多くてほっとする雰囲気が気に入っています。多摩モノレールの早期実現を引き続き推進していただき、通勤・通学が便利な町になれば、若い世代が増え活気が出ると思います。自然豊かで住みやすい町になり、武蔵村山市民であることを自慢できるようになったらなと思います。
女	50歳代	大南	ひまわりガーデンの土地の広さがあり毎年経費をかけているなら、サッカー場(土で良い)、野球場、グラウンドにすれば試合等で一緒に同行する方達が、お弁当を買ったり近くの商店が活気付き納税金も増える!!毎年、何でひまわりなんだろう?って思っていました。同じ税金を使うなら考えてほしい。少年サッカー、少年野球、スポーツ都市としての役割をしていない武蔵村山市、とても残念です。
女	50歳代	大南	質問が多く、たいへん負担です!!!もっとまとめて下さい!
女	65歳～70歳	大南	公共施設の使用料を減額して欲しい。公共施設を利用しているのは年金暮らしの高齢者が多く、公共施設使用料が発生して以来、利用できなくなったサークル等が多くなったと聞きます。使用料は必要かと思いますが、使用料金を半分ぐらいにしてもらえると、高齢者が活躍できるサークル等は継続できる場所も多いと思う。
女	65歳～70歳	大南	とても住みにくい市だと思います。生活していく上で利便性が悪く苦勞させられている。医療関連の少なさに、移手段の無さに、公共施設の少なさに等々、とても不便です。その上ヘリコプター等、航空機の騒音が苦痛になりストレスが大きくなった。子育てには良い“まち”かと思いますが、高齢者が日常生活を送るには不便だと思います。市が広いので行政上難しい問題が多いと理解しますが…。
女	65歳～70歳	大南	瑞穂の Joyful 本田で買物をしていたら上空をオスプレイが飛行しているところを見ました。横田基地が近い武蔵村山でも安全が心配されますし、こういった情報がなかなか届かないことに不安があります。少子高齢化などますます政治が難しいということは肌で感じている反面、加計学園の問題などではたして税金が本当に我々の生活のために正しく使われているのかと疑問も持ちます。6年前まで都心に住んでいた私はこの地に来てはじめて陸軍少年飛行兵学校の跡地があることを知りました。戦車を知らない世代ではありますが、このような貴重な資料を大きくとりあげて、次世代にまでも戦争の恐ろしさを伝えていけると望んでいます。まちづくりにそんな思いがいかがされていければと思っています。
女	70歳～74歳	大南	今回の様なアンケートに対してはたして反映されるかと問われたら、否と答えざるを得ないのでは。単なる企画政策課及び市

			役所自体の何かしなくてはと云うイベント的アンケートではないでしょうか？このようなアンケートに使うお金があったら他のものに有意義な使い方を希望します。
--	--	--	--

○E 地区（緑が丘）

性別	年齢	地区	自由意見
男	40 歳代	緑が丘	社会保障制度や障害者支援を維持しつつ、商業・工業の発展やお年寄りや障害者、女性や子供達が安心して暮らせる緑豊かな良い町作りを目指して下さい。※多摩都市モノレールの市内早期延伸を！！
男	70 歳～ 74 歳	緑が丘	個人も市も自己責任を持つ事が大切だと思う。収入にあった市政しか出来ないと市民に知らせる事も必要です。男女共同参画の考え方そのものは賛成ですが、男には男の持分、女には女の持分が生物学的にもはっきりあり、その特性を十分理解した上でやるべきであり、何もかも男女平等に参加するという考え方には反対です。人間は基本的に成人になったら自立して生きてゆくのが当然であり、多少の障害や離婚して子持などに生活保護などすべきではない。若い人（50才台まで仕事などいくらでもあるのが日本社会です。優しい社会、優しい社会と言っているのではなく、厳しい自立の中から本当にあたたかい社会が生まれて来るのです。（ちなみに私は幼少から障害者ですが、生活保護など一度ももらった事無いです）
男	75 歳 以上	緑が丘	多摩モノレールを1日も早く開通させてもらいたい。
女	40 歳代	緑が丘	多摩都市モノレールを市内まで延伸する事業に税金を使わず、今までの武蔵村山市のままを維持して行ってほしいです。都内に鉄道が通っていないのを売りにして、イベントや観光にしたらどうでしょう。武蔵村山市の市職員の方々は、近隣自治体の市職員の方と比べても、税収が少ない中とても頑張ってくださいますよ。
女	40 歳代	緑が丘	図書館の充実を力を入れてほしいです。（他市では行われているDVD貸出しなど）団地内に小規模で良いので1つ出来たら嬉しく思います。（ふれあいセンターの本は若干種類が片寄っているのです…。）
女	50 歳代	緑が丘	次の世代の子供達が安全で暮らせしやすく伸び伸び育ち、夢を持てるような市政運営を目指してもらいたい。
女	65 歳～ 70 歳	緑が丘	私は1人住まい（68才・女）で立川に出る時（病院等）はバスを利用していますが、最近不便になり、料金が高くなり、モノレールを利用しようかと思うのですが、10分位歩かなければならないので、歩くと足の痛みがあるので困っています。そういう声を多く耳にします。
女	65 歳～ 70 歳	緑が丘	ひまわり畑の土地は交通も便利ですので、他の市、県から来ることもできるのでお客を呼べる建物、施設を作ってほしいです。デューダラまつりの場所、ジャリですので車椅子の人はガクガクして動くことができません。障害者の事を考えてくれない。かたくりの湯がリニューアルしたので行きました～が、働いている人の言葉、態度がお客様の事を考えて対応していません。忙しくても相手はお客様です。教育することをお願いします。他の市、県から来た人にはずかしいです。

女	70歳～ 74歳	緑が丘	自転車や公共交通機関の利用を高めるために、自転車道や歩道などを使いやすく整備することが今すぐの施策として必要。農業など基本的な生産活動を充実・育成し、緑覆率を高め天水の管理をはかること、空堀川・残堀川の水の確保など適正に評価して策定してほしい。
女	70歳～ 74歳	緑が丘	現在立川バスは村山団地の商店街から運行して団地の中を1周して立川へ行くようになっていますが、今住んでいる所は商店街へ行きたい時、団地入口まで立川バスに乗りそこから乗り換えて商店街へ行かなくてはなりません。団地内を反対回りして団地中央から回り最後は商店街から立川へ行くようにしていただければ便利になって良いと思っていますが、そういう事は無理でしょうか？

○居住地区無回答

性別	年齢	地区	自由意見
無回答	無回答	無回答	私は知的と精神の障害者です。そういった計画を実行したいとお考えであれば、まず精神障害者へのサポートをより一層手厚くして頂きたい。なぜならば、現状精神障害者へのサポートが一番欠けている気がします。メンタルの状態によって、働きたいのに働けなかったりととても困っています。それによって新しい制度で働けない時に医師の診断書があれば資金援助をお願いします。それと、知的障害者の作業所の賃金を上げるか、年金支給の場合は年金額をもう少し上げて欲しいです。この計画を取り入れて考えて頂ければ、武蔵村山市はより住み良い街になり、安心して暮らせると思っています。あと、モノレールはいつできますか?!おかあさんに書いてもらいました。不満ばかりですいません。

以上

《資 料》

武蔵村山市民意識調査 御協力をお願い

日頃、市政運営につきまして、御理解と御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

市では、現在、将来都市像「人と緑が織りなす 夢ひろがる やさしいまち むさしむらやま」の実現に向け、武蔵村山市第四次長期総合計画に基づき、施策・事業を行っているところです。この第四次長期総合計画の後期基本計画が平成32年度をもって満了することから、社会情勢の変化等を踏まえ、市政を総合的かつ計画的に運営するための基本的な方針、行政分野ごとの施策や手段を定めた第五次長期総合計画を策定します。

また、これと並行して、男女共同参画社会形成の促進に係る施策を具体的に展開していくための指針を示す、第四次男女共同参画計画の策定も進めています。

これらの策定に当たっては、市民の皆様のニーズを的確に捉えた施策の展開を図る必要があるため、「市民意識調査」を行い、市民の皆様の日常生活について「意識」と「行動」の両面から捉え、それらを踏まえて、よりよい計画づくりを行いたいと考えております。

そこで、市内にお住まいの18歳以上の方2,000名を無作為に選ばせていただき、市民意識調査に御協力をお願いしています。

なお、お答えいただいた内容は、すべて統計的に処理し、他の目的には一切使用いたしません。

質問の量も多く、答えにくい部分もあるかと存じますが、是非、最後まで御回答くださいますようお願い申し上げます。

平成30年8月

武蔵村山市長 藤野 勝

《御記入に当たってのお願い》

- 1 アンケートは、必ず宛名にある御本人が御回答ください。
- 2 各項目について、感じたままをお答えください。
- 3 回答項目のうち、当てはまると思われるものの番号に○を付けてください。
- 4 ○の数は、(○は1つ) (○は3つまで) といった () 内の指定に合わせて付けてください。
- 5 「その他」に当てはまる場合は、() 内にその内容を具体的にお書きください。

調査票を御記入いただけましたら、恐縮ですが同封の返信用封筒（切手は不要）で、**8月29日（水）まで**に郵便ポストに投函してください。住所・名前はお書きにならないで結構です。

この調査票についてのお問合せは、下記までお願いいたします。

【問合せ先】

武蔵村山市 企画財務部 企画政策課

電話：042（565）1111（内線372）

1. あなた（回答者）自身について

問1 あなたの性別について（○は1つ） ※あなたの現在の性自認でお答えください。

- | | |
|-----|-----|
| 1 男 | 2 女 |
|-----|-----|

問2 あなたの年齢について（○は1つ）

- | | | |
|--------|-----------|-----------|
| 1 10歳代 | 4 40歳代 | 7 65歳～69歳 |
| 2 20歳代 | 5 50歳代 | 8 70歳～74歳 |
| 3 30歳代 | 6 60歳～64歳 | 9 75歳以上 |

問3 武蔵村山市内での居住年数について（○は1つ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 2年未満 | 4 10年以上20年未満 |
| 2 2年以上5年未満 | 5 20年以上30年未満 |
| 3 5年以上10年未満 | 6 30年以上 |

問4 あなたがお住まいの地区について（○は1つ）

- | | | | | |
|------|------|-------|--------|--------|
| 1 中藤 | 4 本町 | 7 大南 | 10 中原 | 13 伊奈平 |
| 2 神明 | 5 榎 | 8 三ツ木 | 11 緑が丘 | 14 三ツ藤 |
| 3 中央 | 6 学園 | 9 岸 | 12 残堀 | |

問5 あなたのお住まいについて（○は1つ）

- | | |
|-------------------------|---------------|
| 1 戸建て住宅(持ち家) | 5 公営住宅(都営・市営) |
| 2 戸建て住宅(賃貸) | 6 社宅・官舎・寮など |
| 3 マンション等集合住宅(持ち家) | 7 その他() |
| 4 マンション等集合住宅(公営住宅を除く賃貸) | |

問6 あなたは結婚していますか。（○は1つ）

- | | | |
|------|-------------|-------------|
| 1 未婚 | 2 既婚(配偶者あり) | 3 既婚(離別・死別) |
|------|-------------|-------------|

問7 一緒にお住まいの方で、次に該当する方はいらっしゃいますか。（○はいくつでも）

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 1 乳幼児・未就学児 | 4 65歳以上の高齢者 |
| 2 小学生・中学生 | 5 同居者に1～4の該当者はいない |
| 3 高校生・専門学校生・大学(院)生・浪人生 | 6 単身世帯である(同居者はいない) |

問8 あなたの職業について (○は1つ)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1 会社員 →問8-2へ | 5 学生 →問8-2へ |
| 2 自営業・自由業 →問8-2へ | 6 専業主婦(夫) →問8-5へ |
| 3 公務員(教員・団体職員含む) →問8-2へ | 7 無職 →問8-5へ |
| 4 パート・アルバイト等の臨時雇用 →問8-2へ | 8 その他 () |

問8-2 【問8で「1」から「5」と回答した方にお聞きします。】

あなたの職場(通学地)は。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1 自宅 | 4 東京都23区内 →問8-3へ |
| 2 武蔵村山市内(自宅を除く) →問8-3へ | 5 その他 () |
| 3 東京都多摩地区内(武蔵村山市を除く) →問8-3へ | |

問8-3 【問8-2で「2」から「5」と回答した方にお聞きします。】

職場(通学地)への主な交通手段は。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|-------------------|--------|
| 1 鉄道・モノレール →問8-4へ | 4 徒歩 | 7 自家用車 |
| 2 路線バス | 5 自転車 | 8 その他 |
| 3 市内循環バス | 6 バイク・原付(原動機付自転車) | () |

問8-4 【問8-3で「1」と回答した方にお聞きします。】

最寄駅までの交通手段は。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|----------|-----------|
| 1 徒歩 | 4 自家用車 | 7 その他 () |
| 2 自転車 | 5 路線バス | |
| 3 バイク・原付(原動機付自転車) | 6 市内循環バス | |

問8-5 【問8で「6」又は「7」と回答した方にお聞きします。】

希望する働き方についてどのように考えていますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------------|-------------------|-------------|
| 1 フルタイムで働きたい | 3 在宅(テレワーク等)で働きたい | 5 働きたいと思わない |
| 2 パート・アルバイトで働きたい | 4 起業したい | 6 わからない |

問9 【結婚している方のみお答えください。】

あなたの配偶者の職業は次のどれですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1 会社員 | 5 学生 |
| 2 自営業・自由業 | 6 専業主婦(夫) |
| 3 公務員(教員・団体職員含む) | 7 無職 |
| 4 パート・アルバイト等の臨時雇用 | 8 その他 () |

2. 武蔵村山市に住んで感じたこと

問 10 武蔵村山市は住みやすいですか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい | 4 どちらかといえば住みにくい |
| 2 どちらかといえば住みやすい | 5 住みにくい |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 11 あなたは、これからも武蔵村山市に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------------|--------------------------|
| 1 住み続けたい →問 11-2へ | 4 どちらかといえば転居したい →問 11-3へ |
| 2 どちらかといえば住み続けたい →問 11-2へ | 5 転居したい →問 11-3へ |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 11-2 【問 11 で「1」又は「2」と回答した方にお聞きます。】その理由は。(○は2つまで)

- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 家や土地を持っているから | 8 子育てをする環境がよいから |
| 2 隣近所の人間関係がよいから | 9 高齢者・障害者にも生活しやすいから |
| 3 地域に愛着があるから | 10 仕事の都合 |
| 4 生活の利便性(交通・買物)がよいから | 11 家族の都合 |
| 5 市に発展性があり、将来に期待できるから | 12 その他 () |
| 6 市のサービスがよいから | |
| 7 緑が多く、自然環境がよいから | |

問 11-3 【問 11 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きます。】その理由は。(○は2つまで)

- | | |
|------------------------|---------------------|
| 1 住宅の問題(借家借地、家が古い等) | 8 子育てをする環境がよくないから |
| 2 隣近所の人間関係がうまくいかないから | 9 高齢者・障害者には生活しにくいから |
| 3 地域に愛着がないから | 10 仕事の都合 |
| 4 生活の利便性(交通・買物)がよくないから | 11 家族の都合 |
| 5 市に発展性がなく、将来に期待できないから | 12 その他 () |
| 6 市のサービスがよくないから | |
| 7 自然環境がよくないから | |

3. 市の取組に対する評価と今後への期待について

問 12 次の事項（（1）から（46）まで）について、これまでの武蔵村山市での生活を通しての満足度はどの程度でしょうか。また、市として今後、充実すべき取組は何だと思えますか。

項目ごとに、満足度と充実希望度について、該当する番号を1つずつ選んでください。

1 市民が自ら考え行動するまちづくり

満足度・充実希望度 項目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
(1) 地域コミュニティの活性化とコミュニティ活動の支援 ※自治会への加入促進等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(2) 都市間交流の促進 ※姉妹都市（長野県栄村）との相互交流、国際交流事業等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(3) 情報共有の充実 ※広報活動の充実、情報公開の推進等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(4) 市民参加の推進と協働体制の充実 ※市民提案制度、協働事業提案制度等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

2 安心していきいきと暮らせるまちづくり

満足度・充実希望度 項目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
(5) 防災対策の充実・強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(6) 消防・救急体制の充実・強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(7) 交通安全対策の充実・強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(8) 防犯対策の充実・強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(9) 健康づくり事業の充実 ※各種健康診査、健康相談等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(10) スポーツ・レクリエーションの充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(11) 医療・救急体制の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(12) 社会保障制度の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(13) 高齢者施策の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(14) 障害者支援の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(15) 子育て支援の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(16) 生活支援の充実 ※生活保護受給者等の自立支援、子どもの貧困対策等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(17) 地域福祉サービスの推進 ※福祉の担い手育成、相談窓口の運用等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(18) 消費生活の安定と向上 ※消費者相談・情報提供活動の充実等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(19) 安定した雇用の確保 ※求人情報の提供や相談会の開催、就労のための学習 機会の創出等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3 誰もが自分らしく成長できるまちづくり

項目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
(20) 人権意識の高揚と平和意識の醸成 ※人権に関する相談窓口の充実等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(21) 男女共同参画の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(22) 学校教育の整備・推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(23) 生涯学習の充実 ※各種講座など学習機会の拡充等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(24) 青少年健全育成の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

4 快適で暮らしやすいまちづくり

項目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
(25) 公共交通の整備 ※多摩都市モノレール・市内循環バス等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(26) 道路の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(27) 公園・緑地の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(28) 良好な住環境の整備の促進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(29) 下水道の整備の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(30) 適正な土地利用の推進 ※新青梅街道沿道まちづくり等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(31) 横田飛行場の軍民共同使用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(32) ごみの減量化とリサイクルの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(33) 地球温暖化対策及び省資源・省エネルギー活動の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(34) 公害対策・環境美化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

5 地域の資源を生かした特色あるまちづくり

満足度・充実希望度 項目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
(35) 農業の振興 ※農地の保全、農業の担い手育成等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(36) 商・工業の活性化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(37) 観光まちづくりの推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(38) 魅力ある街並み景観の形成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(39) 水と緑のネットワークづくりの推進 ※親水緑地広場の整備等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(40) 芸術・文化の振興	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(41) 伝統文化・文化財の保護・活用	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

6 計画の推進に向けて

満足度・充実希望度 項目	満足度					充実希望度				
	満足している	ほぼ満足している	どちらともいえない	やや不満である	不満である	充実してほしい	やや充実してほしい	どちらともいえない	あまり充実しなくてよい	充実しなくてよい
(例)それぞれ該当する番号を○で囲む→	①	2	3	4	5	①	2	3	4	5
(42) 行政運営の推進 ※市民サービスの向上等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(43) 職員の資質向上	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(44) 公共施設の適正な配置（施設数と立地）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(45) 財政運営の適正化 ※財源の計画的・効率的な運用や自主財源の確保等	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
(46) 近隣自治体との連携強化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 12-2 前問の(1)から(46)までのうち、あなたが優先して取り組むべき施策と思うものを順に3つ選び、その番号をお書きください。

順位	1位	2位	3位
番号			

4. 武蔵村山市のまちづくりの施策について

4-1 市民が自ら考え行動するまちづくり

コミュニティ

問13 あなたは、地域のために、何か役に立ちたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|---------|
| 1 積極的に関わりたいと思っている | 4 思わない |
| 2 できる範囲で関わりたいと思っている | 5 わからない |
| 3 思っているが、忙しくて関わるできない | |

問14 あなたは、地域の自治会に加入していますか。(○は1つ)

- 1 自治会に加入している 2 自治会に加入していない →問14-2へ 3 わからない

問14-2 【問14で「2」と回答した方にお聞きします。】自治会に加入していない理由は。(○は2つまで)

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 1 仕事や子育てなどで忙しく時間がない | 6 いずれ役員等を務めることになり面倒である |
| 2 自治会に関心がない | 7 近い将来、転居や市外への転出が予想される |
| 3 自治会に関心はあるが、活動の内容に魅力がない | 8 自治会が何を行っている組織なのかわからない |
| 4 隣近所とのつきあいがわずらわしい | 9 加入の仕方がわからない |
| 5 加入者とうまく打ち解けることができない | 10 会費を負担したくない |
| | 11 その他 () |

パートナーシップ

問15 あなたは、市政に関する情報をどのような方法で入手していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1 市報 | 6 ポスター・掲示板 |
| 2 ホームページ | 7 新聞などのマスメディア |
| 3 フェイスブック・ツイッターなどのSNS | 8 市で発行しているその他の印刷物 |
| 4 市政情報サービスメール | 9 その他 () |
| 5 回覧板 | 10 特に情報を入手していない |

問 16 あなたは、市が発信する情報に対し、どの程度満足していますか。(○はそれぞれ1つ)

	満足してい る	ほぼ満足し ている	どちらとも いえない	やや不満で ある	不満であ る
道路・公共交通(モノレール・バス等) に関する情報	1	2	3	4	5
防災、防犯対策に関する情報	1	2	3	4	5
子育てに関する情報	1	2	3	4	5
高齢者向け情報	1	2	3	4	5
生涯学習に関する情報	1	2	3	4	5
情報全体(市報・ホームページ・SNS S等)	1	2	3	4	5

問 17 あなたが行うことができると考えられる市民参加の形は。(○はいくつでも)

- 1 パブリックコメントや市長への手紙等により、行政や関係団体などに対して意見を述べる
- 2 行政の計画策定の段階から委員として参加する
- 3 自分たちで計画をつくり、行政に働きかけて実現を目指す
- 4 自分たちで計画をつくり、他の市民の賛同を得て実現を目指し、必要に応じて行政などと協力し合う
- 5 自分たちで計画をつくり、行政には期待せず、自ら実現を目指す
- 6 行政の活動に対して監視・評価を行う
- 7 市民参加は難しい
- 8 その他 ()

問 18 あなたが参加していること、又は参加が可能な活動は。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1 保健、医療又は福祉の増進を図る活動 | 11 国際協力の活動 |
| 2 社会教育の推進を図る活動 | 12 男女共同参画社会の形成の促進を図る活動 |
| 3 まちづくりの推進を図る活動 | 13 子どもの健全育成を図る活動 |
| 4 観光の振興を図る活動 | 14 情報化社会の発展を図る活動 |
| 5 農山漁村又は中山間地域の振興を図る活動 | 15 科学技術の振興を図る活動 |
| 6 学術、文化、芸術又はスポーツの振興
を図る活動 | 16 経済活動の活性化を図る活動 |
| 7 環境の保全を図る活動 | 17 職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援
する活動 |
| 8 災害救援活動 | 18 消費者の保護を図る活動 |
| 9 地域安全活動 | 19 その他 () |
| 10 人権の擁護又は平和の推進を図る活動 | 20 特になし |

4-2 安心していきいきと暮らせるまちづくり

安全安心

問 19 首都直下など大きな地震が起こった場合、多くの被害が予想されます。あなたが、特に心配に思うことは。
(○は2つまで)

- | | |
|------------------|------------|
| 1 地震による建物等の倒壊・損壊 | 6 情報の不足・混乱 |
| 2 避難場所の確保 | 7 食料の確保 |
| 3 家族の安否確認 | 8 医療の確保 |
| 4 道路・交通機関の混乱 | 9 帰宅困難者対策 |
| 5 ライフラインの停止 | 10 その他 () |

問 20 あなたは、日頃、防災の準備をしていますか。
(○は1つ)

- | | |
|---------------------|--------------|
| 1 準備をしている →問 20-2 へ | 2 特に準備はしていない |
|---------------------|--------------|

問 20-2 【問 20 で「1」と回答した方にお聞きします。】どのような準備を行っていますか。
(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1 消火器の設置 | 5 身内との連絡方法の確立 |
| 2 家具などの転倒防止 | 6 避難経路や避難場所の確認 |
| 3 水や食料の備蓄 | 7 防災訓練などへの参加 |
| 4 非常用持ち出し用品の確保 | 8 その他 () |

問 21 災害に備えて地域（自治会等）が行うこととして、どのようなことが重要であると思いますか。
(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|---------------------|
| 1 避難経路や避難場所の確認及び周知 | 6 各種訓練等の計画及び実施 |
| 2 災害時の活動体制の強化 | 7 地域内の危険個所の把握及び周知 |
| 3 住民間の情報連絡体制の充実 | 8 避難行動要支援者への支援体制の構築 |
| 4 地域コミュニティの充実 | 9 その他 () |
| 5 各家庭での必要物資の備蓄啓発 | |

健康・医療

問 22 あなたは、健康診断を受けていますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 市が行っている特定健康診査を受けている | 4 以前は受けていたが今は受けていない |
| 2 職場(学校)の健康診断を受けている | →問 22-2 へ |
| 3 人間ドックを受けている | 5 受けたことがない →問 22-2 へ |

問 22-2 【問 22 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きします。】その理由は。(○は2つまで)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1 治療中の病気があり、定期的に医療機関に通院しているから | 3 健康なので健康診断を受けなくてもよいから |
| 2 忙しくて時間がないから | 4 どこで健康診断が受けられるかわからないから |
| | 5 その他 () |

問 23 あなたは、市内にスポーツ・レクリエーション施設が整っていると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない →問 23-2 へ |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない →問 23-2 へ |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 23-2 【問 23 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きします。】その理由は。(○は2つまで)

- | |
|-----------------------------------|
| 1 自分のやりたいスポーツ・レクリエーションができる施設がないから |
| 2 いつも利用者が多く、利用しにくいから |
| 3 施設が遠い、又は交通が不便だから |
| 4 利用時間帯が限られていて利用しにくいから |
| 5 利用申込みの場所・方法が複雑で、気軽に利用しにくいから |
| 6 施設についての情報提供が少ないから |
| 7 施設の利用方法がわからないから |
| 8 その他 () |

問 24 あなたは、市内に病院や診療所等の医療機関が身近に整っていると思いますか。

(○は1つ)

- | | | |
|----------------|------------------|---------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない | 5 わからない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない | |

問 25 現在、社会保障給付費が増加しています。あなたは、社会保障制度(年金・医療・介護保険など)の今後についてどのように思いますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| 1 受けるサービス及び給付の水準を維持・向上させるためには、ある程度の個人の負担はやむを得ない |
| 2 個人の負担を出来る限り抑えるためには、サービス及び給付の水準は低くてもよい |
| 3 その他 () |
| 4 わからない |

問 26 社会保障制度における高齢者と現役世代の負担のあり方について、今後どのような形が望ましいと思いますか。(○は1つ)

- 1 高齢者に現在以上の負担を求めるべきではなく、現役世代の負担の増加はやむを得ない
- 2 全ての世代で支えていくべきであり、高齢者と現役世代双方の負担の増加はやむを得ない
- 3 現役世代に現在以上の負担を求めるべきではなく、高齢者の負担の増加はやむを得ない
- 4 その他 ()
- 5 わからない

福 祉

問 27 あなたは、武蔵村山市は、高齢者が安心して住み続けられるまちだと思いますか。(○は1つ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかといえばそう思う
- 3 どちらかといえばそう思わない
- 4 そう思わない
- 5 わからない

問 28 本格的な高齢社会に向けて、あなたはどのような施策が重要だと思いますか。

(○は2つまで)

- 1 高齢者にやさしい交通機関や施設、道路・歩道の整備
- 2 高齢者に配慮した住宅の確保・整備
- 3 高齢者の雇用・就業機会の確保
- 4 高齢者に対する医療制度の充実
- 5 寝たきりや認知症にならないための予防対策
- 6 寝たきりや認知症に備えた財産の保全などの対策
- 7 ホームヘルパーなどの在宅サービスの充実
- 8 特別養護老人ホームなどの施設サービスの充実
- 9 生涯を通じた健康づくりの推進
- 10 高齢者と若い世代との交流の促進
- 11 その他 ()

問 29 今後、障害のある人の自立のための支援として、市はどのようなことを重点的に進めるべきだと考えますか。
(○は3つまで)

- 1 誰もが利用しやすい交通機関や施設、道路・歩道の整備
- 2 公営住宅への障害者優先入居や障害者向け住宅の整備などの住宅施策の充実
- 3 障害者の雇用・就業機会の確保
- 4 職業紹介や訓練、就労した後の指導や支援の充実
- 5 災害時の障害者救援対策や緊急時の対応の充実
- 6 障害の種類や程度に応じた障害児教育の充実
- 7 就労施設等への支援や障害者がつくった作品などの常設展示即売場の開設
- 8 点字や手話などのコミュニケーション方法の普及・充実
- 9 障害者に対する社会全体の理解を深めるための啓発
- 10 相談窓口や障害者のためのネットワークづくりなどの情報提供の充実
- 11 スポーツ・文化活動を通じた障害者の社会参加の充実
- 12 ボランティアやヘルパー等の育成と活動の支援
- 13 グループホーム・ケアホームなどの施設の整備
- 14 障害者に対する経済的な支援
- 15 その他 ()

問 30 あなたは、武蔵村山市は、安心して子育てしやすいまちだと思いますか。(○は1つまで)

- | | | |
|----------------|------------------|---------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない | 5 わからない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない | |

問 31 あなたが安心して子育てを行うためには、市は特にどのようなことをする必要があると思いますか。
(○は2つまで)

- 1 公園など子どもにとって魅力のある遊び場の確保
- 2 未就学児を遊ばせながら保護者が交流できる場の充実
- 3 子育てに悩む親への相談業務の充実
- 4 保健所・医療機関などについての情報提供
- 5 保育所・一時保育・ショートステイなど未就学児に対する保育サービスの充実
- 6 児童館・学童クラブなど、学童への子育て支援サービスの充実
- 7 子育てサークルなど、自主グループの育成
- 8 男性の育児参加を進める活動の促進
- 9 子どもの医療費助成・児童手当など、子育てをする世代への経済的支援
- 10 支援が必要な子どもの居場所づくりや学習支援
- 11 その他 ()

問 32 あなたは、少子化対策としてどのような支援や体制づくりをする必要があると思いますか。

(○は2つまで)

- 1 経済的支援措置(保育・教育費への補助、医療費補助、児童手当等)
- 2 出産・育児のための休業・短時間勤務制度の推進
- 3 仕事と育児の両立の推進に取り組む職場への支援
- 4 出産・子育て退職後の再就職支援
- 5 保育所の充実をはじめとした子どもを預かる事業の拡充
- 6 小児医療体制整備など子どもの健康支援
- 7 妊娠・出産の支援体制の充実
- 8 公的な男女の出会いの場の提供
- 9 その他 ()
- 10 わからない

暮らし

問 33 消費者支援のために、行政としてどのようなことに取り組むべきだと思いますか。(○は2つまで)

- 1 市民の多種多様な相談に対応できるような消費者相談サービスの充実
- 2 商品・サービスの質や販売方法などの消費生活情報の収集及び提供体制の強化
- 3 消費者教育講座や消費生活展の開催などによる消費者の教育と啓発活動の強化
- 4 消費者自身が主体的に活動できる場の提供
- 5 ホームページ、広報誌等による食品衛生情報の提供
- 6 消費者・事業者・行政による情報共有や意見交換会の開催
- 7 その他 ()

問 34 【雇用されている方に伺います。(個人事業主は除きます。)]

現在の就業環境に満足していますか。(○は1つ)

- 1 満足している
- 2 ほぼ満足している
- 3 どちらともいえない
- 4 やや不満である
- 5 不満である

問 35 【雇用されている方に伺います。(個人事業主は除きます。)]

現在の就業環境について、改善してほしいとすればどのような点ですか。(○は3つまで)

- 1 就業時間や休暇取得
- 2 仕事の量やノルマ
- 3 給料や報奨金など、所得の向上
- 4 健康づくりや福利厚生の実施
- 5 やりがいや楽しみの向上
- 6 資格取得や研修など、スキルアップに向けた支援策
- 7 職場の雰囲気
- 8 職場の人間関係
- 9 職場の安全性の向上
- 10 O A機器やシステムの改善などによる効率化
- 11 その他 ()

4-3 誰もが自分らしく成長できるまちづくり

人権・平和

問 36 あなたやあなたの家族が、まわりに認められ、(人権が) 尊重されていると思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない →問 36-2 へ |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない →問 36-2 へ |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 36-2 【問 36 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きします。】 そう思わない理由は。(○は2つまで)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1 男女(性)差別 | 8 学歴に対する差別 |
| 2 子どもへのいじめ・虐待 | 9 思想・信条に基づく差別 |
| 3 高齢者への差別 | 10 職業に対する差別 |
| 4 障害者への差別 | 11 インターネットによる人権侵害 |
| 5 外国人への差別 | 12 刑を終えて出所した人への差別 |
| 6 感染者等に対する差別 | 13 犯罪被害者等への差別 |
| 7 プライバシーの侵害 | 14 その他の差別 () |

男女共同参画

問 37 あなたは、次にあげる分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
家庭生活の場	1	2	3	4	5	6
学校教育の場	1	2	3	4	5	6
職場	1	2	3	4	5	6
政治の場	1	2	3	4	5	6
自治会やNPO等の地域活動の場	1	2	3	4	5	6
社会通念・慣習・しきたり等	1	2	3	4	5	6
法律や制度	1	2	3	4	5	6
社会全体	1	2	3	4	5	6

問 38 あなたは、次にあげる言葉について、見たり聞いたりしたことがありますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------------|
| 1 男女共同参画社会 | 6 ドメスティック・バイオレンス (DV) |
| 2 女性活躍推進法 | 7 デートDV |
| 3 ワーク・ライフ・バランス | 8 LGBT |
| 4 ジェンダー | 9 SOGI |
| 5 ポジティブ・アクション | 10 見たり聞いたりした言葉はない |

問 39 あなたの家庭では、次にあげることがらを、主に男性と女性のどちらが行っていますか。

(○はそれぞれ1つ)

	主に男性が行っている	主に女性が行っている	男女ともに 行っている	該当なし
炊事・洗濯・掃除などの家事	1	2	3	-
P T Aや自治会などの地域活動	1	2	3	4
育児や子どものしつけ	1	2	3	4
子どもの学校行事への参加	1	2	3	4
親や家族の介護	1	2	3	4

問 40 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのように思いますか。

(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|---------|
| 1 賛成 | 3 どちらかといえば反対 | 5 わからない |
| 2 どちらかといえば賛成 | 4 反対 | |

問 41 あなたは、女性が働くことについて、どうお考えですか。(○は1つ)

- 1 育児・介護等にかかわらず、働き続ける方がよい
- 2 結婚するまでは、働いた方がよい
- 3 子どもができるまでは、働いた方がよい
- 4 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方がよい
- 5 女性は働かない方がよい
- 6 その他 ()
- 7 わからない

問 42 あなたは、女性が結婚や出産後も働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○はいくつでも)

- 1 保育施設や学童クラブの充実
- 2 再就職に対する相談や支援体制の充実
- 3 短時間勤務制度やフレックスタイム制度、在宅勤務等の柔軟な働き方の浸透
- 4 育児休業制度の導入促進
- 5 育児休業制度を利用しても不利にならない評価制度の浸透
- 6 昇進・昇給等、職場における男女平等の浸透
- 7 結婚や出産による退職者の再雇用制度の充実
- 8 職場の上司や同僚の理解や協力
- 9 男性の理解や家事・育児等への参加
- 10 女性自身の継続就業や再就職に対する意識の変革
- 11 その他 ()
- 12 必要なことはない
- 13 わからない

問 43 あなたは、政治・経済・地域などの各分野で女性のリーダーを増やすときに障害となることは何だと思いますか。(○はいくつでも)

- 1 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと
- 2 女性自身がリーダーになることを希望しないこと
- 3 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと
- 4 長時間労働の改善が十分ではないこと
- 5 企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること
- 6 育児・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと
- 7 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと
- 8 その他 ()
- 9 わからない

問 44 【現在、仕事をされている方（休業中を含む）にお聞きします。】

あなたの職場では、次のことがらについて、男女は平等になっていると思いますか。(○はそれぞれ1つ)

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
採用時の条件	1	2	3	4	5	6
賃金	1	2	3	4	5	6
昇進や昇格	1	2	3	4	5	6
能力評価	1	2	3	4	5	6
仕事の内容	1	2	3	4	5	6
研修の機会や内容	1	2	3	4	5	6
育児休業、介護休業の取得	1	2	3	4	5	6

問 45 【現在、仕事をされている方（休業中を含む）にお聞きします。】

あなたは、育児や介護を行うために、次にあげる制度を利用したことがありますか。(〇はそれぞれ1つ)

	ある	ない
育児休業（原則として、1歳未満の子を養育するための休業）	1	2
子の看護休暇（小学校就学前の子の病気や負傷等の看護のための休暇）	1	2
介護休業（要介護状態にある家族を介護するための休業（上限 93 日））	1	2
介護休暇（要介護状態にある家族を介護・世話するための短期の休暇）	1	2

問 46 生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度についてお聞きします。あなたが優先すべきものとして希望するものと、現実に（現状で）優先されるものについてお教えてください。(〇はそれぞれいくつでも)

希望	1 仕事	2 家庭生活	3 地域・個人の生活	4 わからない
現実（現状）	1 仕事	2 家庭生活	3 地域・個人の生活	4 わからない

問 47 あなたは、男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。(〇はいくつでも)

1 男性も家事・育児を行うことは当然である
2 家事・育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる
3 男性自身も充実感が得られる
4 子どもにより影響を与える
5 仕事と両立させることは現実として難しい
6 家事・育児は女性の方が向いている
7 女性が家事・育児をしていないと誤解される
8 周囲から冷たい目で見られる
9 男性は、家事・育児を行うべきではない
10 その他（ ）
11 わからない

問 48 あなたは、ドメスティック・バイオレンス（DV、配偶者などからの暴力）について、どう思いますか。(〇はいくつでも)

1 DVは人権を侵害する行為である
2 どんな理由があっても暴力はふるうべきではない
3 暴力をふるわれる方にも問題がある場合もある
4 精神的暴力はDVではない
5 暴力をふるう相手とは別れたらよい
6 暴力は、社会的に対処が必要な問題である
7 夫婦間の暴力でも警察や行政等が積極的に関わるべきである
8 その他（ ）
9 わからない

問 49 あなたは、これまでに、配偶者や交際相手などから次のような行為をされたことがありますか。

(○はそれぞれ1つ)

	何度もあった	1、2度あった	まったくない
殴ったり、蹴ったり、物を投げつけたり、突き飛ばしたりするなどの身体に対する暴行を受けた	1	2	3
精神的な嫌がらせや暴言など、自分や家族に危害が加えられるのではないかと恐怖を感じるような脅迫を受けた	1	2	3
嫌がっているのに、性的な行為を強要された	1	2	3
必要な生活費を渡されなかったり、過度にお金を細かく管理されるなどの経済的な圧力を受けた	1	2	3
	1つでも該当がある →問 49-2 へ		

問 49-2 【問 49 で「1」又は「2」と回答した方にお聞きします。】

あなたはこれまでに、その相手から受けた行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1 相談した →問 49-3 へ | 3 相談しようとは思わなかった →問 49-4 へ |
| 2 相談したかったが、できなかった →問 49-4 へ | |

問 49-3 【問 49-2 で「1」と回答した方にお聞きします。】

そのときの相談相手は誰ですか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---------|-----------|------------|-----------|
| 1 家族・親戚 | 4 人権擁護委員 | 6 市以外の公的機関 | 9 民間の相談機関 |
| 2 友人・知人 | 5 市の相談窓口・ | 7 弁護士 | 10 その他 |
| 3 警察 | 電話相談等 | 8 医師 | () |

問 49-4 【問 49-2 で「2」又は「3」と回答した方にお聞きします。】

相談しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1 誰に相談したらよいかわからなかったから |
| 2 恥ずかしくて誰にも言えなかったから |
| 3 相談しても無駄だと思ったから |
| 4 相談したことがわかると、もっとひどい暴力を受けると思ったから |
| 5 相談窓口の担当者の言動により、不快な思いをと思ったから |
| 6 自分さえ我慢すれば何とかやっていけると思ったから |
| 7 世間体が悪いから |
| 8 他人を巻き込みたくないから |
| 9 思い出したくないから |
| 10 自分に悪いところがあると思ったから |
| 11 相談するほどのことでないと思ったから |
| 12 その他 () |

問50 あなたは、職場や学校等で、次にあげるハラスメント（嫌がらせ）を受けたことがありますか。
（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 セクシュアル・ハラスメント | 4 マタニティ・ハラスメント |
| 2 パワー・ハラスメント | 5 その他（ ） |
| 3 モラル・ハラスメント | 6 受けたことはない |

※セクシュアル・ハラスメント：相手の意思に反して行われる性的な嫌がらせのこと。

※パワー・ハラスメント：職場等で、地位や人間関係等での優位性を背景に、精神的・身体的な苦痛を受けること。

※モラル・ハラスメント：暴力ではなく、言葉や態度で行われる嫌がらせのこと。精神的暴力。

※マタニティ・ハラスメント：職場等で、妊娠・出産を理由に解雇されたり、精神的・身体的に嫌がらせを受けたりすること。

問51 あなたは、これまでに自分の身体の性、心の性、好きになる性に悩んだことがありますか。（〇は1つ）

- | | |
|------------|------------|
| 1 悩んだことがある | 2 悩んだことはない |
|------------|------------|

問52 あなたは、現在、性的マイノリティ（※）の方々にとって、偏見や差別がなく、生活しやすい社会になっていると思いますか。（〇は1つ）

- | | | |
|----------------|------------------|---------|
| 1 そう思う | 3 どちらかといえばそう思わない | 5 わからない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない | |

※性的マイノリティ：自分の身体の性、心の性、好きになる性が多数派とは異なるひとを意味します。

問53 あなたは、性的マイノリティの方々が生かされる社会をつくるために、市が何らかの対策を講じる必要があると思いますか。（〇は1つ）

- | | | |
|------------------|--------------------|---------|
| 1 必要だと思う | 3 どちらかといえば必要だと思わない | 5 わからない |
| 2 どちらかといえば必要だと思う | 4 必要だと思わない | |

問54 あなたは、「武蔵村山市第三次男女共同参画計画－男女Y O U・Iプラン－」を見たり聞いたりしたことがありますか。（〇は1つ）

- | | | |
|------------|--------------------|--------|
| 1 内容を知っている | 2 聞いたことはあるが内容は知らない | 3 知らない |
|------------|--------------------|--------|

問55 市には、男女共同参画を推進するための拠点施設として、緑が丘ふれあいセンターの中に男女共同参画センター『ゆーあい』があります。

あなたは、このセンター（『ゆーあい』）を知っていますか。（〇は1つ）

- | | |
|-----------------|--------|
| 1 知っている →問55－2へ | 2 知らない |
|-----------------|--------|

問 55-2 【問 55 で「1」と回答した方にお聞きします。】

あなたは、『ゆーあい』で行っている次の事業を知っていますか。(○はそれぞれ1つ)

また、知っている場合、参加・利用したことがありますか。(○はそれぞれ1つ)

YOU・I フォーラム（男女共同参画講演会）等の講演会や各種講座	1 知っている⇒ 2 知らない	{ 1 参加したことがある 2 参加したことはない
情報・資料コーナー	1 知っている⇒ 2 知らない	{ 1 利用したことがある 2 利用したことはない
なやみごと・生きかた相談	1 知っている⇒ 2 知らない	{ 1 利用したことがある 2 利用したことはない
女性弁護士による法律相談	1 知っている⇒ 2 知らない	{ 1 利用したことがある 2 利用したことはない
情報誌『YOU・I』	1 知っている⇒ 2 知らない	{ 1 読んだことがある 2 読んだことはない

問 56 男女共同参画社会を実現させるために、市は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(○はいくつでも)

<p>1 男女とも働きやすく、経済的に自立できるまちづくり</p> <p>2 政策・方針決定の場に男女が平等な立場で共に参画することができるまちづくり</p> <p>3 仕事と家庭生活、地域・個人の生活の調和をすすめるまちづくり</p> <p>4 ひとり親家庭や高齢者など、特別な配慮が必要な方への支援の充実を図るまちづくり</p> <p>5 人権を尊重し合い、男女平等をすすめるまちづくり</p> <p>6 暴力のないまちづくり</p> <p>7 男女が互いの性を理解・尊重し、性別や年代に応じ健康な生活を送ることができるまちづくり</p> <p>8 社会制度や慣行を見直し、男女とも個性を尊重した多様な生き方ができるまちづくり</p> <p>9 すべての女性が、その個性と能力を十分に発揮できるまちづくり</p> <p>10 市における男女共同参画推進体制の充実</p> <p>11 その他 ()</p> <p>12 わからない</p>

教 育

問 57 子どもたちの教育をより一層充実するために、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。
(〇は3つまで)

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 1 子どもたちの基礎的な学力の向上 | 9 教職員の研修の充実 |
| 2 子どもたちが相談できる体制づくり | 10 学校施設・設備の充実 |
| 3 子どもたちの体力・健康の向上 | 11 特別な支援が必要な子どもたちの教育環境の整備 |
| 4 不登校などの子どもへの対応の充実 | 12 休日の活動機会の充実 |
| 5 クラブ活動の充実 | 13 学習の指導者として市民登用 |
| 6 1クラスの児童生徒数の削減 | 14 外国人などとの交流機会の充実 |
| 7 心の教育の充実 | 15 いじめ対策の強化 |
| 8 自然や福祉など体験学習の充実 | 16 その他 () |

問 58 生涯学習をより一層充実させるために、市はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。
(〇は3つまで)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------|
| 1 学習活動に関する情報を市報やホームページなどを通して提供する | 7 小・中学校の施設の開放 |
| 2 学習するための施設の充実 | 8 学習相談窓口の充実 |
| 3 講座や教室の内容の充実 | 9 学習の成果を発表する機会の充実 |
| 4 土日や夜間の講座の充実 | 10 異世代交流を促進するような講座の充実 |
| 5 高齢者・女性・勤労者・青少年といった対象ごとの講座の充実 | 11 学習の成果を地域や社会に還元できるような仕組みづくり |
| 6 祭りや催し物など市民の親睦が深められるような場の充実 | 12 スポーツ・レクリエーションの機会の充実 |
| | 13 郷土芸能の充実 |
| | 14 その他 () |

4-4 快適で暮らしやすいまちづくり

都市基盤

問 59 あなたは、今後、武蔵村山市内においてどのような土地利用に力を入れてほしいと思いますか。
(〇は2つまで)

- | | |
|----------------------|------------------|
| 1 戸建住宅など低層の住宅 | 4 積極的な企業立地を図った工業 |
| 2 マンション等の中高層住宅 | 5 生産緑地地区などの農地の保全 |
| 3 店舗が多く品揃えが豊富で賑やかな商業 | 6 緑豊かな緑地の保全 |
| | 7 その他 () |

問 60 あなたは、今後、どのような都市基盤整備を推進していくべきだと思いますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------------------|------------------------|
| 1 モノレールの早期延伸 | 8 新しい都市計画道路の整備 |
| 2 バス路線の増加・充実 | 9 身近な生活道路の整備、道路の拡幅 |
| 3 横田飛行場の軍民共同使用 | 10 比較的小規模な公園の整備 (街区公園) |
| 4 段差解消などバリアフリー化の推進 | 11 比較的大規模な公園の整備 (総合公園) |
| 5 自転車が行きやすい空間の整備 | 12 雨水排水の整備 |
| 6 歩道の整備、歩車道の分離、車両の交通規制などの交通安全対策 | 13 土地区画整理事業 (※) |
| 7 新青梅街道沿道まちづくりの推進 | 14 その他 () |

※土地区画整理事業：ある一定の区域（施行地区）において、公共施設（道路・水路・公園等）の整備改善と宅地の利用増進を図るために行われる事業

問 61 あなたは、多摩都市モノレールを利用していますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 通勤・通学に利用している | 5 遊びやレジャー施設へ行くために利用している |
| 2 買物等に利用している | 6 その他の利用 () |
| 3 医療・福祉施設へ行くために利用している | 7 利用していない |
| 4 公共施設へ行くために利用している | |

問 62 あなたは、多摩都市モノレールが市内まで延伸した場合、モノレールを主にどのように利用しますか。
(〇は1つ)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 通勤・通学に利用する | 5 遊びやレジャー施設へ行くために利用する |
| 2 買物等に利用する | 6 その他の利用 () |
| 3 医療・福祉施設へ行くために利用する | 7 利用しない |
| 4 公共施設へ行くために利用する | |

問 63 あなたが通勤・通学以外で利用する施設や場所への移動時間はどのくらいですか。

(○はそれぞれ1つ)

	5分以内	10分以内	20分以内	20分超
身近な商店（日常の買物）	1	2	3	4
大規模な店舗	1	2	3	4
病院など（通院）	1	2	3	4
福祉施設（デイサービス等）	1	2	3	4
市役所・出張所等（市の手続等）	1	2	3	4

問 63-2 問 63 の施設へ行くための交通手段は何ですか。(○はそれぞれ1つ)

	徒歩	自転車・バイク	自動車	バス	その他
身近な商店（日常の買物）	1	2	3	4	5 ()
大規模な店舗	1	2	3	4	5 ()
病院など（通院）	1	2	3	4	5 ()
福祉施設（デイサービス等）	1	2	3	4	5 ()
市役所・出張所等（市の手続等）	1	2	3	4	5 ()

環 境

問 64 よりよい環境づくりのために、市は、今後どのような分野に取り組むべきだと思いますか。

(○は3つまで)

1 地球温暖化対策の推進	11 騒音・振動などの公害の未然防止
2 川や大気などの汚染対策の推進	12 美しい街並みの保全整備
3 家庭・事業所等から出るごみの減量	13 史跡・文化財など歴史的環境の保全
4 省資源・省エネルギー活動の推進	14 環境に配慮した市民活動や企業活動への支援
5 リサイクルの推進	15 環境に関する情報の収集と提供
6 水辺環境の保全	16 環境学習・環境教育の推進
7 雨水利用など水循環対策の推進	17 市民・事業者の自主的な環境活動への支援
8 公園や緑地など身近な緑の保全	18 外来生物の予防と駆除
9 自然環境の保全	19 その他 ()
10 自然の動植物の保護	

4-5 地域の資源を生かした特色あるまちづくり

産 業

問 65 あなたは、市の産業振興として次のうちどれが重要だと思いますか。(○は2つまで)

- | | |
|---|------------------|
| 1 特産品づくりや後継者の育成など都市農業の振興 | 7 企業の誘致 |
| 2 地域ブランド認証制度(※)を充実し、市内で生産される商品の付加価値を高めること | 8 起業者への支援 |
| 3 地産地消の推進 | 9 中小企業の経営安定化への支援 |
| 4 農業経営の近代化 | 10 大学や研究所等の誘致 |
| 5 消費者ニーズに対応した商店街の整備・振興 | 11 観光イベントの充実 |
| 6 既存企業・工場の育成・支援 | 12 他の自治体との産業交流 |
| | 13 その他 () |

※地域ブランド認証制度：武蔵村山市内にある魅力ある商品を武蔵村山地域ブランドに認証し、これを広く他の地域に発信、供給して、武蔵村山地域ブランドのブランドイメージの定着と向上を図る事業

問 66 あなたは、武蔵村山市の観光資源といえば、何をイメージしますか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 1 歴史民俗資料館 | 9 歴史的文化財(神社・仏閣・古民家等) |
| 2 野山北公園・あそびの森・冒険の森 | (具体的にあれば：) |
| 3 里山体験施設 | 10 村山大島紬 |
| 4 村山温泉かたくりの湯 | 11 地場農産物 |
| 5 ひまわり・菜の花ガーデン武蔵村山 | 12 地域ブランド(かてうどん等) |
| 6 村山デエダラまつり | 13 郷土芸能 |
| 7 納涼花火大会 | 14 会社・企業・民間施設 |
| 8 祭り・イベント | (具体的にあれば：) |
| (具体的にあれば：) | 15 その他 () |

景 観

問 67 あなたが住んでいる地区は、自然環境や魅力ある街並みがよく保全されていると思いますか。

(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------------------|
| 1 そう思う | 4 どちらかといえばそう思わない →問 67-2 へ |
| 2 どちらかといえばそう思う | 5 そう思わない →問 67-2 へ |
| 3 どちらともいえない | 6 わからない |

問 67-2 【問 67 で「4」又は「5」と回答した方にお聞きします。】 そう思わない理由は。

(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1 緑に親しめる公園が少ない | 6 建物が高いなど眺望が悪い |
| 2 水辺に親しめる公園が少ない | 7 屋外広告物(看板・案内板)が目につく |
| 3 農地が少ない、減った | 8 電線・電柱が多い |
| 4 住宅・店舗・工場などが混在している | 9 自転車等が雑然と置かれている |
| 5 建物のデザイン・色彩が統一されていない | 10 その他 () |

4-6 計画の推進に向けて

行政運営

問 68 あなたは、過去1年間に各種手続や相談のために武蔵村山市役所を訪れたことはありますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|-------|
| 1 はい →問 68-2 へ | 2 いいえ |
|----------------|-------|

問 68-2 【問 68 で「1」と答えた方にお聞きします。】

あなたは市職員の対応等について、どのように感じていますか。(○はそれぞれ1つ)

	満足している	どちらかといえば満足	どちらともいえない	どちらかといえば不満	不満である
職員の対応(態度)	1	2	3	4	5
職員の説明	1	2	3	4	5
申請書類の書きやすさ	1	2	3	4	5
手続の方法	1	2	3	4	5
待ち時間	1	2	3	4	5
待ち合いスペースの広さ	1	2	3	4	5
カウンター、記載台の利用しやすさ	1	2	3	4	5
案内表示のわかりやすさ	1	2	3	4	5
全体的な評価	1	2	3	4	5

問 69 今後、民間事業者等に窓口業務を委託することについて、どう思いますか。(○は1つ)

- 1 経費が削減されるならサービスは民間事業者等に任せた方がよい
- 2 経費は同じでもサービスが向上するなら民間事業者等に任せた方がよい
- 3 今までどおり市職員の対応がよい
- 4 わからない

問 70 現在の市の財政状況や人口減少社会を迎える中、老朽化した公共施設の全てを建て替えることは難しい状況となっています。そこで、次の公共施設に関する今後の方向性について、どう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

	廃止すべき	縮小すべき	集約すべき	現状維持	拡充すべき	どちらでもよい
市民会館	1	2	3	4	5	6
図書館	1	2	3	4	5	6
地区会館	1	2	3	4	5	6
公民館	1	2	3	4	5	6
集会所	1	2	3	4	5	6
歴史民俗資料館	1	2	3	4	5	6
総合体育館	1	2	3	4	5	6
市営プール	1	2	3	4	5	6
児童館	1	2	3	4	5	6
学童クラブ	1	2	3	4	5	6
福祉会館	1	2	3	4	5	6
老人福祉館	1	2	3	4	5	6
温泉施設	1	2	3	4	5	6

問 71 インターネットを活用した行政サービスについて、今後どのようなサービスの充実を求めますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 イベントの申込み | 5 税金などの納付手続 |
| 2 公共施設の予約 | 6 公開されている審議会などの傍聴の申込み |
| 3 許認可の申請 | 7 医療・福祉サービスの申請 |
| 4 証明書発行の申請 | 8 その他 () |

財政運営

問 72 今後、少子高齢化がますます進展する中で、市の財政は、一層厳しさを増すことが予想されます。そこで、市の財政運営と行政サービスとの関係について、どのように取り組む必要があると思いますか。

① 歳出と行政サービス水準について（〇は1つ）

- 1 次世代に借金を残しても、行政サービスの水準を維持していくべき
- 2 次世代に借金を残さないため、税収の減少に合わせて行政サービスの水準を下げっていくべき
- 3 その他（ ）
- 4 わからない

② 福祉に関するサービス水準について（〇は1つ）

- 1 福祉のための経費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない
- 2 福祉のための経費は、サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき
- 3 その他（ ）
- 4 わからない

③ 道路や公共施設などの整備水準について（〇は1つ）

- 1 道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を維持していくためには増えても仕方ない
- 2 道路や公共施設などの維持・更新費は、サービス水準を多少下げても税収に合わせて減らしていくべき
- 3 その他（ ）
- 4 わからない

④ 公共施設の使用料とサービス水準について（〇は1つ）

- 1 公共施設の使用料の見直しなど、受益者の負担が増えることはやむを得ない
- 2 公共施設の使用料は、サービス水準を多少下げても、上げるべきではない
- 3 その他（ ）
- 4 わからない

広域行政

問 73 あなたは、今後、近隣自治体と連携し、どのような事業を行うべきだと思いますか。（〇は2つまで）

- | | |
|------------------|-----------------|
| 1 スポーツ交流 | 7 農・商・工業などの情報交換 |
| 2 文化事業の交流 | 8 コミュニティバスの連携 |
| 3 図書館・集会施設の広域利用 | 9 共同イベントの開催 |
| 4 スポーツ・文化施設の広域利用 | 10 福祉サービスの相互利用 |
| 5 狭山丘陵などの観光資源の活用 | 11 その他（ ） |
| 6 イベント情報などの相互発信 | |

自由意見

問 74 最後に、第五次長期総合計画策定にあたって、市政運営やまちづくりに対する意見や要望がありましたら自由にお書きください。

以上で調査は終了です。御協力ありがとうございました。

調査票は、**8月29日（水）まで**に、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに御投函ください。

武蔵村山市第五次長期総合計画
武蔵村山市民意識調査報告書

平成31年3月

発行：武蔵村山市

編集：企画財務部企画政策課

〒208-8501

東京都武蔵村山市本町一丁目1番地の1

電話：042-565-1111（代）

古紙再生紙を使用しています。